谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

意匠図								構造図			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	建築工事特記仕様書（新築）(1)	A-34	建具表(4)	A-67	サイン図(3)	B-01	既存仕上撤去・下地調整表【撤去/調整/補修図】	S-01	構造特記仕様書	S-34	外構図⑥
A-02	建築工事特記仕様書（新築）(2)	A-35	矩計図(1)-北面AW	A-68	サイン図(4)	B-02	1階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】	S-02	鉄筋コンクリート構造標準図(1)	S-35	外構図⑦
A-03	建築工事特記仕様書（新築）(3)	A-36	矩計図(2)-南北風除室	A-69	サイン図(5)	B-03	2階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】	S-03	鉄筋コンクリート構造標準図(2)	S-36	外構図⑧
A-04	建築工事特記仕様書（新築）(4)	A-37	矩計図(3)-既存増築とりあい	A-70	耐火リスト	B-04	3階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】	S-04	鉄骨工事標準図(1)	S-37	外構図⑨・深層混合処理工法特記仕様書
A-05	建築工事特記仕様書（改修）(1)	A-38	矩計図(4)-車寄せ	A-71	防水・断熱・特殊床範囲図	B-05	4階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】	S-05	鉄骨工事標準図(2)	S-38	増打コンクリート躯体補強仕様書
A-06	建築工事特記仕様書（改修）(2)	A-39	矩計図(5)-東西面ACW	A-72	昇降機設備図(1)-A	B-06	PH階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】	S-06	鉄骨工事標準図(3)	S-39	既存庁舎基礎伏図
A-07	計画概要・付近見取図・配置図・仮設計画・ﾛｰﾘﾝｸﾞ計画	A-40	矩計図(6)-東西スリット窓	A-73	昇降機設備図(2)-A	B-07	R階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】	S-07	デッキ合成スラブ設計・施工標準図	S-40	既存庁舎１階伏図
A-08	求積図	A-41	断面詳細図	A-74	昇降機設備図(3)-A	B-08	ピット撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】	S-08	地盤調査図(1)	S-41	既存庁舎２階伏図
A-09	仕上表	A-42	コア詳細図(1)-階段A	A-75	昇降機設備図(4)-A	B-09	立面図(1)【撤去/調整/補修図】	S-09	地盤調査図(2)	S-42	既存庁舎３階伏図
A-10	1階平面図	A-43	コア詳細図(2)-階段B	A-76	昇降機設備図(5)-B	B-10	立面図(2)【撤去/調整/補修図】	S-10	杭伏図	S-43	既存庁舎４階伏図
A-11	2階平面図	A-44	WC詳細図	A-77	昇降機設備図(6)-B	B-11	断面図【撤去/調整/補修図】	S-11	基礎伏図	S-44	既存庁舎５階伏図
A-12	3階平面図	A-45	ワークラウンジ・書庫詳細図(1)	A-78	昇降機設備図(7)-B	B-12	天井伏図【撤去/調整/補修図】	S-12	１階伏図	S-45	既存庁舎R階伏図
A-13	4階平面図	A-46	ワークラウンジ・書庫詳細図(2)	A-79	昇降機設備図(8)-B	B-13	建具キープラン・建具表(1)【撤去/調整/補修図】	S-13	２階伏図	S-46	既存庁舎軸組図①
A-14	PH・R階平面図	A-47	大会議室兼災害対策室詳細図	A-80	昇降機設備図(9)-C	B-14	建具表(2)【撤去/調整/補修図】	S-14	３階伏図	S-47	既存庁舎軸組図②
A-15	ピット図	A-48	展開図(1)	A-81	昇降機設備図(10)-C	B-15	矩計図(1)【撤去/調整/補修図】	S-15	４階伏図	S-48	既存庁舎軸組図③
A-16	立面図(1)	A-49	展開図(2)	A-82	昇降機設備図(11)-C	B-16	矩計図(2)【撤去/調整/補修図】	S-16	軸組図①	S-49	既存庁舎軸組図④
A-17	立面図(2)	A-50	展開図(3)	A-83	昇降機設備図(12)-C	B-17	コア詳細図(1)【撤去/調整/補修図】	S-17	軸組図②	S-50	既存庁舎軸組図⑤
A-18	断面図(1)	A-51	展開図(4)	A-84	外構図(1)-キープラン・詳細図	B-18	コア詳細図(2)【撤去/調整/補修図】	S-18	軸組図③	S-51	既存庁舎軸組図⑥
A-19	断面図(2)	A-52	展開図(5)	A-85	外構図(2)-水防衛生倉庫・誘導員詰所	B-19	WC詳細図【撤去/調整/補修図】	S-19	軸組図④	S-52	既存庁舎軸組図⑦
A-20	1階天井伏図	A-53	展開図(6)	A-86	外構図(3)-駐輪場	B-20	部分詳細図(1)【撤去/調整/補修図】	S-20	軸組図⑤	S-53	既存庁舎軸組図⑧
A-21	2階天井伏図	A-54	展開図(7)	A-87	外構図(4)-屋上緑化	B-21	部分詳細図(2)【撤去/調整/補修図】	S-21	軸組図⑥	S-54	既存庁舎軸組図⑨
A-22	3階天井伏図	A-55	部分詳細図(1)	A-88	積算・工事区分表	B-22	(参考既存図)基礎伏図・1-3階梁伏図【撤去調整補修図】	S-22	断面リスト①	S-55	既存庁舎断面リスト①
A-23	4・PH階天井伏図	A-56	部分詳細図(2)			B-23	(参考既存図)4-R階梁伏図【撤去調整補修図】	S-23	断面リスト②	S-56	既存庁舎断面リスト②
A-24	建具共通事項・建具詳細図(1)	A-57	部分詳細図(3)			B-24	(参考既存図)軸組図(1)【撤去調整補修図】	S-24	断面リスト③	S-57	枠組K型ブレース補強図①
A-25	建具詳細図(2)	A-58	部分詳細図(4)-スライディングウォール1			B-25	(参考既存図)軸組図(2)【撤去調整補修図】	S-25	詳細図①	S-58	枠組K型ブレース補強図②
A-26	建具詳細図(3)	A-59	部分詳細図(5)-スライディングウォール2			B-26	(参考既存図)部材リスト(1)【撤去調整補修図】	S-26	詳細図②	S-59	枠組K型ブレース補強図③
A-27	建具詳細図(4)	A-60	部分詳細図(6)-家具・移動棚キープラン			B-27	(参考既存図)部材リスト(2)【撤去調整補修図】	S-27	詳細図③	S-60	増し打ち壁詳細図①
A-28	建具詳細図(5)	A-61	部分詳細図(7)-家具図			B-28	(参考既存図)雑配筋詳細図【撤去調整補修図】	S-28	詳細図④	S-61	増し打ち壁詳細図②
A-29	建具詳細図(6)	A-62	部分詳細図(8)-移動棚1					S-29	外構図①	S-62	増し打ち壁詳細図③
A-30	建具キープラン	A-63	部分詳細図(9)-移動棚2					S-29	外構図②	S-63	増し打ち壁詳細図④
A-31	建具表(1)	A-64	サインキープラン					S-31	外構図③	S-64	既存床・梁補強・雑詳細図
A-32	建具表(2)	A-65	サイン特記・サイン図(1)					S-32	外構図④	S-65	1,2階書架周辺鉄骨架構詳細図
A-33	建具表(3)	A-66	サイン図(2)					S-33	外構図⑤	S-66	吹き抜け部床補強詳細図

建　築　工　事　特　記　仕　様　書

Ⅰ.工　事　概　要

1.　工　事　名　称 谷山支所大規模改修その他本体工事
2.　工　事　場　所 鹿児島市谷山中央四丁目4927番地
3.　工　事　種　目（ ⊙ 新築　⊙ 増築　・ 改築　⊙ 改修　・ その他 ）
4.　工　事　期　間　令和　10 年　6 月 22 日まで

Ⅱ.建　築　工　事　仕　様

○ 1.　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編）（令和７年版）、「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編）（令和７年版）及び「公共建築木造工事標準仕様書」（令和７年版）による。

○ 2.　特記事項の適用は次のとおりとする。
1）項目は ○ 印の付いたものを適用する。
2）特記事項は ⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ※ の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）の当該項目、当該図、又は当該表を示す。
4）形状寸法の単位は、特記なきかぎりミリメートルとする。
5）再生資材（再生切込砕石等）については、再資源化施設製造のものを使用し、粒度は規格によること。

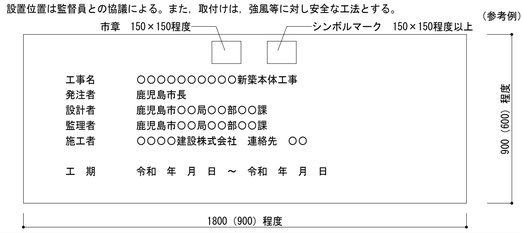
Ⅲ.一　般　事　項

適用	特　記　事　項
○	1.　本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする
○	2.　前払金　※請求することができる　⊙令和８年度中に請求すること
○	3.　中間前金払 1）請負金額が１００万円以上で年度内に完成する工事は，契約時において中間前金払か部分払かのいずれかを選択することができる。 なお，契約に当たり部分払をすることを選択した場合には，中間前金払は行わない。 2）中間前金払を受けるための要件（全て満たすこと。） ｱ）請負金額の１０分の４の前金払がなされていること。 ｲ）工期の２分の１を経過していること。 ｳ）工程表により工期の２分の１を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 ｴ）既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の２分の１以上の額に相当するものであること。 3）中間前払金の割合について 請負代金の１０分の２以内とする。ただし，中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の１０分の６を超えてはならないものとする。
○	4.　部分払　部分払については、鹿児島市契約規則による。
○	5.　部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事　2.土工事　3.地業工事　4.鉄筋工事　5.ｺﾝｸﾘｰﾄ工事　6.鉄骨工事　7.ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 8.防水工事　9.石工事　10.ﾀｲﾙ工事　11.木工事　12.屋根及びとい工事　13.金属工事　14.左官工事　15.建具工事 16.ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事　17.塗装工事　18.内装工事　19.ﾕﾆｯﾄ及びその他の工事　20.排水工事　21.舗装工事　22.植栽及び屋上緑化工事
○	6.　火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満２１日間（２４時）までとする。 ※ 火災保険等（工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）等に生じる損害を填補） （ ※ 火災等　※ 工事材料等の盗難等　・ その他（　　）に対応したものを含むこと。） ※ 請負業者賠償責任保険（工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補） なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。
	7.　住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」（平成１９年法律第６６号）に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるので注意すること。
○	8.　契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任（鹿児島市建設工事請負契約書第41条）の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。
○	9.　施工体制台帳の提出等 1）建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2）工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務　(2)土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務　(4)その他監督職員が記載を指示した業務等
○	10.　環境基本計画 1）本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。 2）本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3）本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4）本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とすること。 5）工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。
○	11.　排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。 ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。 （１）バックホウ（２）ホイールローダ（３）ブルドーザ（４）発動発電機（５）空気圧縮機（６）油圧ユニット（７）ローラ類 （８）ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。
○	12.　低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和６２年建設省経機発第５８号）に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」（平成９年建設省告示第１５３６号）により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。
○	13.　ダンプトラック等による過積載等の防止について 1）工事用資機材等の積載超過のないようにすること。 2）過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3）資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4）さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 5）「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第１２条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6）下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 7）1)から6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

適用	特　記　事　項
○	14.　産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 ［表示例］　産業廃棄物収集運搬車　←１４０ポイント（おおむね縦横５０mm）以上の識別しやすい色の文字及び数字 ○○株式会社　←９０ポイント（おおむね縦横３０mm）以上の識別しやすい色の文字及び数字 なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。
○	15.　内装仕上に使用する材料等の選定について 1）ホルムアルデヒドを発散する建材については、Ｆ☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料（居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具） 木質建材（合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等）、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2）クロルピリホスについて クロルピリホスを添加しないこと。　クロルピリホスを添加した材料でないこと。 3）建築材料の種別、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 7）施工計画書提出時に、ＪＩＳ、ＪＡＳの表示、又は,国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 4）材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ｳ）工事終了後に、内装仕上部分を写した写真を提出すること。 ※　塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。（水廻り及び湿度の高い箇所を除く） ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。
○	16.　現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1）現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務（現場の巡回等）があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 7）契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 4）工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ｳ）橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 ｴ）前３号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2）発注者への報告 上記１)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。
	17.　現場代理人の兼任について 1）現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約の解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次の 7)から ｵ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。 なお、専任の主任（監理）技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、ｲ)、ｴ)、ｵ)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は２件までとする。 7）兼任できる工事は３件までとし、それぞれの工事の請負金額が４，５００万円未満であること。 4）発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ｳ）兼任する工事は、概ね１時間以内で移動できる範囲 ｴ）発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 ｵ）兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、１日１回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。 2）手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任（変更）申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3）受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第１２条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。
○	18.　低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1）施工体制の強化 7）低入札価格調査の対象となった工事（以下「調査対象工事」という。）には、専任の主任技術者等を配置すること。 4）調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で１人配置すること。 a）６５点未満の工事成績評定を通知された場合 b）工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c）品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d）自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合 2）監督体制の強化 7）受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 4）受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。
○	19.　「快適トイレ」の試行について 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。 快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和３年７月２６日付け鹿児島市建設局通知）」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。
○	20.　足場の設置について 足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省令和5年12月26日）によるものとする。 なお、これにより難い場合は、監督員と協議の上、決定することとする。
○	21.　架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。
○	22.　交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。 また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。
○	23.　地下工事について 地下室等（地下工作物）がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をすること。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。 建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないようにすること。
○	24.　杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い（近隣に井戸がある場合や中間に逸水層がある場合）、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。
○	25.　周辺住民への説明等について 工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明（作業時間、工法、期間等）を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。 （近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。）
○	26.　本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。

適用	特　記　事　項
○	27.　ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の般出入に当っては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。（※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。） 1）原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2）工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3）やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・薫蒸後、搬出を行うこと。 4）発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5）未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。
○	28.　本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は漏りなく行うこと。
○	29.　工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物（特に側溝等）の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。
○	30.　工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。
○	31.　工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。
○	32.　工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。
○	33.　工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとすること。
○	34.　本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。
○	35.　再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。
○	36.　本工事により発生する建設廃棄物のうち,焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には,産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
○	37.　暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
○	38.　駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。
○	39.　工事現場隣接家屋について、事前に状況調査（建物の実情）を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。 また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。
	40.　本工事に伴いスラブに設ける墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。
○	41.　工事完成写真の仕様について 1）インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、５年程度で顕著な劣化が生じないものとすること。 2）カラー写真（ネガフィルムタイプ）と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3）完成検査若しくは、工事目的物引渡完了後５年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。
○	42.　再生資材（再生クラッシャラン）については、再資源化施設製造のものを使用すること。
○	43.　法定外労災保険の付保等について 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満２１日間（２４時）までとする。
○	44.　墜落制止用器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。
○	45.　営繕工事における週休２日工事について 実施に当たっては、鹿児島県「営繕工事における「週休２日」工事実施要領（令和７年８月１日施行）（以下、「実施要領」という。）」を準用するものとする。なお、実施要領は鹿児島県ホームページから入手できる。
○	46.　電子納品 本工事は電子納品対象工事とし、市HPに掲載する鹿児島市電子納品ガイドライン【建築・設備編】及び鹿児島市電子納品ガイドライン 運用の手引き【建築・設備編】に定める基準に基づいて作成した電子成果品を納品すること。 ただし、事前協議により電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。
○	47.　情報共有システムを活用した工事の試行 本工事は、情報共有システム活用の試行対象工事である。試行にあたっては、鹿児島市営繕工事等における情報共有システム活用工事試行要領（令和８年４月１日）に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。
○	48.　施工体制点検等への協力 請負代金額が４，５００万円（建築一式工事は９，０００万円）以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が４，５００万円（建築一式工事は９，０００万円）未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。
○	49.　産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録（Ｅ票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表）を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、Ｅ票が処分業者より返送されていない場合は、Ａ票、Ｂ２票及びＤ票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、Ｅ票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は，受渡確認表の写しを添付すること。
○	50.　監理技術者等の途中交代 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1）受注者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2）橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点 3）ダム、トンネル等大規模な工事で１つの契約工期が多年に及ぶ場合 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。
○	51.　監理技術者等の途中交代の試行について 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1）工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2）受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。
○	52.　公共工事における現場一斉閉所の実施について 受注者は、公共工事における現場一斉閉所の実施に協力するものとする。なお、現場閉所の実施への協力は、受注者の判断によるもの（任意）とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているので確認のこと。
○	53.　道路占用許可申請及び道路使用許可申請について 申請については、受注者が道路管理者や警察署と協議するものとし、必要書類については、監督員と協議の上、作成すること。 なお、道路占用料及び道路使用許可申請手数料については、監督員との協議により設計変更の対象とする。
○	54.　建設キャリアアップシステム活用工事の試行 本工事は、建設キャリアアップシステム活用工事の対象である。試行に当たっては、鹿児島市建設キャリアアップシステム活用工事試行要領（令和８年４月１日）に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	建築工事特記仕様書（新築）(1)	A１　－ A３　－	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		Ａ － ０１

章	適用	項目	特記事項
①各章共通事項	○	1. 適用基準等	⊙ 建築工事標準詳細図 ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版） ・ 敷地調査共通仕様書 ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版） ⊙ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和７年版） ⊙ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和７年版） ⊙ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和７年版） ⊙ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和７年版） ⊙ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和７年版） ⊙ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和７年版） ⊙ 営繕工事写真撮影要領(令和５年版) ⊙ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ⊙ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針 ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領 ： 関東地方建設局営繕部作成
	○	2. 電気保安技術者	※ 適用する （1．3．3）
	○	3. 施工条件	（1．3．5）
	○	4. 技能士	⊙ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ⊙ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工 ⊙ 型枠施工 ⊙ とび ・ ﾌﾞﾛｯｸ建築 （1．5．2） ⊙ 鉄工(⊙ 構造物鉄工作業 ・ 製缶作業) ・ ｴｰｴﾙｼｰﾊﾞﾙ施工 ・ 石材施工(石張り作業) ⊙ 防水施工(・ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ⊙ ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ・ 合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業 ・ ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗装防水工事作業) ⊙ ﾀｲﾙ張り ⊙ 建築大工 ・ かわらぶき ⊙ 建築板金(内外装板金作業) ⊙ 左官 ⊙ ｻｯｼ施工 ⊙ ｶﾞﾗｽ施工 ⊙ ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工 ⊙ 建具製作(⊙ 木製建具 手加工作業 ⊙ ｱﾙﾐ製室内建具製作作業 ⊙ 木製建具 機械加工作業) ⊙ 内装仕上げ施工(⊙ ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ⊙ 鋼製下地工事作業 ⊙ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業 ⊙ ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業) ⊙ 塗装(建築塗装作業) ⊙畳製作 ⊙ 表装 ⊙ 造園 ⊙ 熱絶縁施工(吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業) ⊙ 樹脂接着剤注入施工
	○	5. 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が５００万円以上の工事について、 （1．1．4） 工事実績情報ｼｽﾃﾑ（ＣＯＲＩＮＳ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し 監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から１０日以 内に、完成時は工事完成後１０日以内に、（一財）日本建設情報総合ｾﾝﾀｰに登録しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。 （ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない）
	○	6. 建築材料等	本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと 同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記さ れたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料 等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その 確認をもって、品質・性能の確認があったものとすることができる。
	○	7. 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	○	8. 発生材の処理等	建設副産物の処理 （1．3．11） 1．本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(ﾘｻｲｸﾙ法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設ﾘｻｲｸﾙ法）、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、ﾏﾆﾌｪｽﾄｼｽﾃﾑにより適正処理を行うこと。 2．建設発生土及び建設廃棄物にあたっては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3．建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4．建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5．建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるｺﾝｸﾘｰﾄ・ｱｽﾌｧﾙﾄ塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設（許可を受けた施設）へ搬出すること。 6．ﾏﾆﾌｪｽﾄ（管理票）の備考欄にせっこうﾎﾞｰﾄﾞの有無を明記するとともに、せっこうﾎﾞｰﾄﾞが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7．特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。
	○	9. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	○	10. 設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ梁の貫通孔及び鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、 壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作ｽｲｯﾁ並び に自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	○	11. 完成図等	⊙ 完成図等を提出する。 (1) 電子データ 「46.電子納品」のとおり. (2) ２つ折製本（Ａ３判）２部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上げについては監督員と協議。 ・保全に関する資料 部数１部(監督員の指定する様式) ・取扱い説明書 部数 部 （建設戸数＋2戸分）
	○	12. 工事写真	区分 / 分類 / 規格 / 撮影枚数 / 部数 / 原画の大きさ / 備考 ※着工前 / ※ カラー ・ / ※ L版程度 ・ / / ※ 1部 ・ / 24×36以上 / ※工事中 / ※ カラー ・ / ※ L版程度 ・ / / ※ 1部 ・ / 24×36以上 / ※完成時 / ※ カラー ・ / ※ L版程度 ・ キャビネ版 / 枚 / ※ 1部 ・ / ・ 60×90以上 ・ 24×36以上 / 外観４面 主要内部 ・実態調査用 / ※ カラー / ※ L版程度 / 枚 / ・ 2部 / 24×36以上 / 外観４面 ・ 実績報告用写真（２部）を監督員に提出する。 着工前と完成時の外観４面及び完成時の主要内部その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真、その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真
	○	13. 竣工写真	竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。） ⊙ 完成後（躯体工事の場合は、着工前及び完成後）の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。）
	○	14. 既存建物との取合い	工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受け て現状に準じて補修する。
	○	15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はﾍﾟｰｸｱｳﾄ等により濃度の低下に 努め、指針値以下になるようにすること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」 の評価方法基準第５の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。 測定対象 ・ 住宅 （建設戸数の１割以上（１０戸未満の場合は１戸以上）で，各住戸２室以上） ⊙ 非住宅 （測定対象室（相談室1A、相談室2A、マルチルーム3A、女性休憩室、会議室4A、2階執務スペース）） 測定項目 ・ 5項目（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ） ⊙ 6項目（上記5項目及びﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ）
	○	16. 品質計画	建築基準法により定められた風速 Ｖo（ ※38 ・ ） 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ⊙Ⅲ ・Ⅳ 適用工種 ・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ ・ ALCﾊﾟﾈﾙ ⊙ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ・ 防水工事 ・ 石工事 ⊙ 屋根及びとい工事 ⊙ 金属工事
②仮設工事	○	1. 監督員事務所	※ 設ける（規模： ⊙ １号(10㎡程度) ・ ２号(20㎡程度) ・ ３号(35㎡程度) ・ ４号(65㎡程度) （2．3．1） 標準仕上げ 床：合板張り又はビニル床シート張り 内壁、天井：合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り 屋根：塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り
②仮設工事	○	2. 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ⊙ 利用できる ※ 有償 ・ 無償 ） 構内既存の給水設備を利用する場合は、水道局へ臨時給水の申請を行い、水道ﾒｰﾀｰを設置すること。
	○	3. 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる ※ 有償 ・ 無償 ）
	○	4. その他	※表示板の大きさ等： ※下図による。 設置位置は監督員との協議による。また，取付けは，強風等に対し安全な工法とする。 
③土工事	○	1. 埋戻し及び盛土	種別 ・ Ａ種 ※ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種 （3．2．3）（表3．2．1） 各層厚さ ※ 300mm程度ごとに締め固める
	○	2. 地均し	工事完了後の整地は建物周囲２m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 （3．2．4） ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。
	○	3. 建設発生土の処理	※（ ）処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、 （3．2．5） 必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。 ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し
④地業工事	○	1. 砂利地業	材料 ⊙ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利及び切込砕石 （4．6．2） 厚さ ※ 60 ・（ ） （4．6．3） 再生クラッシャランは、原則としてかごしま認定ﾘｻｲｸﾙ製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。
	○	2. 捨ｺﾝｸﾘｰﾄ地業	厚さ ※ 50 ・（ ） （4．6．2）（4．6．4）
	○	3. 床下防湿層	施工箇所 ※ 増築部建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） （4．6．2）（4．6．5） 材料 ※ ポリエチレンフィルム ・（ ） 厚さ ※ 0.15 ・（ ） 重ね合せ及び基礎梁際の折り下がりは、250mm程度とする。
⑤鉄筋工事	○	1. 鉄筋の種類 ※構造図による	※JIS G3112 ・JIS G3117 （5．2．1）（表5．2．1） 種類の記号 / 呼び名（mm） ・ SD295A / D16以下 ・ SD345 / D19以上 ・ SD390 / D29以下 ・ ・高強度せん断補強筋（建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工： ） ※ 図面による
	○	2. 継手及び定着	柱及び梁の主筋 （ ※ D19以上 ・ ） ・ 重ね継手 ※ ガス圧接 （5．3．4） その他の鉄筋 （ ※ D16以下 ・ ） ※ 重ね継手 ・（ ）
	○	3. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	かぶり厚さは目地底から算定する。 （5．3．5） ※（表5．3．6）による ⊙構造特記仕様書による ・図示による ⊙耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ 施工箇所 / 標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm） ⊙柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面 / ※10 ・ 25 ※柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は，表5.3.6によるほか，経の1.5倍以上確保すること。
	○	4. 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ補強	補強箇所 ※ 土間 ・ 犬走り ・（ ）
	○	5. 梁貫通孔の補強形式	補強形式 ※ Ｈ形 ⊙ 構造図による （別図7．1）（表7．1～3）
	○	6. 圧接完了後の試験	検査方法 ⊙ 引張試験（JIS Z 3120） ※ 超音波探傷試験 ・ 外観試験 （5．4．10）
	○	7. 各部配筋	図示のないものは、各部配筋参考図による。
⑥コンクリート工事	○	1. 一般事項 ※構造図による	コンクリートの類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 （6．2．1） 気乾単位容積質量による種類 ⊙ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート （6．2．1） 設計基準強度(Fc) （6．2．2） 種別 / 普通コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²） 15 / 18 / 21 / 24 / 27 / 30 / 36 部品 / 軽量コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）・15・18・21・24・27・（ ） （6．2．2） ※ 構造体強度補正値（普通ポルトランドセメント） その他のセメント種類は（表6．3．2）による コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温θの範囲(℃) / 0≦θ<8 / 8≦θ 構造体強度補正値（N/mm²） / 6 / 3 （6．3．2）
	○	2. ｺﾝｸﾘｰﾄの品質	普通コンクリート気乾単位容積質量 ※ 2.3t/m3程度 ・（ ） （6．2．3） スランプ ※ （6．2．4） 打込み箇所 / 基礎、基礎梁、土間スラブ / 柱、梁、スラブ、壁 所要スランプ(cm) / ※ 15 ・ 18 ・ / ※ 18 部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 ※ 6．2．5(1)・（ ） （6．2．5） 合板使用打放し仕上げ種別 （6．2．5）（6．8．2） 種別 / 適用箇所 / ＪＡＳ種別 / 合板厚さ / 塗装 ⊙ A種 / RC-A(化)の部分 / ※ 表面加工品 ・ B-C / ※12 ・15 / ※ 有 ・ 無 ⊙ B種 / 見えがかりにならない部分 / ・ 表面加工品 ※ B-C / ※12 ・15 / ・ 有 ※ 無 ・ C種 / / ・ 表面加工品 ※ B-C / ※12 ・15 / ・ 有 ※ 無 平たんさ ※表6．2．5 ・（ ） （6．2．5）
	○	3. ｺﾝｸﾘｰﾄの材料 ※構造図による	セメント ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種 ・（ ） （6．3．1）（表6．3．1） ・高炉セメントB種 （適用箇所： ） ・（ ） （適用箇所： ） ・ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄは、JIS R 5210ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄに示された規定の他、右の規定に適合しなければならない。全アルカリの算出は、JIS R 5210ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ(低ｱﾙｶﾘ形)による。 水和熱(J/g) / 7日 352以下 / 28日 402以下 全アルカリ(%) / 0.75以下 塩素(%) / 0.035以下 骨材 フェロニッケルスラグ骨材及び鋼スラグ細骨材 （ ・使用する ・使用しない） アルカリシリカ反応性区分（※ Ａ ・ Ｂ ） （6．3．1） 混和材料 ⊙ 混和剤（ ・ ＡＥ剤 ・ ＡＥ減水剤 ・ 高性能ＡＥ減水剤 ・ ） ・ 混和材（ ・ フライアッシュⅠ種 ・ フライアッシュⅡ種 ・ 高炉スラグ微粉末 ・ ｺﾝｸﾘｰﾄ用膨張材 ・ ） （6．3．1）
	○	4. 型枠	外部コンクリート打放し仕上げ打増し厚さ ※ 20mm ⊙（ 25 ） ひび割れ誘発目地位置等 ※ 図示による ・（ ） （6．8．1） 床型枠用鋼製デッキプレート 建築技術評価「鉄筋コンクリートの建築物等における床型枠用鋼製ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄの開発」において評価を取得したもの又は、評価名簿によるもの。 （6．8．3） ＭＣＲ工法用シート ・ 使用する ⊙ 使用しない スリーブ材種 ・ 鋼管 ⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ つば付き鋼板 （6．8．2）（表6．8．1）
	○	5. 無筋コンクリート ※構造図による	適用箇所 （ ） （6．14．1） 設計基準強度 ※ 18N/mm2 ・（ ） （6．14．1） スランプ ※ 15cm ・ 18cm ・（ ）
⑦鉄骨工事	○	1. 鉄骨製作工場	※ 製作工場 （グレード ⊙Ｈ ⊙Ｍ ・Ｒ ・Ｊ ・ 指定なし） （7．1．3） 施工管理技術者 ※ 適用する ・ 適用しない （7．1．4）
	○	2. 材料 ※構造図による	鋼材 （7．2．1）（表7．2．1） 種類の記号 / 使用箇所 / 規格等 SS400 / 図面による / ※JIS規格 / / ※JIS規格 高力ボルト （7．2．2） ※ トルシア形高力ボルト（セットの種類２種（Ｓ 10 Ｔ）） ・ ＪＩＳ形高力ボルト（セットの種類２種（Ｆ 10 Ｔ）） ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト（セットの種類１種（Ｆ 8 Ｔ相当）） 径 （ ） 普通ボルト （7．2．3）（表7．2．3） ボルト （※ 六角ボルト ・ ） ナット （※ 六角ナット ・ ） ボルト径 （ ） アンカーボルト （7．2．4） 構造用材質 （※ＳＮＲ400 ・ ） 建方用材質 （※ＳＳ400 ・ ） 形状及び寸法 （ ） ターンバックル （7．2．6） ターンバックル胴の種類： ※割枠式 ・（ ） ターンバックルボルトの種類： ※羽子板ボルト ・（ ） デッキプレート （7．2．7） 構造用材質 （ ） 形状及び寸法 （ ） スタッド （7．2．8） 種類 （ ） 柱底均しモルタル （7．2．9） ・ 無収縮モルタル（製造所：評価名簿による） スカラップ ※ 改良型（国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」 別図３．１１） ・ （ ） 材料試験 （7．2．10） ※ 規格品証明書を提出
	○	3. 工作一般	仮組 ・ 実施する ※ 実施しない （7．3．10） 高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、へりあき等（国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による）
	○	4. 溶接接合 ※構造図による	開先形状（国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による） ・ レ形 ・ Ｋ形 ⊙（ 鉄骨工事標準図による ） （7．6．4） 余盛り高さ ※ 鉄骨精度検査基準による ・（ ） （7．6．7） ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 （ ） 溶接部の試験 （7．6．12） ※ 外観試験 (a)（鉄骨工事標準図による） (b)（ ） ※ 超音波探傷試験 ※行う ＡＯＱＬ（工場溶接） ※レベルⅠ：4.0% ・レベルⅡ：2.5% ⊙ 30%(第三者検査) 注)社内自主検査は工場溶接部100%,現場突合せ部100% 検査水準 ※第６水準 ⊙（鉄骨工事標準図による）
	○	5. 錆止め塗装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲（ なし ） （7．8．2） 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲（ 1回 ） 種別 鋼製スリーブ内面（ ※ As種 ・ Bs種 ） （7．8．4）（表18．3．1） 耐火被覆材の接着面 （ ） （7．8．4）
	○	6. 耐火被覆 ※設計図による	種類 （耐火材吹付け・耐火材巻付け） （7．9．2） 材料 （吹付ロックウール・耐火シート） 工法 （吹付け工法（半湿式）・シート接着工法） 耐火性能（1・2時間耐火） （7．9．3）
	○	7. 工事現場施工	建方精度 ※ 鉄骨精度検査基準による ・（ ） （7．10．2） アンカーボルト ・ 構造用アンカーボルト 形状（ ）寸法（ ） （7．10．3） ※ 鋼製アンカーフレーム ・図示による ・（ ） ⊙ 建方用アンカーボルト 保持及び埋込方法（ ・ A種 ※ B種 ・ C種） （表7．10．1） 柱底均しモルタル工法 工法（※Ａ種 ・ Ｂ種） 厚さ（ ）
	○	8. 軽量形鋼	ボルト接合 ※ 普通ボルト接合 ・（ ） （7．11．2）
	○	9. 溶融亜鉛めっき工法	亜鉛めっき （7．12．4）（表14．2．2） 亜鉛めっき種別 / 材料 / 適用部位 Ａ 種 / 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類 / 柱・梁 Ｂ 種 / 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類 / 図示 Ｃ 種 / 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 / 図示 高力ボルト接合摩擦面 ・ ブラスト処理 ・（ ） （7．12．5）
⑧コンクリートブロック工事	○	1. 押出成形ｾﾒﾝﾄ板	種類（ 図示 ）形状（ 図示 ）厚さ（ 60 ）幅（ 600・900 ） （8．5．2） 外壁パネル工法 工法の種別：（⊙ Ａ種 ⊙ Ｂ種）工法（縦張り）目地幅（10） （8．5．3） 間仕切壁パネル工法 工法の種別：（・Ｂ種 ⊙Ｃ種） （8．5．4）
⑨防水工事		1. 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水	（9．4．2～3）（表9．4．1） 工程種別 / 適用箇所 / 仕上げ塗料塗り / 厚さ ・Ｓ－Ｆ１ / / ・カラー ・シルバー / ※ 1.2mm ・ ・Ｓ－Ｆ２ / / / ※ 1.5mm ・ ・Ｓ－Ｍ１ / / ・カラー ・シルバー / ※ 1.5mm ・ ・Ｓ－Ｍ２ / / / ※ 1.5mm ・ 機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること （9．4．4） 可塑剤移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ・（ ）
	○	2. 塗膜防水 ※仕上表による	ウレタンゴム系塗膜防水 （9．5．3）（表9．5．1～2） 工程種別 / 施工箇所 / 備考 ・X-1（絶縁工法） / ※ 屋根 / ・X-2（密着工法） / ※ 屋根 / ゴムアスファルト系塗膜防水 工程種別 / 施工箇所 / 備考 ・Y-1 / 地下外壁 / ・Y-2 / 屋内 / 保護層 ・ 適用する ・ 適用しない
	○	3. シーリング	シーリングの種類は、表9．7．1による （9．7．2）（表9．7．1） 目地寸法 ※ 9．7．3(1)（7～ｳ）・（ ） （9．7．3） 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 （9．7．5）
	○	4. 保証書及び期間	防水工事の施工については、１０年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。

みのだ・ブランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
建築工事特記仕様書（新築）(2)	A１ － A３ －	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A － ０２

章	適用	項目	特記事項

⑪ タイル工事

○ 1. 共通事項

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 （11．1．3）
位置　外壁（ ※表11．1．1 ・図示による）　屋内（ ・　　）
寸法　※ 9．7．3 ・（　　）

○ 2. 施工後の確認及び試験

※ 外観の確認　※ 打診による確認　※ 引張接着試験 （11．1．7）

○ 3. 材料
仕上表による

タイルの種類 （11．2．2）（11．3．2）

施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注

製造所　（ 監督員の承諾を得るものとする。 ）
タイル試験張り　（ ⊙ 実施する　・実施しない）　タイル見本焼き（ ⊙ 実施する　・実施しない）

4. ﾓﾙﾀﾙによるタイル張り

・既調合モルタル（　　） （11．2．3）
・ 下地及びタイルごしらえ　（ ・MCR工法　・目荒し工法（高圧水洗））　（11．2．7）（表11．2．3）
タイル張りの種別　・（　　）　・（　　）
工法　（　　）　・（　　）

○ 5. 有機系接着剤による タイル張り

⊙ 外装タイルにおける目地詰め　（ ・行う ⊙行わない ） （11．3．3）
・ 下地及びタイルごしらえ　（ ・MCR工法 ・目荒し工法 ） （11．3．5）
⊙ 外装タイル標準おさまりは部分詳細図による。

⑫ 木工事

○ 1. 材料

木材　木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 （12．2．1）
・ 地域産材の場所　（　　）地域
ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している市内産材を使用すること。
なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。
ア. 認証かごしま材の品質（乾燥、寸法、面材品質）と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの
イ. 監督員の立会い検査により、上記ア の品質が確認されたもの
指定部分　⊙ 構造材全て　・その他（ ・　　・　　）
含水率　構造材　※ ２０%以下とする。
下地材　※ A種　・B種
造作材　※ A種　・B種

製材
「JAS1083」による製材
下地用製材　樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質　※ 図示による
等級　・ 図示による　※ ２級
造作用製材　樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質　※ 図示による
板類における等級　※　枠、額縁、敷居、かもい、かまちの類の見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上　・ 図示による
広葉樹製材　樹種、寸法、保存処理及び材面の品質　※ 図示による
等級　※ １等　・ 図示による　・（　　）
含水率　※ １０%以下　・図示による　・（　　）
「JAS1083」以外の製材
下地、造作及び仕上げに用いる製材　樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理　※ 図示による
造作材の材面の品質の基準　※ A種　・B種 （表１２．２．２）

造作用集成材
「JAS1152」による造作用集成材
造作用集成材　品名、樹種、見付け材面数、寸法　※ 図示による
見付け材面の品質　※ １等　・ 図示による
化粧ばり造作用集成材　品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法　※ 図示による
見付け材面の品質　※ １等　・図示による
化粧ばり構造用集成柱　品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質　※ 図示による

「JAS1152」以外の造作用集成材
造作用集成材　樹種、寸法、見付け材面の品質　※ 図示による
含水率　※ １５%以下　・図示による　・（　　）
化粧ばり造作用集成材　樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質　※ 図示による
含水率　※ １５%以下　・図示による　・（　　）
化粧ばり構造用集成柱　樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ　※ 図示による
含水率　※ １５%以下　・図示による　・（　　）

造作用単板積層材
「JAS0701（単板積層材）」に基づく造作用単板積層材
品名、寸法、表面の品質及び防虫処理　※ 図示による
「JAS0701（単板積層材）」以外の造作用単板積層材
寸法、表面の品質及び防虫処理　※図示による
含水率　※ １４%以下　・図示による　・（　　）
JAS3079（直交集成板）　品名、強度等級、種別、接着性能（使用環境）、樹種及び寸法　※ 図示による

合板等
下地用普通合板　品名、単板の樹種名、防虫処理　※ 図示による
厚さ　※ ５．５mm　・図示による　接着の程度　※ １類　・図示による
板面の品質　※ ２等以上（広葉樹）　※ C－D以上（針葉樹）　・図示による
下地用構造用合板　品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級　※ 図示による
厚さ　※ １２mm　・図示による
接着の程度　※１類（湿潤箇所を除く）　※ 特類（湿潤箇所）　・図示による
等級　※ ２級以上　・（　　）
板面の品質　※ C－D以上　・図示による
化粧ばり構造用合板　品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理　※ 図示による
湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度　※特類　・図示による
天然木化粧合板　厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理　※ 図示による
特殊加工化粧合板　品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理　※ 図示による
パーティクルボード　表裏面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ　※ 図示による
曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ
※ 厚さ１５mm、曲げ強さ１３タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ
構造用パネル　品名、厚さ　※ 図示による
MDF　表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分　※ 図示による
難燃性による区分、厚さ　※ 図示による
接合具等 （12．2．2）
造作材の化粧面の釘打ち　※隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
諸金物の形状、寸法、材質　※ １２．２．２（２）（ア）による・（　　）・図示による

○ 2. 窓、出入口その他

木材　窓、出入口、その他に用いる製材　吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ ひのき　・（　　） （12．5．1）
その他　・松　※ 杉　⊙ 図示による

○ 3. 床板張り

木材 （12．6．1）
縁甲板、上がりがまちに用いる製材　※ ひのき　⊙（ なら ）・図示による

⑬ 屋根及びとい工事

○ 1. 長尺金属板葺

（13．2．2）（13．2．3）（表13．2．1）

屋根葺き形式	材種（板・コイル）	表面処理	板厚（mm）
・ 心木なし瓦棒葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3312）	・ フッソ樹脂塗装	※ 0.4 ・ 0.5
⊙ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板（JIS G 3314）	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6 ・ 0.8
・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3318）	・ 焼付塗装	・ 0.8 ・ 1.0
	・ 溶融５５%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板（JIS G 3321）	⊙ 図示	・ 1.2 ⊙ 図示
	・ 塗装溶融５５%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板（JIS G 3322）		
⊙ 鼻隠し・ｹﾗﾊﾞ	⊙ 図 示		※ 0.6

専門工事業者は製造所の指定業者とする
塗膜の耐久性の種類　表面　・1類　・2類　・3類　裏面　・1類　・2類　・（　　）
めっき付着量　・（ AZ150 ）
下葺材料　※ アスファルトルーフィング９４０　・改質アスファルトルーフィング下葺材
工法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　※ 図示による
横葺きの場合のけらば納め　・つかみ込み納め　・けらば包み納め

○ 2. とい

とい （13．5．2）（表13．5．1）
材種等　※ 図示による
外部縦とい受け金物　※ ステンレス製　⊙ 鋼製（亜鉛めっき） （13．5．2）
形状・取付間隔　※ 図示による

○ 3. 保証書及び期間

屋根工事の施工については、１０年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。
保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。

⑭ 金属工事

○ 1. 一般事項

あと施工アンカー施工後の確認引張試験　⊙ 実施する　・実施しない （14．1．3）

○ 2. 表面処理

⊙ アルミニウム及びアルミニウム合金 （14．2．1）（表14．2．1）

種類	施工箇所
・ AB－１種（無着色）	
・ AB－２種（ ・ ブラウン系　・ブラック　・ ステンカラー）	
・ AC－１種（無着色）	
・ AC－２種（ ・ ブラウン系　・ブラック　・ ステンカラー）	
・ BA－１種（無着色）	
・ BA－２種（ ・ ブラウン系　・ブラック　・ ステンカラー）	
※ BB－１種（無着色）	
⊙ BB－２種（ ・ ブラウン系　・ブラック　・ ステンカラー）	アルミ建具
・ BC－１種（無着色）	
・ BC－２種（ ・ ブラウン系　・ブラック　・ ステンカラー）	
・ C種	

陽極酸化皮膜着色方法　※ 二次電解着色　（色合：　　）・（　　）

・ 鉄鋼の亜鉛めっき （14．2．2）（表14．2．2～4）

表面処理方法	種類	施工箇所
溶融亜鉛めっき	⊙ A種	手すり
	⊙ B種	とい
	・ C種	
電気亜鉛めっき	・ D種	
	・ E種	
	・ F種	

野縁等の種類　屋内　※ 19形　・ 25形 （14．4．2）（表14．4．1）
屋外　・ 19形　※ 25形

○ 3. 軽量鉄骨天井下地

・ 野縁受、吊ボルト及びインサート間隔（屋外）　（　　） （14．4．3）（表14．4．2）
・ 野縁の間隔（屋外）　（　　）
・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法　※ 図示による　・（　　） （14．4．4）
・ 天井ふところが3.0m以上の補強方法　※ 図示による　・（　　）
・ 耐震性を考慮した補強　※ 図示による　・（　　）
・ 屋外の軒･ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強　※ 図示による　・（　　）

○ 4. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 （14．5．1～14．5．4）（表14．5．1）

種類	部材		施工箇所
⊙ 50形	⊙ スタッド	⊙ ランナ	図示
⊙ 65形	⊙ スタッド	⊙ ランナ	図示
⊙ 90形	⊙ スタッド	⊙ ランナ	図示
・ 100形	・ スタッド	・ ランナ	

○ 5. 金属成形板張り
※仕上表による

（14．6．2）（14．6．3）

形状	製法	材種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理（14.2.1～3、表14.2.1～2 による）
・ スパンドレル形	・ 押出し	※ アルミニウム製			
	・ ロール	・			
・ パネル形	※ プレス				

伸縮調整継手　※ 設けない　・ 設ける（施工箇所は図示）

○ 6. アルミニウム製笠木

（14．7．2）（14．7．3）

種類	表面処理	備考
・ 250形	・ AB－１種　・ AB－２種　・ AC－１種　・ AC－２種	・ 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による
・ 300形	・ BA－１種　・ BA－２種　※ BB－１種　⊙ BB－２種	
・ 350形	・ BC－１種　・ BC－２種　・ C種　・ U-BE	
⊙ 図示		

※ 工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること

⑮ 左官工事

○ 1. 仕上塗材仕上げ
※仕上表による

材料 （15．6．2）（表15．6．1～2）
JIS A 6909（建築用仕上塗材）

種類	呼び名	仕上げ形状等
⊙ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状　・ 着色骨材砂壁状
・ 複層仕上塗材	※ 複層塗材Ｅ ・ 複層塗材ＲＥ ・ 防水形複層塗材Ｅ	※ ゆず肌状　・ 凸部処理　・ 凹凸状 耐候性　※ 耐候形３種 上塗材 溶媒　※ 水系　・ 溶剤系 樹脂　※ アクリル系 外観　※ つやあり　・ つやなし ・ メタリック

⑯ 建具工事

○ 1. アルミニウム製建具

（16．2．2,4,5）（表16．2．1，2）

種別		外部に面する建具	内部建具	枠見込み(mm)
※ 普通ﾄﾞｱ ｾｯﾄ、ｻｯｼ	※ ｺﾝｸﾘｰﾄ系・鉄骨下地	・ A種　⊙ B種		※ 70　⊙ 図示
	・ 木下地	・ C種		※ 100　⊙ 図示
		・ D種　・ E種		※ 70
・ 防音ドアセット		遮音性の等級（　　）		
・ 断熱ドアセット		断熱性の等級（　　）		
・ 耐震ドアセット		面内変形追随性の等級（　　）		
表面処理（表14.2.1による）		※ BB-１種　⊙ 建具表による	※ AC-１種 ⊙ 建具表による	

網戸防虫網　※ 合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス(SUS316)製 （16．2．3）
結露水　※ 屋外排出
くつずり仕上　※ HL
水切り板、ぜん板等　※ 図示
製造所　（ 監督員の承諾を得るものとする。 ）

○ 2. 鋼製建具
※建具表による

（16．4．2,4,5）（表16．4．1,2）

種別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼板類の厚さ
※ 標準型建具	・ 表16．4．1を適用する ・ 適用しない	・ S－4　⊙ S－5 ・ S－6　・	※ 表16．4．2による ・ 適用しない
※ 標準型建具以外の建具	・ 表16．4．1を適用する ・ 適用しない	・ S－4　⊙ S－5 ・ S－6　・	※ 表16．4．2による ・ 適用しない

製造所　（ 監督員の承諾を得るものとする。 ）

○ 3. ステンレス製建具
※建具表による

材料　※ SUS304　・SUS430J1L　・SUS443J1　・（　　） （16．6．3）
表面仕上げ　※ HL　・No.8（鏡面）　・#400　・No.2B　・（　　） （16．6．4）
曲げ加工　※ 普通曲げ　・角出し曲げ （16．6．5）
製造所　（ 監督員の承諾を得るものとする。 ）

○ 4. 建具用金物
※金物材質等は建具表による

※ 建具製作所の仕様による　⊙ 図示による （16．8．1,2,3）（表16．8．1）
マスターキー　※ 製作する　・製作しない （16．8．4）
鍵箱　※ 必要（　　組用）・不要

○ 5. 重量シャッター

（16．11．2～5）

種類	耐風圧性能	開閉機能	ｼｬｯﾀｰｹｰｽの設置	危害防止機構
・ 管理用シャッター	・50　・80	※ 上部電動式（手動併用）	・ 有　・ 無	
・ 外壁用防火シャッター	・120　・		※ 有	※ 危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式
⊙ 屋内用防火シャッター		・ 上部手動式		
・ 防煙シャッター				

○ 6. ガラス

ＪＩＳ規格品 （16．14．2）
※ 材料、厚みは図示による

○ 7. ガラス留め材

アルミニウム製建具　※ シーリング(SR-1) （16．14．2,3）
※ ガスケット(グレイジングチャンネル形)（窓に適用）
鋼製･ステンレス製建具　※ シーリング(SR-1) （表 9．7．1）
木製建具　※ シーリング(SR-1)

⑰ カーテンウォール工事

○ 1. メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類

種類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
⊙方立方式
・バックマリオン方式　（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）　・スパンドレル方式
・パネル方式　・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は標仕表9.6.1による （9．6．2）（17．2．2）（表9．6．1）

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス 石、タイル	SR-1		
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※適用しない
・適用する（施工箇所：図示　　） （17．2．2）
断熱材　※適用しない （17．2．2）
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工個所※図示 ）
製品の寸法許容差　※標仕（表 17．2．1）による （17．2．3）（表 17．2．1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理 （17．2．3）（表 17．2．1）

種別	色彩等	
・A－１種　・B－１種	無着色	
・A－２種　・B－２種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・	

⊙着色塗膜　塗装材料（ U-BE ）焼付け方法（ 1 ）コート（ 1 ）ベーク
耐風圧性能 （17．1．3）
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧 2,800N/㎡ 以上及び負圧 2,800N/㎡ 以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状態
※4m以下	※±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

耐震性能 （17．1．3）
設計用震度　水平方向（KH）　※1.0　・
垂直方向（KV）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないシーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

水密性　・W－4　⊙W－5　・ （17．1．3）
気密性　・A－3　⊙A－4　・ （17．1．3）
耐火性能　※適用しない　・適用する（　　時間、施工箇所：図示）
映像調整　※行わない　・行う（建具表による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

章	適用	項目	特記事項
⑱ 塗装工事	○	1. 材料	※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は，防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。
	○	2. 素地ごしらえ	⊙ 木部　不透明塗料塗り　（※ A種 ・ B種 ）（18．2．2）（表 18．2．1） 透明塗料塗り　（・ A種 ※ B種 ） ⊙ 鉄鋼面　（・ A種 ・ B種 ※ C種 ）（18．2．3）（表 18．2．2） （耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする） ⊙ 亜鉛めっき鋼面　（⊙ A種 ・ B種 ）（18．2．4）（表 18．2．3） ⊙ モルタル及びせっこうプラスター面　（・ A種 ※ B種 ）（18．2．5）（表 18．2．4） ⊙ コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面　（・A種 ※B種 ）（18．2．6）（表 18．2．5） （押出成形セメント板面及び耐候性塗料塗り(DP)については、表18．2．6による）（表 18．2．6） ⊙ せっこうボード及びその他ボード面　（※ A種・B種 ）（18．2．7）（表 18．2．7）
	○	3. 塗料塗り	⊙ 錆止め塗料塗り（18．3．2～3）（表 18．3．1～6）

下地	錆止め塗料種別	塗り種別	塗り種別	
鉄鋼面	錆止め塗装のまま	※ As種	見え掛り部分	※ A種 ・ B種
	SOP	※ As種	見え隠れ部分	・ A種 ※ B種
	EP-G	・ As種 ※ Bs種		
	DP	1回目 ※ Cs種 2･3回目 ※ Ds種	表18．3．4	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※ Az種 ・ Bz種	鋼製建具	※ A種 ・ B種
	EP-G	※ Cz種	その他	・ A種 ※ B種
	DP	※ Bz種	表18．3．6	

⊙ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)
塗料種類　※ 1種 ・ 2種（18．4．2）
木部塗り種別　（屋外）※ A種 ・ B種（18．4．3）
（屋内）・ A種 ※ B種 （多孔質広葉樹の場合を除く）
鉄鋼面塗り種別　・ A種 ※ B種（18．4．4）
・ クリヤラッカー塗り (CL)（18．5．2）（表 18．5．1）
塗り種別　・ A種 ※ B種
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)（18．6．2）（表 18．6．1）
塗り種別　・ A種 ※ B種
⊙ 耐候性塗料塗り (DP)
・ 鉄鋼面上塗り塗料の等級　・1級 ・2級 ・3級（18．7．2）（表 18．7．1）
・ 亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級　・1級 ・2級 ・3級（18．7．3）（表 18．7．2）
・ ｺﾝｸﾘｰﾄ面・押出成形ｾﾒﾝﾄ板面上塗り塗料の等級（18．7．4）（表 18．7．3）
・1級 ・2級 ・3級
⊙ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)（18．8．2～5）（表 18．8．1～4）
・ 塗り種別（下地：ｺﾝｸﾘｰﾄ、押出成形ｾﾒﾝﾄ板、ﾓﾙﾀﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ等）・ A種 ※ B種
・ 塗り種別（下地：鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面）　・ A種 ※ B種
⊙ 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)（18．9．2）（表 18．9．1）
塗り種別　・ A種 ※ B種
⊙ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)（18．10．2）（表 18．10．1）
木部塗り種別　・ A種 ※ B種　・ A種 ※ B種
⊙ オイルステイン塗り (OS)（18．11．2）（表 18．11．1）
塗料　・（　　）　□図示による
⊙ 木材保護塗料塗り (WP)（18．12．2）（表 18．12．1）
塗り別　・ A種 ※ B種

章	適用	項目	特記事項
⑲ 内装工事	○	1. ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ及びｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ張り	接着剤　壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。（19．2．2） 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。 ビニル床シート

種類	色柄	厚さ	工法	備考
※ FS ・	・ 無地 ・ 模様	※ 2.0 ・	※ 熱溶接 ・ 突付け	・ 防滑性ビニル床シート ・

ビニル床タイル

種類	色柄	厚さ(mm)	備考
※ コンポジションビニル床タイル(KT) ・ 単層ビニル床タイル(TT) ⊙ 複層ビニル床タイル(FT) ・	・ 無地 ・ 模様	※ 2 ⊙ 5	・ 防滑性床タイル

特殊機能床材
帯電防止床シート又は床タイル　種類（　　）　性能（　　）　厚さ（　　）
視覚障害者用床タイル　種類（　　）　形状（　　）
耐動荷重性床シート　種類（　　）　厚さ（　　）
ビニル幅木　厚さ（ ※ 1.5mm以上　・　）　高さ（※ 60mm ・ 100mm ）　種類　（　　）
ゴム床タイル　種類（　　）　厚さ（　　）　色柄（　　）　寸法（　　）
下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別　ビニル床シート、タイル（　　）
ゴム床タイル（　　）

○ 2. カーペット敷き
※仕上表による
・ 織じゅうたん　種別　（・ A種 ・ B種 ・ C種 ）　織り方（　　）（19．3．2～3）（表19．3．1～2）
パイル形状　（・ カットパイル　・ ループパイル　・　　）
帯電性（人体帯電圧　※ 3kv以下　・　　）
・ タフテッドカーペット　パイル形状　（・ カットパイル　・ ループパイル　・　　）
パイル長（　　）　帯電性（人体帯電圧　※ 3kv以下　・　　）
工法（・ グリッパー　・ 全面接着 ）
⊙ タイルカーペット　種類　（※ 第1種 ・　）　パイル形状（※ ループパイル ・　　）
寸法　（※ 500mm角　・　）　総厚さ（※ 6.5～8.0mm　・　）
平場敷き方　（※ 市松敷き　・　）
階段敷き方　（※ 模様流し　・　）
下敷き材　（※ JIS L 3204 第2種2号　呼び厚さ8mm　・　）
取付け用付属品　見切り　材質（　　）　種類（　　）　形状（　　）
押え金物　材質（　　）　種類（　　）　形状（　　）

○ 3. 合成樹脂塗床（19．4．2～3）（表19．4．4～8）

材料	種類	仕上げの種類
・ 厚膜型塗床材	・ 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのべ工法　（ ※ 平滑　・ 防滑 ） ・ 厚膜流しのべ工法　（ ※ 平滑　・ 防滑 ） ・ 樹脂モルタル工法　（ ※ 平滑　・ 防滑 ）
⊙ 薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材 ⊙ 水性アクリル樹脂系防塵塗床材	⊙ 平滑仕上げ

章	適用	項目	特記事項
		4. フローリング張り	（19．5．2～7）（表19．5．1～5）

工法		フローリング種類		寸法等	樹種
※ 釘留め工法 （接着剤併用）	※ 根太張り工法	単層	※ フローリングボード	表19．5．1	・ なら ・ さくら ・
		複合	・ A種 ・ B種 ※ C種	表19．5．2	
	・ 直張り工法	単層	※ フローリングボード	表19．5．3	・ なら ・ さくら ・
		複合	・ A種 ・ B種 ・ C種	表19．5．4	
・ 接着工法		単層	・ フローリングブロック	※ 図示による	✔ なら ・ さくら ・ チーク
			・ フローリングボード	表19．5．5	
		複合	・ A種 ・ B種 ・ C種	表19．5．6	

○ 5. 畳敷き
畳の種別　（和室）・ A種 （ 畳表　・JS　・J1 ）　・ B種（19．6．2）（表 19．6．1）
※ C種 （ 畳床 ※ PS－C20 ・PS－C25 ・ PS－C30 ）
・ D種 （ 畳床 ・ KT－Ⅰ　・ KT－Ⅱ　・KT－Ⅲ　・KT－K　・KT－N ）
（柔道場）　製造所　（ 監督員の承諾を得るものとする。 ）

○ 6. せっこうボード、その他ボード及び合板張り
せっこうボード、その他ボード類（19．7．2～3）（表 19．7．1～5）

種類	種別	張り方			厚さ	備考
⊙ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	⊙ GB-R ⊙ GB-S ⊙ GB-F ・ GB-L	⊙下地張り	天井	※ 突付け　・ 突付けV目地 ⊙ 継目処理　・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	
			壁	・ 突付け　・ 突付けV目地 ⊙ 継目処理　・ 目透し	⊙ 9.5 ⊙ 12.5 ⊙ 15.0 ⊙ 21.0	
	GB-D	・上張り	天井	※ 突付け　・ 突付けV目地 ・ 継目処理　・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	
			壁	・ 突付け　・ 突付けV目地 ・ 継目処理　※ 目透し	・ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・	
⊙ 化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	⊙ ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 (GB-D)	・直張り		※ 突付け　・ 突付けV目地 ・ 継目処理　・ 目透し	※ 9.5	※ 不燃 ・ 準不燃 ※ 455×910 ・ 910×910
	・ 木目模様 (裏桟付) (GB-D)			・ 突付け　・ 突付けV目地 ・ 継目処理　※ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	防火認定は準不燃とし専用軽鉄下地材付き
⊙ 無石綿けい酸ｶﾙｼｳﾑ板				・ 突付け　・ 突付けV目地 ・ 継目処理　※ 目透し	⊙ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・	JIS A5430に準拠したﾌｧﾝﾌｧｽﾍﾞｽﾄのもの
⊙ 木毛セメント板	⊙ 難燃木毛セメント板 （2級以上） ・ 断熱木毛セメント板	・ ３０分耐火以上 ・ 準不燃		継目用金物	⊙ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50	監督員の承諾による工場

合板類

材種	規格	厚さ	防虫処理	工法
・ 普通合板	品名（　　） 板面の品質　広葉樹（ ※ 2等以上 ・　　） 針葉樹（ ※ C-D以上 ・　　） 単板の樹種名（　　）	※ 5.5 ・ 9 ・ 12	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ・ B種
・ 天然木化粧合板	化粧板の単板の樹種名（　　）	・	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ・ B種
・ 特殊合板化粧合板	品名（　　） 接着の程度（　　）　単板の樹種名（　　） 化粧加工の方法 （・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・　　）	・	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ・ B種

下地　⊙ 軽量鉄骨下地　・ 木下地　・

○ 7. 断熱・防露（19．9．2～3）

種類		施行箇所	厚さ(mm)	品質等
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	※ 2種b	・ 一般部 ・	・ 20 ・ 45,50	特定フロンを使用しないもの
	※ 3種b	・ 屋根 ・ ピット上部	・ 20 ・ 45,50	
⊙ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 （現場発泡断熱材）		※ 断熱材補修部分		特定フロンを使用しないもの
		・ 一般部 ・ 熱橋部	⊙ 図示 ・ 25,40	難燃性 ※A種1H ・A種1
		製造所　：　監督員の承諾する製造所		

章	適用	項目	特記事項
⑳ ユニット及びその他の工事	○	1. フリーアクセスフロア	床面から仕上げ材天端までの寸法　※ 100 ・ 110 ⊙ 80（20．2．2） 表面仕上材　※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル （ ・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ ） 床パネルの材質　※ アルミ合金ダイカスト製　⊙ スチール製又は複合材等　・ 寸法　※ 450角以上、600角以下　・ 適用地震時水平震度(Ks)　(1階及び地階)　※ 0.6以上　・ (中間階)　※ 0.6以上、1.0以下　・ (最上階)　※ 1.0以上　・ 耐荷重性能　※ 3,000N(製造所は評価名簿による)　・ 5,000N　・ 空調用孔あきパネル　枚数（　　）　材質（　　） コンセント開口　適用室　（　図示　） ｺﾝｾﾝﾄ部分以外にﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの内からﾌﾛｱ面上へ配線取り出し開口を全ﾊﾟﾈﾙに有すること。 試験方法は、JIS A 1450（フリーアクセスフロア試験方法）による。 特記以外の仕様は製造所の仕様とする。
	○	2. 可動間仕切（既製間仕切） ※設計図による	（20．2．3）

構造形式	表面板及び厚さ	パネル仕上げ	パネル見込み
・ パネル式 ・ スタッド式	鋼板厚さ(mm)　※ 0.5以上　・	※ 焼付塗装（常備色程度） ・	※ 60以上 ・ 50
・ ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	鋼板厚さ(mm)　※ 0.5以上　・ スタッド アルミニウム製 40角	※ 焼付塗装（常備色程度） ・	※ 30以上 ・

品質　JIS A 6512　又は　評価名簿による　　ガラス留材　※ガスケット　・シーリング

章	適用	項目	特記事項
	○	3. 移動間仕切（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ） ※設計図による	パネル操作方法　（　手動式　）（20．2．4） パネル表面材の材質　（ ※ 鋼板 ・　） パネル表面材仕上げ　（ ⊙ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り ・　） パネル圧接装置操作方法　（　）遮音性能 （ ・ 一般ﾀｲﾌﾟ(36dB未満) ・ 遮音ﾀｲﾌﾟ(36dB以上)） ハンガーレール　取付下地補強方法 （ ※ 20．2．4(3)(ｳ) ・ 固定方法 （ ・ あと施工アンカー(材質：　、寸法：　）・ 製造所　評価名簿による
	○	4. トイレブース ※設計図による	表面仕上げ材　※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色　アルミ製コーナーエッジ付き)（20．2．5） ・ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部　※ 幅木タイプ　・ 足金物型 製造所　評価名簿による
	○	5. 手すり及びﾀﾗｯﾌﾟ	（20．2．6）（20．2．12）

種類	材料の種別	表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)
・ 手すり	※ ステンレスSUS304	※ ＨＬ程度 ・ 鏡面程度 ・ #400
	⊙ 鉄（亜鉛めっき）	(外部) ※ C種 ・　(内部) ・
	・ アルミ	(外部) ・　(内部) ・
・ タラップ	※ ステンレスSUS304	※ 研磨無し ・
	・ 鉄（亜鉛めっき）	(内外部) ※ C種 ・

ステンレスSUS430を使用する箇所　（　　）

章	適用	項目	特記事項
	○	6. 階段滑り止め ※仕上表による	材種　※ SUS ・（　）（20．2．7） 形状　※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り　・ ゴムタイヤなし 両端フラットエンド　・ 無　※ 有 幅 (mm)　・ 35　※ 40 取付け工法　※ 接着工法　・ 埋込み工法(溶接)
	○	7. 床目地棒	床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。（20．2．8） ・ 黄銅製 4×12　⊙ ステンレス製 4×12　・ ステンレス製Π型 (幅40 内外厚さ2)
	○	8. 鏡	厚さ　※ 5mm　・（20．2．10）
	○	9. 表示 ※設計図による	・ 対人衝突防止表示　※ 図示（市販品　※ ステンレス製　径約30mm　・　）・ 無し ⊙ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。（20．2．11） ⊙ 室名表示　※ 図示による
	○	10. カーテン及びカーテンレール	レール、ブラケットの強さによる区分　※ 10-90 ・（　）（20．2．16）（表 20．2．1） 材料　カーテンレール　※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材（アルマイト仕上げ） ・ ステンレス製 工法　暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり　※ 300mm以上　・
㉑ 排水工事	○	1. 屋外雨水排水	材料　※ 図示による
	○	2. 縁石及び側溝 ※設計図による	材料　※ 図示による
㉒ 舗装工事	○	1. 路盤	・厚さ：　※図面による（22．3．2） ・材料：　※ 再生クラッシャランRC-40　・ クラッシャランC-40　・ 図面による（22．3．3） 再生クラッシャランは、原則としてかごしま認定ﾘｻｲｸﾙ製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。
	○	2. コンクリート舗装	・構成及び厚さ：　※図面による（22．5．2） ・寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合：　※ 用いない　・ 用いる（22．5．3） ・注入目地材料のタイプ：　※ 低弾性タイプ　・（　） ・溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径：　※ 鉄線径 6mm　網目150mm
	○	3. ブロック系舗装	・種類：　・ コンクリート平板舗装　⊙ インターロッキングブロック舗装　・ 舗石舗装（22．8．1） ・構成及び厚さ：　※図面による（22．8．2） ・ブロックの敷設パターン：　※ 監督員の指示による　・（　）
	○	4. 砂利敷き	・構成及び厚さ：　※図面による ・種別：　・ A種　⊙ B種（22．9．2） 再生クラッシャランは、原則としてかごしま認定ﾘｻｲｸﾙ製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。
㉓ 植栽工事	○	1. 樹木の植栽基盤整備	芝及び地被類　(23.2.2～3)（表23.2.1～2）[23.2.2、4]

適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲　・図示

（22．9．2）

樹木　(23.2.2～3)（表23.2.1～2）

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
・12以上	※100　・	※A種	⊙ 葉張りの範囲
・7以上～12未満	※80　・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
⊙3以上～7未満	※60　・	⊙C種	
⊙3未満	※50　・	・D種	・図示

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

章	適用	項目	特記事項
	○	2. 植込み用土	※現場発生土の良質土　⊙ 客土（※畑土 ⊙ 黒土）（23．2．3）
	○	3. 土壌改良材	土地改良材の適用　・適用する　⊙ 適用しない（23．2．3）
	○	4. 樹木	樹種、寸法、株立数等　※図示　・（23．3．2）
	○	5. 支柱	支柱材　※丸太（間伐材）　・真竹（23．3．2、3） 防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・ 形式　・図示　・
	○	6. 地被類	樹種、径、単位面積当たりの株数、芽立数　※図示　・（23．4．2）
	○	7. 屋上緑化	植栽基盤及び材料（23．5．2、3） ⊙屋上緑化プランター 土壌層の厚さ　※図示　・ 排水層　※軽量骨材（層の厚さ：図示　）　・板状成形品 植込み用土　※改良土　⊙ 人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等　※図示　・ プランター素材、寸法、形状　※図示　・ かん水装置　※設置する（種類　・　） ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ　・図示　・ 排水層　・軽量骨材（層の厚さ　：　）　・板状成形品 植込み用土　※改良土　・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等　※図示　・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・ (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による ・屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等　※図示　・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・ (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による
	○	8. 樹木の枯補償	※引き渡しの日から1年　・（　）（23．5．2、3）

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

章	適用	項目	特記事項
①各章共通事項	○	1. 適用基準等	外壁改修工事特記仕様書による。
	○	2. 技能士	※ 適用する ・ とび ・ 左官 ・ 塗装（建築塗装作業） ⊙ 樹脂接着材注入施工
	○	3. 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が５００万円以上の工事について、実績情報サービス（コリンズ）に基づき、 受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後１０日以内に、登録 内容の変更時は変更があった日から１０日以内に、（一財）日本建設情報総合センターに登録しなければならない。 また、登録完了後は、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督員に提出しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。 （ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日は含まない）
	○	4. 建築材料等	本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣 官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたも使用 する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとすることができる。
	○	5. 発生材の処理等	※ 建設副産物の処理 1) 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促 進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）、「建設工事公衆 災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2) 建設発生土及び建設廃棄物にあたっては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3) 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4) 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5) 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるｺﾝｸﾘｰﾄ・ｱｽﾌｧﾙﾄ塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設 （許可を受けた施設）へ搬出すること。 6) マニフェスト（管理票）の備考欄にせっこうボードの有無を明記するとともに、せっこうボードが含まれている場合は製造会社名 等を明記すること。
②防水工事	○	1. 塗膜防水 ※設計図による	ウレタン系塗膜防水 工程種別 ／ 施工箇所 ・ X－１（絶縁工法） ／ 平場部 ・ X－２（密着工法） ／ 立上り・設備架台
	○	2. 保証書及び期間	防水工事の施工については、１０年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。
③タイル工事	○	1. 陶磁器質タイル張り及びタイル型枠先付	タイルの種類 施工箇所 ／ 形状・寸法 ／ きじ（磁器・せっ器・陶器） ／ うわぐすり（無ゆう・施ゆう） ／ 役物（有・無） ／ 色（標準・特注） 立面図による ／ 300×100 ／ ・・・・・・・・・・ ／ ／ ・・・・・・・・・・ 製造所 （ 監督員の承諾を得るものとする。 ）
②左官工事	○	1. 仕上塗材仕上げ ※仕上表による	JIS A 6909（建築用仕上塗材） 種類 ／ 呼び名 ／ 仕上げ形状等 ・ 薄付け仕上塗材 ／ ・ 外装薄塗材Ｅ ／ ・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 内装薄塗材Ｅ ／ 砂壁状じゅらく ・ 可とう形外装薄塗材Ｅ ／ ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 防水形外装薄塗材Ｅ ／ ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状 ・ 外装薄塗材Ｓ ／ 砂壁状 ・ 内装薄塗材Ｗ ／ 京壁状じゅらく ・ 軽量骨材仕上塗材 ／ ・ 吹付用軽量塗材 ／ 砂壁状 ・ こて塗用軽量塗材 ／ 平たん状 ・ 可とう形改修用仕上塗材 ／ ・ 可とう形改修塗材Ｅ ／ ・ 凸凹状 ・ さざ波状 ・ 平坦状 ・ 可とう形改修塗材ＲＥ ／ 耐候性 ※ 耐候形2種 ・ 可とう形改修塗材ＣＥ ／ 上塗材 溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※ ウレタン系・ シリコン系 外観 ※ つやあり ・ 厚付け仕上塗材 ／ ・ 外装厚塗材Ｃ ／ 吹付け ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 内装厚塗材Ｃ ／ こて塗り ・ ひき起し ・ 凸部処理 ・ 外装厚塗材Ｅ ／ ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 複層仕上塗材 ／ ・ 複層塗材ＣＥ ／ ※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 可とう形複層塗材ＣＥ ／ 耐候性 ※ 耐候形３種 ・ 複層塗材Ｓｉ ／ 上塗材 ・ 複層塗材Ｅ ／ 溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 ・ 複層塗材ＲＥ ／ 樹脂 ※ アクリル系 ・ 防水形複層塗材ＣＥ ／ 外観 ※ つやあり ・ つやなし ・ 防水形複層塗材Ｅ ／ ・ メタリック ・ 樹脂モルタル薄塗り 外部幅木 ・ 高圧洗浄 15MPa
③塗装工事	○	1. 塗料塗り	耐候性塗料塗（ＤＰ） ※ 鉄部 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ2回塗ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂2回塗 ※ 樋 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ1回塗ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂2回塗
④外壁仕上塗材除去工事	○	1. 分析状況	既存仕上塗材における石綿含有の有無 ・ 未調査（以下の既存仕上塗材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。石綿が含有 されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。） 調査箇所（ 計○か所） ⊙ 調査済 ※報告書の貸与可 ⊙ 有 【使用箇所】 図面B-01参照 ・ 無
	○	2. 適用範囲	コンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁における浮き、欠損、爆裂、ひび割れ、の劣化改修工事 に先立ち行う石綿含有仕上塗材の除去工事に適用する。
	○	3. 法令等の遵守	大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守すると ともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。 大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。 また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。
	○	4. 施工計画	除去作業に先立ち、施工計画書（除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等）を作成して 監督員に提出すること。 施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい 防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。 作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。
	○	6. 除去作業	1) 共通事項 ① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。 ② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とすること。 ③ 作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。 ④ 作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。 ⑤ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。 ⑥ 除去完了後、作業箇所及びその周辺（ベランダ内部を含む）をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。 ⑦ 除去した仕上塗材及び養生材、保護衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。 2) 除去作業 ① 除去工法は、以下の石綿障害予防規則第6 条の2第2 項ただし書きに基づく隔離養生及び湿潤化と同等以上の効果を有する 処理工法とすること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。 ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、 適正条件を確認してから本施工すること。

章	適用	項目	特記事項

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事
建築工事特記仕様書（改修）(1)
A１ － A３ －
No. A － ０５
鹿児島市建設局建築部建築課

外壁改修工事特記仕様書

Ⅰ．一　般　事　項

１．適　用　範　囲

本特記の範囲は、設計図書に示した外壁のうちコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁を対象とし、これらの浮き、欠損、爆裂、ひび割れの劣化を改修する工事に適用する。その他の仕上げ外壁については、監督員と協議し、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編）（令和４年版）に基づき施工する。

※ 仕上塗材が石綿含有の場合は、各工法において下線部分を遵守すること。

２．打診調査及び調査報告書

外壁の改修範囲については、施工前に建築仕上診断技術者（ﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｸﾀｰ）による全面打診調査を行い、その結果に基づき、数量表及び図面（A3サイズ紙とJW-CADﾃﾞｰﾀ）で構成する「調査報告書」を作成し、監督員に提出すること。

なお、調査にあたってはマーキングを行い、監督員の打診検査後、全ての改修箇所について番号を表示すること。

３．検　　査

施工数量調査のマーキング後、監督員による打診検査を受けること。また、外壁改修完了後は吹付工事前に監督員の完了検査を受けること。

なお、施工中に、設計図書に明示のない箇所又は判断出来ない箇所が発見された場合は、監督員と協議を行い、施工すること。

４．試　　験

ポリマーセメントモルタル充填工法による改修箇所のうち監督員の指示する箇所について、表面引張り試験を監督員立会いのうえ実施し、その試験成績書を完成書類に添付すること。

５．工　事　施　工

浮き部、ひび割れ部の樹脂注入工事に際しては、樹脂接着剤注入施工技能士を１名以上選任し、当該工事作業中自ら作業をするとともに他の技能者の作業指導を行い、施工品質の向上に努めるものとする。

左官、塗装工事は技能士を適用する。

６．施 工 報 告 書

改修工事完了後、施工数量表及び施工図面（A3）で構成する「施工報告書」を作成し、完成書類に添付すること。

７．工　事　写　真

改修工事を行った部分については、工程（工法・状態別に各２ヶ所）、完了後の写真を提出すること。

工事写真はすべてカラーとし、サイズはL版程度とする。

※ 撮影箇所及び方法等は、監督員と協議の上、決定すること。

８．電子ファイリングデータ

１） 提出データ　　：施工報告書、工事写真（完了後）

２） データ提出媒体：データ提出用は、「ＣＤ－Ｒ」または「DVD-R」とする。

３） データ保存形式：図面データは、国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】」の標準形式とする。

写真データは、JPEG（写真帳等にまとめる場合はPDF）とする。

※ 原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るもの とする。

９．保　　証　　書

改修工事の施工については、保証書（３年）を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。

※ マーキング、調査報告書、施工報告書、完成写真に付与する番号（面毎の通し番号）は統一させること。

Ⅱ．特　　記　　事　　項

１．ポリマーセメントモルタル充填工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放しの欠損、爆裂の改修で全ての部位に適用し、モルタル塗り仕上げ面の欠損、爆裂、落下の恐れのある浮き（※1）の補修で下記の部位に適用する。ただし、０．２５㎡未満で塗厚が３０mmを超える場合は、監督員と協議の上、工法を決定すること。

イ） パラペット　　ロ） 庇鼻　　ハ） 窓面台及び笠木　　ニ） 揚裏　　ホ） 全ての部位の爆裂部

ヘ） 柱壁、だき、まぐさの０．２５㎡未満の部分

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。（補修範囲及び周囲５cm部分）

② 材　　料

１） ポリマーセメントモルタルは、合成ゴム系、アクリル系とし既調合とする。なお、製品については次の品質基準に適合するものとする。

曲げ強さ：6N/mm²、　圧縮強さ：２０N/mm²、　接着強さ：１N/mm²

２） 被着面に塗布するプライマーは、ポリマーセメントモルタルの製造所の指定する製品とし、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。

３） 防錆材等は、製造所の指定する製品とする。

４） 鉄筋及びコンクリート面に塗布する防錆材等は、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。

③ 工　　法

１） テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。

２） 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。

３） 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。

４） プライマーを被着面に刷毛を用いて塗布する。

５） 各層の塗り厚は７mm程度とし、養生期間は１週間以上とする。ただし、製造所の仕様等により期間を短縮する場合は、資料を監督員に提出し承諾を受けること。

６） ポリマーセメントモルタルの面積が０．２５㎡以上で塗厚が厚い（厚さ２５mm以上）場合は、ポリマーセメントモルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横２００mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてからポリマーセメントモルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。

７） 表面は金コテ又は刷毛引き仕上げとする。

８） 各層とも急激な乾燥を避け、適切に養生する。

９） 各工程に伴う作業は、製造所の仕様を準用する。

④ 確　　認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

２．モルタル塗替工法

① 適 用 範 囲

モルタル塗り仕上げ面の欠損、落下の恐れのある浮き（※１）の改修で下記の部位及び他工法により施工ができない部分に適用する。

イ）柱壁、だき、まぐさの０．２５㎡以上の部分　　ロ）庇天端

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。（改修範囲及び周囲５cm部分）

② 材　　料

１） ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペースト用の混和材料は、JIS A 6203（セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂）の規格に適合したもので監督員の承諾を受けたものとする。

２） 保水剤は、メチルセルロースの類とし、使用量等の資料を監督員に提出し承諾を受けること。

③ 工　　法

１）テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。

２）欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。

３）コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。

４） 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。

５） コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト（１mm程度、保水剤使用）又は、製造所の指定する吸水調整材を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。

６） モルタルの塗厚が厚い（厚さ２５mm以上）場合は、モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横２００mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから接着剤混入モルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。

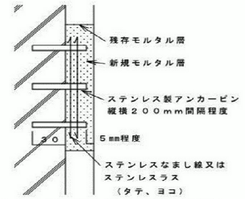
７） 現場調合ポリマーセメントモルタルの調合は、公共建築改修工事標準仕様書「４．４．９」による。

８） 各層の塗厚は、７mm程度とし、下塗りの養生期間は２週間以上とること。（中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可）

④ 確　　認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

図－１　鉄筋露出の場合（ポリマーセメントモルタル充填工法）



図－２　塗厚が２５mmを超える場合

３．アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

① 適 用 範 囲

モルタル塗り仕上げ面で落下の恐れのない（※２）浮き部に適用する。

② 材　　料

１） エポキシ樹脂は、ＪＩＳＡ６０２４（建築補修用注入エポキシ樹脂）に適合するものとする。

２） アンカーピンの材質は、ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）とし、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

③ 工　　法

１） テストハンマーを用いて浮き部を確認し、チョーク等で明示の上、注入範囲について監督員と協議すること。

２） 浮き部分に対するアンカーピン本数は、一般部分（壁面等）は１６本／㎡、指定部分（揚裏、パラペット）は２５本／㎡、狭幅部は幅中央に５本／mとする。又、所定の本数が浮き部分に対して均等に配置されるよう穿孔位置をマーキングする。

３） 穿孔はコンクリート用ドリルを用い、使用するアンカーピンの直径より約２mm大きい直径とし、壁面に対し直角に穿孔する。穿孔はマーキングに従って行い、構造体コンクリート中に３０mm程度の深さに達するまで行う。穿孔後は、十分孔内を清掃して、接着の妨げとなる切粉等を除去する。（清掃は電気ブロア器具同等以上の清掃器具を使用すること。）

※ 石綿含有仕上塗材の穿孔にあたっては、粉じん飛散防止の為、水循環式ﾄﾞﾘﾙ又は集じん装置（HEPAﾌｨﾙﾀｰ）ﾄﾞﾘﾙ使用とすること。

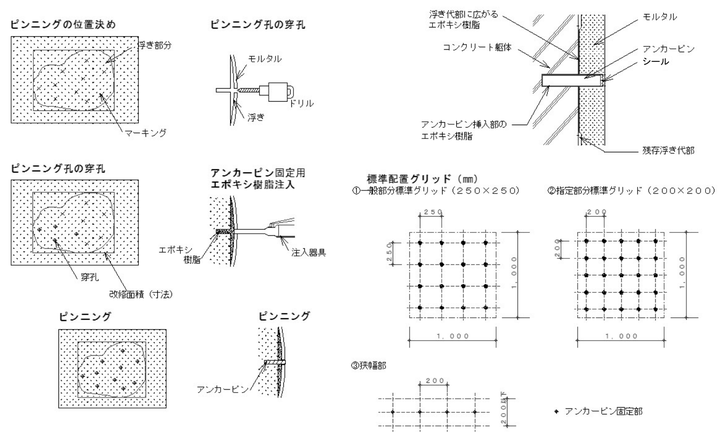
４） アンカーピン固定用エポキシ樹脂を手動式注入器を用い、注入口の最深部より徐々に充填する。充填量は、挿入孔１箇所当たり２５mlとする。

５） アンカーピンを挿入孔最深部まで挿入し、バテ状エポキシ樹脂等で仕上げる。

６） 注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し、清掃する。

④ 確　　認

アンカーピン固定部のエポキシ樹脂の広がり、固着状況について全数をテストハンマーの打診により確認する。



図－３　アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

４．防水モルタル塗替工法

① 適 用 範 囲

モルタル塗り仕上げ面の改修で監督員の指定する部分。

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。（改修範囲及び周囲５cm部分）

② 材　　料

防水剤は、ＪＩＳＡ１４０４に適合するものとする。

③ 工　　法

１） テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。

２） 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。

３） コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。

４） 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。

５） コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト（１mm程度、保水剤使用）を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。

６） 防水モルタルの塗厚が厚い（厚さ２５mmを超える）場合は、防水モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横２００mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから防水モルタル塗りを行う。

ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。

７） 防水モルタルの調合は、防水剤製造所の仕様による。

８） 各層の塗厚は、１５mm以下とし、下塗りの養生期間は２週間以上とること。（中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可）

④ 確　　認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

５．自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が、0.2～1.0mm以下のひび割れ部について適用する。

② 材　　料

１） エポキシ樹脂はＪＩＳＡ６０２４（建築補修用注入エポキシ樹脂）に適合するものとする。

２） シール材は、注入材料製造所の指定する製品とし、既存の塗材、塗料等又は新規の塗材、塗料等に支障のないものとする。

③ 工　　法

１） ひび割れに沿って幅５０mm程度の汚れを除去し、清掃する。

※ 石綿含有仕上塗材の清掃にあたっては、粉じん飛散防止のため、飛散の恐れがあるワイヤブラシ等によるケレンは行わないこと。

※ コケ等汚れにより清掃が困難な場合は、監督員と協議を行い、改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。

２） 注入孔位置をスケール等で測定し、チョーク等でその位置のマーキングを行う。

３） 注入孔間隔は２５０mm程度とする。

４） 注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして、仮止めシール材等で取り付ける。

５） 混練りしたエポキシ樹脂を注入器具に入れ、ゴム、バネ、空気圧等により注入圧を０．４N/mm²以下として注入する。

６） 注入時は、台座やシール部からの漏れをチェックし、注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して、足りない場合は補充する。なお、注入完了後は、注入器具を取り付けたまま硬化養生をする。

７） エポキシ樹脂注入材の硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入器具を適切な方法で撤去し、清掃を行う。

④ 確　　認

注入時の確認は一つ上の注入器具から漏出することを確認する。注入後の確認は注入が行われたか否かを目視する。

図－４　自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

６．

Ｕカットシーリング材充填工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が1.0mmを超え、かつ挙動されるひび割れ部をＵカットシーリング用材を充填しポリマーセメントモルタルを塗り込む場合に適用する。

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。（ひび割れ沿いの幅５cm部分）

② 材　　料

１） シーリング材は、ＪＩＳＡ５７５８（建築用ｼｰﾘﾝｸﾞ材）に適合するものとする。

２） プライマーは、主材製造所の製品とし、被着体（塗装してある場合は塗料）に適したものとする。

３） バックアップ材は、合成樹脂又は合成ゴム製でシーリング材と接着しないものとし、使用箇所に適した形状で大きさが目地幅より２mm程度広いものとする。

③ 工　　法

１） ひび割れ状況について確認し、補修範囲について監督員と協議すること。

２） ひび割れ部に沿って電動カッター等を用いて幅１０mm程度、深さ１０～１５mm程度にＵ字型の溝を設ける。

３） Ｕカット溝内部に付着している切片、粉塵等はワイヤーブラシ、はけ等で除去する。

４） 被着体に適したプライマーを溝内部に塗残しのないよう均一に塗布する。

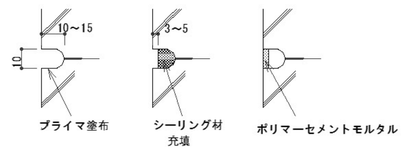
５） プライマー塗布後、ごみ・ほこり等が付着した場合又は当日充填が出来ない場合は再清掃し、プライマーを再塗布する。

６） プライマー塗布後、シーリング材を隅々まで行きわたるようにコーキングガンのノズルをＵカット溝に当て、加圧しながら空隙、打残しがないように充填し、コンクリート表面から３～５mm程度低めに充填し、充填後はヘらで押え、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。

７） ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込む。

④ 確　　認

シーリング材の充填状況を目視により確認する。



図－５　Ｕカットシーリング材充填工法

７．

その他

① 以下の場合については、監督員と協議の上工法を決定すること。

イ） 構造耐力に関するコンクリートの劣化あるる場合

ロ） 漏水がある場合

ハ） その他、施工方法について、判断出来ない箇所が発見された場合

② 発注時の外壁改修数量は推計値によるものである。

③ **石綿含有仕上塗材の高圧洗浄にあたっては、粉じん飛散防止のため、高圧水洗工法（15MPa 以下）とすること。**

※１　通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのあるモルタル浮き

※２　通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのないモルタル浮き

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
建築工事特記仕様書（改修）(2)	A１　－ A３　－	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		Ａ－　０６

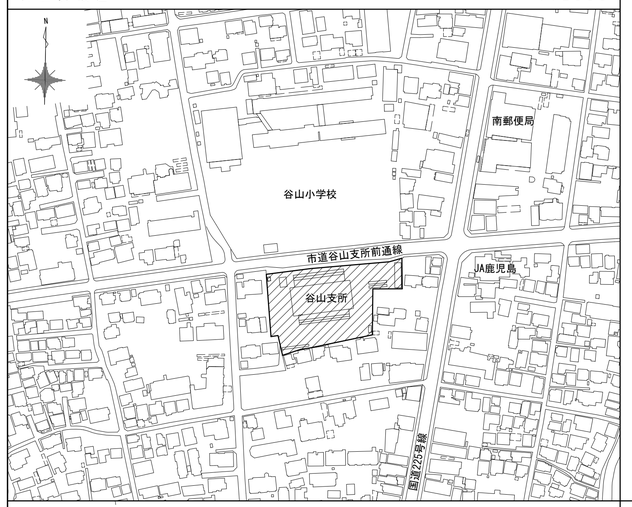
計画概要

工事名称	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事
所在地	鹿児島市谷山中央四丁目4927番地
敷地面積	5,751.53㎡（1,741.56坪）
用途地域	準住居地域(道路境界から20m以内)、第二種中高層住居専用地域(その他)
防火地域	指定なし（都市計画区域内）
許容建蔽率	70%（角地緩和）
許容容積率	200%
主要用途	08300 庁舎
構造	（既存部）鉄筋コンクリート造４階建て　（増築部）鉄骨造3階建て
道路	幅員　12.4m　　接道長さ　112.97m
建築面積	2,034.68㎡
延べ床面積	6,189.96㎡
高さ	最高の高さ：20.965m

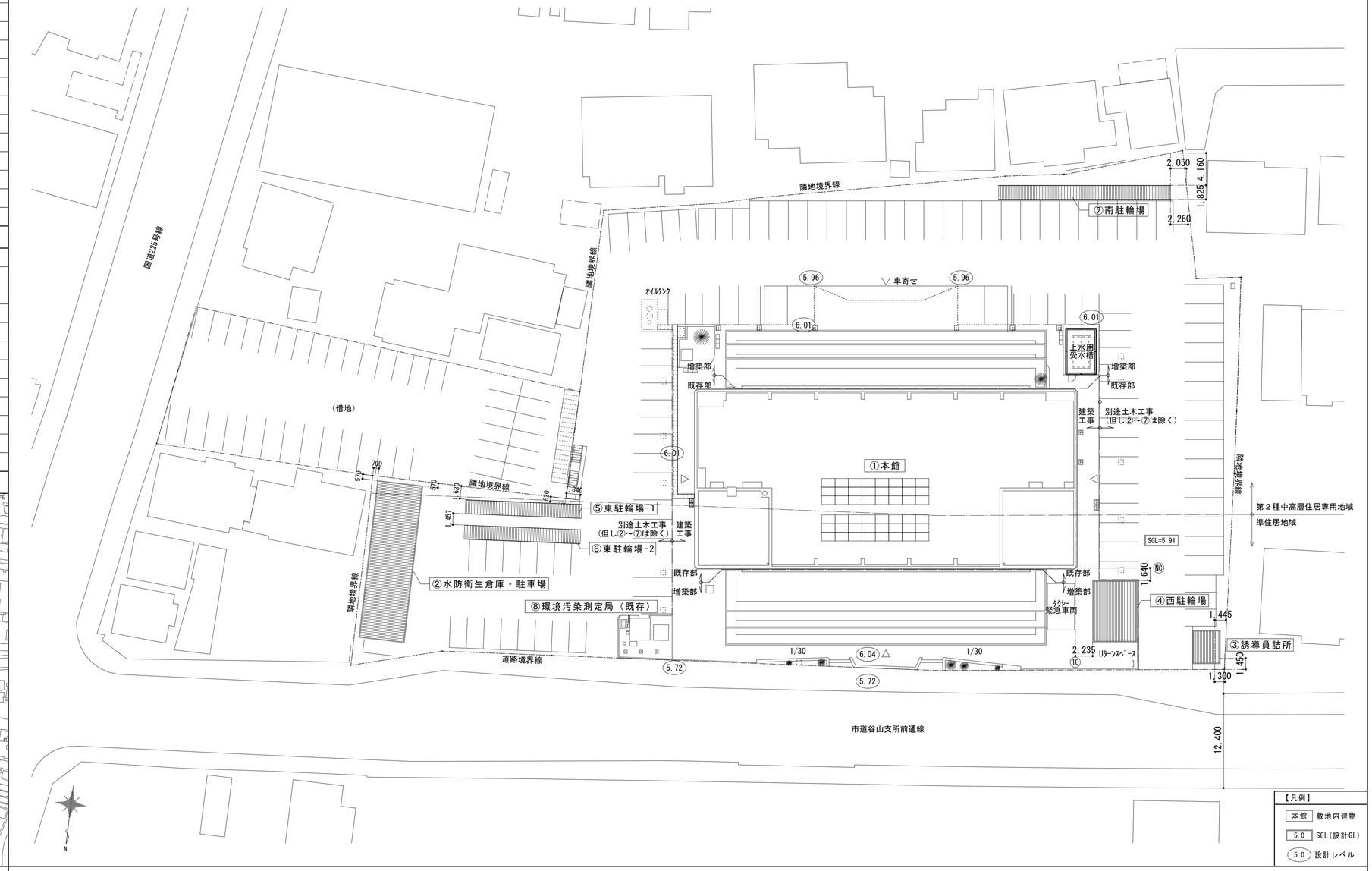
建物概要

	建物名称	工事種別	建築面積	延床面積	構造	階数
①	本館	増築・改修	1,917.26 ㎡	5,940.65 ㎡ 既存:4,548.42 ㎡ 増築:1,392.23 ㎡	RC+S	4
②	水防衛生倉庫・駐車場	新築	81.52 ㎡	94.92 ㎡	S	1
③	誘導員詰所		7.68 ㎡	7.68 ㎡	S	1
④	西駐輪場		21.90 ㎡	45.14 ㎡	S	1
⑤	東駐輪場-1		- ㎡	27.37 ㎡	S	1
⑥	東駐輪場-2		- ㎡	27.37 ㎡	S	1
⑦	南駐輪場		- ㎡	40.51 ㎡	S	1
⑧	環境汚染測定局	既存	6.32 ㎡	6.32 ㎡	RC	1

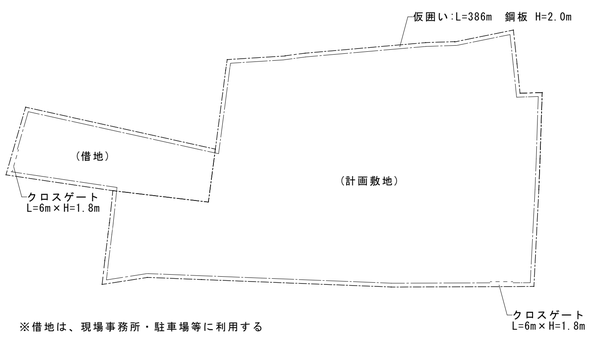
付近見取図　1：2500



配置図　1：300



仮設計画　1：800



※借地は、現場事務所・駐車場等に利用する

ローリング計画　1：1000

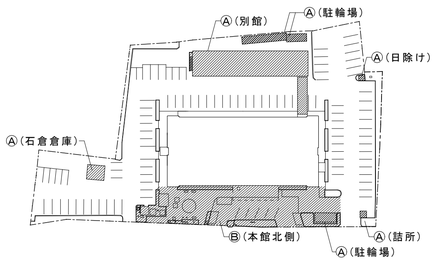
計21ヶ月（下記ステップ以外に３か月の準備工事期間を含む）　※別途発注予定の解体工事、土木工事、設備工事等と仮設計画や施工計画について協議し、工事を進めること。

解体（3ヶ月）※別途解体工事

ステップ1-1

Ⓐ 付属建物の解体（各建物に接続する埋設配管の撤去を含む）

Ⓑ 本館北側の外構・ｱｽﾌｧﾙﾄ撤去〈別途土木工事〉

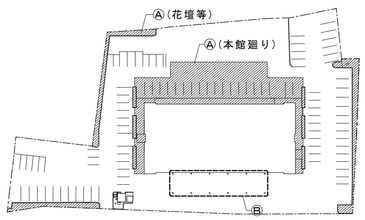


ステップ1-2

Ⓐ 本館北側以外の外構撤去〈別途土木工事〉

Ⓑ 本館の増築(北側杭工事先行)

※増築部の杭位置に既存砂杭がないことを予め掘って確認する

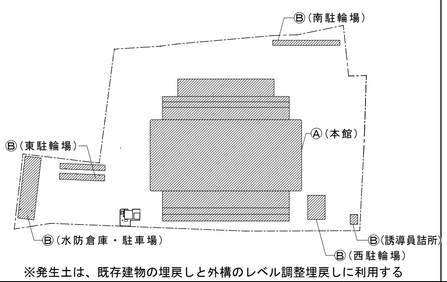


新築（11ヶ月）

ステップ2

Ⓐ 本館の増築・改修

Ⓑ 付属建物の新築



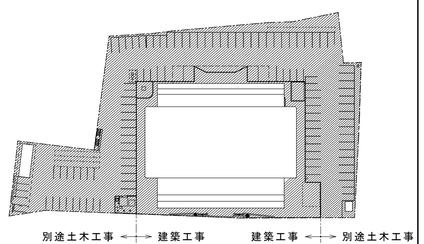
※発生土は、既存建物の埋戻しと外構のレベル調整埋戻しに利用する

外構（4ヶ月）

ステップ3

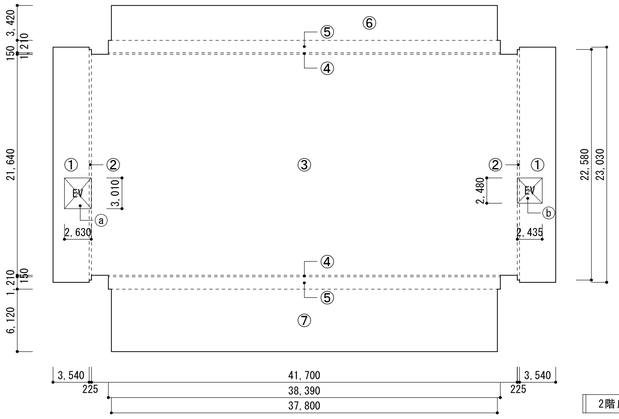
Ⓐ 本館内装工事

Ⓑ 外構工事〈別途土木工事を含む〉

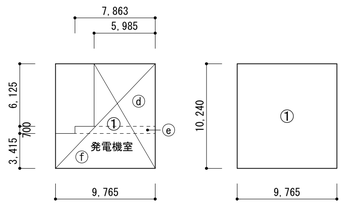


みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
計画概要・付近見取図・配置図・仮設計画・ﾛｰﾘﾝｸﾞ計画	A1　図中に記載 A3　図中に記載	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A－07

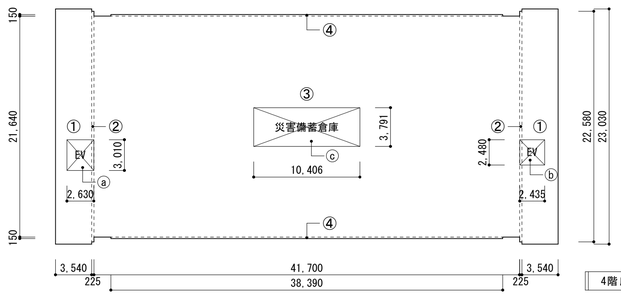


2階床面積求積図　1：300



PH階床面積求積図　1：300

4階災害備蓄倉庫面積							
ⓒ	10.406	×	3.791	=	39.449	計	39.449
PH階発電機室面積							
ⓓ	5.985	×	6.125	=	36.658	計	
ⓔ	7.863	×	0.700	=	5.504		
ⓕ	9.765	×	3.415	=	33.347		75.509



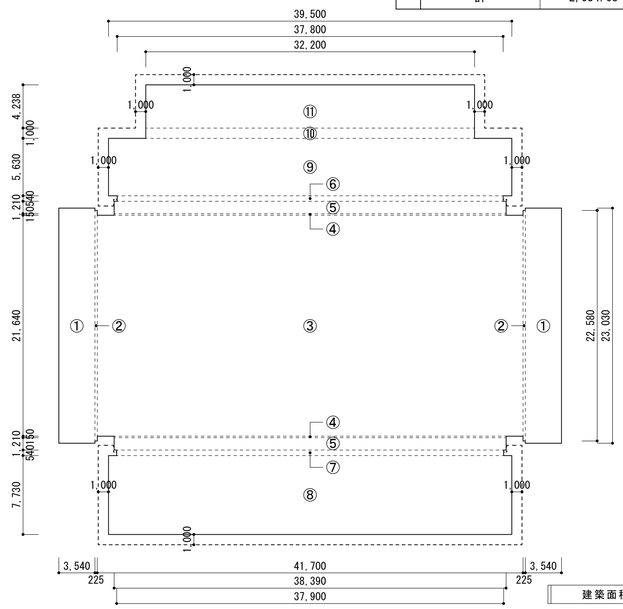
4階床面積求積図　1：300

面　積　表

	既存部	増築部(南)	増築部(北)	車寄せ	合　計
ＰＨ階	199.98 ㎡	——	——	——	199.98 ㎡
4　階	1,087.11 ㎡	——	——	——	1,087.11 ㎡
3　階	1,087.11 ㎡	111.46 ㎡	168.16 ㎡	—— ㎡	1,366.73 ㎡
2　階	1,087.11 ㎡	175.72 ㎡	277.78 ㎡	—— ㎡	1,540.61 ㎡
1　階	1,087.11 ㎡	253.42 ㎡	332.28 ㎡	73.41 ㎡	1,746.22 ㎡
延床面積	4,548.42 ㎡	540.60 ㎡	778.22 ㎡	73.41 ㎡	5,940.65 ㎡
建築面積	1,087.11 ㎡	321.44 ㎡	372.25 ㎡	136.46 ㎡	1,917.26 ㎡

エレベーター	55.82 ㎡		55.82 ㎡	
駐車場	267.10 ㎡	<	1,239.34 ㎡	267.10 ㎡
災害備蓄倉庫	39.44 ㎡	<	123.93 ㎡	39.44 ㎡
非常用発電機室	75.50 ㎡	>	61.96 ㎡	61.96 ㎡
容積率対象床面積				5,765.64 ㎡
容積率	200 %			100.25 %
建築面積				2,034.68 ㎡
建ぺい率	70 %			35.38 %

	建物名称	建築面積	床面積
①	本館	1,917.26 ㎡	5,940.65 ㎡
②	水防衛生倉庫・駐車場	81.52 ㎡	94.92 ㎡
③	誘導員詰所	7.68 ㎡	7.68 ㎡
④	西駐輪場	21.90 ㎡	45.14 ㎡
⑤	東駐輪場-1	- ㎡	27.37 ㎡
⑥	東駐輪場-2	- ㎡	27.37 ㎡
⑦	南駐輪場	- ㎡	40.51 ㎡
⑧	環境汚染測定局	6.32 ㎡	6.32 ㎡
	計	2,034.68 ㎡	6,189.96 ㎡



建築面積求積図　1：300

2階床面積求積表

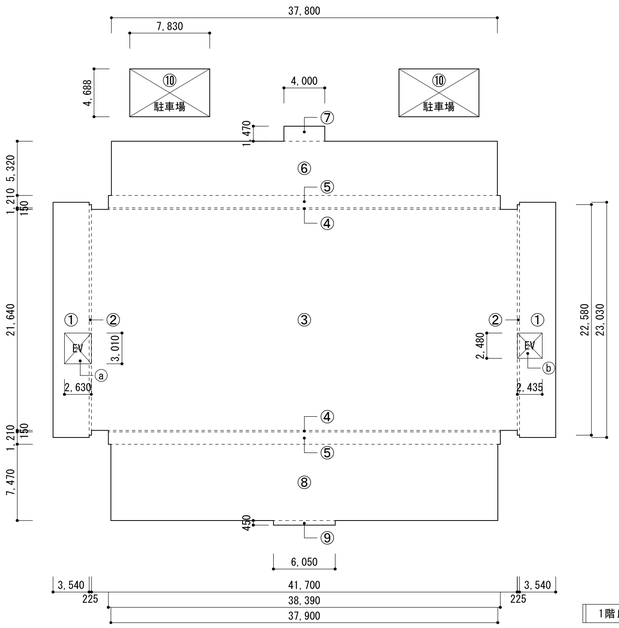
既存部	①	3.540	×	23.030	×	2	=	163.052	計					
	②	0.225	×	22.580	×	2	=	10.161						
	③	41.700	×	21.640			=	902.388						
	④	38.390	×	0.150	×	2	=	11.517	1,087.118					
増築部(南)	⑤	38.390	×	1.210			=	46.451	計					
	⑥	37.800	×	3.420			=	129.276	175.727					
増築部(北)	⑤	38.390	×	1.210			=	46.451	計					
	⑦	37.800	×	6.120			=	231.336	277.787					

4階床面積求積表

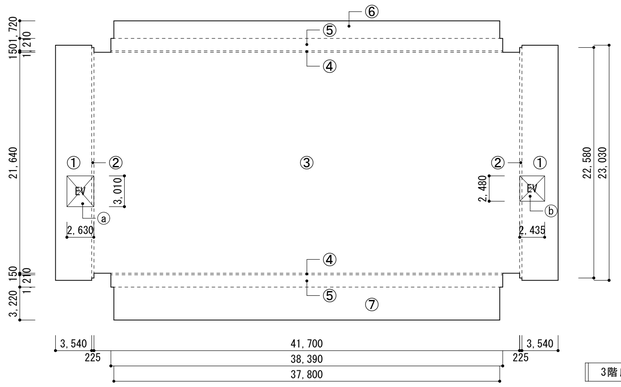
既存部	①	3.540	×	23.030	×	2	=	163.052	計
	②	0.225	×	22.580	×	2	=	10.161	
	③	41.700	×	21.640			=	902.388	
	④	38.390	×	0.150	×	2	=	11.517	1,087.118
4階床面積合計									1,087.120

PH階床面積求積表

既存部	①	9.765	×	10.240	×	2	=	199.987	計
									199.987
PH階床面積合計									199.988



1階床面積求積図　1：300



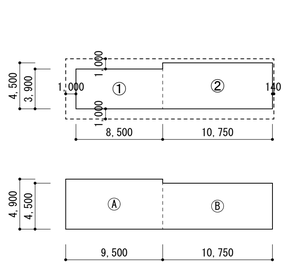
3階床面積求積図　1：300

3階床面積求積表

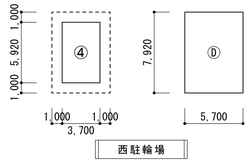
既存部	①	3.540	×	23.030	×	2	=	163.052	計	増築部(南)	⑤	38.390	×	1.210	=	46.451	計
	②	0.225	×	22.580	×	2	=	10.161			⑥	37.800	×	1.720	=	65.016	111.467
	③	41.700	×	21.640			=	902.388		増築部(北)	⑤	38.390	×	1.210	=	46.451	計
	④	38.390	×	0.150	×	2	=	11.517	1,087.118		⑦	37.800	×	3.220	=	121.716	168.167

建築面積求積表

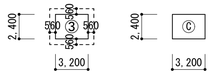
既存部	①	3.540	×	23.030	×	2	=	163.052	計	既存部(南)	⑤	38.390	×	1.210	=	46.451	計
	②	0.225	×	22.580	×	2	=	10.161			⑥	37.800	×	0.540	=	20.412	
	③	41.700	×	21.640			=	902.388			⑨	39.500	×	5.630	=	222.385	
	④	38.390	×	0.150	×	2	=	11.517	1,087.118		⑩	32.200	×	1.000	=	32.200	321.448
車寄せ	⑪	32.200	×	4.238			=	136.463	計	既存部(北)	⑤	38.390	×	1.210	=	46.451	計
											⑦	37.900	×	0.540	=	20.466	
									136.463		⑧	39.500	×	7.730	=	305.335	372.252



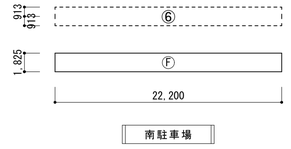
水防倉庫・駐車場



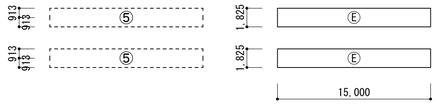
西駐輪場



誘導員詰所



南駐車場



東駐輪場-1,2

1階床面積求積表

既存部	①	3.540	×	23.030	×	2	=	163.052	計	増築部(南)	⑤	38.390	×	1.210	=	46.451	計
	②	0.225	×	22.580	×	2	=	10.161			⑥	37.800	×	5.320	=	201.096	
	③	41.700	×	21.640			=	902.388			⑦	4.000	×	1.470	=	5.880	253.427
	④	38.390	×	0.150	×	2	=	11.517	1,087.118	増築部(北)	⑤	38.390	×	1.210	=	46.451	計
車寄せ	⑩	7.830	×	4.688	×	2	=	73.414	計		⑧	37.900	×	7.470	=	283.113	
									73.414		⑨	6.050	×	0.450	=	2.722	332.286

1-4階EV面積									
ⓐ	2.630	×	3.010	×	4	=	31.665	計	
ⓑ	2.435	×	2.480	×	4	=	24.155		55.820

駐車場面積									
⑩	7.830	×	4.688	×	2	=	73.414	計	
									73.414

建築面積求積表

建築面積求積表	水防衛生倉庫・駐車場	①	8.500	×	3.900	=	33.150	計
		②	10.750	×	4.500	=	48.375	81.525
	誘導員詰所	③	3.200	×	2.400	=	7.680	計 7.680
	西駐輪場	④	3.700	×	5.920	=	21.904	計 21.904
	東駐輪場-1	⑤	—					計 —
	東駐輪場-2	⑤	—					計 —
	南駐輪場	⑥	—					計 —

床面積求積表

床面積求積表	水防衛生倉庫・駐車場	Ⓐ	9.500	×	4.900	=	46.550	計
		Ⓑ	10.750	×	4.500	=	48.375	94.925
	誘導員詰所	Ⓒ	3.200	×	2.400	=	7.680	計 7.680
	西駐輪場	Ⓓ	5.700	×	7.920	=	45.144	計 45.144
	東駐輪場-1	Ⓔ	15.000	×	1.825	=	27.375	計 27.375
	東駐輪場-2	Ⓔ	15.000	×	1.825	=	27.375	計 27.375
	南駐輪場	Ⓕ	22.200	×	1.825	=	40.515	計 40.515

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

求積図　A1 1/300　A3 1/600

鹿児島市建設局建築部建築課

No. A－08

共通事項

- 本表は本工事に用いる内外装仕上を一括して表す。各一覧・材料表に記載の符号等は、本表以外の設計図にも適用する。
- 仕上表備考欄に不とあるものは、壁・天井仕上下地共不燃材とする。準とあるものは、壁・天井仕上を準不燃材料とする。
- コンクリートと軽鉄下地との壁取合部には化粧目地を設ける。目地材は塩ビ製、幅は10mmとする。
- 天井下地は、軽量鉄骨下地とする。
- 特記なき場合の躯体天端レベルは、1FL-30mm/2～4FL-10mmとする。(既存増築共通、部分詳細図参照)
- 増築部の床仕上がビニルタイル・ビニルシートや塗り床等の場合の下地は、コンクリート金ごて仕上げとする。
- 使用材料については、室内と天井裏等のいずれもＦ☆☆☆☆とする。
- 壁・天井がGB-R・GB-Sの時は、継ぎ目処理とする。
- WCに面する壁がGB-SやFKの場合は、壁種別の表面の一枚をそれに置き換えることとする。

（ただし、W-3,W-4,W-7等の耐火間仕切りの場合は、上から一枚足すこととする。）

塗装一覧表

符号	名称	符号	名称
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り
DP-U	ウレタン樹脂耐候性塗料塗り	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
DP-AS	アクリルシリコン樹脂耐候性塗料塗り	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
DP-F	ふっ素樹脂耐候性塗料塗り		
		UC	2液形ウレタン樹脂ワニス塗り
F-BE	ふっ素樹脂焼付け塗り	OC	オイルフィニッシュ仕上げ
U-BE	1液形ウレタン樹脂焼付け塗り	OS	オイルステイン塗り
A-BE	アクリル樹脂焼付け塗り		
FUC	ふっ素樹脂クリヤー焼付け塗り（アルミニウム面）	Zn-P	溶融亜鉛めっきの上、リン酸処理

仕上材符号一覧表

区分	符号	名称	区分	符号	名称
床・壁・天井	RC直	コンクリート直均し（金ごて）	床・壁・天井	GB-R	せっこうボード
	RC-A(化)	コンクリート化粧打放し仕上げ		GB-NC	不燃積層せっこうボード
		専門業者の打放補修含む		GB-D	化粧せっこうボード
	RC-A(本)	コンクリート本実型枠化粧打放し仕上げ		GB-S	シージングせっこうボード
		専門の打放補修含む		GB-P	化粧吸音せっこうボード
	RC-A	コンクリート打放し仕上げ		GB-F	強化せっこうボード
		（標準仕様書　表6.2.4　A種）		FK	繊維強化セメント板（けい酸カルシウム板）タイプ2
	RC-B	コンクリート打放し仕上げ		FK-P	穴あきけい酸カルシウム板
		（標準仕様書　表6.2.4　B種）		FG-B	エフジーボード
	RC-C	コンクリート打放しのまま		VC	ビニルクロス
		（標準仕様書　表6.2.4　C種）	幅木	V	ビニル幅木
	ALC	ＡＬＣパネル		VS	ビニルシート立上
	ECP	押出成型セメント版		RC	コンクリート立上
	TL	タイル		SUS	ステンレス幅木
	打TL	打込みタイル		W	木幅木
	LGS	軽量鉄骨下地		AL	アルミ幅木
	VT	ビニル床タイル	見切	AL	アルミ見切縁
	VS	ビニル床シート		V	ビニル製見切縁
	TC	タイルカーペット			
	F	フローリング	防水	A防水	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水、改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水
	RW吹付	吹付ロックウール		U防水	ウレタンゴム系塗膜防水
	GW	グラスウール		P防水	ポリマーセメント系塗膜防水
	DR	ロックウール化粧吸音板		K防水	けい酸質系塗布防水

防火材料一覧表

区分	材料の名称・規格	認定番号	区分	材料の名称・規格	認定番号
不燃材料	繊維強化セメント板（けい酸カルシウム）タイプ2　t=5mm以上	NM-8578	準不燃材料	化粧せっこうボード　t9.5	QM-9824
				シージングせっこうボード　t9.5mm	QM-9826
	せっこうボード　t12.5,15mm	NM-8619		化粧吸音せっこうボード	QM-9822　QM-9825
	不燃積層せっこうボード　t9.5mm	NM-0441		（不燃性裏打ち材共）	QM-9827
	化粧せっこうボード　t12.5mm	NM-8614　NM-0127		木片セメント板	QM-****
	ロックウール化粧吸音版	NM-8599		木毛セメント板	QM-****
	化粧吸音せっこうボード	NM-0879		紙製壁紙	QM-****
	シージングせっこうボード　t12.5mm	NM-9639		繊維製壁紙	QM-****
	強化せっこうボード　t12.5,15mm	NM-9639		プラスチック製（塩化ビニル）壁紙	QM-****
	エフジーボード　t=4,6	NM-2967		無機質性壁紙	QM-****
	吹付けロックウール　t10mm以上	NM-8601		（下地・法定不燃材料、	*無機質壁紙は
	押出成型セメント板	NM-9252		金属・せっこうボードを除く。	
	塗料塗装/仕上塗装+不燃材料（下地/法定不燃材）	NM-8585/NM-8572			

外装・外構仕上表

区分		部位	仕上
既存部	屋上	屋上(PH階・R階)	U-Re防水
	外壁	打込TL部	高圧洗浄仕上
		RC/モルタル部	外壁：塗壁
			内面(PH階機械置場側)：吹付タイル(トップコート吹き)
増築部	屋上	屋上	U防水
	外壁	アルミパネル	
		RC部	RC-A(化)の上、DP-AS
	床	南北テラス	U防水の上、人工木デッキ
			一部、屋上緑化(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭﾌﾟﾗﾝﾀｰ)
	軒天	南北ｱﾌﾟﾛｰﾁ、南北ﾃﾗｽ	アルミパネル
		(上段はねだし部)	
		東西アプローチ	スチールPL Zn-P

区分		部位	仕上
外構	屋根	車寄せ、水防倉庫・駐車場	金属板葺き
		東西南駐輪場、誘導員詰所	
	外壁	水防倉庫・駐車場	ECP素地のまま
		誘導員詰所	
	床	東西南北アプローチ	インターロッキング舗装材
		上水用受水槽置場	コンクリート舗装
	軒天	車寄せ、水防倉庫・駐車場	木毛セメント板 DP-U、FK EP
		東西南駐輪場、誘導員詰所	一部、みえがかりスチール 溶融亜鉛メッキの上、DP-U
共通	縦樋		TD：VUカラー(つかみ金物：ステンレス@1,200、内樋は防露巻き)
			SD40:St.42.7φ、SD50:St.60.5φ、SD75:St.89.1φ 全てt=3.2 Zn-P
			軒天内の横引樋は、VUとする。
	ドレイン		鋳鉄製コールタール
	建具・防水（シール）		特記仕様書による
			図面内の ▶ はシングルシールを示す。▶▶ はダブルシールを示す。
	手すり		スチール製 溶融亜鉛めっき

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベルmm(躯体天端)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
共通	執務スペース	OAフロアH=80の上、TC-1	70(2,3階)	V	60	GB-R	EP-G	V	DR		2・3F:2,880	移動棚(3F)
			50(1階)								1F:3,450	
												不 令128条の7（区画避難）
	ワークラウンジ	一部 P防水-3	70(2階)	V	60	GB-R	EP-G	V	DR		2F:2,880	パントリーカウンター
		OAフロアH=80の上、TC-1 一部VT	50(1階)								1F:3,450	
												不 令128条の7（区画避難）
	相談室2A～E,3A～B	TC-1		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-P		2,700	
	マルチルーム2A～D,3A～D											
												不 令128条の7（区画避難）

材料表

注）製造者・品番は同等品以上とする。

区分	名称（符号・呼び名）	品種・規格・寸法・仕上げの形状など	その他仕様詳細
防水	U防水	通気緩衝工法(X-1)	
	U防水-Re	既存A防水非撤去の上、ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水(POX工法)	既存誘発目地処理（充填・カット）共
	P防水-1	ポリマーセメント系保護材	3回塗り(プライマー+主材+コート材)
	P防水-2	ピット用変性エポキシ防食材「防食技術ﾏﾆｭｱﾙ」D種	8回塗り(プライマー+主材+副材+プライマー+主材×4)
	P防水-3	仕上一体型塗膜防水	3回塗り(プライマー+主材+主材)
屋根	金属板葺き	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4	原板(2%Mg添加55%AlZP)、AZ150、海岸500m以遠25年保証品
		ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940・木毛ｾﾒﾝﾄ板t=15共	
断熱	断熱材-1(屋根部)	吹付硬質ウレタンフォームA種1H t=100	
	断熱材-2(壁部)	吹付硬質ウレタンフォームA種1H t=50	
外壁	DP-AS	アクリルシリコン樹脂耐候性塗料(ｸﾘｱｰ)	RC-A(化)の打放補修と一貫作業
	DP-AS(Re)	下地調整、RB種共	既存モルタル部の塗替え
	アルミパネル	一体鋳造塗装品 t=6.0 MIC製	
	ECP	押出成形セメント板 t=60,フラット	
	塗壁	外装薄塗材E	t=3.5、コテ押え骨材凹凸ムラ有り
	外装タイル	300×100×20 国代耐火製	既存タイル模倣焼き、ビスSUS線併用接着張り
軒天	アルミパネル	一体鋳造塗装品 t=6.0 MIC製	
	木毛セメント板	t=15	
	FK	t=6.0	
外部床	人工木デッキ	無垢材 t=25、低床用下地共	
	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装材-1,2	300×300、1:t=60(歩行用),2:t=80(車両用)	天然骨材洗い出し・ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ・噛合せ加工、乾式誘導平板共
他外部	有孔折板	St.t=1.6 溶融亜鉛ﾒｯｷの上塗装品 W=200 開口率40%	波型、1波毎のパーツ品
	鎖樋	ステンレス製、波紋形状	
内部床	TC-1	原着ナイロンカーペット t=6.8～8.0	再生ﾊﾞｯｷﾝｸﾞ品
	TC-2	原着ポリプロピレンカーペット t=6.5	
	F	単板ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾅﾗ材 t=15塗装品 耐水合板t=12共	仮釘併用接着貼り
	TL	600×600×10	クオーツサイト調
	VT-1	置敷ビニルタイル t=5.0	ノンワックス品
	VT-2	単層ビニルタイル t=2.0	
	VS	複層ビニル床シートt=2.0	
	汚垂石	タイル 600×800 t=6.0	抗菌・抗ウィルス品、防汚・防臭品
	畳	スタイロ畳 t=55	
	FLP-1	アクリル樹脂系防塵塗床材(溶剤形)	屋内用・平滑・低臭性・耐次亜塩素酸ﾅﾄﾘｳﾑ
幅木	V	ビニル巾木 H=60	
	SUS	ステンレス製巾木 t=2.0 H=60既製品	ABS基材の上ｽﾃﾝﾚｽ箔貼り
	AL	3×15×30 A-BE	
壁	GB-R	t=12.5	
	GB-S	t=12.5(不燃)	
	GB-F	t=12.5、21	
	FK	t=6.0	
	ECP	押出成形セメント板 t=60+20 リブタイプ	
天井	DR	t=12.0（捨貼GB-NC t=9.5共）	ギンガ柄
	GB-P	t=9.5（直貼）（不燃）	
	GB-D	t=9.5（直貼）（不燃）	
	GB-S	t=12.5（捨貼GB-NC t=9.5共）	
	FK	t=6.0	
天井見切	V	十手見切、L型	十手見切（目透かし12mm,かかり代2.5mm）
			L型（25mm厚用,折返し見切見付3mm）
	AL	アルミLアングル見切 25×25 ホワイト	
他（内部）	FP	耐火被覆用塗料の上、パテ平滑処理共	
	FS	耐火被覆用シート、塗装共	
	OAフロア	金属パネル3000N対応　H=80	
	乾式二重床	H=95 ﾎﾟﾘ製支持脚、台板/床ﾊﾟﾈﾙ:ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt=20	
	スライディングウォール-1,2	1:t=60 高遮音タイプ、2:t=60 遮音タイプ	
	トイレブース	ﾒﾗﾐﾝﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ、ﾊﾟﾈﾙ先役物同面同色Rｴｯｼﾞ、中心吊り	戸先エッジレス加工、金属天端巾木無し
	ノンスリップ	アルミ製タイルカーペット用目地タイプ	FB見切調おさまり品
	くつふきマット	アルミ製（ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁ仕上、ブラシ含む）	t=13、型材w=28、溝幅w=3～5
	点字鋲	ステンレス製セラミック溶射、22φ・L=290	
	天井点検口	450×450目地タイプ	
	消火器ボックス	スチール床置タイプ、W210×D210×H575	切り板L型目隠し、ゴムベース付き、文字入り
	横引シャッター	吊り式ノンレールタイプ	スチール格子塗装品、300R対応
	移動棚	手動式6段、OAフロア対応レール共	手引き式(一部ハンドル式)・軽量タイプ
	Exp.J.C-1(外壁-屋根用)	AL製 ｸﾘｱﾗﾝｽ250,50%可動,要可動寸法182mm	耐火仕様(ｴﾝﾄﾞｶﾊﾞｰ不要)
	Exp.J.C-2(2階床用)	SUS製 ｸﾘｱﾗﾝｽ150,50%可動,要可動寸法66mm	耐火仕様
	Exp.J.C-3(3階床用)	SUS製 ｸﾘｱﾗﾝｽ250,50%可動,要可動寸法124mm	耐火仕様
	グラデーションフィルム	センターグラデーション H=1,270	
	US	ユニットシャワー800×800	標準換気グリル・LED照明共
	流し台	ﾒﾗﾐﾝ天板ｽﾃﾝﾚｽｼﾝｸ W1,200×D600	コンロ開口無し
	緩降機	ｵﾘﾛｰⅢC型金物共	
	手動スクリーン	120インチ、天井埋込ボックス(A-BE)共	

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからのレベルmm(躯体天端)	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
共通	EVホール1,2(2・3階)	TC-1		V	60	GB-R	EP-G	V	DR		2,750	
	廊下(2・3階)											
	中央廊下(3階)											不 令128条の7（区画避難）
	MWC、WWC	VS	(-30)	SUS	60	GB-S	EP-G	V	GB-D		2～4F:2,500	洗面カウンター(設備工事)、4階：木ルーバー
						ECP	素地のまま				1F:2,550	
											4F:2,750	準 告示1440号（火災のおそれの少ない室）
	BWC	VS		V	60	GB-S	EP-G	V	GB-D		2,500	
						一部、FG-B	EP-G					
												準 告示1440号（火災のおそれの少ない室）
	PS、EPS、DPS、SK	FLP-1	-10(1,2階)	—	—	RC、GB-R素地のまま	—	—	現し	—	—	
			-30(1階)									
	ロッカー室A,B	VS		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,500	ベンチ(3階)
												準 令128条の7（区画避難）
	パントリー	VT-1		V	60	GB-R	EP-G	V	DR		2,750	パントリーカウンター
												不 令128条の7（区画避難）
	階段A,B	1- 4階：TC-1			60	GB-R	EP-G	—	段裏：既存RC	EP(RC種)	—	
		4-PH階：VT-2				既存RC	EP-G	—	PH階：DR			
	書庫(執務ｽﾍﾟｰｽ内)	OAフロアH=80の上、TC-2		—	—	GB-R	EP-G	V	GB-D直貼り		2F:2,235	移動棚
	倉庫(執務ｽﾍﾟｰｽ内)										1F:2,515	
												準 令128条の7（区画避難）
	フロア書庫、倉庫	TC-2		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,500	移動棚、4階共有書庫(東)：木ルーバー
	災害備蓄倉庫					一部、既存RC-B	EP-G				(4階共有書庫東	
	共有書庫										:2,750)	不 令128条の7（区画避難）4階:告示1436号四(2)
	EV1,2	TC-1		—	—	—	—	—	—	—	—	床仕上げ以外はEV図による
1階	北風除室、南風除室、	くつふきマット		AL	30	GB-R	EP-G	V	FK	EP	2,550	
	東風除室、西風除室											
												不 令128条の7（区画避難）
	ホール1,2、EVホール1,2	TL		AL	30	GB-R	EP-G	V	DR		3,250	横引シャッター
	廊下、売店、情報スペース											
												不 令128条の7（区画避難）
	総務相談係	TL		AL	30	GB-R	EP-G	V	DR		3,250	
												不 令128条の7（区画避難）
	相談室1A～G	TL		AL	30	GB-R	EP-G	V	GB-P		2,700	
												不 令128条の7（区画避難）
	宿日直室	VS		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		3,250	受付カウンター、流し台
	（あがり）	乾式二重床H=95の上、畳	150	畳寄せ							3,100	宿日直室とあがりは欄間ｵｰﾌﾟﾝで一体
												不 令128条の7（区画避難）
	授乳室	F		AL	30	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,600	手洗いカウンター(授乳室外)(設備工事)
												不 令128条の7（区画避難）
	ロッカー室A,B	VS		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		1,950	手洗いカウンター(設備工事)
												不 告示1436号四へ(2)
	ポンプ室	FLP-1	30	FLP-1	60	GB-R素地のまま	—	—	現し	—	4,300	
												準 告示1440号（火災のおそれの少ない室）
2階	待合	TC-1		V	60	GB-R	EP-G	V	DR		2,750	横引シャッター
												不 令128条の7（区画避難）
3階	支所長室	OAフロアH=80の上、TC-1	70	V	60	GB-R	EP-G	V	DR		2,680	
												不 令128条の7（区画避難）
	サーバー・電話交換室	TC-2		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,500	
												準 令128条の7（区画避難）
	清掃員控室	VS		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,800	流し台
												不 令128条の7（区画避難）
4階	大会議室兼防災対策室	OAフロアH=80の上、TC-1	70	V	60	GB-R	EP-G	V	DR		3,150	手動スクリーン
									一部、FK		2,750	
	会議室4A～D	TC-1		V	60	GB-R	EP-G	V	DR		2,750	
												不 告示1436号四へ(5)
	ホワイエ	TC-1		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-R	EP	2,750	パントリーカウンター
	EVホール1,2											
	廊下											
	男性休憩室、女性休憩室	TC-1		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,750	流し台(女性休憩室)、木ルーバー
	（あがり）	乾式二重床H=95の上、畳	150	畳寄せ							2,600	手洗いカウンター(設備工事)(男性休憩室)
	男性更衣室、女性更衣室	VS		V	60	GB-S	EP-G	V	GB-D		2,500	手洗いカウンター(設備工事)(女性休憩室)
												不 告示1436号四へ(2)
	シャワー前室	VS		V	60	GB-S	EP-G	V	GB-D		2,500	
												不 告示1436号四へ(2)
	社会福祉協議会	TC-1		V	60	GB-R	EP-G	V	DR		2,500	
												不 告示1436号四へ(5)
	監視室	VS		V	60	GB-R	EP-G	V	GB-D		2,500	
												不 告示1436号四へ(5)
PH階	電気室	FLP-1	300	FLP-1	60	GB-R素地のまま	—	V	GB-D		3,200	
						RC素地のまま						
												不 火災予防条例
	発電機室	FLP-1	130(-100)	FLP-1	60	GB-R素地のまま	—	V	GB-D		3,600	
						RC素地のまま						
												不 火災予防条例
	旧監視室	FLP-1	130(100)	FLP-1	60	GB-R素地のまま	—	V	GB-D		3,400	
						RC素地のまま						
												不 告示1436号四へ(2)
	旧EV機械室	FLP-1	950(850)	FLP-1	60	GB-R素地のまま	—	V	GB-D		2,500	
						RC素地のまま						
												不 告示1436号四へ(2)

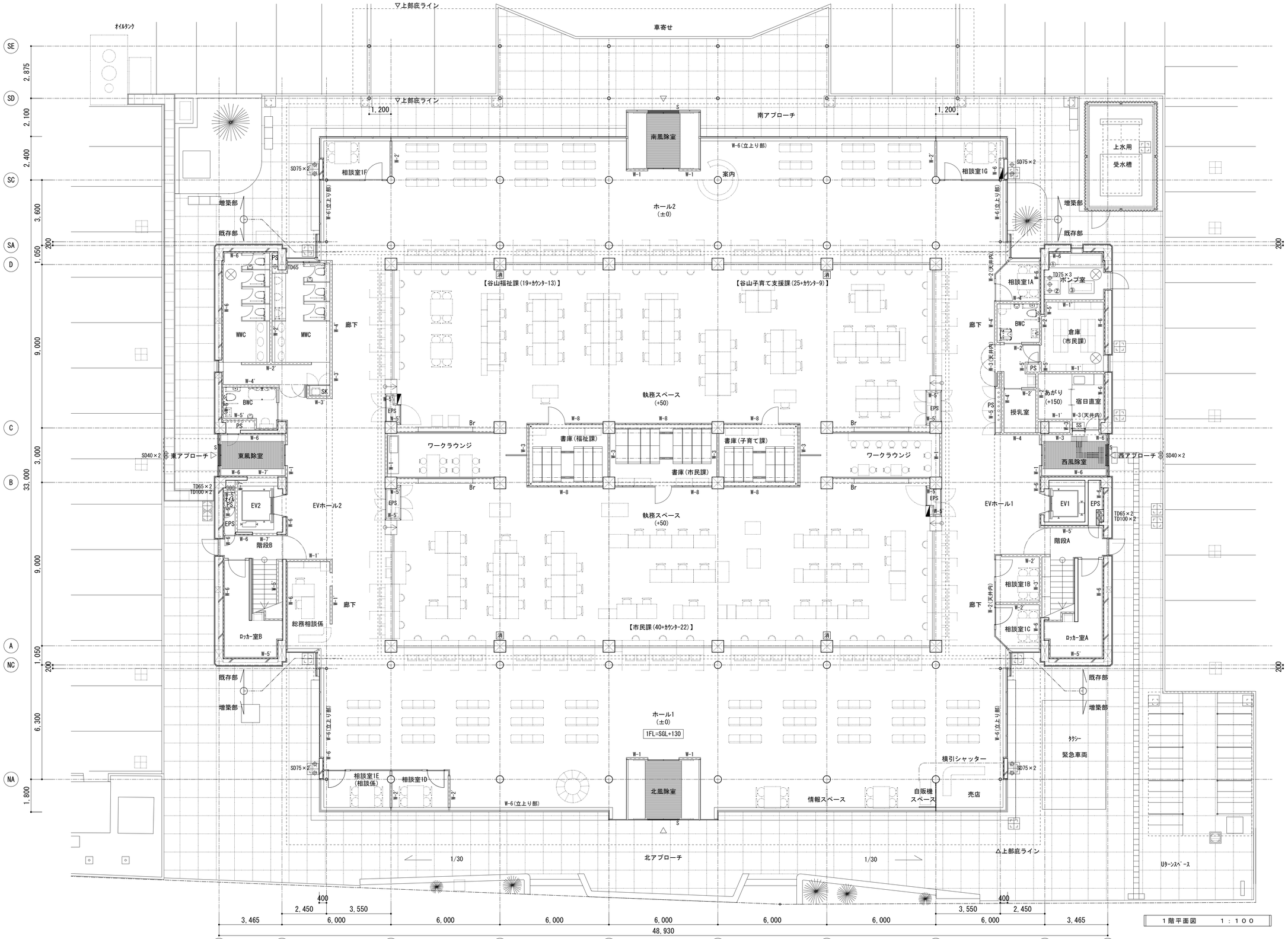
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

仕上表　A1 ―　A3 ―

鹿児島市建設局建築部建築課

No. Ａ－ ０９



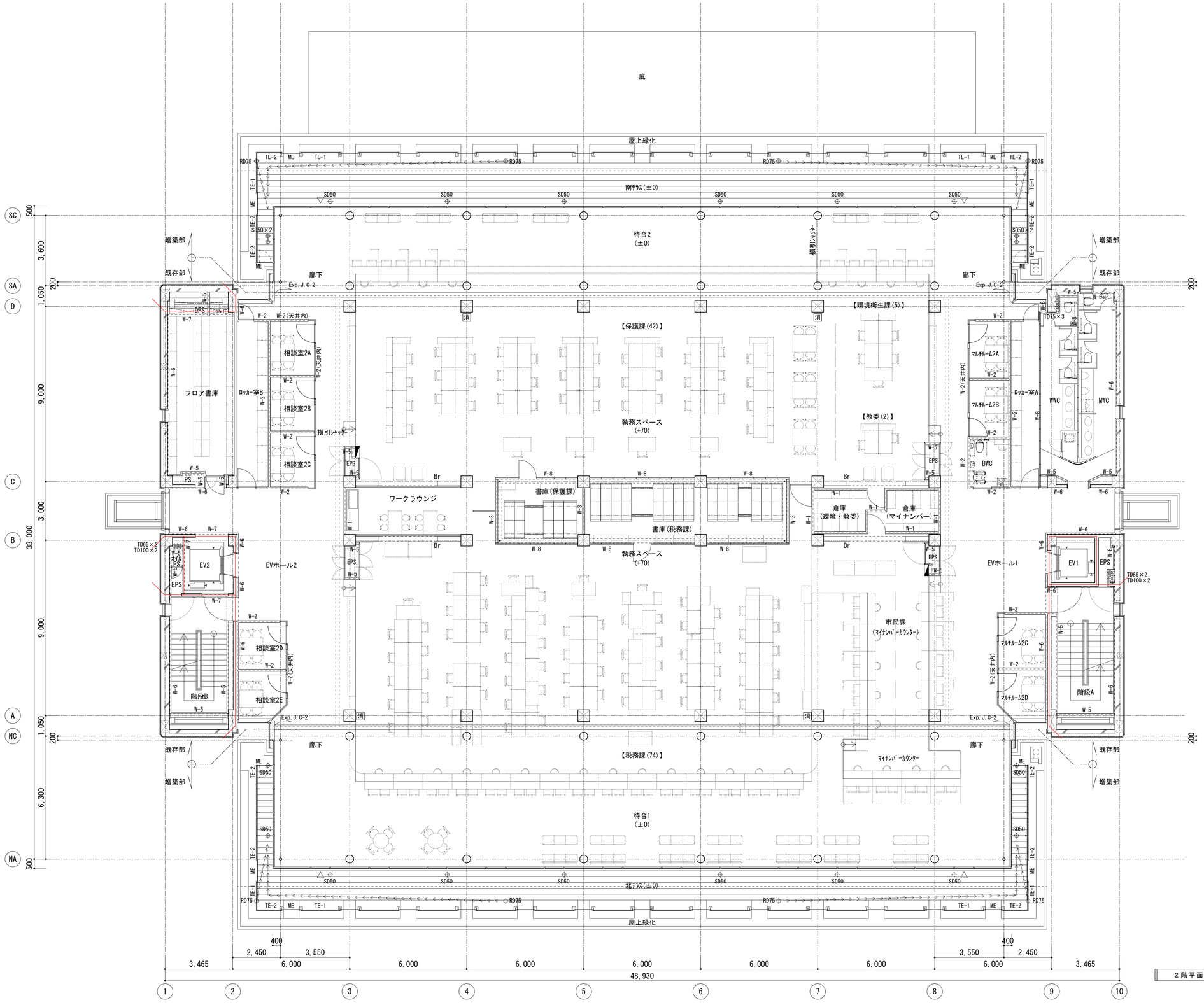
1階平面図　1：100

凡例	300	計画レベル(SGLからの高さを示す)		ECP(押出成形セメント板)	TD, SD	竪樋(数字は径を示す)	Exp. J.C	エキスパンションジョイントカバー	S	風除室前排水スリット	(記号は壁種別を表す。種別は耐火リスト参照)
	(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	SS	鋼製シャッター	RD	ルーフドレイン（数字は径を示す）	消	消火器ボックス		家具（別途工事）	W-1 軽量鉄骨下地ボード壁
		RC柱・壁	SHW	防煙垂れ壁（可動式）	CD	中継ドレイン(数字は径を示す)	TE/ME	ｶﾞﾗｽ手すり/ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ		消火栓（設備工事）	
		RC壁（新設増し打ち）		常閉扉	YD	横引き管(数字は径を示す)		くつふきマット	①	①2,940×850×150	
		鋼管柱	SLW	スライディングウォール		横引き樋（TD,RDと同径）		床点検口(ﾀﾗｯﾌﾟSUS19φ×3/カ所)	機械基礎	②940×960×150	
		ブレース	横引きｼｬｯﾀｰ	横引きシャッター	OF	オーバーフロー管(SUS) 70×30		誘導用点字鋲・注意換気点字鋲	(W×D×H)	③1,400×700×150	

みのだ・ブランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

1階平面図	A1　1/100 A3　1/200	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A－10



2階平面図　1：100

凡例								
300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	ECP	ECP(押出成形セメント板)	TD, SD	竪樋(数字は径を示す)	Exp. J. C	エキスパンションジョイントカバー	家具（別途工事）
(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	SS	鋼製シャッター	RD	ルーフドレイン（数字は径を示す）	消	消火器ボックス	消火栓（設備工事）
	RC柱・壁	SHW	防煙垂れ壁（可動式）	CD	中継ドレイン(数字は径を示す)	TE/ME	ｶﾞﾗｽ手すり/ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ	緩降機
	RC壁（新設増し打ち）		常閉扉	YD	横引き管(数字は径を示す)		くつふきマット	
	鋼管柱	SLW	スライディングウォール		横引き樋（TD,RDと同径）		床点検口	
Br	ブレース	横引きｼｬｯﾀｰ	横引きシャッター	OF	オーバーフロー管(SUS) 70×30		誘導用点字鋲・注意換気点字鋲	

（記号は壁種別を表す。種別は耐火リスト参照）
W-1　軽量鉄骨下地ボード壁

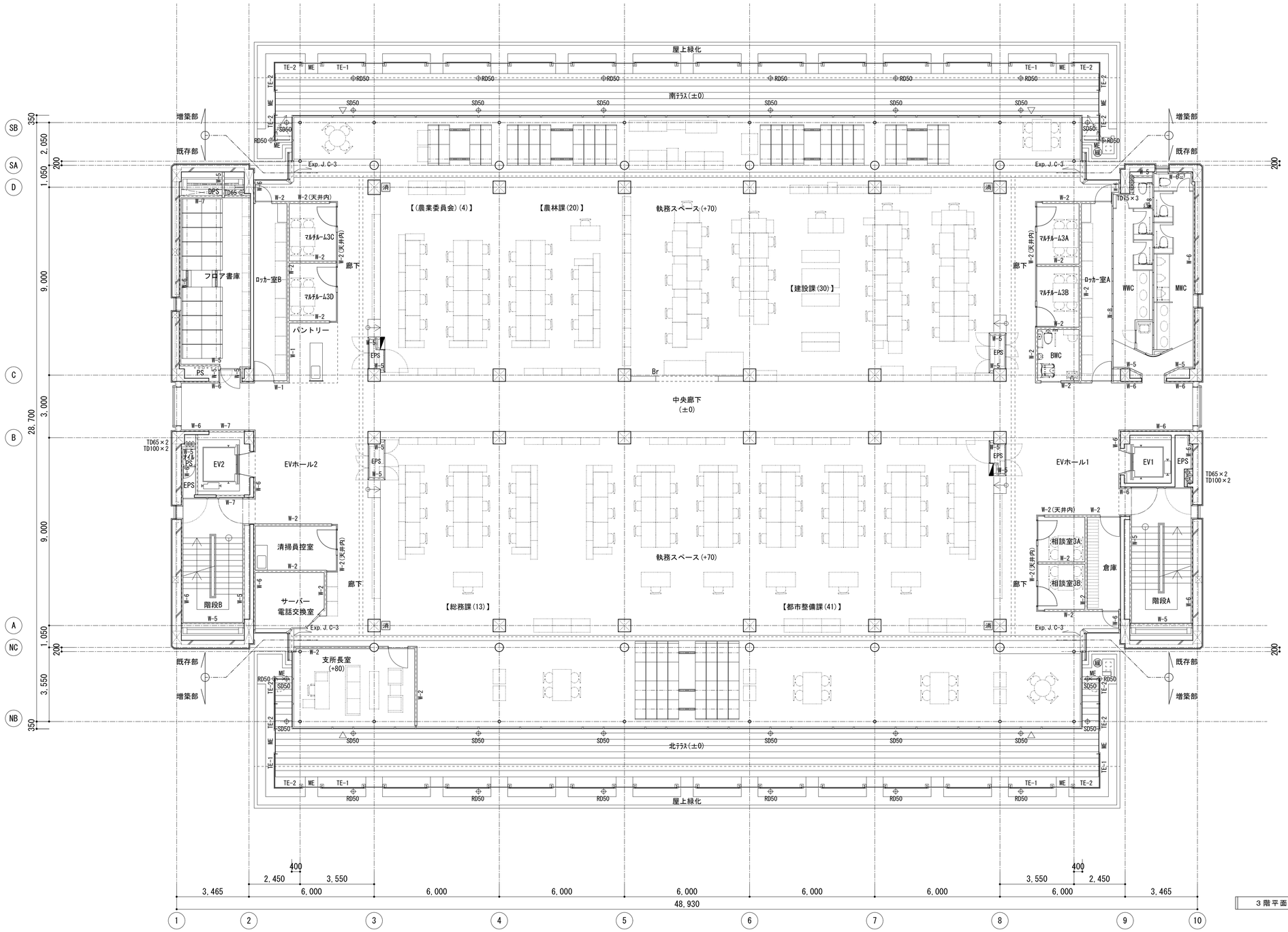
みのだ・ブランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

2階平面図　A1 1/100　A3 1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

No. A－11



凡例								
300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	ECP	ECP(押出成形セメント板)	TD, SD	竪樋(数字は径を示す)	Exp. J. C	エキスパンションジョイントカバー	家具（別途工事）
(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	SS	鋼製シャッター	RD	ルーフドレイン（数字は径を示す）	消	消火器ボックス	消火栓（設備工事）
	RC柱・壁	SHW	防煙垂れ壁（可動式）	CD	中継ドレイン(数字は径を示す)	TE/ME	ﾀﾞﾗｽ手すり/ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ	緩降機
	RC壁（新設増し打ち）		常閉扉	YD	横引き管(数字は径を示す)		くつふきマット	
	鋼管柱	SLW	スライディングウォール		横引き樋（TD,RDと同径）		床点検口	
Br	ブレース	横引きｼｬｯﾀｰ	横引きシャッター	OF	オーバーフロー管(SUS) 70×30		誘導用点字鈑・注意換気点字鈑	

（記号は壁種別を表す。種別は耐火リスト参照）
W-1　軽量鉄骨下地ボード壁

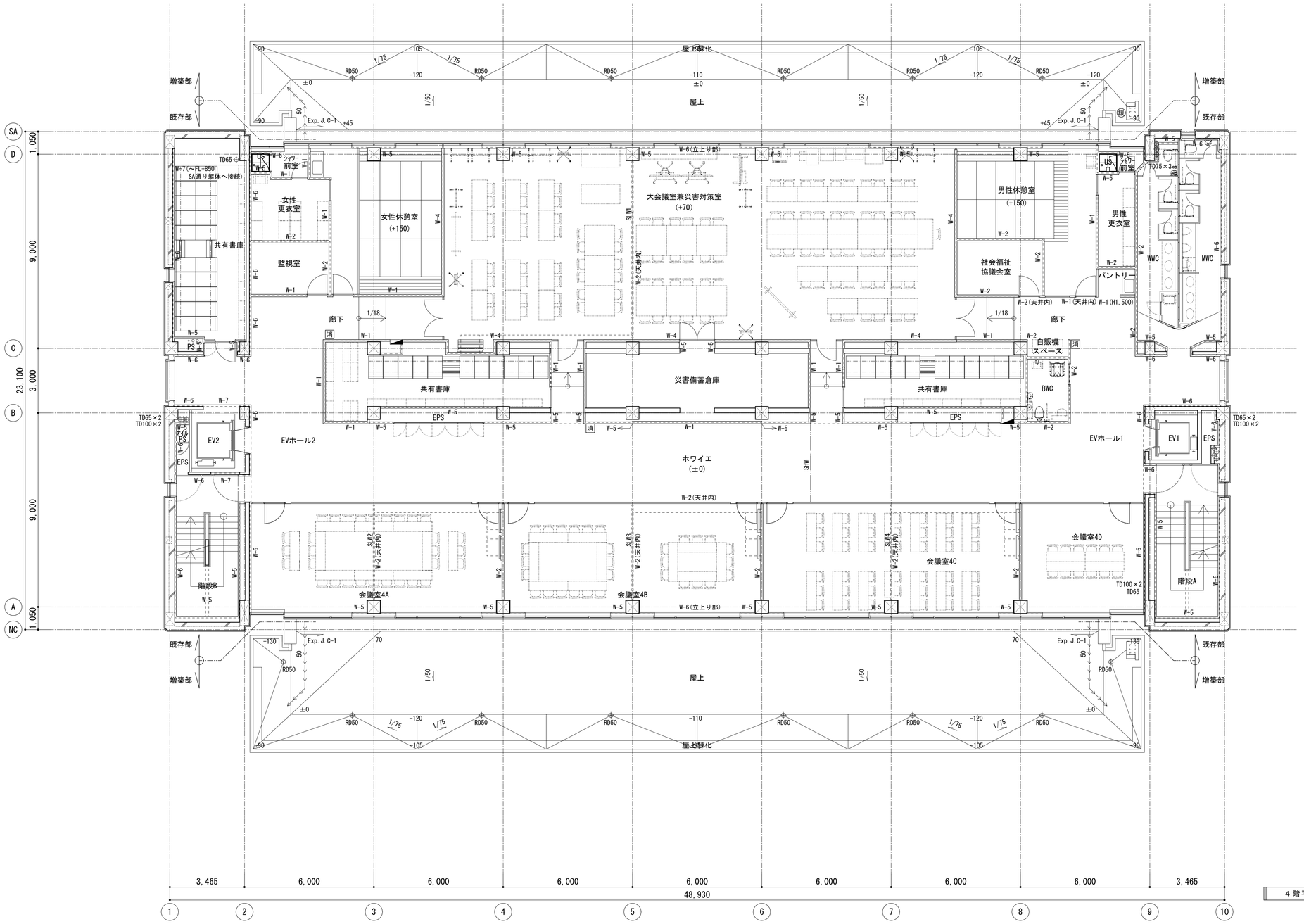
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

3階平面図　A1 1/100　A3 1/200

No. A－12

鹿児島市建設局建築部建築課



4階平面図　1：100

凡例	300	計画レベル(SGLからの高さを示す)		EOP(押出成形セメント板)	TD, SD	竪樋(数字は径を示す)	Exp. J. C	エキスパンションジョイントカバー		家具（別途工事）	(記号は壁種別を表す。種別は耐火リスト参照)
	(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	SS	鋼製シャッター	RD	ルーフドレイン（数字は径を示す）	消	消火器ボックス		消火栓（設備工事）	W-1 軽量鉄骨下地ボード壁
		RC柱・壁	SHW	防煙垂れ壁（可動式）	CD	中継ドレイン(数字は径を示す)	TE/ME	ｶﾞﾗｽ手すり/ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ	緩	緩降機	
		RC壁（新設増し打ち）		常閉扉	YD	横引き管(数字は径を示す)		くつふきマット			
		鋼管柱	SLW	スライディングウォール		横引き樋（TD,RDと同径）		床点検口			
	Br	ブレース	横引き ｼｬｯﾀｰ	横引きシャッター	OF	オーバーフロー管(SUS) 70×30		誘導用点字鋲・注意換気点字鋲			

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

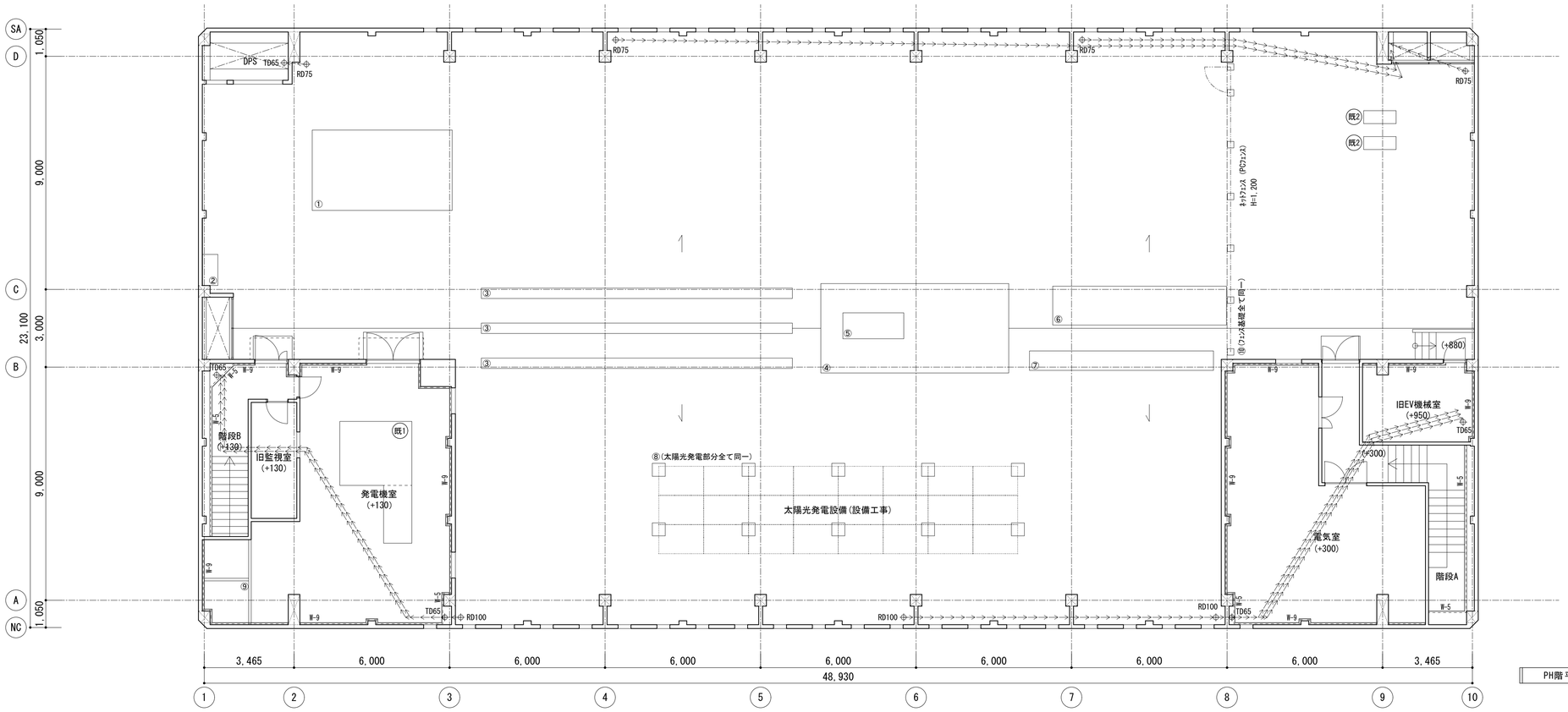
4階平面図

A1　1/100
A3　1/200

No.

鹿児島市建設局建築部建築課

A － 13



凡例	300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	TD, SD	竪樋(数字は径を示す)	Exp. J. C	エキスパンションジョイントカバー	① 機械基礎(W×D×H)(タイプ)	①5, 400×3, 100×150(A)	⑦7, 100×750×150(A)	既1 2, 780×2, 470×150	(記号は壁種別を表す。種別は耐火リスト参照)		
	(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	RD	ルーフドレイン（数字は径を示す）	消	消火器ボックス		②600×1, 200×150(A)	⑧500×500×500(C)	1, 090×2, 220×150	W-1 軽量鉄骨下地ボード壁		
		RC柱・壁	CD	中継ドレイン(数字は径を示す)	TE/ME	ｶﾞﾗｽ手すり/ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ		③12, 000×400×600(B)	⑨1, 700×1, 600×100	既2 1, 250×500×500			
		RC壁（新設増し打ち）	YD	横引き管(数字は径を示す)		くつふきマット		④7, 250×3, 450×150(A)	(面立上り730)				
		鋼管柱		横引き樋（TD, RDと同径）		床点検口		⑤2, 350×1, 000×450(C)	⑩250×250×300				
		EOP(押出成形セメント板)	OF	オーバーフロー管(SUS) 70×30		誘導用点字鋲・注意換気点字鋲		⑥6, 700×1, 500×150(A)					

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

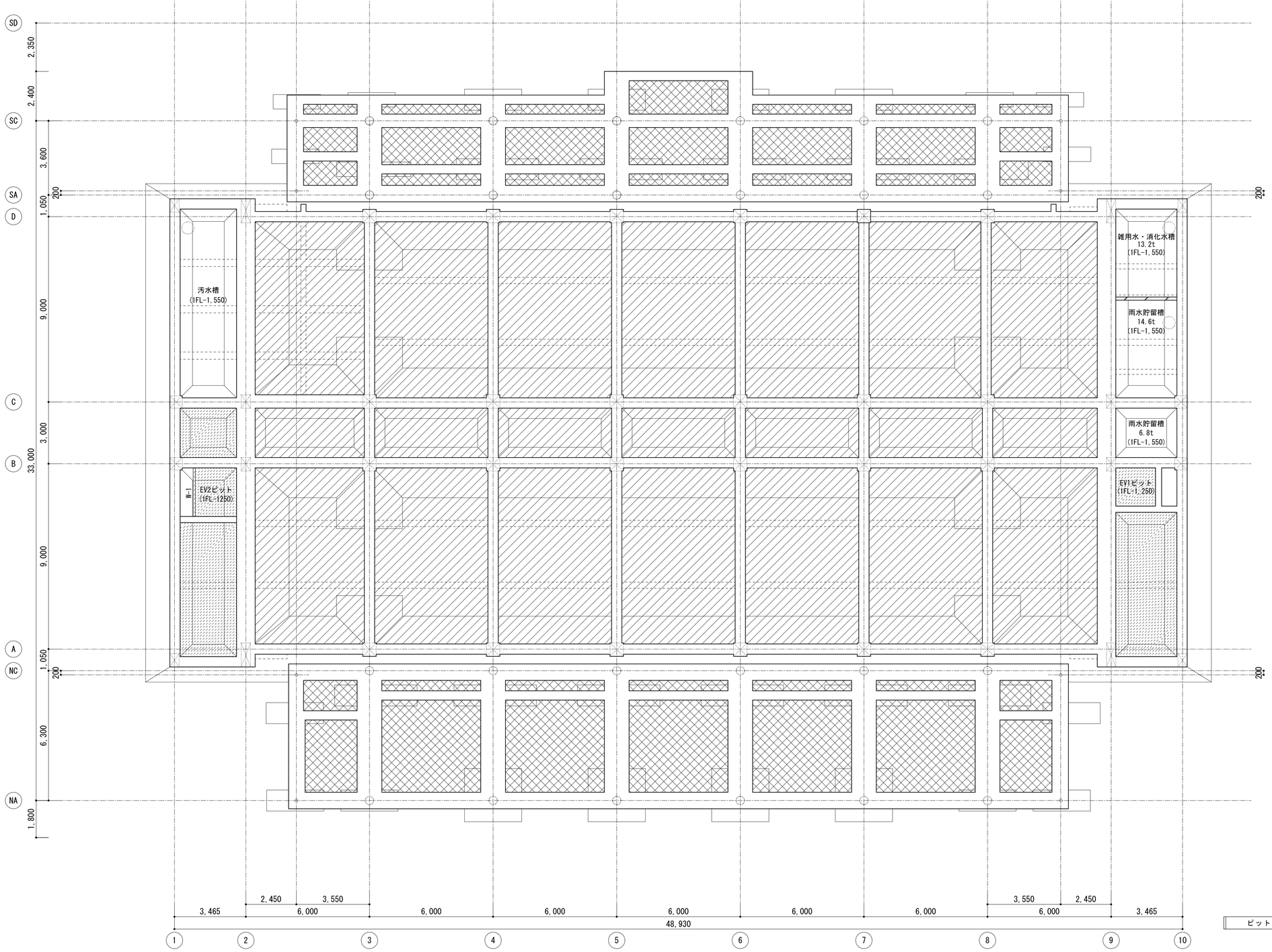
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

PH・R階平面図

A1　1/100
A3　1/200

No.
A－14

鹿児島市建設局建築部建築課



ピット図　　1：100

凡例				
	(-70)	計画レベル(1FLからの高さを示す)		既存のまま
		RC柱・壁		埋戻し範囲
		新設RC壁 t=150（既存部）		コンクリート埋戻し
		鋼管柱(上階)		
		床点検口		

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

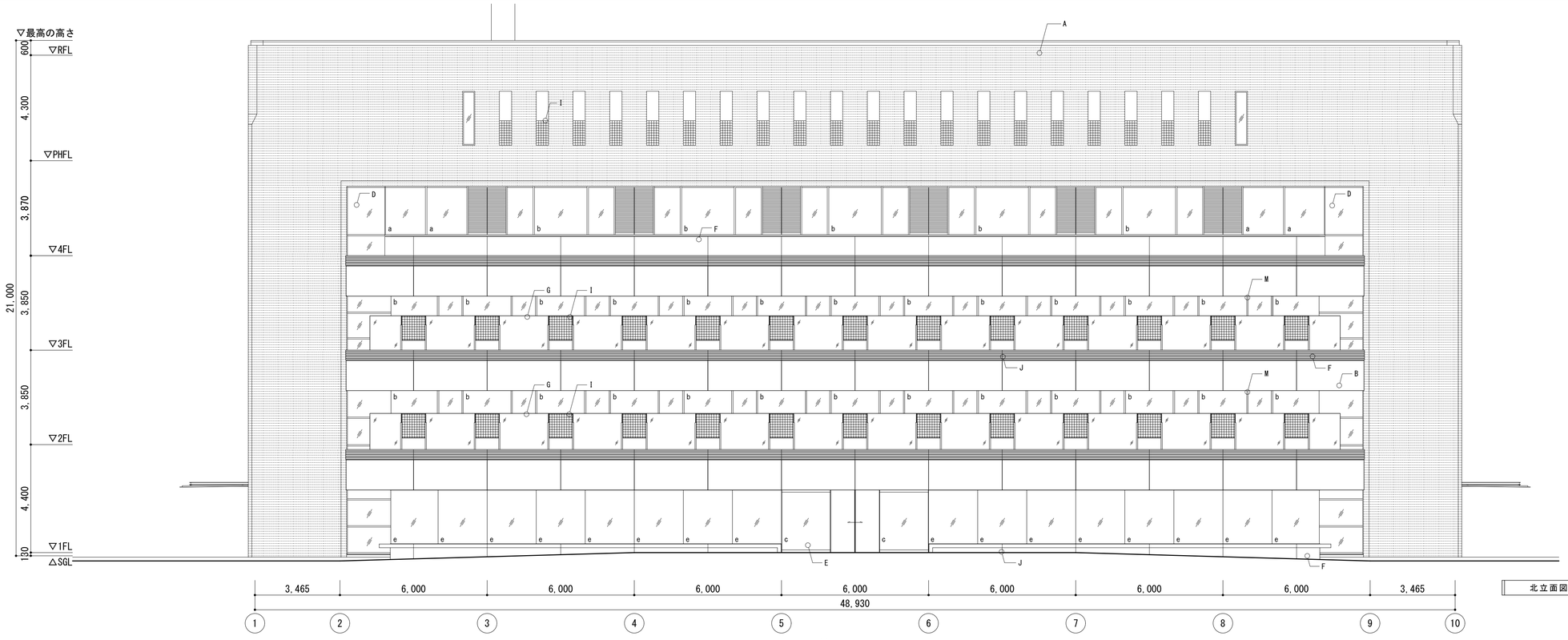
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

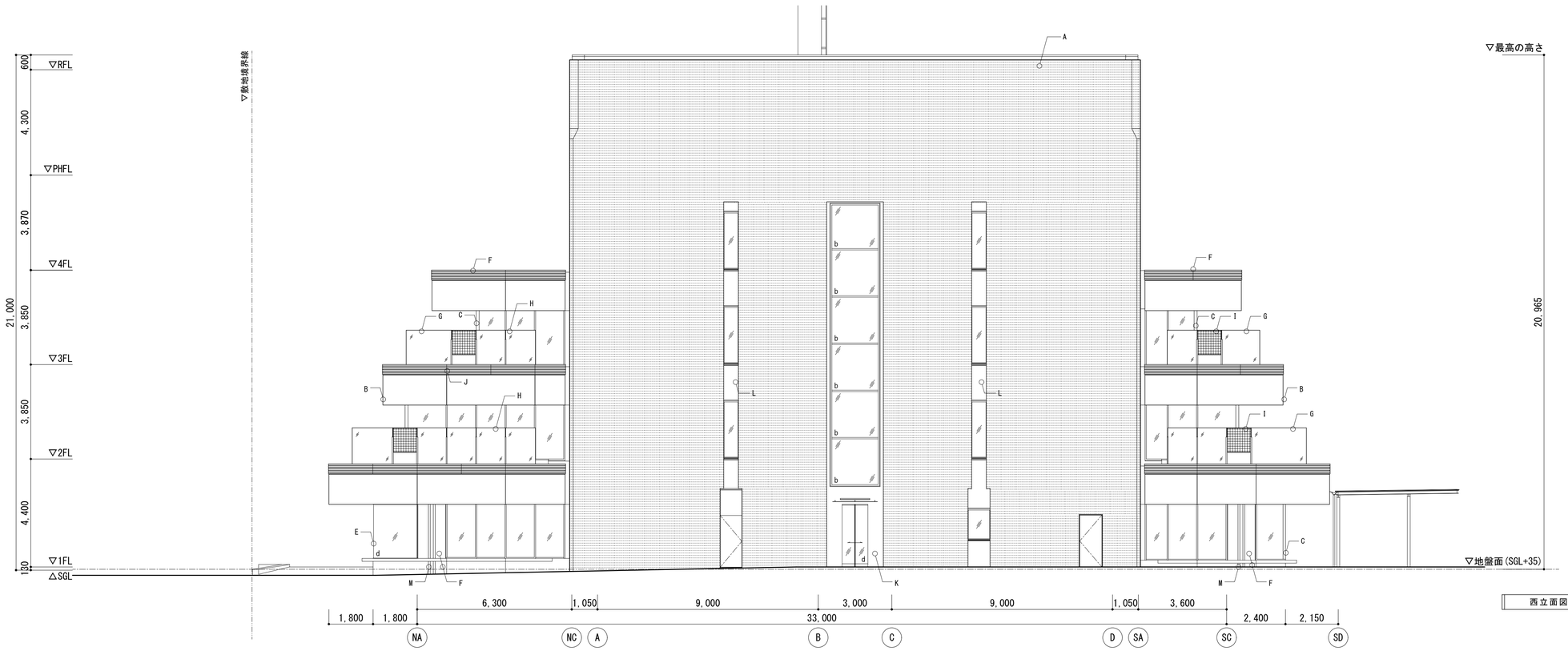
ピット図　　A1　1/100　A3　1/200

No.　A－15

鹿児島市建設局建築部建築課



北立面図　　1：100



西立面図　　1：100

凡例											
	A	既存打込みタイル	G	TE-1		M	縦樋				
	B	アルミパネル	H	TE-2							
	C	アルミサッシ	I	メッシュフェンス							
	D	アルミカーテンウォール	J	誘発目地(ﾌｧｼﾊﾞﾎﾞﾙ下地まで)							
	E	ステンレスサッシ	K	塗壁	ECP下地						
	F	RC-A(化)の上、DP-AS	L		既存RC/ﾓﾙﾀﾙ下地						

ガラス割凡例				
		ガラスを示す	f	D-LE8+A6+PWC6.8(認定)
	a	D-LE8+A6+FL6		D-LE8+A6+FL6,PWC10(告示)
	b	D-LE8+A6+FL8		
	c	T-5		
	d	T-10		
	e	T-15		特記なきはD-LE6+A6+FL6とする

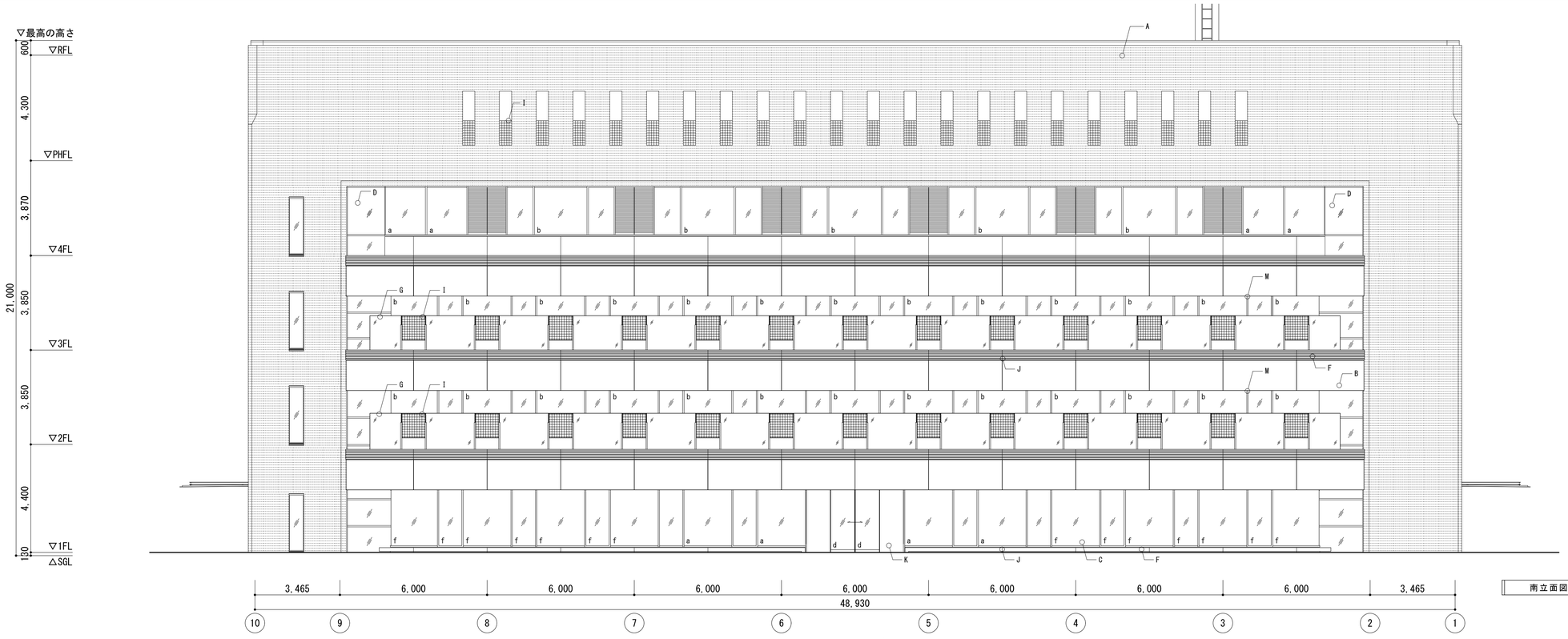
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

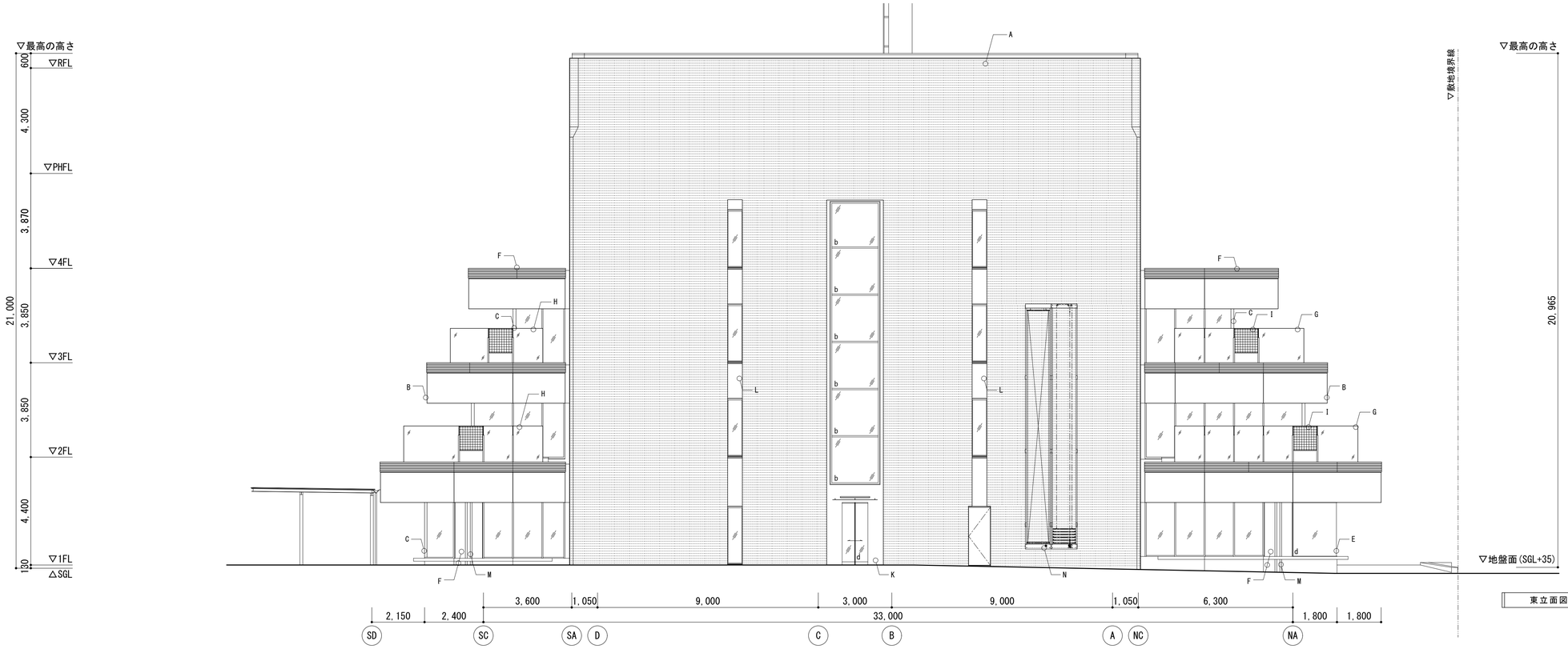
立面図(1)　　A1　1/100　A3　1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

No.　A－16



南立面図　　1：100



東立面図　　1：100

凡例

A	既存打込みタイル	G	TE-1		M	縦樋			ガラスを示す	f	D-LE8+A6+PWC6.8(認定)
B	アルミパネル	H	TE-2		N	懸垂幕	ガラス(厚)凡例	a	D-LE8+A6+FL6		D-LE8+A6+FL6,PWC10(告示)
C	アルミサッシ	I	メッシュフェンス					b	D-LE8+A6+FL8		
D	アルミカーテンウォール	J	誘発目地(ﾌｧﾐﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ下地まで)					c	T-5		
E	ステンレスサッシ	K	塗壁	ECP下地				d	T-10		
F	RC-A(化)の上、DP-AS	L		既存RC/ﾓﾙﾀﾙ下地				e	T-15		特記なきはD-LE6+A6+FL6とする

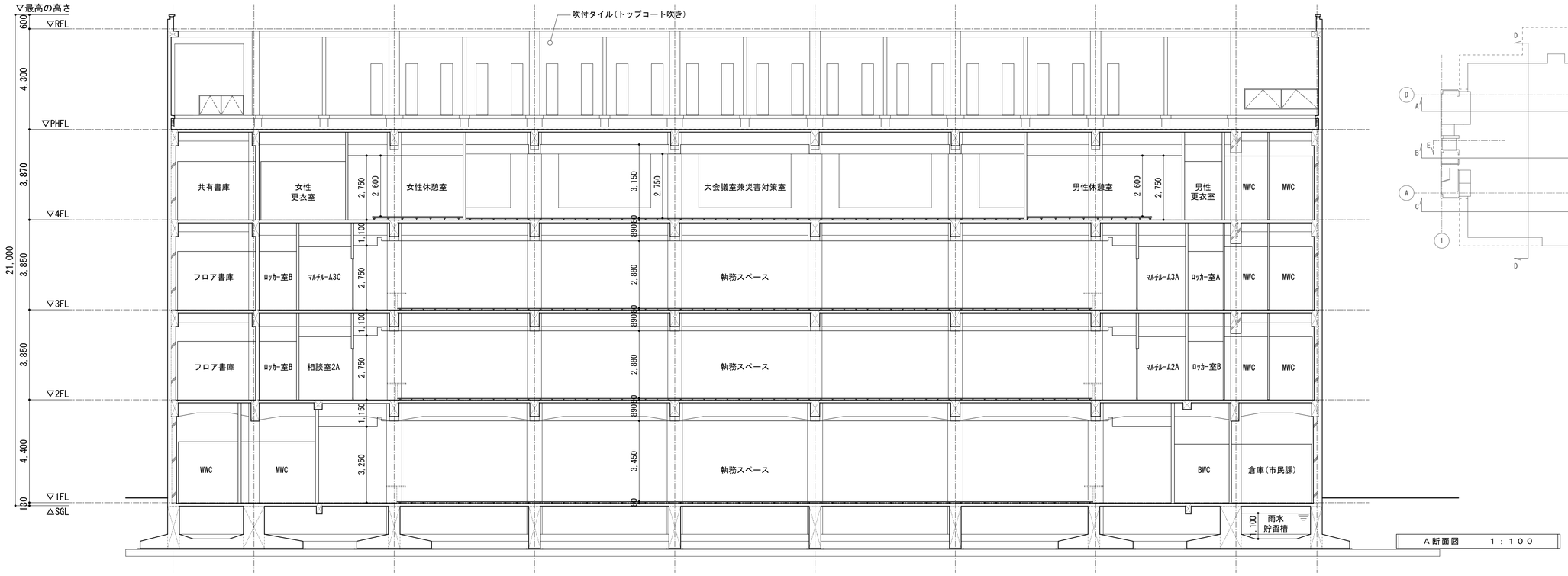
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

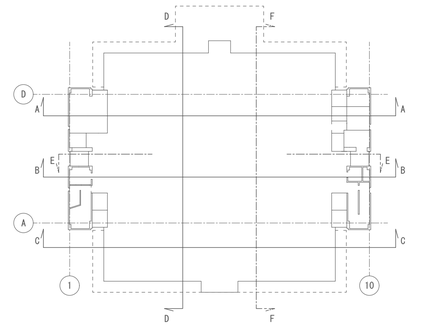
立面図(2)　　A1　1/100　A3　1/200

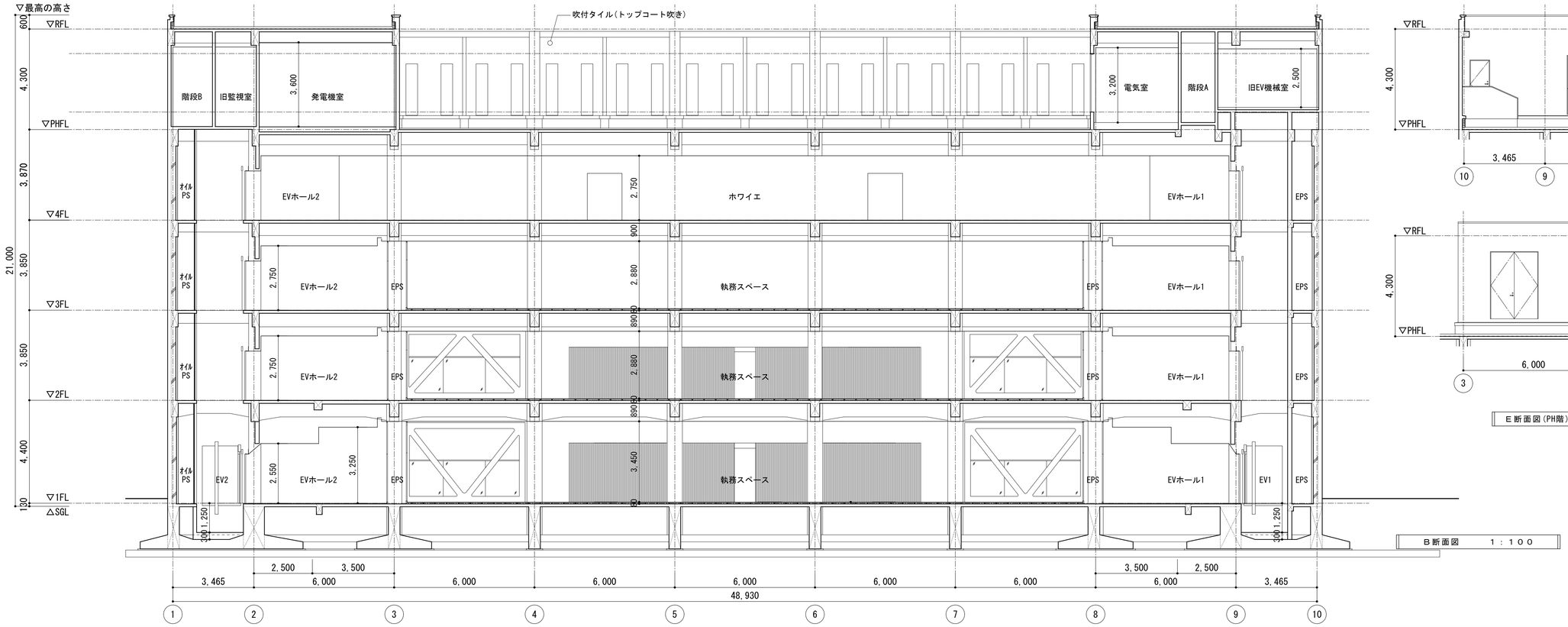
鹿児島市建設局建築部建築課

No.　A－17

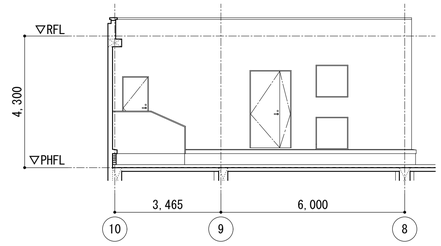


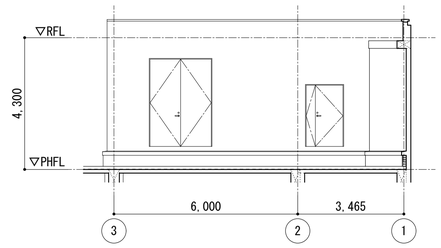
A断面図　1：100





B断面図　1：100

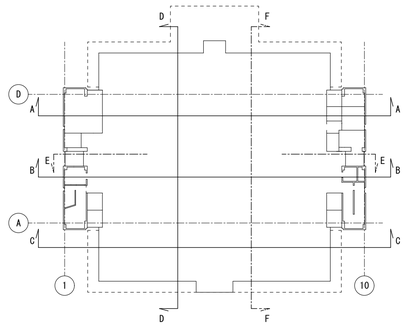




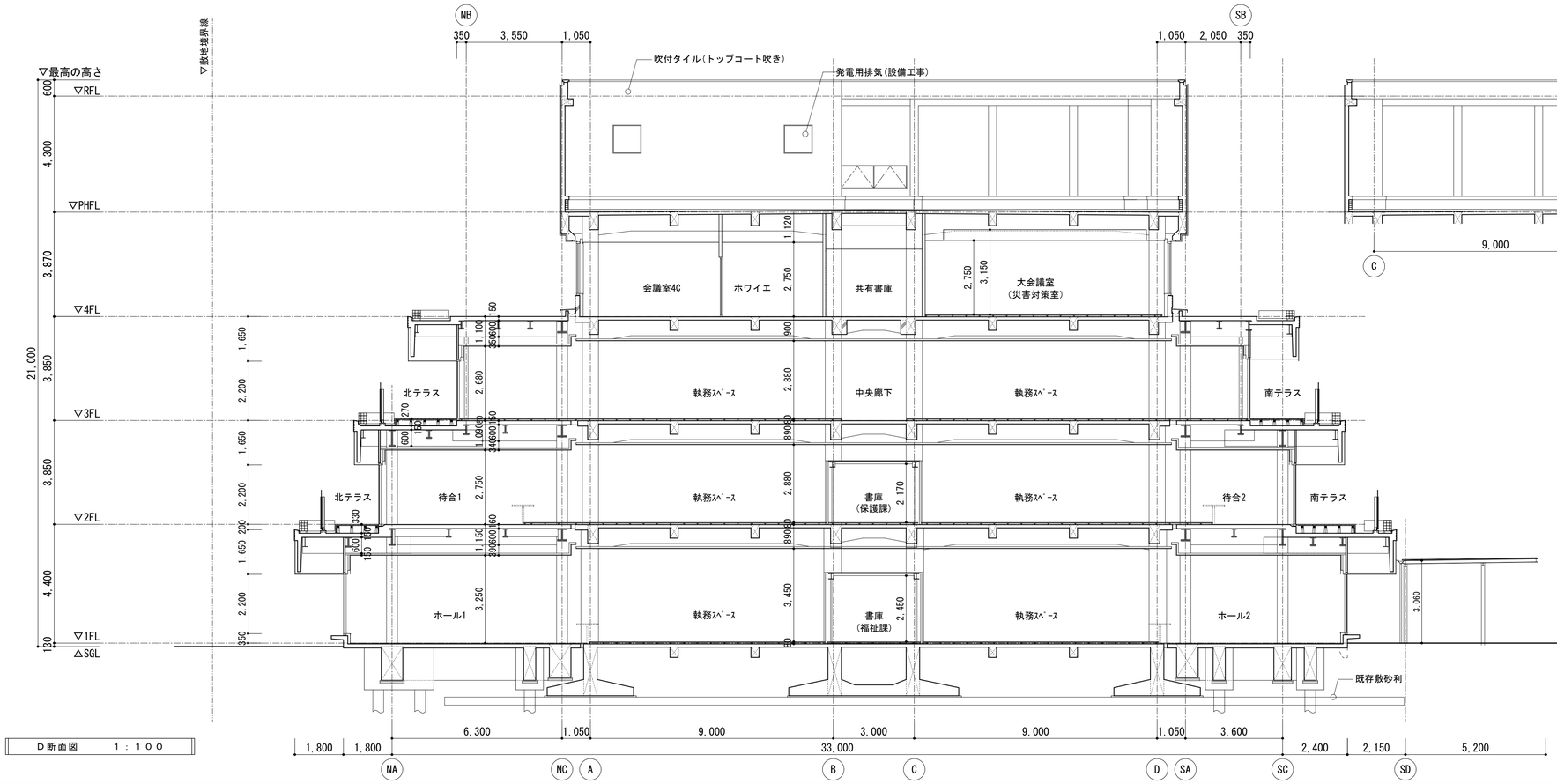
E断面図(PH階)　1：100

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事 断面図(1)　A1 1/100　A3 1/200 鹿児島市建設局建築部建築課	No. A－18

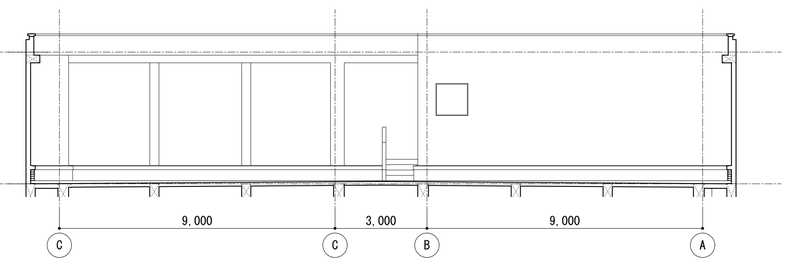
C断面図　1：100



PH階の切断位置を示す

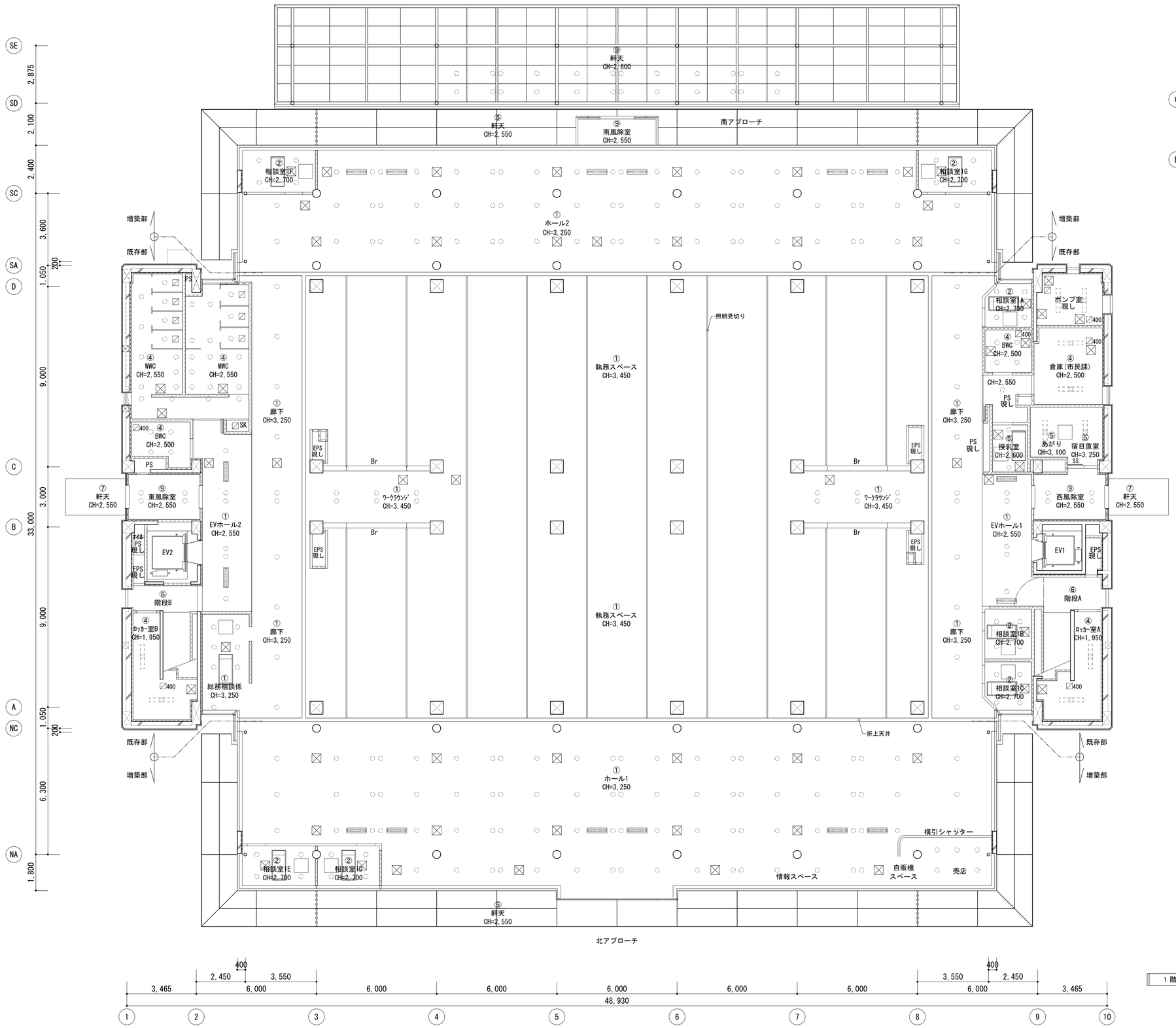


D断面図　1：100

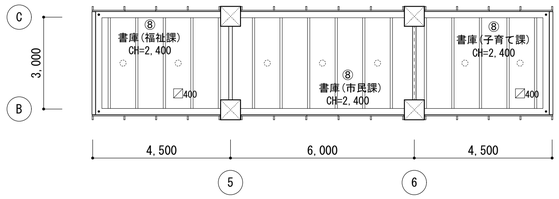


F断面図　1：100

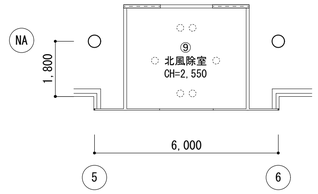
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社　みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	断面図(2)	A1　1/100 A3　1/200	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 19



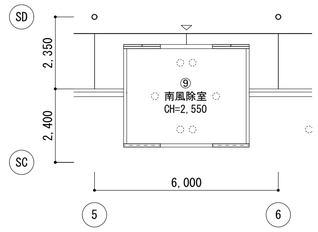
1階天井伏図　1：100



中央書庫天井伏図　1：100



北風除室天井伏図　1：100



南風除室天井伏図　1：100

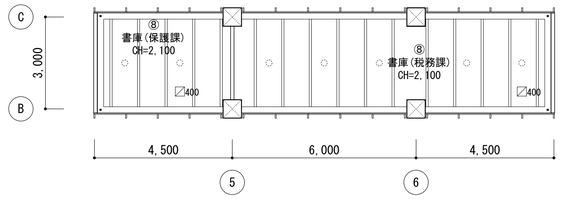
凡例				
	①	DR	⑦	スチールPL Zn-P
	②	GB-P	⑧	GB-D直貼り(合板下地)
	③	GB-Rの上、EP	⑨	FK
	④	GB-D	⑩	透かし天井
	⑤	アルミパネル		軒天間仕切
	⑥	既存RCの上、EP		

設備機器の開口及び補強（詳細な寸法は設備図参照）　※点線は開口補強が不要なものを示す。

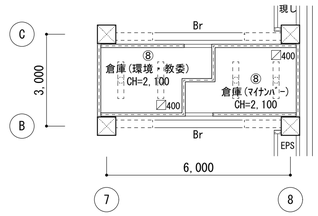
(空調) (950×950) (1,500×700)
(換気) (700×700) (1,000×150) (150×150) (400×400) 400
(照明) (450×450) (1,200×150) (75φ)
(450×450) 天井点検口 (目地タイプ)

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

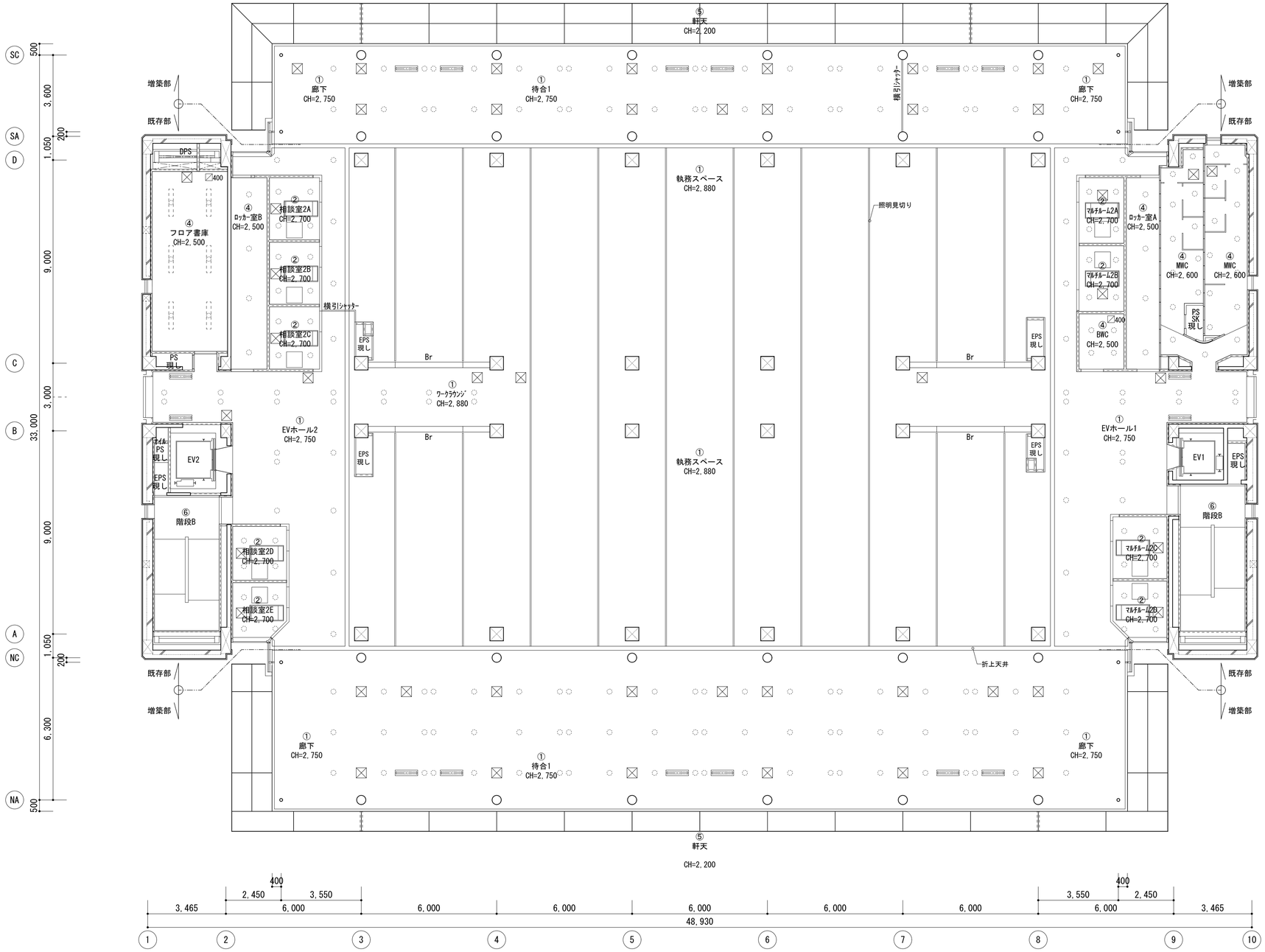
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
1階天井伏図	A1 1/100 A3 1/200	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A － 20



中央書庫天井伏図　１：１００



中央書庫天井伏図　１：１００



２階天井伏図　１：１００

凡例				
①	DR	⑦	スチールPL Zn-P	
②	GB-P	⑧	GB-D直貼り(合板下地)	
③	GB-Rの上、EP	⑨	FK	
④	GB-D	⑩	透かし天井	
⑤	アルミパネル		軒天間仕切	
⑥	既存RCの上、EP			

設備機器の開口及び補強（詳細な寸法は設備図参照）　※点線は開口補強が不要なものを示す。

(空調)　(950×950)　(1,500×700)

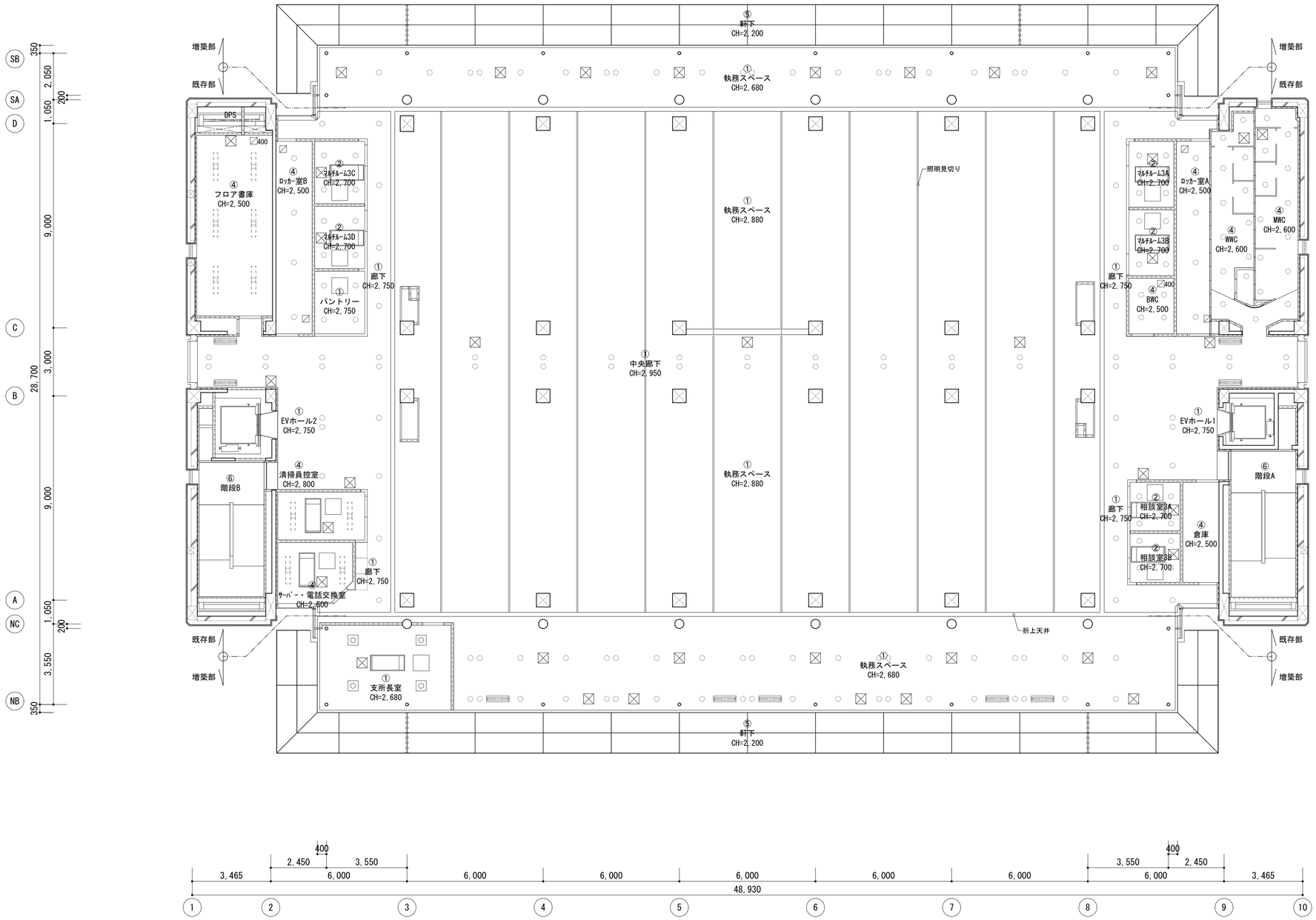
(換気)　(700×700)　(1,000×150)　(150×150)　(400×400)

(照明)　(450×450)　(1,200×150)　(75φ)

(450×450)
天井点検口
(目地タイプ)

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
2階天井伏図	A1　1/100 A3　1/200	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A － ２１



3階天井伏図　　1：100

凡例				
①	DR	⑦	スチールPL Zn-P	
②	GB-P	⑧	GB-D直貼り(合板下地)	
③	GB-Rの上、EP	⑨	FK	
④	GB-D	⑩	透かし天井	
⑤	アルミパネル		軒天間仕切	
⑥	既存RCの上、EP			

設備機器の開口及び補強（詳細な寸法は設備図参照）　※点線は開口補強が不要なものを示す。

(空調)　(950×950)　(1,500×700)

(換気)　(700×700)　(1,000×150)　(150×150)　400 (400×400)

(照明)　(450×450)　(1,200×150)　(75φ)

(450×450) 天井点検口 (目地タイプ)

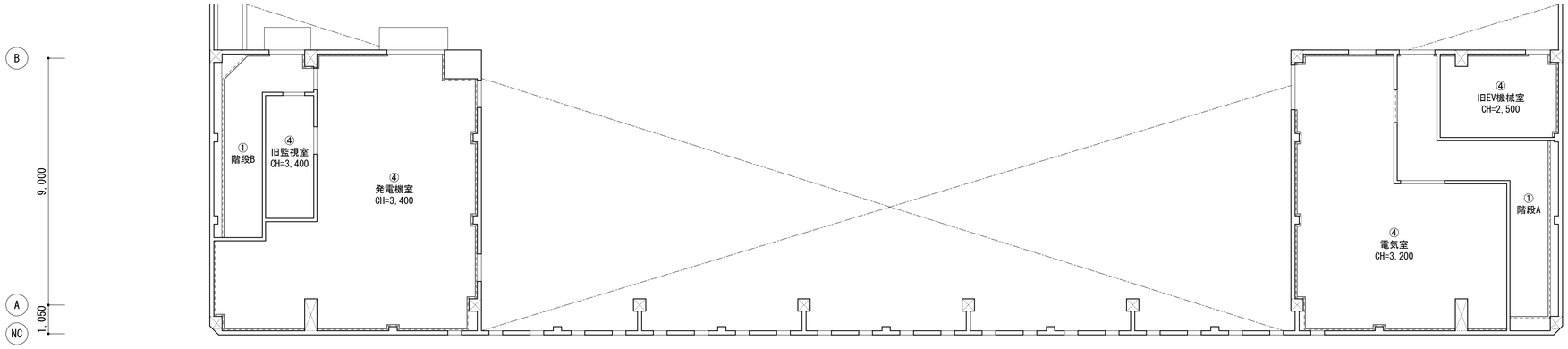
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

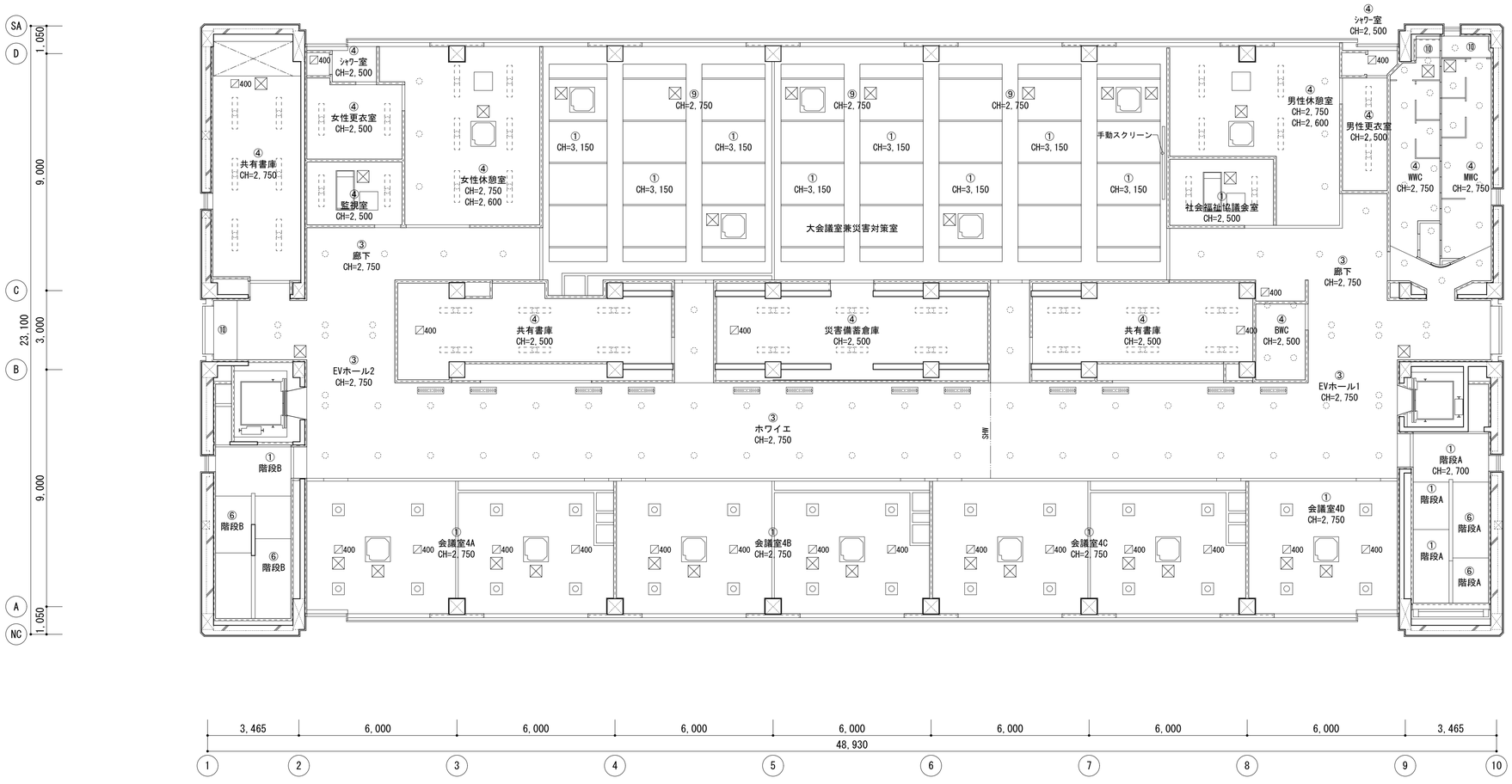
3階天井伏図　A1 1/100　A3 1/200

No. A－22

鹿児島市建設局建築部建築課



PH階天井伏図　　1：100



４階天井伏図　　1：100

凡例					
	①	DR	⑦	スチールPL Zn-P	
	②	GB-P	⑧	GB-D直貼り(合板下地)	
	③	GB-Rの上、EP	⑨	FK	
	④	GB-D	⑩	透かし天井	
	⑤	アルミパネル			
	⑥	既存RCの上、EP			

設備機器の開口及び補強（詳細な寸法は設備図参照）　※点線は開口補強が不要なものを示す。

(空調)　(950×950)　(1,500×700)

(換気)　(700×700)　(1,000×150)　(150×150)　(400×400)

(照明)　(450×450)　(1,200×150)　(75φ)

(450×450)
天井点検口
(目地タイプ)

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

4階・PH階天井伏図

A1　1/100
A3　1/200

No.
A－23

鹿児島市建設局建築部建築課

共通事項

・本表は建具関連の符号・標準枠納まりなどを示しているが、本表に記載のない仕様は、標準仕様書特記仕様書（16章・20章・9章・14章・18章）を適用する。
・トイレブース・戸棚・カウンター戸その他これらに類する建具は別図によるものとし、本表には含まない。
・本表に記載の符号などは、本表以外の設計図にも適用する。
・建具表備考欄に 防 特 とあるのは、防火設備・特定防火設備を示し、開き戸はノンストップクローザー、埋込み戸は煙感知器連動閉鎖装置付きとする。
・表中、※印を付した事項を適用する。・印をΘにした場合は、Θ印を優先して適用する。
・※Θ印とした場合は、両方を適用する。
・建具枠・腰板・額縁のちりは、8mmとする。・建具寸法は全て内法寸法とする。

建具の符号

建具の種類
整理番号

整理番号3桁：外部建具
整理番号1・2桁：内部建具

建具の種類と符号

符号	種　類	符号	種　類	符号	種　類
AD	アルミニウム製戸	SDi	鋼製戸(点検扉)	AG	アルミニウム製ガラリ
SD	鋼製戸	STW	ステンレス製窓	SG	鋼製ガラリ
LSD-H	鋼製軽量戸(開き戸)	AW	アルミニウム製窓	WG	木製ガラリ
LSD-S	鋼製軽量戸(引き戸)	SW	鋼製窓	SP	可動間仕切り（パーティション）
STD	ステンレス製戸	ACW	アルミカーテンウォール	SHW	可動防煙垂壁
WD	木製戸	SS	鋼製重量シャッター		
H	熱線吸収ガラス				

ガラスの種類・符号・性能

符号	種　類	符号	種　類	符号	種　類
FL	フロート板ガラス	L	合わせガラス	PW C	網入ガラス（防火設備）
F	型板ガラス	D	複層ガラス	FW C	網入型板ガラス（防火設備）
T	強化ガラス	LE	Low -Eガラス	FK	耐熱ガラス（特定防火設備）
▶	シングルシール	▶▶	ダブルシール		

建具金物などの種類

注）・建具金物などの使用は下記とし、製造者・品番は同等品以上とする。
・建具の大きさ、重量に適した品番を選定すること。

区分	符号	種　類	材質・性能・寸法・塗装など	備　考
錠・締り金物	C	空錠	※シリンダー箱錠の シリンダー無しタイプ	
	PD	本締錠	框戸・自動ドアなどは、納まり寸法に応じて同等性能品から選定する。	
	-E	本締錠	電気錠	
	CP	シリンダー箱錠	バックセット ＜レバーハンドル＞ ・76mm以上 ※64mm以上・50mm以上、ｽﾃﾝﾚｽ製L=135以上	
	-E	シリンダー箱錠	電気錠	
	SL-1	引錠戸（鎌状）	静音タイプ	
	SL-2	〃（上吊用ロッドタイプ）		
	FD	上げ落し（フランス落し）		
	前記錠に付属する符号			
	-EL	非常開錠装置付本締錠	（非常開錠装置付き）	
	-H	表示付き		
	K	点検扉錠		召合せ部のﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾛｯｸﾀｲﾌﾟ
支持金物	PH-1	ピボットヒンジ（枠付け）		扉に対して垂直飛び出し
	PH-2	ピボットヒンジ（ステンレス製）	ロストワックスまたは削出し加工品	
	KH	隠し丁番	点検扉用	
	H	丁番	室外用ステンレス製	外部利用時は、2液性エポキシプライマー塗装
自閉装置	DC-1	ドアクローザー	ラッチング機能、ディレードアクション機能 バックチェック機能 （※屋外に面する場合・屋内Grade-1適合品	パラレル型の使用を原則とする。内開きの内側につく場合は、BT型とする。
	DC-2	ドアクローザー（コンシールド）	一般用	
	DC-3	引戸クローザー	傾斜式	
自閉装置付き支持金物	HC-1	ヒンジクローザー（中心吊り）		
ハンドル把手類	LH-1	レバーハンドル	ｽﾃﾝﾚｽHL（錠製造者の標準品）	
	LH-2	レバーハンドル	ｽﾃﾝﾚｽ製（黒） 137×50×68	シリンダー同系仕上(黒)
	LH-3	レバーハンドル	ｽﾃﾝﾚｽ製（白） 137×50×68	シリンダー同系色(白)
	HH-1	堀込引手	標準品	
	HH-2	堀込引手	点検扉用	
	DH-1	ドアハンドル	ステンレスHL(L=600) （錠製造業者の標準品）	
	DH-2	ドアハンドル	選定品(L=600)、ｱｸﾘﾙ製 （白） 30φ	シリンダー同系色(白)
	DH-3	ドアハンドル	選定品(L=2050)、ｱﾙﾐ製ﾌﾛｽﾄ処理 （黒） W25	シリンダー同系仕上(黒)
その他	JC-1	閉鎖順位調整機器（アーム式）	材質 ※ステンレス ・鋼	
	JC-2	閉鎖順位調整器（アーム式）（戸ジャクリ組込みタイプ）		
	DS	戸当り	ｱﾙﾐ製L=120（白）+先端ｺﾞﾑｸﾞﾚｰ	
	DSG	戸当りゴム	ｵｰﾙｺﾞﾑ被覆（黒）	
	ATG	AT用気密材		
	WS	ワイヤーステー		

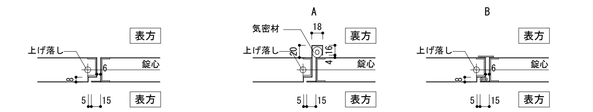
標準建具金物セット

注）建具表に特記されているものは建具表を優先する。

区分	A(引戸一般)	B(引き戸WC)	C(開き戸一般)	D(開き戸白)	E(両開き戸)
錠・締り金物	SL-2	SL-1-H	CP	CP	PD
上げ落し	-	-	FD(両開きのみ)	FD(両開きのみ)	FD
支持金物	-	-	PH-1	PH-1	PH-2
自閉装置	DC-3	DC-3	DC-1	DC-1	DC-2
ハンドル・把手類	DH-2	DH-2	LH-1	LH-3	DH-3
その他	-	-	JC-2(両開きのみ)・DS	JC-2(両開きのみ)・DS	JC-2・DS
区分	F(点検口)	G(防火戸)	H(SP扉)	I(屋外開き戸)	
錠・締り金物	K	-	CP	CP	
上げ落し	-	-	-	FD(両開きのみ)	
支持金物	KH	-	PH-1	H	
自閉装置	-	HC-1	DC-1	DC-1	
ハンドル・把手類	-	HH-1(背面付)	LH-2	LH-1	
その他	WS	-	DS	JC-2(両開きのみ)・DS	

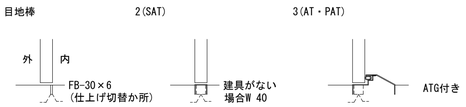
開き戸召し合せ部　1/5

一般　SAT・AT



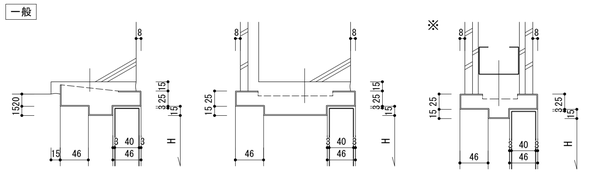
※目板は必ず面おさまりとすること。

くつずりの材質、形状と符号　材質：ステンレス

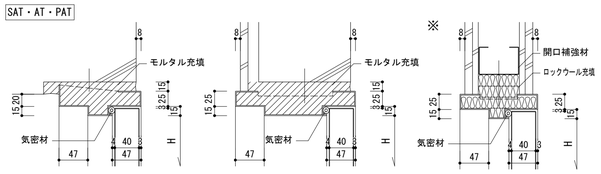


標準建具枠納まり　1/5

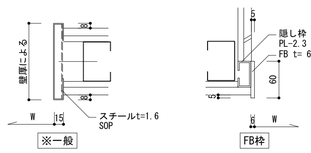
一般



SAT・AT・PAT



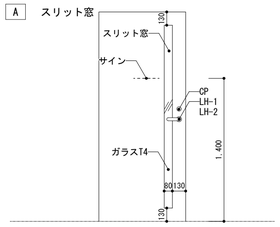
三方枠・一方枠　壁の先端の場合は、壁厚+8mmちりとする。



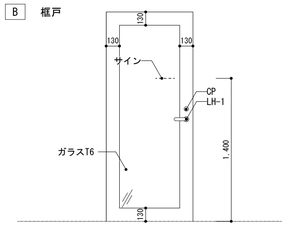
内部建具基準姿図

注）・シリンダー箱錠の場合、シリンダー高さは製品に従う。　1/30

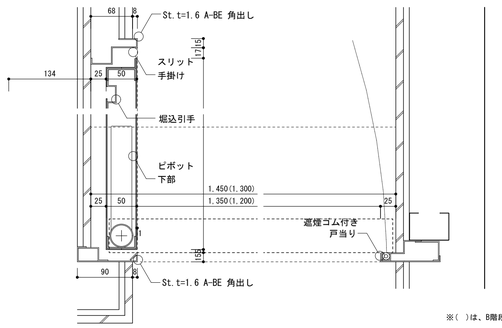
A　スリット窓



B　框戸

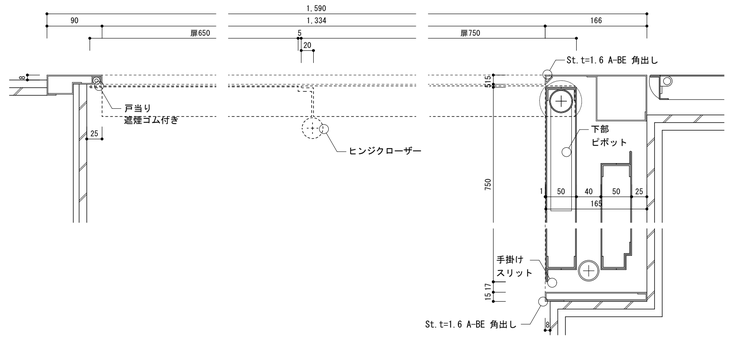


SD10 SD11 SD12 SD13 防火戸　枠・戸当り・手掛けスリット・堀込引手　1/5

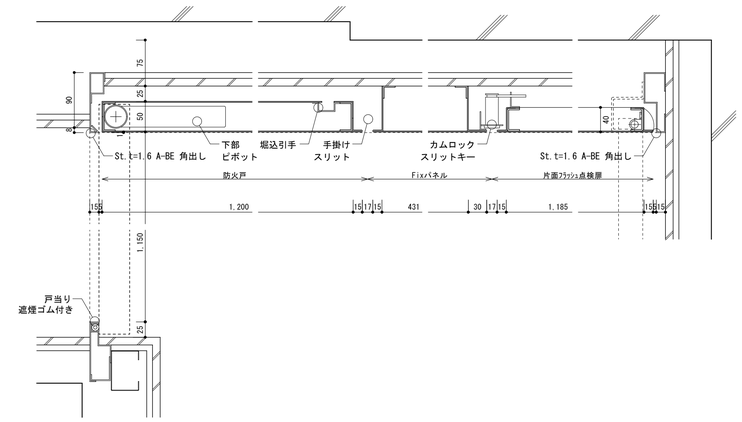


※(　)は、B階段を示す。

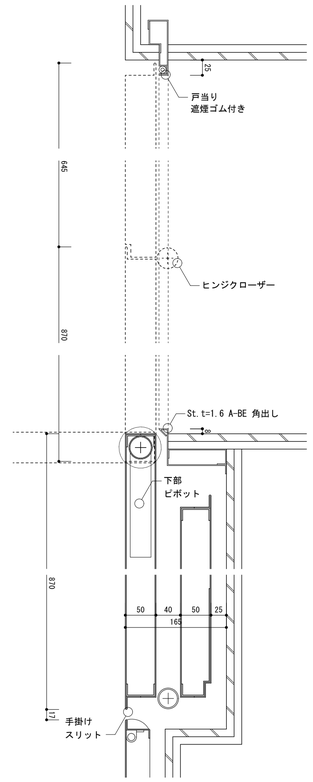
SD12 常開2枚開き埋込防火戸（90°）　1/5



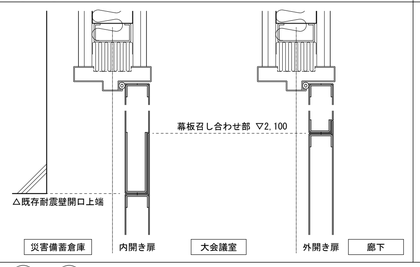
SD14 片面フラッシュパネル付常開片開き防火戸（90°）　1/5



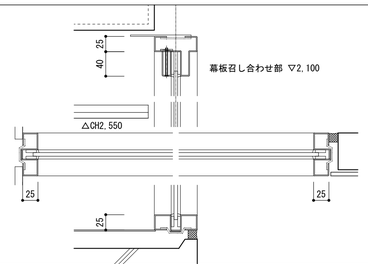
SD13 常開2枚開き埋込防火戸（180°）　1/5



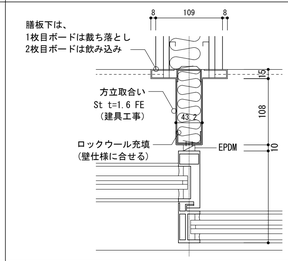
SD5 SD6 SD幕板　1/5



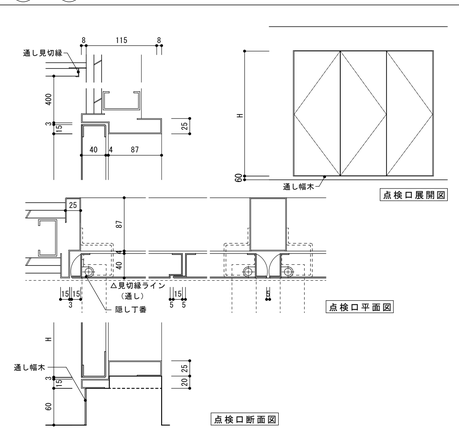
SW101 スチール窓　1/5



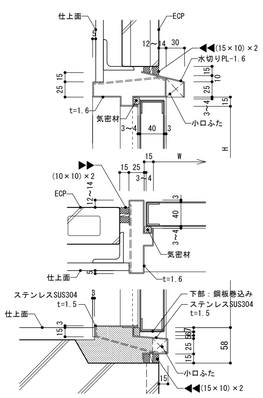
間仕切り・方立取合い ※建具キープラン内に表示　1/5



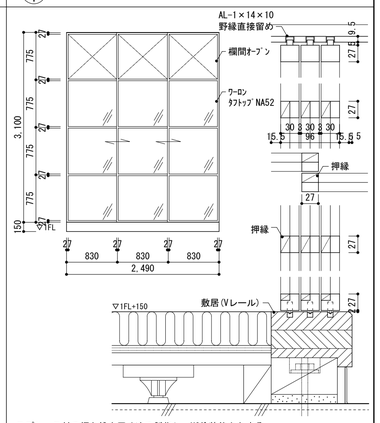
SDi1 ～ SDi10 PS・EPS点検口枠（細枠おさまり）　1/5,1/50



SD101 ～ SD105 外部標準型建具枠　1/5



WD1 3枚建て引き違い戸　1/5



スプルース材で框と桟を同寸法で製作し、UC塗装仕上とする。

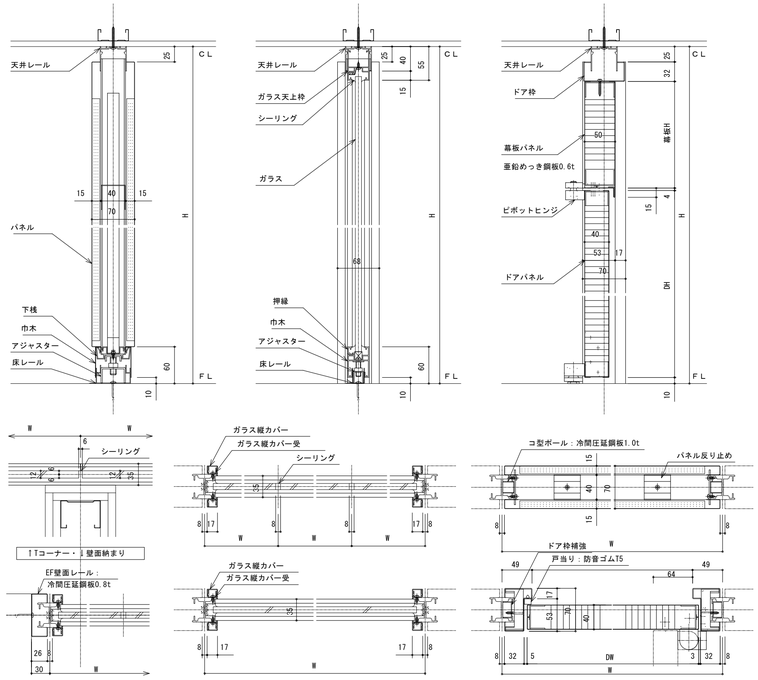
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

建具共通事項・建具詳細図(1)　A1 1/5,30　A3 1/10,60　No. A－24

鹿児島市建設局建築部建築課

SP1 ～ SP16 スチールパーティション　1/5

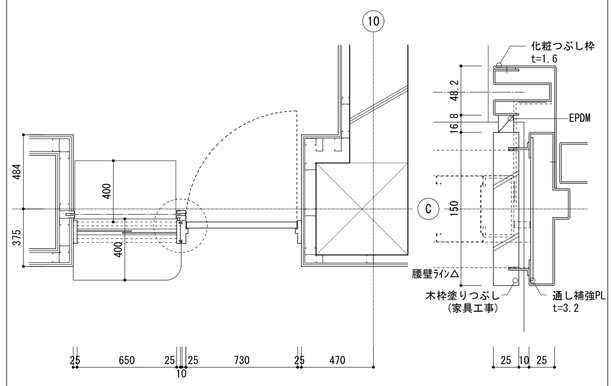


◇仕様表

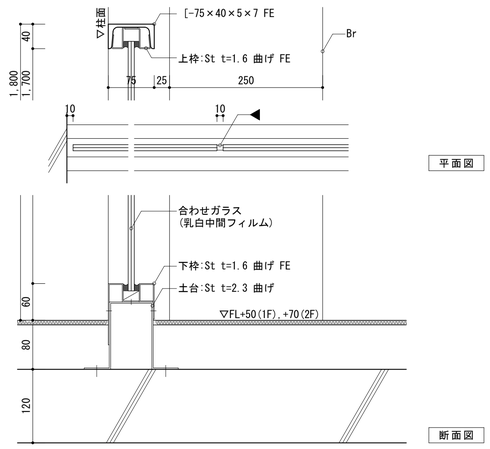
（小松ウオール工業 マイティーGWALL同等品）

項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	床レール(ガラス用)	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	床レール(パネル用)	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	ポール(支柱)	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	下桟	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>
	パネル受桟	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス天上枠・押縁	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス桟・格子桟	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス縦カバー・受	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	巾木(ガラス用)	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	巾木(パネル用)	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	壁面レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
ガラス	ガラス(ガラス工事)	フロートガラス 6mm・10mm・12mm(片面飛散防止フィルム貼)
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード 12.5mm
開き戸	ドア枠	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	ロック	美和 LAS
	ハンドル	ユニオン UL1050-001S
	ドアクローザ	ニュースター S-7002BT(ストップ゛無し)
	吊金物	ピボットヒンジ
	フランス落し	ステンレス
	戸当り	床付け戸当り
幕板パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯 材	ペーパーコア

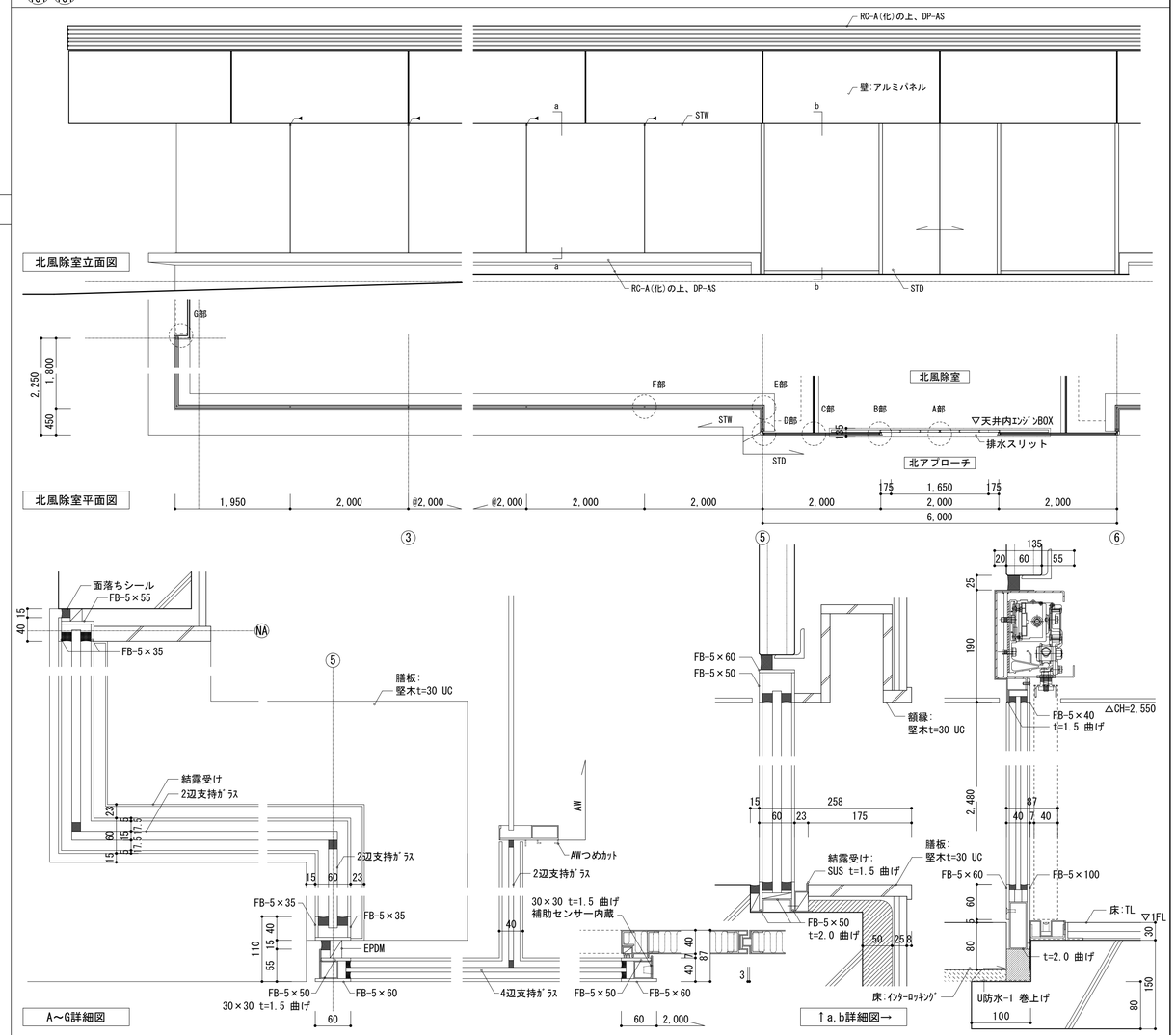
SD1 SS1 枠おさまり　1/20, 1/3



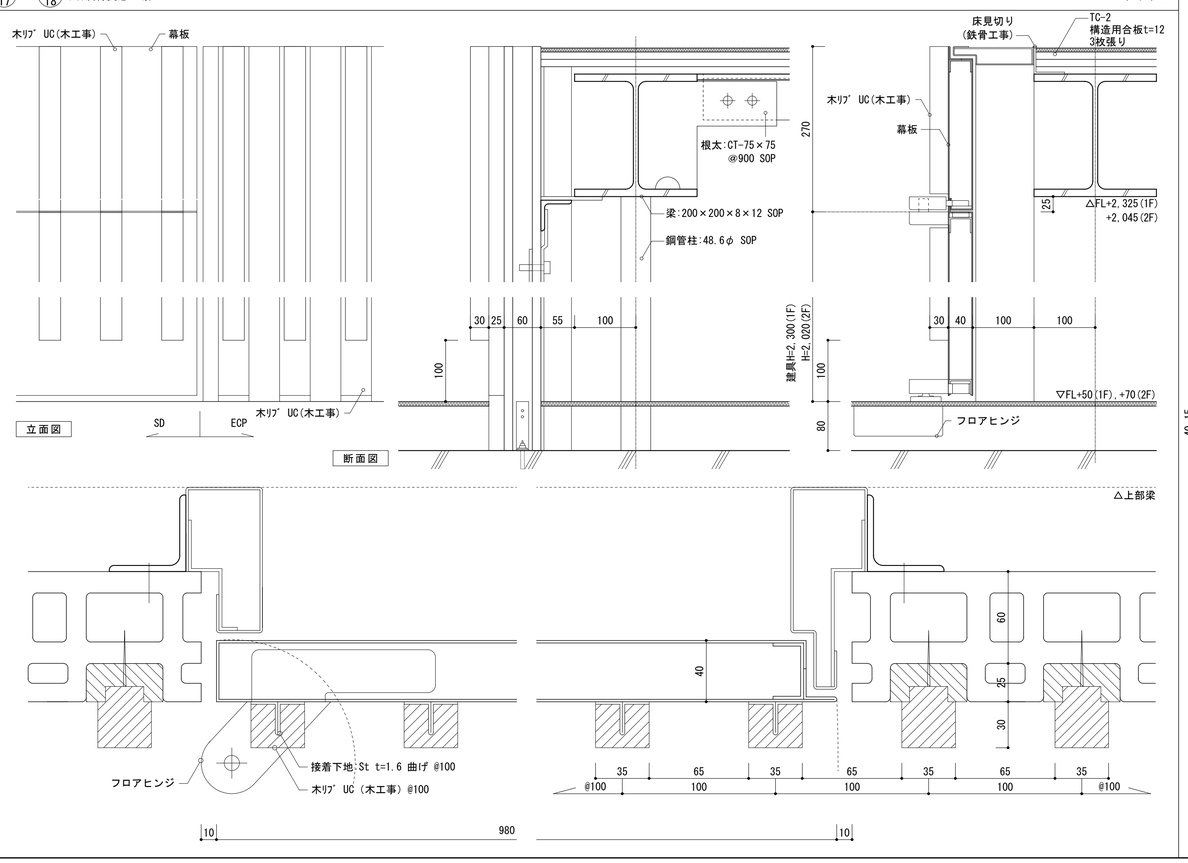
SW10 ～ SW11 内部鋼製窓　1/5



STD101 STW101 ステンレス建具　1/50, 1/5



SD17 ～ SD18 内部鋼製窓・扉　1/5, 1/2



みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号　蓑田 満康

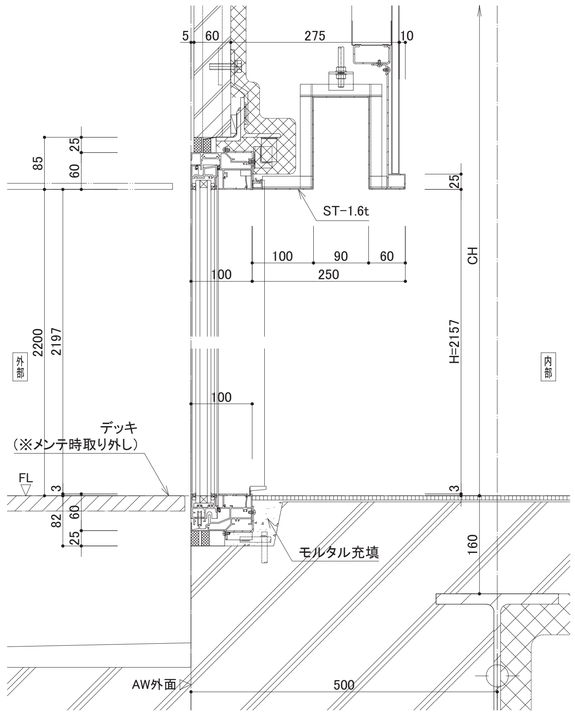
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

建具詳細図(2)　A1 1/5,30　A3 1/10,60

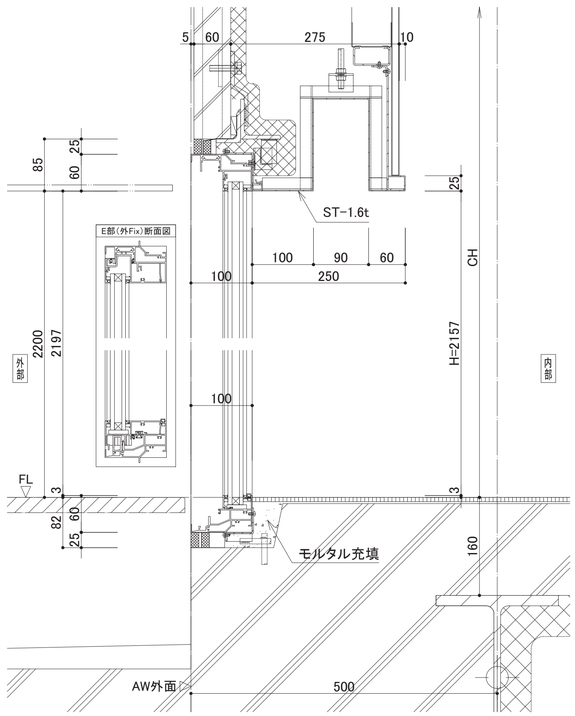
鹿児島市建設局建築部建築課

No. A－25

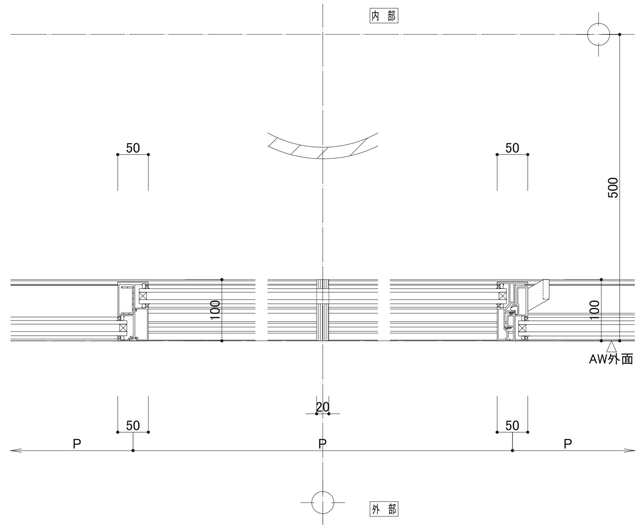
AW101 ～ AW112 詳細図(1) 1/5



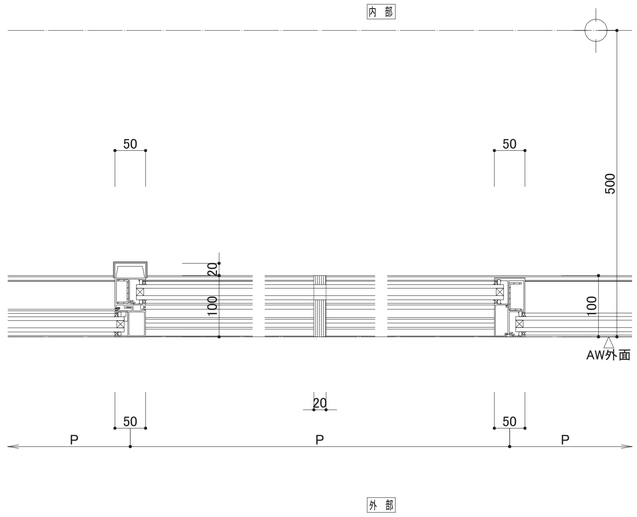
AW101 ～ AW112 詳細図(2) 1/5



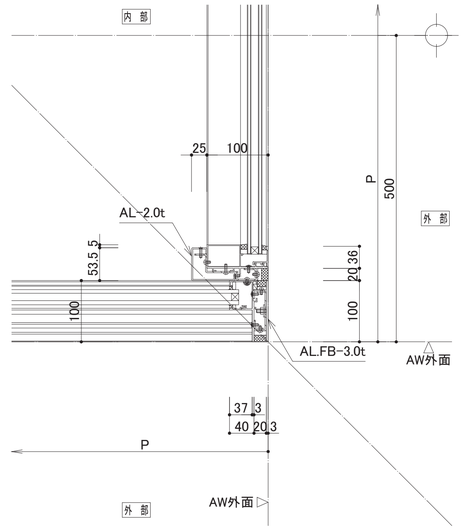
AW101 ～ AW112 詳細図(3) 1/5



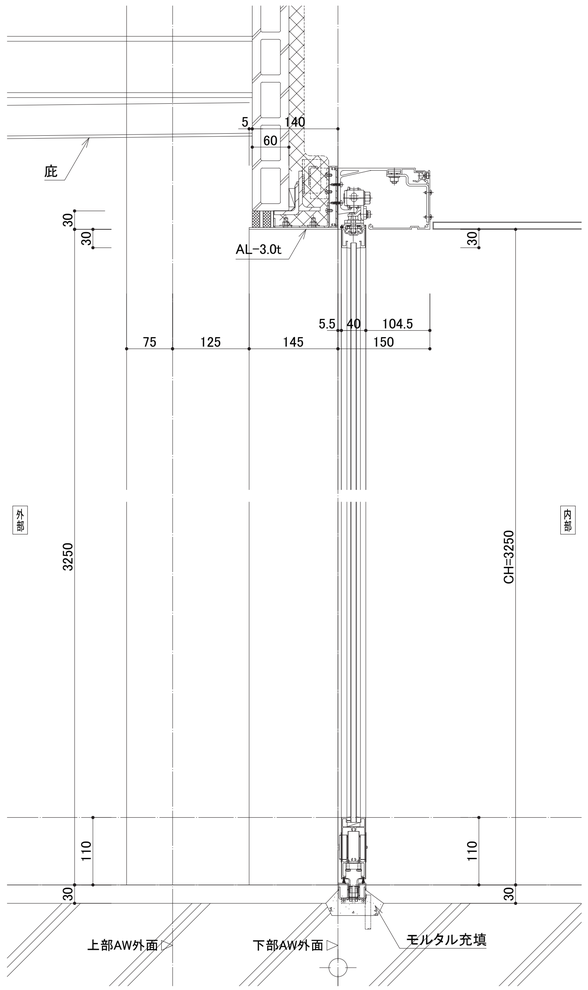
AW101 ～ AW112 詳細図(4) 1/5



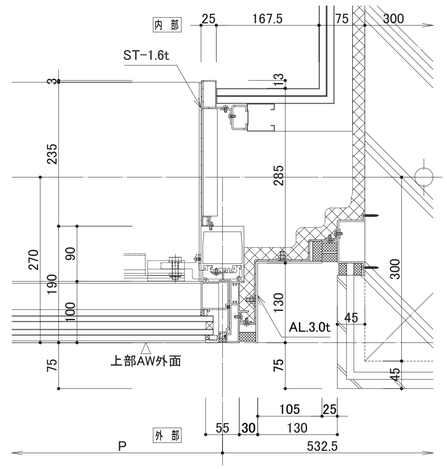
AW101 ～ AW112 出隅コーナー部詳細図 1/5



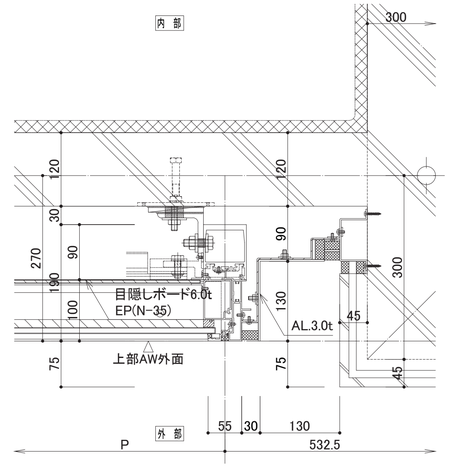
ACW105 ACW106 AD102 詳細図(1) 1/5



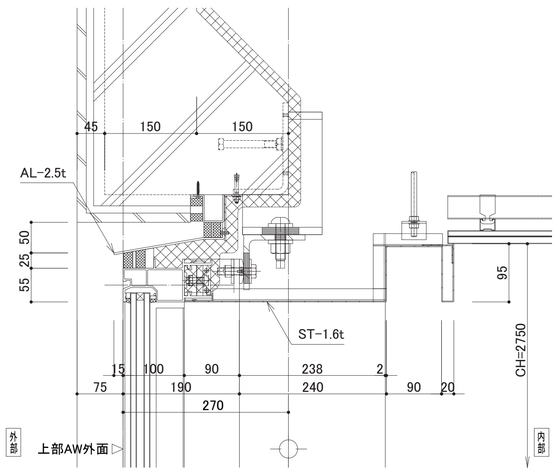
ACW105 ACW106 AD102 詳細図(2) 1/5



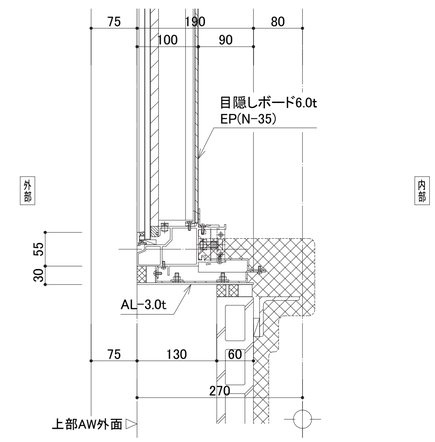
ACW105 ACW106 AD102 詳細図(3) 1/5



ACW105 ACW106 AD102 詳細図(4) 1/5

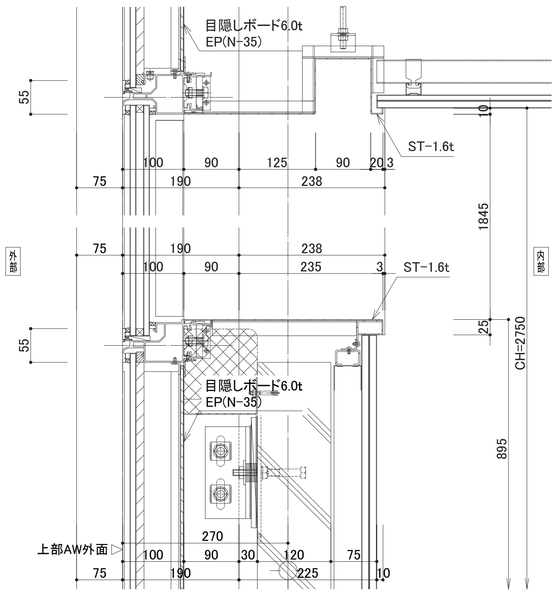


ACW105 ACW106 AD102 詳細図(5) 1/5

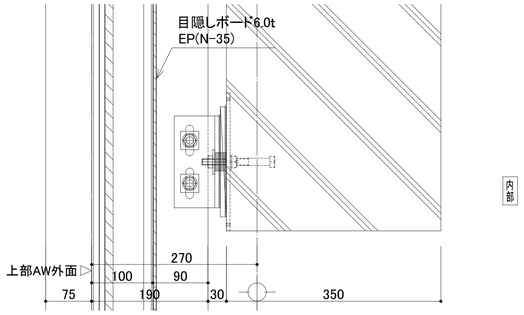


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	建具詳細図(3)	A1　1/5 A3　1/10	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 26

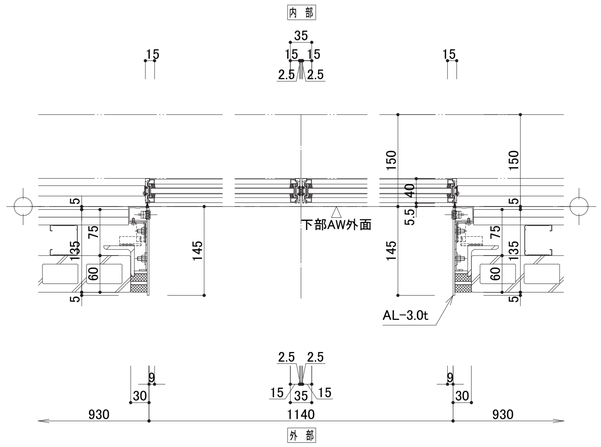
ACW105 ACW106 AD102 詳細図(6) 1/5



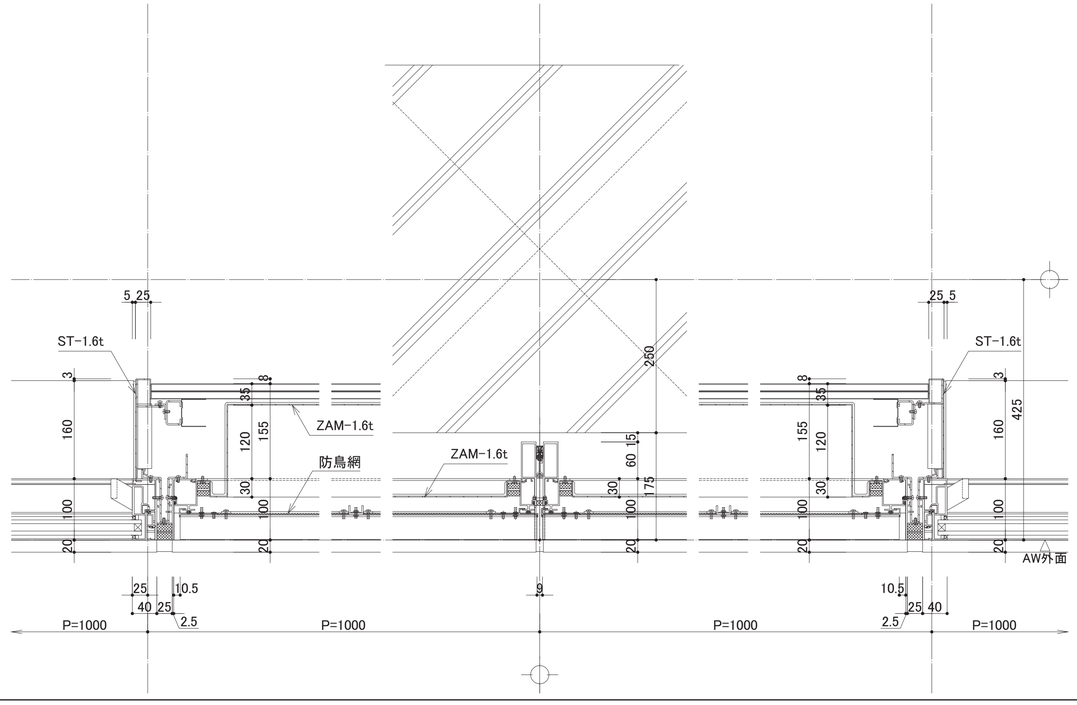
ACW105 ACW106 AD102 詳細図(7) 1/5



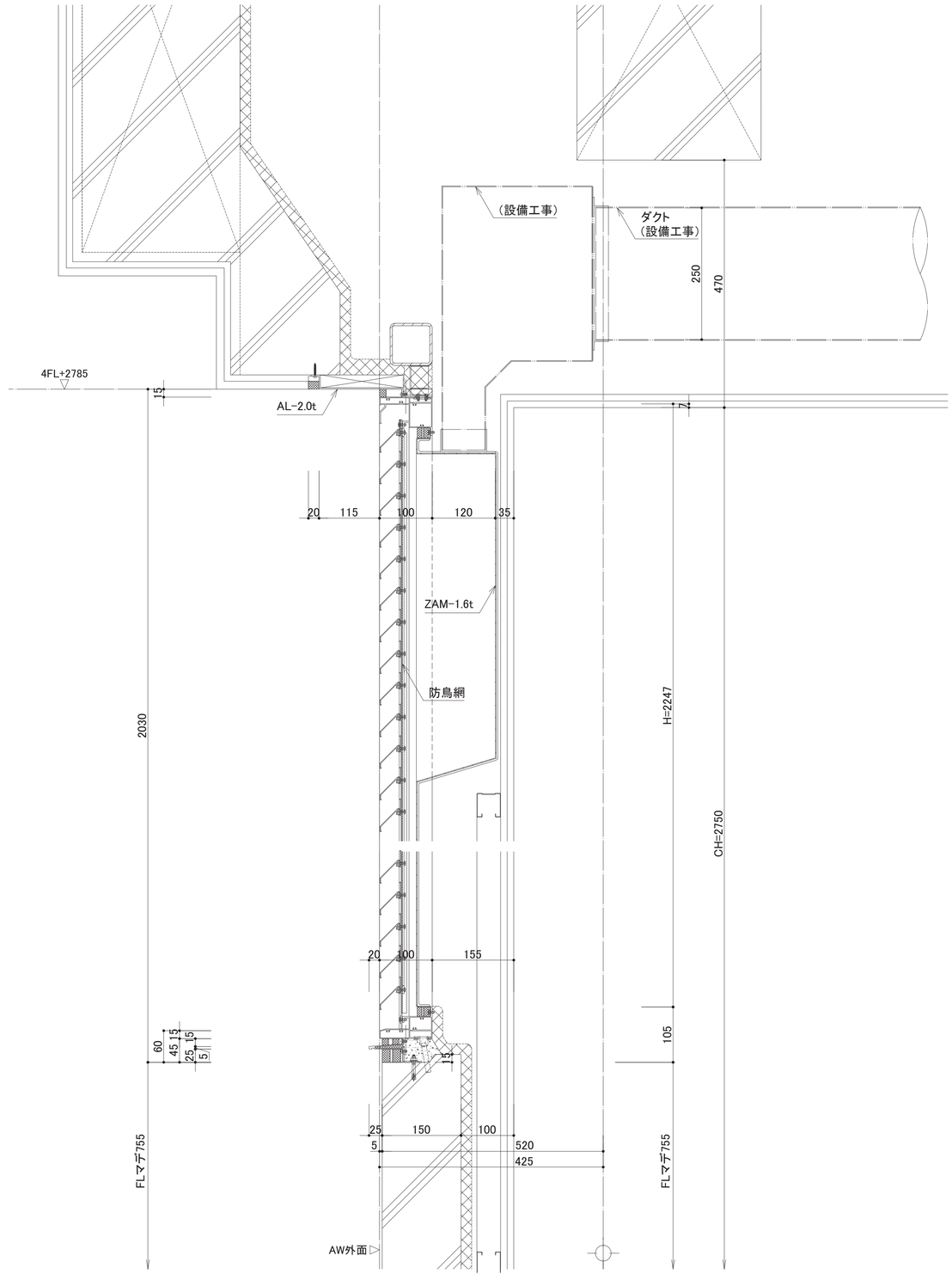
ACW105 ACW106 AD102 詳細図(8) 1/5



AW111 詳細図(1) 1/5

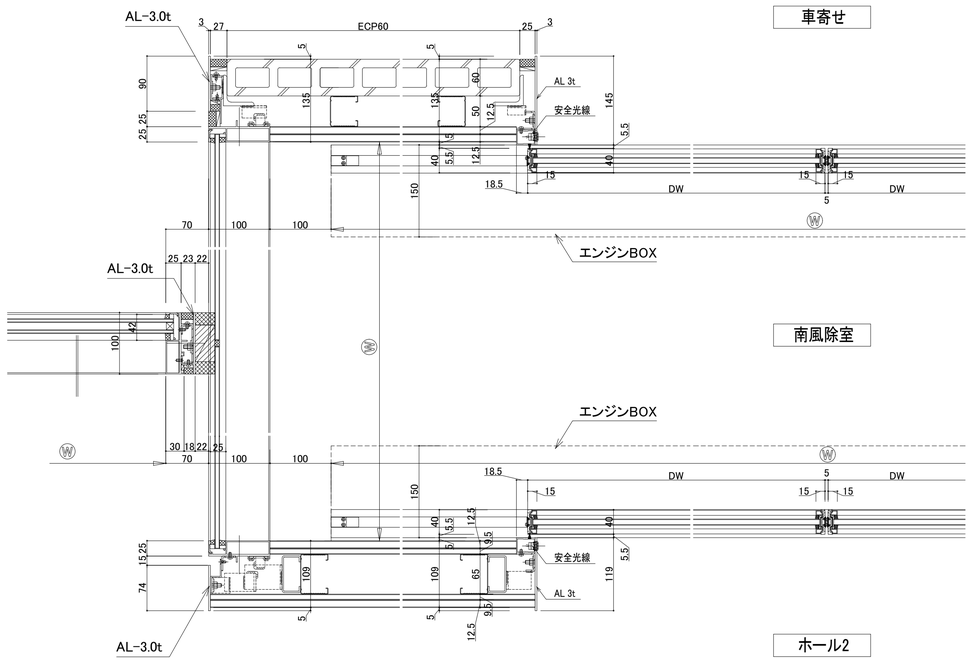


AW111 詳細図(2) 1/5

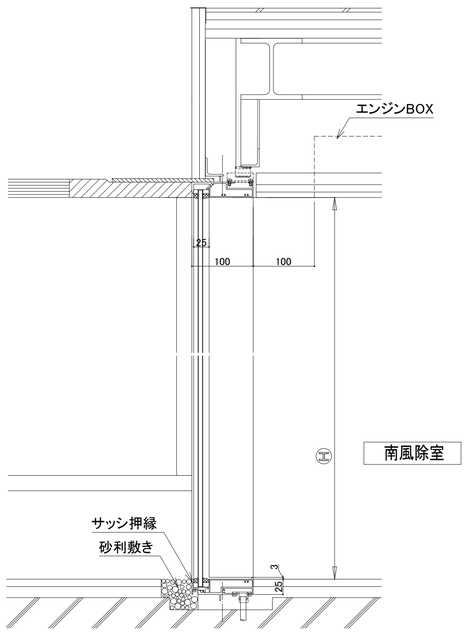


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	建具詳細図(4)	A1 1/5 A3 1/10	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A - 27

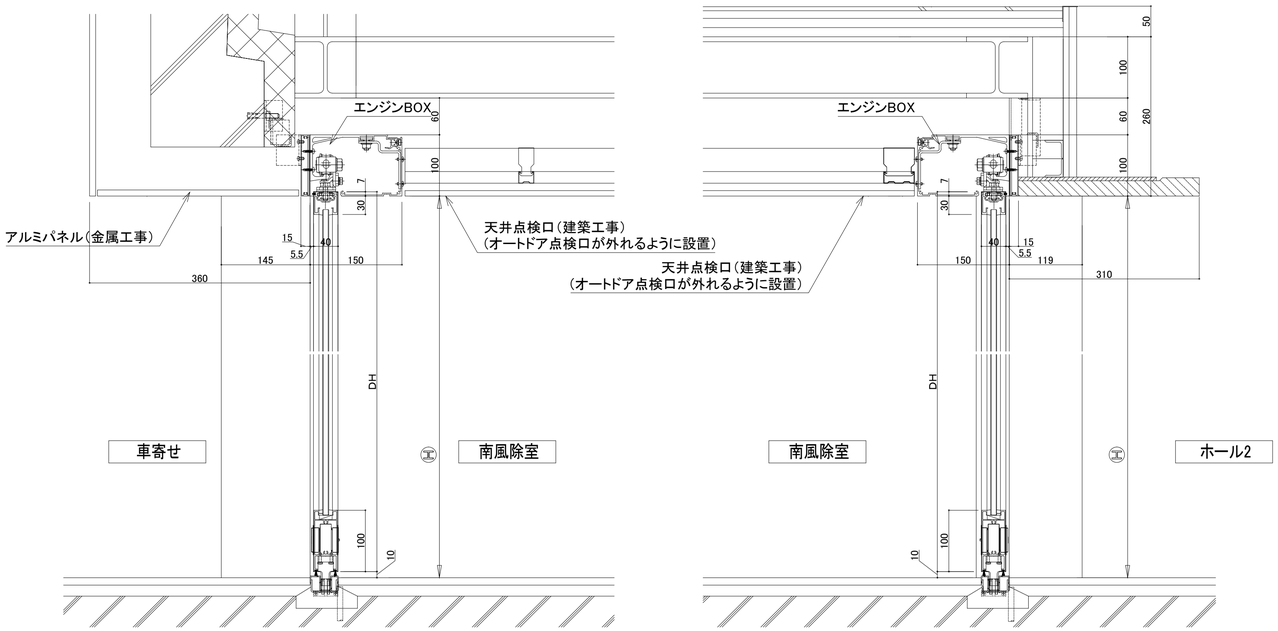
AD 1 詳細図(1) 1/5



AD 1 詳細図(1) 1/5

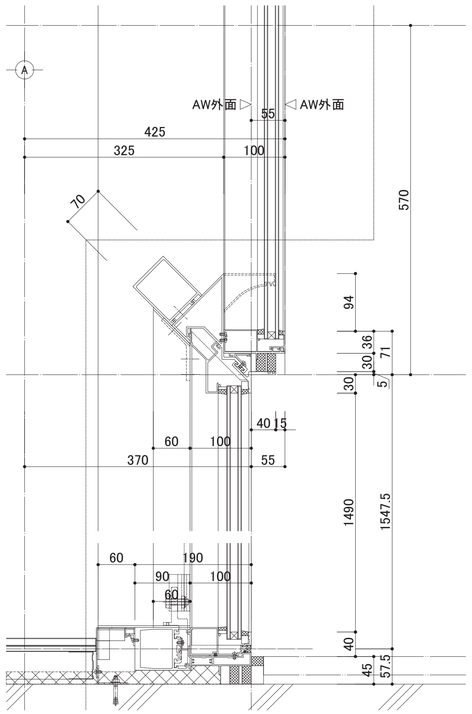


AD 1 詳細図(3) 1/5

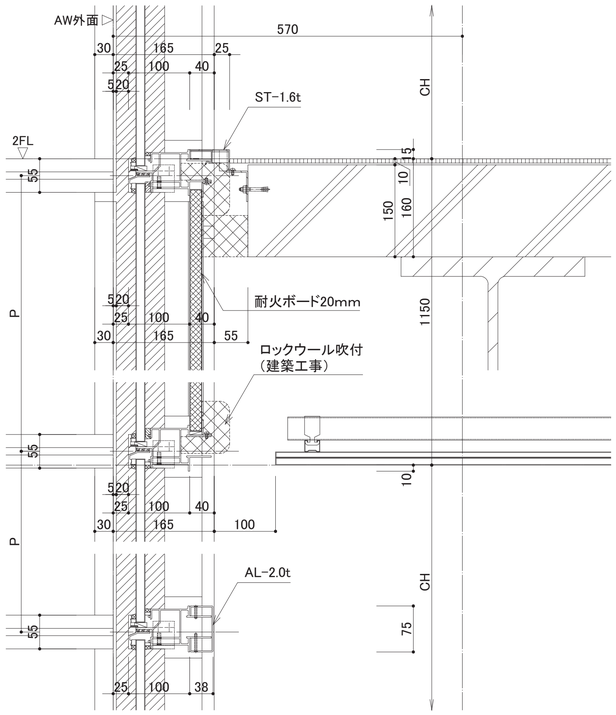


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	建具詳細図(5)	A1 1/5 A3 1/10	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A - 28

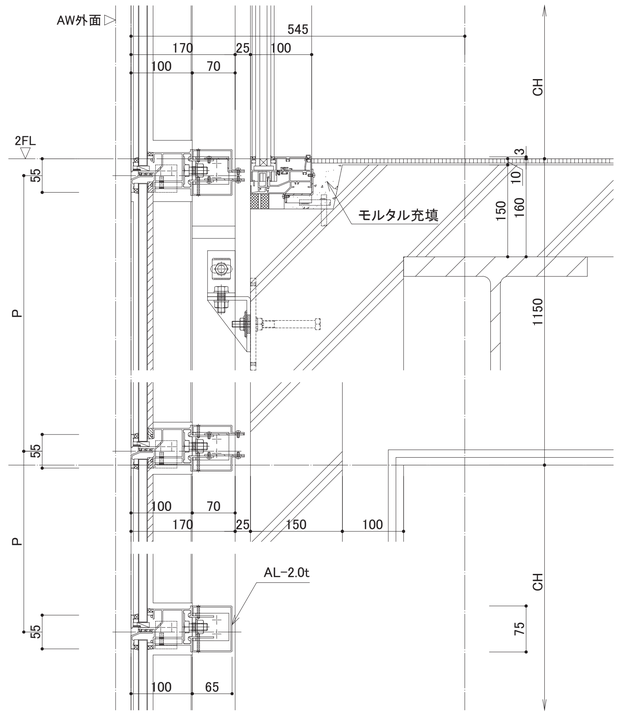
ACW 105 ACW 106 AD 102 詳細図(6) 1/5



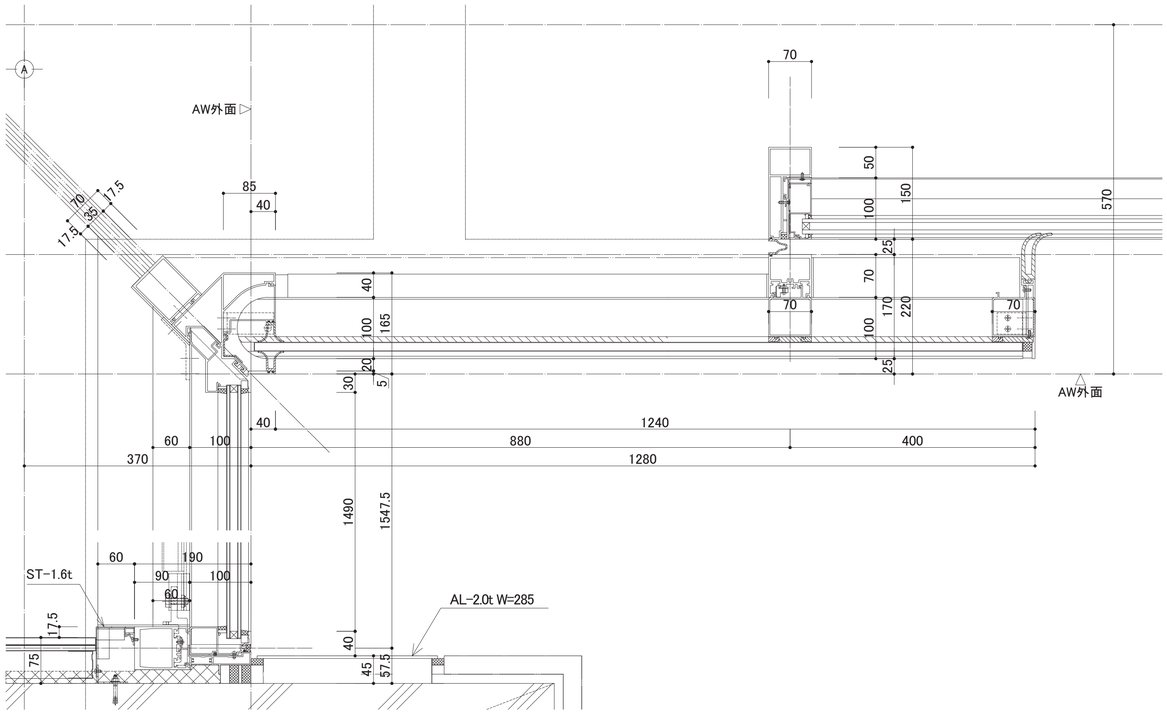
1/5



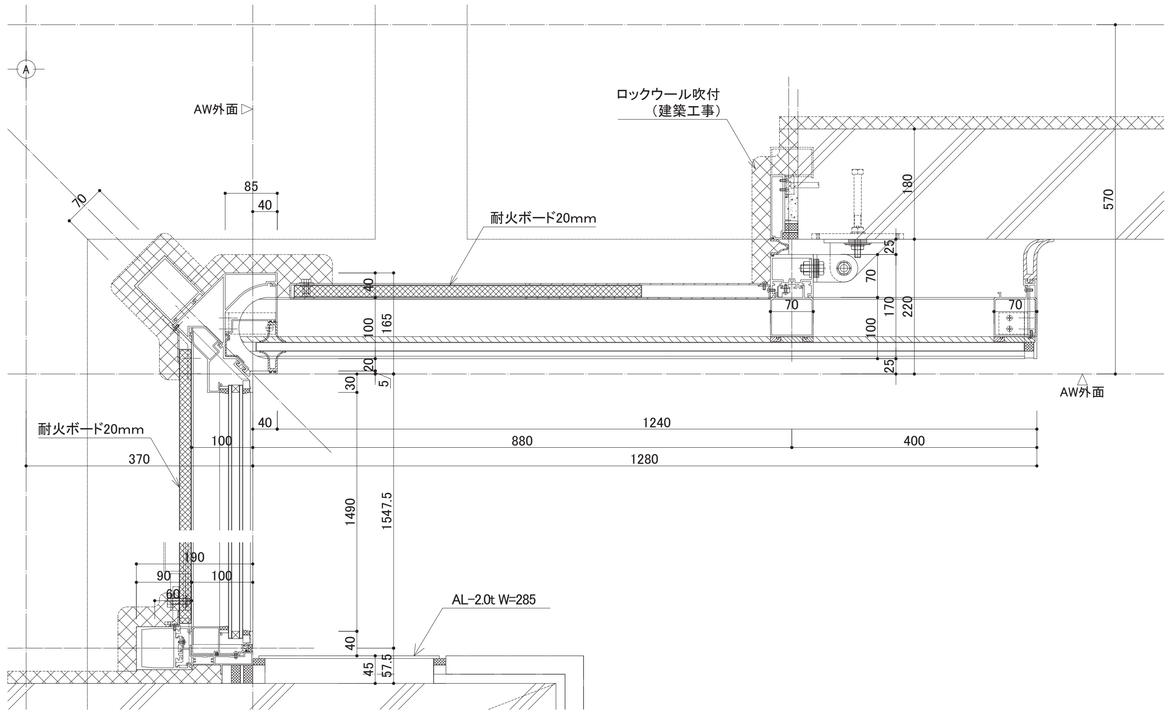
1/5



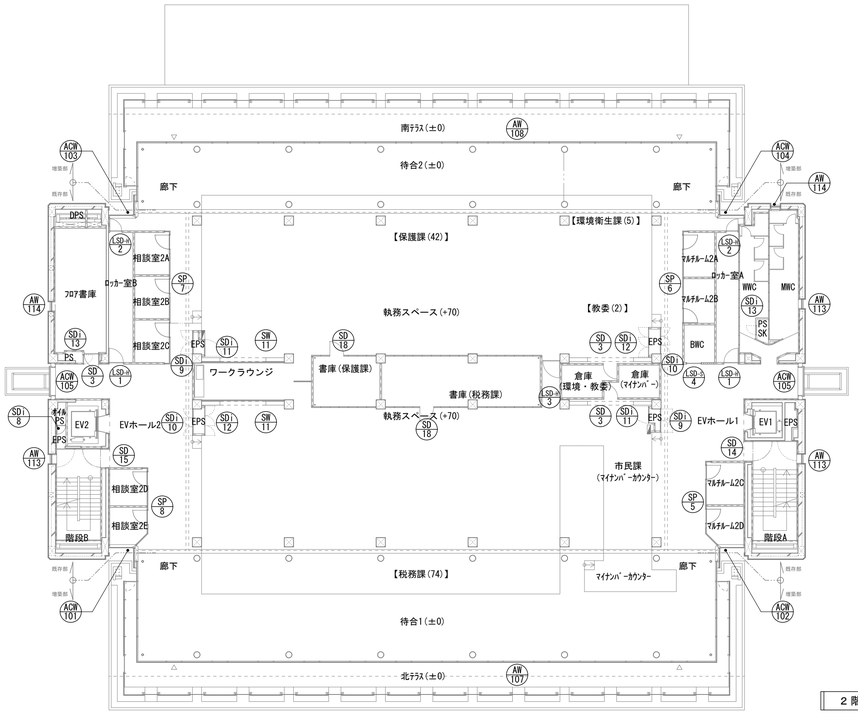
AW 111 詳細図(1) 1/5



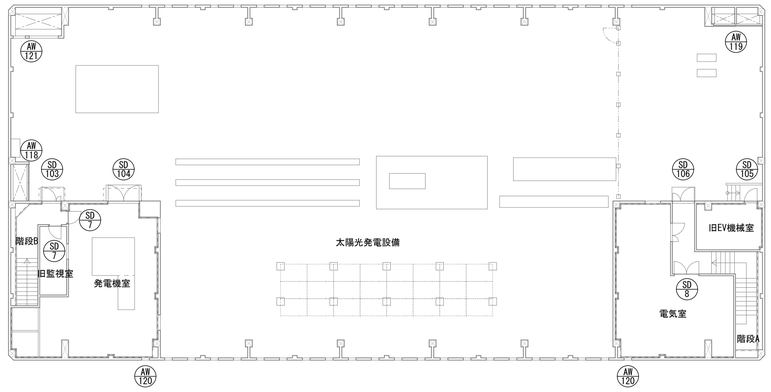
1/5



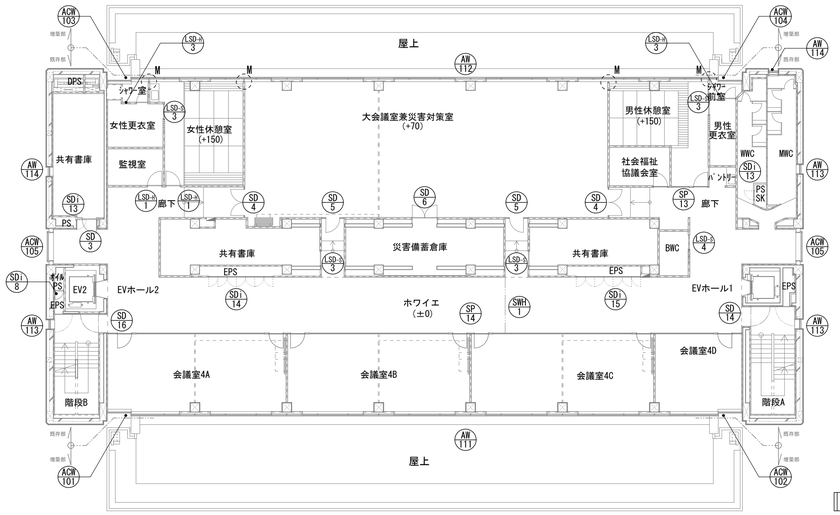
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	建具詳細図(6)	A1　1/5 A3　1/10	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 29



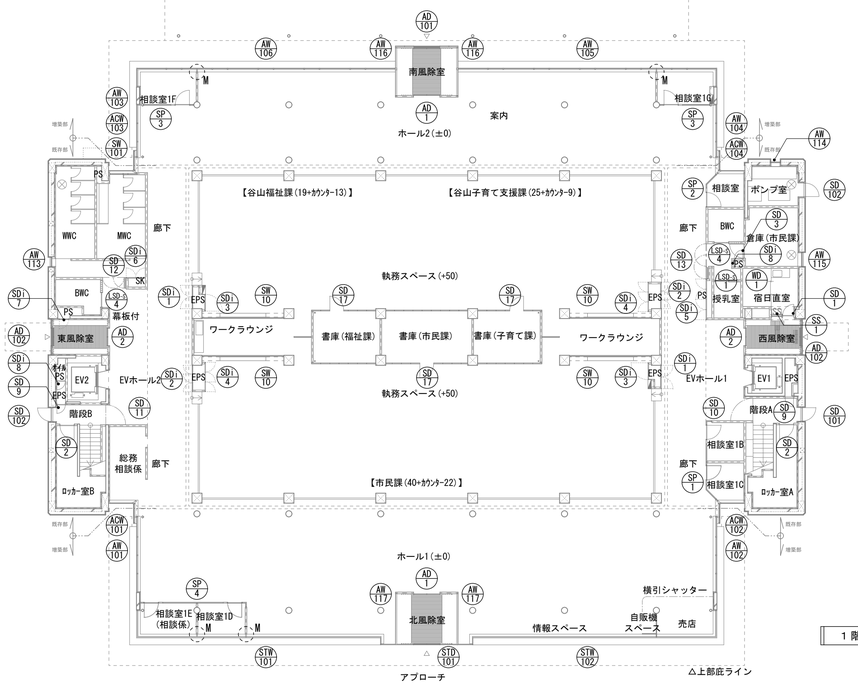
２階建具キープラン　１：２００



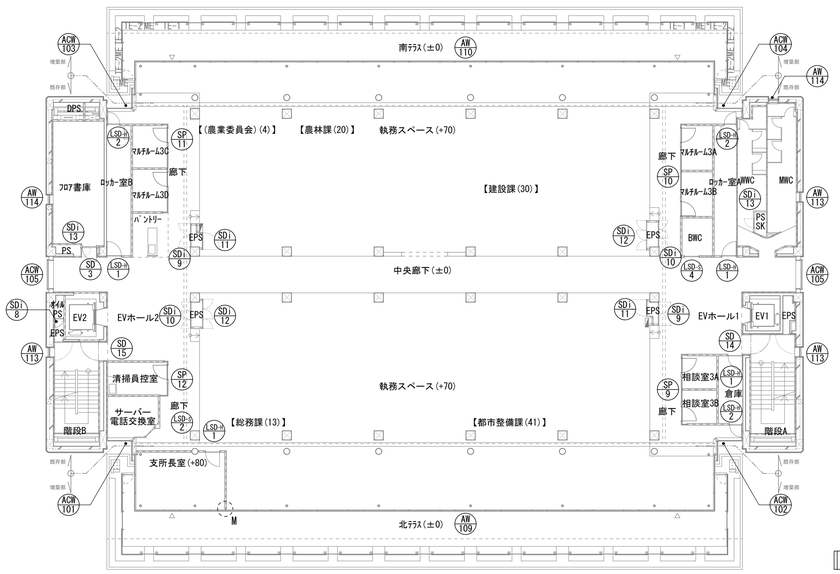
PH階建具キープラン　１：２００



４階建具キープラン　１：２００



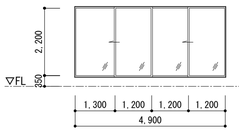
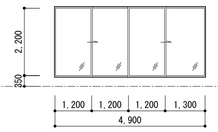
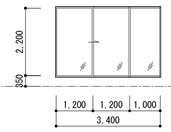
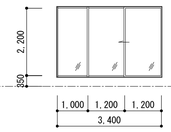
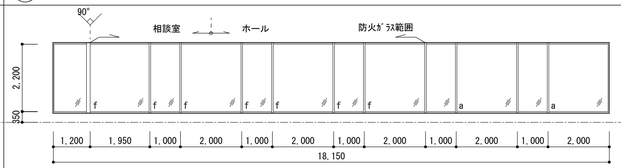
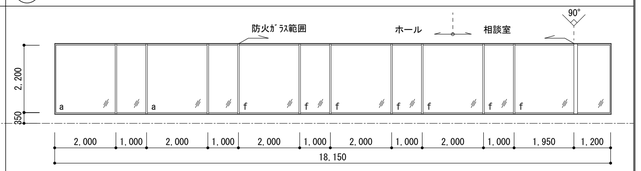
１階建具キープラン　１：２００

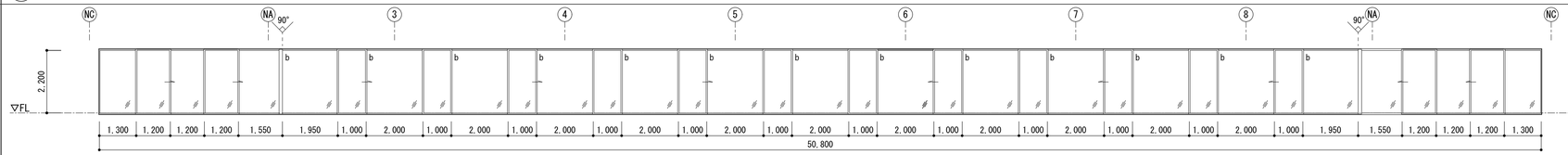
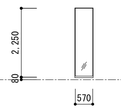
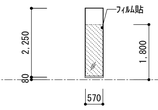


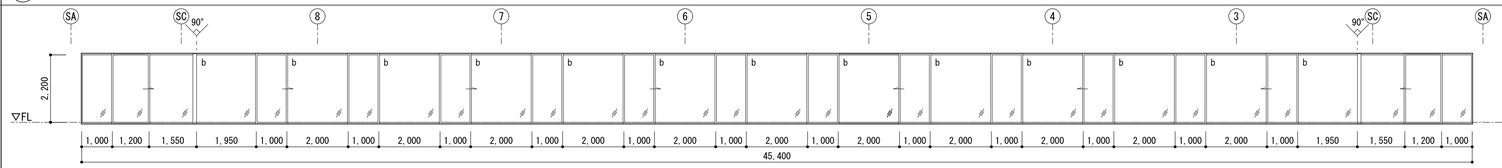
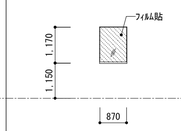
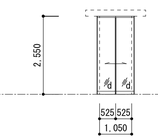
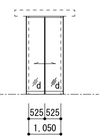
３階建具キープラン　１：２００

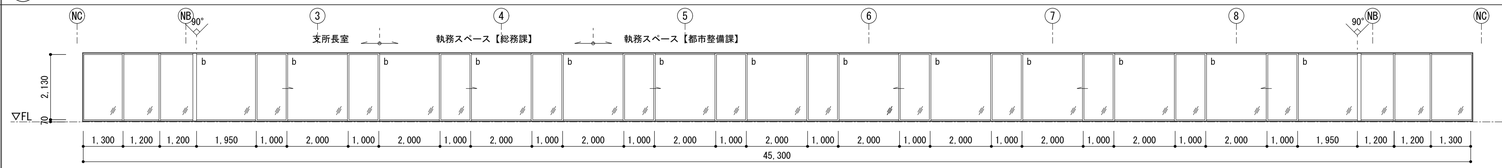
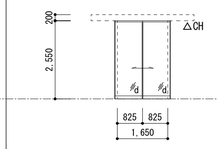
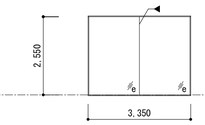
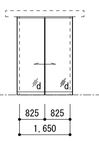
間仕切り・方立取合い部は、M で示す

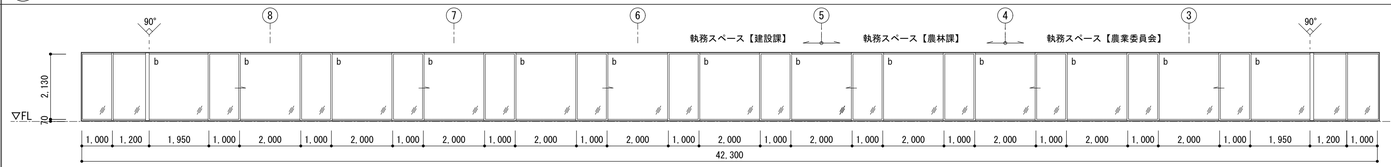
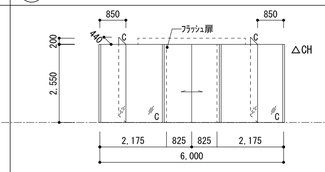
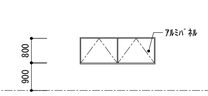
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社　みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	建具キープラン	A1　1/200 A3　1/400	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － ３０

記号・名称・個数	AW 101 外動片引き多連窓 (1)	AW 102 外動片引き多連窓 (1)	AW 103 外動片引き多連窓 (1)	AW 104 外動片引き多連窓 (1)	AW 105 FIX多連窓 (1) 防	AW 106 FIX多連窓 (1) 防
形状・寸法						
場所・見込	1階 ホール 100	1階 ホール 100	1階 ホール 100	1階 ホール 100	1階 ホール、相談室 100	1階 ホール、相談室 100
仕上	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1
硝子	姿図による	姿図による	姿図による	姿図による	姿図による	姿図による
金物	可動部(ｸﾚｾﾝﾄ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ)、額縁 St t=1.6	可動部(ｸﾚｾﾝﾄ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ)、額縁 St t=1.6	額縁 St t=1.6	額縁 St t=1.6	額縁 St t=1.6	額縁 St t=1.6
備考	メーカー型材B	メーカー型材B	メーカー型材B	メーカー型材B	メーカー型材A、認定品もしくはスチールサッシとの組合せ品	メーカー型材A、認定品もしくはスチールサッシとの組合せ品

記号・名称・個数	AW 107 外動片引き多連窓 (1)	AW 113 FIX窓 (10)	AW 114 FIX窓 (7)
形状・寸法			
場所・見込	2階 待合 100	各階WWC,WWC、階段A、階段B 70	1階 ポンプ室、各階フロア書庫 70
仕上	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1
硝子	姿図による	姿図による	姿図による
金物	可動部(ｸﾚｾﾝﾄ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ)、額縁 St t=1.6	額縁 St t=1.6	額縁 St t=1.6
備考	メーカー型材B	内押縁	内押縁、グラデーションフィルム貼り

記号・名称・個数	AW 108 外動片引き多連窓 (1)	AW 115 FIX窓 (1)	AD 102 引分け自動框扉 (2)	AD 2 引分け自動框扉 (2)
形状・寸法				
場所・見込	2階 待合 100	1階 倉庫（市民課） 70	1階 東西風除室 100	1階 東西風除室 100
仕上	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1
硝子	姿図による	姿図による	姿図による	姿図による
金物	可動部(ｸﾚｾﾝﾄ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ)、額縁 St t=1.6	額縁/膳板 St t=1.6	PD、自動開閉装置一式	PD、自動開閉装置一式
備考	メーカー型材B	内押縁、グラデーションフィルム貼り	強化ｶﾞﾗｽ専用枠見付15mm程度、飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り	強化ｶﾞﾗｽ専用枠見付15mm程度、飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り

記号・名称・個数	AW 109 外動片引き多連窓 (1)	AD 101 引分け自動框扉 (1)	AW 116 FIX窓 (2)	AD 1 引分け自動框扉 (2)
形状・寸法				
場所・見込	3階 執務スペース・支所長室 100	1階 南風除室 100	1階 南風除室 100	1階 南北風除室 100
仕上	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1
硝子	姿図による	姿図による	姿図による	姿図による
金物	可動部(ｸﾚｾﾝﾄ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ)、額縁 St t=1.6	PD、自動開閉装置一式		PD、自動開閉装置一式
備考	メーカー型材B	強化ｶﾞﾗｽ専用枠見付15mm程度、飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り	メーカー型材A、飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り	強化ｶﾞﾗｽ専用枠見付15mm程度、飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り

記号・名称・個数	AW 110 外動片引き多連窓 (1)	STD 101 FIX窓付き引分け自動扉 (1)	AW 117 FIX窓 (2)	AW 118 突出し窓 (1)
形状・寸法				
場所・見込	3階 執務スペース 100	1階 北風除室 40	1階 北風除室 100	PH階(4階用) 70
仕上	複合被膜A1	SUS バイブレーション	複合被膜A1	複合被膜A1
硝子	姿図による	姿図による	T8	-
金物	可動部(ｸﾚｾﾝﾄ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ)、額縁 St t=1.6	PD、自動開閉装置一式		隠蔽式排煙オペレーター付(4階)
備考	メーカー型材B	FB枠、飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り	メーカー型材A、飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り	

※特記なきは、外部から見た姿図とする。
※複合被膜A1は、ダイスマーク処理を施す。

ガラス厚表（ ▱ ガラスを示す）

a	D-LE8+A6+FL6	f	D-LE8+A6+PWC6.8(認定)
b	D-LE8+A6+FL8		D-LE8+A6+FL6,PWC10(告示)
c	T-5		
d	T-10		
e	T-15		特記なきはD-LE6+A6+FL6とする

メーカー型材リスト　※備考欄に示す。特記なきは仕様書準拠品。

	AW A	AW B	ACW C	ACW D(下記をﾍﾞｰｽとした新型)
LIXIL	E-SHAPE	PRO-SE100	E-SHAPE	E-SHAPE
三協アルミ	ARMS	iS-100	ARMS	ARMS
不二サッシ	FNS-Ⅱ100CF	FNS-Ⅱ100CF	NSR-SLIM	NSR-SLIM

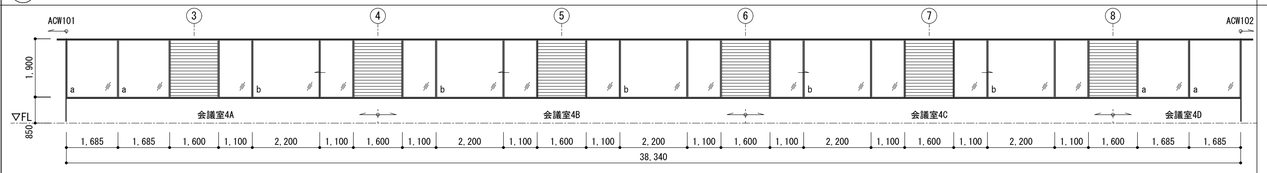
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

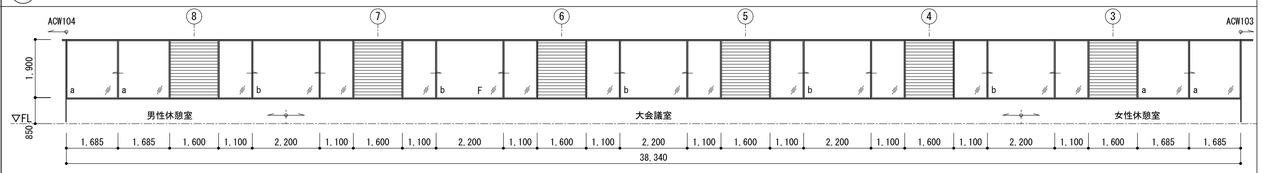
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

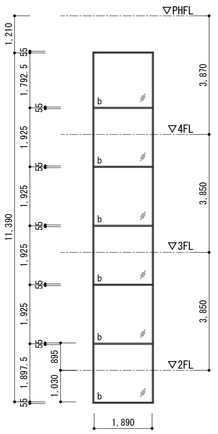
建具表(1)　A1 1/100　A3 1/200

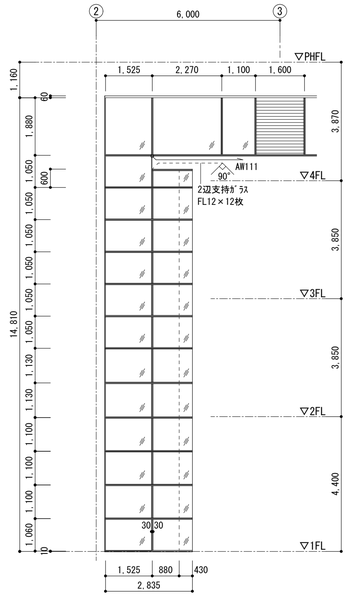
鹿児島市建設局建築部建築課

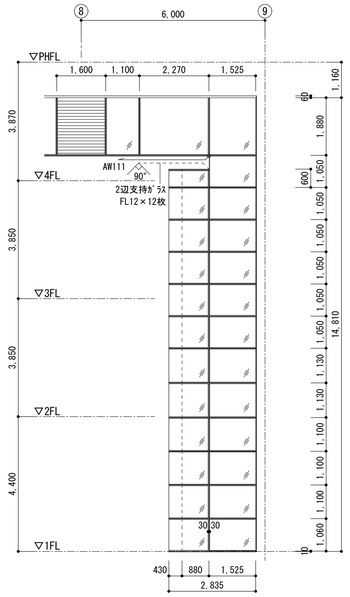
No. A－31

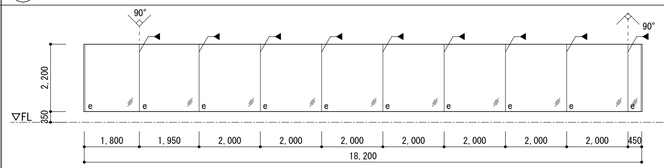
記号・名称・個数	AW 111 ガラリ付き外動片引き多連窓 (1)
形状・寸法	
場所・見込	4階　会議室401-404　100
仕　上	複合被膜A1
硝　子	姿図による
金　物	可動部(ｸﾚｾﾝﾄ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ)、額縁/舗板 St t=1.6、ガラリ部はホッパー付き
備　考	メーカー型材B

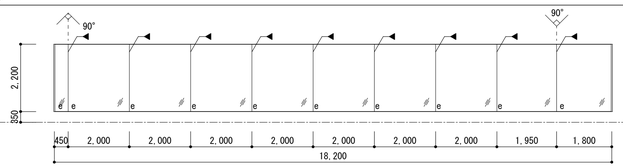
記号・名称・個数	AW 112 ガラリ付き外動片引き多連窓 (1)
形状・寸法	
場所・見込	4階　大会議室・男性休憩室・女性休憩室　100
仕　上	複合被膜A1
硝　子	姿図による
金　物	可動部(ｸﾚｾﾝﾄ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ)、額縁/舗板 St t=1.6、ガラリ部はホッパー付き
備　考	メーカー型材B

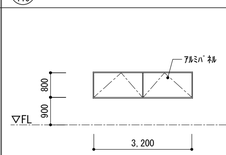
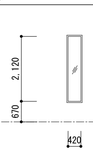
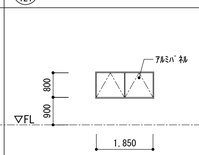
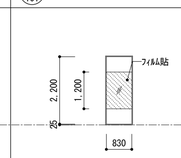
記号・名称・個数	ACW 105 FIX窓 (2)
	
各階　EVホール	190
複合被膜A1	
姿図による	
額縁/舗板 St t=1.6	
メーカー型材C	

記号・名称・個数	ACW 101 FIX窓 (1)
	
1階:総務相談係、2階:相談室、3階:ｻｰﾊﾞｰ電話交換室、4階:会議室4A　150	
複合被膜A1	
姿図による	
回転・滑り機構（可動実験含む）、額縁/舗板 St t=1.6	
メーカー型材D	

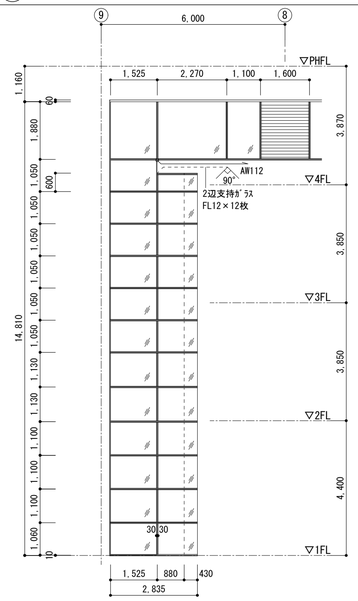
記号・名称・個数	ACW 102 FIX窓 (1)
	
1階:相談室、2階:マルチルーム、3階:廊下、4階:会議室4D　150	
複合被膜A1	
姿図による	
回転・滑り機構（可動実験含む）、額縁/舗板 St t=1.6	
メーカー型材D	

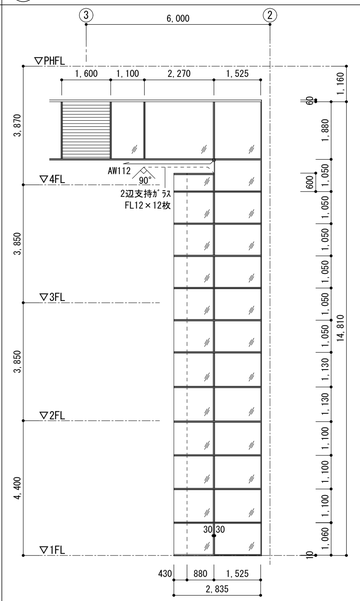
記号・名称・個数	STW 101 FIX多連窓 (1)
形状・寸法	
場所・見込	1階　ホール
仕　上	SUS HL
硝　子	姿図による
金　物	
備　考	FB枠

記号・名称・個数	STW 102 FIX多連窓 (1)
	
1階　ホール	
SUS HL	
姿図による	
FB枠	

記号・名称・個数	AW 119 突出し窓 (1)	AW 120 FIX窓 (2)	AW 121 突出し窓 (1)	SW 101 FIX窓 (1)
形状・寸法				
場所・見込	PH階(4階用)	PH階 電気室、発電機室	PH階(4階用)	1階 MWC
仕　上	複合被膜A1	複合被膜A1	複合被膜A1	A-BE
硝　子	-	姿図による	-	FL-6
金　物	隠蔽式排煙オペレーター付(4階)		隠蔽式排煙オペレーター付(4階)	
備　考		内押縁		内押縁、グラデーションフィルム貼り

記号・名称・個数	
形状・寸法	▽FL
場所・見込	
仕　上	
硝　子	
金　物	
備　考	

記号・名称・個数	ACW 104 FIX窓 (1)
	
1階:相談室、2階:廊下、3階:廊下、4階:男性休憩室　150	
複合被膜A1	
姿図による	
回転・滑り機構（可動実験含む）、額縁/舗板 St t=1.6	
メーカー型材D	

記号・名称・個数	ACW 103 FIX窓 (1)
	
1階:MWC、2階:廊下、3階:廊下、4階:女性休憩室　150	
複合被膜A1	
姿図による	
回転・滑り機構（可動実験含む）、額縁/舗板 St t=1.6	
メーカー型材D	

※特記なきは、外部から見た姿図とする。
※複合被膜A1は、ダイスマーク処理を施す。

ガラス厚表（ ▨ ガラスを示す）

a	D-LE8+A6+FL6	f	D-LE8+A6+PWC6.8(認定)
b	D-LE8+A6+FL8		D-LE8+A6+FL6,PWC10(告示)
c	T-5		
d	T-10		
e	T-15		特記なきはD-LE6+A6+FL6とする

メーカー型材リスト　※備考欄に示す。特記なきは仕様書準拠品。

	AW		ACW	
	A	B	C	D(下記をﾍﾞｰｽとした新型)
LIXIL	E-SHAPE	PRO-SE100	E-SHAPE	E-SHAPE
三協アルミ	ARMS	iS-100	ARMS	ARMS
不二サッシ	FNS-Ⅱ100CF	FNS-Ⅱ100CF	NSR-SLIM	NSR-SLIM

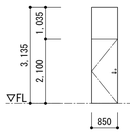
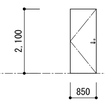
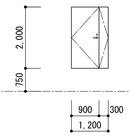
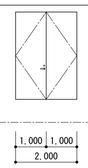
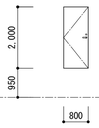
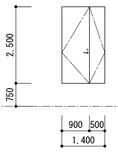
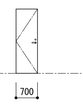
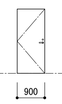
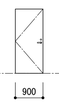
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

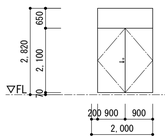
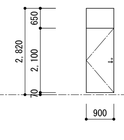
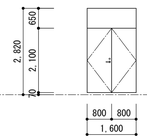
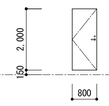
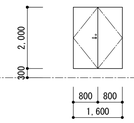
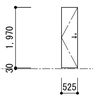
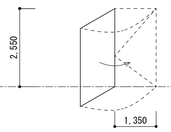
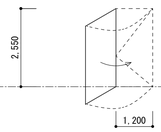
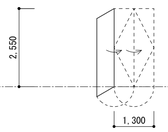
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

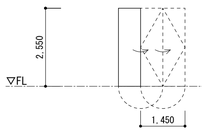
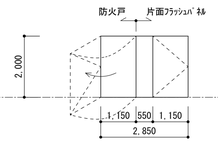
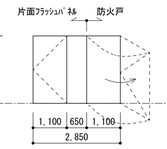
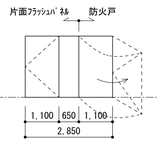
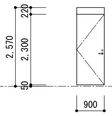
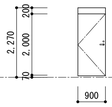
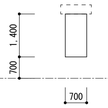
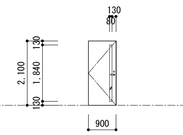
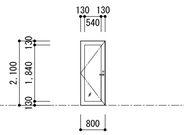
建具表(2)　A1 1/100　A3 1/200

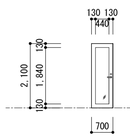
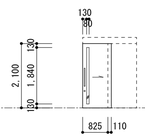
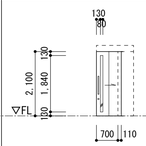
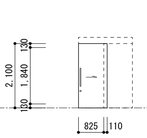
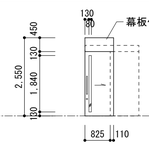
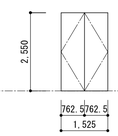
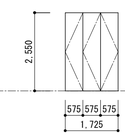
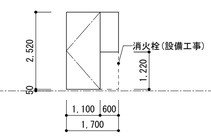
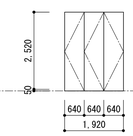
鹿児島市建設局建築部建築課

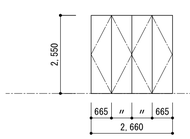
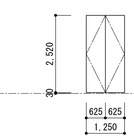
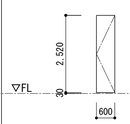
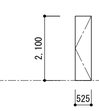
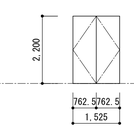
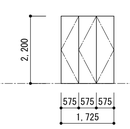
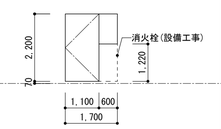
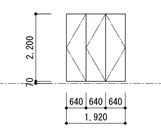
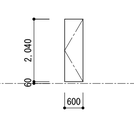
No. A－32

記号・名称・個数	SD101 幕板付き片開き戸 (1)	SD102 片開き戸 (2)	SD103 親子開き戸 (1)	SD104 両開き戸 (1) 特	SD105 片開き戸 (1)	SD106 親子開き戸 (1)	SD1 片開き戸 (1) 特	SD2 片開き戸 (2) 防	SD3 片開き戸 (6)
形状・寸法									アンダーカット寸法 4階共有書庫：30mm 3階フロア書庫：30mm 2階フロア書庫：30mm 2階倉庫：20mm 1階倉庫：25mm 
場所・見込	1階 階段A 40	1階 階段室B・ポンプ室 40	PH階 階段B 40	PH階 発電機室 40	PH階 旧EV機械室 40	PH階 階段A 40	1階 宿日直室 40	1階 階段A・B 40	1階 倉庫、2・3・4階 書庫 40
仕上	U-BE	U-BE	U-BE	U-BE	U-BE	U-BE	A-BE	A-BE	A-BE
硝子	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金物	金物セットI	金物セットI	金物セットI	金物セットI	金物セットI	金物セットI	金物セットD	金物セットD	金物セットD
備考						左右FB枠		アンダーカット20mm	2・3階のフロア書庫のみ 防（遮煙不要）

記号・名称・個数	SD4 幕板付両開き戸 (2) 特	SD5 幕板付片開き戸 (2) 特	SD6 幕板付両開き戸 (1) 特	SD7 片開き戸 (2) 特	SD8 両開き戸 (1) 防	SD9 片開き片面フラッシュ戸 (2) 防	SD10 常閉片開き埋込防火戸(90°) (1) 特	SD11 常閉片開き埋込防火戸(90°) (1) 特	SD12 常閉2枚開き埋込防火戸(90°) (1) 特
形状・寸法									
場所・見込	4階 大会議室 40	4階 大会議室 40	4階 大会議室 40	PH階 階段B 40	PH階 電気室 40	1階 階段A・B 40	1階 階段A 50	1階 階段B 50	1階 WC 50
仕上	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE
硝子	FT5	-	-	-	-	-	-	-	-
金物	金物セットD	金物セットD	金物セットD	金物セットC	金物セットC	金物セットF(WSはDC-1に置換)	金物セットG	金物セットG	金物セットG
備考							煙感連動装置付、遮煙性能付(令112条19項二号)	煙感連動装置付、遮煙性能付(令112条19項二号)	煙感連動装置付

記号・名称・個数	SD13 常閉2枚開き埋込防火戸(180°) (1) 特	SD14 片面フラッシュパネル付常閉片開き防火戸(90°) (3) 特	SD15 片面フラッシュパネル付常閉片開き防火戸(90°) (2) 特	SD16 片面フラッシュパネル付常閉片開き防火戸(90°) (1) 特	SD17 幕板付片開き戸 (3)	SD18 幕板付片開き戸 (2) 防	SS1 防火・防煙鋼製シャッター (1) 特	LSD-a1 スリット窓付片開き戸 (8)	LSD-a2 片開き框戸 (5)
形状・寸法									
場所・見込	1階 廊下 50	2・3・4階 階段A 50	2・3階 階段B 50	4階 階段B 50	1階 書庫 40	2階 書庫 40	1階 宿日直室	2・3階 ロッカー室、3階 支所長室、倉庫 4階 休憩室・監視室 40	2・3階 ロッカー室、3階 倉庫 40
仕上	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	枠：スチール A-BE	A-BE	A-BE
硝子	-	-	-	-	-	-	-	F4	T4
金物	金物セットG	金物セットF(WSはDC-1に置換)、G	金物セットF(WSはDC-1に置換)、G	金物セットF(WSはDC-1に置換)、G	金物セットE	金物セットE	煙感連動装置・安全装置付	金物セットD	金物セットD
備考	煙感連動装置付	煙感連動装置付(常閉戸のみ)、遮煙性能付(令112条19項二号)	煙感連動装置付(常閉戸のみ)、遮煙性能付(令112条19項二号)	煙感連動装置付(常閉戸のみ)、遮煙性能付(令112条19項二号)	アンダーカット25mm(福祉・子育て課)、30mm(市民課)	アンダーカット20mm(保護課)、30mm(税務課)	文化シャッター スーパーコンパクト 三和シャッター スモールヘッドシャッター微空間材		飛散防止フィルム貼り、アンダーカット15mm(3階倉庫)

記号・名称・個数	LSD-b3 片開き框戸 (3)	LSD-b1 スリット窓付片引込み戸 (1)	LSD-b2 2連片引込み戸 (1)	LSD-b3 片引込み戸 (4)	LSD-b4 スリット窓付片引込み戸(幕板付1か所) (5)	SDi1 幕板付両開き片面フラッシュ戸 (2)	SDi2 幕板付3枚開き片面フラッシュ戸 (2)	SDi3 幕板付片開き片面フラッシュ戸 (2)	SDi4 幕板付3枚開き片面フラッシュ戸 (2)
形状・寸法									
場所・見込	4階 更衣室 40	1階 授乳室 40	3階 サーバー電話交換室 40	4階 書庫・更衣室 40	各階 BWC(幕板付は1階東側) 40	1階 EPS 40	1階 EPS 40	1階 EPS	1階 EPS 40
仕上	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE
硝子	L-FL3+FL3	F4	T4	-	F4	-	-	-	-
金物	金物セットD	金物セットB	金物セットB	金物セットA	金物セットB	金物セットF	金物セットF	金物セットF	金物セットF
備考	アンダーカット20mm				押ボタン式自動ドア、使用表示キースイッチ付				

記号・名称・個数	SDi5 幕板付4枚開き片面フラッシュ戸 (1)	SDi6 両開き片面フラッシュ戸 (1)	SDi7 幕板付片開き片面フラッシュ戸 (1)	SDi8 片開き片面フラッシュ戸 (5)	SDi9 幕板付両開き片面フラッシュ戸 (4)	SDi10 幕板付3枚開き片面フラッシュ戸 (4)	SDi11 幕板付片開き片面フラッシュ戸 (4)	SDi12 幕板付3枚開き片面フラッシュ戸 (4)	SDi13 片開き片面フラッシュ戸 (6)
形状・寸法									
場所・見込	1階 PS 40	1階 SK 40	1階 東風除室 40	各階 オイルPS、1階 PS 40	2・3階 EPS 40	2・3階 EPS 40	2・3階 EPS 40	2・3階 EPS 40	2・3・4階 PS、PS・SK 40
仕上	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE
硝子	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金物	金物セットF	金物セットF	金物セットF	金物セットF	金物セットB	金物セットF	金物セットF	金物セットF	金物セットF
備考									

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

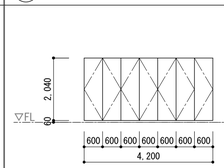
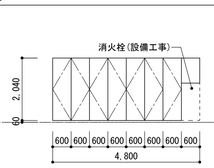
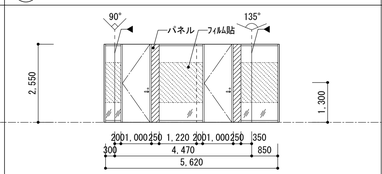
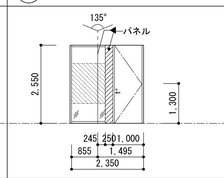
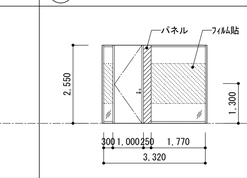
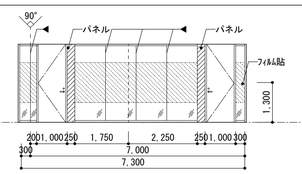
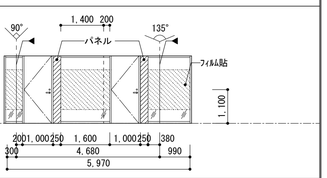
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

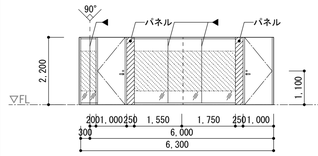
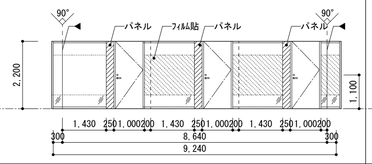
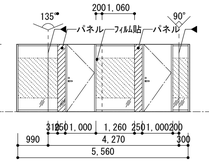
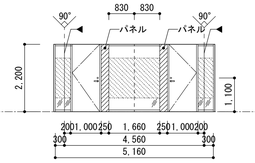
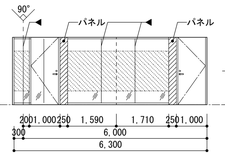
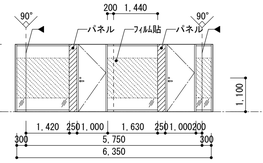
建具表(3)

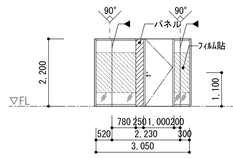
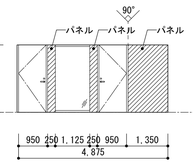
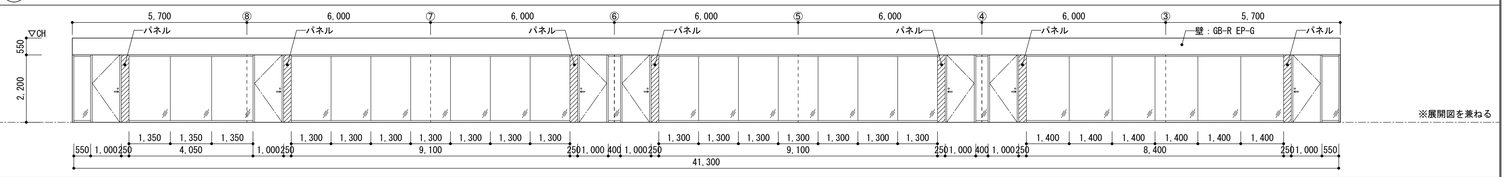
A1 1/100
A3 1/200

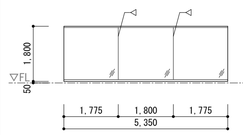
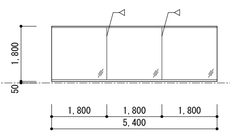
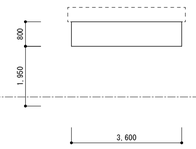
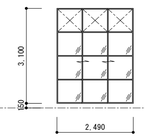
No. A－33

鹿児島市建設局建築部建築課

記号・名称・個数	SD1 14 7枚開き片面フラッシュ戸 (1)	SD1 15 7枚開き片面フラッシュ戸 (1)	SP 1 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 2 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 3 FIX窓付片開き戸 (2)	SP 4 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 5 FIX窓付片開き戸 (1)
形状・寸法							
場所・見込	4階 EPS 40	4階 EPS 40	1階 相談室 70	1階 相談室 70	1階 相談室 70	1階 相談室 70	2階 マルチルーム 70
仕上	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE
硝子	-	-	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6
金物	金物セットF	金物セットF	金物セットH	金物セットH	金物セットH	金物セットH	金物セットH
備考			グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り

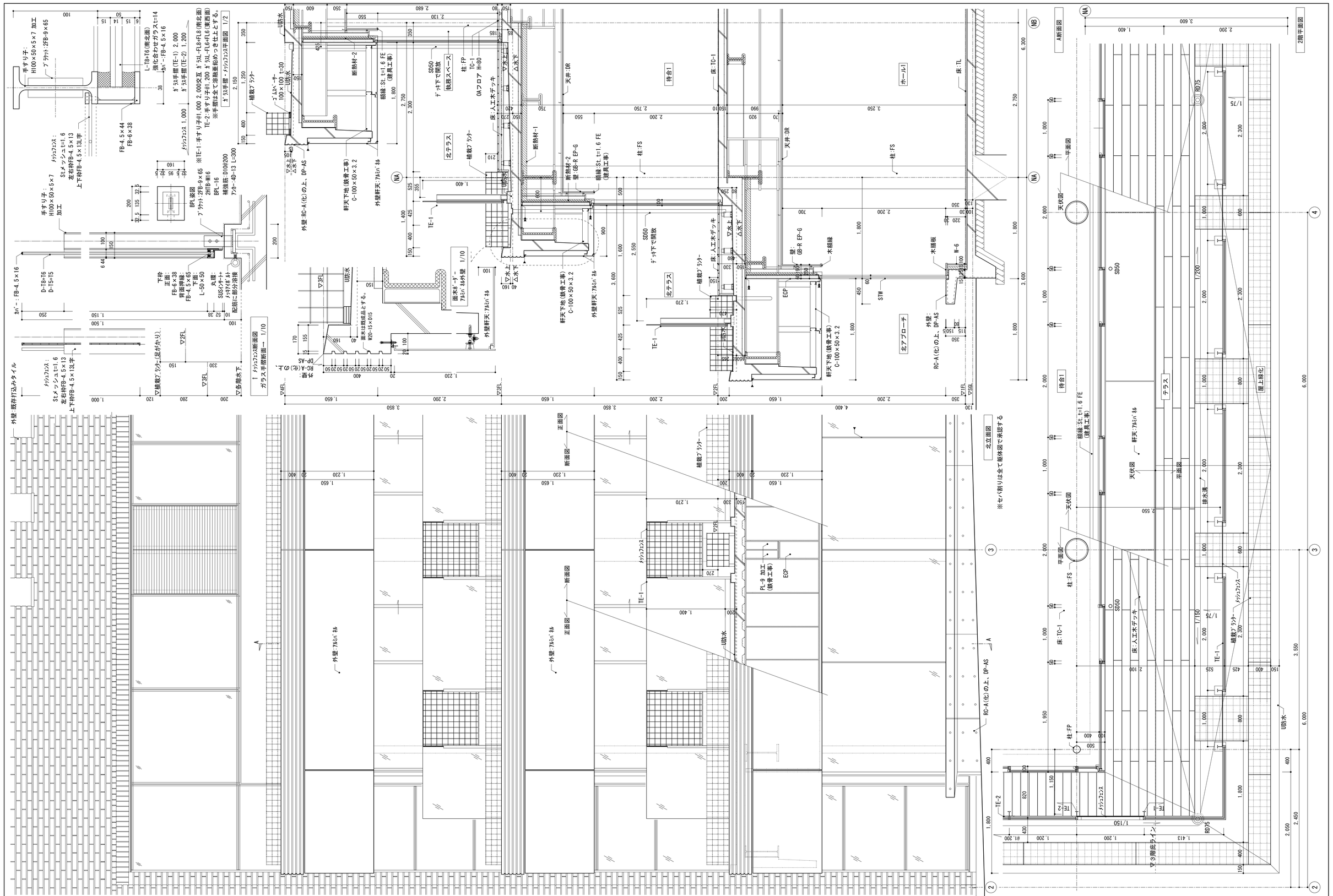
記号・名称・個数	SP 6 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 7 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 8 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 9 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 10 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 11 FIX窓付片開き戸 (1)
形状・寸法						
場所・見込	2階 マルチルーム 70	2階 相談室 70	2階 相談室 70	3階 相談室 70	3階 マルチルーム 70	3階 マルチルーム 70
仕上	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE	A-BE
硝子	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6
金物	金物セットH	金物セットH	金物セットH	金物セットH	金物セットH	金物セットH
備考	グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り

記号・名称・個数	SP 12 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 13 FIX窓付片開き戸 (1)	SP 14 FIX窓付片開き戸 (1)
形状・寸法			 ※展開図を兼ねる
場所・見込	3階 清掃員控室 70	4階 男性休憩室・社会福祉協議会 70	4階 会議室 70
仕上	A-BE	A-BE	A-BE
硝子	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6	L-FL6+FL6
金物	金物セットH	金物セットH	金物セットH
備考	グラデーションフィルム貼り	グラデーションフィルム貼り	※ガラス同士はシールジョイント

記号・名称・個数	SW 10 片開き戸付多連窓 (4)	SW 11 片開き戸付多連窓 (2)	SHW 1 可動防煙垂れ壁（レール可動型） (1)	WD 1 3枚建て引き違い戸 (1)				
形状・寸法								
場所・見込	1階 ワークラウンジ	2階 ワークラウンジ	4階 ホワイエ	1階 宿日直室				
仕上	FE	FE	A-BE	UC				
硝子	L-FL5+FL5(乳白)	L-FL5+FL5(乳白)	-	不燃強化障子紙(欄間ｵｰﾌﾟﾝ)				
金物				敷居Vﾚｰﾙ、鴨居ｱﾙﾐﾚｰﾙ				
備考	曲げ枠+型鋼枠	曲げ枠+型鋼枠	文化ｼｬｯﾀｰ)ｾﾚｳｫｰﾙ不燃布製巻取式 煙感連動装置 三和ｼｬｯﾀｰ)ｻﾝｽﾓｰｸｽｸﾘｰﾝ 安全装置付					
記号・名称・個数								
形状・寸法								
場所・見込								
仕上								
硝子								
金物								
備考								

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事
建具表(4)
A1 1/100
A3 1/200
No. A－34
鹿児島市建設局建築部建築課

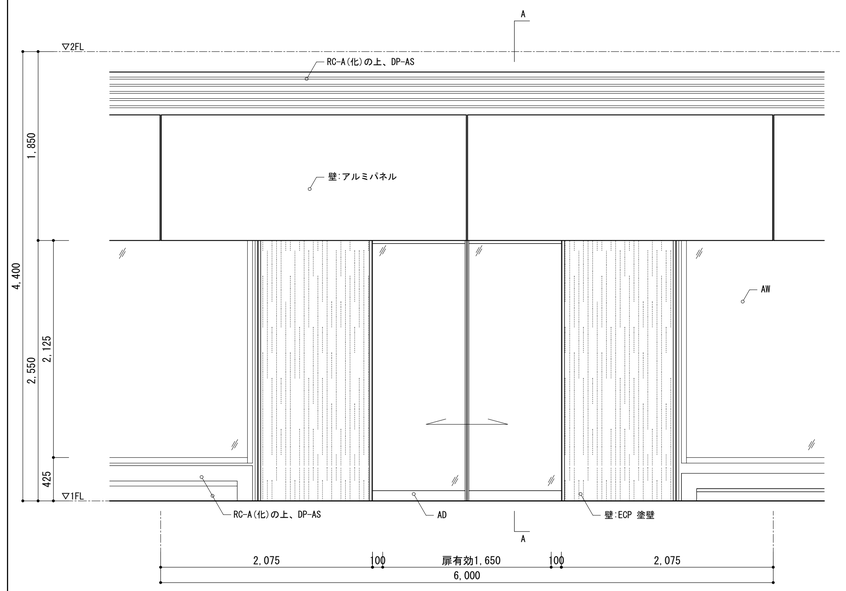


みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

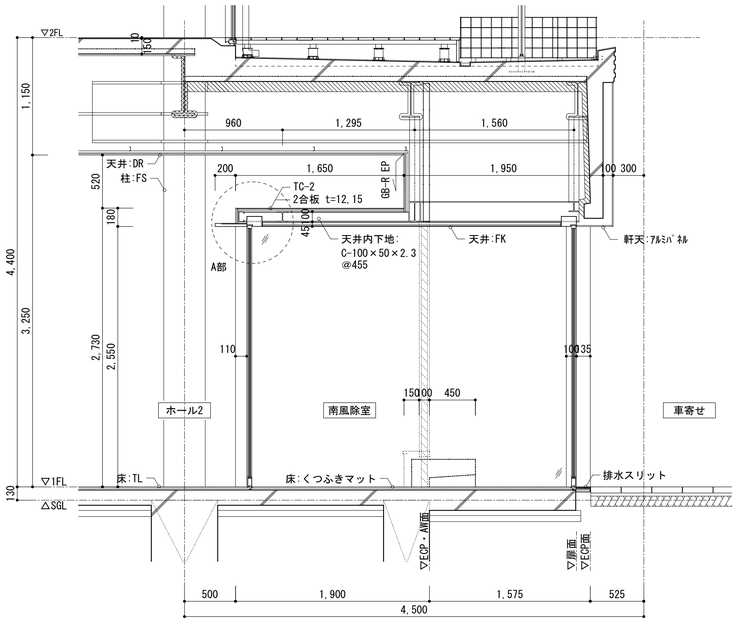
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

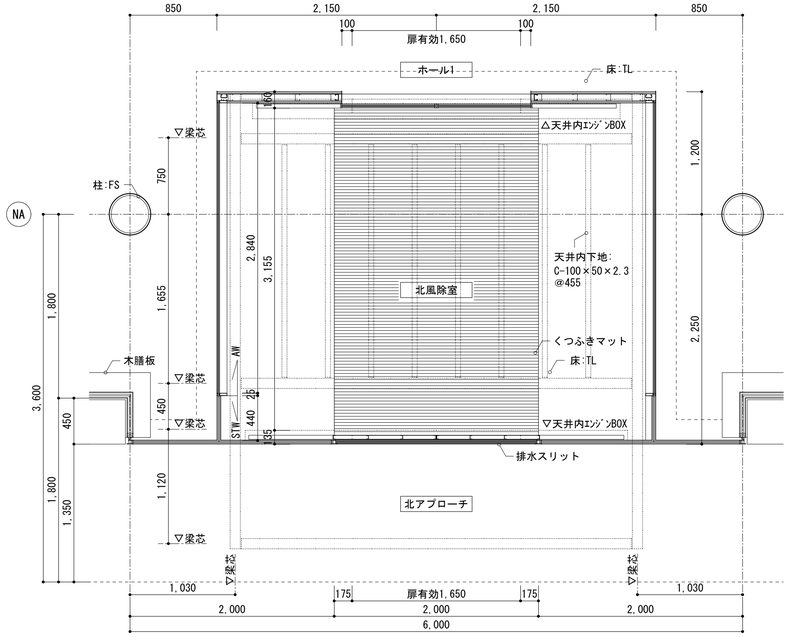
矩計図(1)-北面AW	A1 1/30 A3 1/60	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A － 35



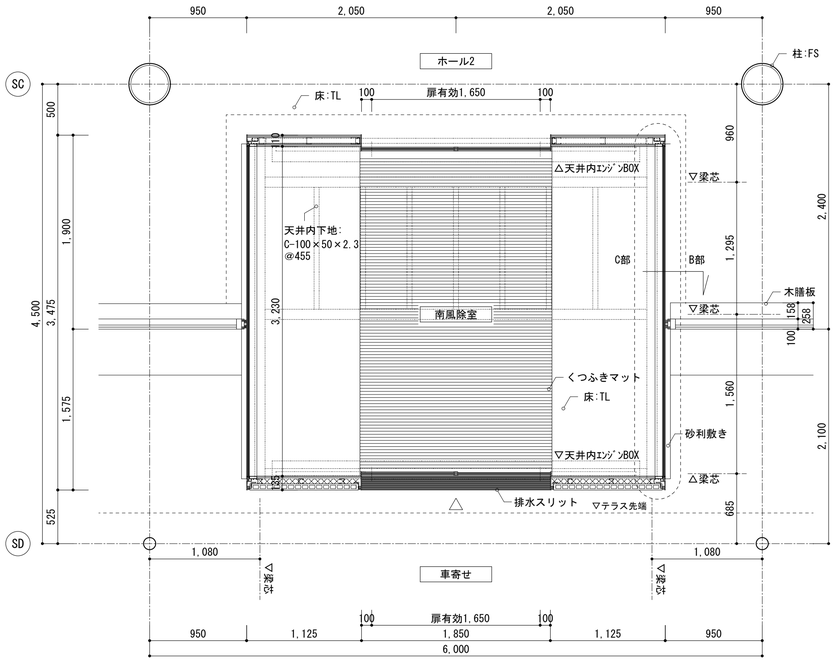
南風除室立面図 6 5



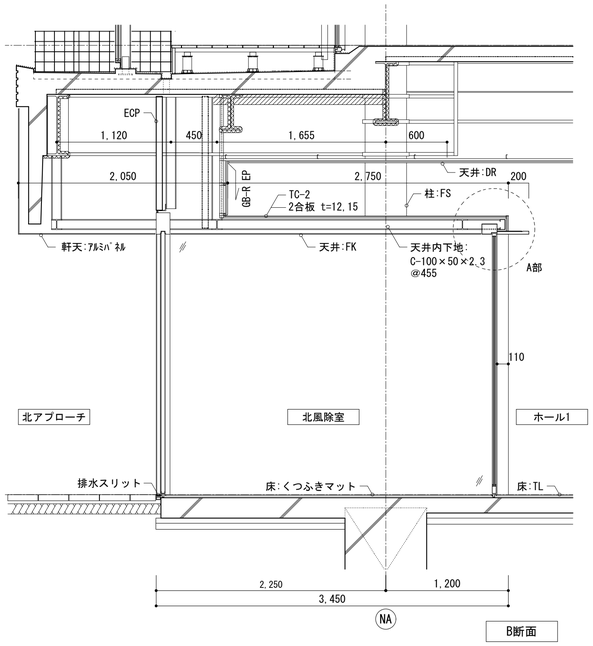
A断面図 SC SD



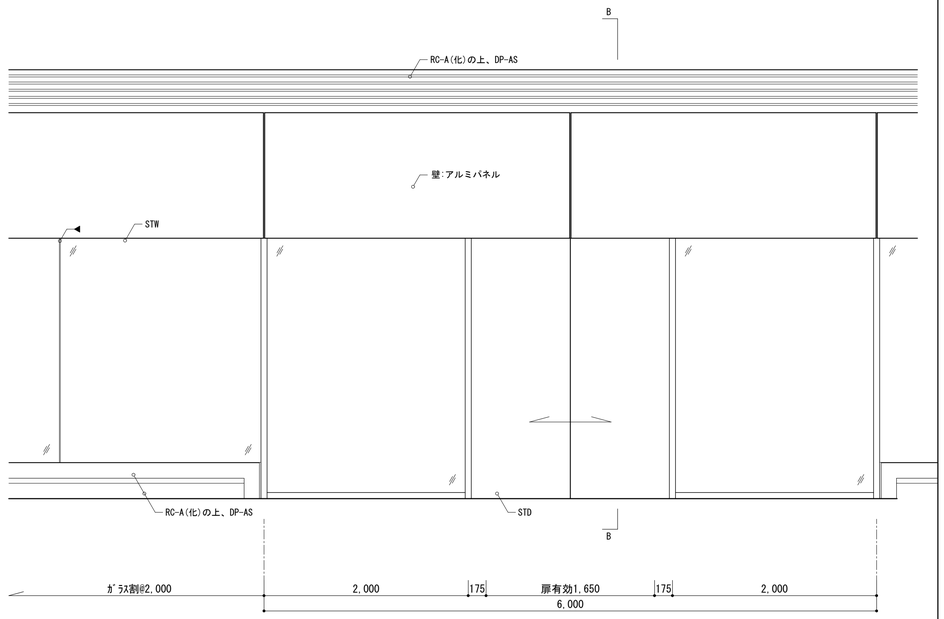
北風除室平面図 5 6



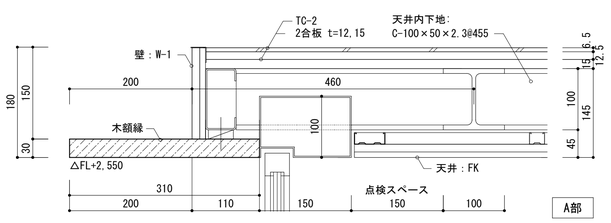
南風除室平面図 6 5



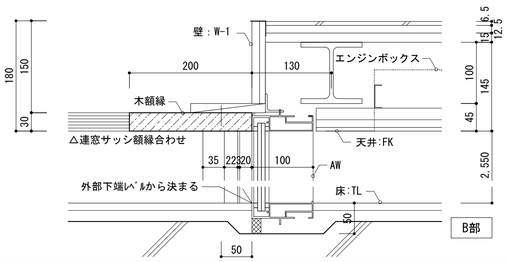
B断面



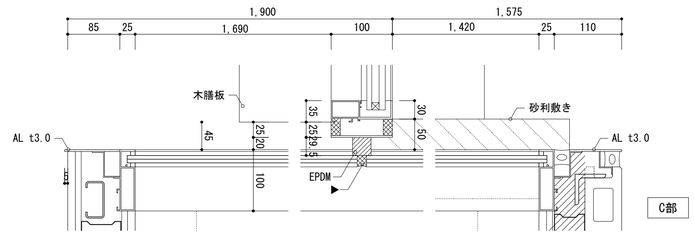
北風除室立面図 5 6



A部

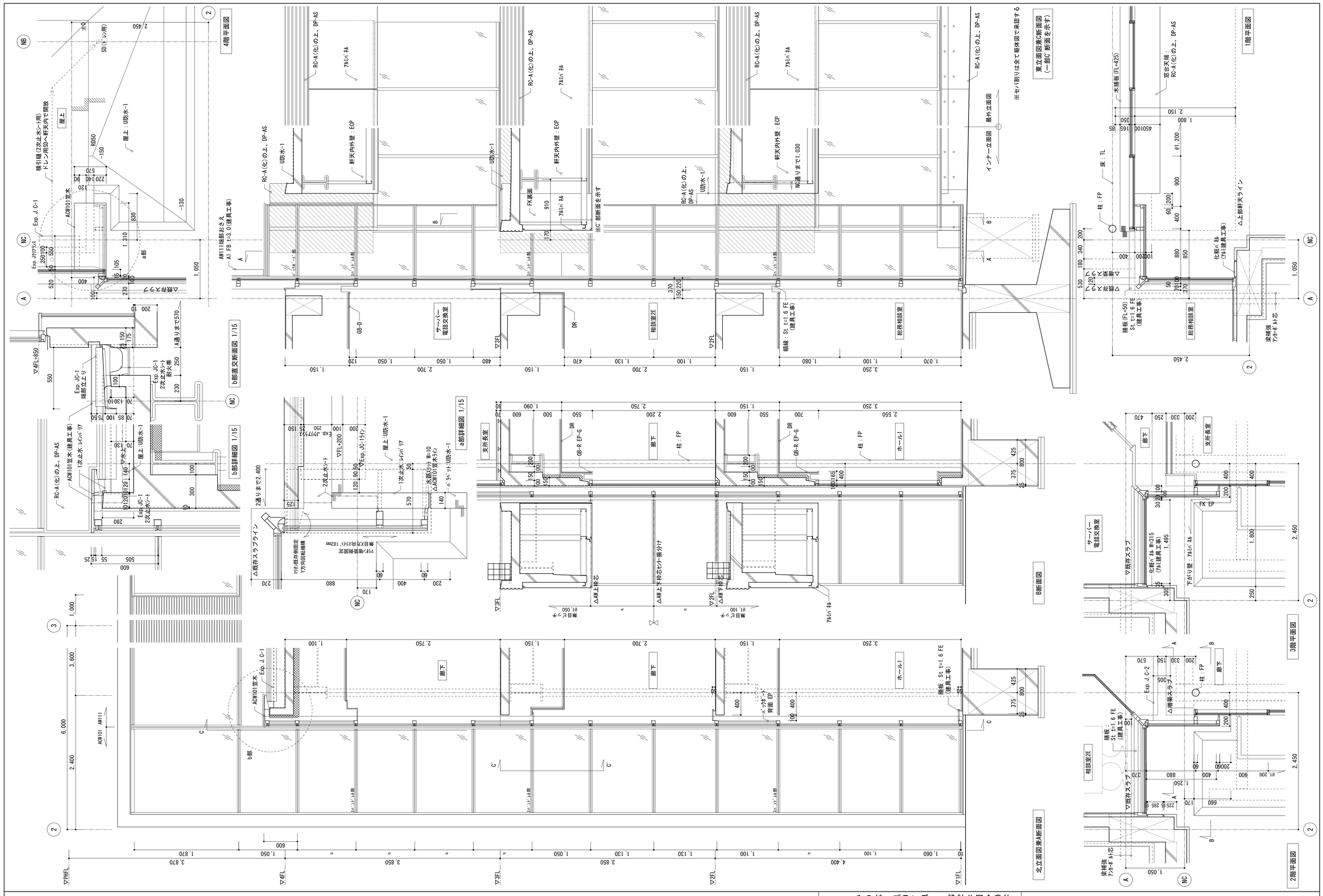


B部



C部

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	矩計図(2)-南北風除室	A1　1/30 A3　1/60	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A－36

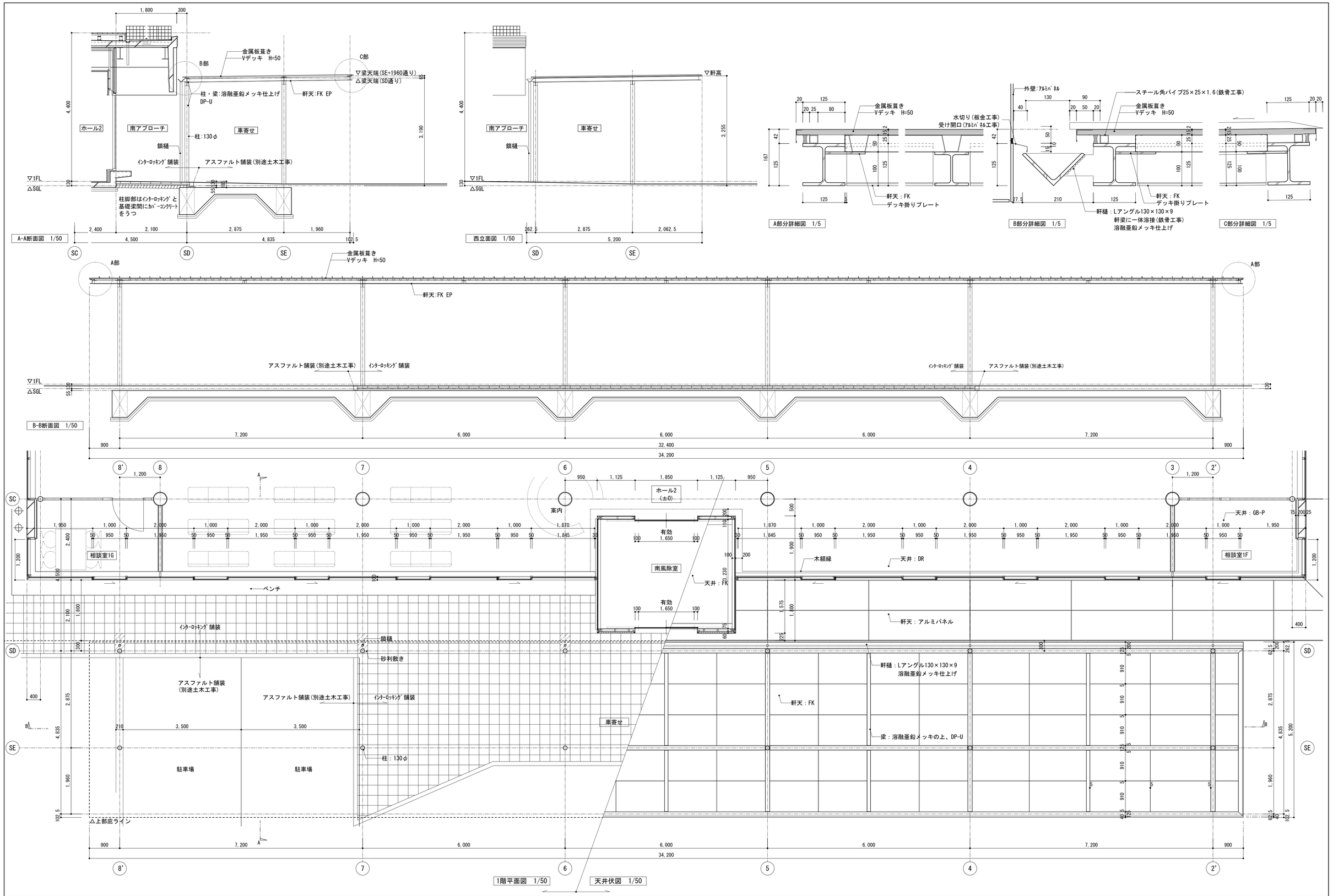


みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

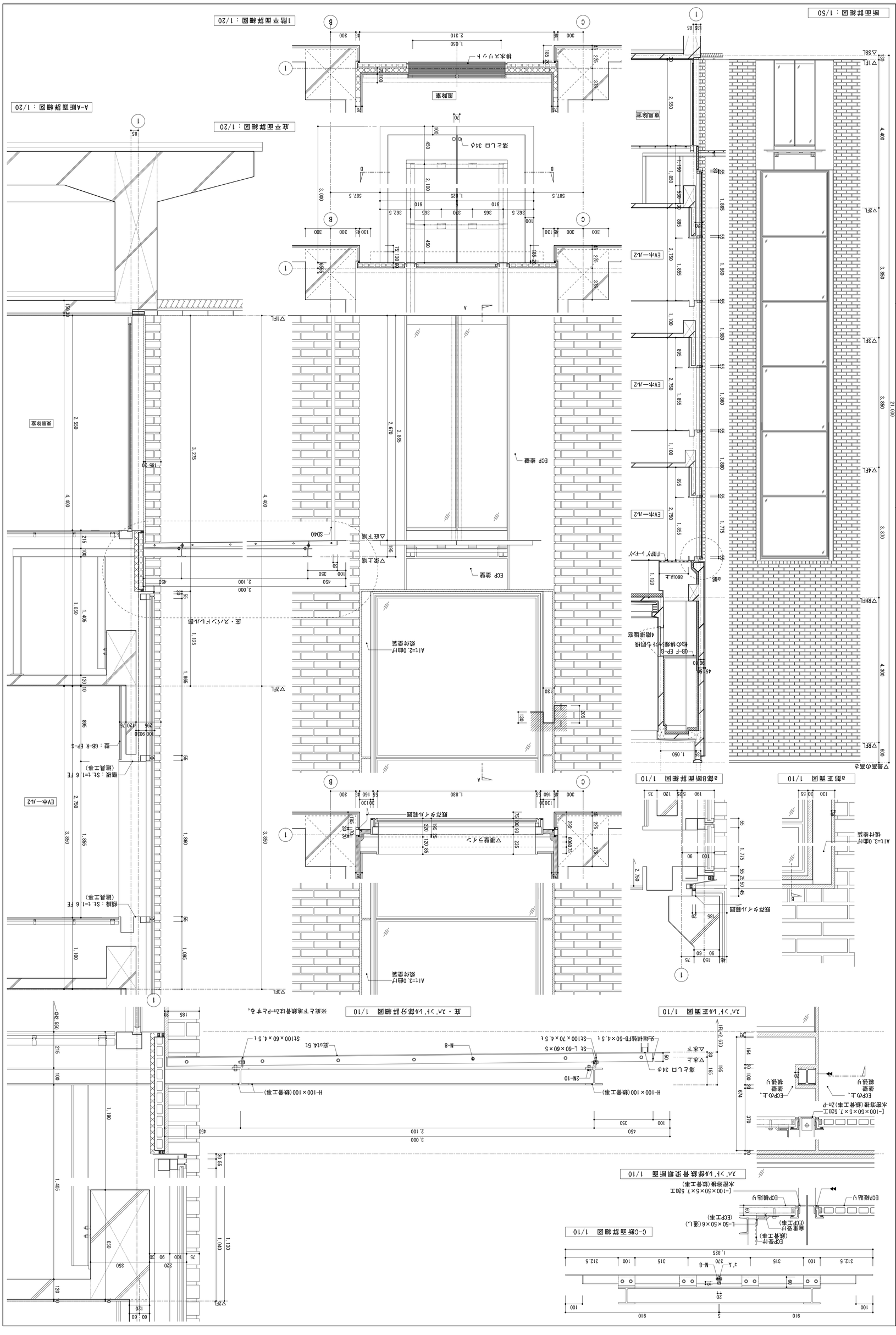
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

矩計図(3)-既存増築とりあい	A1 1/30 A3 1/60	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A - 37



みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事 矩計図(4)-車寄せ A1 1/50 A3 1/100 鹿児島市建設局建築部建築課	No. A - 38



谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所
一級建築士事務所 株式会社 みのだ設計
知事登録 第1-3-140号

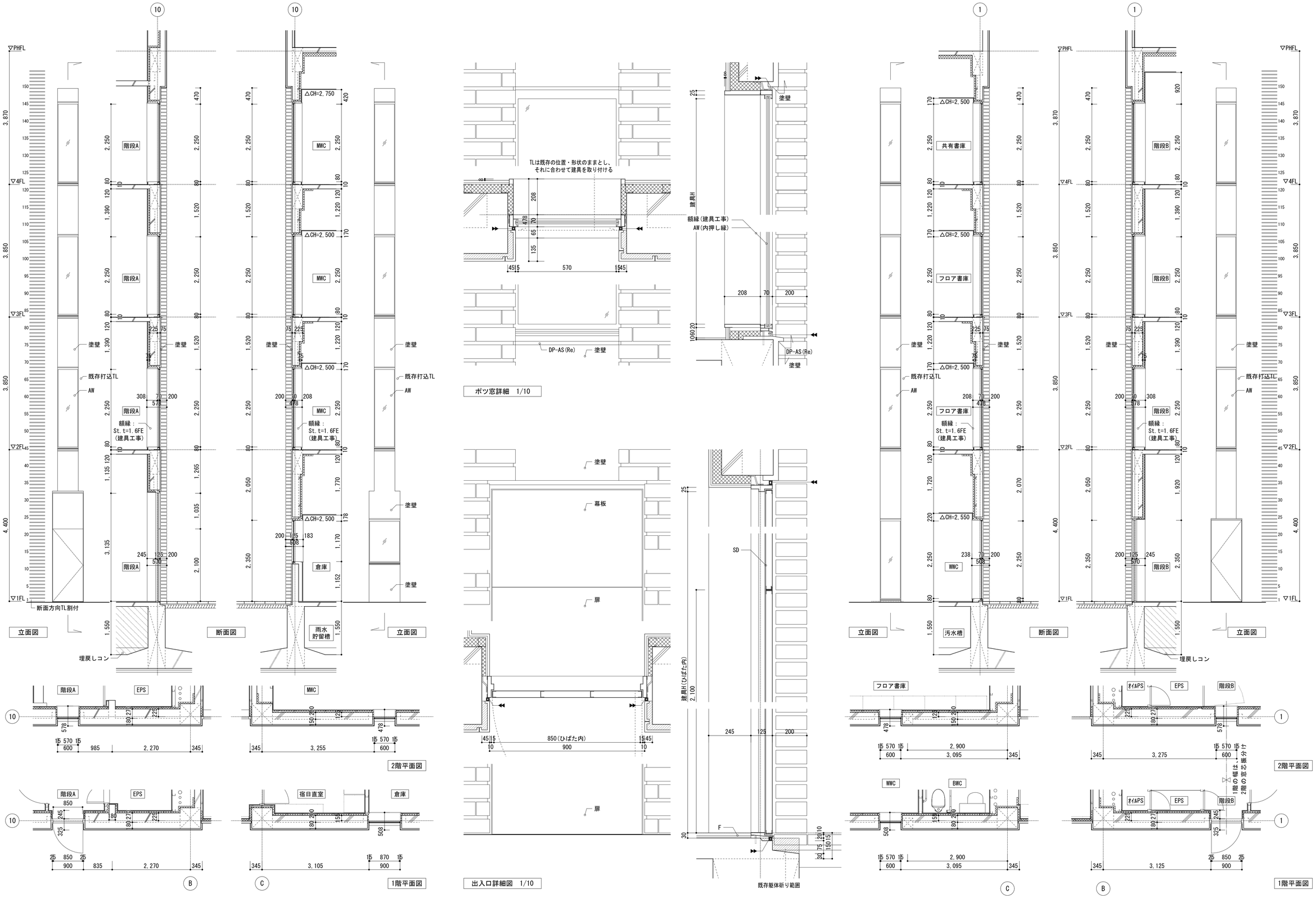
矩計図(5)-東西面ACW

A1 1/10・20・50
A3 1/20・40・100

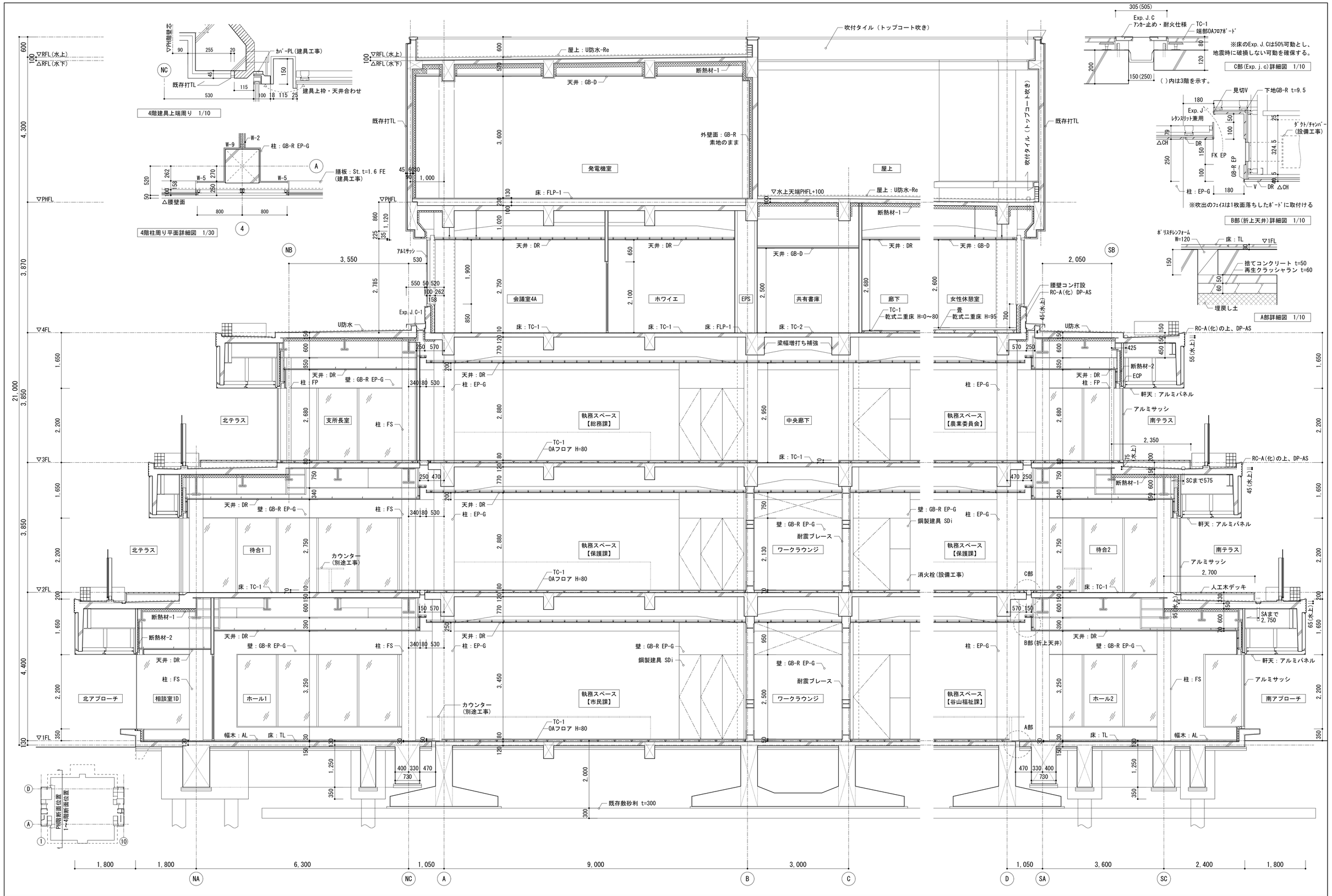
No. A-39

鹿児島市建設局建築部建築課

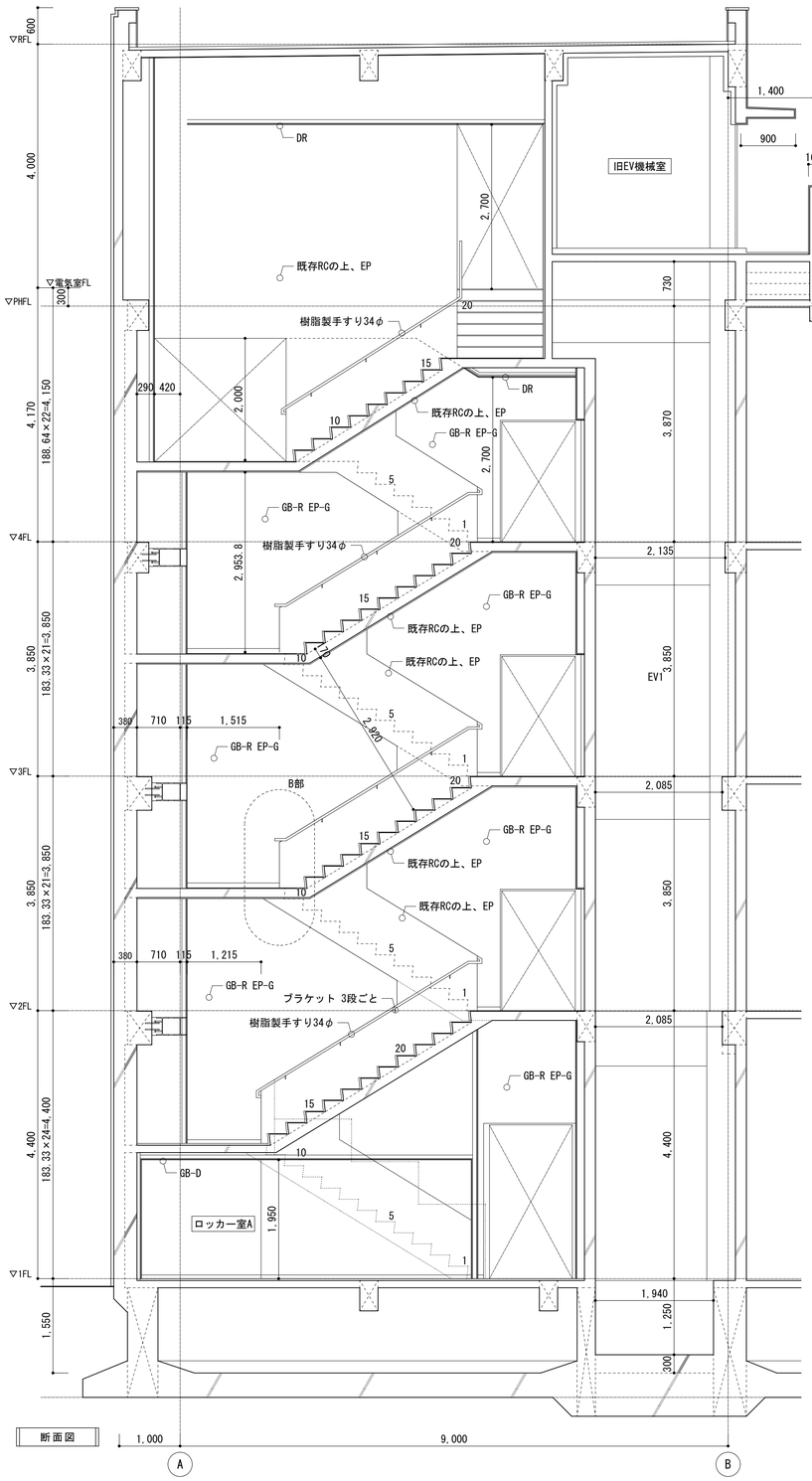
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

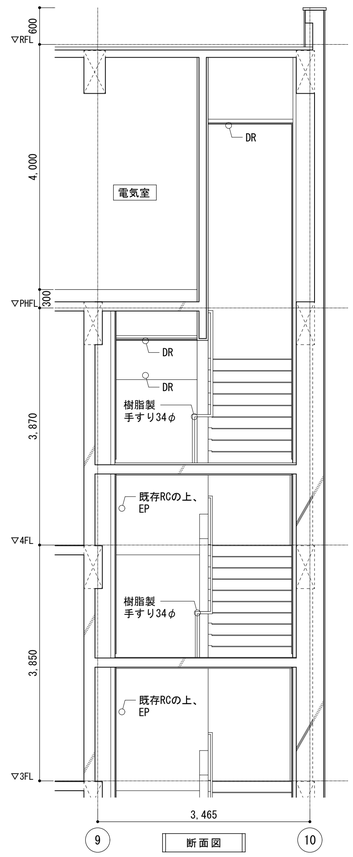


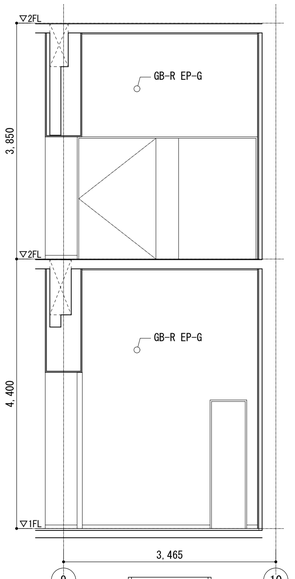
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社　みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	矩計図(6)-東西スリット窓	A1　1/50 A3　1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A－40



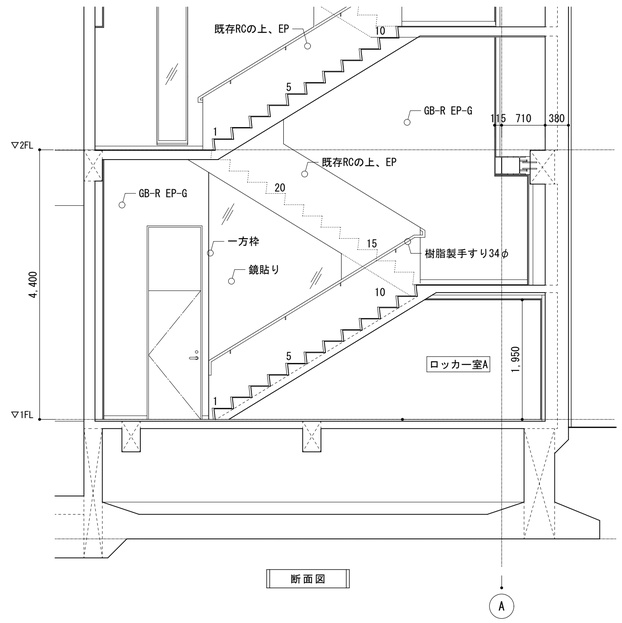
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社　みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	断面詳細図	A1　1/50 A3　1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 41

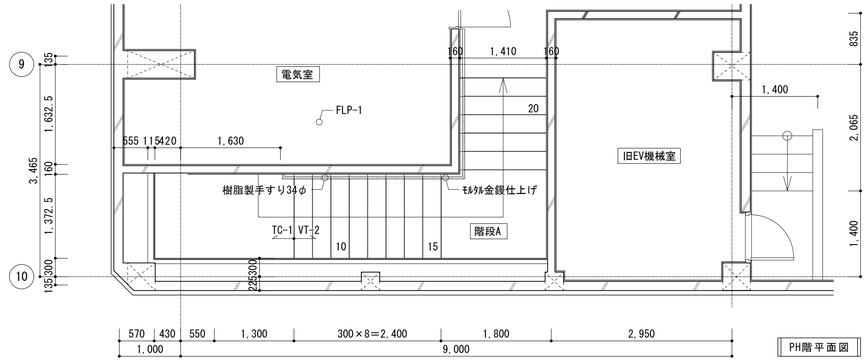


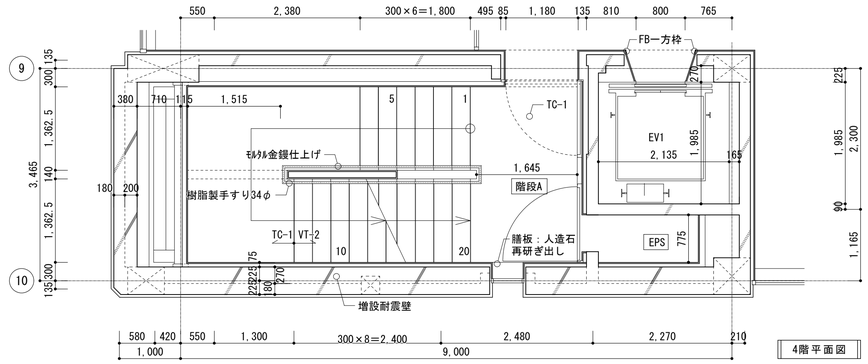


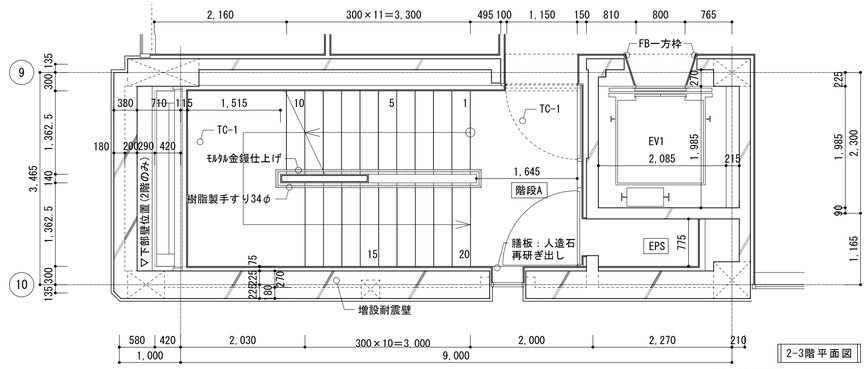


※A階段・B階段共通

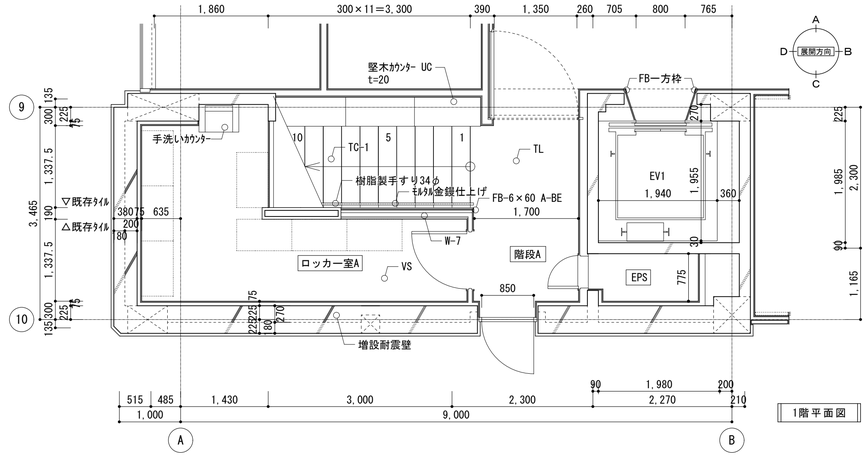




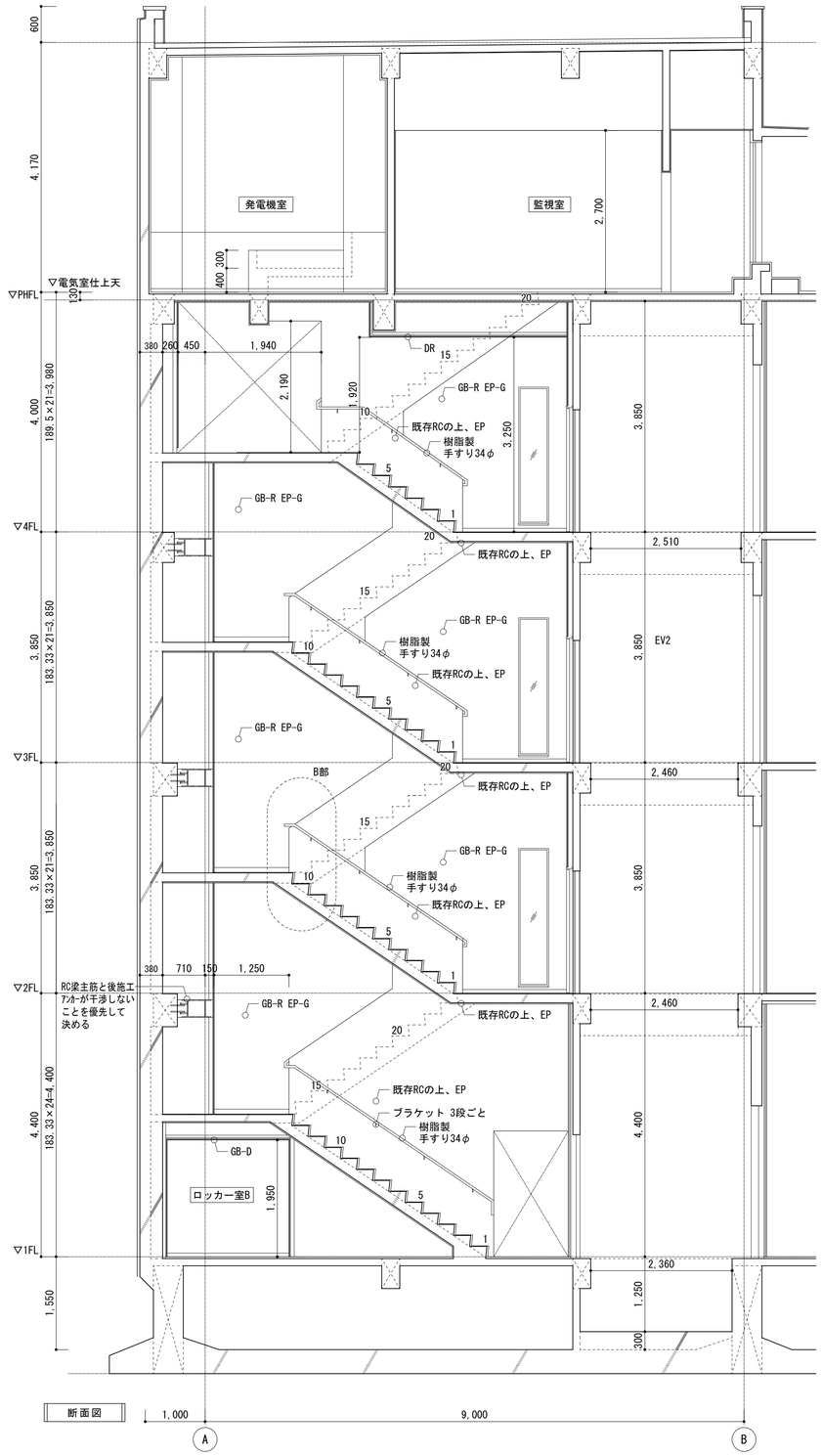


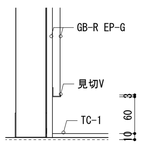


※FとTC-1の切り替えは2階のみ

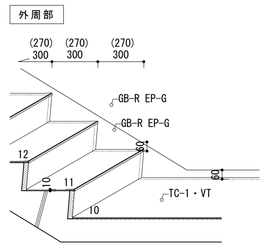


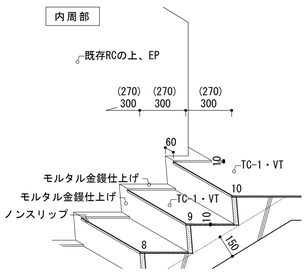
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事	
	コア詳細図(1)-階段A	A1　1/50 A3　1/100
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	鹿児島市建設局建築部建築課	No. A － 42



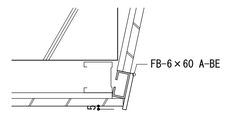


入巾木部詳細 1/5



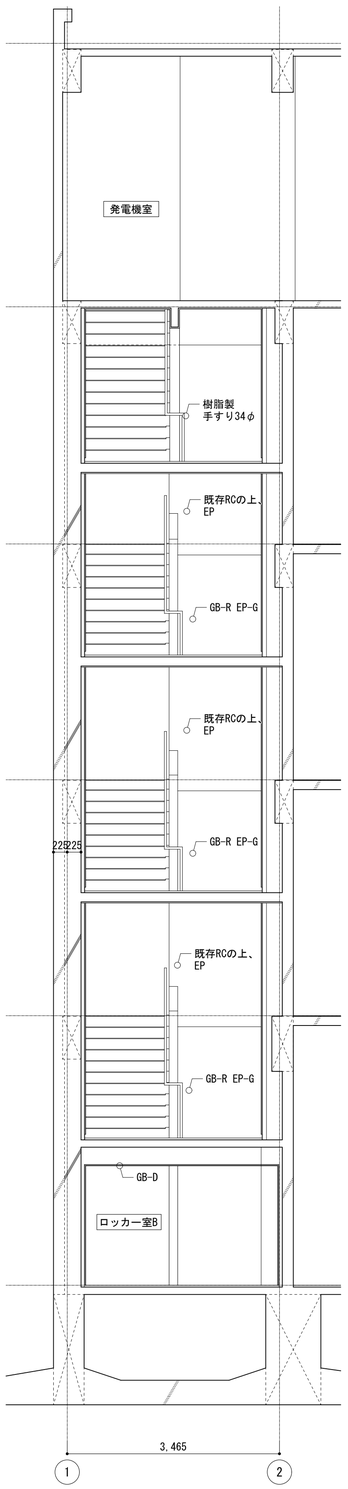


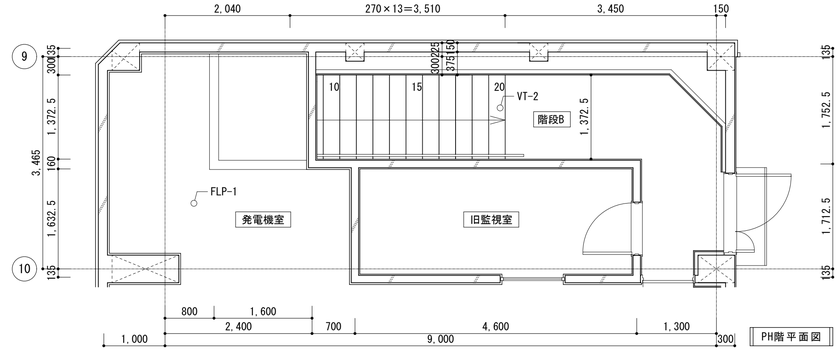
B部詳細 1/20



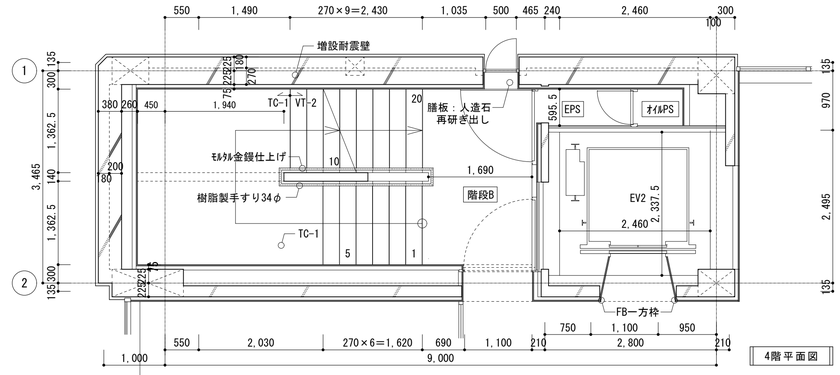
C部詳細 1/5

※各部詳細は、コア詳細図(1)・(2)共通

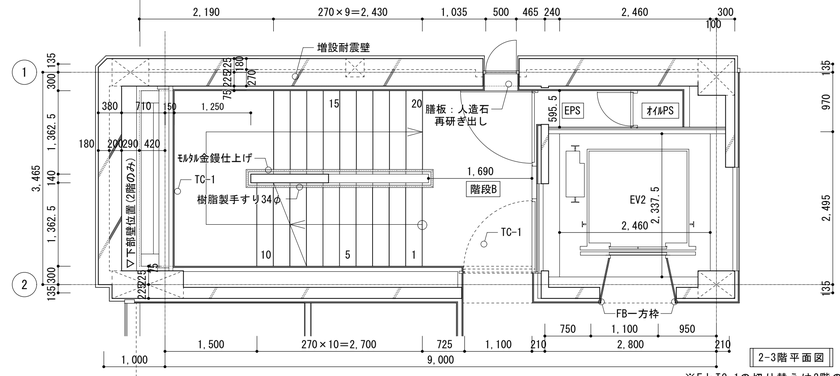




PH階平面図

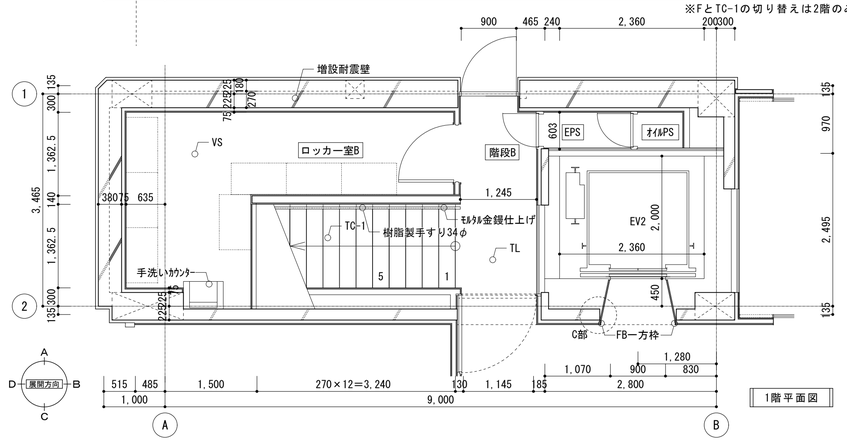


4階平面図



2-3階平面図

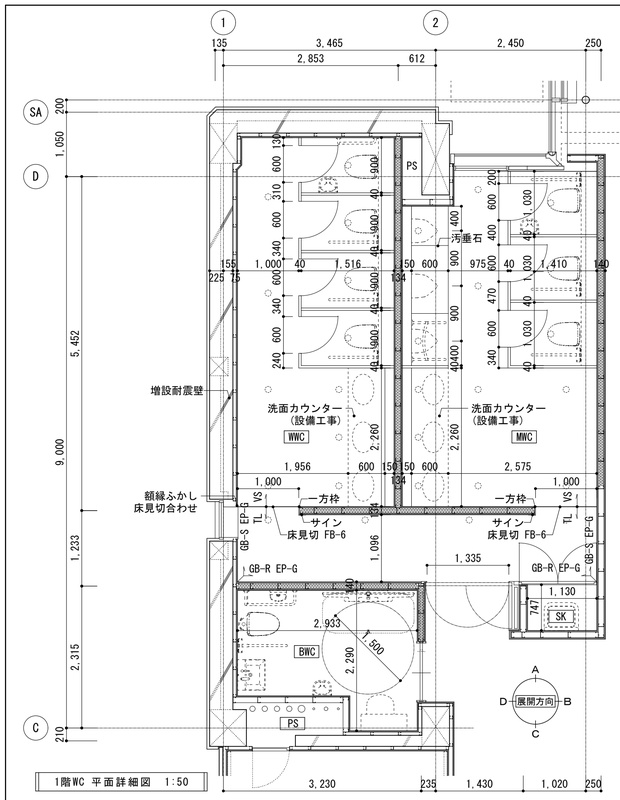
※FとTC-1の切り替えは2階のみ



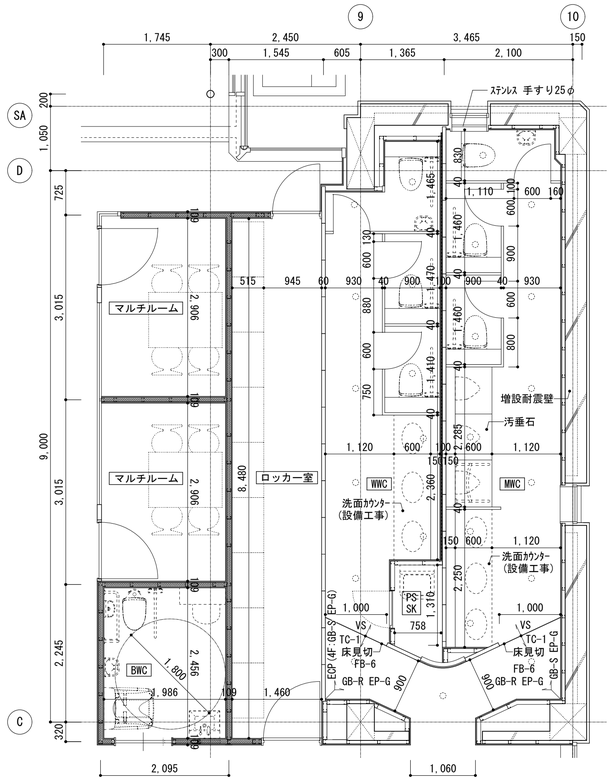
1階平面図

※Fと TC-1の切り替えは2階のみ

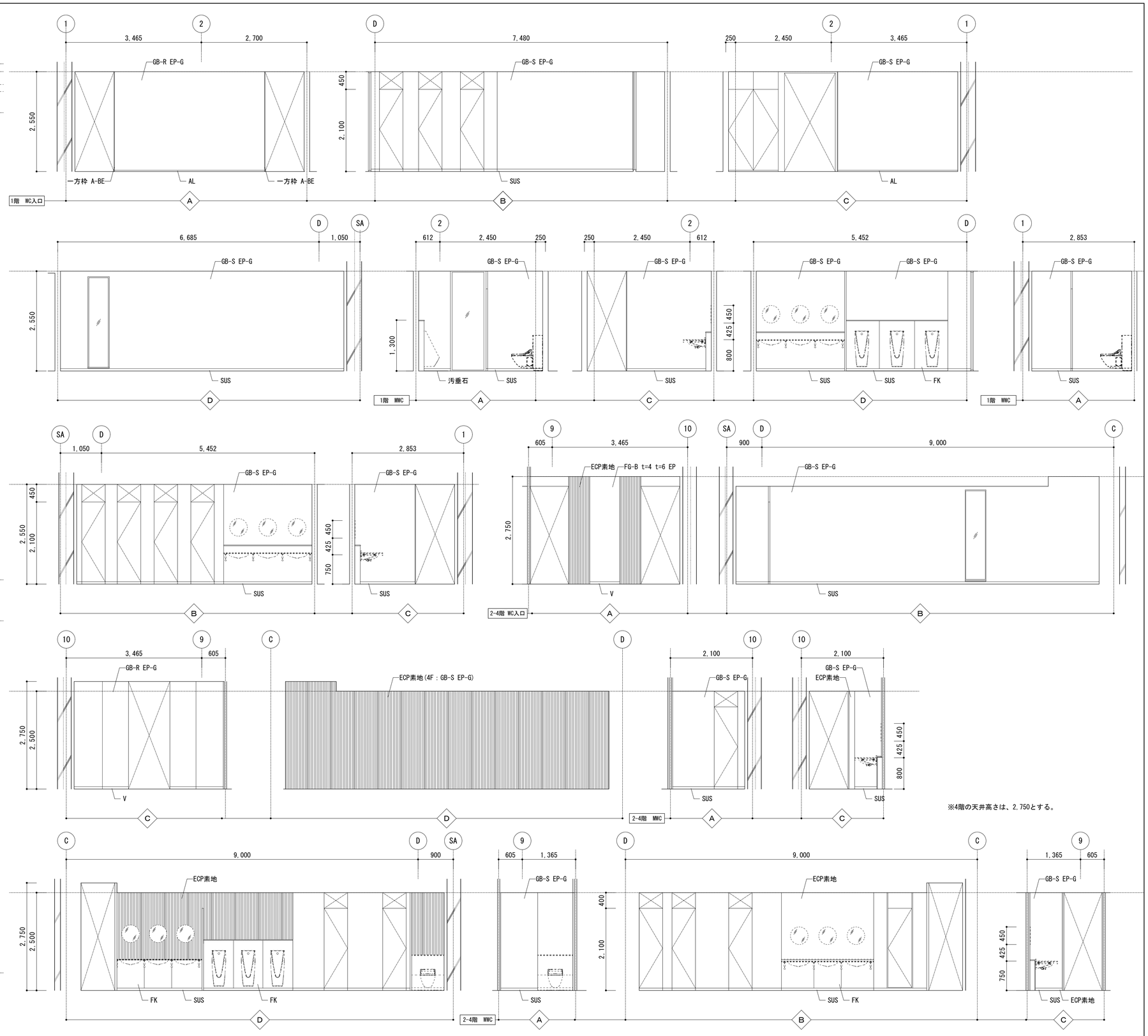
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	コア詳細図(2)-階段B	A1　1/50 A3　1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 43



1階WC 平面詳細図 1:50

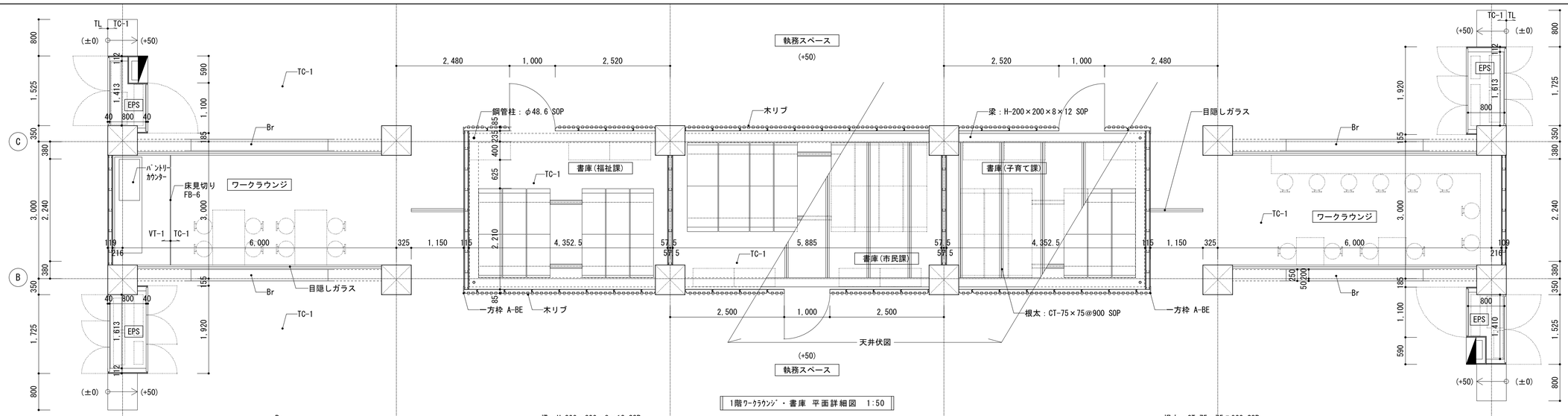


2-4階WC 平面詳細図 1:50

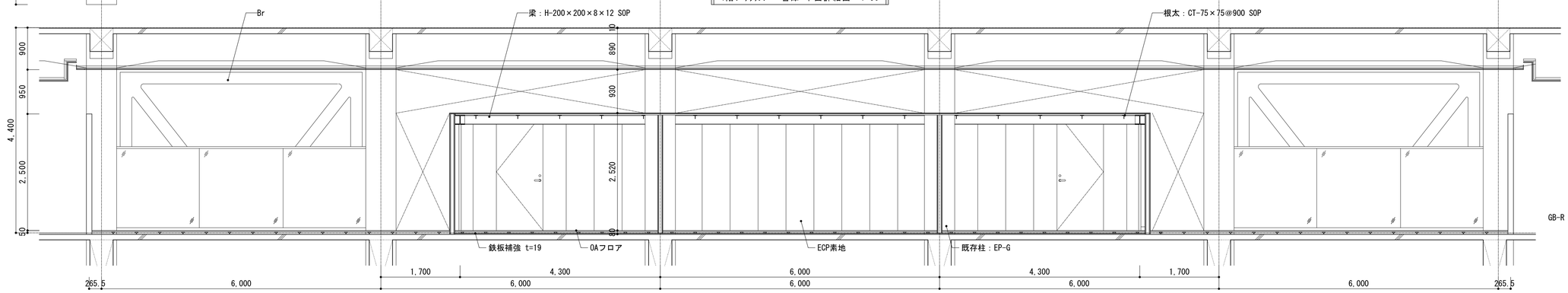


※4階の天井高さは、2,750とする。

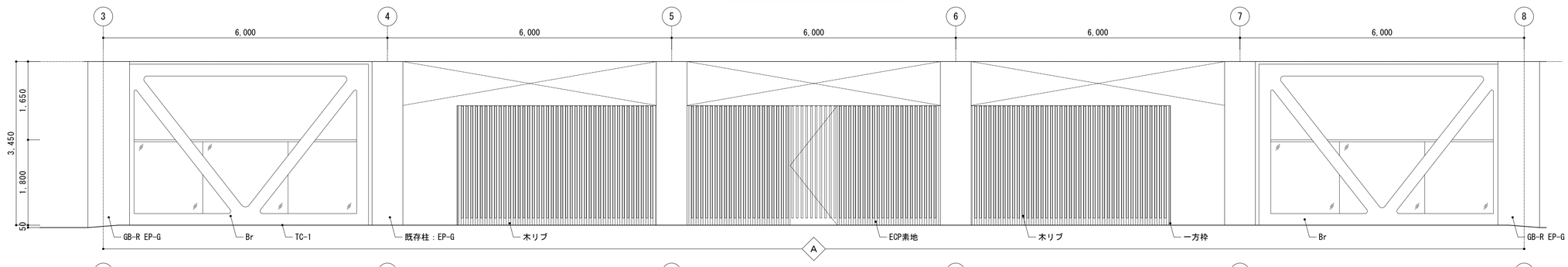
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	WC詳細図	A1 1/50 A3 1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A - 44

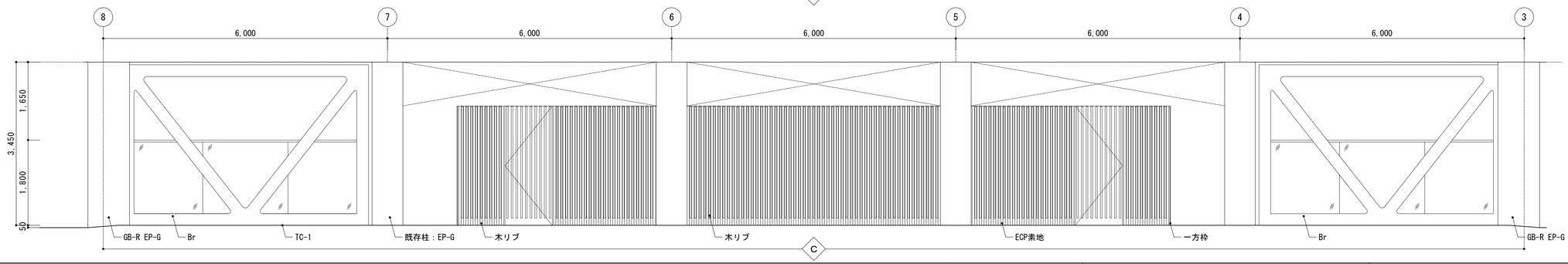


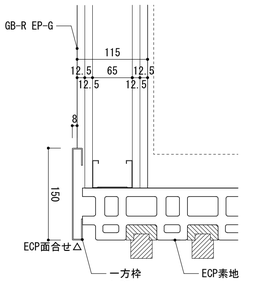
1階ﾜｰｸﾗｳﾝｼﾞ・書庫 平面詳細図 1:50



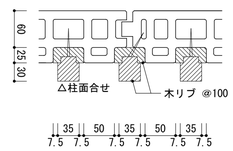
1階ﾜｰｸﾗｳﾝｼﾞ・書庫 断面図 1:50

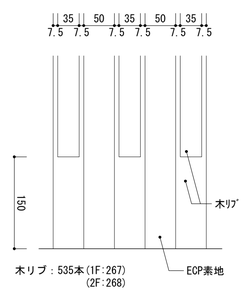






コーナー部詳細図 1：5

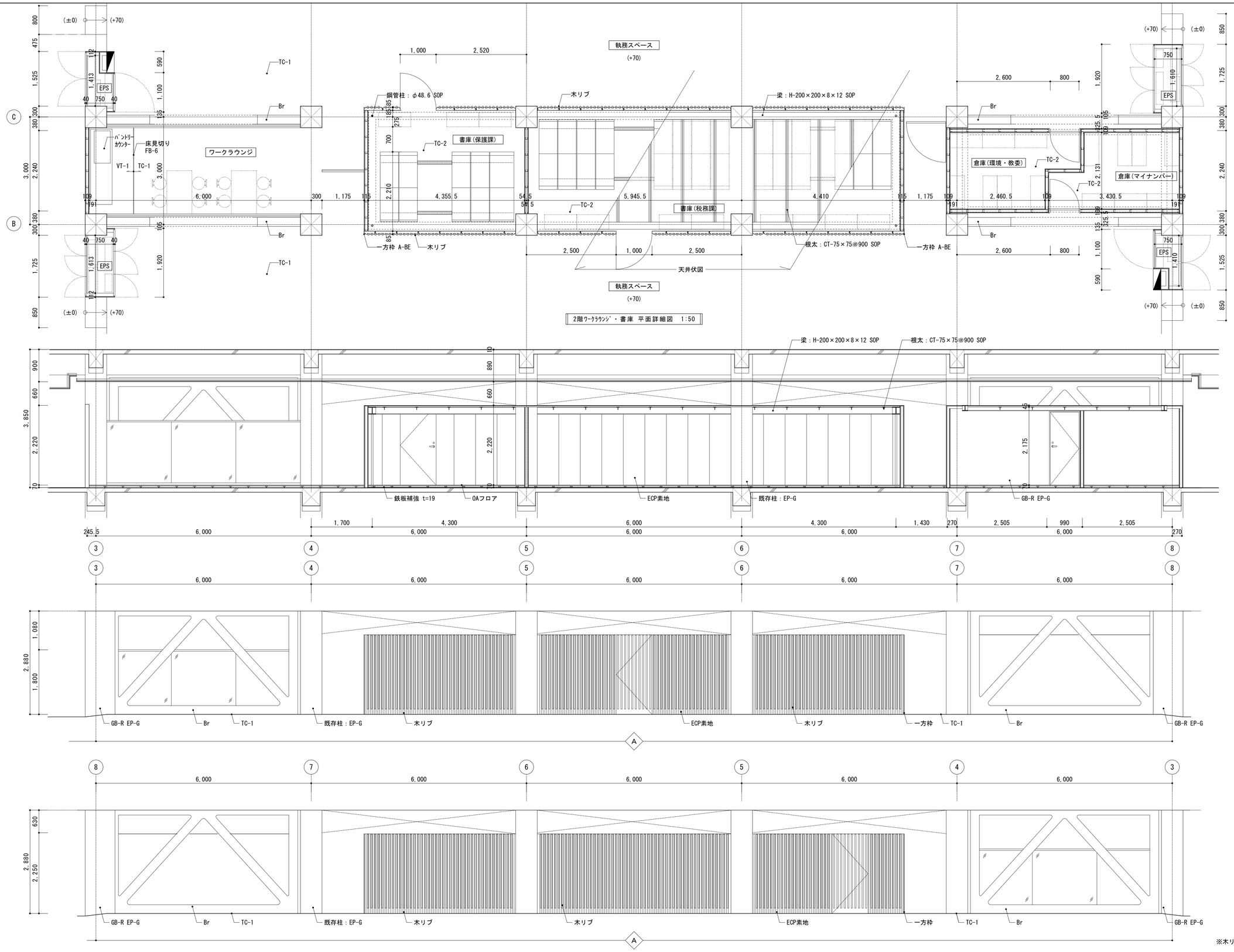




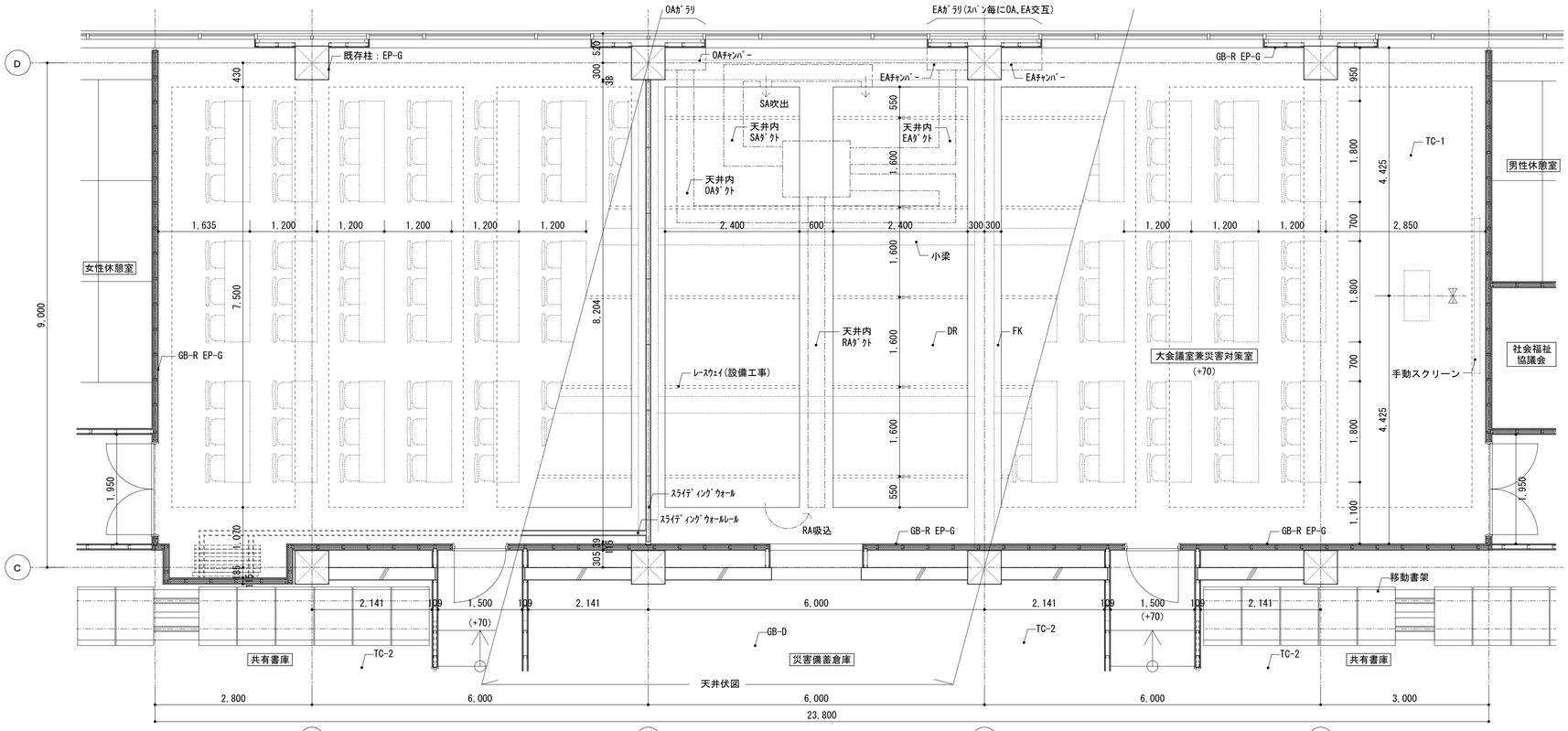
木リブ詳細図 1：5

※木リブ：杉材上小節 不燃処理とする

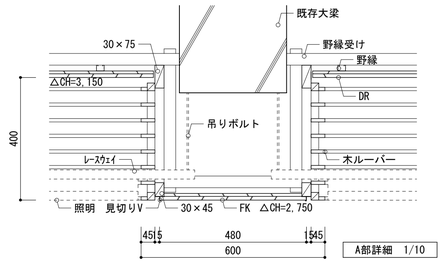
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	ワークラウンジ・書庫詳細図(1)	A1 1/50 A3 1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 45



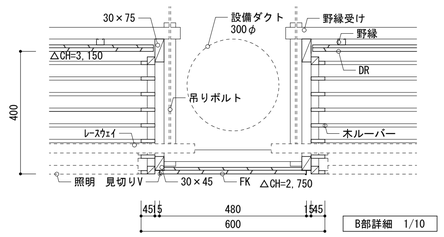
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	ワークラウンジ・書庫詳細図(2)	A1 1/50 A3 1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 46



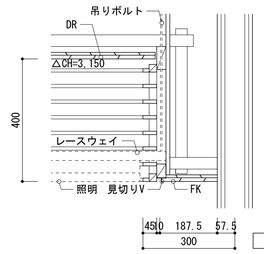
大会議室詳細図　１：５０



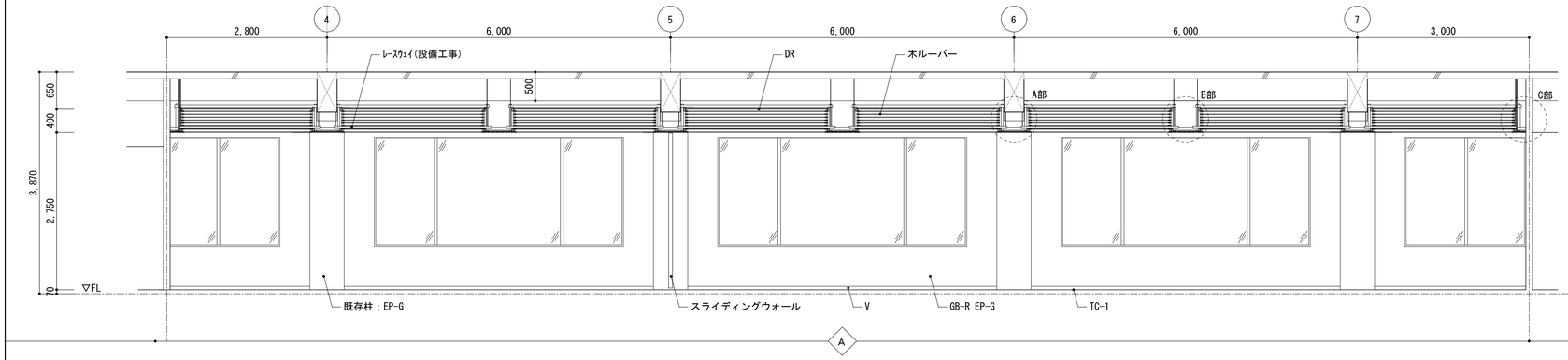
A部詳細　1/10



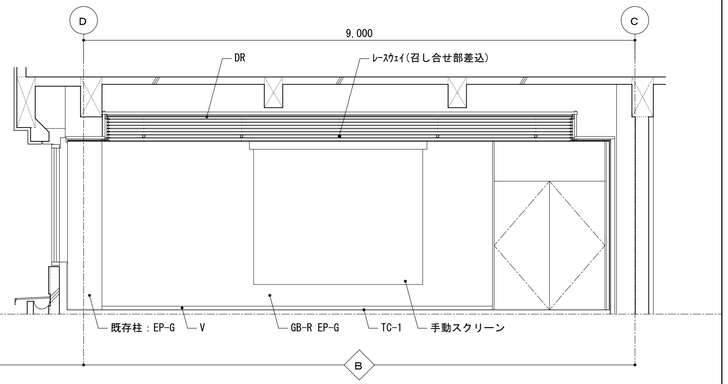
B部詳細　1/10



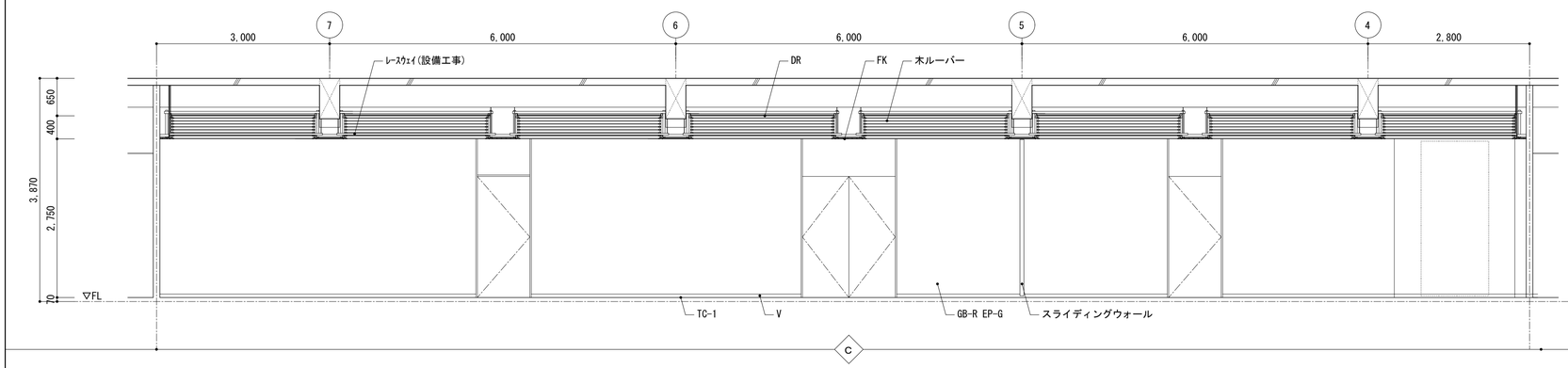
C部詳細　1/10



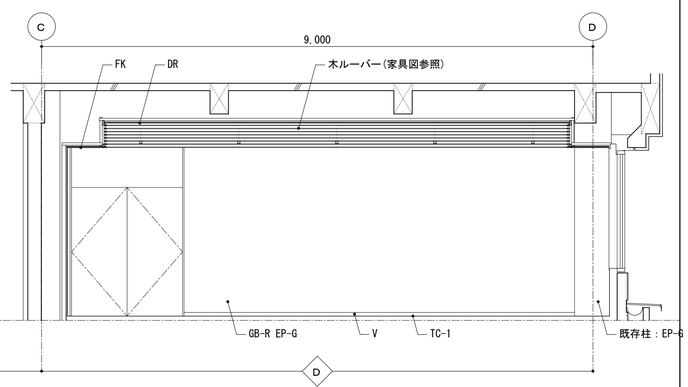
A



B



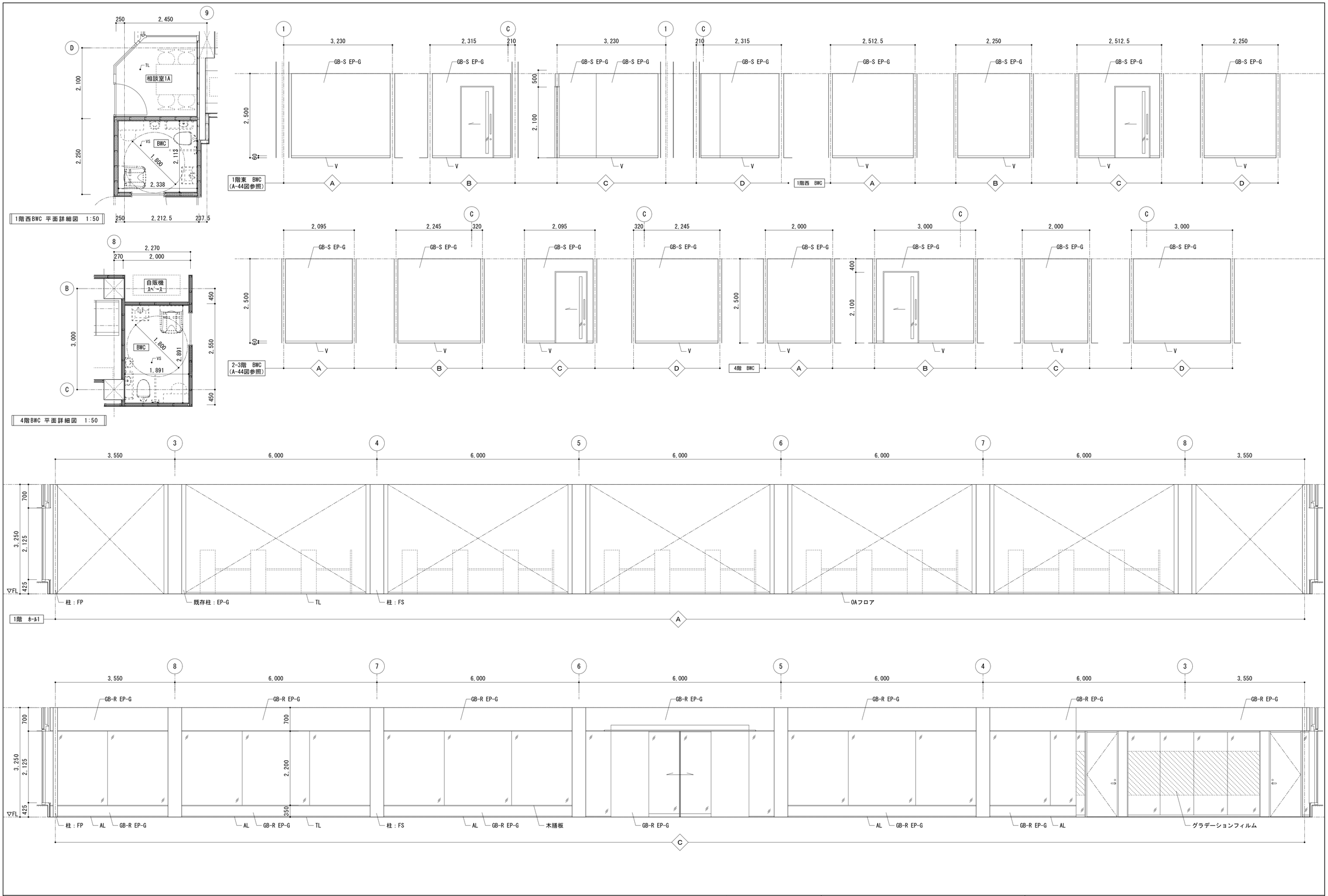
C



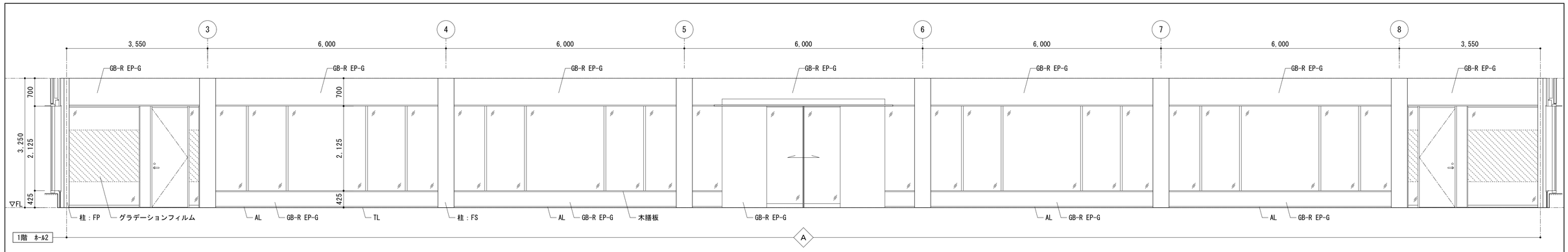
D

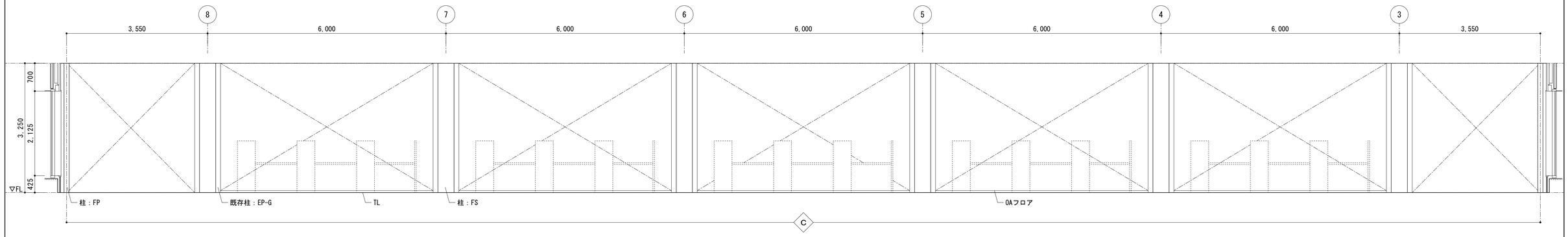
A
D 展開方向 B
C

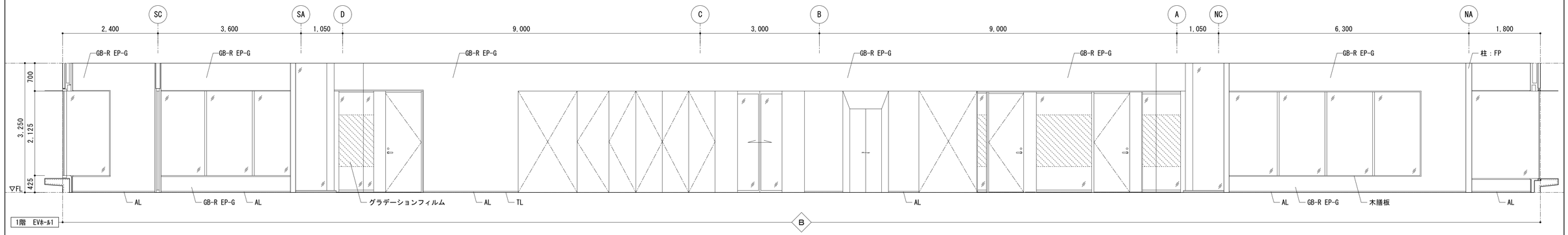
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事	
	大会議室兼災害対策室詳細図	A1　1/50 A3　1/100
	鹿児島市建設局建築部建築課	No. A － 47

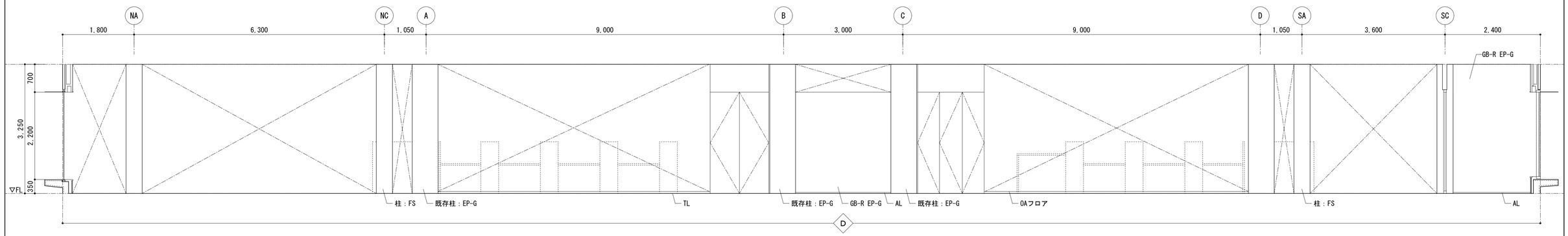


A D 展開方向 B C	みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事 展開図(1) A1 1/50 A3 1/100 鹿児島市建設局建築部建築課	No. A － 48

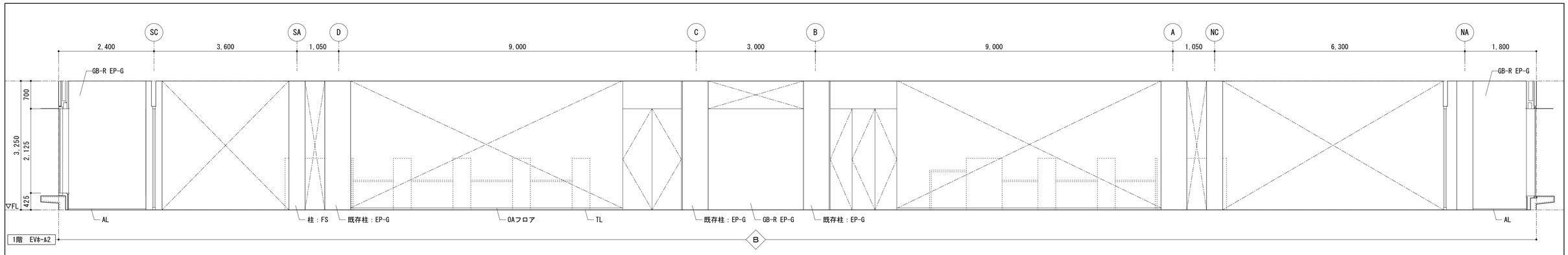


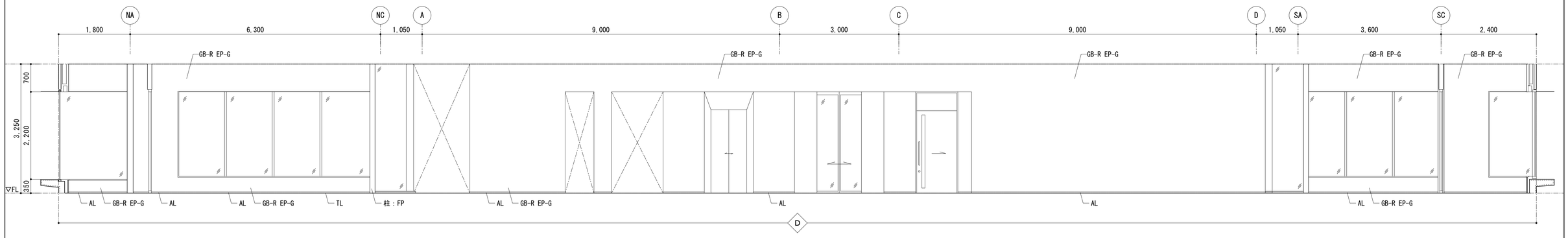


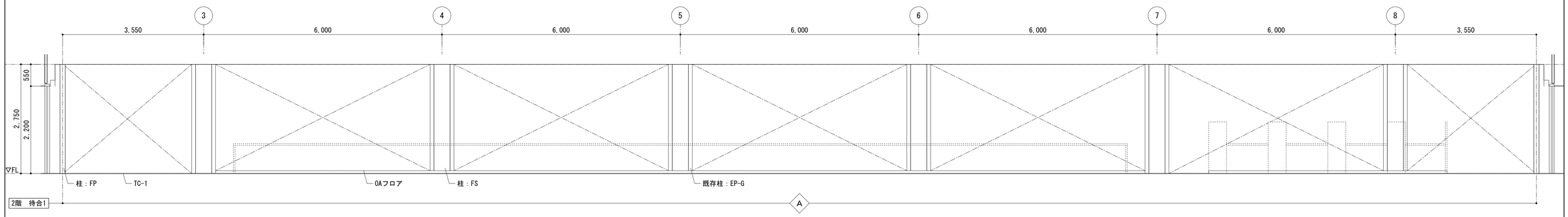


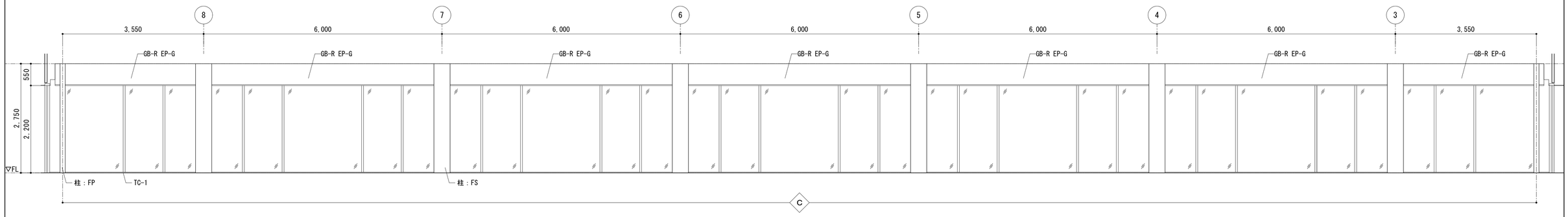


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	展開図(2)	A1　1/50 A3　1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 49

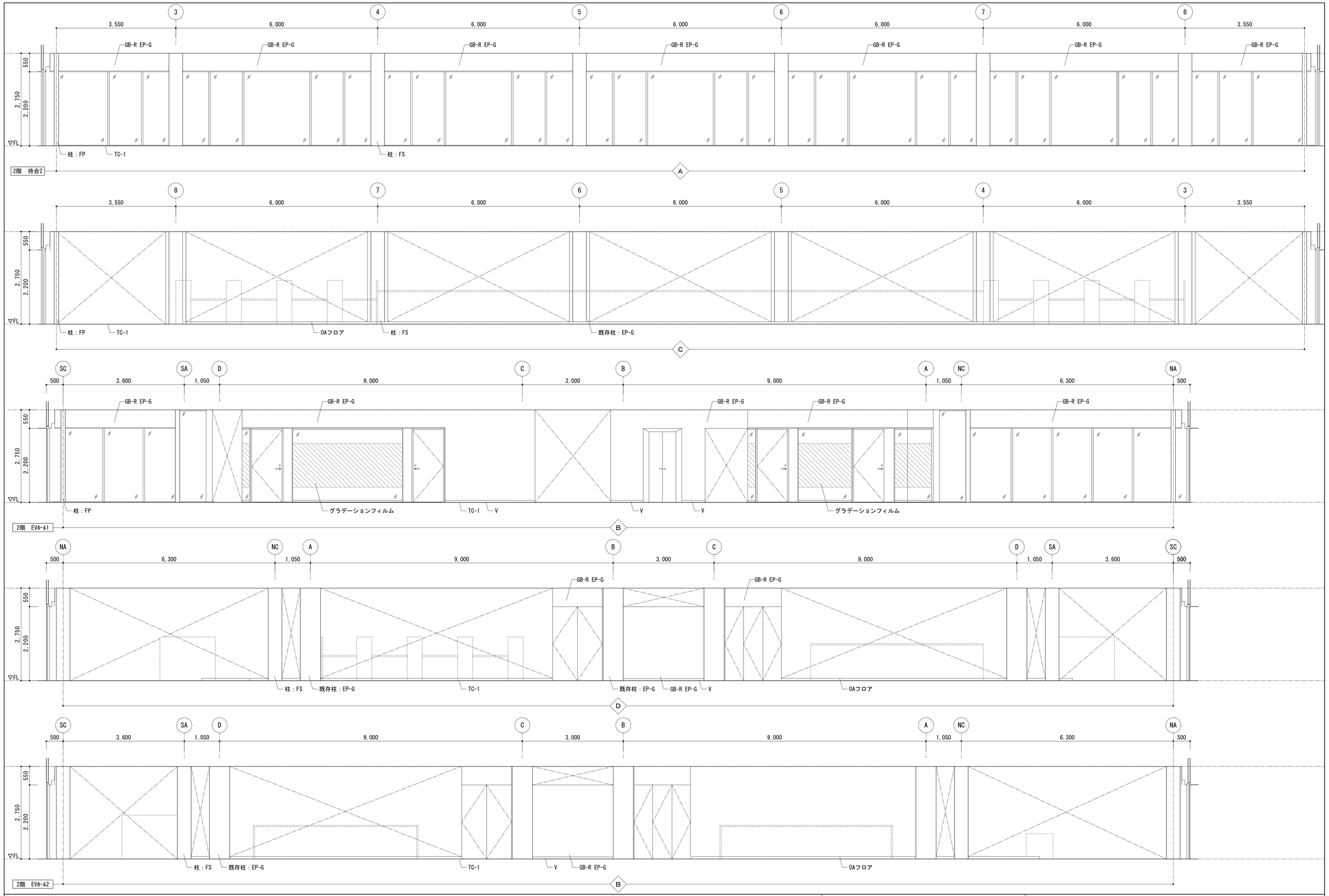




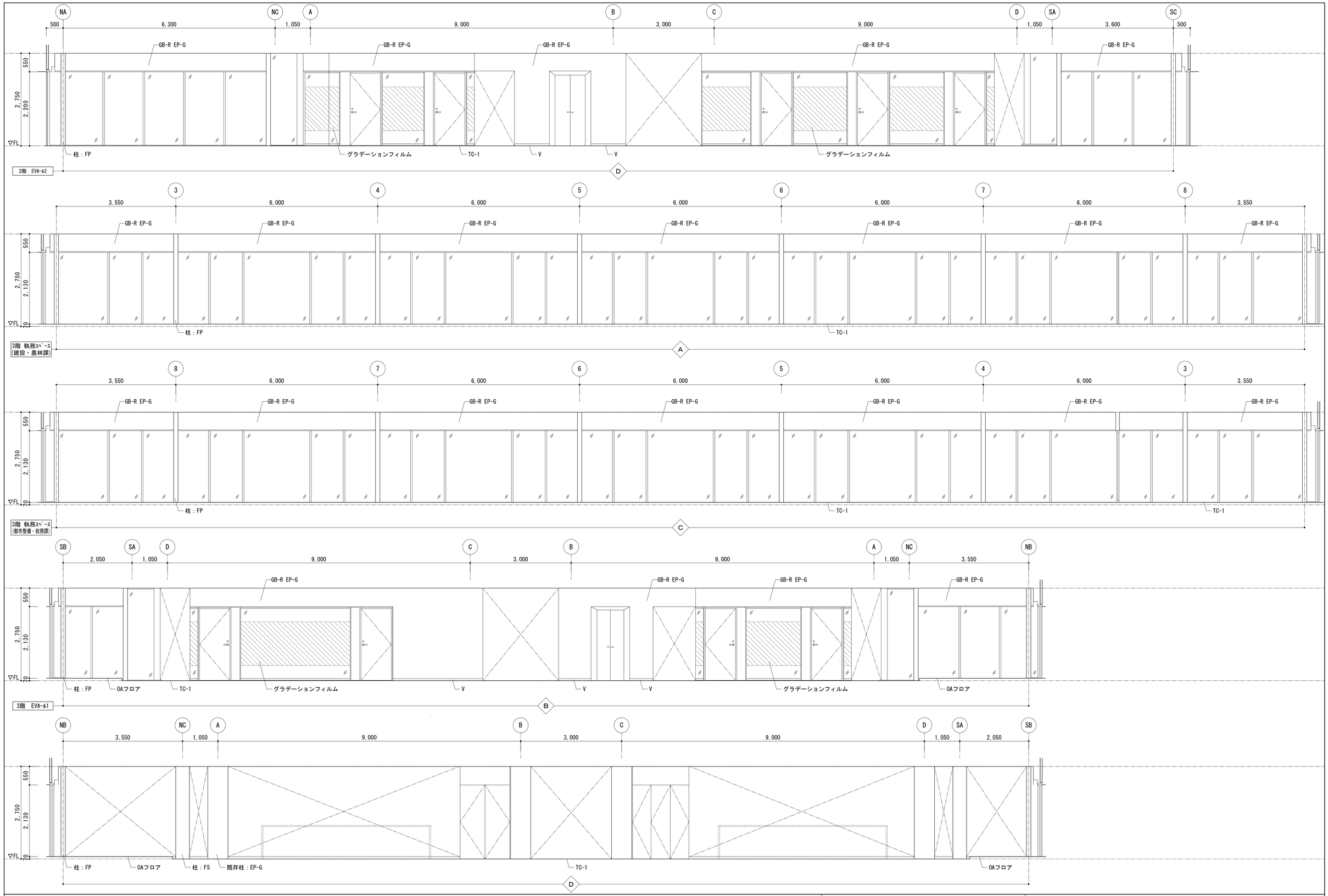




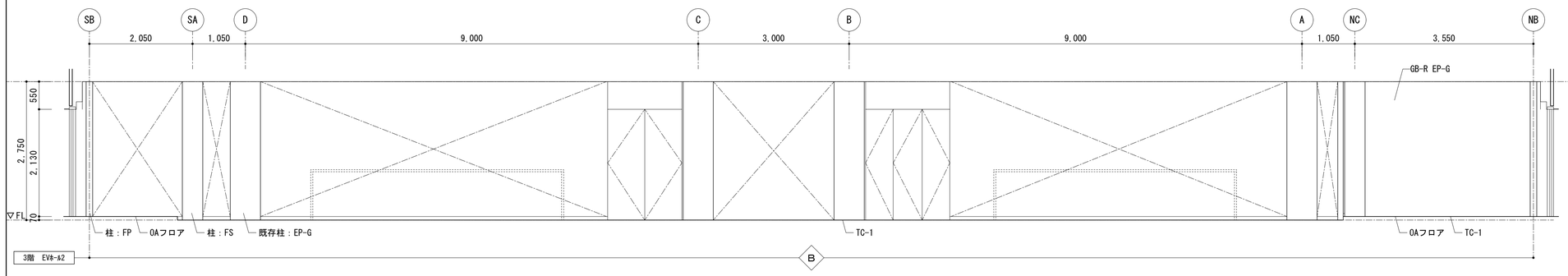
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	展開図(3)	A1 1/50 A3 1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A－ 50

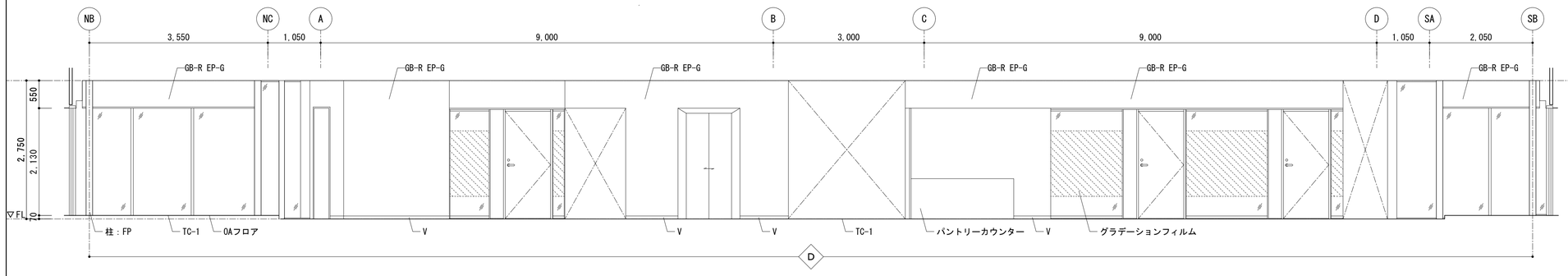


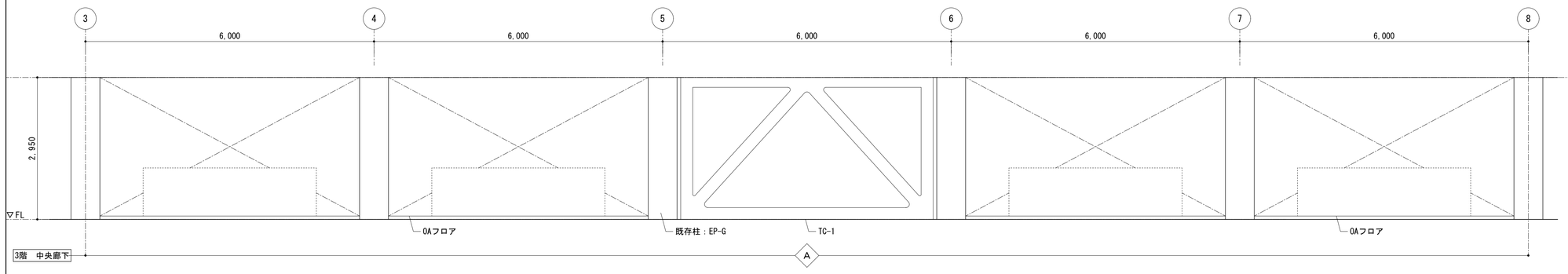
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社　みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事 展開図(4)　A1 1/50　A3 1/100 鹿児島市建設局建築部建築課	No. A － 51

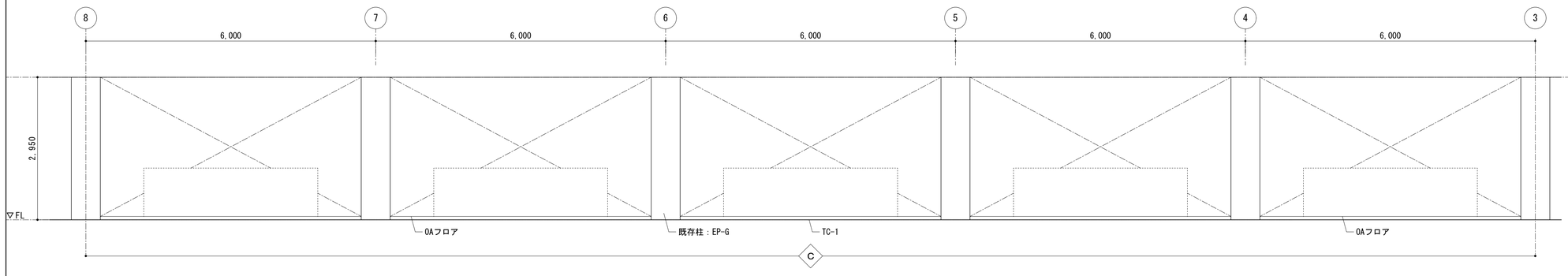


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事 展開図(5)　A1 1/50　A3 1/100 鹿児島市建設局建築部建築課	No. A－52

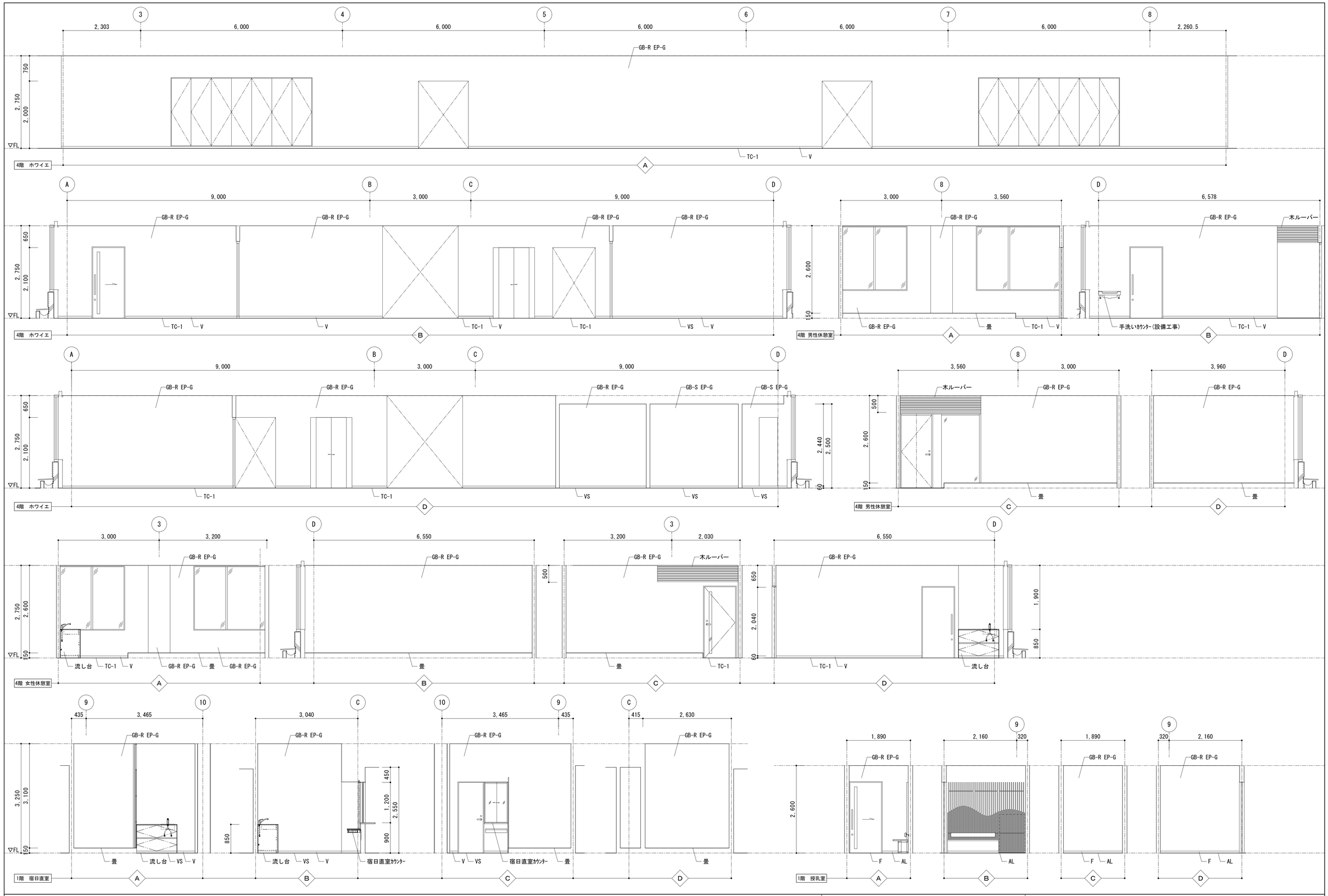






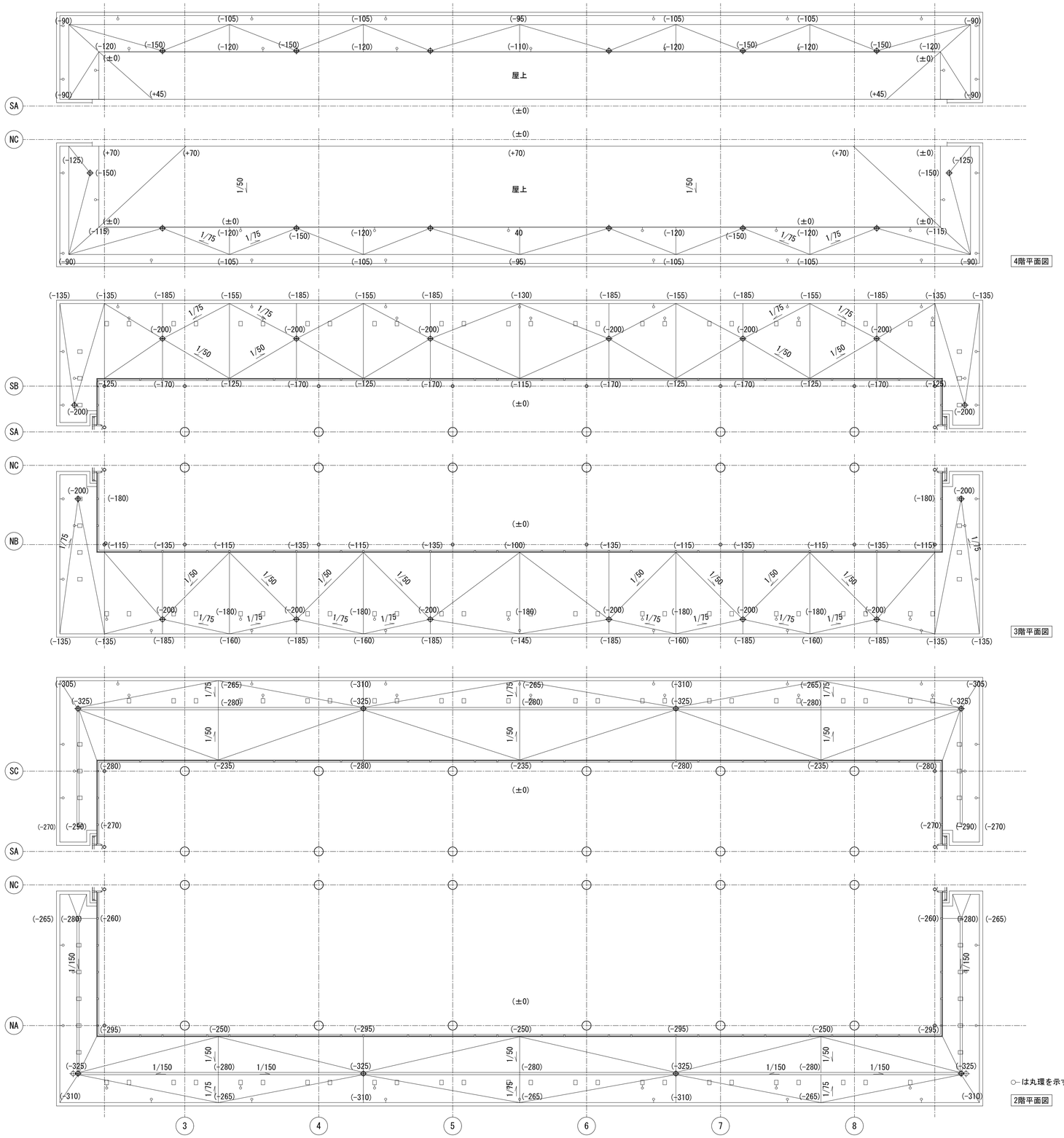


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	展開図(6)	A1　1/50 A3　1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 53

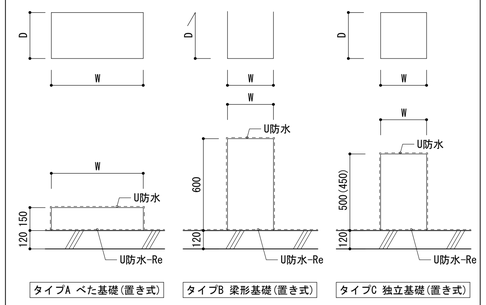


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事 展開図(7) A1 1/50 A3 1/100 鹿児島市建設局建築部建築課	No. A－ 54

テラス・屋上レベル図、丸環位置図 1/100

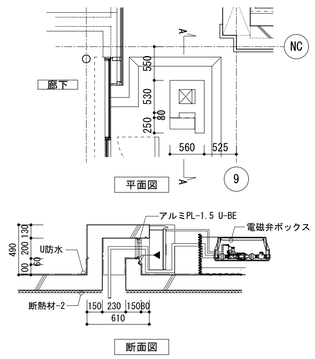


機械基礎 1/20

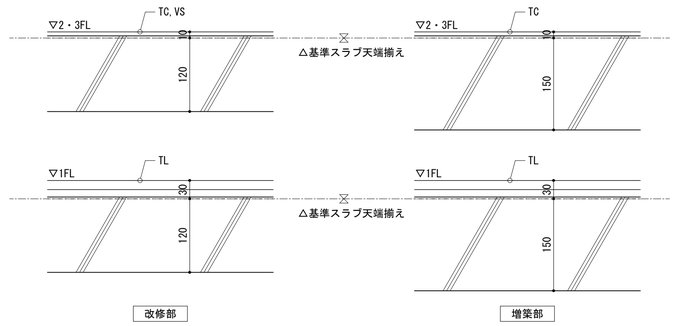


※機器と基礎の重量と配筋情報を構造設計者に提出し、確認を受ける。
※配筋は全て構造図による。
※天端はコンクリと金鏝押えとする。

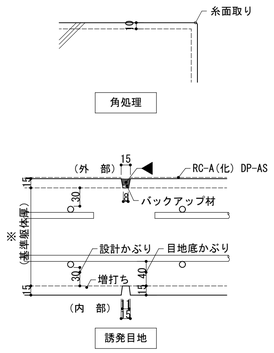
ハト小屋 1/50, 1/30



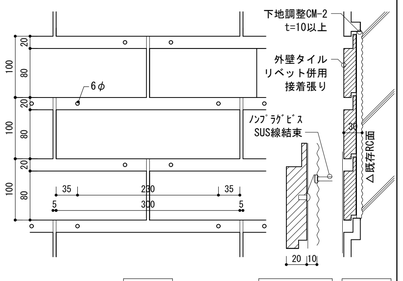
既存部・改修部のスラブレベルの考え方 1/5, 1/3



RC-A(化)の角処理・RC誘発目地 1/5

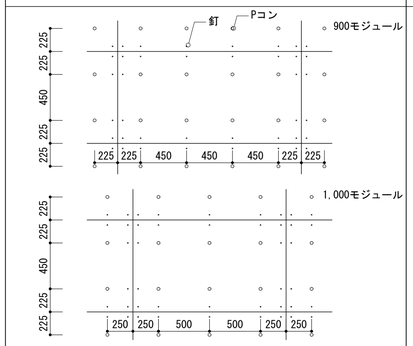


外壁タイル張替え 1/3



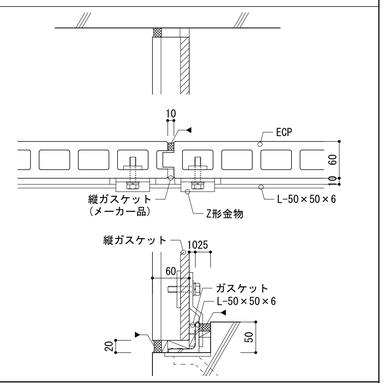
※下地調整は金ごて1回押さえとし、なし目（肌）程度の仕上がりとする。
タイルはSUS線+リベット固定までを工場製作する。
現場でノンプラグビスと結束し接着張りする。

RC-A(化)割付基準 1/30



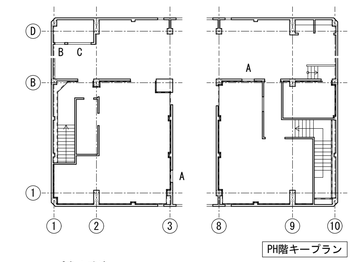
※Pコン割は全て施工図で確認し、承認後の施工とする。釘は等分位置とする。
Pコンモルタル詰めは完成時に仕上面より5mm落ちとすること。

ECP 1/5

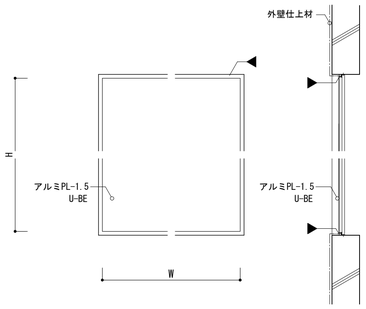


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	部分詳細図(1)	A1 図中に記載 A3 図中に記載	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 55

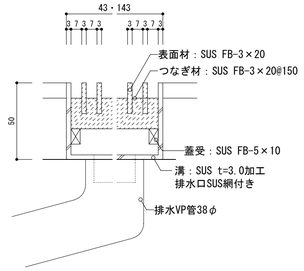
PH階アルミパネル　1/10



パネル寸法
A.1,000×1,000
B.800×2,000
C.1,900×3,050

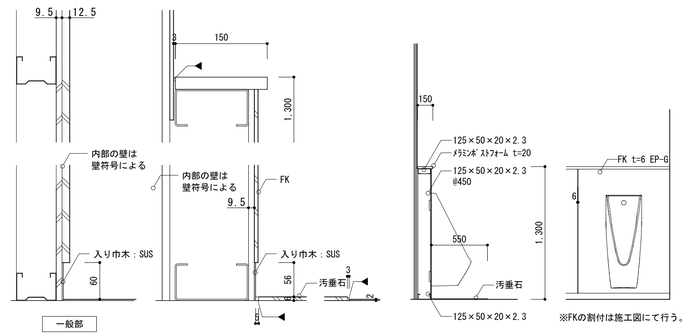


排水スリット　1/2



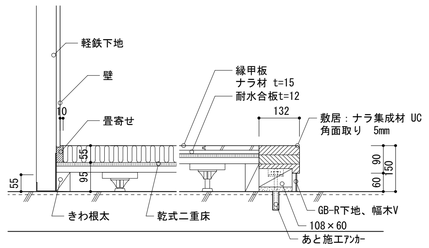
※ハッチ部分は取り外せるようにする。
北風除室 W=43、東西南風除室 W143

WC床・小便器廻り詳細図　1/5,1/30

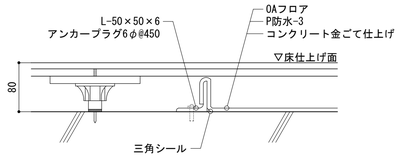


※FKの割付は施工図にて行う。

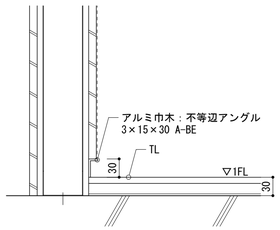
畳敷き(H150)　1/10



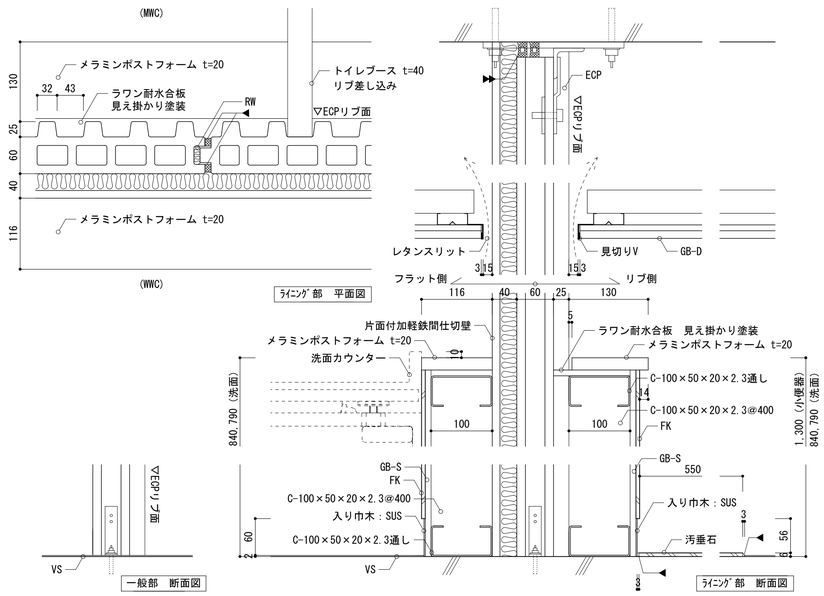
OAフロア内防水提　1/5



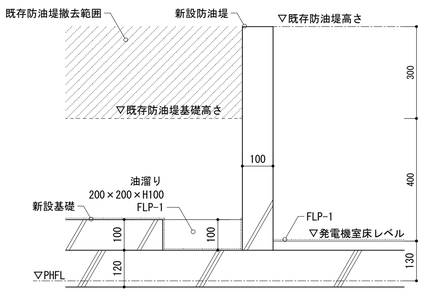
タイル　1/5



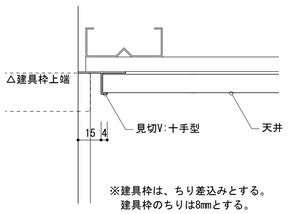
WC　床・巾木・天井見切り・ライニング・ECPとりあい　1/5



防油堤　1/10

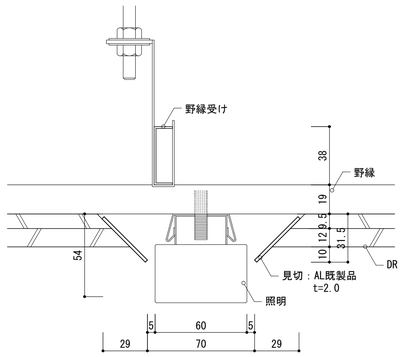


天井見切り　1/2

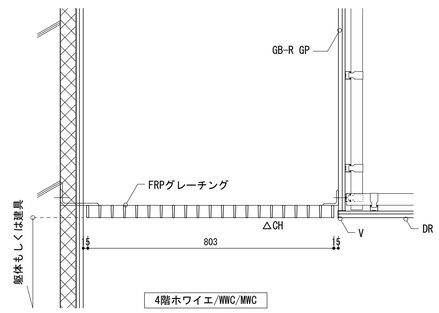


※建具枠は、ちり差込みとする。
建具枠のちりは8mmとする。

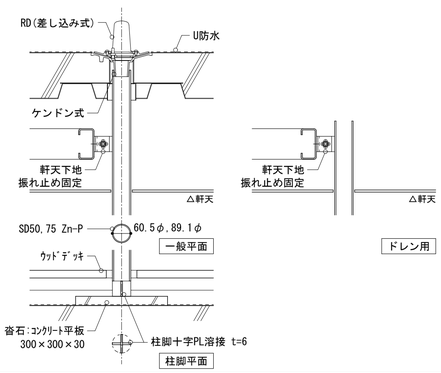
執務スペース照明見切り　1/2



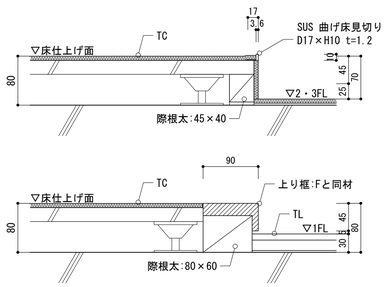
透かし天井　1/10



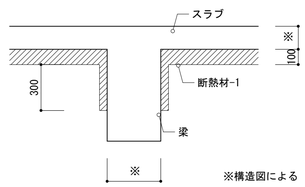
SD樋(鋼管樋)　1/10



OAフロア上り框(1階)・床見切り(2,3階)　1/5

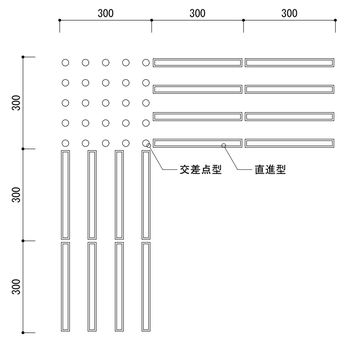


屋根断熱材範囲図　1/20



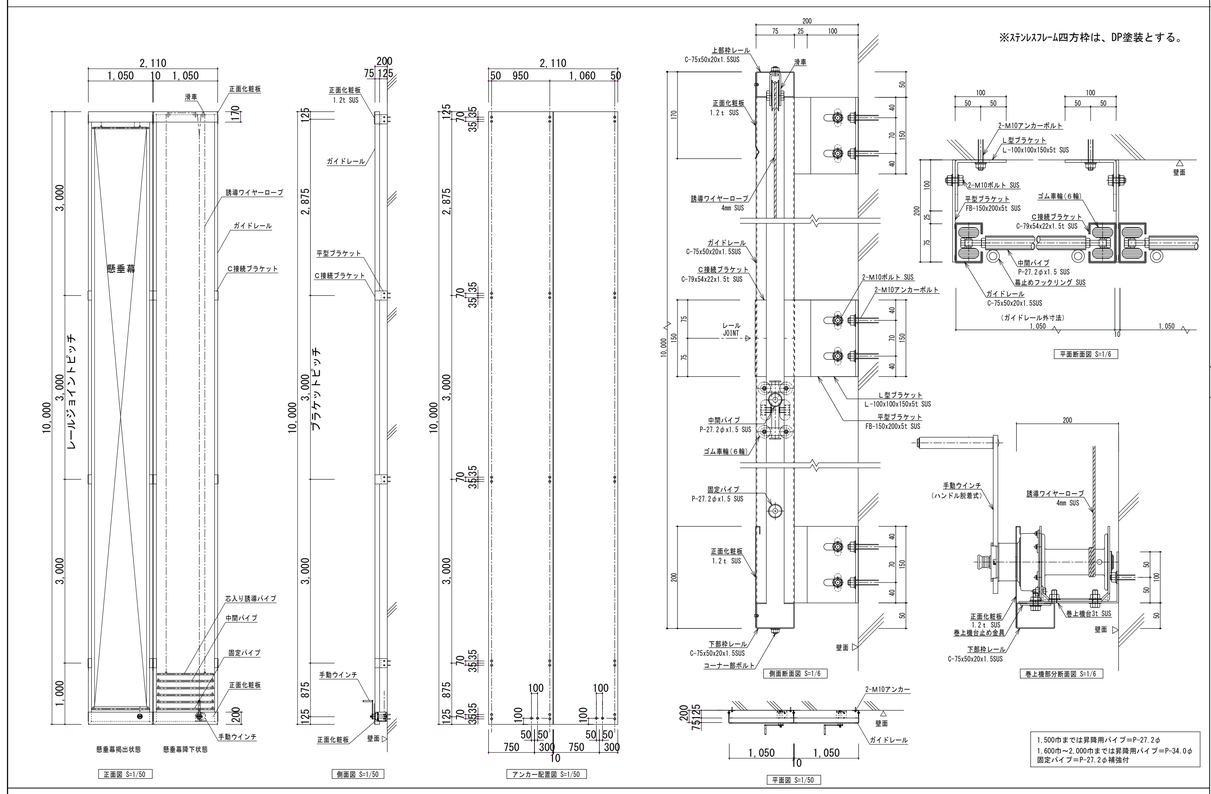
※構造図による

誘導用点字鋲・注意喚起用点字鋲　1/10

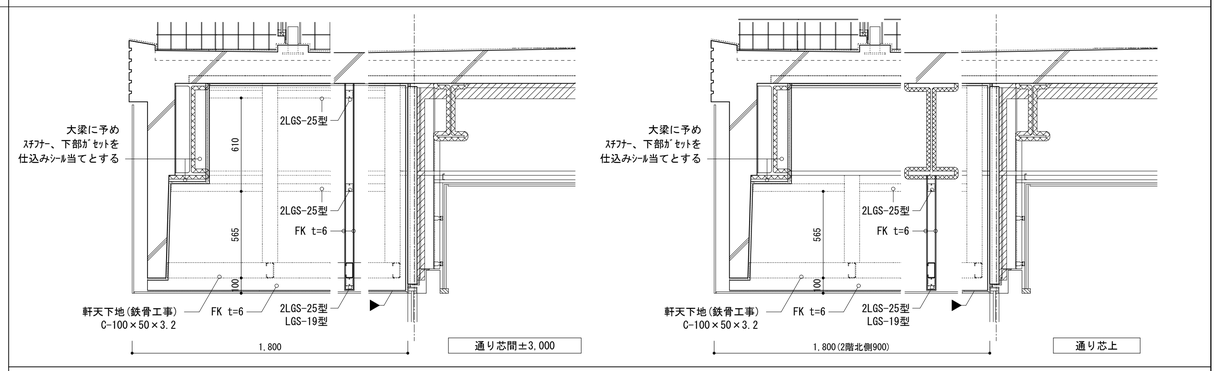


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	部分詳細図(2)	A1 図中に記載 A3 図中に記載	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A－56

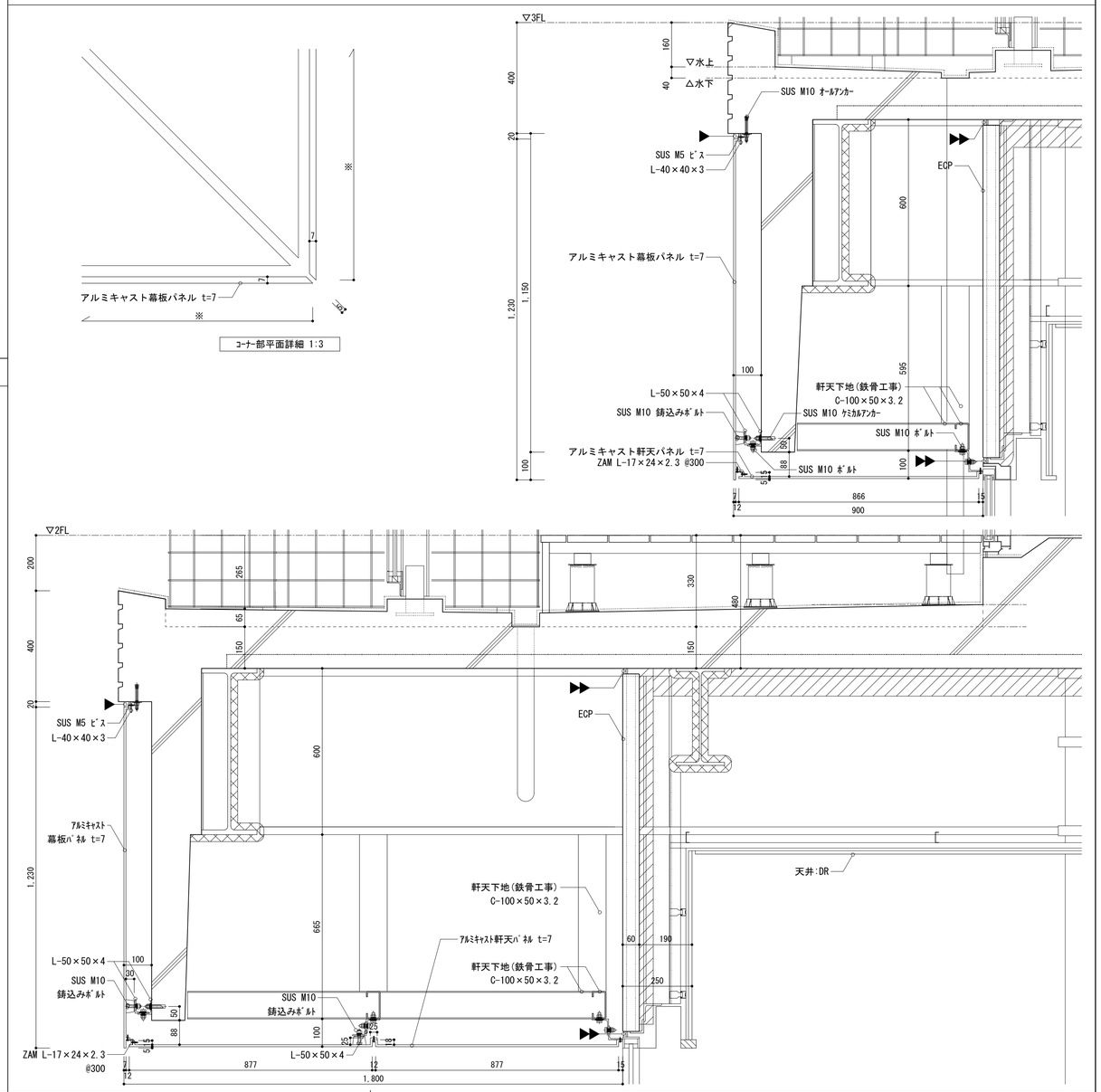
懸垂幕　1/50, 1/6



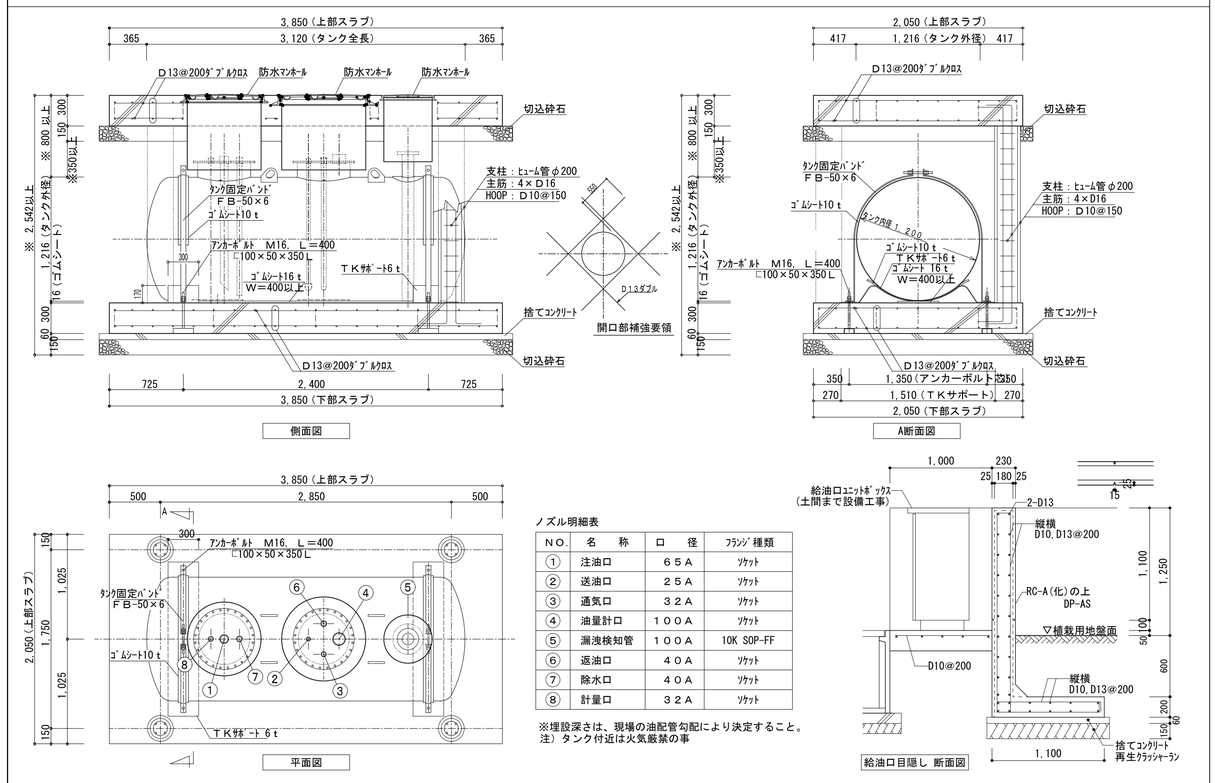
軒天間仕切　1/20



アルミパネル詳細図　1/3, 10



オイルタンク詳細図　1/30



ノズル明細表

NO.	名　称	口　径	フランジ種類
①	注油口	６５Ａ	ソケット
②	送油口	２５Ａ	ソケット
③	通気口	３２Ａ	ソケット
④	油量計口	１００Ａ	ソケット
⑤	漏洩検知管	１００Ａ	10K SOP-FF
⑥	返油口	４０Ａ	ソケット
⑦	除水口	４０Ａ	ソケット
⑧	計量口	３２Ａ	ソケット

※埋設深さは、現場の油配管勾配により決定すること。
注）タンク付近は火気厳禁の事

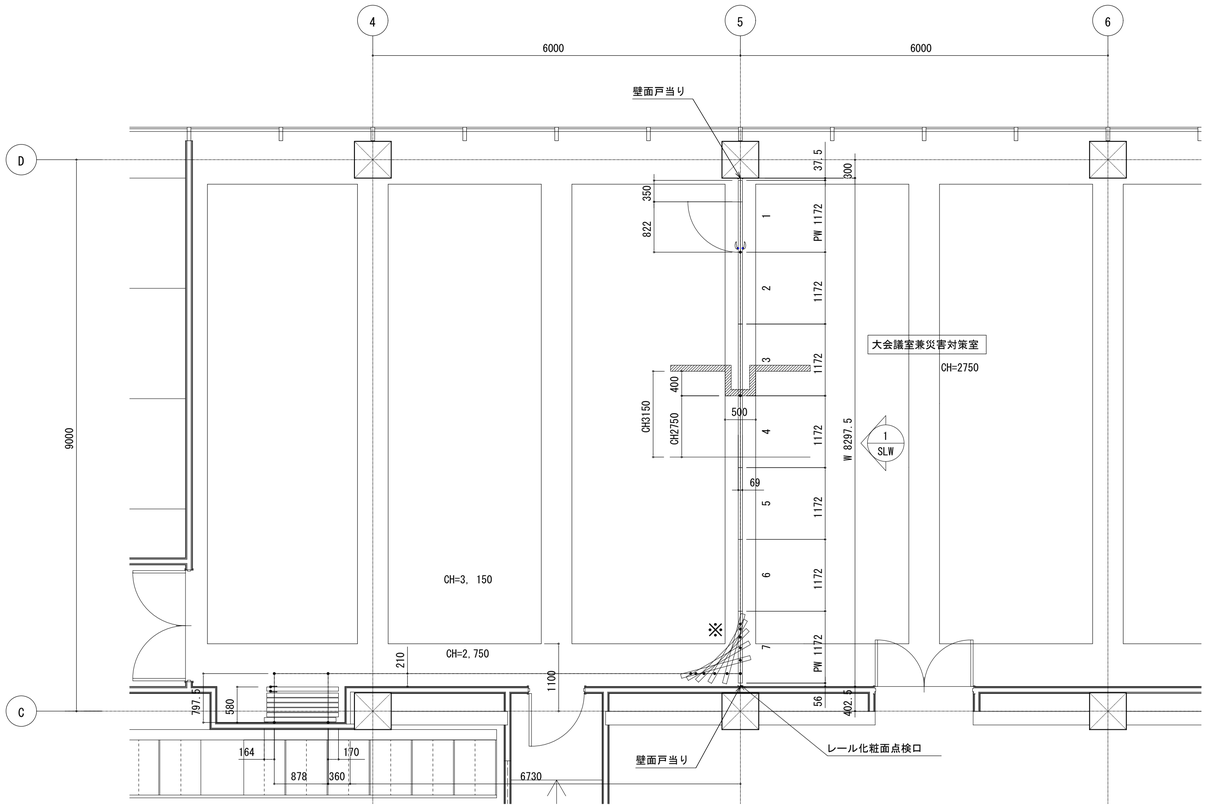
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

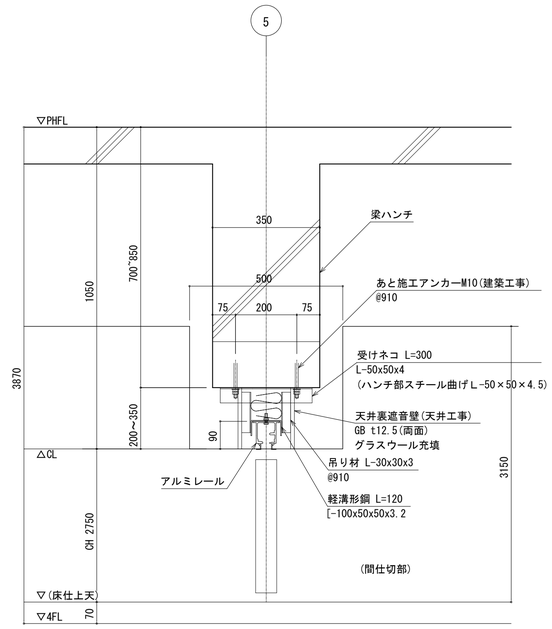
部分詳細図(3)　A1 図中に記載　A3 図中に記載

鹿児島市建設局建築部建築課

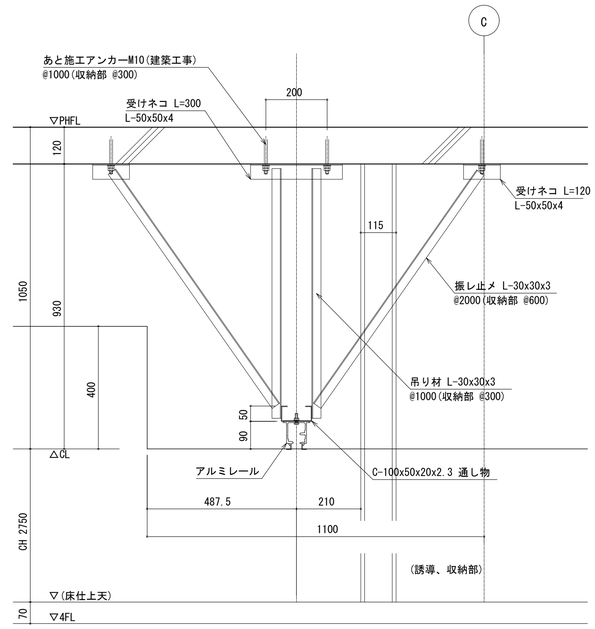
No. A－57



4 階平面図 S=1:50　※操作口取付側



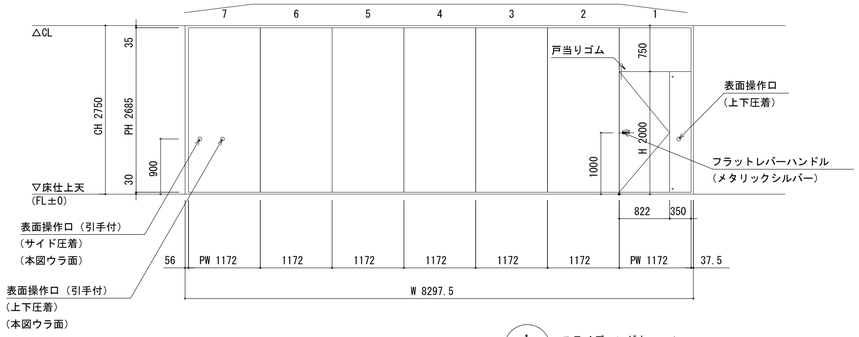
レール取付断面図 S=1:10



レール取付断面図 S=1:10

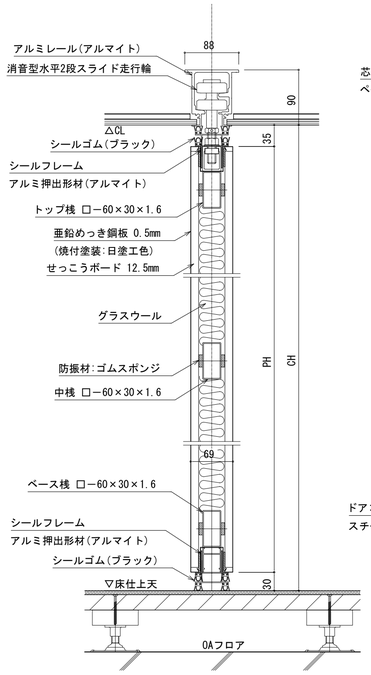
スライディングウォール 厚み69mm(LW-60D)　1/SLW

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装:日塗工色)
		下張り:せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
	パネル分離型構造(廃棄時分別可能)・・・環境対応型	

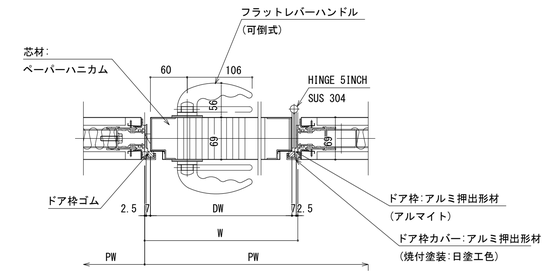


展開図 S=1:50

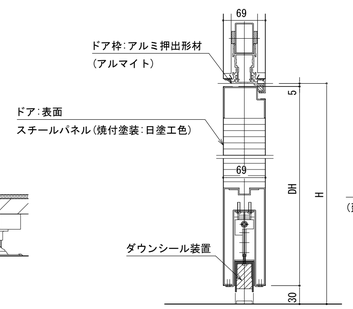
1/SLW　スライディングウォール
LW-60D　パネル重量　140 kg/枚



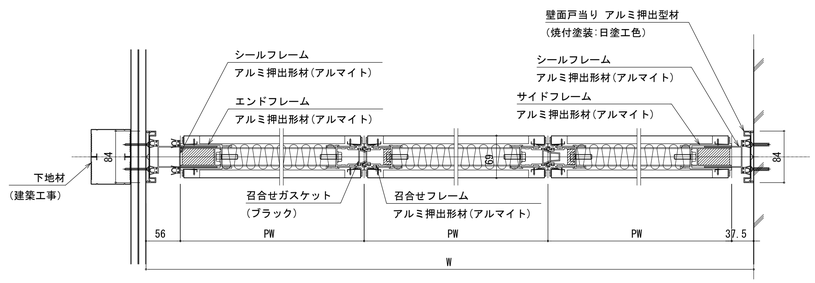
縦断面詳細図 S=1:5



ドア横断面詳細図 S=1:5



ドア縦断面詳細図 S=1:5



横断面詳細図 S=1:5

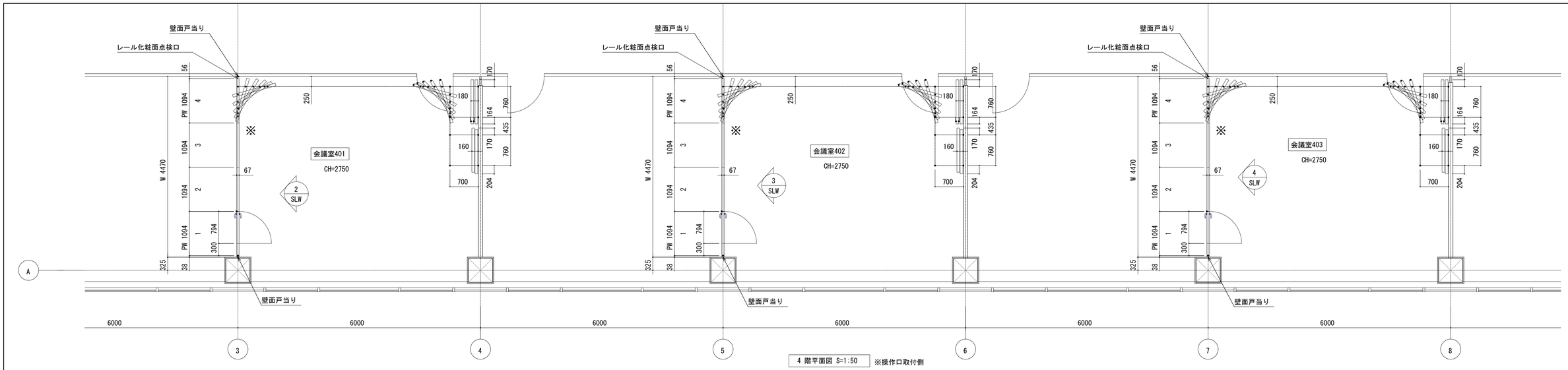
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号　蓑田 満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

部分詳細図(4)-スライディングウォール1　A1 図中に記載　A3 図中に記載

鹿児島市建設局建築部建築課

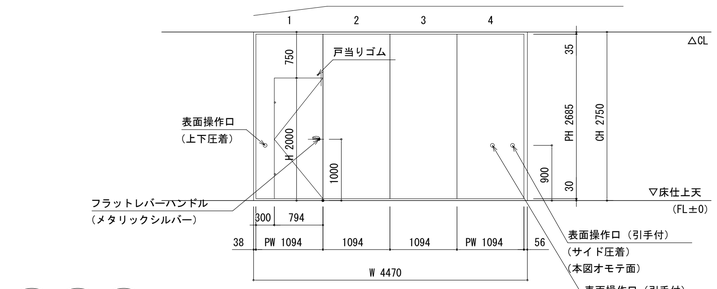
No. A - 58



4 階平面図 S=1:50　※操作口取付側

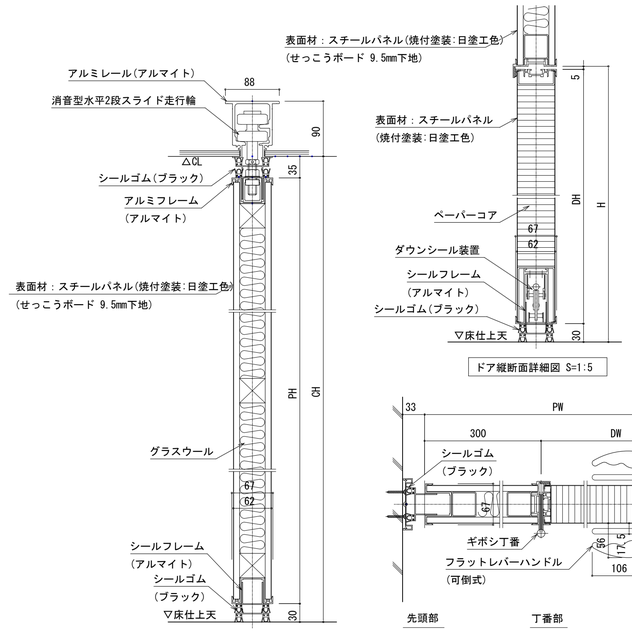
スライディングウオール 厚み67mm(LW-60GS)　2 SLW　3 SLW　4 SLW

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	消音型水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	スチールパネル(焼付塗装：日塗工色)
		下張り：せっこうボード9.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	木枠(LVL)
	フレーム	アルミ押出形材（アルマイト処理）
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式



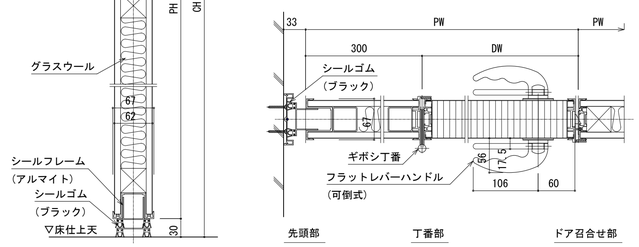
2 SLW　3 SLW　4 SLW　スライディングウォール
LW-60GS　パネル重量　120 kg/枚

展開図 S=1:50

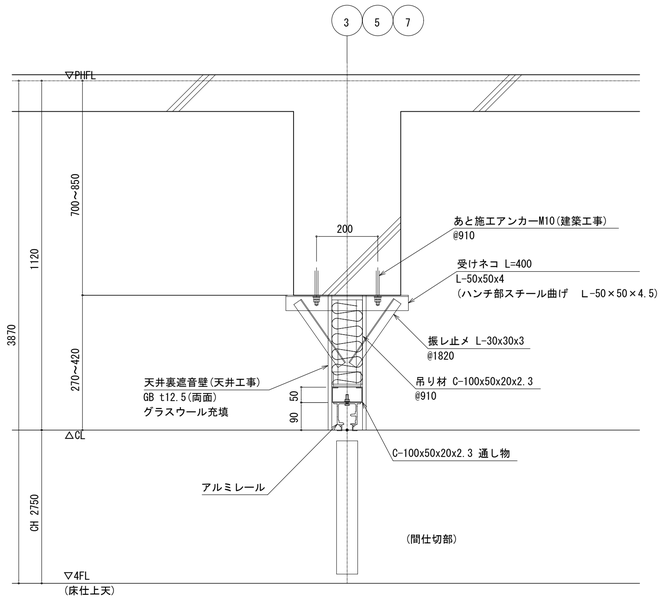


縦断面詳細図 S=1:5

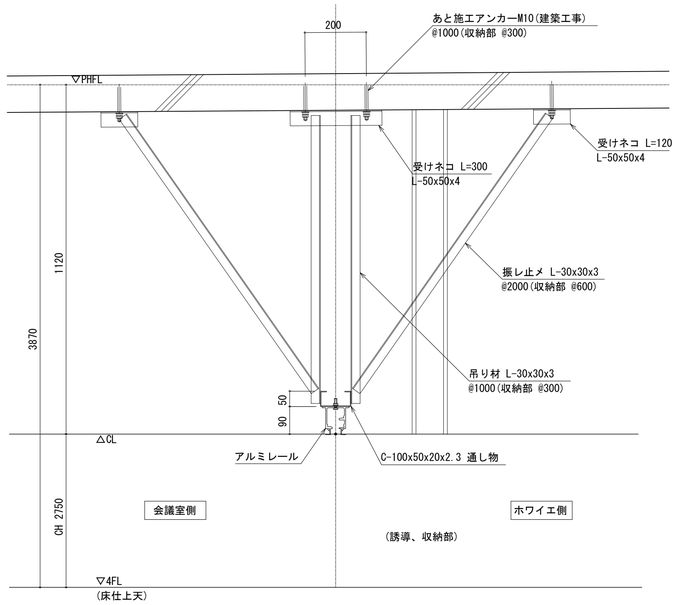
ドア縦断面詳細図 S=1:5



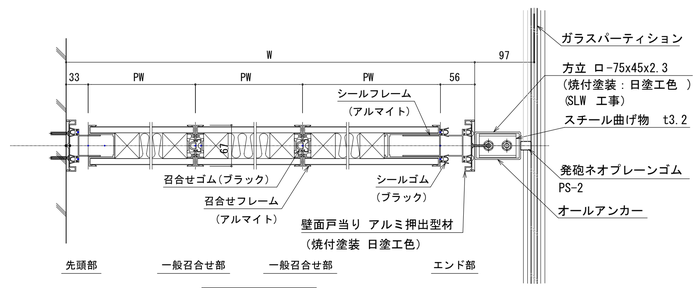
ドア横断面詳細図 S=1:5



レール取付断面図 S=1:10

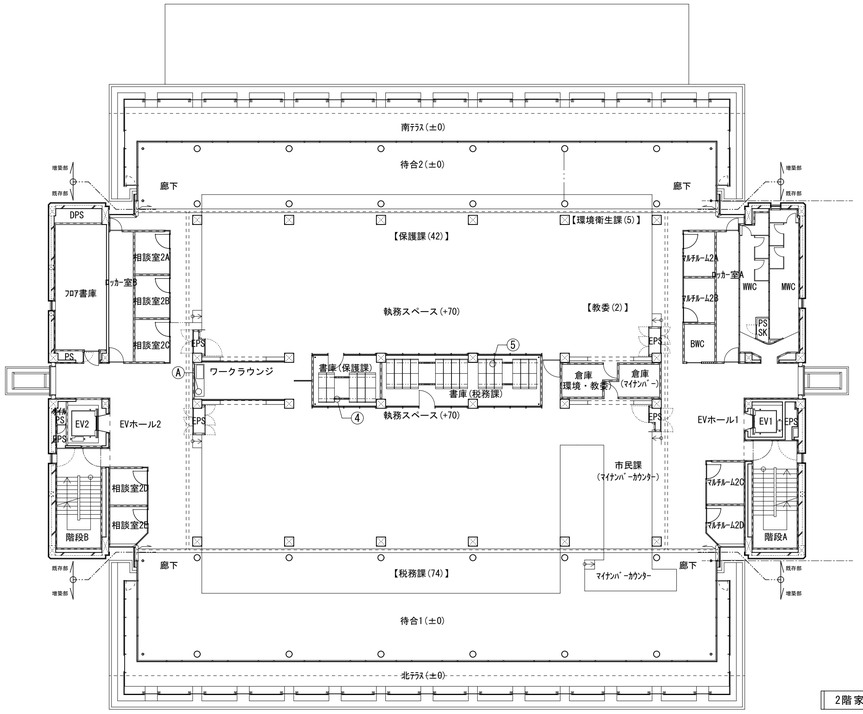


レール取付断面図 S=1:10

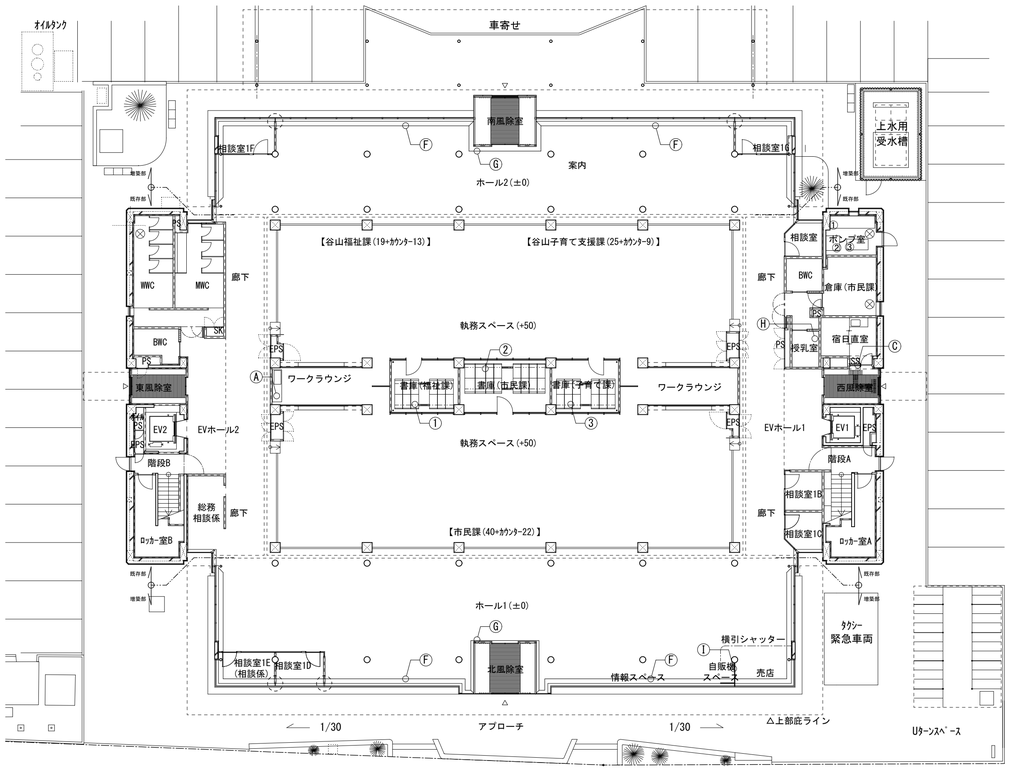


横断面詳細図 S=1:5

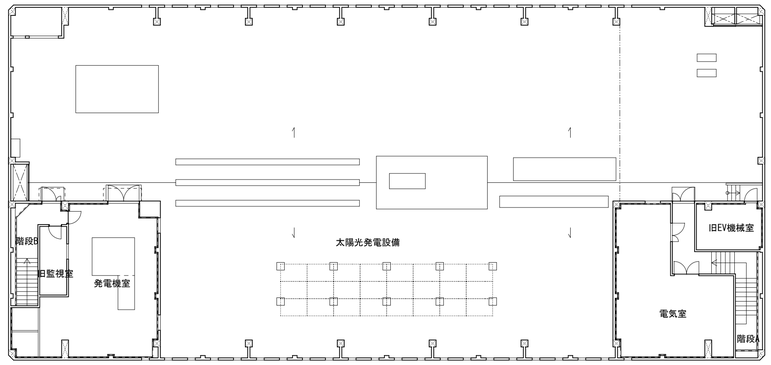
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号　蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	部分詳細図(5)-スライディングウォール2	A 1 図中に記載 A 3 図中に記載	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 59



2階家具・移動棋キープラン　1：200

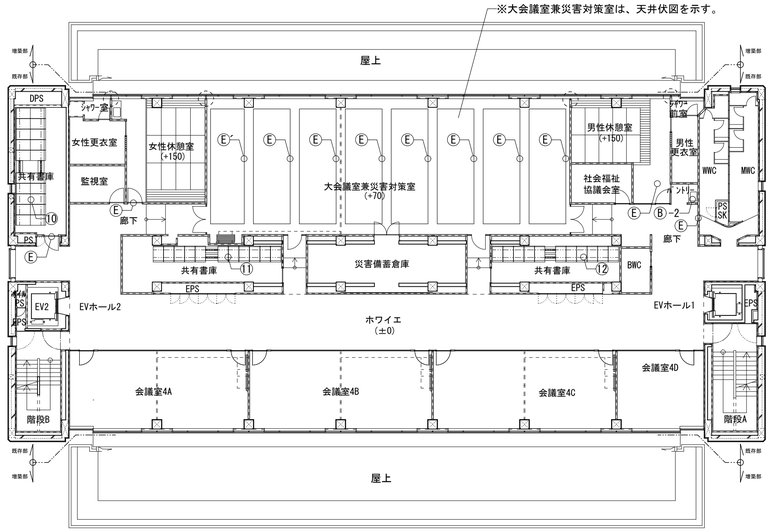


1階家具・移動棋キープラン　1：200

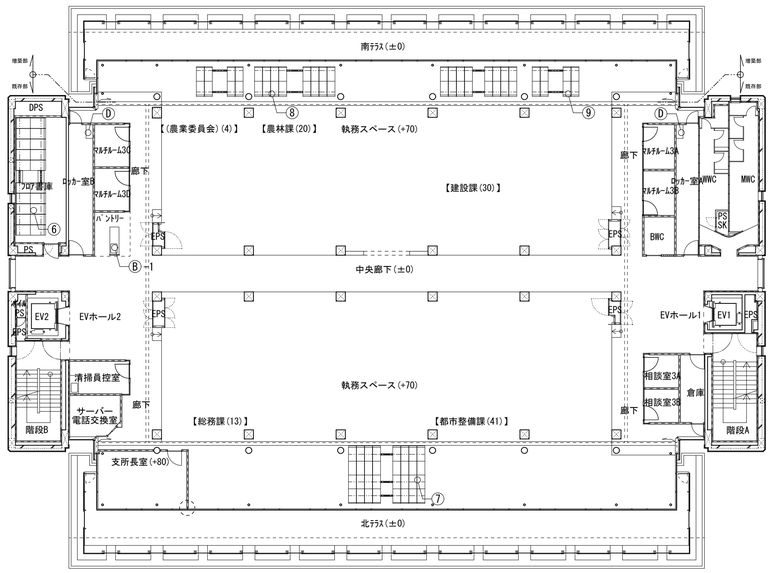


PH階家具・移動棋キープラン　1：200

※大会議室兼災害対策室は、天井伏図を示す。



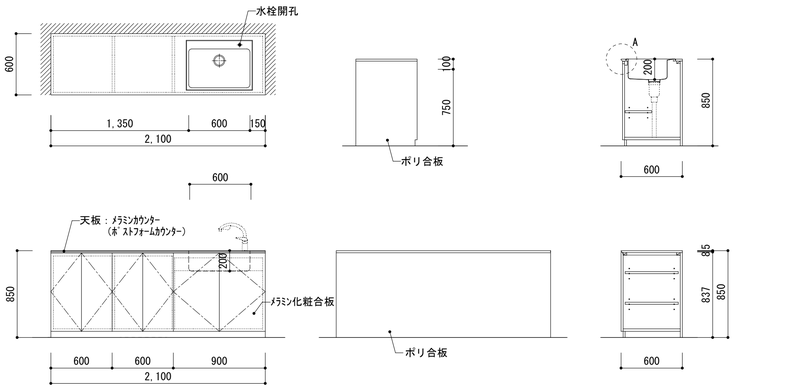
4階家具・移動棋キープラン　1：200



3階家具・移動棋キープラン　1：200

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	部分詳細図(6)-家具・移動棋キープラン	A1　1/200 A3　1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 60

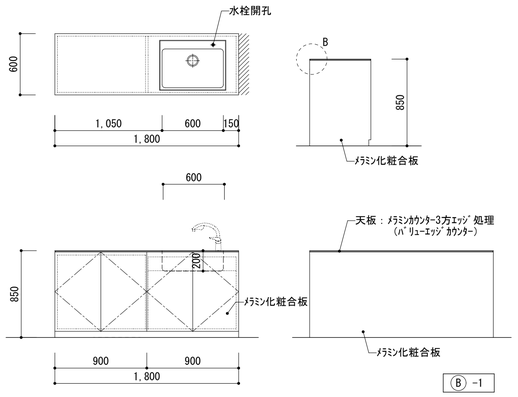
Ⓐ 1・2階　パントリーカウンター　1/30



（天板）：メラミンカウンター（ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑｶｳﾝﾀｰ）
（側板）：正面:ﾒﾗﾐﾝ化粧合板、側背面:ポリ合板
（外部）：メラミン化粧合板
（内部・可動棚）：ポリ合板

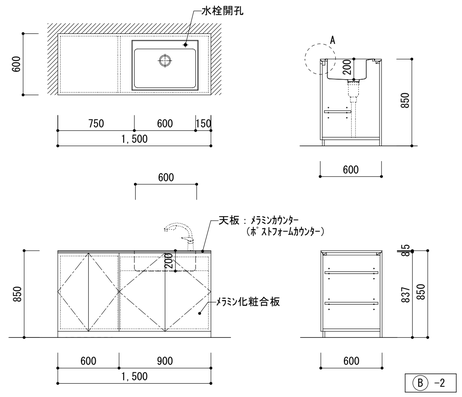
（シンク）：t1.2SUS#304（裏面：結露防止剤吹付）
（金物）：スライドレール（ソフトクローズ）、スライド丁番、マグネットキャッチ
ステンレスダボ#50、ステンレス製つまみ、掘込引手

Ⓑ-1　Ⓑ-2　3・4階　パントリーカウンター　1/30



（天板）：メラミンカウンター
（ﾊﾞﾘｭｰｴｯｼﾞｶｳﾝﾀｰ）
（側板）：メラミン化粧合板
（外部）：メラミン化粧合板
（内部・可動棚）：ポリ合板

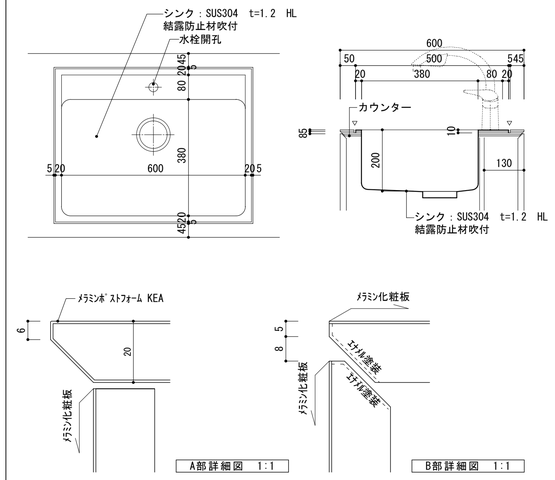
（シンク）：t1.2SUS#304（裏面：結露防止剤吹付）
（金物）：スライドレール（ソフトクローズ）
スライド丁番、マグネットキャッチ
ステンレスダボ#50、ステンレス製つまみ
掘込引手



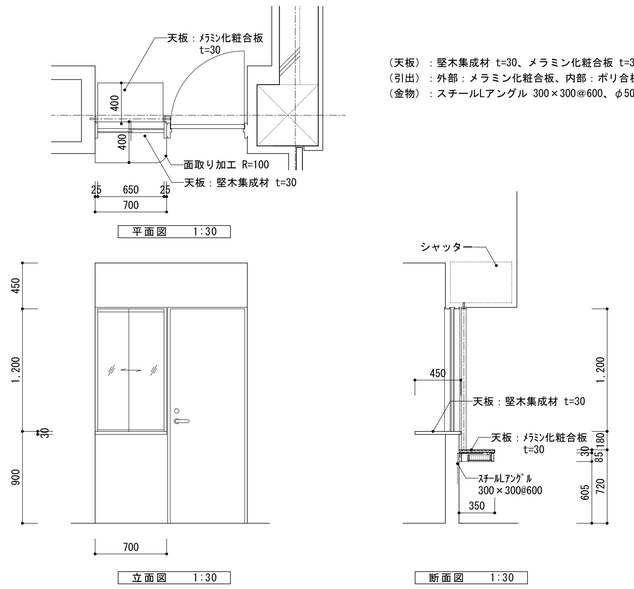
（天板）：メラミンカウンター（ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑｶｳﾝﾀｰ）
（側板）：正面:ﾒﾗﾐﾝ化粧合板、側背面:ポリ合板
（外部）：ポリ合板
（内部・可動棚）：ポリ合板

（シンク）：t1.2SUS#304（裏面：結露防止剤吹付）
（金物）：スライドレール（ソフトクローズ）
スライド丁番、マグネットキャッチ
ステンレスダボ#50、ステンレス製つまみ
掘込引手

Ⓐ Ⓑ-1 Ⓑ-2　シンク・A部詳細図　1/1,1/10

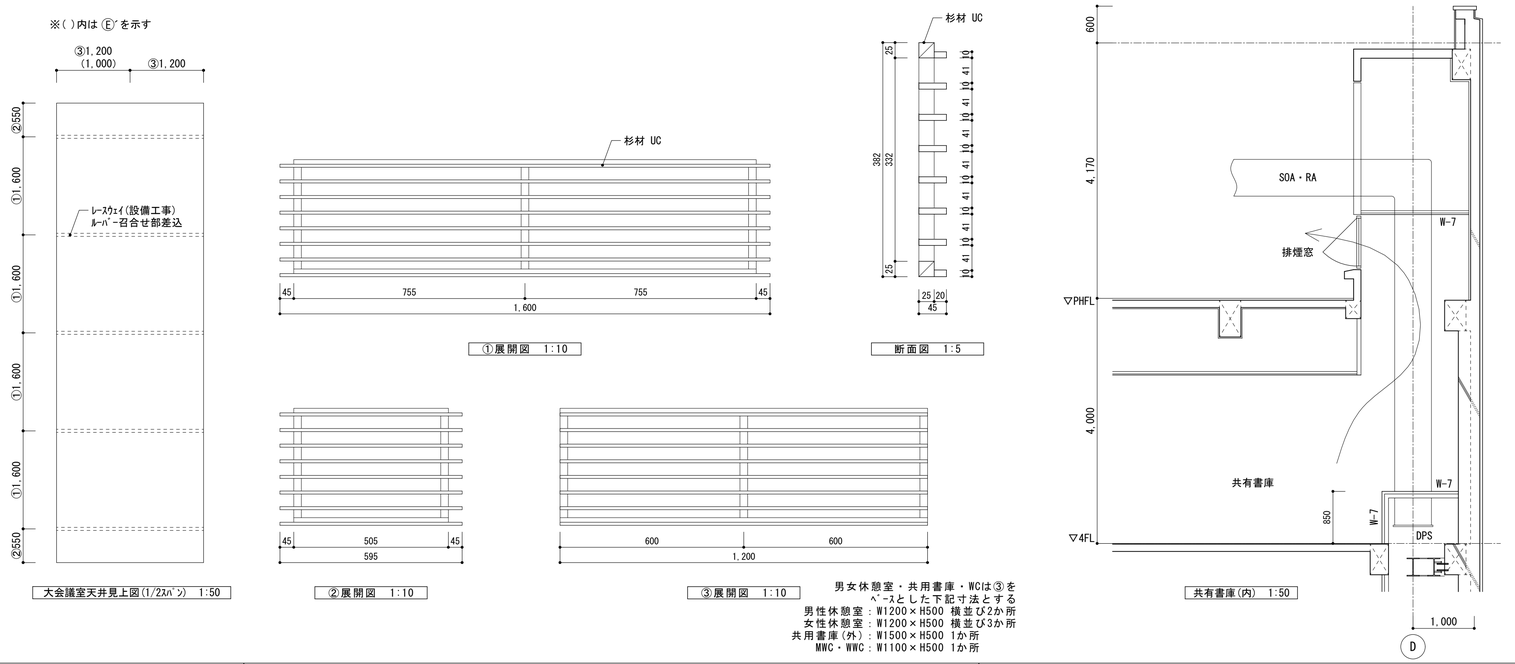


Ⓒ 宿日直室カウンター　1/30



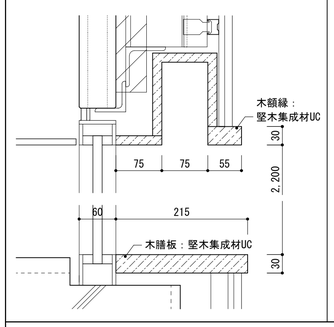
（天板）：堅木集成材 t=30、メラミン化粧合板 t=30（ランバーコア下地）
（引出）：外部：メラミン化粧合板、内部：ポリ合板
（金物）：スチールLアングル 300×300@600、φ50配線用開口(キャップ付)

Ⓔ 木ルーバー（4階：大会議室・男女休憩室・共有書庫・WC）　1/5,1/10,1/50

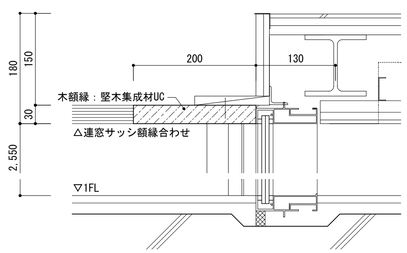


男女休憩室・共用書庫・WCは③を
ﾍﾞｰｽとした下記寸法とする
男性休憩室：W1200×H500 横並び2か所
女性休憩室：W1200×H500 横並び3か所
共用書庫(外)：W1500×H500 1か所
MWC・WWC：W1100×H500 1か所

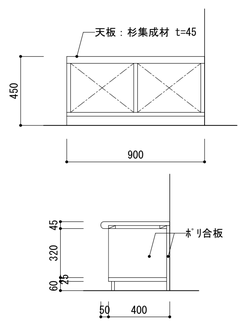
Ⓕ 1階　木腰板・木額縁　1/5



Ⓖ 1階　木額縁　1/5

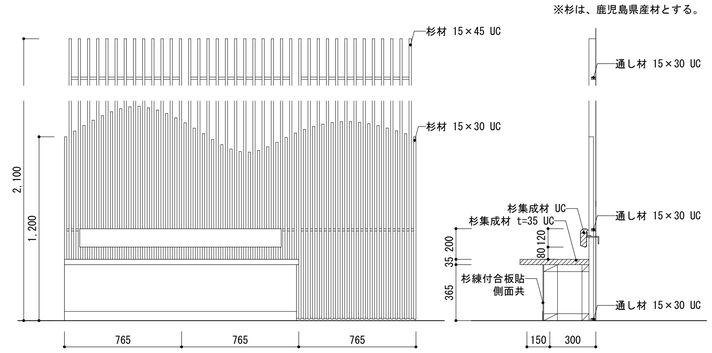


Ⓓ ベンチ　1/20

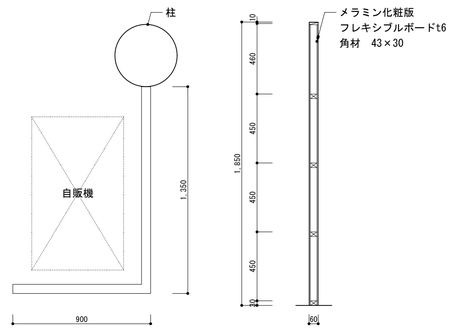


Ⓗ 授乳室　木ルーバーベンチ　1/20

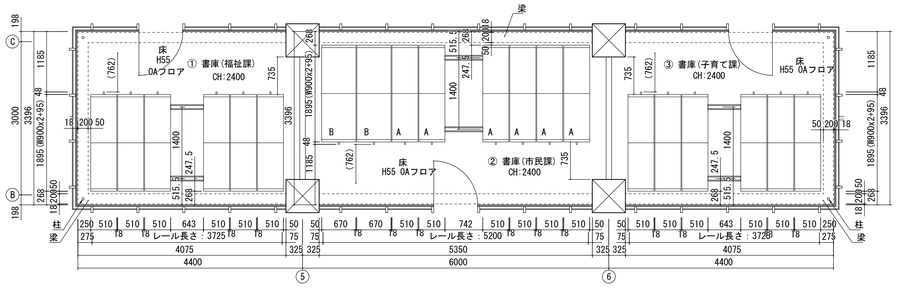
※杉は、鹿児島県産材とする。



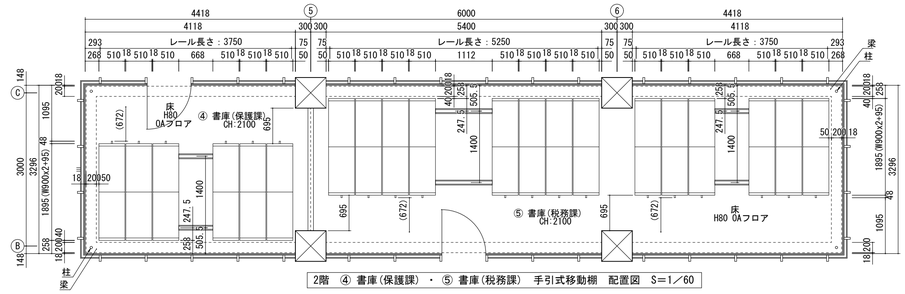
Ⓘ 自販機バックパネル　1/20



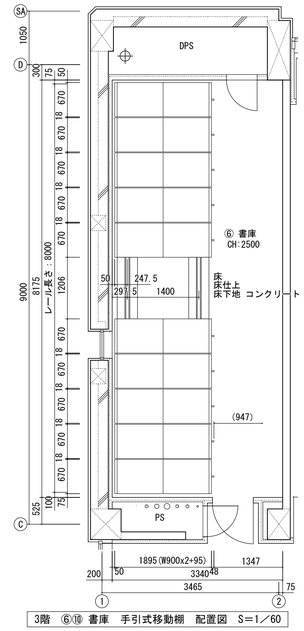
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事 部分詳細図(7)-家具図　A1 図中に記載　A3 図中に記載 鹿児島市建設局建築部建築課	No. A－ 61



1階 ① 書庫(福祉課)・② 書庫(市民課)・③ 書庫（子育て課） 手引式移動棚 配置図 S=1／60



2階 ④ 書庫(保護課)・⑤ 書庫(税務課) 手引式移動棚 配置図 S=1／60



3階 ⑥⑩ 書庫 手引式移動棚 配置図 S=1／60

1階 ① 書庫(福祉課)③ 書庫(子育て課) 手引式移動棚

型　式	台　数	延 連 数	延 段 数	ﾌｧｲﾙﾒｰﾀｰ
可動複式 2連 有効6段	6 台	24 連	144 段	124.56m

収容物：書類
ファイルメーター W900:0.865m／段

1階 ① 書庫(福祉課)③ 書庫(子育て課) 荷重資料

積載条件	W900 ～ 40 kg／段	(392 N／段)
総重量	6,960 kg	(68,300 N)
占有面積	8.66 ㎡	
積載荷重	804 kg／㎡	(7,880 N／㎡)
レール反力	1,095 kg／m	(10,740 N／m)

※レール反力：レール１m当りに掛かる最大荷重

1階 ② 書庫(市民課) 手引式移動棚

記号	型　式	台　数	延 連 数	延 段 数	ﾌｧｲﾙﾒｰﾀｰ
A	可動複式 2連 有効6段	6 台	24 連	144 段	124.56m
B	可動複式 2連 有効6段	2 台	8 連	48 段	41.52 m
合　計		8 台	32 連	192 段	166.08m

収容物：書類
ファイルメーター W900:0.865m／段

1階 ② 書庫(市民課) 荷重資料

積載条件	W900 ～ 40 kg／段	(392 N／段)
総重量	9,340 kg	(91,600 N)
占有面積	12.05 ㎡	
積載荷重	776 kg／㎡	(7,610 N／㎡)
レール反力	1,095 kg／m	(10,740 N／m)

※レール反力：レール１m当りに掛かる最大荷重

2階 ④ 書庫(保護課) 手引式移動棚

型　式	台　数	延 連 数	延 段 数	ﾌｧｲﾙﾒｰﾀｰ
可動複式 2連 有効5段	6 台	24 連	120 段	103.8 m

収容物：書類
ファイルメーター W900:0.865m／段

2階 ④ 書庫(保護課) 荷重資料

積載条件	W900 ～ 40 kg／段	(392 N／段)
総重量	5,880 kg	(57,700 N)
占有面積	8.73 ㎡	
積載荷重	674 kg／㎡	(6,610 N／㎡)
レール反力	925 kg／m	(9,070 N／m)

※レール反力：レール１m当りに掛かる最大荷重

2階 ⑤ 書庫(税務課) 手引式移動棚

型　式	台　数	延 連 数	延 段 数	ﾌｧｲﾙﾒｰﾀｰ
可動複式 2連 有効5段	14 台	56 連	280 段	242.2 m

収容物：書類
ファイルメーター W900:0.865m／段

2階 ⑤ 書庫(税務課) 荷重資料 ： 8台 ブロック

積載条件	W900 ～ 40 kg／段	(392 N／段)
総重量	7,840 kg	(76,900 N)
占有面積	11.92 ㎡	
積載荷重	658 kg／㎡	(6,450 N／㎡)
レール反力	925 kg／m	(9,070 N／m)

※レール反力：レール１m当りに掛かる最大荷重

3階 ⑥⑩ 書庫 手引式移動棚

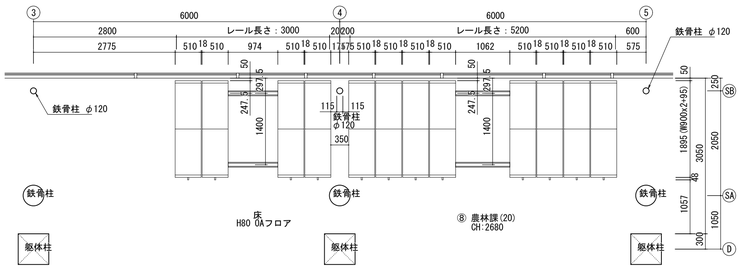
型　式	台　数	延 連 数	延 段 数	ﾌｧｲﾙﾒｰﾀｰ
可動複式 2連 有効6段	10 台	40 連	240 段	207.6 m

収容物：書類
ファイルメーター W900:0.865m／段

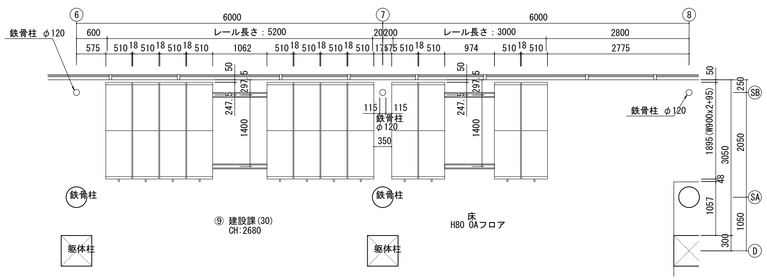
3階 ⑥⑩ 書庫 荷重資料

積載条件	W900 ～ 40 kg／段	(392 N／段)
総重量	11,900 kg	(116,700 N)
占有面積	18.03 ㎡	
積載荷重	661 kg／㎡	(6,480 N／㎡)
レール反力	863 kg／m	(8,460 N／m)

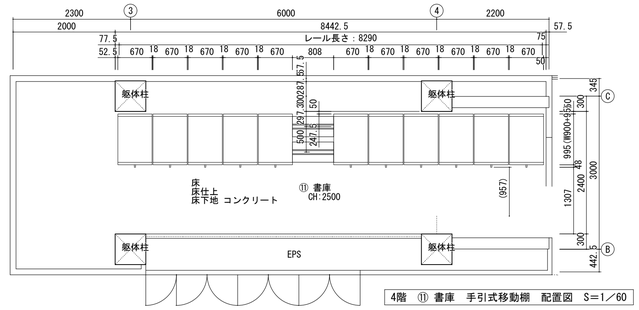
※レール反力：レール１m当りに掛かる最大荷重



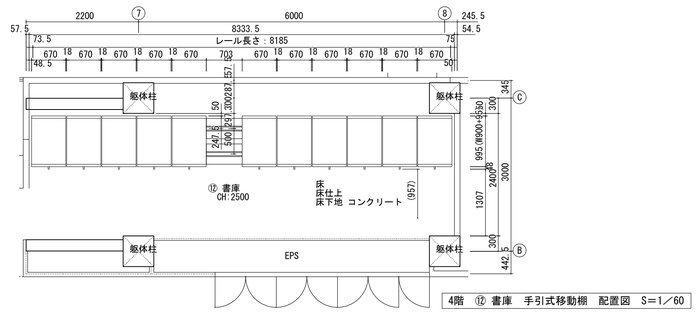
3階 ⑧ 農林課(20) 手引式移動棚 配置図 S=1／60



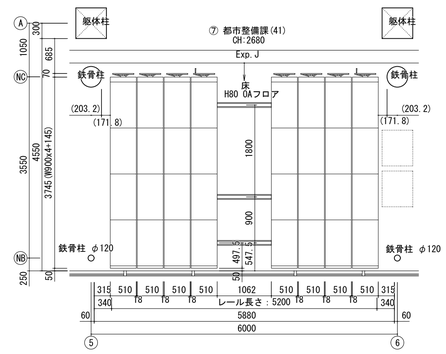
3階 ⑨ 建設課(30) 手引式移動棚 配置図 S=1／60



4階 ⑪ 書庫 手引式移動棚 配置図 S=1／60



4階 ⑫ 書庫 手引式移動棚 配置図 S=1／60



3階 ⑦ 都市整備課(41) 丸ハンドル式移動棚 配置図 S=1／60

3階 ⑧ 農林課(20)⑨ 建設課(30) 手引式移動棚

型　式	台　数	延 連 数	延 段 数	ﾌｧｲﾙﾒｰﾀｰ
可動複式 2連 有効6段	12 台	48 連	288 段	249.12m

収容物：書類
ファイルメーター W900:0.865m／段

3階 ⑧ 農林課(20)⑨ 建設課(30) 荷重資料 ： 8台 ブロック

積載条件	W900 ～ 40 kg／段	(392 N／段)
総重量	9,280 kg	(91,000 N)
占有面積	11.92 ㎡	
積載荷重	779 kg／㎡	(7,640 N／㎡)
レール反力	1,095 kg／m	(10,740 N／m)

※レール反力：レール１m当りに掛かる最大荷重

4階 ⑪⑫ 書庫 手引式移動棚

型　式	台　数	延 連 数	延 段 数	ﾌｧｲﾙﾒｰﾀｰ
可動複式 1連 有効6段	11 台	22 連	132 段	114.18m

収容物：書類
ファイルメーター W900:0.865m／段

4階 ⑪⑫ 書庫 荷重資料

積載条件	W900 ～ 40 kg／段	(392 N／段)
総重量	7,020 kg	(68,800 N)
占有面積	11.66 ㎡	
積載荷重	603 kg／㎡	(5,910 N／㎡)
レール反力	463 kg／m	(4,540 N／m)

※レール反力：レール１m当りに掛かる最大荷重

3階 ⑦ 都市整備課(41) 丸ハンドル式移動棚

型　式	台　数	延 連 数	延 段 数	ﾌｧｲﾙﾒｰﾀｰ
可動複式 4連 有効6段	8 台	64 連	384 段	332.16 m

収容物：書類
ファイルメーター W900:0.865m／段

3階 ⑦ 都市整備課(41) 荷重資料

積載条件	W900 ～ 40 kg／段	(392 N／段)
総重量	18,320 kg	(179,600 N)
占有面積	21.26 ㎡	
積載荷重	862 kg／㎡	(8,450 N／㎡)
レール反力	1,621 kg／m	(15,890 N／m)

※レール反力：レール１m当りに掛かる最大荷重

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号　　蓑田 満康

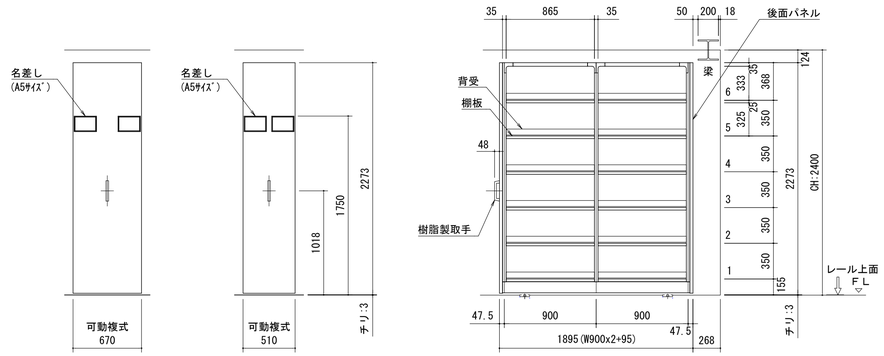
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

部分詳細図(8)-移動棚1

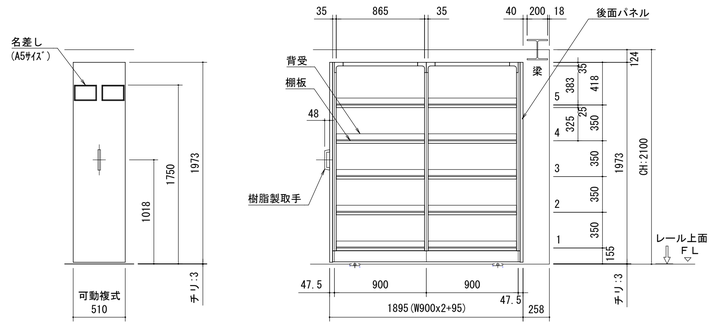
A１ 図中に記載
A３ 図中に記載

No. A－ 62

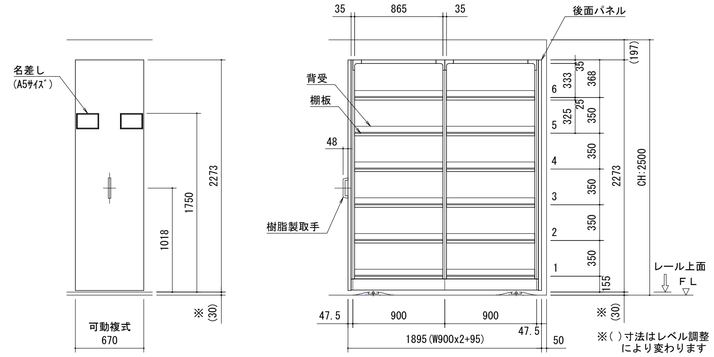
鹿児島市建設局建築部建築課



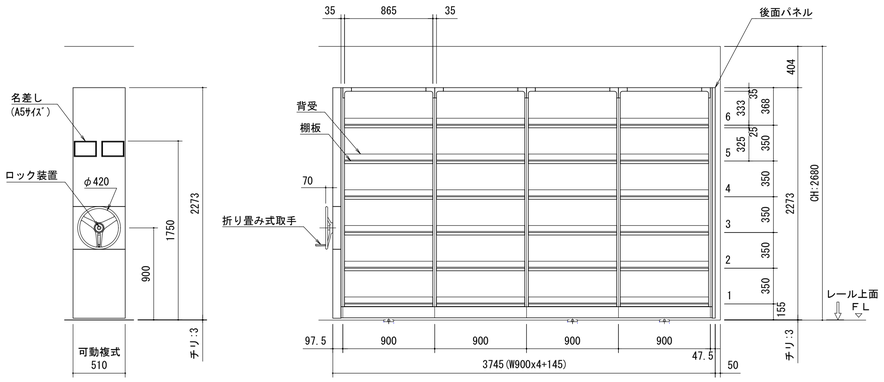
1階 ① 書庫(福祉課) ・ ② 書庫(市民課) ・ ③ 書庫(子育て課) 手引式移動棚 姿図 S=1／30



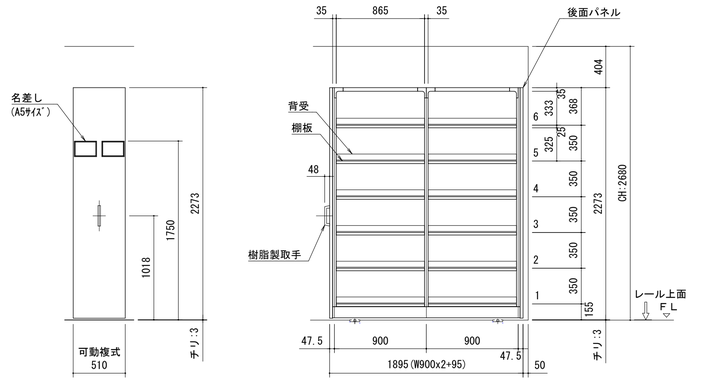
2階 ④ 書庫(保護課) ・ ⑤ 書庫(税務課) 手引式移動棚 姿図 S=1／30



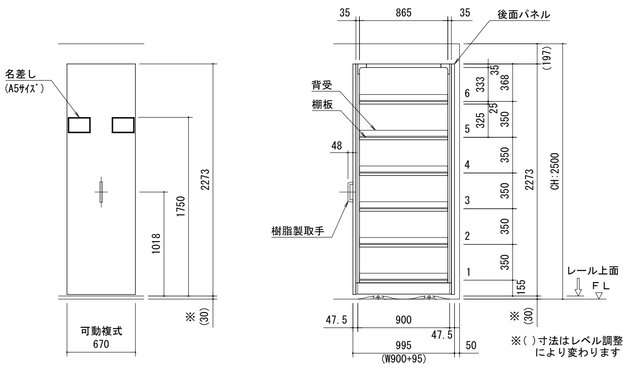
3階 ⑥ 書庫 ・ 4階 ⑩ 書庫 手引式移動棚 姿図 S=1／30



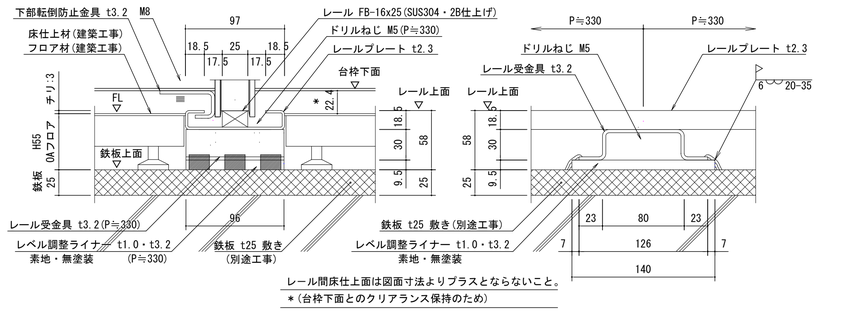
3階 ⑦ 都市整備課(41) 丸ハンドル式移動棚 姿図 S=1／30



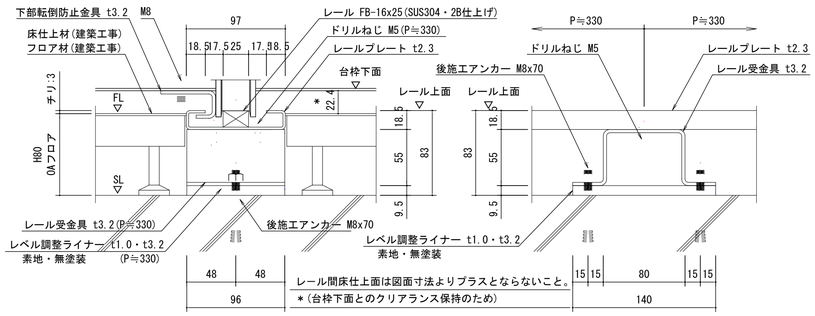
3階 ⑧ 農林課(20) ・ ⑨ 建設課(30) 手引式移動棚 姿図 S=1／30



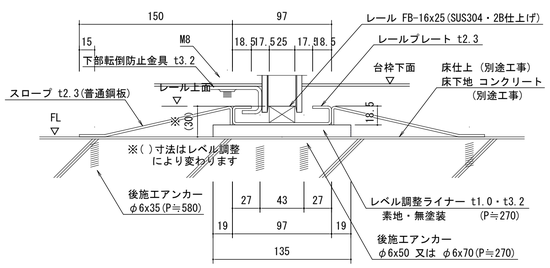
4階 ⑪ 書庫 ・ ⑫ 書庫 手引式移動棚 姿図 S=1／30



1階 ① 書庫(福祉課)・② 書庫(市民課)・③ 書庫 (子育て課)
手引式移動棚 H55 OAフロア 埋込レール 詳細図 S=1／3



2階 ④ 書庫(保護課)・⑤ 書庫(税務課) 及び 3階 ⑦ 都市整備課(41)・⑧ 農林課(20)・⑨ 建設課(30)
手引式移動棚 ・ 丸ハンドル式移動棚 H80 OAフロア 埋込レール 詳細図 S=1／3



3階 ⑥ 書庫 及び 4階 ⑩ 書庫・⑪ 書庫・⑫ 書庫
手引式移動棚 据置レール(スロープ 付) 詳細図 S=1／3

手引式移動棚 備考

・付属品	：後面パネル・背受
・安全装置	：下部転倒防止金具
・操作	：樹脂製取手
・台枠	：溶接構造(支柱落とし込み式)
・車輪	：機械構造用炭素鋼(φ118)
・車輪軸	：磨棒鋼(φ25)、車輪軸は通し軸
・レール	：H55 OAフロア 埋込レール ～ 1階 各書庫
	：H80 OAフロア 埋込レール ～ 2階 各書庫 、3階 ⑧農林課(20)・⑨建設課(30)
	：据置レール(スロープ 付) ～ 3階 ⑥書庫 、4階 各書庫
・棚構造	：天板・支柱・台枠によるブレースを用いないフレーム構造(耐震ガセット方式)
・棚板	：可動式 (側受兼用棚受式) で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
・支柱	：形状 コ-35×30、複柱式とし、複式は3本柱
・棚板最大積載質量	：60kg/段(等分布荷重)
・積載条件	：40kg/段ｘ有効6段(荷重資料より) ～ 1階・3階・4階 各移動棚
	：40kg/段ｘ有効5段(荷重資料より) ～ 2階 各移動棚
・塗装	：アクリル系樹脂静電焼付塗装 及び ポリエステル系樹脂粉体焼付塗装
・塗装色	：ホワイト系 ～ 棚本体・パネル
	： グレー系 ～ 台枠・レール(レールプレートのみ)・スロープ

丸ハンドル式移動棚 備考

・付属品	：後面パネル・背受
・安全装置	：ロック装置・下部転倒防止金具
・免震装置	：ロック解除装置・エンドストッパー接近防止機能
・操作	：樹脂製円形ハンドル(φ420)、折り畳み式取手 付
・台枠	：溶接構造(支柱落とし込み式)
・車輪	：機械構造用炭素鋼(φ118)
・車輪軸	：磨棒鋼(φ25)、両車輪軸(駆動軸・従動軸)共に通し軸
・駆動方式	：中間シャフトを介する後輪駆動方式
・レール	：H80 OAフロア 埋込レール
・棚構造	：天板・支柱・台枠によるブレースを用いないフレーム構造(耐震ガセット方式)
・棚板	：可動式 (側受兼用棚受式) で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
・支柱	：形状 コ-35×30、複柱式とし、複式は3本柱
・棚板最大積載質量	：60kg/段(等分布荷重)
・積載条件	：40kg/段ｘ有効6段(荷重資料より)
・塗装	：アクリル系樹脂静電焼付塗装 及び ポリエステル系樹脂粉体焼付塗装
・塗装色	：ホワイト系 ～ 棚本体・パネル
	： グレー系 ～ ハンドルパネル・台枠・レール(レールプレートのみ)

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

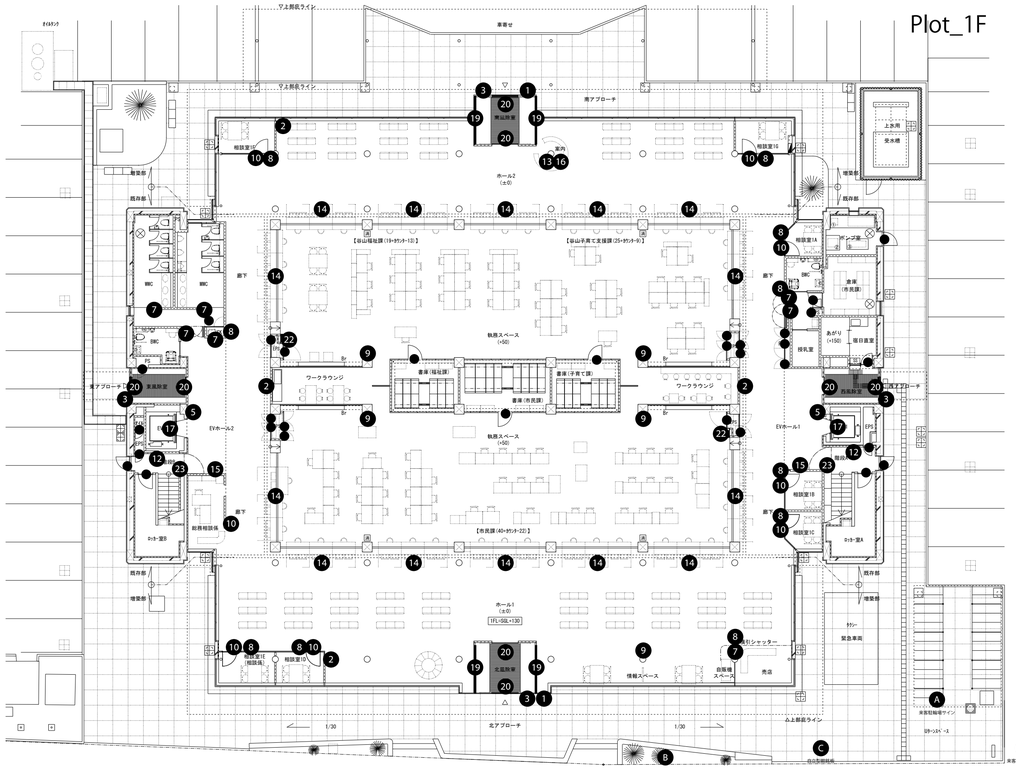
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

部分詳細図(9)-移動棚2	A１ 図中に記載 A３ 図中に記載	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A － 63

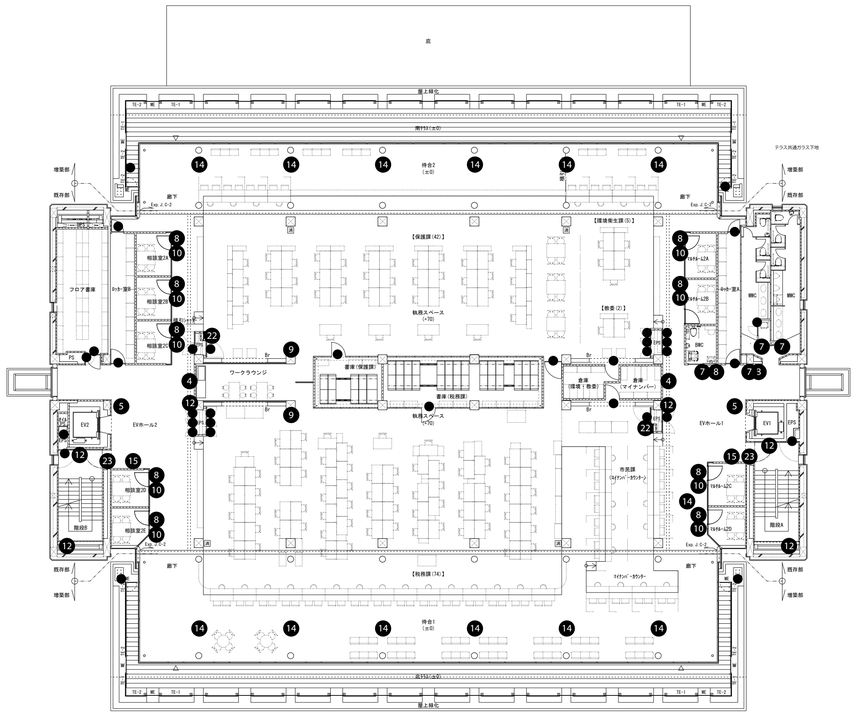
1. 施設名称サイン
2. 総合案内サイン
3. エントランスサイン
4. フロアマップサイン
5. フロアリストサイン
6. 誘導サイン
7. ピクトグラムサイン
8. 突出サイン
9. コーナーサイン
10. 室名サイン
11. バックヤードサイン＝●
12. 階数サイン
13. 総合受付サイン
14. 天吊窓口サイン
15. 掲示板
16. 卓上カウンターサイン
17. EV内サイン
18. 多目的スタンド
19. 衝突防止サイン
20. 自動扉サイン
21. インターフォンサイン
22. 消火器・消火栓サイン
23. 避難経路図サイン

A. 外構自立サイン
B. 公告掲示板
C. 自立型館銘板

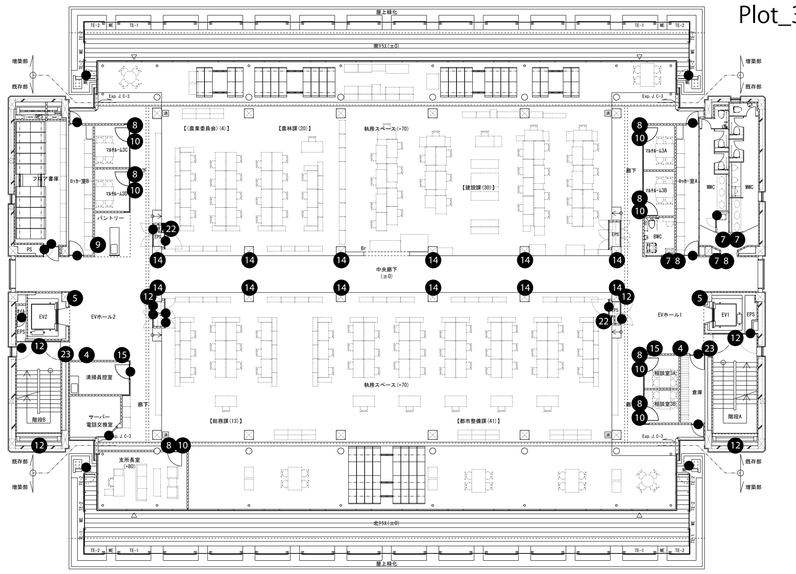
Plot_1F



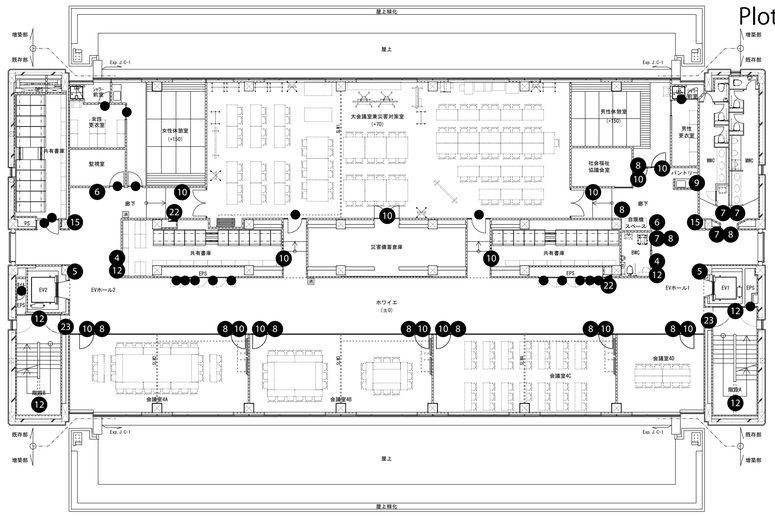
Plot_2F



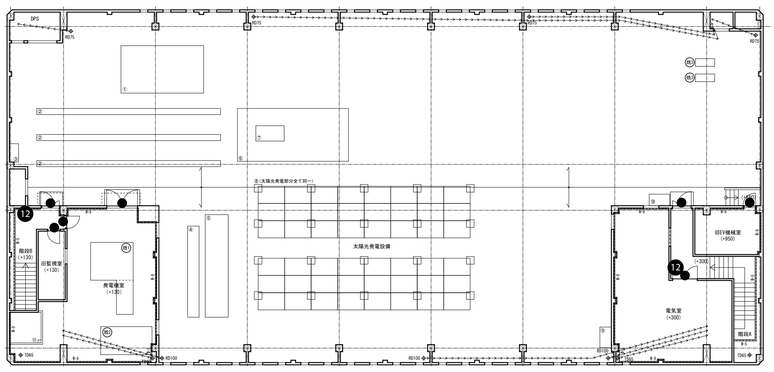
Plot_3F



Plot_4F



Plot_PH



みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事	
	サインキープラン	A１ 図中に記載 A３ 図中に記載
	鹿児島市建設局建築部建築課	No. A － ６４

List

サインリスト

名称	1F	2F	3F	4F	PH	総数	取付	照明	サンプル	製作図	備考
01.施設名称サイン	2	-	-	-	-	2	壁面				
02.総合案内板	4	-	-	-	-	4	壁面		●		マップサンプル
03.エントランスサイン	4	-	-	-	-	4	壁面				
04.フロアマップサイン	-	2	2	2	-	6	壁面				
05.フロアリストサイン	2	2	2	2	-	8	壁面				
06.誘導サイン	-	-	-	2	-	2	壁面				
07.ピクトグラムサイン	7	4	4	4	-	19	壁面				
08.突出サイン	10	11	9	11	-	41	壁面		●	●	
09.コーナーサイン	5	2	1	1	-	9	壁面				
10.室名サイン	8	9	7	14	-	38	壁面				
11.バックヤードサイン	31	35	26	21	7	120	建具				
12.階数サイン	2	6	6	6	2	22	壁面				
13.総合受付サイン	1	-	-	-	-	1	家具				
14.天吊窓口サイン	14	13	12	-	-	39	天井		●	●	

名称	1F	2F	3F	4F	PH	総数	取付	照明	サンプル	製作図	備考
15.掲示板	2	2	2	2	-	8	壁面				
16.卓上カウンターサイン	1	-	-	-	-	1	卓上				
17.EV内サイン	2	-	-	-	-	2	壁面				
18.多目的スタンド	-	-	-	-	-	-					
19.衝突防止サイン	12.5	-	-	-	-	12.5	ガラス				※単位m
20.自動扉サイン	8	-	-	-	-	8	ガラス				
21.インターフォンサイン	-	-	-	-	-	-					
22.消火器/消火栓サイン	2	2	2	2	-	8	機器				
23.避難経路図サイン	2	2	2	2	-	8	壁面				
A.外構自立サイン	3	-	-	-	-	3	自立	○		●	
B.公告掲示板	1	-	-	-	-	1	自立	○		●	
C.駐車場入口館名サイン	1	-	-	-	-	1	自立	○		●	

※照明：◎＝電源が必要　○＝外部照明にて照射

サイン工事　特記事項

1.総記

本設計図書は、サインリスト、特記事項、サインプロット図、意匠図から成る。

2.共通事項

適用範囲　本計画に付設される案内板・室名札等のサイン及び移動式サインの全てに適用する。

一般事項　a.屋外大型サイン等の場合に 当該特記事項の仕様を超える範囲は、
日本建築学会建築工事標準仕様書（JASS）及び
日本建築学会制定各種指針の規定を基準とする。
b.仕上げ材は、工事に先立ち見本を提出して、監督員の承諾を受ける。
c.設計図に基づき必要な製作図、施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
d.サイン施工前に、原寸出力、実仕様サンプルの作成（費）を見込み、監督員の承諾を受ける。
該当箇所はリスト内のサンプル欄の●とする。
e.サイン施工前に、現場検証を監督員等参加のうえで行い承諾を受ける。
f.サイン施工前に、現場調査をし、設計及び監督員に報告すること。
g.特定の製品の指示がある場合は、そのメーカー仕様による。
h.耐震施工は、建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター）による。

官公署その他への手続き　工事の施工、建物の使用の開始に必要な官公署その他への手続きは速やかにおこなう。

3.施工基準

関係法令　a.設計図書及び監督員の指示に従い、建築基準法消防法、その他関係ある法令、
指針を厳守しかつ電気設備技術基準及び内線規定ならびに配線規程に適合
するように施工する。
b.電気用品取締法の適応を受けるものは形式認可済みのものを使用する。
ただし制限外申請にて許可されたものはこの限りでない。
また規格制定なきものは官公署及び所轄電力会社の検査合格及び監督員の
承諾を受ける。
c JIS・JEC（電気規格調査会標準規格）・JEM（日本電気工業会標準規格）に
制定のあるもので特記が無い場合はこれに適合したものを使用する。

電照型の仕様　a.電灯、コンセント類
LED、白熱灯、蛍光灯、コンセント、スイッチ等の形式は特記による。
使用する部品のカタログ等を提出し監督員の承諾を受ける。
1.配線の経路、コードの種類は監督員と協議して決定する。
2.器具の取付けに当っては器具内の温度が過度に上昇しないよう、空気抜き等を設け、
電球の性能低下や寿命の低下の無いよう注意する。
3.放電灯器具の金属部には全てD種接地工事を施す。
4.工事完了後、点灯試験及び絶縁抵抗測定を行い、その結果を報告する。
b.電照式サインの指定色は照射及び透過された光が肉眼で知覚された色とする。
したがって指定の光源を用いた実験体により色彩を調整し、サンプルにて
監督員の承諾を受ける。

4.材料及び工法

鋼　a.鋼材はJIS規格品を使用する。
b.屋外部に使用される場合の防錆処理は溶融亜鉛メッキとするか、
電気亜鉛メッキ鋼板を使用すること。その他の処理とする場合は、
監督員と協議して決定する。
c.ステンレスはSUS304とする。

アルミ材　特記が無い場合以下を標準とする
a.アルミニウム合金板はJIS-H-4000-1970「アルミニウム及び
アルミニウム合金の板及び条」二種（A-5052-H-32）とする。
b.異種金属による電気腐食の防止法は絶縁処理を施す。

粘着シート材　特記が無い場合以下を標準とする
a.外部に使用するシート類は3Mスコッチカルフィルム XLシリーズ同等品以上とする。

樹脂板　特記が無い場合以下を標準とする
a.メタアクリル樹脂板はJIS-K-6718とする。
1.切断面、切り抜き部分の見えがかり部はバフ仕上げとする。
2.接着材はメチレンクロライド相当を使用し、接着面に気泡、ゴミが入らないものとする。
3.静電気防止処理は監督員の指示による。帯電防止剤コートロン同等品を使用。
b.硬質塩化ビニール板はJIS-K-6745相当とする。
c.アルミポリエチレン積層板の表面加工はアルポリック複合板同等品とする。
d.切り文字は糸面取りとする。

ガラス　特記が無い場合以下を標準とする
a. 板ガラスは普通板、フロート、みがき、型板、合わせ、
強化など全ての種類はJIS規格製品とする。
b. ガラスの取付け用材のすべては見本を提出し監督員の承諾を受ける。
c. ガラスの接着方法は接着剤、粘着シート、テープ類を含め監督員と協議の上
決定する。
d. 人が触れる部分の仕上げに関しては安全性を十分に考慮して制作すること。

表面処理　a. スチール鋼材は全てサビ止め塗装（2液エポキシ塗料）を施した上で、
指定された仕上げを施すこと。

塗　装　a. 外部設置アイテムは指定色フッ素樹脂焼付塗装とすること。
b. 内部設置アイテムは指定色ポリウレタン樹脂焼付塗装とすること。

5.表示面その他

文字・ピクトグラム　a. サインに使用する書体はタイプフェイスの通りとする。
b. 文字の高さについては和字は「木」の高さ,英字は「H」の高さ、
数字は「1」の高さをそれぞれ基準とする。
c. 文字間隔については文章は詰め送りとし、室名などの短い文字組は別紙の
レイアウトを基本とする。
また字の間隔は視覚的に等しく見えるように調整配列する。

レイアウト図　図は特記の無い場合以下の要領で作成する。
a. 文字及び図形等の拡大縮小指定原版を用い写真操作によって忠実に再現する。
また拡大時における変形は入念に修正し監督員の承諾を受ける。

デジタル出力　デジタル出力品は特記のない場合下記による。
a. 色については現物見本を提出して、監督員の承諾を受ける。
b. 出力画像を保護し耐候性や耐水性、防汚性を高める専用フィルムで
ラミネートする。
c. 設置する場所に応じ出力機の選定を行う。
d. 透明フィルム使用の際はPET素材とし、白インキ対応の出力機とする。

グラフィック原稿　a.多言語表記に応じた、翻訳の費用を見込むこと。
b.点字サインに必要な点訳の費用を見込むこと。

グラフィックデータ作成について　a. サイン表示面の版下データの作成に際しては、
監督員と協議の上、専門のグラフィックデザイナーを配置し、
必要なグラフィックデータの作成と現場打合せ及び指示確認による経費を見込むこと。
b.バックヤードサインは、設計図に基づいて版下データを作成し、
監督員の承諾を受ける。

6.工事範囲

基礎工事　サイン本体を設置するにあたり必要な基礎工事は建築工事とする。
下地工事　サイン本体を設置するにあたりサインに必要な下地工事はサイン工事とする。

足場架設　サイン本体を設置するにあたりサイン

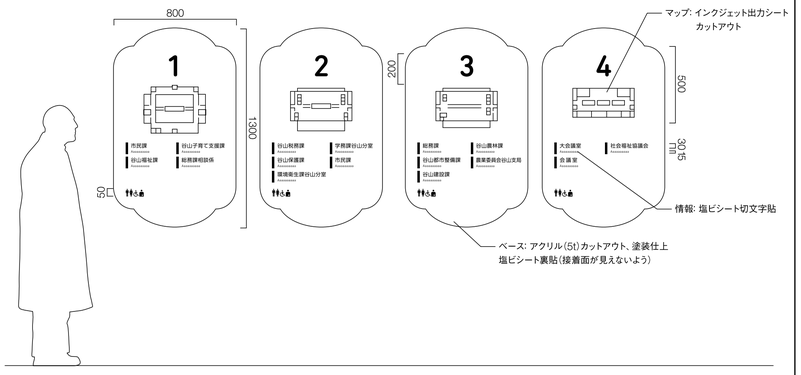
照明工事　一次側電源は別途工事（電気工事）とする（タイマー、スイッチ、コンセント設置を含む）。
二次側結線及び配線はサイン工事とする。
内照式サイン（照明内蔵タイプ）の二次側結線及び照明器具はサイン工事とする。

Sign_1

施設名称サイン　S=1/10（A1）

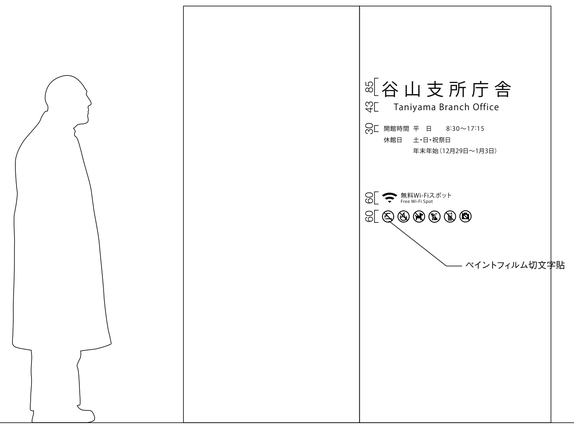
Sign_2

総合案内サイン　S=1/20（A1）

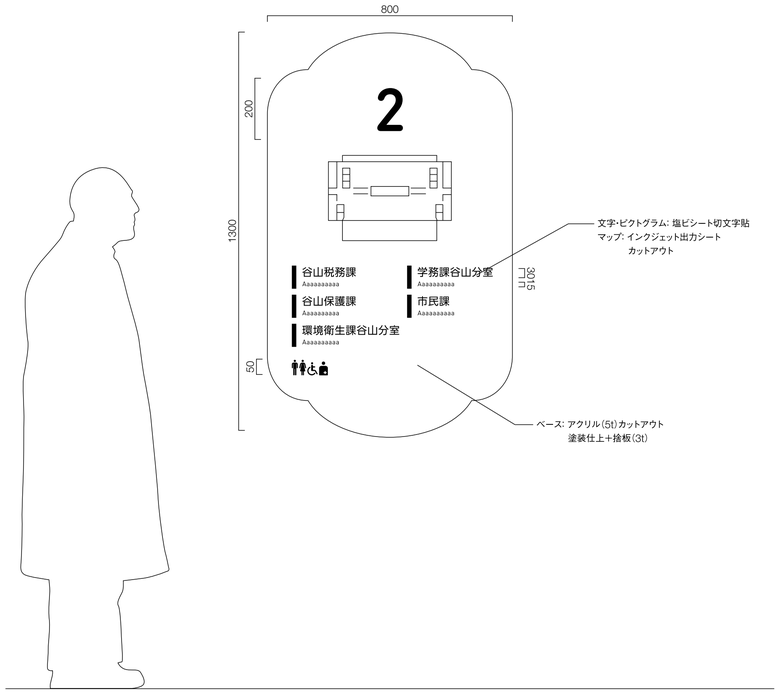


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	サイン特記・サイン図(1)	A１ 図中に記載 A３ 図中に記載	No.
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 65

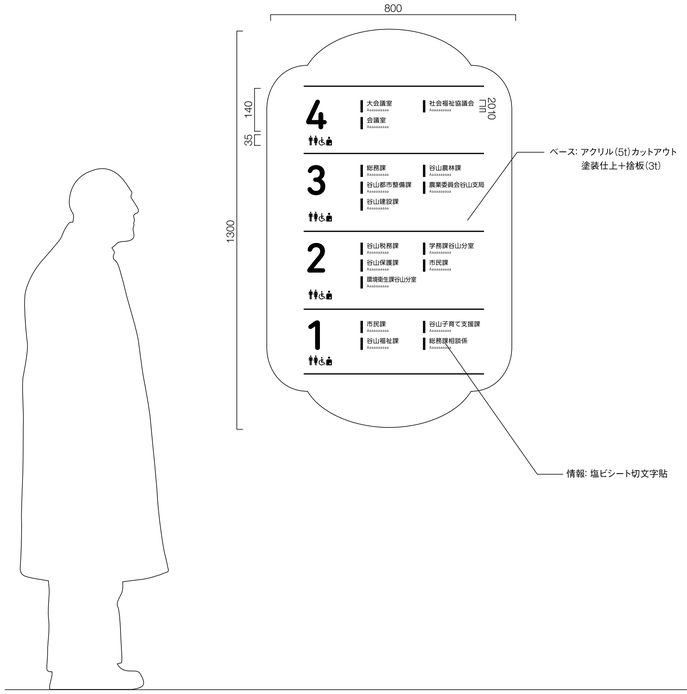
Sign_3
エントランスサイン　S=1/20(A1)



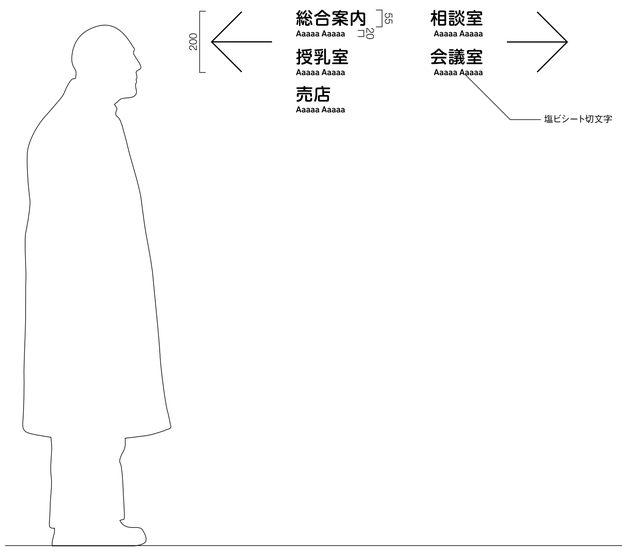
Sign_4
フロアマップ　S=1/10(A1)



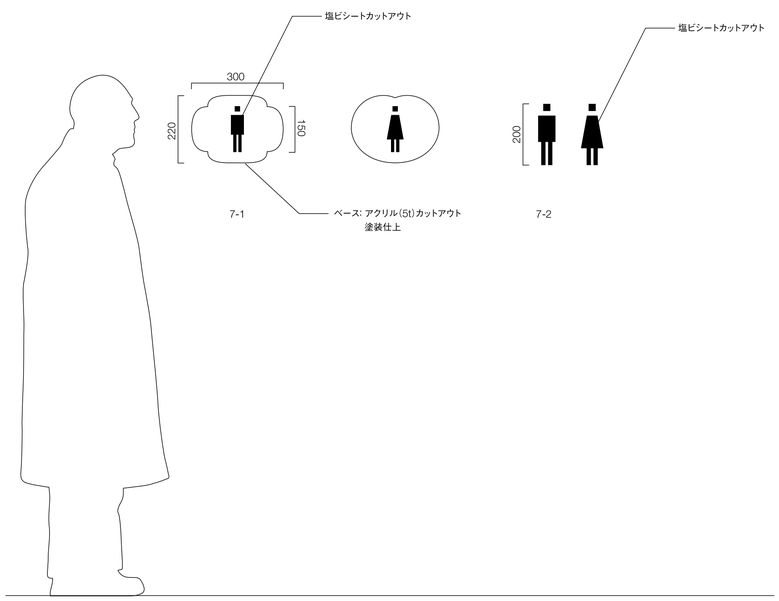
Sign_5
フロアリストサイン　S=1/10(A1)



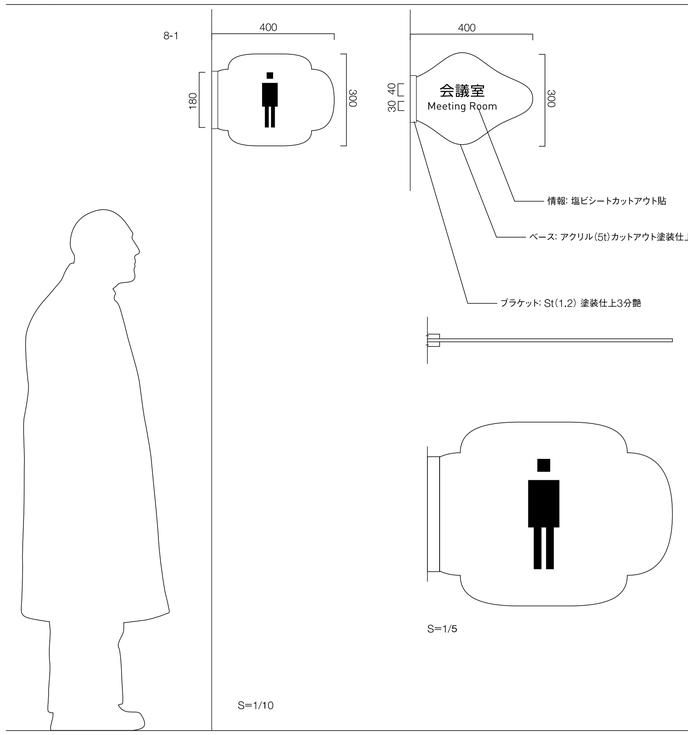
Sign_6
誘導サイン　S=1/10(A1)



Sign_7
ピクトグラムサイン　S=1/10(A1)



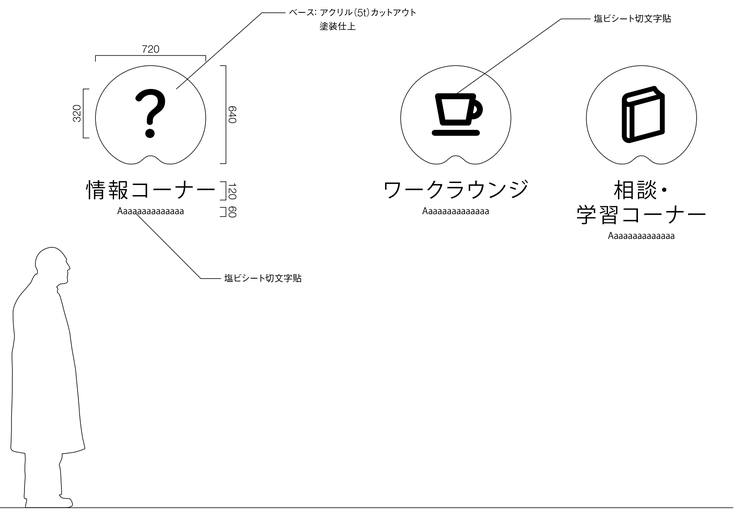
Sign_8
突出サイン　S=1/5,1/10(A1)



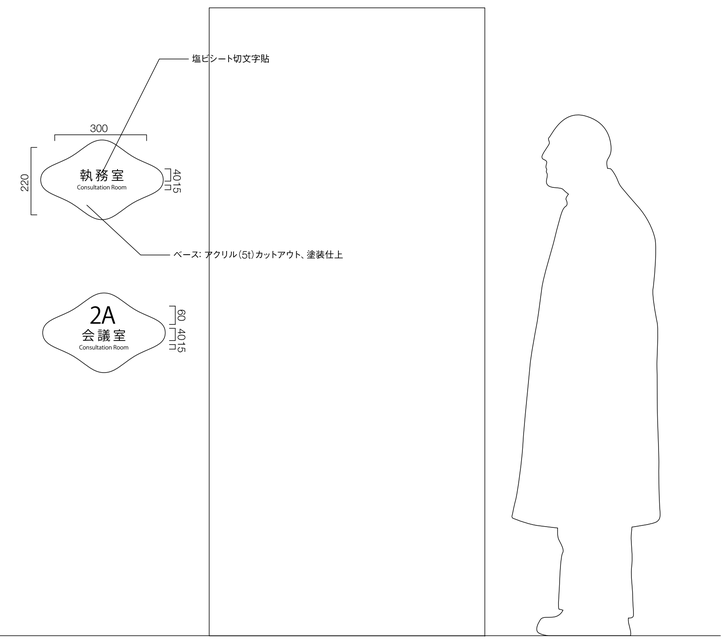
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
サイン図(2)	A1 図中に記載 A3 図中に記載	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A － 66

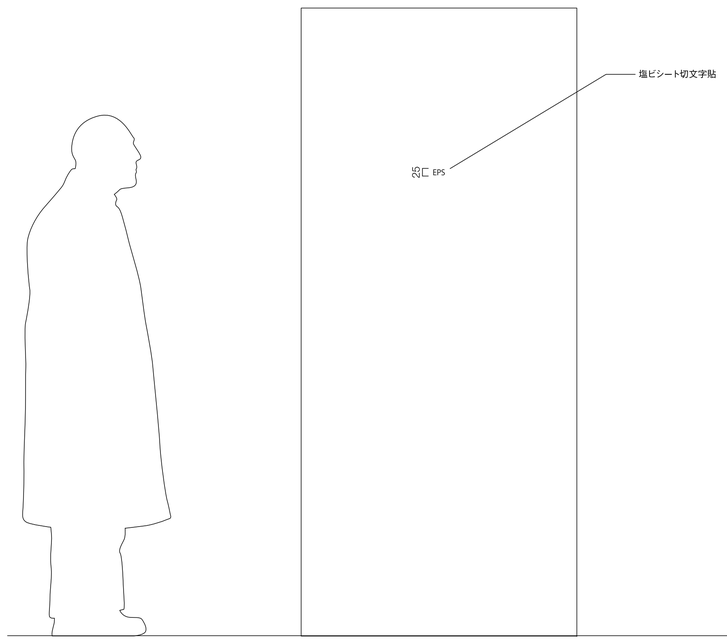
Sign_9
コーナーサイン　S=1/20(A1)



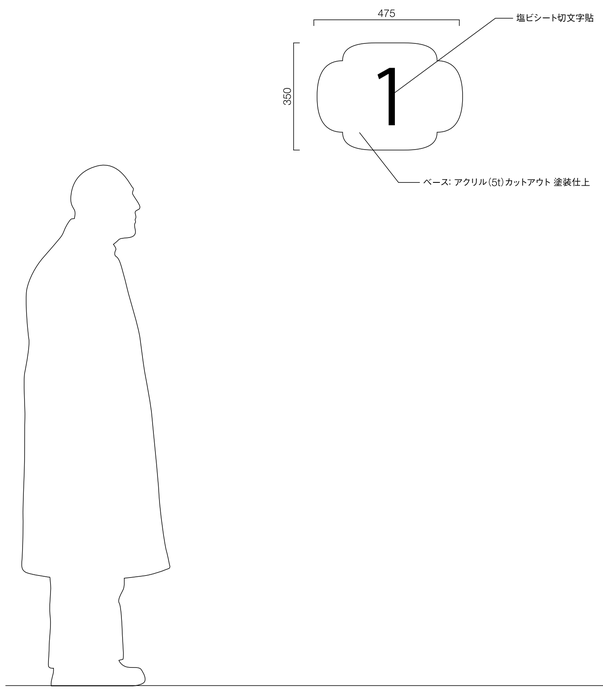
Sign_10
室名サイン　S=1/10(A1)



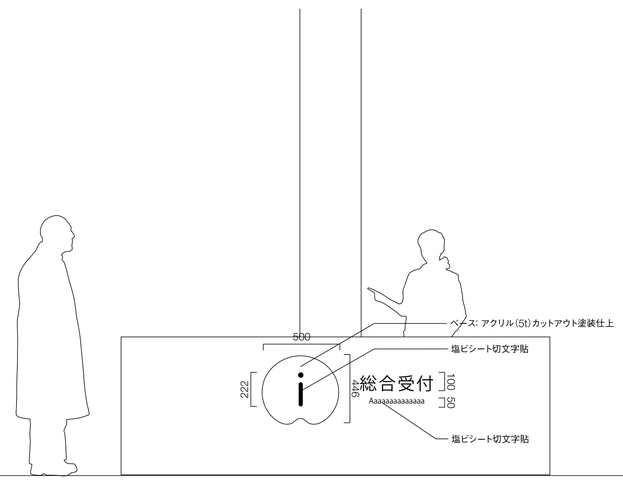
Sign_11
バックヤードサイン　S=1/10(A1)



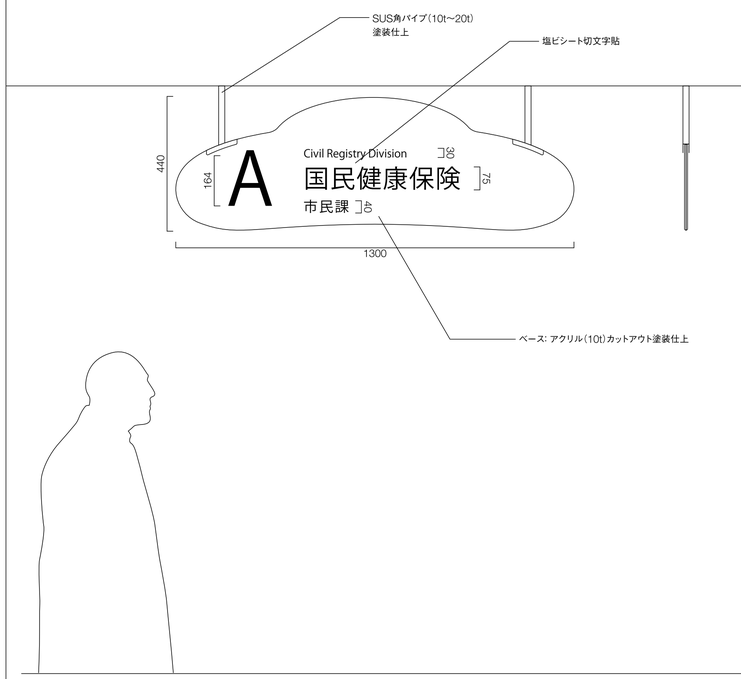
Sign_12
階数サイン　S=1/10(A1)



Sign_13
総合受付サイン　S=1/20(A1)



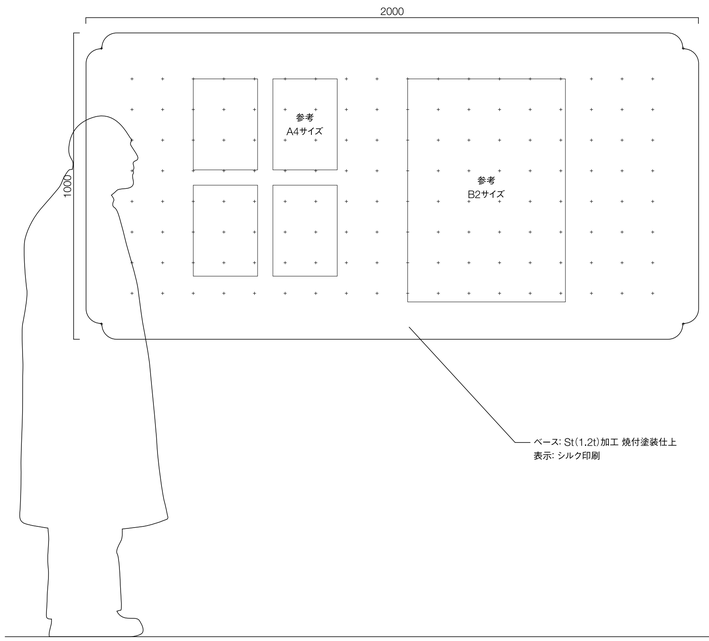
Sign_14
天吊窓口サイン　S=1/10(A1)



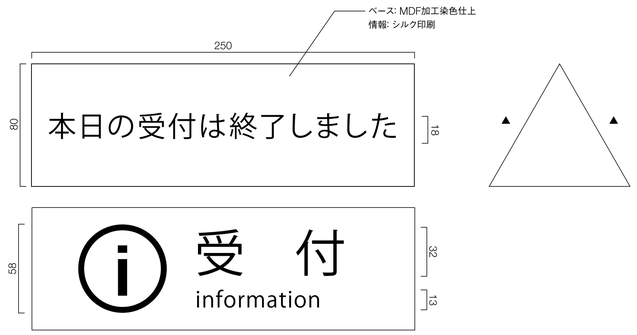
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
サイン図(3)	A1 図中に記載 A3 図中に記載	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A － 67

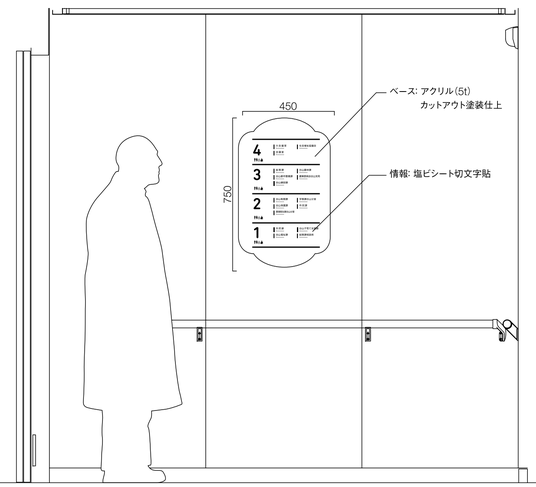
Sign_15
掲示板　S=1/10(A1)



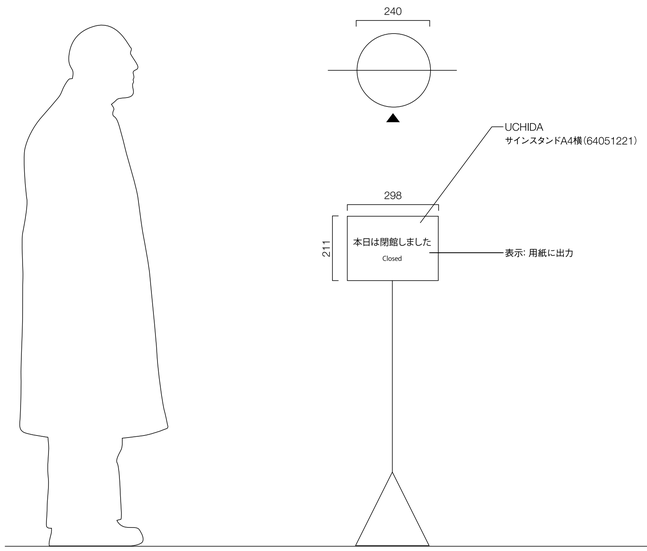
Sign_16
卓上カウンターサイン　S=1/2(A1)



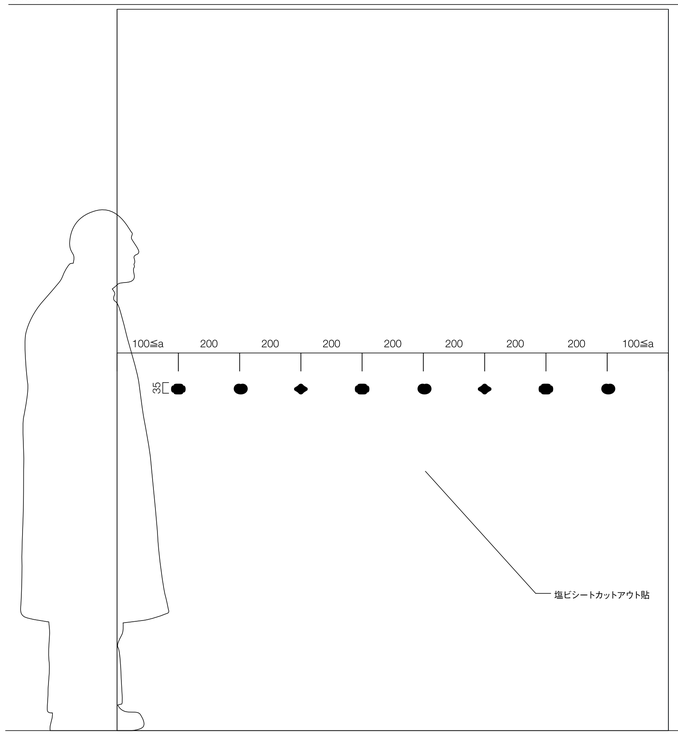
Sign_17
EV内サイン　S=1/15(A1)



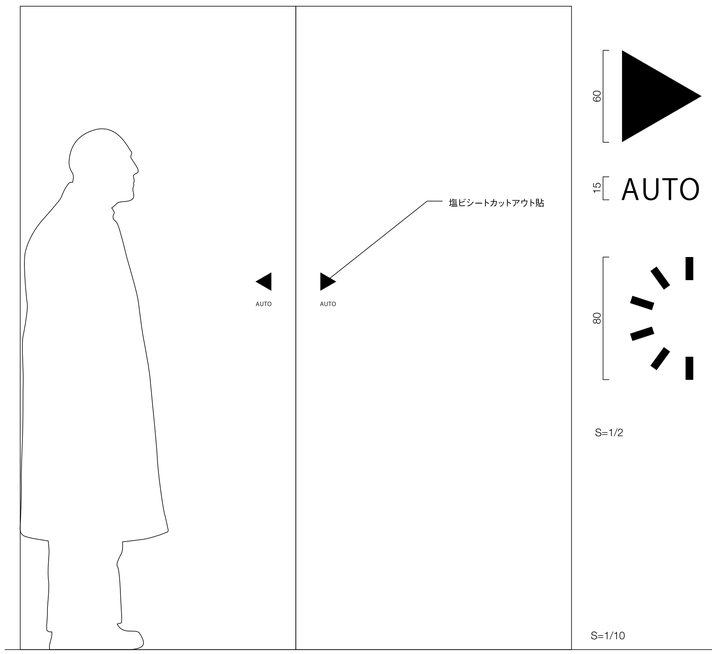
Sign_18
多目的スタンド　S=1/10(A1)



Sign_19
衝突防止サイン　S=1/10(A1)



Sign_20
自動扉サイン　S=1/2,1/10(A1)

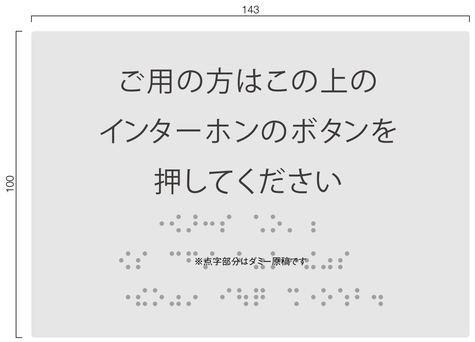


みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事	
	サイン図(4)　A1 図中に記載　A3 図中に記載	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－68

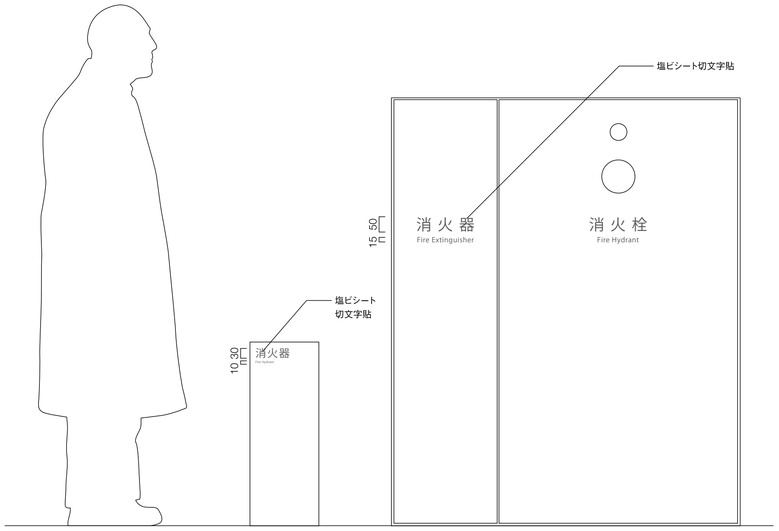
Sign_21
インターフォンサイン　S=1/1(A1)

※テキスト原稿の点訳化にともなう費用を見込むこと

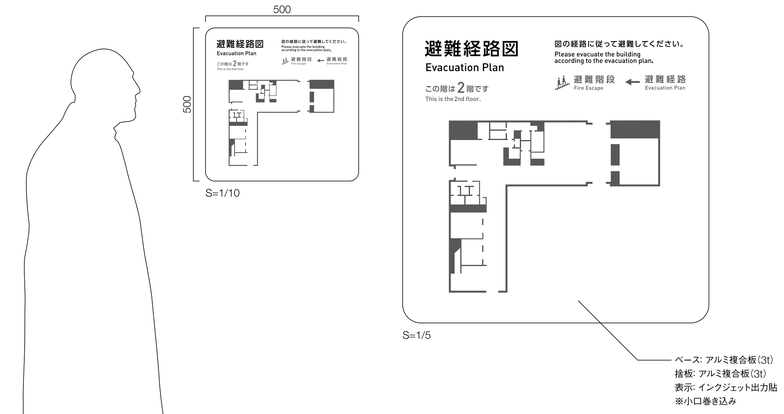
ベース: アルミ(0.6t)、角R処理、アルマイト仕上げ
文字表示: ダイレクト印刷(日塗工 N-30)
点字表示: 一体プレス加工



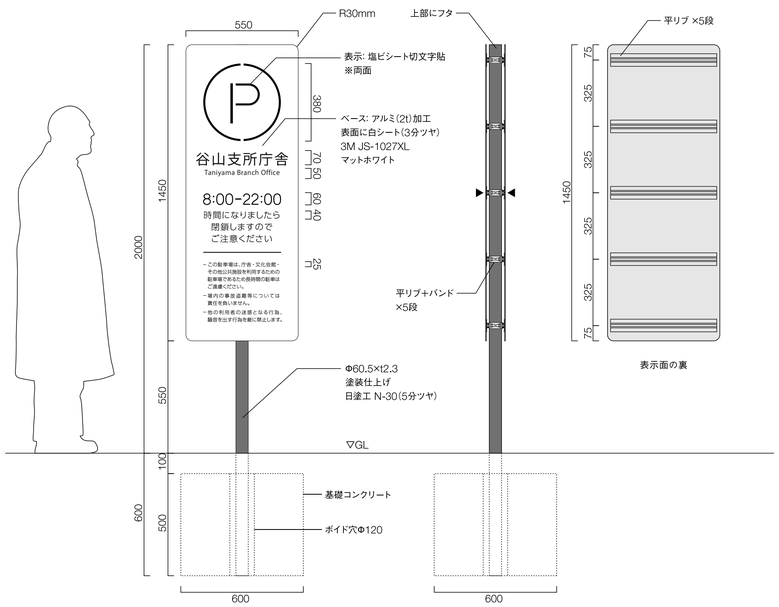
Sign_22
消火器・消火栓サイン　S=1/10(A1)



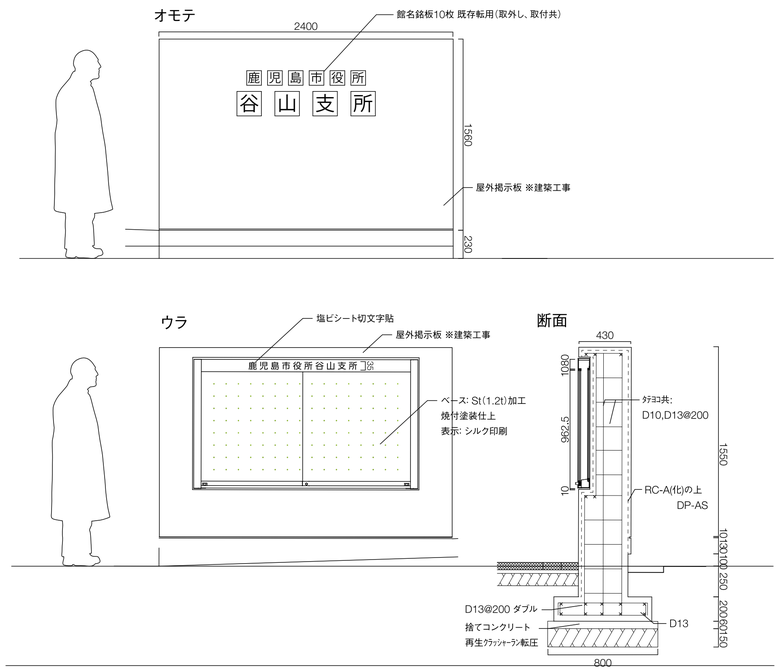
Sign_23
避難経路図サイン　S=1/5,1/10(A1)



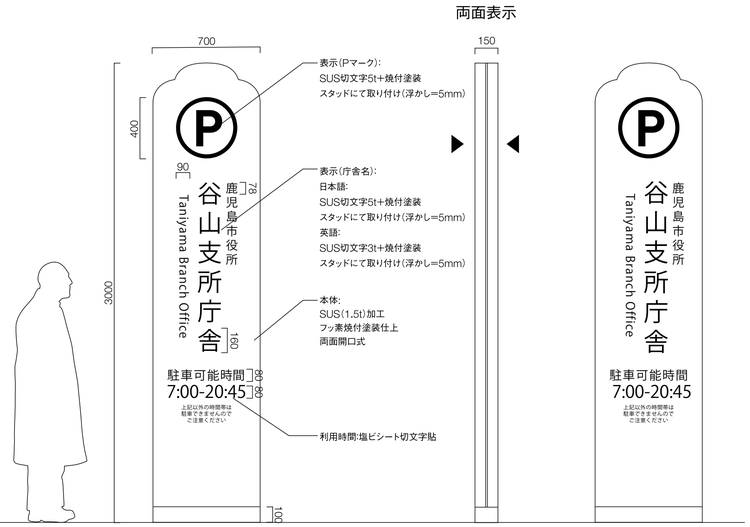
Sign_A
駐車場入口サイン　S=1/15(A1)



Sign_B
公告掲示板　S=1/25(A1)



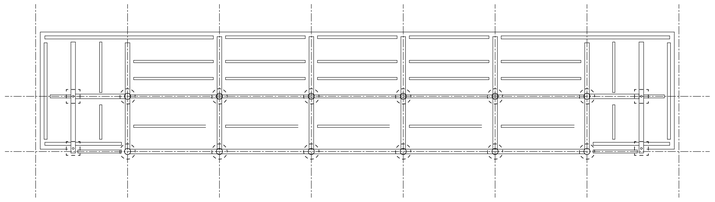
Sign_C
駐車場入口館名サイン　S=1/20(A1)



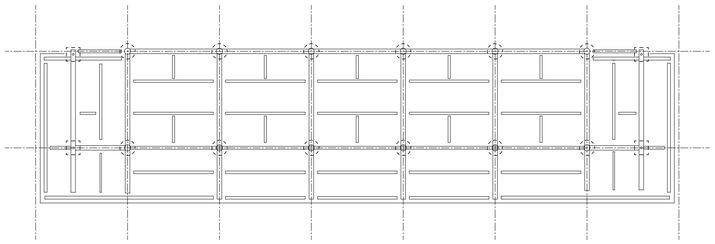
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	サイン図(5)	A1 図中に記載 A3 図中に記載	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A－ 69

耐火リスト

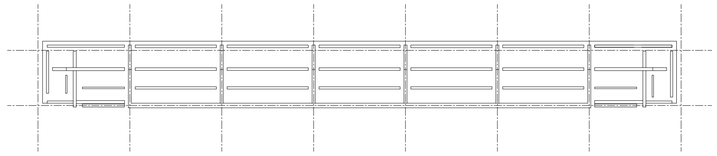
1：200



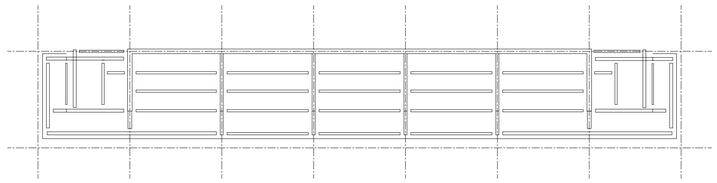
2階耐火被覆（見下げ）図　1:200



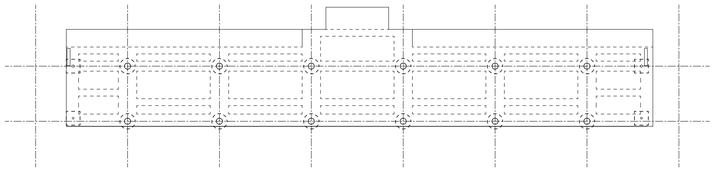
1階耐火被覆（見下げ）図（柱のみ示す）　1:200

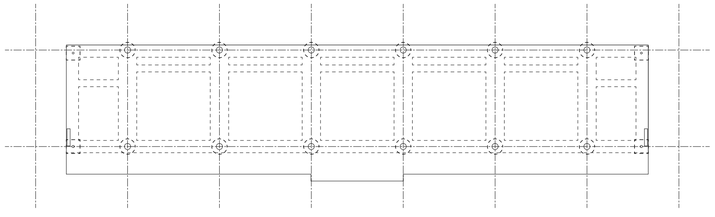


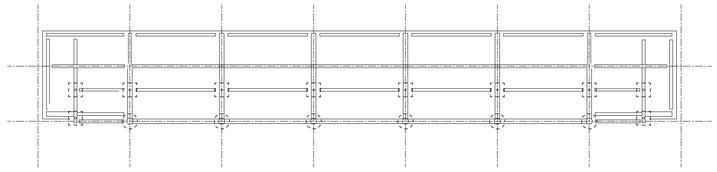
4階耐火被覆（見下げ）図　1:200

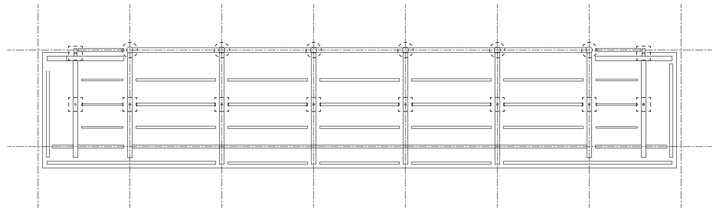


3階耐火被覆（見下げ）図　1:200



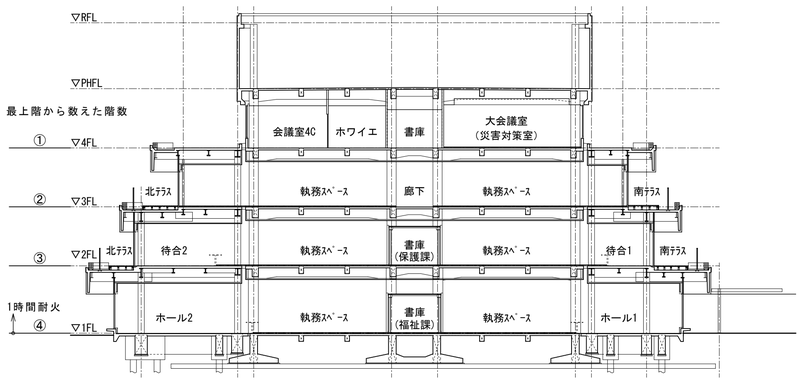






屋　根	柱	梁	床
30分耐火 構造図による	1時間耐火 ①耐火塗料　厚1.0～4.5mm（ﾊﾟﾃ処理共） FP060CN-9472、FP060CN-9401 ②耐火シート　厚1.7mm FP060CN-0598	1時間耐火 ①半湿式吹付岩綿　厚25mm FP060BM-9408	1時間耐火 構造図による

壁		
間仕切壁	外壁非耐力壁 （延焼のおそれある部分）	外壁非耐力壁 （延焼のおそれある部分以外）
1時間耐火 間仕切リストによる	1時間耐火 ①鉄筋コンクリート壁 厚100mm以上 ②押出成形セメント板 厚60mm以上 FP060NE-9035	30分耐火 ①鉄筋コンクリート壁 厚100mm以上 ②押出成形セメント板 厚60mm以上 FP060NE-9035



耐火被覆区分断面図　1:200

※特記なき柱・梁は　①半湿式吹付岩綿（厚みは上表による）

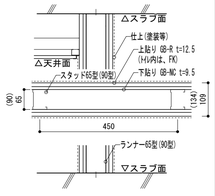
凡例		
	⬚	柱　①耐火塗料　（厚みは上表による）※天井高さまで
	◌	柱　②耐火シート　（厚みは上表による）※天井高さまで

間仕切リスト・耐火リスト

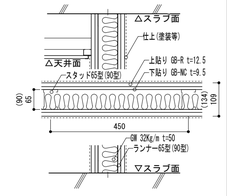
W-1'の「'」は、LGS下地90型の場合を示す。（主として1階）

1：10

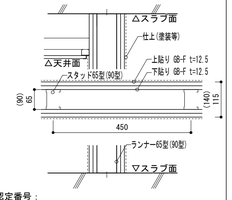
W-1（一般間仕切り）



W-2（遮音間仕切り）

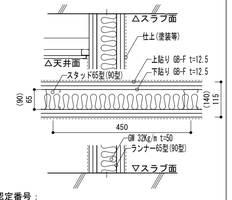


W-3（耐火間仕切り）　防火区画部



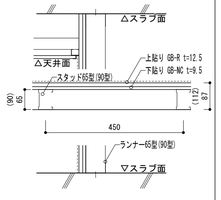
認定番号：
FP060NP-0483(1)

W-4（耐火遮音間仕切り）　防火区画部

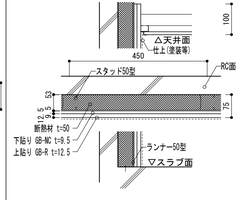


認定番号：
FP060NP-0483(2)

W-5（片面間仕切り）

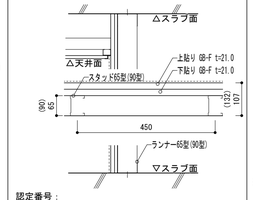


W-6（壁面片面間仕切り）　RC面



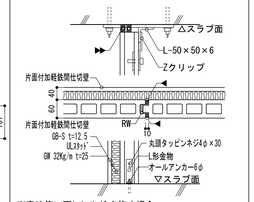
※断熱材は外壁部のみ

W-7（耐火片面間仕切り）　防火区画部



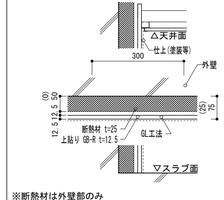
認定番号：
FP060NP-0497

W-8（ECP間仕切り）



※素地使い面にｼｰﾘﾝｸﾞを施す場合、
ｼｰﾘﾝｸﾞは素地面色合わせとする。
※片面付加軽鉄間仕切壁は、2～4階MWCWWC間のみ設置

W-9（GL工法）　外壁面・RC面



※断熱材は外壁部のみ
内壁部は（ ）内の寸法とする。

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

耐火リスト　A1　－　A3　－

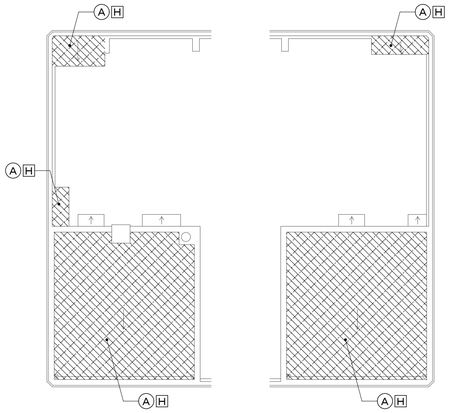
鹿児島市建設局建築部建築課

No.　A－70

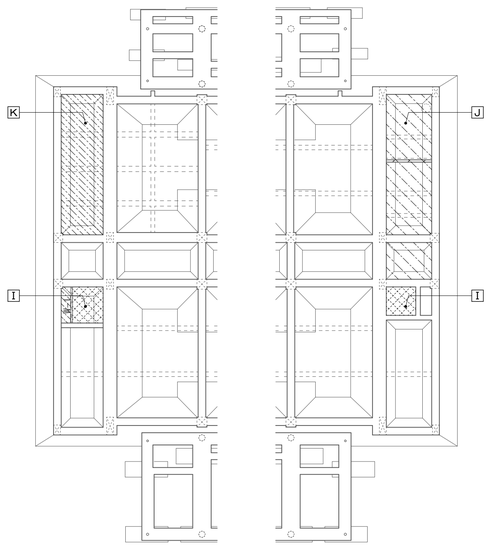
凡例

断熱	Ⓐ	屋根	断熱材-1（吹付硬質ウレタンフォームA種1H t=100）
	Ⓑ	壁	断熱材-2（吹付硬質ウレタンフォームA種1H t=50）
特殊床	Ⓒ		FLP-1
	Ⓓ		OAフロア　H=80
	Ⓔ		人工木デッキ（無垢材 t=25、低床用下地共）
防水	G		U防水（通気緩衝工法）
	H		U-Re防水（既存A防水非撤去の上、ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水）
	I		K防水（周囲の壁を含む）
	J		P防水-1（周囲の壁を含む）
	K		P防水-2（周囲の壁を含む）
	L		P防水-3（周囲の壁を含む）

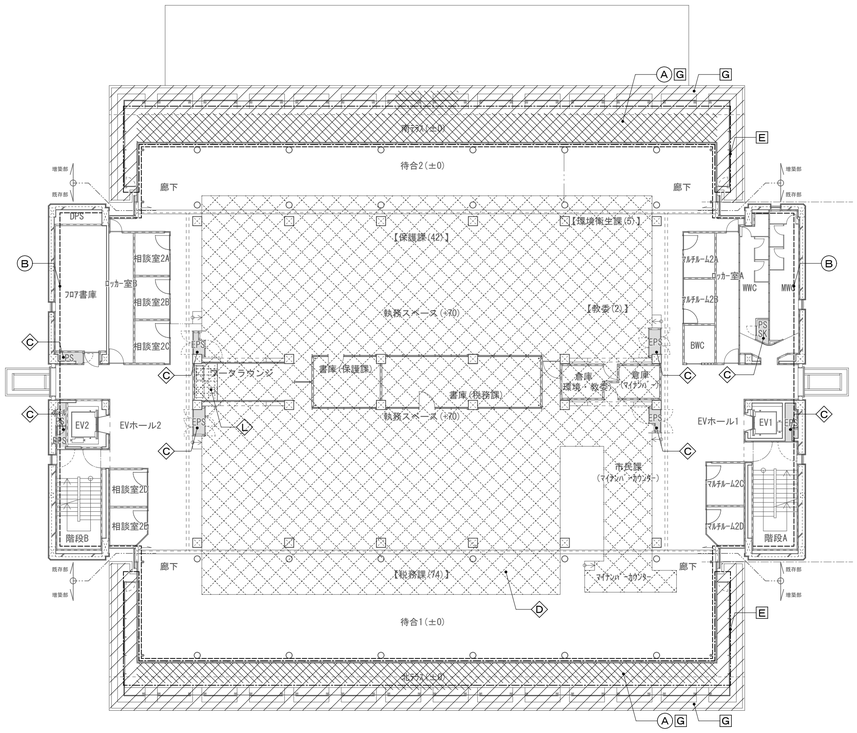
※特記なきは見下げ図とする。



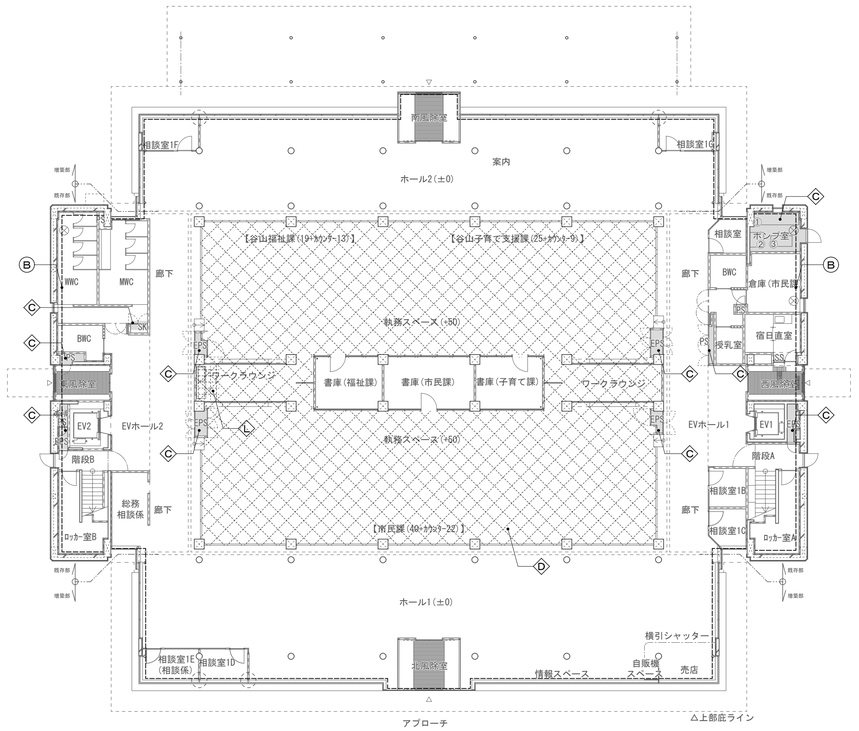
PHR階断熱・防水範囲図　1:200



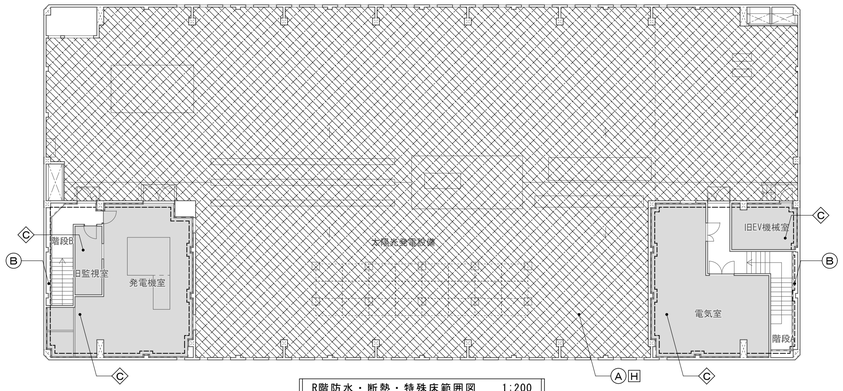
ピット階防水範囲図　1:200



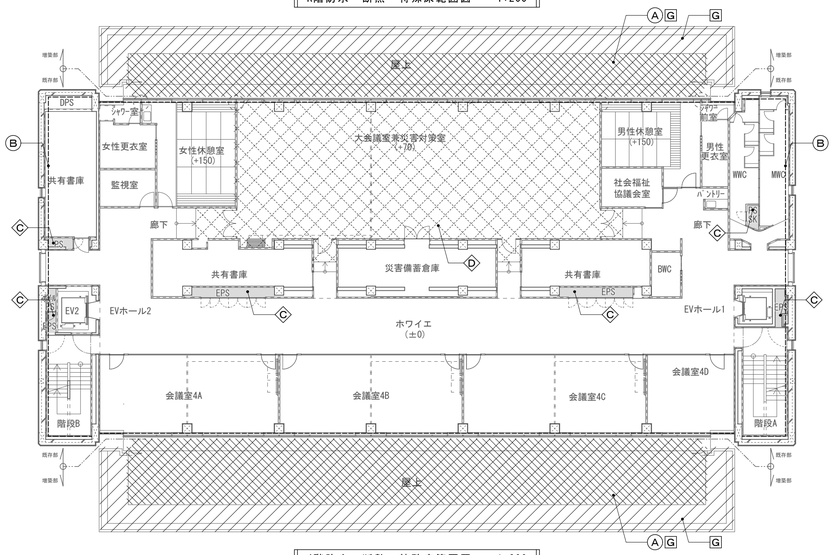
2階防水・断熱・特殊床範囲図　1:200



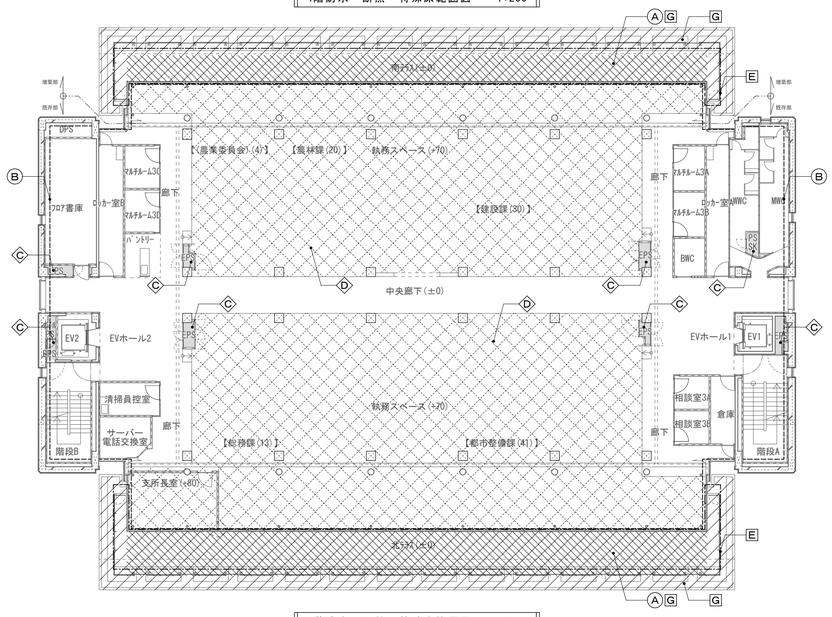
1階防水・断熱・特殊床範囲図　1:200



R階防水・断熱・特殊床範囲図　1:200



4階防水・断熱・特殊床範囲図　1:200



3階防水・断熱・特殊床範囲図　1:200

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	防水・断熱・特殊床範囲図	A1　1/200 A3　1/400	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 71

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	０１号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	Ｐ１１－ＣＯ－６０
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（１Ｃ－２ＢＣ）
	積載量	７５０ｋｇ
	定員	１１名
	定格速度	６０ｍ／ｍｉｎ
	戸閉方式	２枚戸両引き（ＣＯ）
	出入口幅	８００mm
	出入口高さ	２１００mm
	かご室サイズ（内法間口）	１４００mm
	かご室サイズ（内法奥行）	１３５０mm
	かご室内法高さ	２２８０mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	４停止（１－４階）
	動力用電源	ＡＣ３φ－２１０Ｖ－６０Ｈｚ
	照明用電源	ＡＣ１φ－１００Ｖ－６０Ｈｚ
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスＡ１４
	戸間走行保護装置	あり
	敷居間隔	１０mm
	ドアセンサー機能	マルチビームドアセンサ２Ｄ
	車いす仕様	あり（制御機能）
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	Ｐ波＋Ｓ波センサ付３段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご呼び取消機能	あり
乗場仕様	乗場三方枠	小枠　ステンレスバイブレーション仕上（１－４階）
	乗場戸	ステンレスバイブレーション仕上（１－４階）
	乗場敷居	ステンレス製（１－４階）
	乗場インジケーター	一体セグメントＬＥＤ　ステンレスバイブレーション仕上（１－４階）
	乗場インジケーター一体形ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色ＬＥＤ（１－４階）
	休止灯	あり
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタンプレート一体形　ステンレスバイブレーション仕上（１－４階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色ＬＥＤ（１－４階）
	乗場休止スイッチ	乗場インジ・ボタン組込
かご室仕様	天井	スタンダード：ＬＥＤダウンライト（白色ＬＥＤ）
	かご室壁・戸	ステンレスヘアライン仕上
	袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上
	巾木	ステンレスヘアライン仕上
	かご床	タイルカーペット（２５ｔ以下）（建築工事）
	かご室敷居	ステンレス製
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン仕上
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色ＬＥＤ
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（５．７インチ）　ＣＵＤＯ認定品
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起・緊急時（日英／中韓切替）
	車いす専用かご操作盤	両側面に設置　プレート：ステンレスヘアライン仕上
	車いす専用かご操作盤インジケータータイプ	セグメントＬＥＤ
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色ＬＥＤ
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	脱臭機能付ウィルス抑制装置付ファン（空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能）
	かご室手すり	丸形ステンレス　二面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（Ｗ＝５００）
その他仕様	挟まれ防止ドアセンサー	あり
	乗場前検知挟まれ防止センサー	あり
	遮煙機能	大臣認定品　２枚戸両引き用（１－４階）（認定番号　ＣＡＳ－１２４７（２））
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	インターホン型式	２４Ｖ
	戸開延長ボタン	あり
	かご内アナウンス	かご内４ヵ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室スピーカー	あり
	フェッシャープレート	エレベーター手配（２－４階）
	レール支持方式	１フロア１ブラケット
	揺重ビーム手配	エレベーター手配
	煙感知器点検口スイッチ	あり
	仮設動力電源	１式

(04780)

No. 01

工事区分表

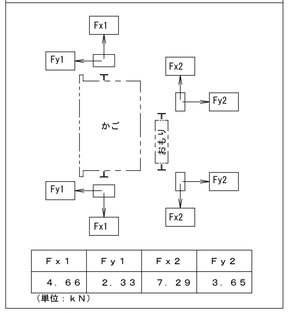
	工事内容	建築	電気	設備	EV
1	昇降路の築造工事及び各階出入口、乗場機器等の穴あけ工事 （１）エレベーター施工図に対し、コンクリート打ちの誤差が生じた場合、必要に応じ、はつり又は肉付けのこと （２）昇降路壁は５ｃｍ２辺り３００Ｎの外力が作用した時に１５mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること （３）コンクリート強度は２１Ｎ／mm２以上のこと （４）昇降路の構造は不燃材又は難燃認定材で作り覆うこと	○			
2	エレベーター機器搬重用のフック又はビームの設置工事				○
3	乗場機器取付後の出入口まわりの壁及び床の仕上工事	○			
4	各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事	○			
5	通過階がある場合、非常救出口の設置工事	○			
6	２方向出入口の場合、かご戸ア点検口の設置工事	○			
7	ピット防水工事	○			
8	ピット下部の使用がある場合、二重スラブ等の建築対策工事	○			
9	ピット段違いの場合、保護機設置工事	○			
10	ピットが深い場合、埋め戻し・浅い場合、はつり工事	○			
11	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウト及び各種防音・防振工事	○			○
12	その他建築に関する工事	○			
13	動力用電源・照明用電源・接地線の受電端子までの引込工事（裝ぎ込み工事含む） （１）電源電圧変動は＋５％～－１０％以内、電圧不平衡率５％以内のこと （２）遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること （３）エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあるため、対策を講ずること		○		
14	ピット内点検用コンセント設置工事（照明用電源とは別系統のこと）		○		
15	昇降路内の煙感知器及び点検口の設置工事 （１）点検口は錠付とし、戸開時にはエレベーターを停止させること（停止スイッチはＥＶ工事） （２）建物に自火報設備がない場合、遮煙ドア適用階のエレベーターホールには火災感知器又は煙感知器を設置のこと		○		○
16	インターホン取付位置から制御盤までの配管配線工事		○		
17	火災時管制運転がある場合、火報信号の制御盤までの配管配線工事		○		
18	エレベーター遠隔監視用配管配線工事（最寄の電話中継盤から制御盤まで）		○		
19	その他設備連動に必要な接点供給工事		○		
20	かご内カメラがある場合、モニター設置場所から制御盤までのかご内カメラ用配管配線工事		○		
21	かご室スピーカーがある場合、放送設備から制御盤までの放送用配管配線工事（非常放送がある場合、３線式とすること）		○		
22	監視盤がある場合、監視盤電源の監視盤までの引込工事及び監視盤から制御盤までの配管配線工事		○		
23	昇降路内の電気工事貫通部分の防火区画処理工事		○		
24	昇降路の換気設備工事 （１）昇降路内温度４０℃及び昇降路温度上昇７℃を超える場合、換気設備を設置すること （２）エレベーター機器発熱量 エレベーター駆動部（　１１００Ｗ） ＋エアコン（　－　Ｗ）			○	

エレベーター荷扱い条件

一度の荷扱い質量は【　２５０ｋｇ以下　】とすること（台車等の質量を含む）

ＮＯ．０１

ＥＶレール支持用ブラケットに作用する地震時水平荷重



Ｆｘ１	Ｆｙ１	Ｆｘ２	Ｆｙ２
４．６６	２．３３	７．２９	３．６５

（単位：ｋＮ）

注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が５mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

注意事項

1	昇降路壁には電気・水道管等の配管・器具を埋め込まないこと
2	昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないこと
3	エレベーターの性能維持のため下記環境条件とすること （１）昇降路内の温度は－５℃～４０℃以内、湿度は月平均９０％・日平均９５％以下且つ急激な温度変化等による結露・氷結がないこと （２）金属を損耗又は腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと ①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガス及び海岸地区における潮風 ※昇降路標準環境の基準例 硫化水素ガス…Ｈ２Ｓ=０．００５［ｐｐｍ］以下 亜硫酸ガス…ＳＯ２=０．０１［ｐｐｍ］以下 塩化水素ガス…ＨＣｌ=０．０５［ｐｐｍ］以下 塩素ガス…Ｃｌ２=０．００５［ｐｐｍ］以下 （プールサイドの場合も含む） アンモニアガス…ＮＨ３=０．１［ｐｐｍ］以下 海岸地区における潮風…海岸より２ｋｍ以上の地区 ※海岸より２ｋｍ未満、プールサイドの場合は昇降路内に潮風・プール方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること ②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵 ③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉 （３）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと（電磁波の電界強度が１０Ｖ／ｍ以下の環境とすること） （４）昇降路の設置場所は標高１０００ｍ以下とすること
4	乗場付近へ風雨吹込む可能性がある場合、対策を講ずること （１）外部から風雨が侵入しないよう雨水よけ設備の設置（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等） （２）乗場に向かって強風が吹くと想定される場合、防風対策（風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあるため）
5	乗場及び駆動・制御装置に直射日光（屋内ガラス越しや反射光を含む）が当たる可能性がある場合、対策を講ずること （センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため）
6	エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段等から最上階及び最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅等占有部を経由しないこと）
7	昇降路内および各階乗場周辺の可燃物（木材・ウレタン等）ガラスに対しての防火対策を講ずること （発泡ウレタンは溶接の火花に引火生する恐れがあるため、昇降路内及び各階乗場付近では使用しないこと）
8	製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います 電動機（巻上機・駆動機）：ＪＥＣ－２１１０、２１３０、 ＪＩＳ　Ｃ－４０３４－１ 制御盤：ＪＥＭ１０２１、１４６０ 尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
9	就労条件：施工作業は「週休二日（４週８休等）」を前提とした期間を確保させていただきます

	つぎの事項を、用意・対応する場合は別途見積となります
1	据付工事用現場詰所及び材料置場
2	据付工事用及び試運転調整用電力、セメント、小石等
3	据付工事用の仮設電源（本設電源と同仕様にて支給願います）
4	重量物の搬入に支障のない通路の確保
5	横引き距離３０ｍを超える重量物の搬入
6	エレベーターシャフトが隣接する場合、落下物防止区画対策安全対策（ネット等）
7	安全柵の先行取り付け（着工前、先行で取り付けた安全柵の管理も含む）
8	展望用エレベーターの場合、施工時のガラス部分養生
9	エレベーターの工事使用
10	完了検査・引渡（施主）検査以外の現場検査立会の実施
11	標準施工手順と異なる施工（乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等）の実施
12	施工写真の撮影

車椅子仕様

１．かご専用操作盤（正・副２面取付）※車椅子マーク付
２．かご内鏡
３．かご内手摺：両側壁２方
４．乗場専用押ボタン（各階）※車椅子マーク付
５．かごの戸光電装置
６．戸開放時間延長（１０秒）
７．戸閉速度制御
８．床合わせ補正装置

視覚障害者仕様

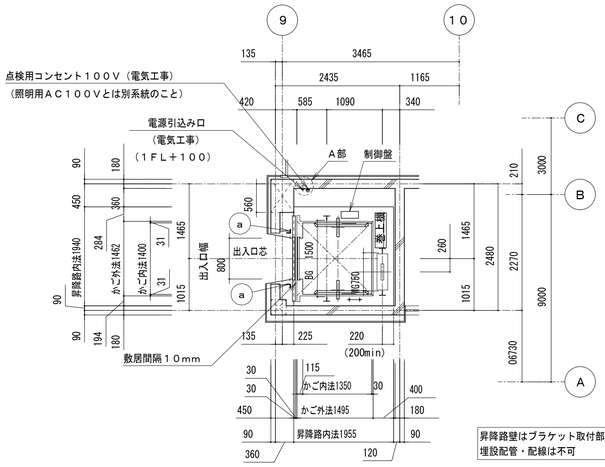
１．各階乗場押ボタンに点字名板貼付
２．かご操作盤に点字名板貼付
３．戸開放時間延長
４．オートアナウンス装置

乗場遮煙ドア設置上の条件

・乗場遮煙ドアを設置するためには，自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても，同設備を設けること。
・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には，乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し，火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。
（無電圧ａ接点，接点電圧ＤＣ２４Ｖ）

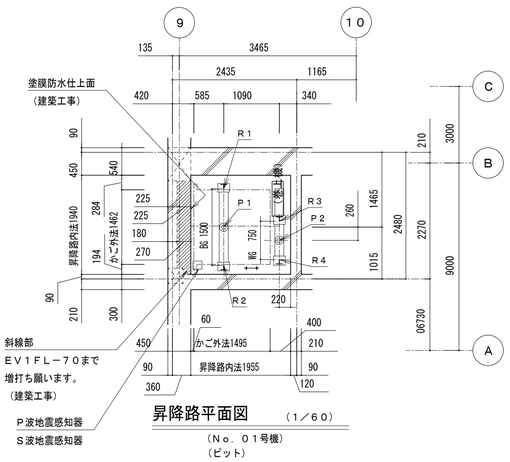
外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは，常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理人室等に設置する場合は，２４時間管理人が常駐する必要がある。
（建築基準法施行令第１２９条の１０第３項第三号）
もしも管理人が常駐しない場合は，以下のいずれかの措置が必要となる。
１．インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
２．管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、
　鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
３．管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
　例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。



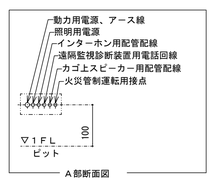
昇降路平面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）
（１階）

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付材	Ｌ－７５×７５×９	建築工事



昇降路平面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）
（ピット）

電源引込み口（１ＦＬ＋１００）
動力用ＡＣ３φ－２１０Ｖ－６０Ｈｚ
照明用ＡＣ１φ－１００Ｖ－６０Ｈｚ
Ｄ種接地工事
電源線引出し長さ　天井高さ＋３５００mm
（電気工事）



Ａ部断面図

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立ち上
げて下さい（建築工事）

昇降路機器はピット底面・側面、
梁・壁（コンクリートの場合）に
あと施工アンカーにより取付を行います

レール下端部荷重（長期荷重）				ピット荷重（短期荷重）	
Ｒ１（ｋＮ）	Ｒ２（ｋＮ）	Ｒ３（ｋＮ）	Ｒ４（ｋＮ）	Ｐ１（ｋＮ）	Ｐ２（ｋＮ）
２８．２	２７．８	４９．８	２３．９	８９．５	７１．６

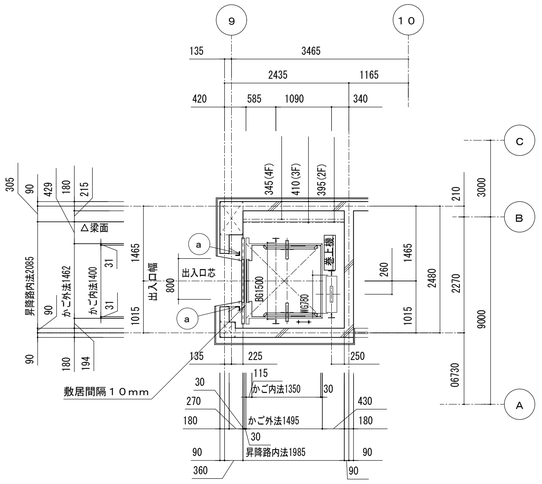
【参考図】

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

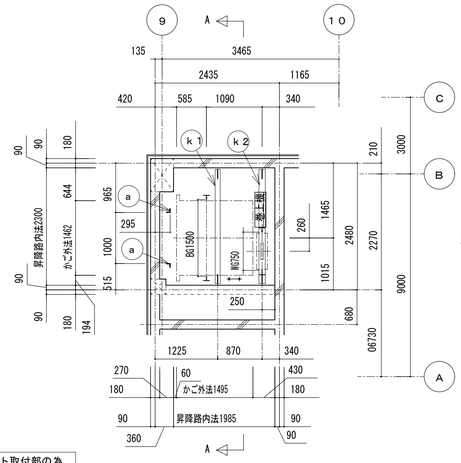
昇降機設備図(1)-A　A1　1/60　A3　1/120　No.

鹿児島市建設局建築部建築課　A－７２

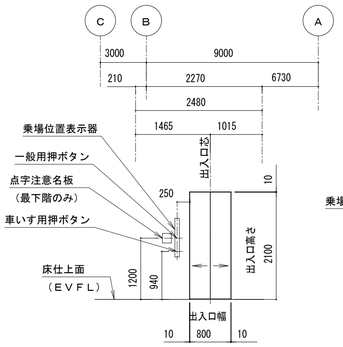


昇降路平面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）
（２－４階）

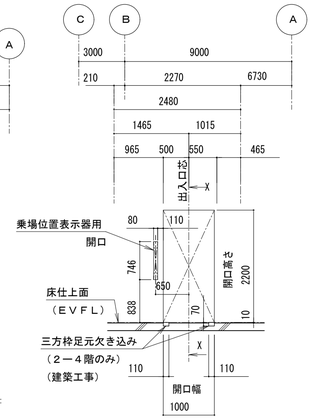
昇降路壁はブラケット取付部の為埋設配管・配線は不可



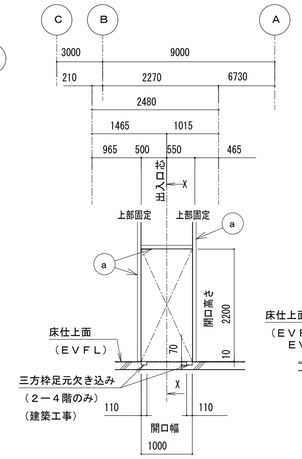
昇降路平面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）
（４階＋３０００）



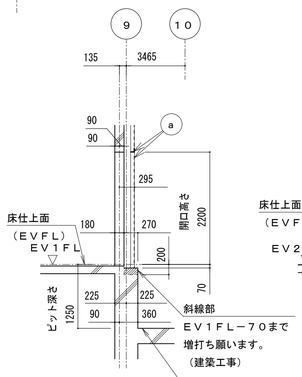
乗場正面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）
（１－４階）



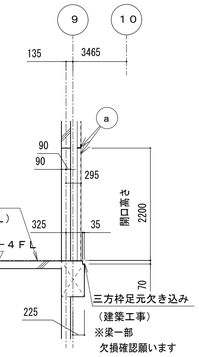
乗場開口図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）
（１－４階）



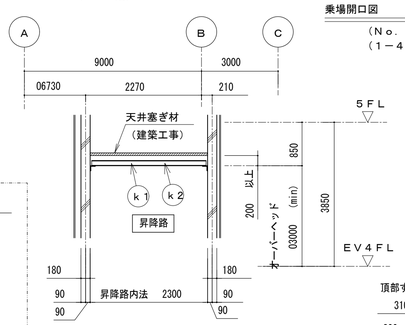
乗場開口図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）
（１－４階）



Ｘ－Ｘ断面
（Ｎｏ．０１号機）
（１階）



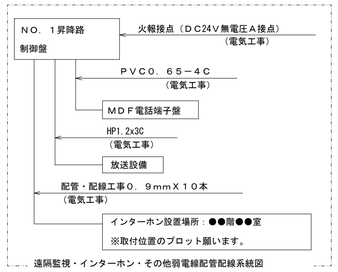
Ｘ－Ｘ断面
（Ｎｏ．０１号機）
（２－４階）



昇降路頂部断面図　（１／６０）

断面Ａ－Ａ

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付材	Ｌ－７５×７５×９	建築工事
ｋ１	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	ＥＶ工事
ｋ２	揚重ビーム	Ｈ－１２５×１２５×６．５×９	ＥＶ工事



遠隔監視・インターホン・その他弱電線配管配線系統図
（電気工事）

動力電源設備（ＣＶＴ電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側ＮＦ容量	感度電流値 動作時間（＊）	電線サイズ	接地線サイズ
０１	ＡＣ３φ２１０Ｖ ６０Ｈｚ	５．１kＷ	５kＶＡ	４０ＡＴ	１００ｍＡ以上 ０．２秒以上	５５ｍまで　８mm² ９６ｍまで　１４mm² １４７ｍまで　２２mm²	３．５mm²

（＊）電源側に漏電遮断器を設置する場合

照明用電源設備

号機名	電源電圧 周波数	照明電源容量	電源側ＮＦ容量
０１	ＡＣ１φ１００Ｖ ６０Ｈｚ	１kＶＡ	２０ＡＴ

高調波対策（高調波流出電流計算値）

	高調波対策内容	機器名称	定格容量（kVA）	台数	合計容量Ｐｉ（kVA）	回路分類細分Ｎｏ．	６パルス換算係数（Ｋｉ）	６パルス等価容量［Ki×Pi］（kVA）	機器最大稼働率（%）	基本電流に対する高調波電流発生率Ｉｎ（%）							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ（標準）	０１号機 機械室レスエレベーター(750kg-60m/min)	6.4	1	6.4	31	3.4	21.7	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	ACリアクトル追加（Ki=1.8相当）					~~32~~	~~1.8~~	~~11.5~~	~~25~~	~~38~~	~~14.5~~	~~7.4~~	~~3.4~~	~~3.2~~	~~1.9~~	~~1.7~~	~~1.3~~

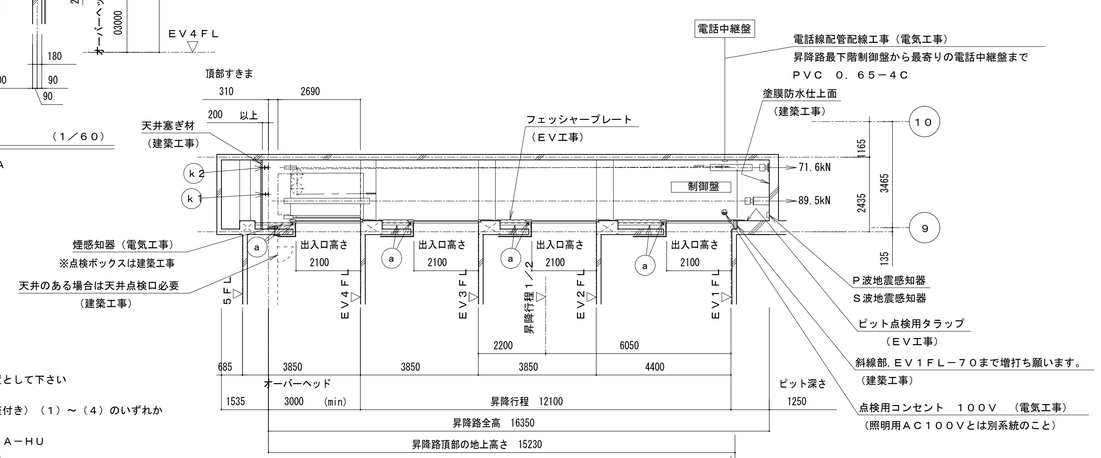
高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※　各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量（mA）} = \frac{\text{合計容量Ｐｉ（ｋＶＡ）}}{\text{受電電圧（ｋＶ）} \times \sqrt{3}} \times 10^{3} \times \text{各次数毎の発生率Ｉｎ（%）} \times \text{機器最大稼働率ｋ（%）}$$

※　エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあるため、
次の対策をお勧めします。
（１）エレベーター動力と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源線・通信線を１ｍ以上分離する。
（２）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源トランスを分離する。
（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（３）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする。

煙感知器（電気工事）
・外部より点検可能な構造として下さい
・雨水浸入が無い様配慮下さい
・ＥＶ連動スイッチ付（ＥＶ工事）
・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
・点検口は下記①または②として下さい
①ＥＶ昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）（１）～（４）のいずれか
（１）ホーチキ　　ＫＵＳ－１Ｃ
（２）能美防災　　ＦＸＳＪ００１Ａ－ＨＵ
（３）ニッタン　　ＮＩＤ－Ｔ－Ｇ
（４）パナソニック　ＢＶ９５３５１（ＢＯＸ）＋ＢＶ９５３８１Ｈ（扉）
②以下２項目を満足する点検口　～「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照
（１）スイッチ取付スペース２００×９０程度確保できる。
（２）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、１mm以上浮かないこと。
※点検ボックスは建築工事



昇降路断面図　（１／１００）
（ＮＯ．０１）

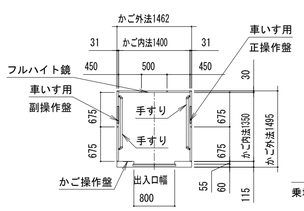
昇降路内の温度は４０℃以下とする

ＥＶ２－４ＦＬ＝建築２－４ＦＬ±０
ＥＶ１ＦＬ＝ＧＬ＋１３０

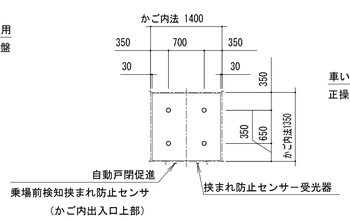
ブラケットスパン　２４６０～３８５０mm

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮して下さい。

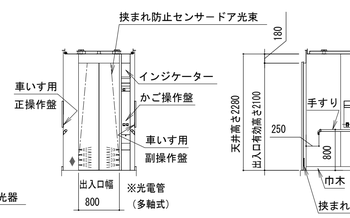
ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階ＦＬ面まで立ち上げて下さい（建築工事）



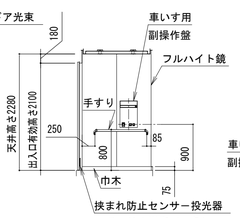
カゴ室平面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）



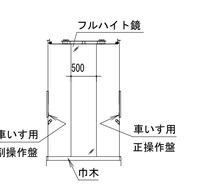
天井伏図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）



カゴ室正面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）

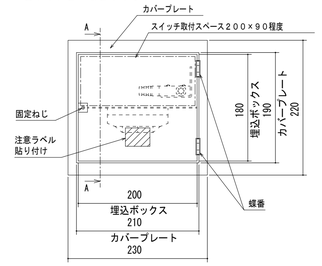


カゴ室側面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）

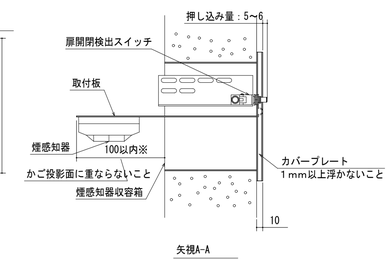


カゴ室背面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０１号機）

ＮＯ．０１号機　かご室意匠仕様	
天井	鋼板塗装（メーカー標準色）
照明	ダウンライト（枠：白） ＬＥＤ照明（白色）４．６Ｗｘ４灯（６０Ｗ相当／１灯）
停電灯	６Ｖ　１０Ｗ×２灯
換気装置	脱臭機能付ウイルス抑制装置付ファン （空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能）
壁	ステンレスヘアライン仕上
出入口上板	ステンレスヘアライン仕上
戸	ステンレスヘアライン仕上
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	ステンレスヘアライン仕上
床仕上部	タイルカーペット（２５ｔ以下）（建築工事）
敷居	ステンレス製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上　ｔ１．５
手すり	ステンレス製パイプ：ヘアライン仕上（φ３８） ブラケット：アルミダイカスト（銀色塗装）



煙感知器・点検ボックス（参考例）
※点検ボックスは建築工事



【参考図】

みのだ・ブランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事
昇降機設備図(2)-A　A１ 1/60,100　A３ 1/120,200　No.
鹿児島市建設局建築部建築課　A－７３

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	０２号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	Ｐ１５－ＣＯ
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（１Ｃ－２ＢＣ）
	積載量	１０００ｋｇ
	定員	１５名
	定格速度	６０ｍ／ｍｉｎ
	戸開方式	２枚戸両引き（ＣＯ）
	出入口幅	９００mm
	出入口高さ	２１００mm
	かご室サイズ（内法間口）	１６００mm
	かご室サイズ（内法奥行）	１５００mm
	かご室内法高さ	２３００mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	４停止（１－４階）
	動力用電源	ＡＣ３φ－２１０Ｖ－６０Ｈｚ
	照明用電源	ＡＣ１φ－１００Ｖ－６０Ｈｚ
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスＡ１４
	戸開走行保護装置	あり
	敷居間隔	１０mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	Ｐ波＋Ｓ波センサ付３段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご呼び取消機能	あり
乗場仕様	乗場三方枠	小枠　ステンレスバイブレーション仕上（１－４階）
	乗場戸	ステンレスバイブレーション仕上（１－４階）
	乗場敷居	ステンレス製（１－４階）
	乗場インジケーター	一体セグメントＬＥＤ（橙色）　ステンレスバイブレーション仕上（１－４階）
	乗場インジケーター一体形ボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート（１－４階）
	乗場インジ運行表示灯１	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン一体形　ステンレスバイブレーション仕上（１－４階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート（１－４階）
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込
かご室仕様	天井	スタンダード：ダウンライト（白色）　天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	ステンレスヘアライン仕上
	側面壁	ステンレスヘアライン仕上
	袖壁	ステンレスヘアライン仕上
	出入口上板	ステンレスヘアライン仕上
	かご室戸	ステンレスヘアライン仕上
	巾木	ステンレスヘアライン仕上
	かご床	床仕上材ご指定品（２５ｔ以下）（建築工事）
	かご室敷居	ステンレス製　２枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン仕上
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（１０．１インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英／中韓切替）、緊急時（日英中韓）
	車いす専用かご操作盤	両側面　ステンレスヘアライン仕上
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットＬＥＤ（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	脱臭機能付ウィルス抑制装置付ファン（空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能）
	かご室手すり	丸形ステンレス　二面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（Ｗ＝５００）
その他仕様	挟まれ防止ドアセンサー	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸センサ-付き）
	乗場前検知挟まれ防止センサー	あり
	遮煙機能	大臣認定品　２枚戸両引き用（１－４階）（認定番号　ＣＡＳ－１２４７（２））
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	冠水時管制運転	あり
	インターホン型式	２４Ｖ
	戸開延長ボタン	ステンレスクリックボタン（□３２・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	かご内アナウンス	かご内４ヵ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室音響	かご室スピーカー
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（２－４階）
	レール支持方式	１フロア１ブラケット
	揺重ビーム手配	エレベーター手配
	煙感知器点検ロスイッチ	正面側上部取付
	仮設動力電源	１式

(04780)

No. 02

工事区分表

	工事内容	建築	電気	設備	EV
1	昇降路の築造工事及び各階出入口、乗場機器等の穴あけ工事 （１）エレベーター施工図に対し、コンクリート打ちの誤差が生じた場合、必要に応じ、はつり又は肉付けのこと （２）昇降路壁は５ｃｍ２切り３００Ｎの外力が作用した時に１５mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること （３）コンクリート強度は２１Ｎ／mm２以上のこと （４）昇降路の構造は不燃材又は難燃認定材で作り覆うこと	○			
2	エレベーター機器搬重用のフック又はビームの設置工事				○
3	乗場機器取付後の出入口まわりの壁及び床の仕上工事	○			
4	各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事	○			
5	通過階がある場合、非常救出口の設置工事	○			
6	２方向出入口の場合、かごドア点検口の設置工事	○			
7	ピット防水工事	○			
8	ピット下部の使用がある場合、二重スラブ等の建築対策工事	○			
9	ピット段違いの場合、保護柵設置工事	○			
10	ピットが深い場合、埋め戻し・浅い場合、はつり工事	○			
11	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウト及び各種防音・防振工事	○			○
12	その他建築に関する工事	○			
13	動力用電源・照明用電源・接地線の受電端子までの引込工事 （鬆ぎ込み工事含む） （１）電源電圧変動は＋５％～－１０％以内、電圧不平衡率５％以内のこと （２）遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること （３）エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあるため、対策を講ずること		○		
14	ピット内点検用コンセント設置工事（照明用電源とは別系統のこと）		○		
15	昇降路内の煙感知器及び点検口の設置工事 （１）点検口は錠付とし、戸開時にはエレベーターを停止させること（停止スイッチはＥＶ工事） （２）建物に自火報設備がない場合、遮煙ドア適用階のエレベーターホールには火災感知器又は煙感知器を設置のこと		○		○
16	インターホン取付位置から制御盤までの配管配線工事		○		
17	火災時管制運転がある場合、火報信号の制御盤までの配管配線工事		○		
18	エレベーター遠隔監視用配管配線工事（最寄の電話中継盤から制御盤まで）		○		
19	その他設備運動に必要な接点供給工事		○		
20	かご内カメラがある場合、モニター設置場所から制御盤までのかご内カメラ用配管配線工事		○		
21	かご室スピーカーがある場合、放送設備から制御盤までの放送用配管配線工事（非常放送がある場合、３線式とすること）		○		
22	監視盤がある場合、監視盤電源の監視盤までの引込工事及び監視盤から制御盤までの配管配線工事		○		
23	昇降路内の電気工事貫通部分の防火区画処理工事		○		
24	昇降路の換気設備工事 （１）昇降路内温度４０℃及び昇降路温度上昇７℃を超える場合、換気設備を設置すること （２）エレベーター機器発熱量 エレベーター駆動部（　１４００Ｗ） ＋エアコン（　－　Ｗ）			○	

エレベーター荷扱い条件

一度の荷扱い質量は【　２５０ｋｇ以下　】とすること（台車等の質量を含む）

	つぎの事項を、用意・対応する場合は別途見積となります
1	据付工事用現場詰所及び材料置場
2	据付工事用及び試運転調整用電力、セメント、小石等
3	据付工事用の仮設電源（本設電源と同仕様にて支給願います）
4	重量物の搬入に支障のない通路の確保
5	横引き距離３０ｍを超える重量物の搬入
6	エレベーターシャフトが隣接する場合、落下物防止区画対策安全対策（ネット等）
7	安全柵の先行取り付け（着工前、先行で取り付けた安全柵の管理も含む）
8	展望用エレベーターの場合、施工時のガラス部分養生
9	エレベーターの工事使用
10	完了検査・引渡（施主）検査以外の現場検査立会の実施
11	標準施工手順と異なる施工（乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等）の実施
12	施工写真の撮影

乗場遮煙ドア設置上の条件

・乗場遮煙ドアを設置するためには，自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても，同設備を設けること。
・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には，乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し，火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧ａ接点，接点電圧ＤＣ２４Ｖ）

注意事項

1	昇降路壁には電気・水道管等の配管・器具を埋め込まないこと
2	昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないこと
3	エレベーターの性能維持のため下記環境条件とすること （１）昇降路内の温度は－５℃～４０℃以内、湿度は月平均９０%・日平均９５%以下且つ急激な温度変化等による結露・氷結がないこと （２）金属を損耗又は腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと ①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガス及び海岸地区における潮風 ※昇降路標準環境の基準例 硫化水素ガス…Ｈ２Ｓ=０．００５［ｐｐｍ］以下 亜硫酸ガス…ＳＯ２=０．０１［ｐｐｍ］以下 塩化水素ガス…ＨＣｌ=０．０５［ｐｐｍ］以下 塩素ガス…Ｃｌ２=０．００５［ｐｐｍ］以下 （プールサイドの場合も含む） アンモニアガス…ＮＨ３=０．１［ｐｐｍ］以下 海岸地区における潮風…海岸より２ｋｍ以上の地区 ※海岸より２ｋｍ未満、プールサイドの場合は昇降路内に潮風・プール方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること ②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵 ③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉 （３）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと（電磁波の電界強度が１０Ｖ／m以下の環境とすること） （４）昇降路の設置場所は標高１０００m以下とすること
4	乗場付近へ風雨吹込む可能性がある場合、対策を講ずること （１）外部から風雨が侵入しないよう雨水よけ設備の設置（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等） （２）乗場に向かって強風が吹くと想定される場合、防風対策（風圧により乗場の戸が開まらない恐れがあるため）
5	乗場及び駆動・制御装置に直射日光（屋内ガラス越しや反射光を含む）が当たる可能性がある場合、対策を講ずること （センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため）
6	エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段等から最上階及び最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅等占有部を経由しないこと）
7	昇降路内および各階乗場周辺の可燃物（木材・ウレタン等）ガラスに対しての防火対策を講ずること （発泡ウレタンは溶接の火花に引火生する恐れがあるため、昇降路内及び各階乗場付近では使用しないこと）
8	製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います 電動機（巻上機・駆動機）：ＪＥＣ－２１１０、２１３０、ＪＩＳ　Ｃ－４０３４－１ 制御盤：ＪＥＭ１０２１、１４６０ 尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
9	就労条件：施工作業は「週休二日（４週８休等）」を前提とした期間を確保させていただきます

車椅子仕様

１．かご専用操作盤（正・副２面取付）※車椅子マーク付
２．かご内鏡
３．かご内手摺：両側壁２方
４．乗場専用押ボタン（各階）※車椅子マーク付
５．かごの戸光電装置
６．戸開放時間延長（１０秒）
７．戸閉速度制御
８．床合わせ補正装置

視覚障害者仕様

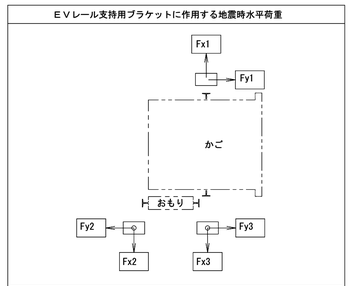
１．各階乗場押ボタンに点字名板貼付
２．かご操作盤に点字名板貼付
３．戸開放時間延長
４．オートアナウンス装置

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは，常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理人室等に設置する場合は，２４時間管理人が常駐する必要がある。
（建築基準法施行令第１２９条の１０第３項第三号）
もしも管理人が常駐しない場合は，以下のいずれかの措置が必要となる。
１．インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
２．管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、
　鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
３．管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
　例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。

ＮＯ．０２

ＥＶレール支持用ブラケットに作用する地震時水平荷重

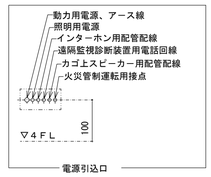


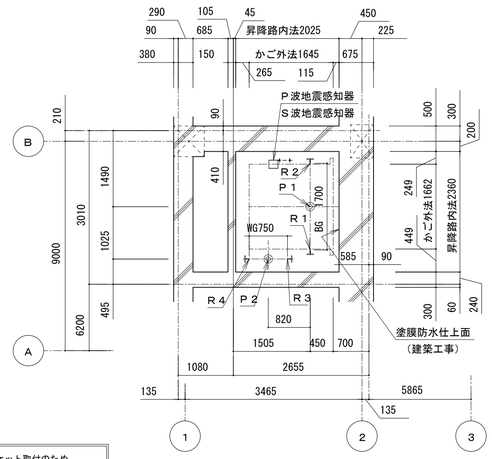
Ｆｘ１	Ｆｙ１	Ｆｘ２	Ｆｙ２	Ｆｘ３	Ｆｙ３
６．２４	５．７３	４．９１	９．８１	１１．１４	１２．９３

（単位：ｋＮ）

注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が５mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

電源引込み口（４ＦＬ＋２６００~３０００mm）
動力用ＡＣ３φ－２１０Ｖ－６０Ｈｚ
照明用ＡＣ１φ－１００Ｖ－６０Ｈｚ
Ｄ種接地工事
電源線引出し長さ　１００００mm
（電気工事）



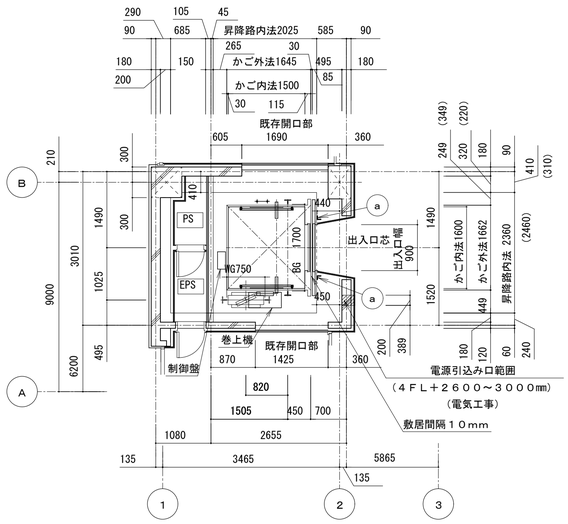


ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階ＦＬ面まで立ち上げて下さい（建築工事）

昇降路平面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０２号機）
（ピット）

昇降路機器はピット底面・側面、梁・壁（コンクリートの場合）にあと施工アンカーにより取付を行います

レール下端部荷重（長期荷重）				ピット荷重（短期荷重）	
Ｒ１（ｋＮ）	Ｒ２（ｋＮ）	Ｒ３（ｋＮ）	Ｒ４（ｋＮ）	Ｐ１（ｋＮ）	Ｐ２（ｋＮ）
５．９	３１．３	５６．２	２５．３	１１９．８	９９．２



昇降路平面図　（１／６０）
（Ｎｏ．０２号機）
（１－４階）
※（　）寸法は２－４階を示す

昇降路壁はブラケット取付部の為埋設配管・配線は不可

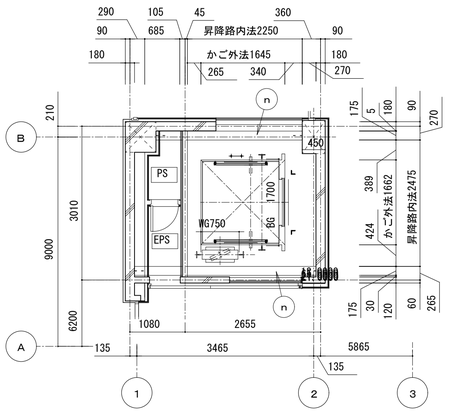
部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付材	Ｌ－７５×７５×９	建築工事

【参考図】

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

昇降機設備図(3)-A	A１　1/60 A３　1/120	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		Ａ－　７４

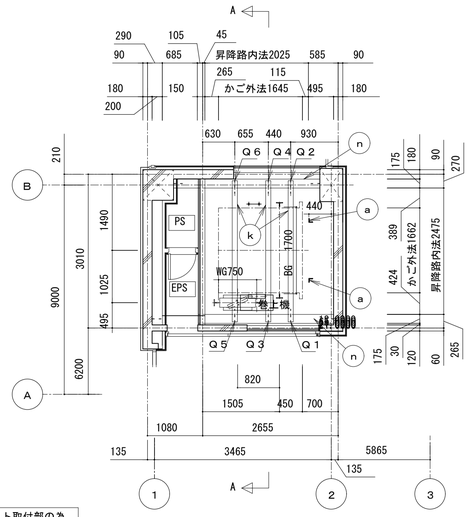


（Ｎｏ．０２号機）

昇降路平面図　（１／６０）

（中間ビームレベル）
（ＥＶ１ＦＬ＋３３００）

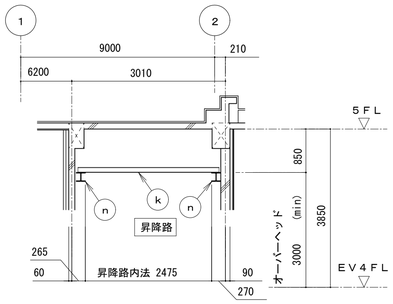
昇降路壁はブラケット取付部の為
埋設配管・配線は不可



（Ｎｏ．０２号機）

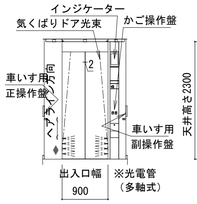
昇降路平面図　（１／６０）

（ＥＶ４ＦＬ＋３０００）



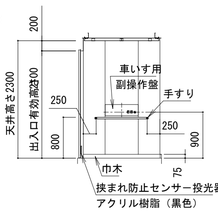
昇降路頂部断面図　（１／６０）

断面Ａ－Ａ



カゴ室正面図　（１／６０）

（Ｎｏ．０２号機）



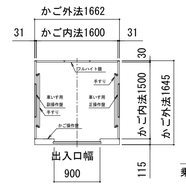
カゴ室側面図　（１／６０）

（Ｎｏ．０２号機）

カゴ室背面図　（１／６０）

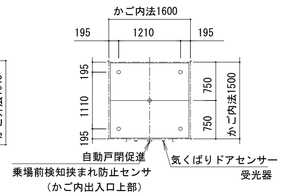
（Ｎｏ．０２号機）

ＮＯ．０２号機　かご室意匠仕様	
天井	鋼板塗装（メーカー標準色）
換気装置	脱臭機能付ウィルス抑制装置付ファン （空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能）
照明	ダウンライト　枠：ホワイト ＬＥＤ照明（白色）
停電灯	主照明兼用式
壁	ステンレスヘアライン仕上
出入口上板	ステンレスヘアライン仕上
戸	ステンレスヘアライン仕上
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	ステンレスヘアライン仕上
床仕上部	床仕上材ご指定品（２５ｔ以下）（エレベーター工事）
敷居	ステンレス製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上　ｔ１．５
手すり	ステンレスヘアライン仕上（φ３２）　キャップ：樹脂（パールメッキ） ブラケット：アルミ　ブラケットカバー：樹脂（パールメッキ）



カゴ室平面図　（１／６０）

（Ｎｏ．０２号機）



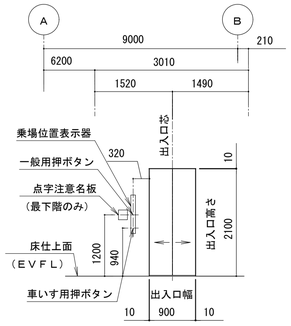
天井伏図　（１／６０）

（Ｎｏ．０２号機）

揚重ビームに掛かる荷重　　Ｎｏ．０２

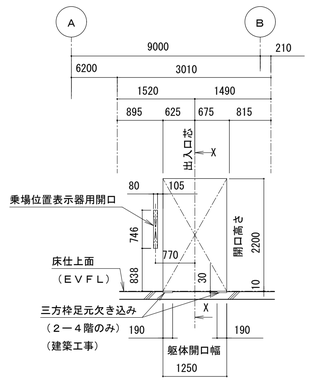
Ｑ１（ｋＮ）	Ｑ２（ｋＮ）	Ｑ３（ｋＮ）	Ｑ４（ｋＮ）	Ｑ５（ｋＮ）	Ｑ６（ｋＮ）
６．０	２．０	８．０	１１．０	１８．０	１１．０

Ｑ１～Ｑ６はＥＶ据付時に作用する



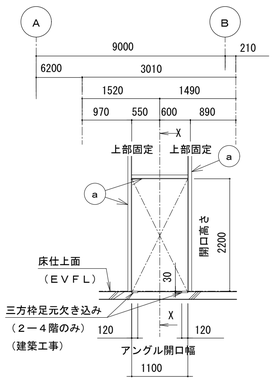
乗場正面図　（１／６０）

（Ｎｏ．０２号機）
（１－４階）



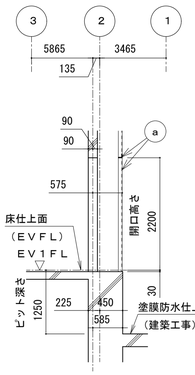
乗場開口図　（１／６０）

（Ｎｏ．０２号機）
（１－４階）



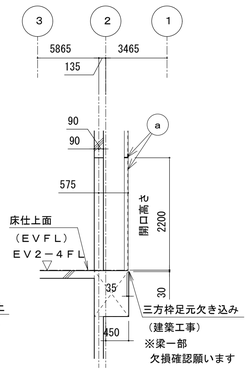
乗場開口図　（１／６０）

（Ｎｏ．０２号機）
（１－４階）



Ｘ－Ｘ断面

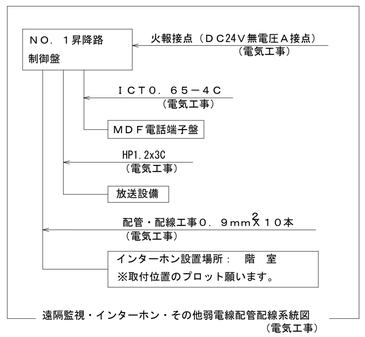
（Ｎｏ．０２号機）
（１階）



Ｘ－Ｘ断面

（Ｎｏ．０２号機）
（２－４階）

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付材	Ｌ－７５×７５×９	建築工事
k	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	ＥＶ工事
n	中間ビーム	Ｈ－１７５×１７５×７．５×１１	建築工事



照明用電源設備

号機名	電源電圧 周波数	照明電源容量	電源側ＮＦ容量
０２	ＡＣ１φ１００Ｖ ６０Ｈｚ	１ｋＶＡ	２０ＡＴ

動力電源設備（ＣＶＴ電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側ＮＦ容量	感度電流値（＊） 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
０２	ＡＣ３φ２１０Ｖ ６０Ｈｚ	６．８ｋＷ	６ｋＶＡ	５０ＡＴ	１００ｍＡ以上 ０．２秒以上	４７ｍまで　８mm2 ８１ｍまで　１４mm2 １２４ｍまで　２２mm2	３．５mm2

（＊）電源側に漏電遮断器を設置する場合

高調波対策（高調波流出電流計算値）

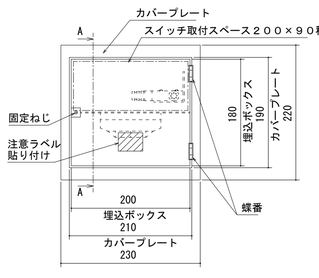
高調波対策内容		機器名称	定格容量（kVA）	台数	合計容量Ｐｉ（kVA）	回路分類細分Ｎｏ．	６パルス換算係数（Ｋｉ）	６パルス等価容量［Ki×Pi］（kVA）	機器最大稼働率（%）	基本電流に対する高調波電流発生率Ｉｎ（%） 5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ（標準）	０２号機 機械室レスエレベーター(1000kg-60m/min)	8.5	1	8.5	31	3.4	28.9	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	DCリアクトル追加（Ki=1.8相当）					33	1.8	15.3	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※　各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

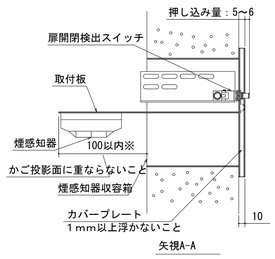
$$\text{各次数毎の高調波流出電流量（mA）} = \frac{\text{合計容量Ｐｉ（ｋＶＡ）}}{\text{受電電圧（ｋＶ）} \times \sqrt{3}} \times 10^{3} \times \text{各次数毎の発生率Ｉｎ（%）} \times \text{機器最大稼働率ｋ（%）}$$

※　エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあるため、
次の対策をお勧めします。
（１）エレベーター動力と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源線・通信線を１ｍ以上分離する。
（２）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源トランスを分離する。
（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（３）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする。

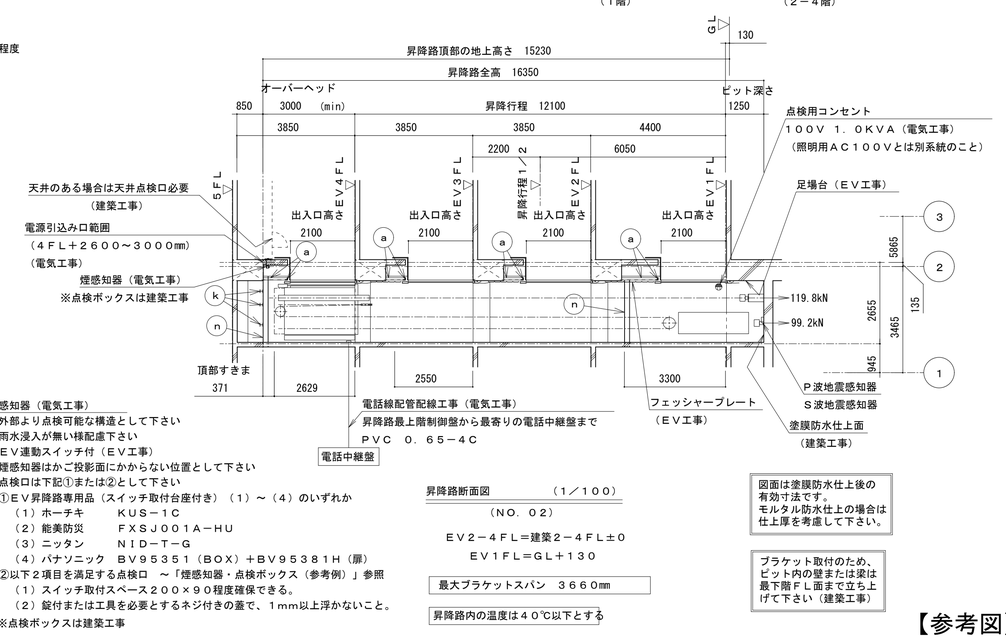


煙感知器・点検ボックス（参考例）

※点検ボックスは建築工事



煙感知器（電気工事）
・外部より点検可能な構造として下さい
・雨水浸入が無い様配慮下さい
・ＥＶ連動スイッチ付（ＥＶ工事）
・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
・点検口は下記①または②として下さい
①ＥＶ昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）（１）～（４）のいずれか
（１）ホーチキ　　ＫＵＳ－１Ｃ
（２）能美防災　　ＦＸＳＪ００１Ａ－ＨＵ
（３）ニッタン　　ＮＩＤ－Ｔ－Ｇ
（４）パナソニック　ＢＶ９５３５１（ＢＯＸ）＋ＢＶ９５３８１Ｈ（扉）
②以下２項目を満足する点検口　～「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照
（１）スイッチ取付スペース２００×９０程度確保できる。
（２）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、１mm以上浮かないこと。
※点検ボックスは建築工事



昇降路断面図　（１／１００）

（ＮＯ．０２）

ＥＶ２－４ＦＬ＝建築２－４ＦＬ±０
ＥＶ１ＦＬ＝ＧＬ＋１３０

最大ブラケットスパン　３６６０mm

昇降路内の温度は４０℃以下とする

図面は塗膜防水仕上後の
有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合は
仕上厚を考慮して下さい。

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立ち上
げて下さい（建築工事）

【参考図】

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	昇降機設備図(4)-A	A１　1/60,100 A３　1/120,200	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		Ａ－７５

エレベーター仕様

基本仕様	号機名	NO.1
	型式	機械室レス標準型エレベーター
	用途	乗用兼車いす用
	定格積載質量/定員	750kg/11人乗
	定格速度	60m/min
	運転方式	乗合全自動方式（乗り捨て方式）
	制御方式	インバータ制御方式（イコン制御）
	停止階	4箇所（1～4 階）
	かご寸法	間口1400mm　奥行1350mm　天井高さ2250mm
	出入口寸法	幅800mm　高さ2100mm
	戸型式	２枚戸中央開き
	電動機	AC 4.6kW
	動力用電源	AC 3φ 200V 60Hz
	照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz
	連絡装置	同時通話式インターホン
	設置場所	設置場所：1階（　　）
	監視装置	リモートメンテナンスインターフェース付（リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約をしていただく必要があります）
管制運転	地震	有り（Ｐ波およびＳ波感知）（リスタート機能付）
	火災	有り（火報と連動した接点による自動式）
	停電	有り
	自家発	無し
乗場仕様	三方枠	1～4階　小枠 ステンレスヘアライン仕上
	乗場戸	1～4階　ステンレスヘアライン仕上
	幕板	1～4階　無し
	敷居	1～4階　ステンレス製
	ホールランタン	1～4階　無し
	インジケーター	1～4階　縦型デジタル表示 カバー：ステンレスヘアライン仕上
	ホールボタン	1～4階　ステンレス凸文字ボタン（φ35） インジケーターに組込
かご仕様	天井	スタンダード（メーカー標準天井照明色：白色）
	前側板	ステンレスヘアライン仕上
	側板	ステンレスヘアライン仕上
	戸	ステンレスヘアライン仕上
	出入口上部	ステンレスヘアライン仕上
	床	床仕上げ材建築支給（建築工事）（建築取付）
	幅木	ステンレスヘアライン仕上
	敷居	ステンレス製
	操作盤 ボタン	ステンレス凸文字ボタン（φ35）
	操作盤 カバー	ステンレスヘアライン仕上
	インジケーター	カラー液晶表示（背景色：白）操作盤に組込
	車いす用操作盤 ボタン	ステンレス凸文字ボタン（φ35）
	車いす用操作盤 カバー	ステンレスヘアライン仕上
	気くばり操作盤 ボタン	無し
	気くばり操作盤 カバー	無し
	鏡	ステンレス製（フルハイトミラー）
	ハンドレール	ステンレスパイプ：ステンレスヘアライン仕上（２方向）
	監視盤	無し
	耐震クラス	A14

NO.1
昇降機技術基準の解説 2016年版対応
ピット冠水退避運転（基本仕様）
音声案内装置付（緊急時4ヵ国語）
多光軸ドアセンサー
遮煙性能付乗場戸(医認定品)(火災、停電付)（1～4階）
点字注意銘板付（横型）
車いす仕様付
視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
フェッシャプレート付
特記仕様 昇降路内同軸ケーブル付（昇降路外は電気工事）
特記仕様 車いす呼び戸開き時間延長
特記仕様 一般呼び戸開き時間延長
特記仕様 発音式ボタン（かご）
非常放送・一般放送用スピーカー付（かご天井上）
スピーカー用アッテネータをかご上に設置
乗り場側利用者検知機能付
かご戸袋引き込まれ低減機能付
かご床マット付
煙感知器点検扉用ドアスイッチ付
公共建築工事標準仕様書適用
４ｍレール使用
ステンレス材一式：ＳＵＳ３０４
中間ビーム付（2列）
吊りビーム
-V-

工事区分

号機名	NO.1				
	項目	工事名	建築	電気	空衛	ELV
昇降路	1	昇降路の築造と誤差修正工事 1）壁または囲いは隙間なきものとする 2）昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、任意の5cm² の面に これと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと 3）コンクリート厚さは150mm以上とする 4）コンクリート基準圧縮強度 21N/mm²以上とする	○			
	2	昇降路内鉄骨構造階の構造耐火処理工事および補修工事	○			
	3	各階出入口まわり壁の穴あけ工事（出入口、ホールボタン、インジケータ、ホールモニターなど）	○			
	4	エレベーター据付後の出入口壁および床その他建築仕上及び補修工事	○			
	5	三方枠、インジケータなどと壁間の防火区画処理	○			
	6	三方枠、インジケータなどと壁間のすき家ぎ工事（ふさぎ板またはラス材）				○
	7	ピット内防水仕上工事（ピット仕上面の水平度は1/200以下）	○			
	8	並設されたエレベーターの最下階が異なる場合のピット間仕切り工事（H=1800以上）	○			
	9	オーバーヘッド・ピット寸法が図面と異なる場合のはつり・埋の戻し工事	○			
	10	ピット点検用タラップまたは梯子の設置工事				○
	11	ピット点検用コンセント設置工事（1ヶ/台）		○		
	12	インターホンならびにその他の機器（放送（一般・非常）自家発用電源識別接点・火災時管制用接点・防犯カメラ等）用配管、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	13	昇降路内の変電制御盤への動力電源、照明用電源およびアース線の引き込みならびにつなぎ込み工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	14	監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事（監視盤配置場所より昇降路最下階の制御盤位置まで引き込み）		○		
	15	昇降路頂部の煙感知器の設置工事（昇降路外部から保守点検可能な構造）（点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製）		○		
	16	昇降路頂部の煙感知器点検扉ELV連動停止スイッチ取付				○
	17	リモートメンテナンス用として電話中継盤から昇降路までの配管（最小直径25mm）、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	18	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート取付用下地設置工事	○			
	19	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート設置工事				○
	20	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事		○		
	21	昇降路頂部への吊りビーム設置工事	○			
	22	昇降路内の中間ビーム及び立柱設置工事（鉄骨階）	○			
	23	レール・三方枠・敷居・ホールボタン・インジケータなどの固定用鋼材設置工事および誤差是正工事	○			
	24	不停止階の昇降路敷出口扉の設置工事（施行令129条の1の1による）	○			
	25	かごドレン式ウーラー設置時のピット排水管工事	○			
	26	昇降路内温度が40℃超過の場合のガラリ設置工事	○			
	27	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事		○		
	28	昇降路内温度が5℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事			○	
その他	1	エレベーター部品搬入経路の確保（必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋の戻し工事）	○			
	2	エレベーター重量部品搬入の際の仮設揚重機の貸与	○			
	3	エレベーター据付工事員現場詰所および材料置場の確保	○			
	4	エレベーター据付工事用電力の供給（動力用および照明用電源）	○	○		
	5	エレベーター運転調整用電力の供給（動力用および照明用電源ともに本設電源配管経路で引き込み）	○	○		
	6	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事		○		
	7	昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防振工事	○			
	8	昇降路内建築工事仮設床（水平養生）用の金網・デッキプレートなどの撤去工事	○			
	9	エレベーター着工前の各階出入り口開口部の塞ぎ材支給および施工	○			
	10	出入口が直接外気と接する乗場における雨水よけ工事（庇、水切り等）	○			
	11	昇降路内仮設足場の設置および解体工事	○			
	12	エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し	○			
	13	昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事	○			
	14	ALC継目の補修、セパボルトの撤去	○			
	15	監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事		○		

・三方枠が大枠の場合、枠幅が300mm、幕板高さ1250mm以上を超える時は別途見積りとなります。
・工事使用者：１０日未満（１０日以上使用の場合、また積載量：１０００ｋｇ以上場合は別途見積りとなります）
・エレベーター出入口側の壁がＡＬＣの場合、エレベーター機器と干渉しないよう、ＡＬＣ留め金具がエレベーターシャフト側へ出張らないよう施工お願いします。

電気設備

号機名	NO.1			
動力用電源	AC 3φ 200V 60Hz 14mm²×1回路（CV）/台			
	線サイズ（mm²）	8	14	22
	最大引込距離（m）	64	111	170
	ＭＣＢ容量	40A/台		
	トランス容量	5kVA/台		
	起動KVA	16kVA/台		
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz 5.5mm²×1回路/台			
アース線	3.5mm²（D種）/台			
インターホン用配管配線	FCPEVO.9-7P/台（200mまで）			
リモートメンテナンス用配管配線（電話線）	CPEVO.9-1P，配管サイズφ25/台（MDF～昇降路間）			
ピット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上×1個/台（最下階FL+200の出入口付近に設置）			
火災報知信号無電圧ａ接点受給及び配管配線	印加電圧DC24V　接点容量1A以上/台			
一般兼非常放送用スピーカー用配管配線	HP1.2-3C/台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で引込み			

労基法適用（本設用）：　有（設置届・設置報告）・　無

耐震クラス：Ａ１４

ガイドレール部分荷重（N）	かご側 ＰＸ	かご側 ＰＹ	ウェート側 ＰＸ	ウェート側 ＰＹ
NO.1	4400	2500	6750	3400

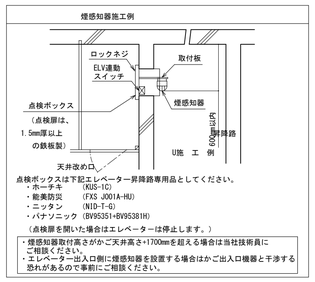
注）　上記荷重により柱及びはりのたわみは５mm以下になるよう部材を設計下さい

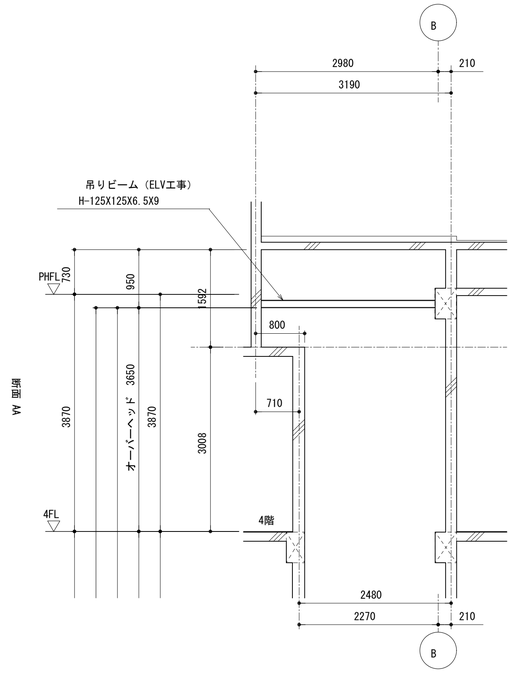
地震時建物に掛る荷重

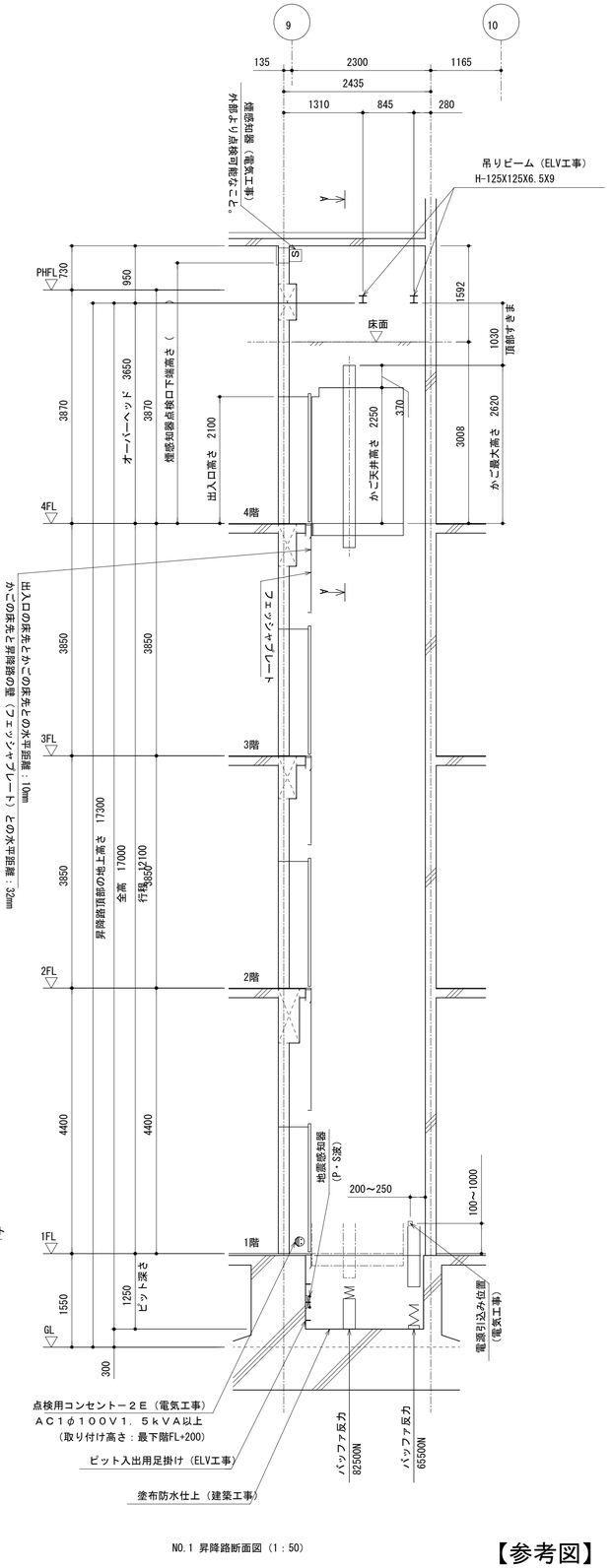
標準型エレベーターの荷役制限について
・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

遮煙性能付乗場戸設置上の条件
・遮煙性能付乗場戸を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。
　設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。
・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、遮煙性能付乗場戸設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器設置し、
　火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給してください。

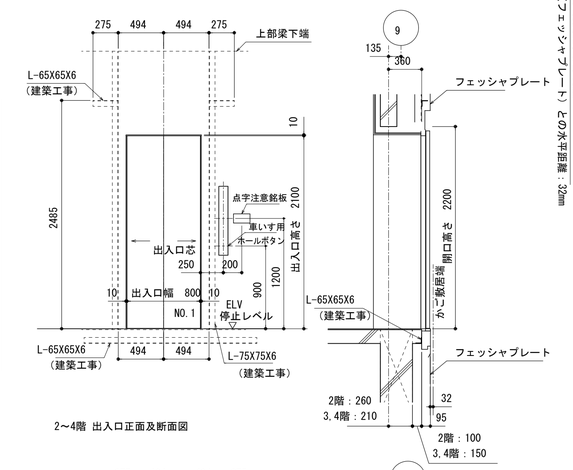
特定防火設備：防犯窓ガラス設置不可（防犯あみ入りガラス窓付きの場合は防火設備となります）



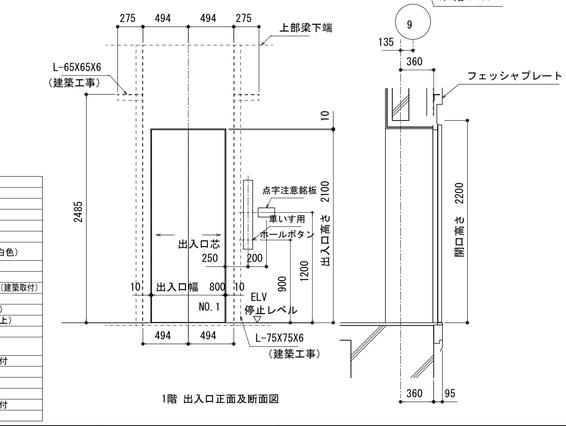




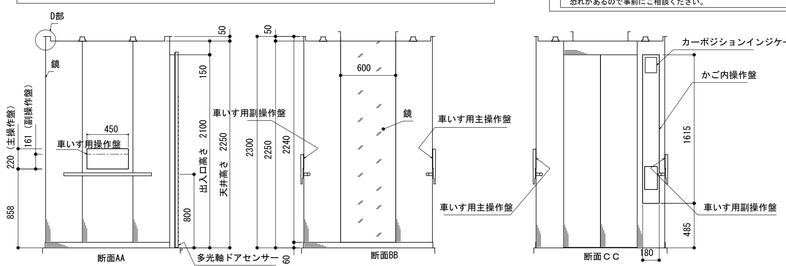
NO.1 昇降路断面図（1：50）

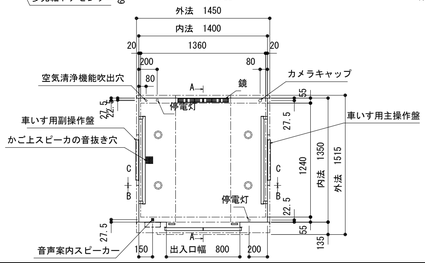


2～4階 出入口正面及断面図



1階 出入口正面及断面図



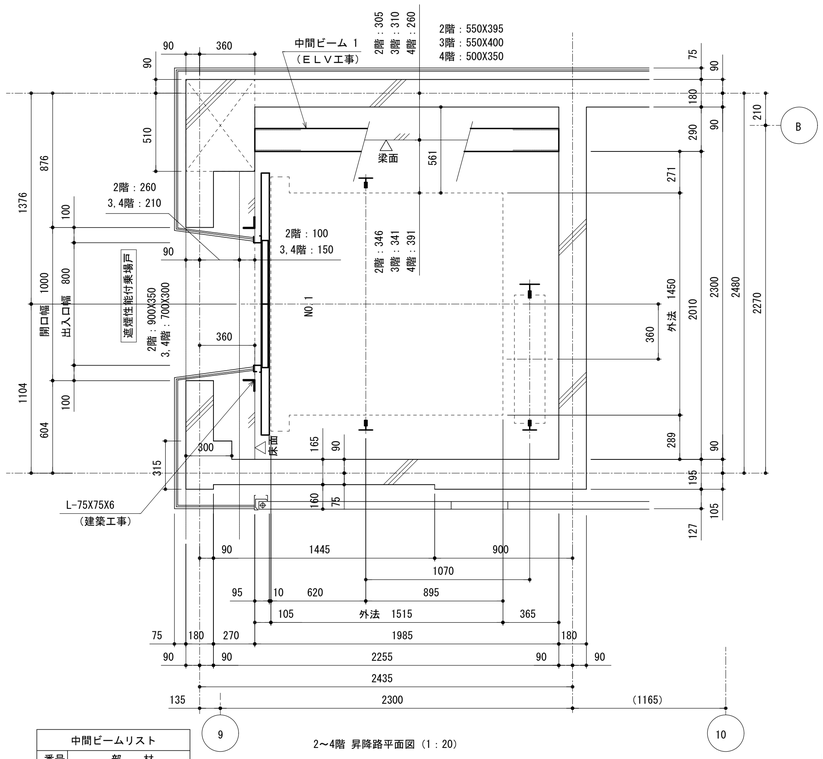


品名	仕様
前側板	ステンレスヘアライン仕上
出入口上部枠	ステンレスヘアライン仕上
幅木	ステンレスヘアライン仕上
側板，戸	ステンレスヘアライン仕上
天井	化粧鋼板
照明	LEDダウンライト（天井照明色：白色）
停電灯	LED
換気	ファン
床	床仕上材（※1）建築支給（建築工事）（建築取付）
敷居	ステンレス製
鏡（フルハイトミラー）	ステンレス鏡面仕上（後側板中央）
ハンドレール	ステンレスパイプ（ヘアライン仕上）
光電装置	多光軸ドアセンサー
天井換気ルーバー，カメラキャップ	ABS樹脂
付属品	車いす仕様付，視覚障がい者仕様付
	かご戸袋引き込まれ低減機能付
	乗り場側利用者検知機能付
	音声案内装置付
	非常放送・一般放送用スピーカー付
	かご床マット付

【参考図】

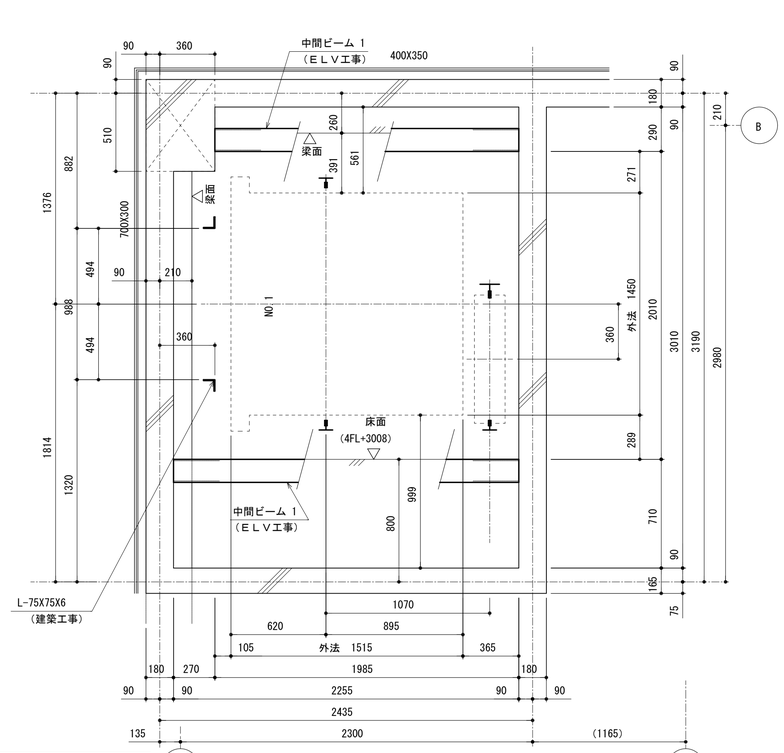
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
昇降機設備図(5)-B	A１ 1/50 A３ 1/100	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		A － 76



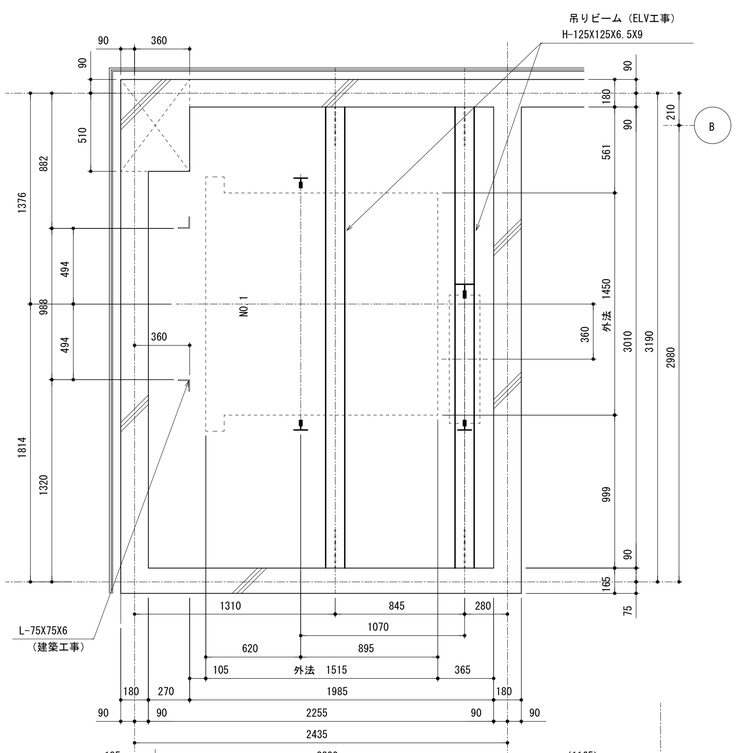
中間ビームリスト	
番号	部　材
1	[-150X75X9

2～4階 昇降路平面図（1：20）

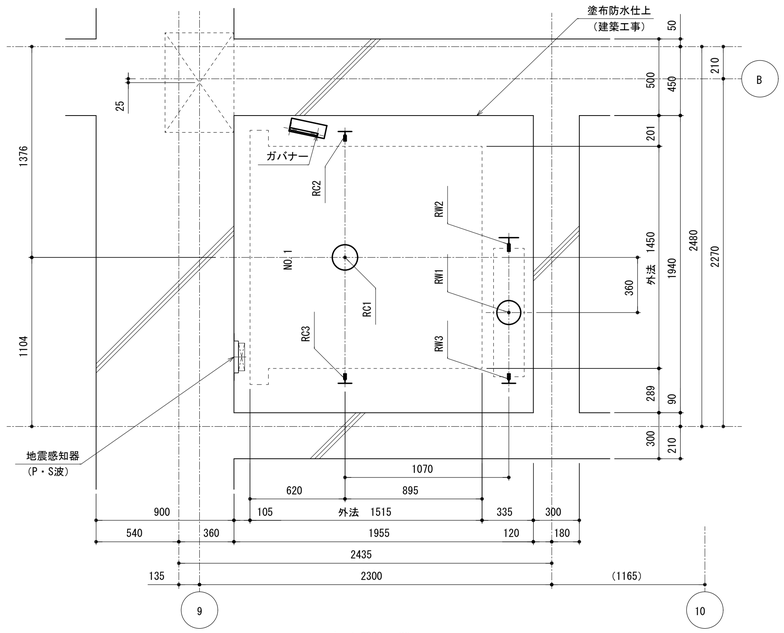


中間ビームリスト	
番号	部　材
1	[-150X75X9

PH階 昇降路平面図（1：20）



頂部（PHFL+730） 昇降路平面図（1：20）



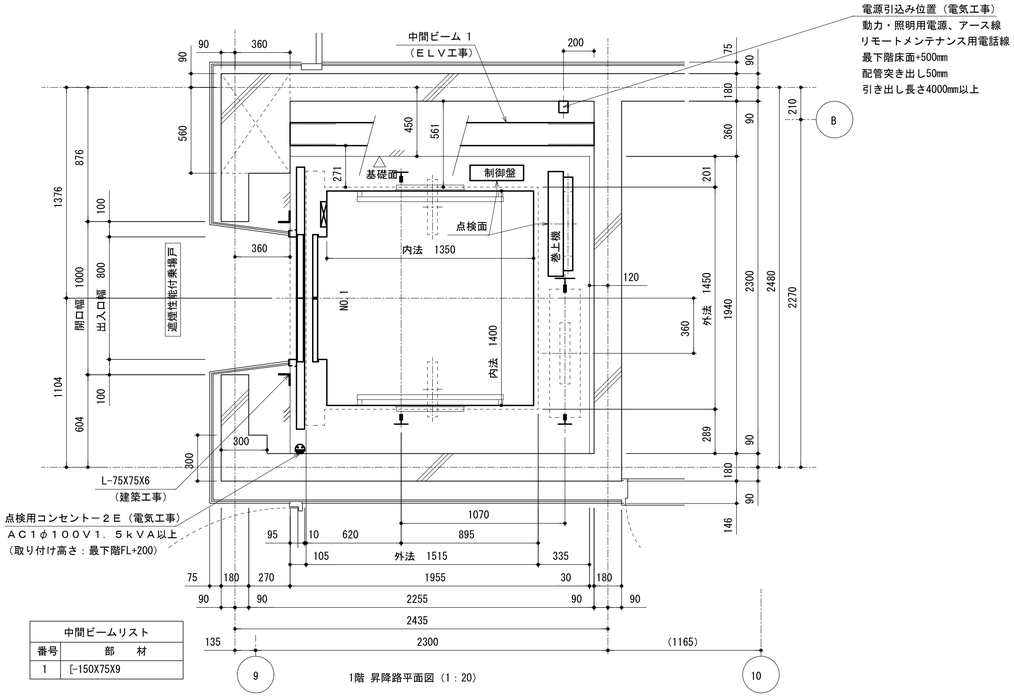
ピット反力値（N）

	短期荷重		長期荷重			
号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO.1	82500	65500	20500	20500	42000	14500

コンクリート厚さは150mm以上とする

コンクリート基準圧縮強度21N/mm²以上とする

ピット平面図（1：20）



中間ビームリスト	
番号	部　材
1	[-150X75X9

1階 昇降路平面図（1：20）

【参考図】

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

昇降機設備図(6)-B　A1　1/20　A3　1/40

鹿児島市建設局建築部建築課

No.　A－77

エレベーター仕様

基本仕様	号機名		NO.2
	型式		機械室レス標準型エレベーター
	用途		乗用兼車いす用
	定格積載質量/定員		1000kg/15人乗
	定格速度		60m/min
	運転方式		乗合全自動方式（乗り捨て方式）
	制御方式		インバータ制御方式（マイコン制御）
	停止階		4箇所（1～4 階）
	かご寸法		間口1600mm 奥行1500mm 天井高さ2250mm
	出入口寸法		幅900mm 高さ2100mm
	戸型式		２枚戸中央開き
	電動機		AC 6.2kW
	動力用電源		AC-GC 3φ 200V 60Hz
	照明用電源		AC-GC 1φ 100V 60Hz
	連絡装置 設置場所		同時通話式インターホン 設置場所：1階（ ）
	監視装置		リモートメンテナンスインターフェース付 （リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約をしていただく必要があります）
管制運転	地震		有り（P波およびS波感知）（リスタート機能付）
	火災		有り（火報と連動した接点による自動式）
	停電		有り
	自家発		有り（自家発自動運転）
乗場仕様	三方枠	1～4階	小枠 ステンレスヘアライン仕上
	乗場戸	1～4階	ステンレスヘアライン仕上
	幕板	1～4階	無し
	敷居	1～4階	ステンレス製
	ホールランタン	1～4階	無し
	インジケーター	1～4階	縦型デジタル表示 カバー：ステンレスヘアライン仕上
	ホールボタン	1～4階	ステンレス凸文字ボタン（φ35） インジケーターに組込
かご仕様	天井		スタンダード（メーカー標準）（天井照明色：白色）
	前側板		ステンレスヘアライン仕上
	側板		ステンレスヘアライン仕上
	戸		ステンレスヘアライン仕上
	出入口上部		ステンレスヘアライン仕上
	床		床仕上げ材建築支給（建築工事）（建築取付）
	幅木		ステンレスヘアライン仕上
	敷居		ステンレス製
	操作盤	ボタン	ステンレス凸文字ボタン（φ35）
		カバー	ステンレスヘアライン仕上
	インジケーター		カラー液晶表示（背景色：白）操作盤に組込
	車いす用操作盤	ボタン	ステンレス凸文字ボタン（φ35）
		カバー	ステンレスヘアライン仕上
	気くばり操作盤	ボタン	無し
		カバー	無し
	鏡		ステンレス製（フルハイトミラー）
	ハンドレール		ステンレスパイプ：ステンレスヘアライン仕上（２方向）
監視盤			無し
耐震クラス			A14

特記仕様	NO.2
	昇降機技術基準の解説 2016年版対応
	ピット冠水退避運転（基本仕様）
	音声案内装置付（緊急時4ヵ国語）
	多光軸ドアセンサー
	遮煙性能付乗場戸（大臣認定品）（火災、停電付）（1～4階）
	点字注意銘板付（横型）
	車いす仕様付
	視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
	フェッシャプレート付
	昇降路内同軸ケーブル付（昇降路外は電気工事）
	車いす呼び戸開き時間延長
	一般呼び戸開き時間延長
	発音式ボタン（かご）
	非常放送・一般放送用スピーカー付（かご天井上）
	スピーカー用アッテネータをかご上に設置
	乗り場側利用者検知機能付
	かご戸袋引き込まれ低減機能付
	かご床マット付
	煙感知器点検扉用ドアスイッチ付
	公共建築工事標準仕様書適用
	４ｍレール使用
	ステンレス材一式：ＳＵＳ３０４
	レールサイズＵＰ
	吊りビーム
	-W-

工事区分

号機名 NO.2

項目		工事名	建築	電気	空衛	ELV
昇降路	1	昇降路の築造と誤差修正工事 1）壁または囲いは隙間なきものとする 2）昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、任意の5cm^{2}の面にこれと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと 3）コンクリート厚さは150mm以上とする 4）コンクリート基準圧縮強度 21N/mm^2 以上とする	○			
	2	昇降路内鉄骨構造階の構造耐火処理工事および補修工事	○			
	3	各階出入口まわり壁の穴あけ工事 （出入口、ホールボタン、インジケータ、ホールモニターなど）	○			
	4	エレベーター据付後の出入口壁 および床その他建築仕上及び補修工事	○			
	5	三方枠、インジケータなどと壁間の防火区画処理	○			
	6	三方枠、インジケータなどと壁間のすきま塞ぎ工事 （ふさぎ板またはラス材）				○
	7	ピット内防水仕上工事（ピット仕上面の水平度は1/200以下）	○			
	8	並設されたエレベーターの最下階が異なる場合の ピット間仕切り工事（H=1800以上）	○			
	9	オーバーヘッド・ピット寸法が図面と異なる場合の はつり・埋め戻し工事	○			
	10	ピット点検用タラップまたは梯子の設置工事				○
	11	ピット点検用コンセント設置工事（1ヶ/台）		○		
	12	インターホンならびにその他の機器（放送（一般・非常） 自家発商用電源識別接点・火災時管制用接点・防犯カメラ等）用 配管、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	13	昇降路最上階の受電制御盤への動力電源、照明用電源および アース線の引き込みならびにつなぎ込み工事 （配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	14	監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事 （監視盤配置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み）		○		
	15	昇降路頂部の煙感知器の設置工事（昇降路外部から保守点検可能な構造） （点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製）		○		
	16	昇降路頂部の煙感知器点検扉ELV連動停止スイッチ取付				○
	17	リモートメンテナンス用として電話中継盤から 昇降路最上階までの配管（最小直径25mm）、配線工事 （配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	18	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端が 125mm以上離れる場合のフェッシャプレート取付用下地設置工事	○			
	19	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端 が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート設置工事				○
	20	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事		○		
	21	昇降路頂部への吊りビーム設置工事	○			
	22	昇降路内の中間ビーム，ファスナープレート，立柱設置工事	○			
	23	レール・三方枠・敷居・ホールボタン・インジケータなどの 固定用鋼材設置工事および誤差是正工事	○			
	24	不停止階の昇降路救出口扉の設置工事（施行令129条の7の1による）	○			
	25	かごドレン式クーラー設置時のピット排水管工事	○			
	26	昇降路内温度が40℃超過の場合のガラリ設置工事	○			
	27	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事		○		
	28	昇降路内温度が5℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事			○	
その他	1	エレベーター部品搬入経路の確保 （必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事）	○			
	2	エレベーター重量部品搬入の際の仮設揚重機の貸与	○			
	3	エレベーター据付工事員現場詰所および材料置場の確保	○			
	4	エレベーター据付工事用電力の供給（動力用および照明用電源）	○	○		
	5	エレベーター運転調整用電力の供給 （動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに 本設電源配管経路で引き込み）	○	○		
	6	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの 電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事		○		
	7	昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防振工事	○			
	8	昇降路内建築工事仮設床（水平養生）用の 金網・デッキプレートなどの撤去工事	○			
	9	エレベーター着工前の各階出入り口開口部の塞ぎ材支給および施工	○			
	10	出入口が直接外気と接する乗場における雨水よけ工事 （庇、水切り等）	○			
	11	昇降路内仮設足場の設置および解体工事	○			
	12	エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し	○			
	13	昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事	○			
	14	ALC継目の補修、コンクリート型枠抑え用セパボルト（Pコン） の撤去	○			
	15	非常用エレベーター全階乗場への避難経路板設置工事	○			
	16	非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工	○			
	17	監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事		○		

- 三方枠が大枠の場合、枠幅が300mm、幕板高さ1250mm以上を超える時は別途見積りとなります。
- 工事使用有：１０日未満（１０日以上使用の場合、また積載量：１０００ｋｇ以上場合は別途見積りとなります）
- エレベーター出入口側の壁がＡＬＣの場合、エレベーター機器と干渉しないよう、
  ＡＬＣ留め金具がエレベーターシャフト側へ出張らないよう施工お願いします。

電気設備

号機名	NO.2		
動力用電源	AC-GC 3φ 200V 60Hz 8mm^2 ×1回路（CV）/台		
	線サイズ（mm^2）	5.5	8 / 14
	最大引込距離（m）	32	47 / 82
	ＭＣＢ容量	50A/台	
	トランス容量	7kVA/台	
	起動KVA	21kVA/台	
照明用電源	AC-GC 1φ 100V 60Hz 5.5mm^2 ×1回路/台		
アース線	3.5mm^2（D種）/台		
インターホン用配管配線	FCPEV0.9-7P/台（200mまで）		
リモートメンテナンス用配管配線（電話線）	CPEV0.9-1P，配管サイズφ25/台（MDF～昇降路間）		
ピット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上×1個/台 （最下階FL+200の出入口付近に設置）		
自家発動力用電源	買電、自家発電源切替後は、建屋電気設備側で設置 ※自家発電源が確立した後に切り替わる回路		
	起動入力	26kVA	
	エレベーター起動時の瞬時電圧降下	17%以内	
	エレベーター起動後の電圧降下	起動後0.5秒以内に10%以内	
	自家発電機	ダンパー巻線付	
火災報知信号無電圧ａ接点支給及び配管配線	印加電圧DC24V 接点容量1A以上/台		
一般兼非常放送用スピーカー用配管配線	HP1.2-3C/台		
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で引込み		

労基法適用（本設用）： 有（設置届・設置報告）・ ㊀無

標準型エレベーターの荷役制限について

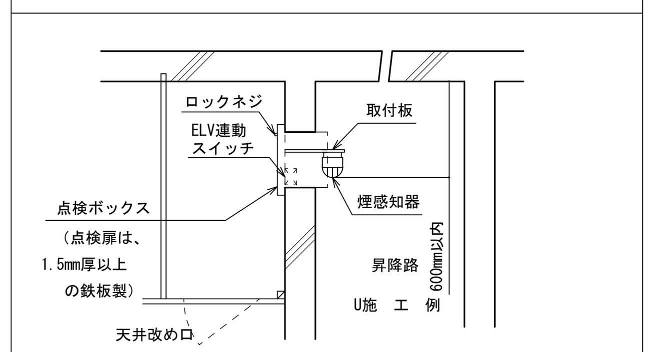
- 軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

遮煙性能付乗場戸設置上の条件

- 遮煙性能付乗場戸を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。
  設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。
- 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、遮煙性能付乗場戸設置階の
  エレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器設置し、
  火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給してください。

特定防火設備：防犯窓ガラス設置不可（防犯あみ入りガラス窓付きの場合は防火設備となります）

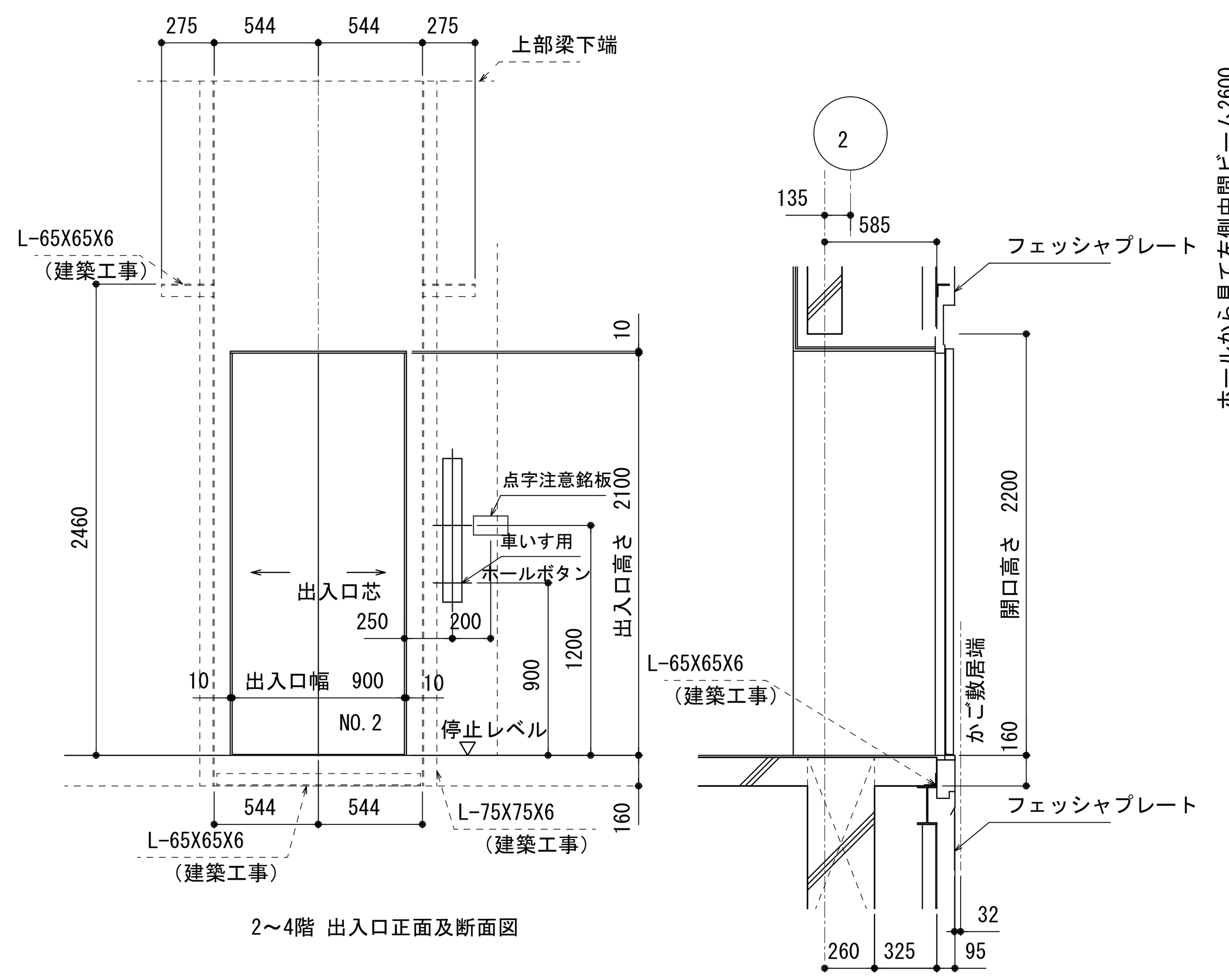
煙感知器施工例



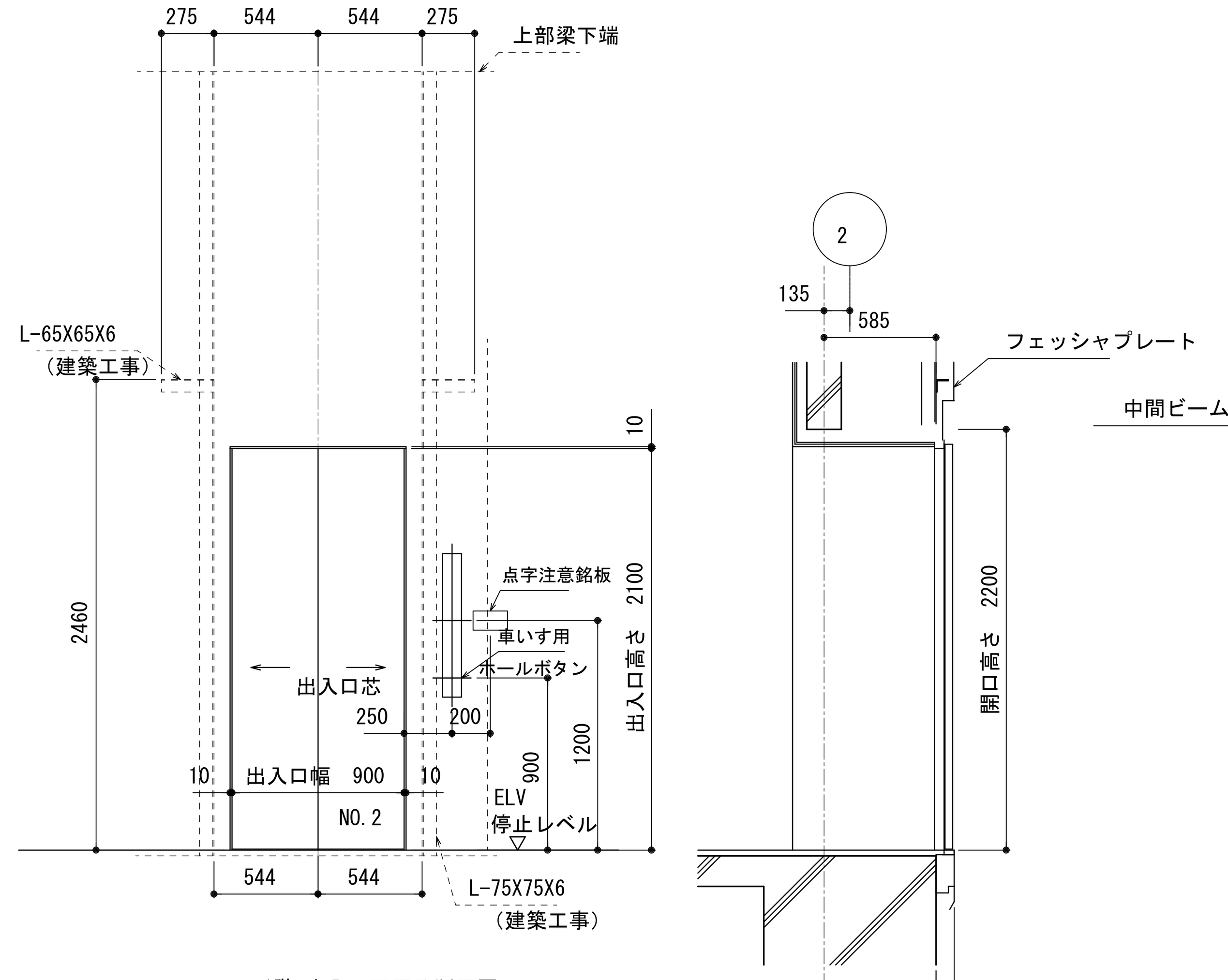
点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品としてください。
- ホーチキ (KUS-1C)
- 能美防災 (FXS J001A-HU)
- ニッタン (NID-T-G)
- パナソニック (BV95351+BV95381H)

（点検扉を開いた場合はエレベーターは停止します。）

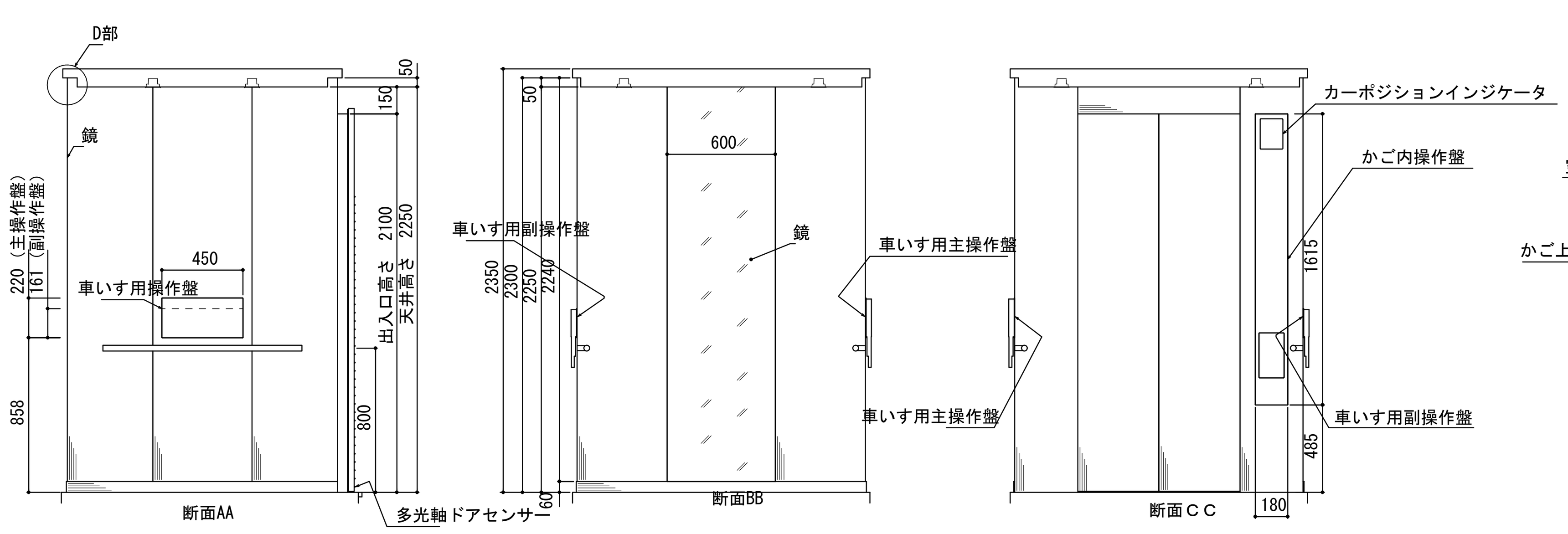
- 煙感知器取付高さがかご天井高さ+1800mmを超える場合は当社技術員にご相談ください。
- エレベーター出入口側に煙感知器を設置する場合はかご出入口機器と干渉する恐れがあるので事前にご相談ください。

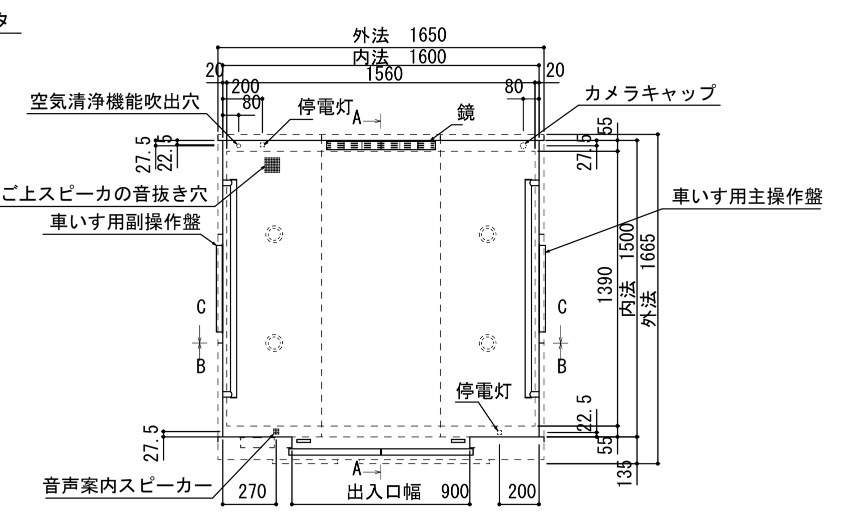


2～4階 出入口正面及断面図

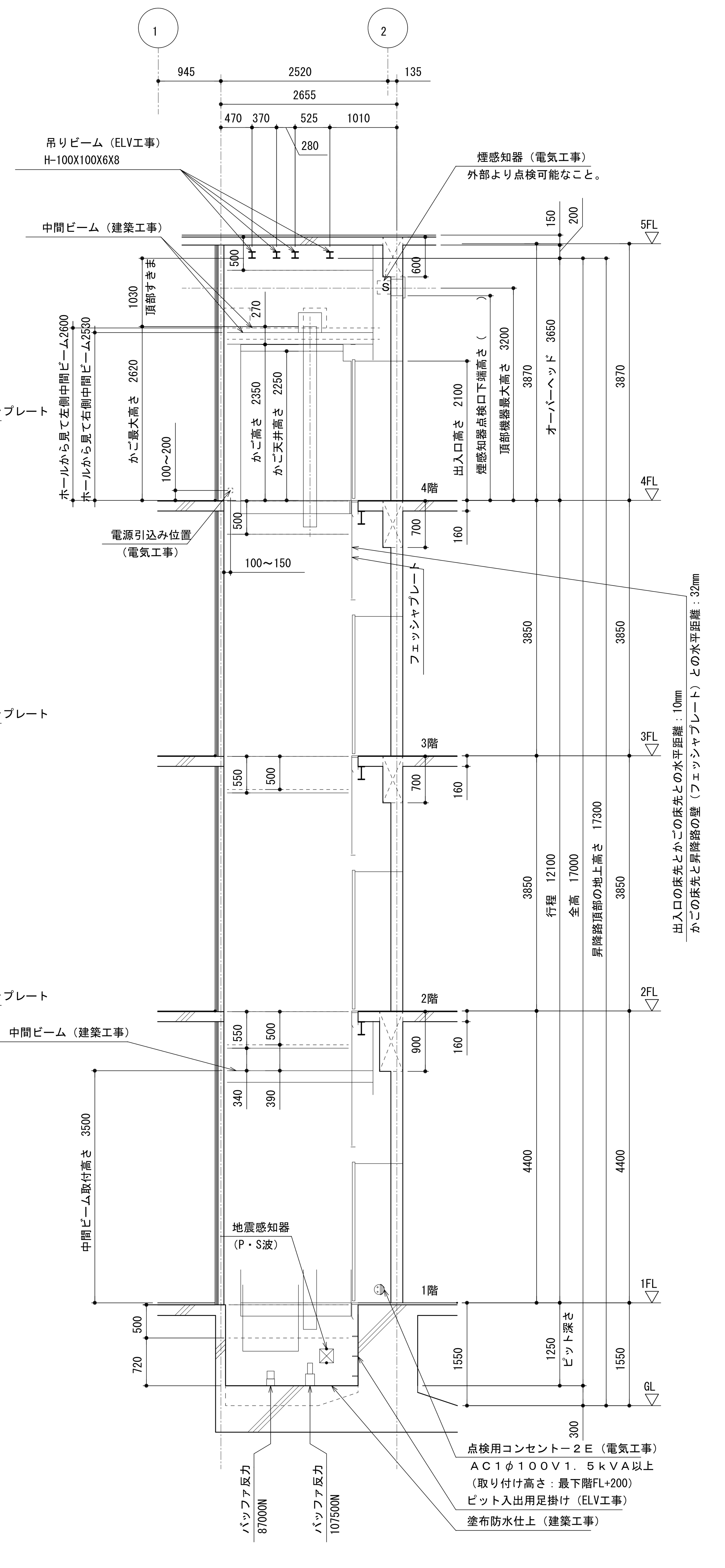


1階 出入口正面及断面図





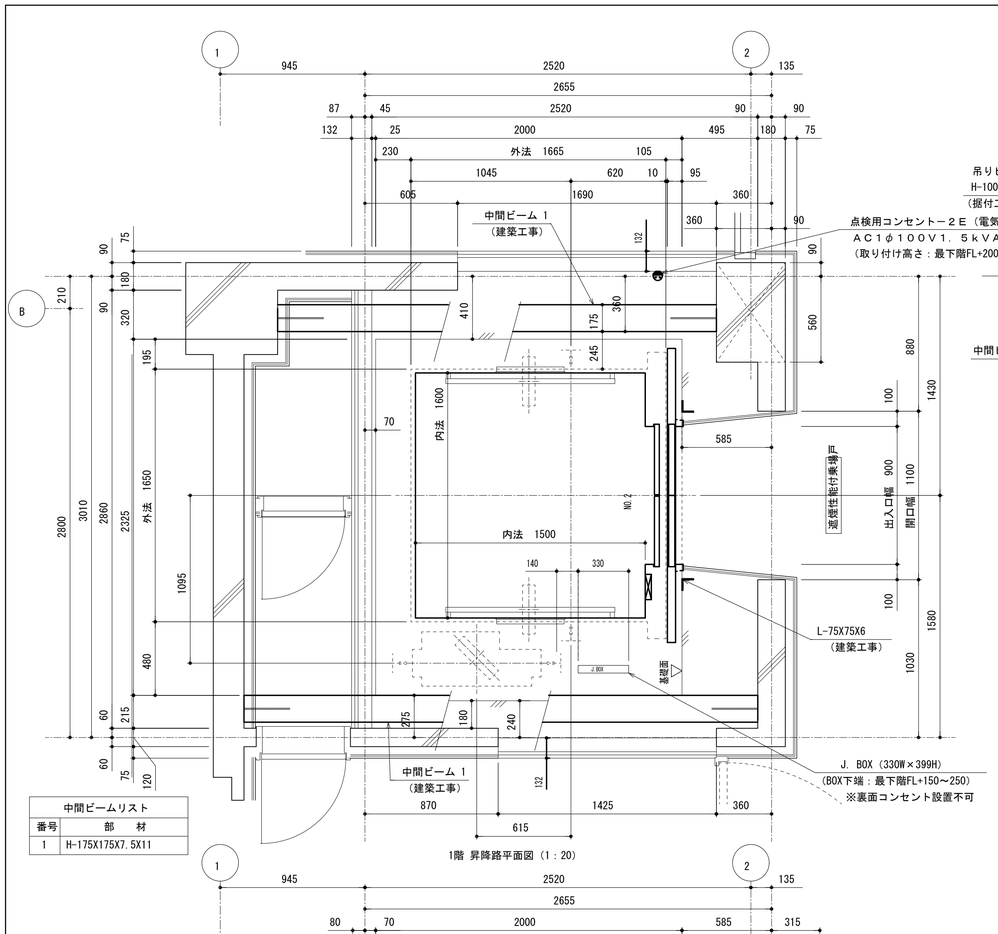
品名	仕様
前側板	ステンレスヘアライン仕上
出入口上部枠	ステンレスヘアライン仕上
幅木	ステンレスヘアライン仕上
側板，戸	ステンレスヘアライン仕上
天井	化粧鋼板
照明	LEDダウンライト （天井照明色：白色）
停電灯	LED
換気	ファン
床	床仕上材（※T）建築支給（建築工事）（建築取付）
敷居	ステンレス製
鏡（フルハイトミラー）	ステンレス鏡面仕上（後側板中央）
ハンドレール	ステンレスパイプ（ヘアライン仕上）
光電装置	多光軸ドアセンサー
天井換気ルーバー，カメラキャップ	ABS樹脂
付属品	車いす仕様付，視覚障がい者仕様付
	乗り場側利用者検知機能付・かご戸袋引き込まれ低減機能付
	音声案内装置付
	非常放送・一般放送用スピーカー付
	かご床マット付



NO.2 昇降路断面図（1：50）

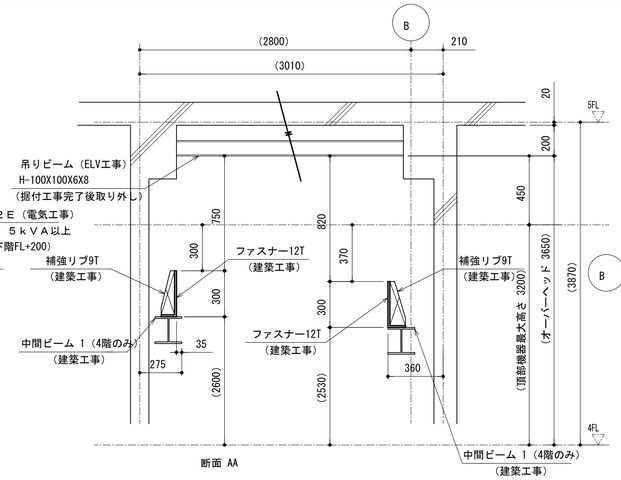
【参考図】

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	昇降機設備図(7)-B	A1 1/50 A3 1/100	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A－ 78



中間ビームリスト	
番号	部　材
1	H-175X175X7.5X11

1階 昇降路平面図（1：20）



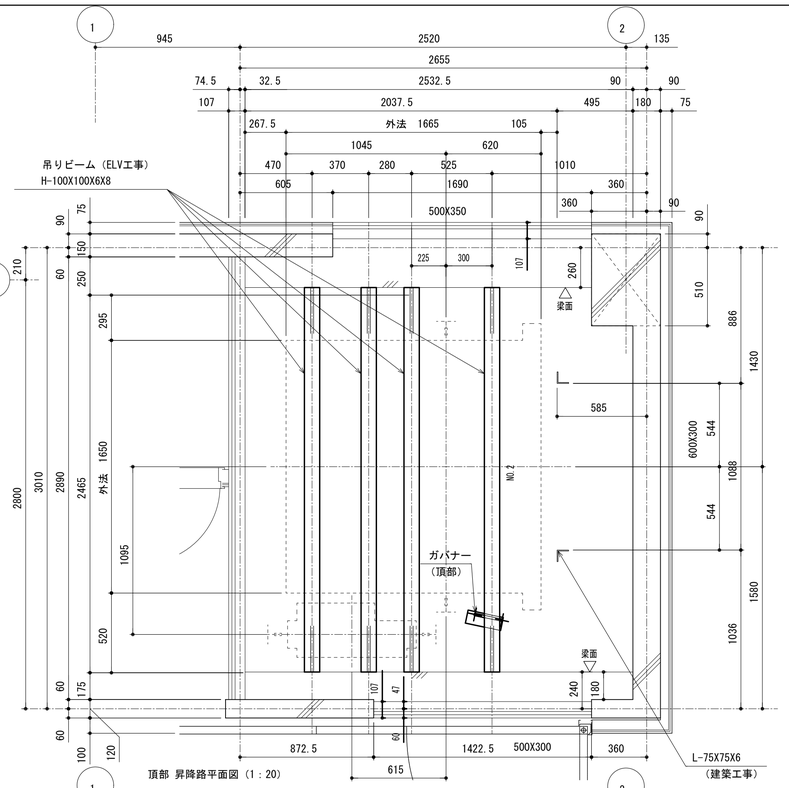
断面 AA

耐震クラス：Ａ１４

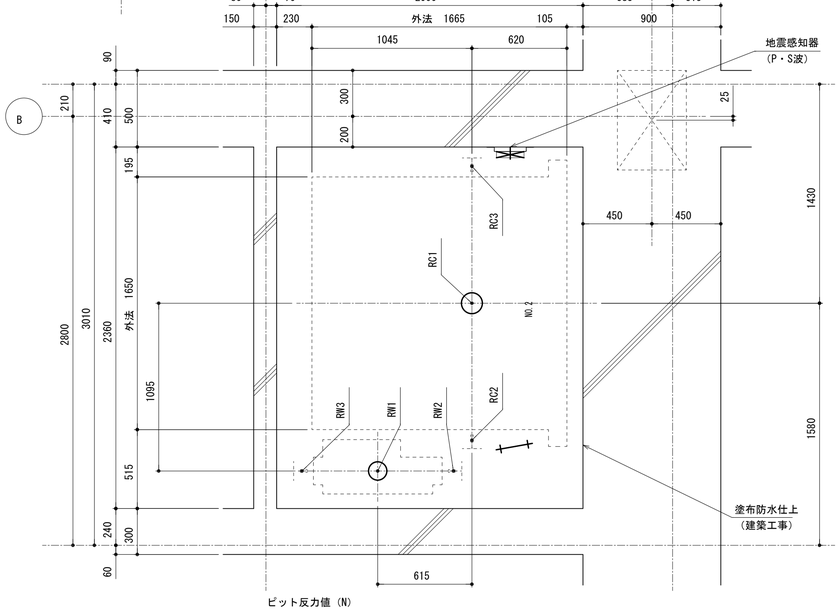
ガイドレール部分荷重（N）	かご側		ウェート側	
	ＰＸ	ＰＹ	ＰＸ	ＰＹ
NO.2	5550	3450	8850	4450

注）　上記荷重により柱及びはりのたわみは
５mm以下になるよう部材を設計下さい

地震時建物に掛る荷重



頂部 昇降路平面図（1：20）

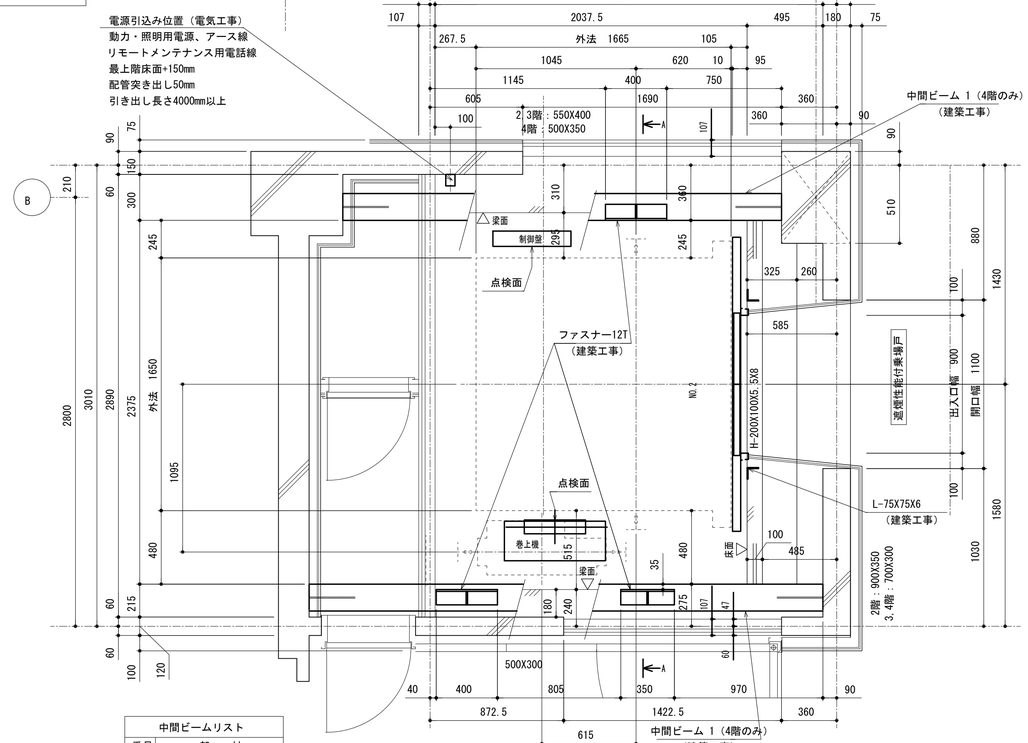


ピット反力値（N）

	短期荷重		長期荷重			
号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO.2	107500	87000	8000	32000	47500	36000

コンクリート厚さは150mm以上とする
コンクリート基準圧縮強度21N/mm² 以上とする

ピット平面図（1：20）



中間ビームリスト	
番号	部　材
1	H-175X175X7.5X11

2～4階 昇降路平面図（1：20）

【参考図】

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	昇降機設備図(8)-B	A1　1/20 A3　1/40	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 79

仕　様　一　覧

号　　機	NO.1
用　　途	乗用（車いす仕様）
機　　種	XIOR （エクシオール／機械室レス）XIO2
制御方式	インバータ制御方式（電力回生無し）
運転操作方式	乗合全自動方式
積　　載	750 kg 11 名
速　　度	60 m／ｍｉｎ
動力用電源	三相３線　210 V　60 Ｈｚ
照明用電源	単相　100 V　60 Ｈｚ
巻上電動機	4.6ｋW
停止階及び数	（正面）　1-4 階　4 個所 （背面）　階　個所
かご内法	（間口）1400mm　（奥行）1350mm　（高さ）2250mm
出入口寸法	（間口） 800mm　（高さ）2100mm
戸の方式	2枚 両引き（電動式）
おもり	50 %バランス
荷重条件　※1	250 ｋｇ以下

管制運転	地震時管制運転	●：（P・S波）リスタート運転機能付
	火災時管制運転	●
	停電時自動着床	●
	冠水時管制運転	●
	自家発時管制運転	－
	緊急地震速報連動	－
	長周期地震時管制運転	－
セーフティ機能	カードアポケットセンサー	●
	光電式ドアニック	●：（光電式）
	光電式多光軸ドアセンサー	●
	ドアエッジセンサー	－
	ドアウインカー	－
ユニバーサルデザイン 福祉対応	車いす仕様	●
	音声案内装置	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	視覚障がい者仕様（点字）	●
	聴覚障がい者仕様（応答灯付ｲﾝｼﾞｹｰﾀ呼びﾎﾞﾀﾝ）	●
	発音機能付ｵｸﾀｲﾌﾞﾎﾞﾀﾝ	●
	走行お知らせ音	●
	敷居隙間 10mm	●
特記仕様		抗菌仕様ボタン（乗場／かご） 非常呼信号 1A かごドア両側セーフティ付 戸開き延長ボタン 行先階キャンセル機能 放送用スピーカー 車いす・視覚障がい者用一体型注意銘板
	監視盤	－
高調波対策	EMIﾌｨﾙﾀ 零相ﾘｱｸﾄﾙ（標準）	－　（回路分類NO.31 換算係数Ki＝3.4）
	標準＋ACリアクトル	－　（回路分類NO.32 換算係数Ki＝1.8）
	標準＋DCリアクトル	●　（回路分類NO.33 換算係数Ki＝1.8）
	標準＋AC・DCリアクトル	－　（回路分類NO.34 換算係数Ki＝1.4）

乗場	三方枠	全階	小枠 ステンレスヘアライン仕上
	幕　板		
	扉	全階	ステンレスヘアライン仕上
	遮煙乗場ドア		●：1-4階
	防犯窓		－
	敷　居	全階	ステンレス製（折曲材）
	乗場意匠機器 表示機器	全階	デジタル表示／押ボタン組込
	乗場意匠機器 押ボタン	全階	35φ抗菌樹脂ボタン
	乗場意匠機器 フェースプレート	全階	ステンレスヘアライン仕上

かご	天　井	デラックスタイプ
	袖　壁	ステンレスヘアライン仕上（入口柱一体）
	入口柱	－
	側　壁	ステンレスヘアライン仕上
	幕　板	ステンレスヘアライン仕上
	扉	ステンレスヘアライン仕上
	幅　木	ステンレスヘアライン仕上
	床	タイルカーペット（建築工事）
	敷　居	ステンレス製（折曲材）
	換気装置	クロスフローファン
	主操作盤 表示機器	液晶表示／操作盤組込
	主操作盤 押ボタン	35φ抗菌樹脂ボタン
	主操作盤 フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上
	手すり	32φ ｽﾃﾝﾚｽ ステンレスヘアライン仕上（端部亜鉛ダイカスト製）
	鏡	背面中央パネル：ステンレス鏡面仕上
	ガード	－
	保護幕	－
	床マット	－
	ＩＴＶカメラ	●：メンテナンス用のみ

特記仕様

※昇降路内温度の制約

下記いずれかの場合は、「換気上有効な開口部、換気設備又は空気調和設備」を設ける必要があります。

・昇降路内温度が40℃を超える場合
（エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等による）

・エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合

エレベータ機器発熱量（かご用ク＝ラ＝含む）	582 W
エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇	7℃以下

※エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等により、昇降路内温度が40℃を超えないかご確認ください。

基本仕様

最寄階救出運転
戸開き不能時救出運転
乗り過ぎ検出（警報ブザー及び音声案内）
各階強制停止運転（各停運転）
昇降機耐震設計・施工指針（２０１６年版）対応
戸開走行保護装置
イオンフル（プラズマクラスター技術搭載／シャープ（株）商標）
耐震クラス（　A14　）

エコロジー機能

かご天井　ＬＥＤ照明（液晶インジケータのバックライトもＬＥＤ化）
シックハウス対策（法令（建基）に基づいたシックハウス対策に対応）
かご照明の自動休止

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能

地震管制後の自動診断・仮復旧運転
メンテナンス用カメラによる、遠隔映像監視・遠隔閉込救出対応
２４時間リモート点検
聴覚障がい者仕様：応答液晶表示（仕様が付加された場合、契約に関わらず有効）

※1 4輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、荷重条件以下に分けて積み込みください。
－

車いす仕様

乗　場	車いす専用乗場ボタン
かご内室	車いす専用かご主副操作盤（主側のみｲﾝｼﾞｹｰﾀ付）
	鏡
	手すり
セーフティ機能	戸開放時間の延長
	戸閉速度の低減
	自動着床修正装置
	光電式多光軸ドアセンサー

遮煙エレベータ乗場ドア

認定番号　CAS-0599（国住指第4108号）
1～4階　乗場ドアは、上記認定品とする。
認定条件通り　停電時自動着床装置と火災管制運転（自動）を合わせて設置しております。

遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項

・遮煙ｴﾚﾍﾞｰﾀ乗場ﾄﾞｱ設置条件として、建物の火災感知信号をｴﾚﾍﾞｰﾀ制御盤へ供給いただく必要があります。
・建物側で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙ｴﾚﾍﾞｰﾀ乗場ﾄﾞｱ設置階のｴﾚﾍﾞｰﾀﾎｰﾙに煙感知器などの火災感知器を設置の上火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給願います。

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1．昇降路の築造工事。
（コンクリート打ち誤差により必要となるはつりまたは肉付け工事）
・昇降路のコンクリート強度は ２１Ｎ／ｍｍ^2 （ＦＣ２１）以上。
・昇降路のコンクリート壁厚は １５０mm 以上。
・昇降路の壁（囲い）は、５ｃｍ の任意の面に直角方向の外力（３００Ｎ）が作用しても１５mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。
2．各階出入口（インジケータ、押釦用孔含む）の孔あけ工事。
3．各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。
4．乗場据付後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修仕上工事。
5．屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。
（排水口・水勾配・庇など）
6．ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
（エレベータ工事の着工前に完了のこと）
・防水厚は ２５mm 以下。
~~7．昇降路頂部の荷揚げ用フック（　　ｋｇ）設置工事。~~

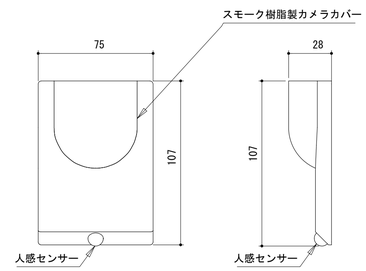
設備工事関係除外工事

1．エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。
2．昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3．ピット点検用コンセント設置工事。
4．昇降路頂部の煙感知器設置工事。（昇降路頂部より点検が可能な事）
5．エレベータ遠隔監視用電話線（電話中継盤から監視ユニット設置場所まで）の配管配線工事。

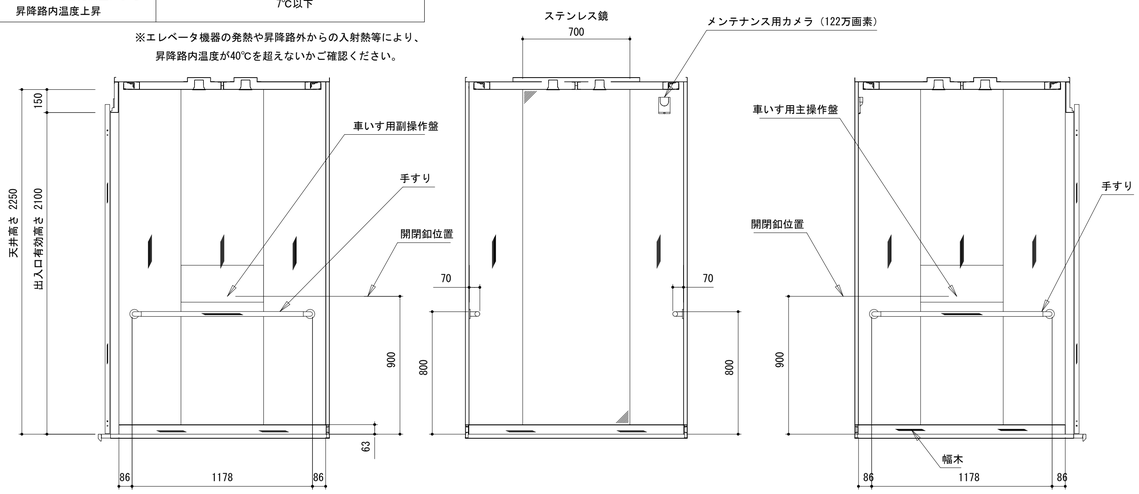
注意事項

1．昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障無きよう願います。また、昇降路壁には、エレベータ以外の電気水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。
2．エレベータ受電端における電源電圧の変動は±５%以内、照明用は±２%以内、電圧不平衡率は５%以内に保つよう電源を設置下さい。
3．昇降路内温度は４０℃、湿度は月平均９０%・日平均９５%を超えないようにして下さい。
4．昇降路には有毒ガスや甚だしい塵あい等が入らないようにして下さい。
5．昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。
6．エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。
（必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事）
7．据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。
8．工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。

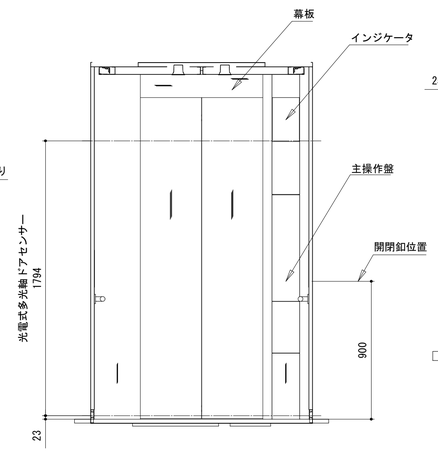
下記作業については、別途見積りとなります
夜間作業
部分営業中現場への搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を必要とする場合
２階以上の階もしくは地階からの搬入作業
荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が３０ｍを超える場合
据付工事短縮を必要とする場合
ｴﾚﾍﾞｰﾀを工事用として使用する場合の検査・清掃・復旧・補修・保守費用
エレベータ据付工事以外で立会いが発生する場合
展望用エレベータ等で昇降路を養生する必要がある場合
床・壁等に養生を必要とする場合
エレベータ着工前までの出入口開口部の養生材及び養生材設置工事
その他特殊な事情がある場合



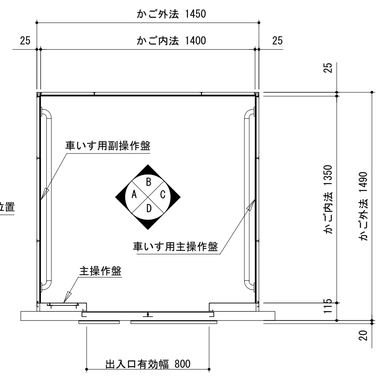
カメラ詳細図



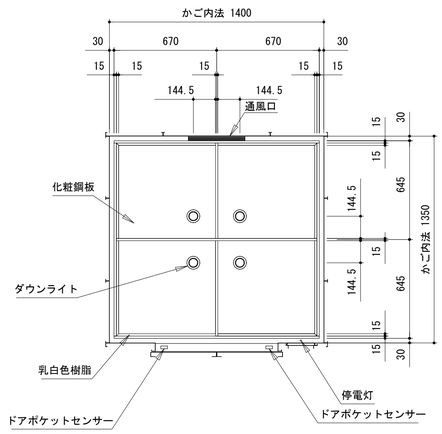
矢視 A　（１／２０）　矢視 B　（１／２０）　矢視 C　（１／２０）



矢視 D　（１／２０）



かご平面図　（１／２０）



天井見上図　（１／２０）

【参考図】

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社　みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	昇降機設備図(9)-C	A1　1/20 A3　1/40	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A － 80

電源設備（１台当たり）　【電気工事】						
記号	種別	線種等			引込み高さ	引出し線長さ
⊕	動力用電源	３φ　３Ｗ　ＡＣ　210Ｖ　60Ｈｚ			1FL+300	3500mm
		幹線サイズ（mm²）	3.5	5.5	8	
		幹線こう長（m）	30	50	70	
		電気室ブレーカ（Ａ）	30			
		接地線（mm²）	2.0			
		電源設備容量（ｋＶＡ）	5.0			
		全負荷定速時電流（Ａ）	－			
		全負荷加速時電流（Ａ）	－			
		制御盤内降圧ﾄﾗﾝｽ容量（ｋＶＡ）	0.15			
	自家発動力用電源	－				
	照明用電源	１φ　２Ｗ　ＡＣ　100Ｖ　60Ｈｚ				
		照明用電源容量（ｋＶＡ）	1.0			
	ｹｰﾗｰ用電源	－				
⊔	ﾋﾟｯﾄｺﾝｾﾝﾄ	ＡＣ１００Ｖ　１０Ａ　１個			1FL+300	
◎	遠隔監視用配線	別途打合せによる			1FL+300	4500mm
⊕	弱電関係用配線				1FL+300	8000mm

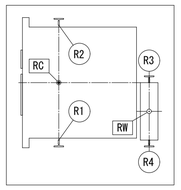
高調波（高周波ノイズ）への注意事項

電源側遮断器に漏電遮断器等を設置する場合は、下記対応を実施願います。

1．漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、
　感度電流値は昇降機1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の
　漏洩電流として設定下さい。
2．昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、
　漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用して下さい。

また高周波漏洩電流と高周波ﾉｲｽﾞの影響を低減するため、下記対策を推奨します。

1．昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。
　やむを得ず平行配線する場合は、１ｍ以上離して下さい。
2．昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
3．昇降機のｱｰｽ線と弱電機器のｱｰｽ線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。
4．昇降機の昇降路や動力線の近くにﾗｼﾞｵや通信機器のｱﾝﾃﾅを設置しないで下さい。



ピット部反力（ｋＮ）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
23	24	40	19

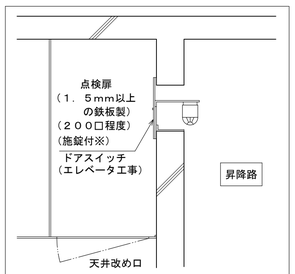
ピット床衝撃力（ｋＮ）：短期荷重

RC	RW
94	87

レールに作用する荷重値　（ｋＮ）

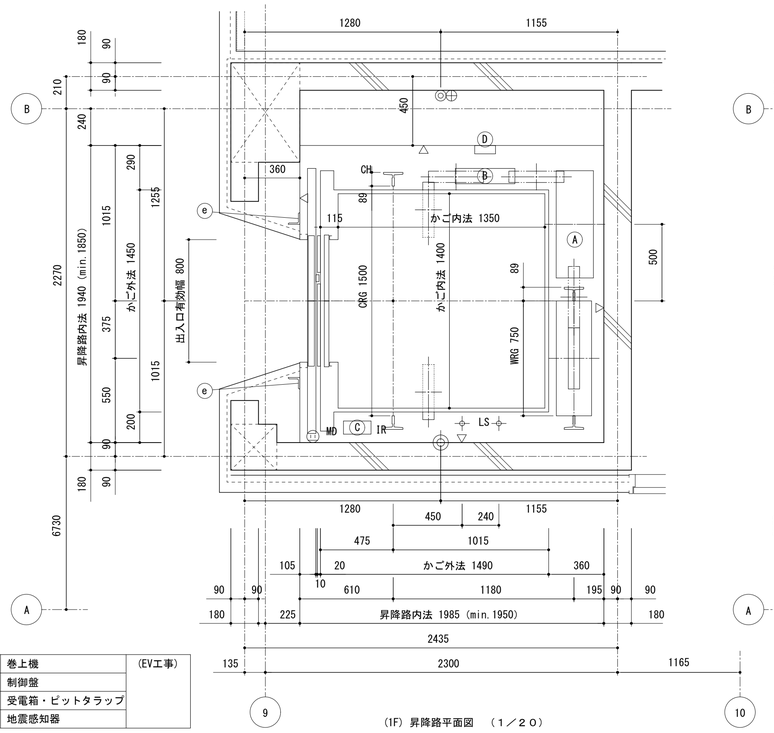
		Ｐｘ	Ｐｙ
Ｐｙ　Ｐｘ	かご	5.7	3.7
	おもり	7.9	4.0

短期荷重による建築部材のたわみは
５mm以下としてください



昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は
外部に引き出した状態で点検可能なよう
施工願います。（建築工事）
※施錠は、緩めるのに工具が必要なネジで代用可。

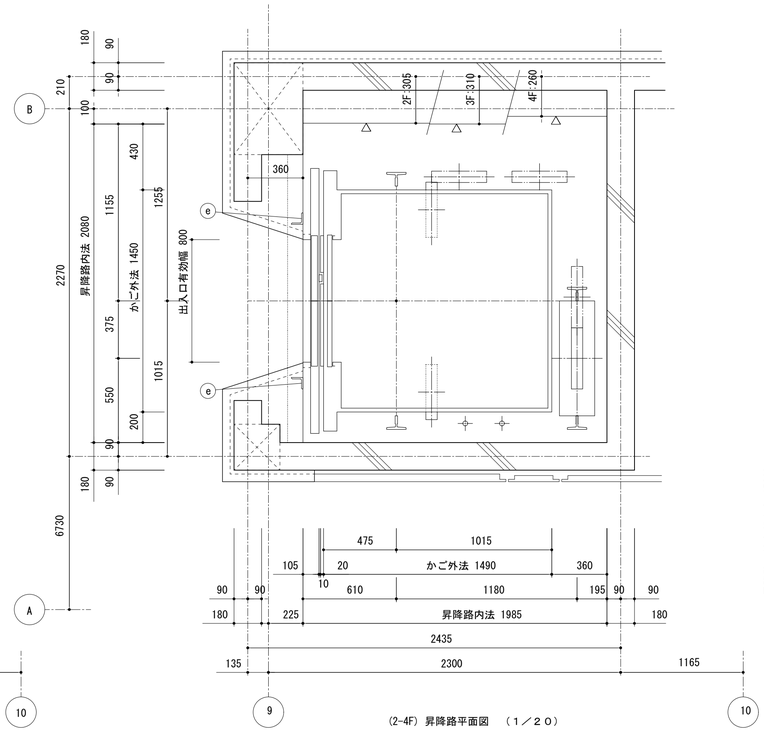
煙感知器の施工例



(1F) 昇降路平面図　（１／２０）

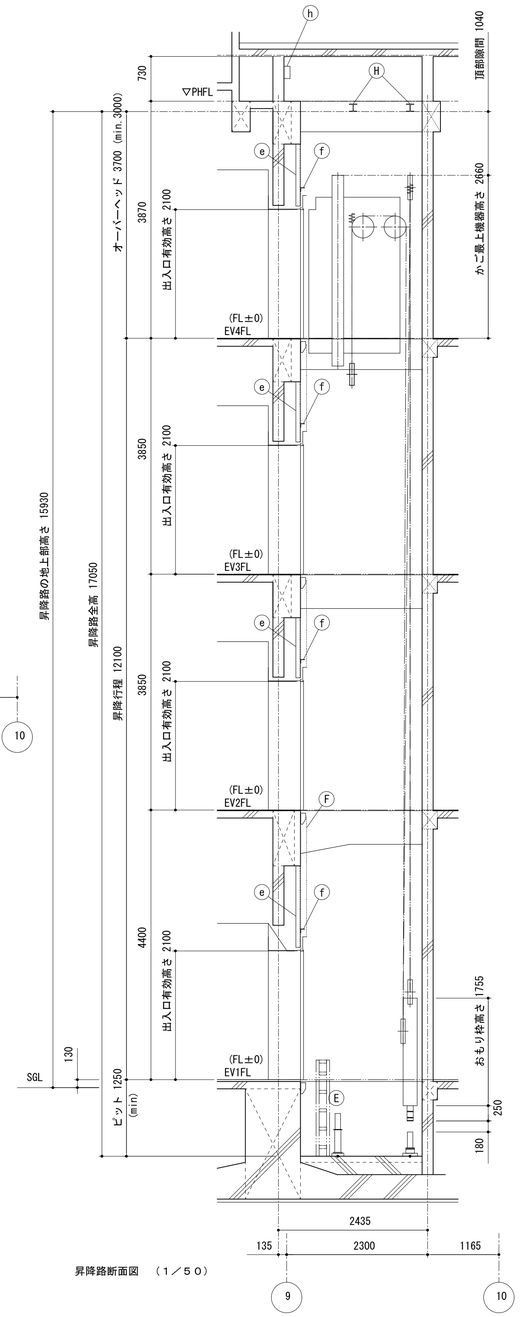
注：ピット内は、塗膜防水仕上願います。
　△：防水仕上面を示す。

A	巻上機	(EV工事)
B	制御盤	
C	受電箱・ピットタラップ	
D	地震感知器	

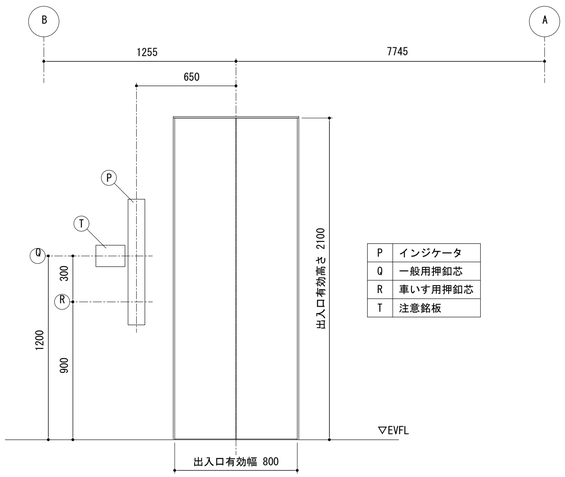


(2-4F) 昇降路平面図　（１／２０）

▲：RC梁面を示す。（天端：EVFL-10）

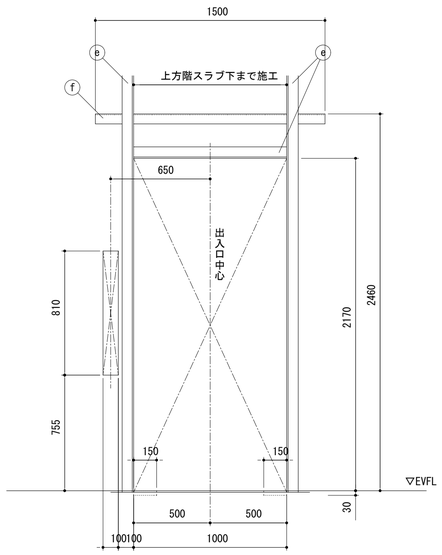


昇降路断面図　（１／５０）

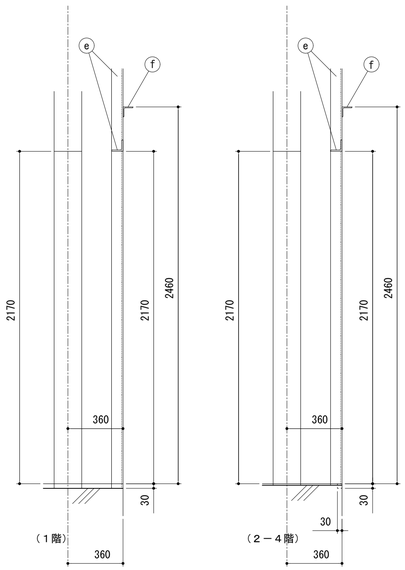


(1-4F) 出入口正面図　（１／２０）

P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	車いす用押釦芯
T	注意銘板



(1-4F) 出入口孔明図　（１／２０）



e	L-75×75×9	(建築工事)
f	L-65×65×6	
h	煙感知器	(電気工事)
E	タラップ	(EV工事)
F	フェッシャープレート	
H	吊りビーム	

【参考図】

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

昇降機設備図(10)-C　A1 1/20　A3 1/40　No.

鹿児島市建設局建築部建築課　A－81

仕様一覧

号機		NO.2
用途		乗用（車いす仕様）
機種		Ele Glance（エレ・グランス／機械室レス）JS25
制御方式		インバータ制御方式（電力回生無し）
運転操作方式		乗合全自動方式
積載		1000 ｋｇ　15 名
速度		60 ｍ／ｍｉｎ
動力用電源		三相３線 210 Ｖ　60 Ｈｚ
照明用電源		単相 100 Ｖ　60 Ｈｚ
巻上電動機		5.5 ｋＷ
停止階及び数		（正面） 1-4 階　4 個所 （背面） 階　個所
かご内法		（間口）1600mm（奥行）1500mm（高さ）2235mm
出入口寸法		（間口） 900mm（高さ）2100mm
戸の方式		2枚 両引き（電動式）
荷重条件 ※1		250 ｋｇ以下
管制運転	地震時管制運転	●：（P・S波）リスタート運転機能付
	火災時管制運転	●
	停電時自動着床	●
	冠水時管制運転	●
	自家発時管制運転	－
	緊急地震速報連動	－
	長周期地震時管制運転	－
セーフティ機能	カードアポケットセンサー	●
	光電式ドアニック	●：（光電式）
	光電式多光軸ドアセンサー	●
	ドアエッジセンサー	－
	ドアウインカー	－
ユニバーサルデザイン 福祉対応	車いす仕様	●
	音声案内装置	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	視覚障がい者仕様（点字）	●
	聴覚障がい者仕様（応答灯付ｲﾝﾀｰﾎﾝ呼びﾎﾞﾀﾝ）	●
	発音機能付ﾀｯﾁﾊﾟﾈﾙﾎﾞﾀﾝ	●
	走行お知らせ音	●
	敷居隙間 10mm	●

乗場	三方枠	全階	小枠 ステンレスヘアライン仕上
	幕板		
	扉	全階	ステンレスヘアライン仕上
	遮煙乗場ドア		●：1-4階
	防犯窓		－
	敷居	全階	ステンレス製（折曲材）
	乗場意匠機器 表示機器	全階	デジタル表示／押ボタン組込
	乗場意匠機器 押ボタン	全階	35φ抗菌樹脂ボタン
	乗場意匠機器 フェースプレート	全階	ステンレスヘアライン仕上

かご	天井	デラックスタイプ
	袖壁	ステンレスヘアライン仕上（入口柱一体）
	入口柱	－
	側壁	ステンレスヘアライン仕上
	幕板	ステンレスヘアライン仕上
	扉	ステンレスヘアライン仕上
	幅木	ステンレスヘアライン仕上
	床	タイルカーペット（建築工事）
	敷居	ステンレス製（折曲材）
	換気装置	クロスフローファン
	主操作盤 表示機器	液晶表示／操作盤組込
	主操作盤 押ボタン	35φ抗菌樹脂ボタン
	主操作盤 フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上
	手すり	32φｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ仕上（端部・支持部：ｽﾃﾝﾚｽﾌﾞﾗｽﾄ仕上）
	鏡	背面中央パネル：2tステンレス鏡面仕上
	ガード	－
	保護幕	－
	床マット	－
	ＩＴＶカメラ	●：メンテナンス用（122万画素）

特記仕様		非常呼信号 1A
		故障信号 1A
		両側セーフティシュー
		戸開き延長ボタン
		行先階キャンセル機能
		放送用スピーカー
		車いす・視覚障がい者用一体型注意銘板
	監視盤	－
高調波対策	EMIﾌｨﾙﾀ 零相ﾘｱｸﾄﾙ（標準）	－ （回路分類NO.31 換算係数Ki＝3.4）
	標準＋ACリアクトル	－ （回路分類NO.32 換算係数Ki＝1.8）
	標準＋DCリアクトル	● （回路分類NO.33 換算係数Ki＝1.8）
	標準＋AC・DCリアクトル	－ （回路分類NO.34 換算係数Ki＝1.4）

※1　4輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、荷重条件以下に分けて積み込みください。
※3　Ele Glance（エレ・グランス／機械室レス）JS25のみ

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能
- 地震管制後の自動診断・仮復旧運転
- メンテナンス用カメラによる、遠隔映像監視・遠隔閉込救出対応
- ２４時間リモート点検
- NEWゴールドメンテナンスアップデート契約により追加で有効となる機能　※3
- メンテナンス用カメラによる録画機能
- 次回点検日表示（表示機器液晶部に表示）

基本仕様
- 最寄階救出運転
- 戸開き不能時救出運転
- 乗り過ぎ検出（警報ブザー及び音声案内）
- 各階強制停止運転（各停運転）
- 昇降機耐震設計・施工指針（２０１６年版）対応
- 戸開走行保護装置
- イオンフル（プラズマクラスター技術搭載／シャープ（株）登録商標）
- 耐震クラス（　A14　）

車いす仕様	乗場	車いす専用乗場ボタン
	かご内室	車いす専用かご主副操作盤（主側のみインジケータ付）
		鏡
		手すり
	セーフティ機能	戸開放時間の延長
		戸閉速度の低減
		自動着床修正装置
		光電式多光軸ドアセンサー

注意事項
1. 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。
   昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障無きよう願います。
   また、昇降路壁には、ｴﾚﾍﾞｰﾀ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。
2. ｴﾚﾍﾞｰﾀ受電端における電源電圧の変動は±５％以内、照明用は±２％以内、
   電圧不平衡率は５％以内に保つよう電源を設置下さい。
3. 昇降路内温度は４０℃、湿度は月平均９０％・日平均９５％を超えないようにして下さい。
4. 昇降路には有毒ガスや甚だしい塵あい等が入らないようにして下さい。
5. 昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。
6. エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。
（必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事）
7. 据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。
8. 工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。

下記作業については、別途見積りとなります
- 夜間作業
- 部分営業中現場への搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を必要とする場合
- ２階以上の階もしくは地階からの搬入作業
- 荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が３０ｍを超える場合
- 据付工事短縮を必要とする場合
- エレベータを工事用として使用する場合の検査・清掃・復旧・補修・保守費用
- エレベータ据付工事以外で立会いが発生する場合
- 展望用エレベータ等で昇降路を養生する必要がある場合
- 床・壁等に養生を必要とする場合
- エレベータ着工前までの出入口開口部の養生材及び養生材設置工事
- その他特殊な事情がある場合

※昇降路内温度の制約

下記いずれかの場合は、「換気上有効な開口部、換気設備又は空気調和設備」を設ける必要があります。
- 昇降路内温度が40℃を超える場合
  （エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等による）
- エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合

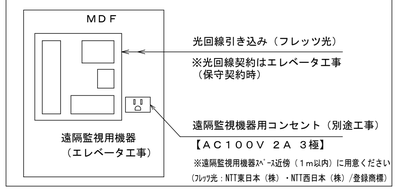
エレベータ機器発熱量（かご用クーラー含む）	841 W
エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇	7℃以下

※エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等により、昇降路内温度が40℃を超えないかご確認ください。

遠隔監視・リモート自動点検について

遠隔監視・ﾘﾓｰﾄ自動点検は弊社との保守契約（NEWｺﾞｰﾙﾄﾞﾒﾝﾃﾅﾝｽ契約）が必要となります。
また建屋側で下記対応が必要となります。
1）建屋ＭＤＦ内に遠隔監視用機器（エレベータ工事）設置スペースの確保
- 遠隔監視用機器 設置スペース：Ｗ４８０×Ｈ４３０×Ｄ１１０
- ＭＤＦ内に「ＡＣ１００Ｖ ２Ａ ３極コンセント」の用意

2）遠隔監視用機器への光回線（フレッツ光）引き込み
- 光回線契約はエレベータ工事

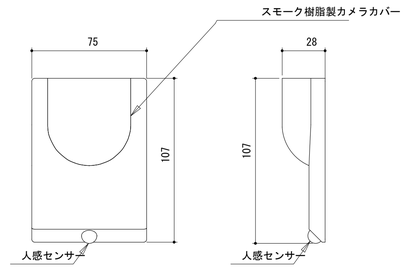


工事区分表

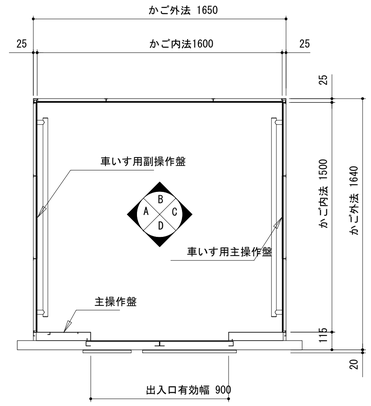
		エレベータ工事内容	建築	電気	設備	昇降機	備考
昇降路	01	昇降路築造工事、防火区画工事 コンクリート強度は２１Ｎ／mm² 以上とする 昇降路のコンクリート壁厚は １５０mm 以上 昇降路の壁（囲い）は、５ｃｍ²の任意の面に直角方向の外力（３００Ｎ）が作用しても１５mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする	○				
	02	ピット防水仕上工事	○				
	03	ピット点検用タラップの設置工事				○	
	04	ピットに段差が有る場合の転落防止対策（金網等）	○				
	05	ピットが法定又は必要寸法より深い場合の埋め戻し工事	○				
	06	ピット下利用がある場合、二重スラブ又はつり合いおもり側の直下部厚壁工事	○				
	07	昇降路が鉄骨構造の場合の鉄骨材の耐火、及び飛散防止処理工事	○				
	08	レール取付用ビーム設置工事	○				
	09	レールブラケット取付用立柱及びファスナープレートの設置工事	○				
	10	昇降路頂部に撮重用吊りフック又は、吊り鋼材の設置工事	○				
	11	昇降路換気設備工事（昇降路・機械室内温度は40℃以下）			○		
	12	昇降路換気設備用配管・配線工事		○			
	13	昇降路に換気設備が設けられない場合の給排気ダクト設置工事			○		
乗場	14	各階出入口の開口工事及び補強（インジケータ・押ボタン等の開口を含む）	○				
	15	各階乗場機器取付用部材（三方枠・敷居・押ボタン等）の設置工事	○				
	16	各階乗場機器取付後の周囲床等の埋め戻し工事	○				
	17	各階乗場機器取付後の周囲壁及び床等の仕上工事	○				
	18	各階三方枠取付後の裏詰め工事並びに耐火処理工事	○				
電気	19	100Ｖ点検用コンセント設備工事（機械室内および昇降路ピット）		○			
	20	昇降路頂部および機械室内の煙感知器設備工事（昇降路内の露出配管は不可）		○			
	21	動力用電源（接地線含む）のエレベータ昇降路または機械室受電盤（制御盤）迄の配管・配線工事		○			
	22	エレベーター遠隔監視用電話回線工事		○			
	23	館内放送（スピーカー）付の場合の信号線引込工事		○			
	24	照明用電源のエレベータ昇降路制御盤迄の配管・配線工事		○			
	25	クーラー用電源のエレベータ昇降路制御盤迄の配管・配線工事		○			
	26	昇降機用インターホン（親機・子機）の設置工事				○	
	27	昇降路外の監視盤関係・インターホン等昇降機に必要な配管・配線工事		○			
	28	昇降機用自家発電源の供給		○			
	29	昇降機の監視盤設置工事				○	
	30	その他信号線の昇降路外配管配線工事		○			
	31	エレベーターと防火シャッター等の連動用接点信号の配管・配線の引込工事		○			
その他	32	地震時非常着床階の避難通路照明及び非常灯設置工事	○				
	33	乗場戸に近接して設ける防火シャッター等の防火区画工事（建設省告示第１１１１号の廃止による）	○				
	34	その他建築に関する工事	○				

遮煙エレベータ乗場ドア
- 認定番号　CAS-1263（国住参建第3170号）
- 1～4 階　乗場ドアは、上記認定品とする。
- 認定条件通り　停電時自動着床装置と火災管制運転（自動）を合わせて設置しております。

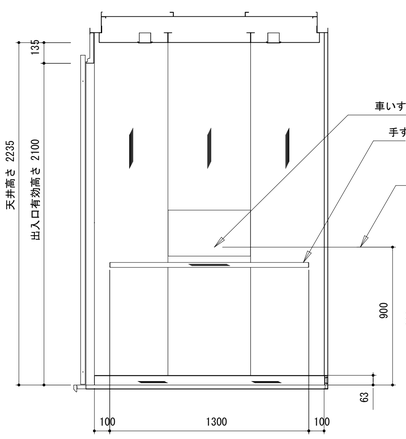
遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項
- 遮煙エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給いただく必要があります。
- 建物側で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙エレベータ乗場ドア設置階のｴﾚﾍﾞｰﾀﾎｰﾙに煙感知器などの火災感知器を設置の上火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給願います。



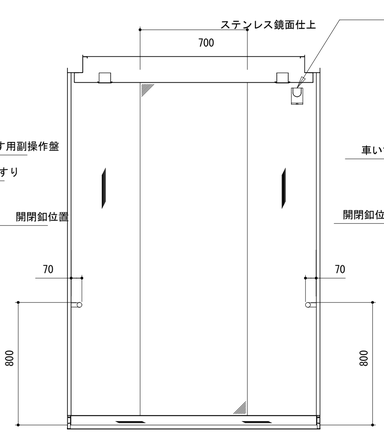
カメラ詳細図



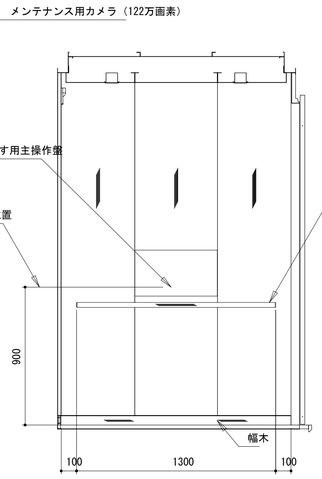
かご平面図　（１／２０）



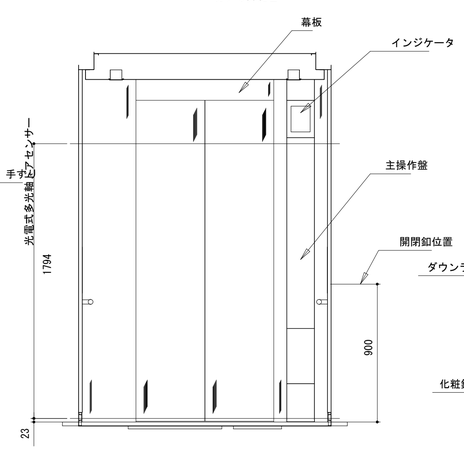
矢視 A　（１／２０）



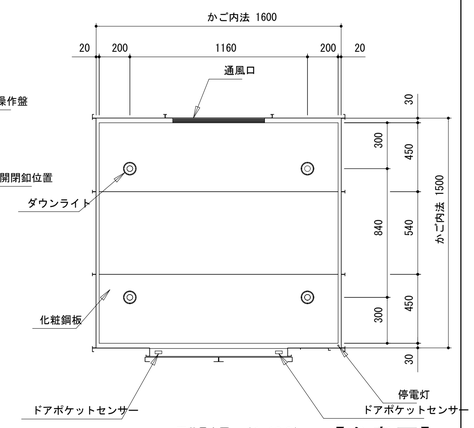
矢視 B　（１／２０）



矢視 C　（１／２０）



矢視 D　（１／２０）



天井見上図　（１／２０）

【参考図】

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事 昇降機設備図(11)-C　A1 1/20　A3 1/40 鹿児島市建設局建築部建築課	No. A － 82

電源設備（１台当たり）　【電気工事】						
記号	種別	線種等			引込み高さ	引出し線長さ
⊕	動力用電源	３φ　３Ｗ　ＡＣ　210Ｖ　60Ｈｚ			4FL+2700	5000mm
		幹線サイズ（mm²）	5.5	8	14	
		幹線こう長（m）	40	60	100	
		電気室ブレーカ（Ａ）	30			
		接地線（mm²）	2			
		電源設備容量（ｋＶＡ）	6			
		全負荷定速時電流（Ａ）	－			
		全負荷加速時電流（Ａ）	－			
		制御盤内降圧ﾄﾗﾝｽ容量（ｋＶＡ）	0.15			
	自家発動力用電源	－				
	照明用電源	１φ　２Ｗ　ＡＣ　100Ｖ　60Ｈｚ				
		照明用電源容量（ｋＶＡ）	1.0			
	ｸｰﾗｰ用電源	－				
⊔	ﾋﾟｯﾄｺﾝｾﾝﾄ	ＡＣ１００Ｖ　１０Ａ　１個			1FL+300	
⊕	弱電関係用配線	別途打合せによる			4FL+2800	3500mm

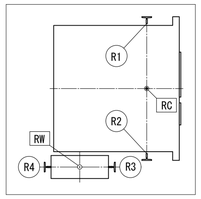
高調波（高周波ノイズ）への注意事項

電源側遮断器に漏電遮断器等を設置する場合は、下記対応を実施願います。

1．漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、
　感度電流値は昇降機1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の
　漏洩電流として設定下さい。
2．昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、
　漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用して下さい。

また高周波漏洩電流と高周波ﾉｲｽﾞの影響を低減するため、下記対策を推奨します。

1．昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。
　やむを得ず平行配線する場合は、１ｍ以上離して下さい。
2．昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
3．昇降機のｱｰｽ線と弱電機器のｱｰｽ線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。
4．昇降機の昇降路や動力線の近くにﾗｼﾞｵや通信機器のｱﾝﾃﾅを設置しないで下さい。



ピット部反力（ｋＮ）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
30	5	54	24

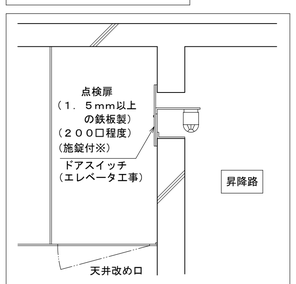
ピット床衝撃力（ｋＮ）：短期荷重

RC	RW
109	95

レールに作用する荷重値　（ｋＮ）

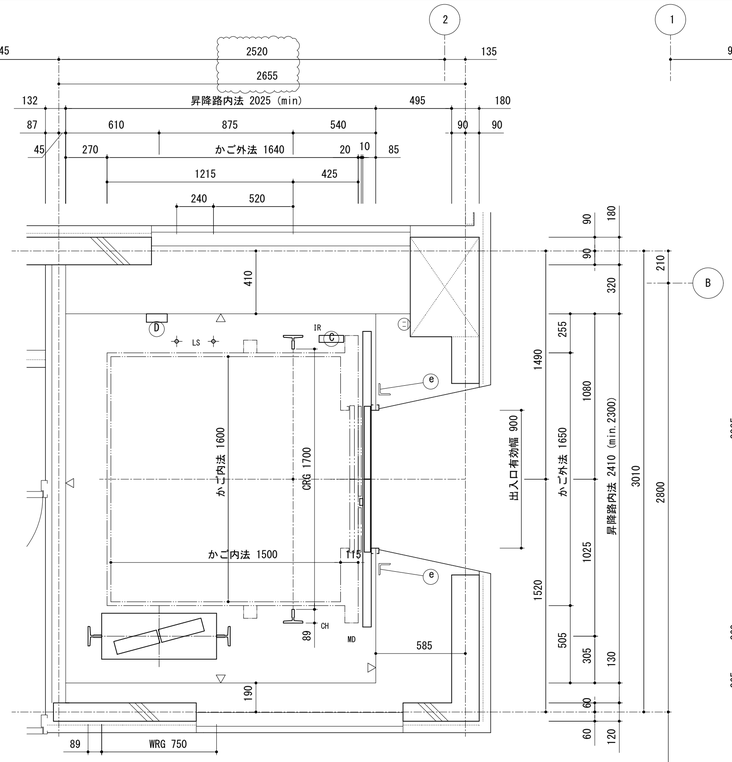
		Ｐｘ	Ｐｙ
Ｐｙ / Ｐｘ	かご	7.5	5.3
	おもり	8.7	8.9

短期荷重による建築部材のたわみは
５mm以下としてください



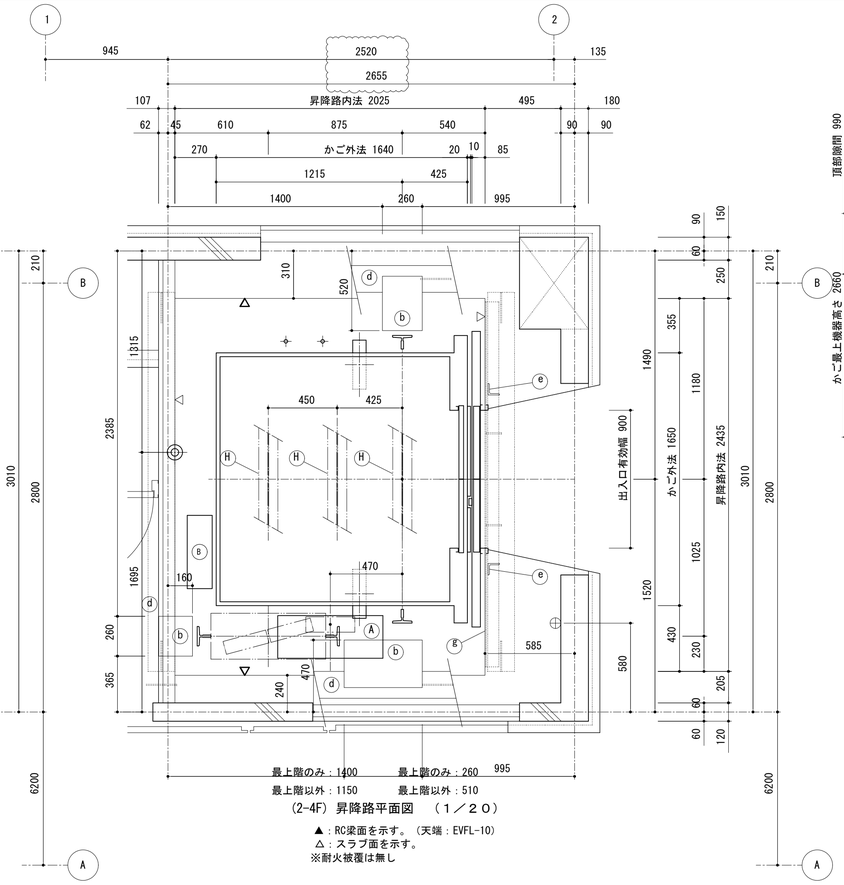
昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は
外部に引き出した状態で点検可能なよう
施工願います。（建築工事）
※施錠は、緩めるのに工具が必要なネジで代用可。

煙感知器の施工例



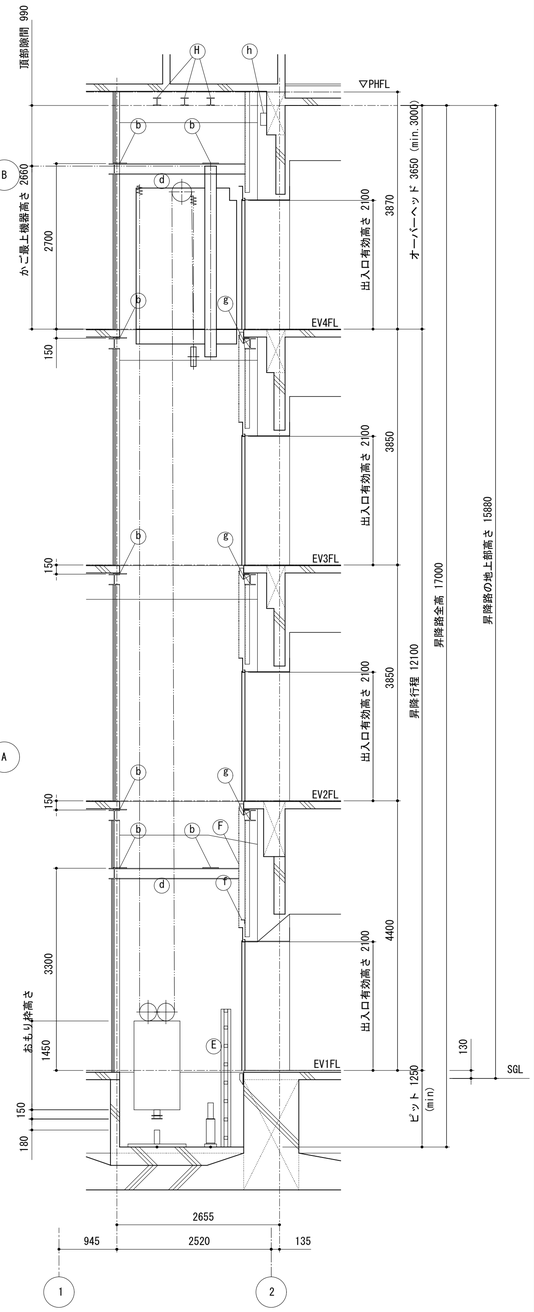
（1F）昇降路平面図　（１／２０）

注：ピット内は、塗膜防水仕上願います。
　　△：防水仕上面を示す。



（2-4F）昇降路平面図　（１／２０）

▲：RC梁面を示す。（天端：EVFL-10）
△：スラブ面を示す。
※耐火被覆は無し

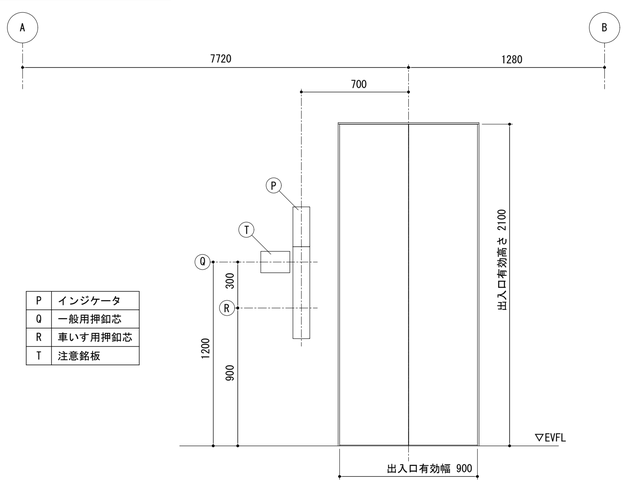


昇降路断面図　（１／５０）

b	PL-12t	（建築工事）
d	中間梁（メンバーは建築一任）	
e	L-75×75×9	
f	L-65×65×6	
g	L-90×90×7（9tリブ付）	

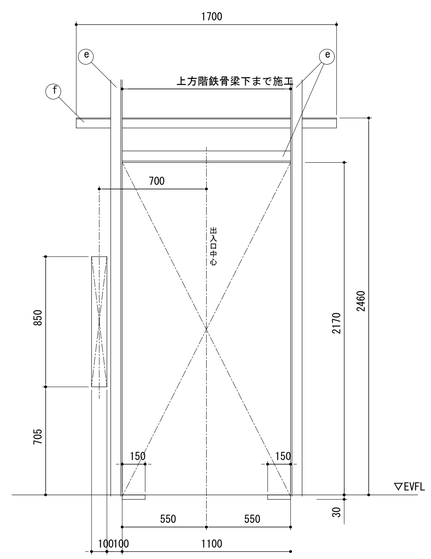
h	煙感知器	（電気工事）

A	巻上機	（EV工事）
B	制御盤	
C	ピットタラップ	
D	地震感知器	
E	タラップ	
F	フェッシャープレート	
H	吊りビーム	

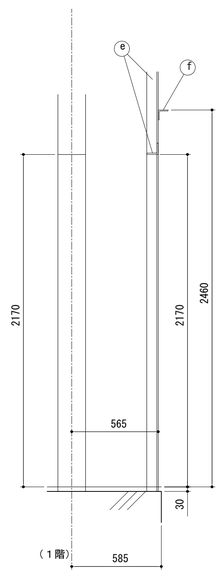


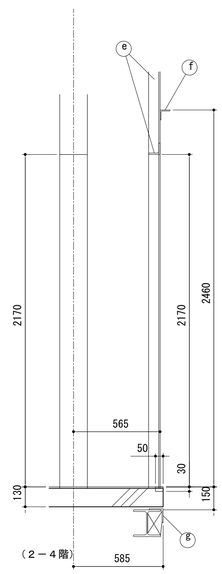
（1-4F）出入口正面図　（１／２０）

P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	車いす用押釦芯
T	注意銘板



（1-4F）出入口孔明図　（１／２０）





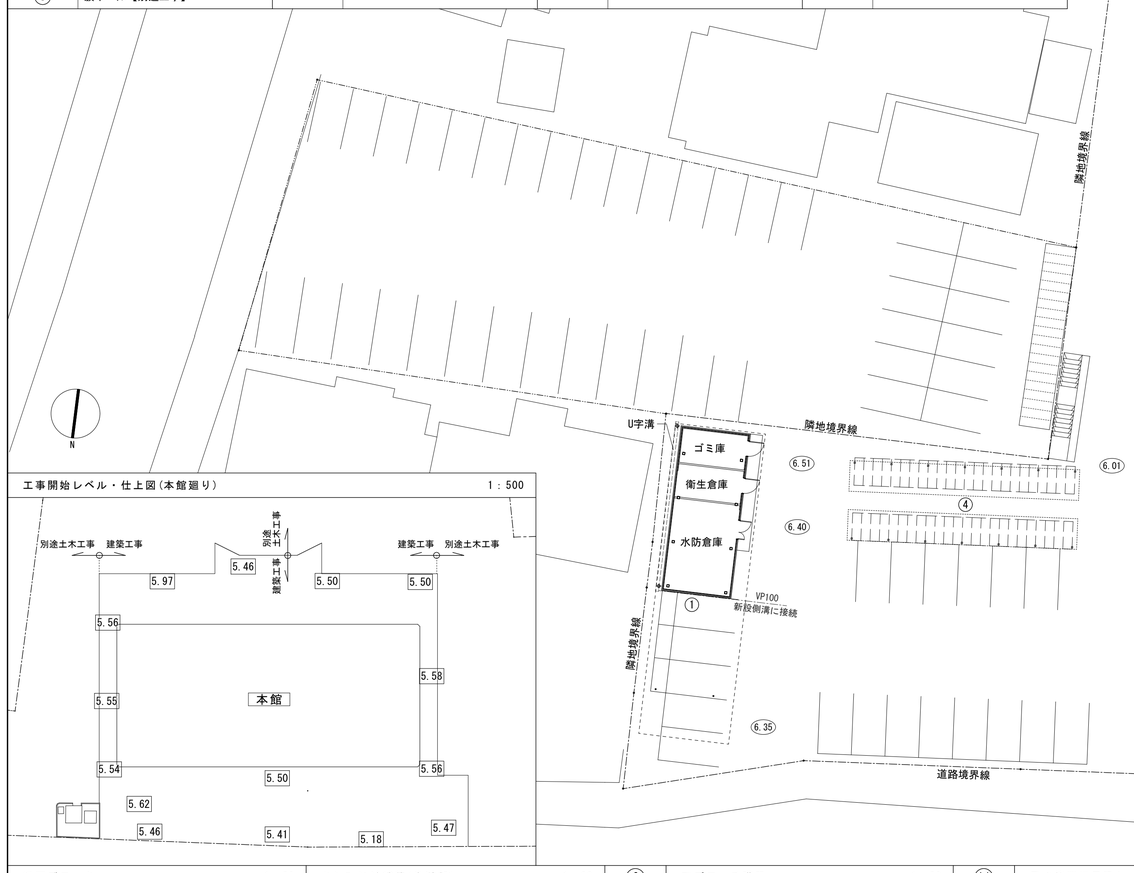
この面（外面）に
コンクリート止めの部材等を
取付けないで下さい。

【参考図】

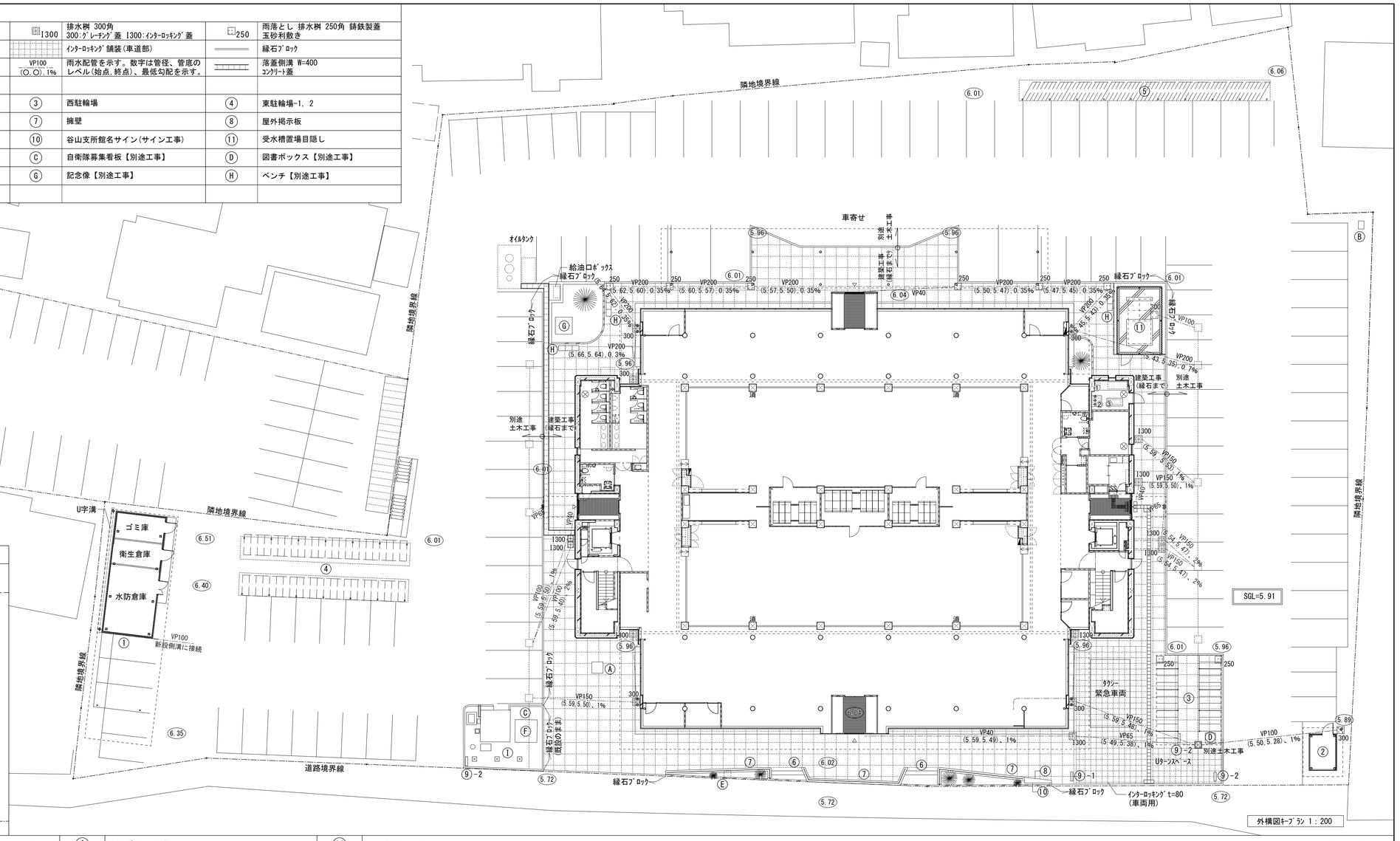
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社　みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事	
	昇降機設備図(12)-C　A1 1/20　A3 1/40	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課	A － 83

注記・凡例

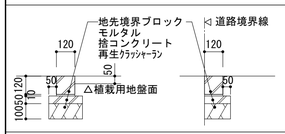
-100	現況レベルを示す。	+100	設計レベルを示す。	I300	排水桝 300角 300:ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 I300:ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ蓋	250	雨落とし 排水桝 250角 鋳鉄製蓋 玉砂利敷き
	土間コンクリート		ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装(歩道部)		ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装(車道部)		縁石ﾌﾞﾛｯｸ
	ｽﾁｰﾙｴｯｼﾞ PL-3×100 打ち込みｱﾝｶｰφ13 L=400 電気亜鉛ﾒｯｷ、樹脂系塗料塗装		点字ブロック	VP100 (○.○).1%	雨水配管を示す。数字は管径、管底のレベル(始点,終点)、最低勾配を示す。		落蓋側溝 W=400 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋
	U字溝 W=150						
①	水防衛生倉庫・駐車場	②	誘導員詰所	③	西駐輪場	④	東駐輪場-1, 2
⑤	南駐輪場	⑥	アプローチ階段	⑦	擁壁	⑧	屋外掲示板
⑨-1	館名サイン(サイン工事)	⑨-2	外構自立サイン(サイン工事)	⑩	谷山支所館名サイン(サイン工事)	⑪	受水槽置場目隠し
Ⓐ	「あしたの詩」像【別途工事】	Ⓑ	煙草取扱所記念碑【別途工事】	Ⓒ	自衛隊募集看板【別途工事】	Ⓓ	図書ボックス【別途工事】
Ⓔ	郵便ポスト【別途工事】	Ⓕ	市長像【別途工事】	Ⓖ	記念像【別途工事】	Ⓗ	ベンチ【別途工事】
Ⓘ	旗ポール【別途工事】						



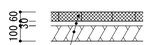
工事開始レベル・仕上図(本館廻り) 1：500



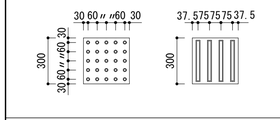
縁石ブロック 1：20



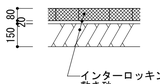
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装(歩道部) 1：20



点字ブロック 1：20

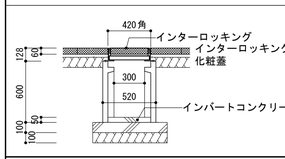


ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装(車道部) 1：20

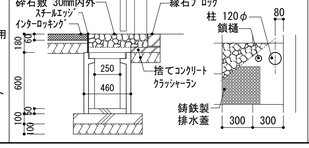


駐車範囲のｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞは外形枠を色違いとする。

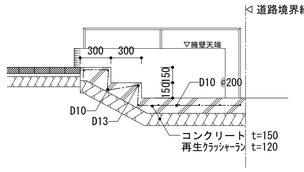
排水桝 300角 1：30



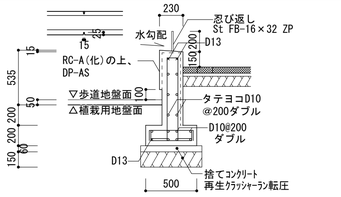
雨落とし(排水桝 250角) 1：30



⑥ アプローチ階段 1：30



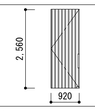
⑦ 擁壁(忍び返し付) 1：30



基礎下端レベルを固定とし、天端はスロープなりとする。

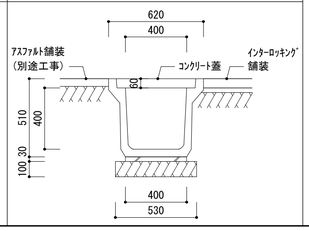
⑪ 受水槽置場目隠し 1：30、1：50

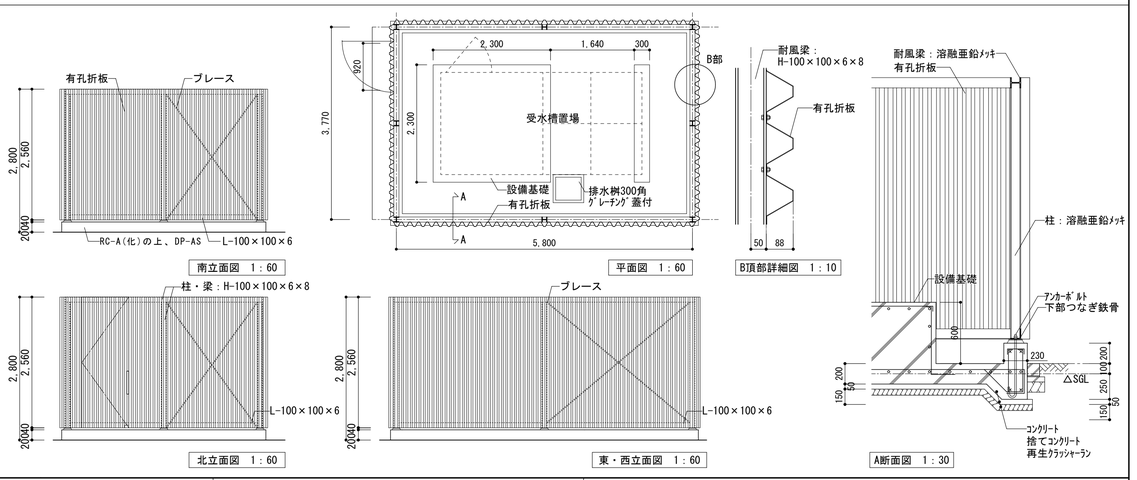
片開き戸



場所	受水槽置場北面
仕上	扉：有孔折板 t=1.6
金物	ステンレス丁番、点検用ドアハンドル、本締錠
備考	

落蓋側溝W=400(ｵｲﾙﾀﾝｸ用側溝) 1：30





みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

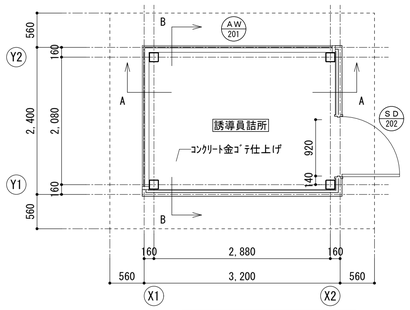
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

外構図(1)-キープラン・詳細図

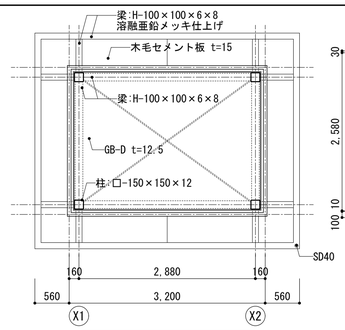
A1 図中に記載
A3 図中に記載

No. A－84

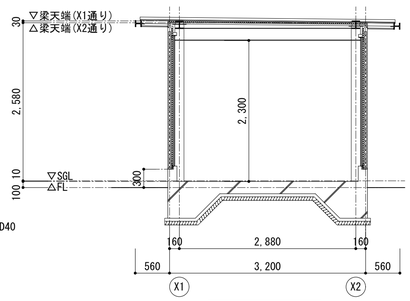
鹿児島市建設局建築部建築課



誘導員詰所 平面図 1/50

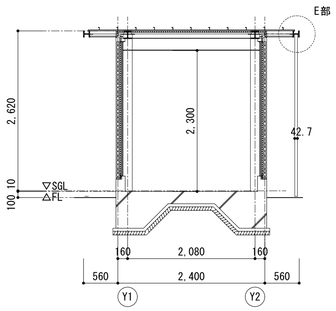


誘導員詰所 天井伏図 1/50

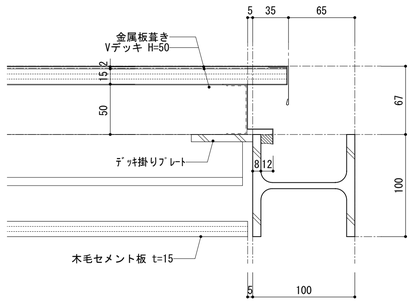


A-A断面図 1/50

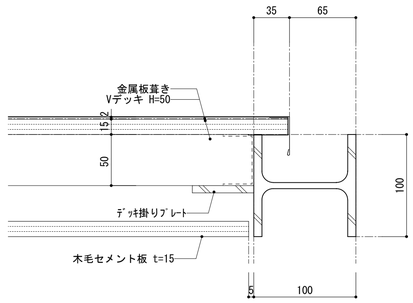
工事開始レベルは、工事完了後の計画レベルと同様とする。



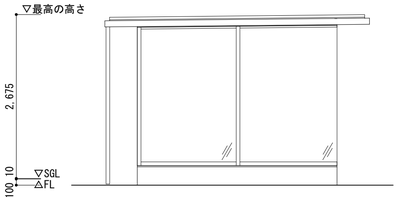
B-B断面図 1/50



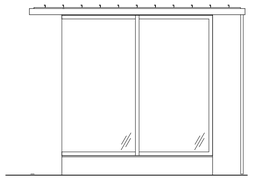
H詳細図 1/3



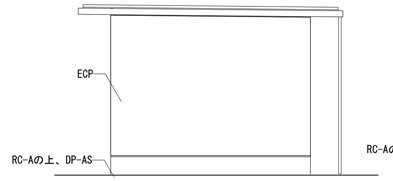
E詳細図 1/3



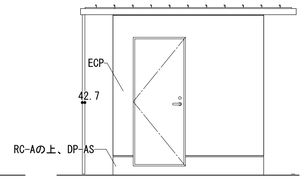
誘導員詰所 東立面図 1/50



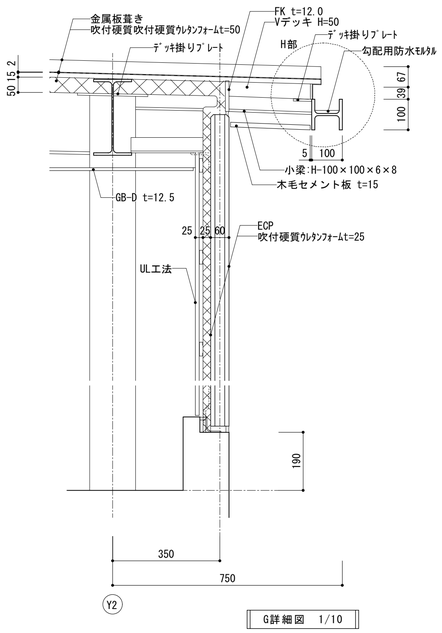
誘導員詰所 北立面図 1/50



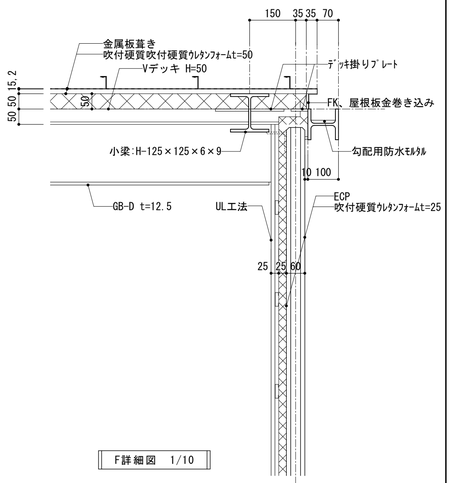
誘導員詰所 西立面図 1/50



誘導員詰所 南立面図 1/50

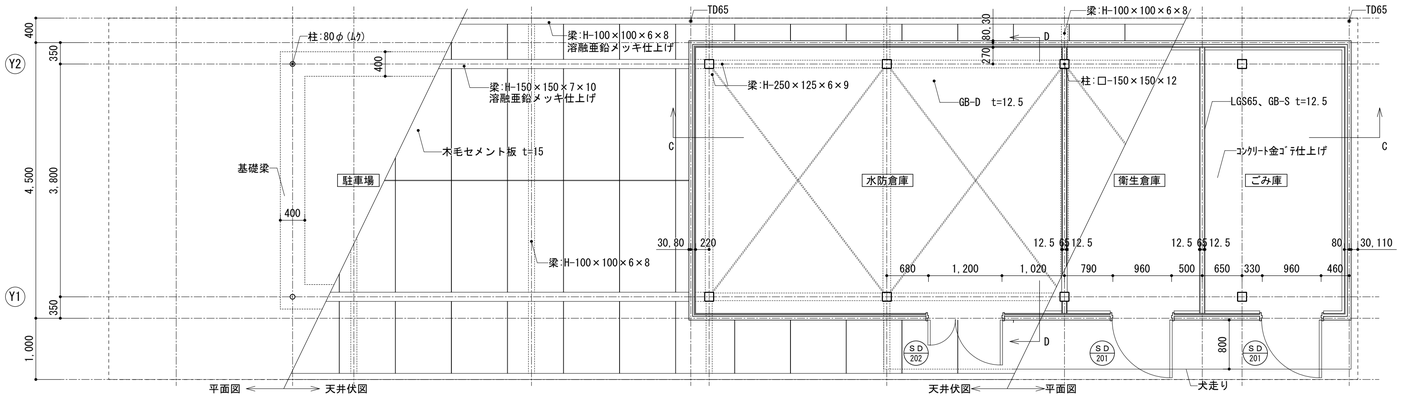


G詳細図 1/10

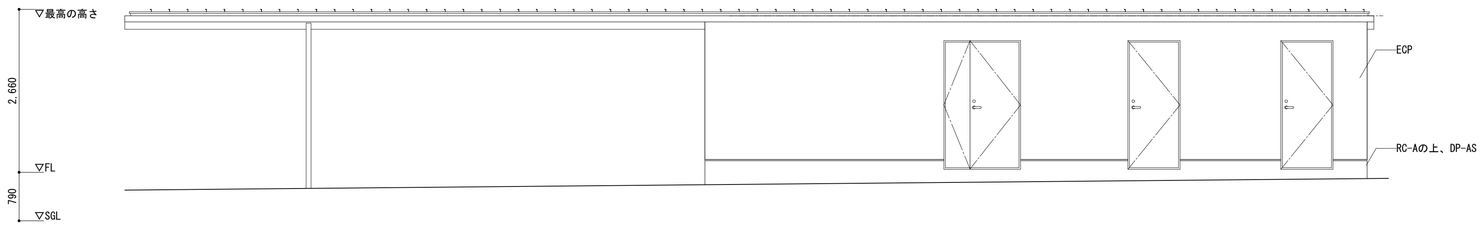


F詳細図 1/10

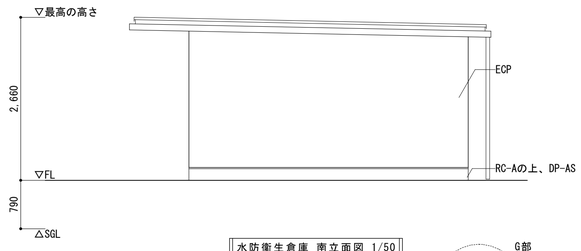
※継手の下フランジのボルトは必ず上から締めること。



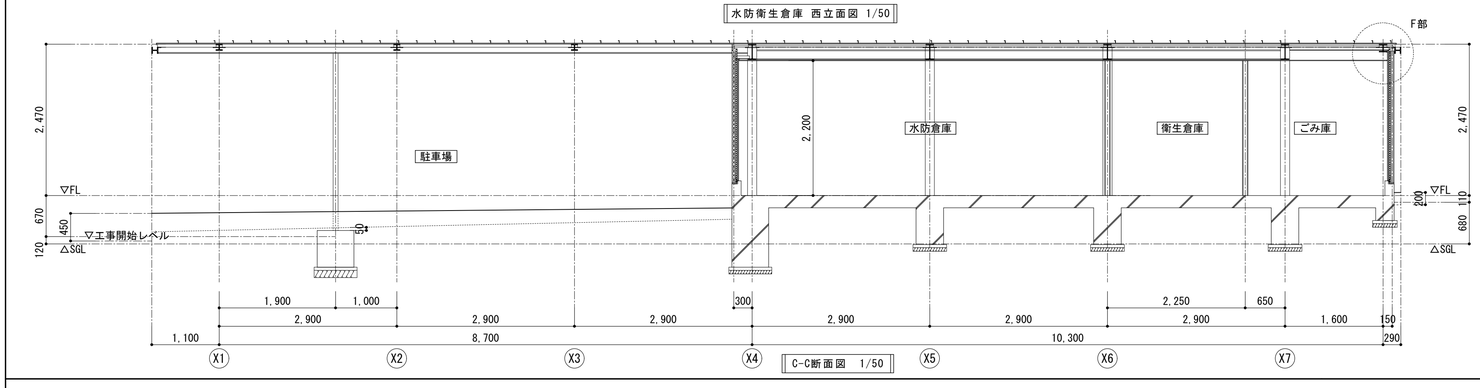
水防衛生倉庫 平面図兼天井伏図 1/50



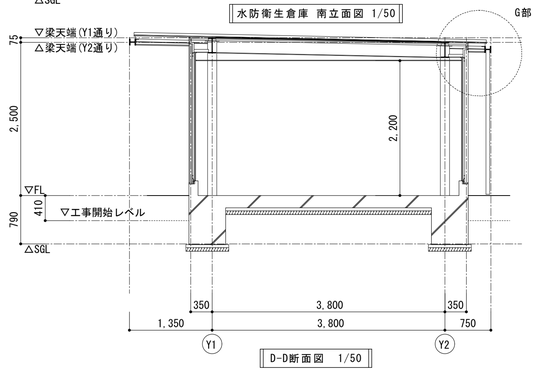
水防衛生倉庫 西立面図 1/50



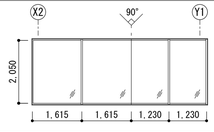
水防衛生倉庫 南立面図 1/50



C-C断面図 1/50



D-D断面図 1/50

SD 201 -1	片開き戸
場所	水防衛星倉庫、誘導員詰所
仕上	A-BE
金物	金物セットI
備考	
SD 202 -1	両開き戸
場所	水防衛星倉庫
仕上	A-BE
金物	金物セットI
備考	
AW 201 -1	FIX窓
	
場所	誘導員詰所
仕上	U-BE
硝子	D-LE6+A6+FL6
金物	額縁・腰板 St=1.6
備考	

見えがかりになる鉄骨柱梁の溶接位置・方法・方向は、施工者で確認の上、監理者の承認を得ること。

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

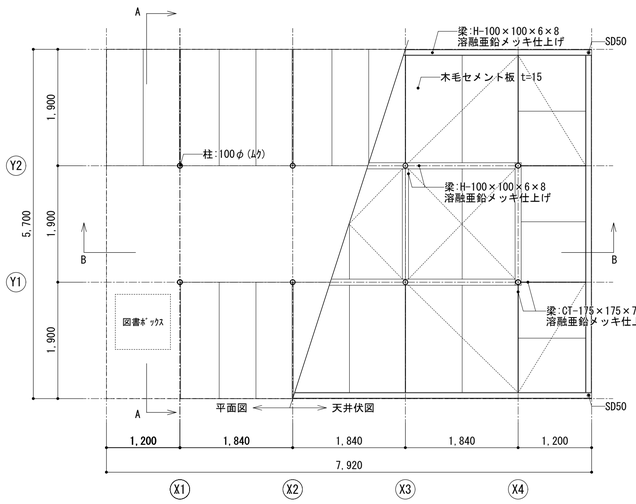
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

外構図(2)- 水防衛生倉庫・誘導員詰所 | A1 1/50,10,3 | A3 1/100,20,6 | No.

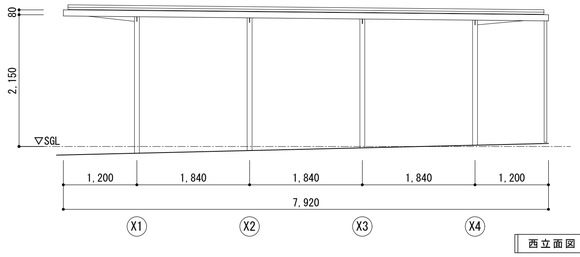
鹿児島市建設局建築部建築課 | A - 85

西駐輪場

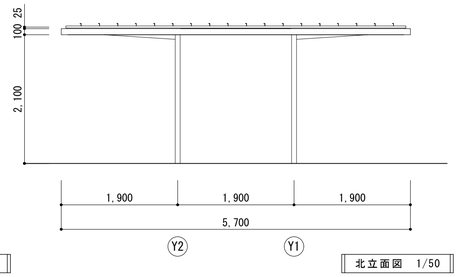
1：50



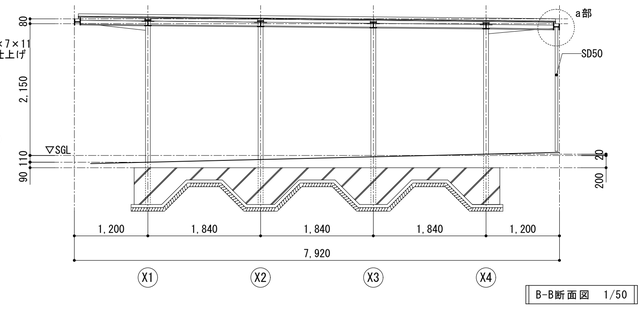
平面図・天井伏図 1/50



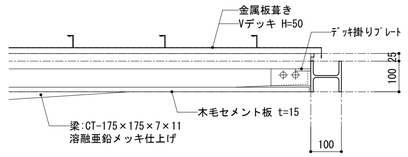
西立面図 1/50



北立面図 1/50



B-B断面図 1/50

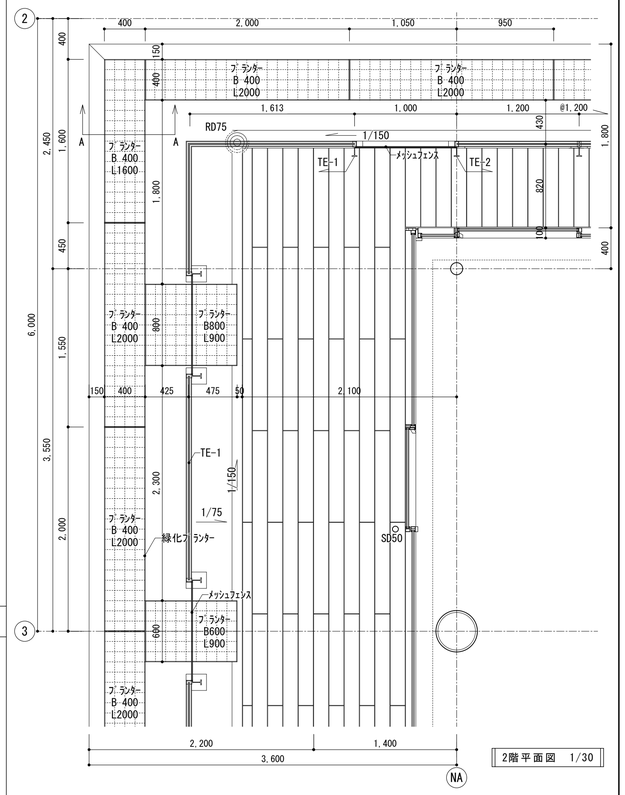


a詳細図 1/10

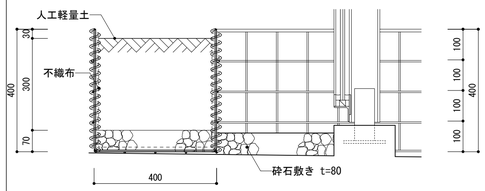
見えがかりになる鉄骨柱梁の溶接位置・方法・方向は、施工者で確認の上、監理者の承認を得ること。

植栽プランター

1：30，1：10



2階平面図 1/30

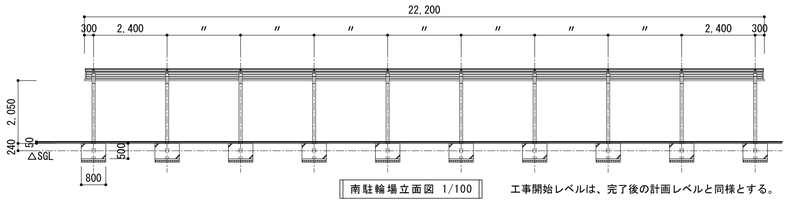


溶接金網	100×100mm目、φ6 ※最上端はφ9 亜鉛アルミ合金めっき鉄線
透水シート	-

ﾌﾟﾗﾝﾀｰA-A断面図 1/10

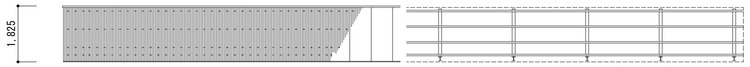
東駐輪場-1・東駐輪場-2・南駐輪場

1：50

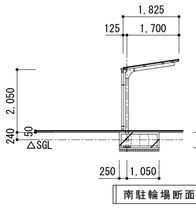


南駐輪場立面図 1/100

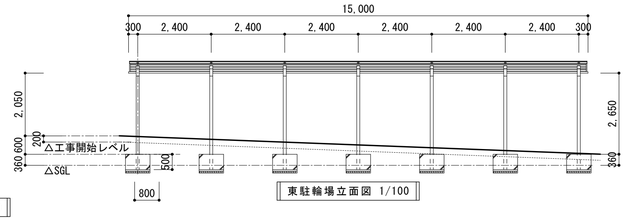
工事開始レベルは、完了後の計画レベルと同様とする。



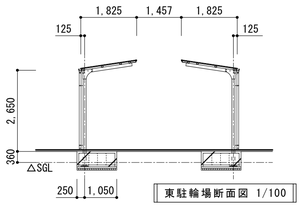
南駐輪場平面図 1/100



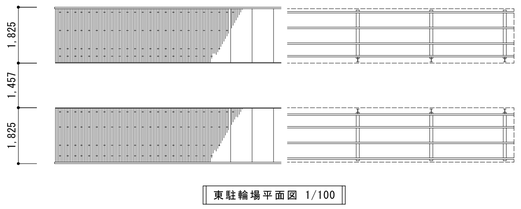
南駐輪場断面図 1/100



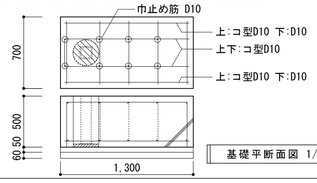
東駐輪場立面図 1/100



東駐輪場断面図 1/100



東駐輪場平面図 1/100



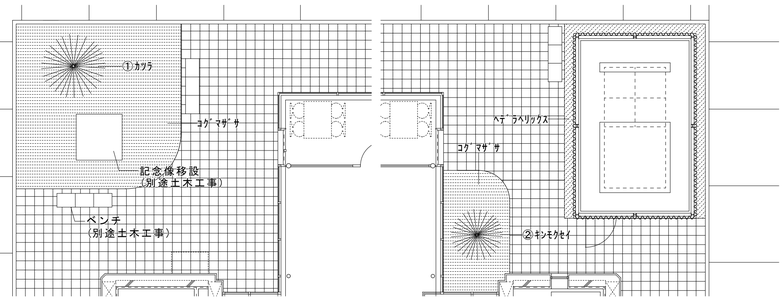
基礎平断面図 1/30

東・南駐輪場		
	品名	リード　シンワ型シェルターK型（SS18K-1）
	柱梁	溶融亜鉛めっきのまま
	屋根	カラー鋼板

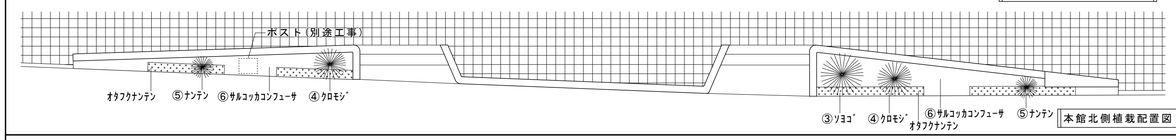
アプローチ・植栽計画図

1：30，1：50，1：30

凡例	樹種	数量	規格・密度
①	カクラ	1本	H=3.0m W=0.8m
②	キンモクセイ	1本	H=1.5m W=0.4m
③	ソヨゴ	1本	H=1.8m
④	クロモジ	2本	H=1.5m
⑤	ナンテン	2本	H=1.0m
⑥	サルコッカコンフューサ	9.9㎡	28鉢/㎡
	オタフクナンテン	3.6㎡	H=0.15m 50鉢/㎡
	コグマザサ	34.0㎡	3芽立 50鉢/㎡
	ヘデラヘリックス	12.6m	L=0.3m 3芽立 5鉢/m

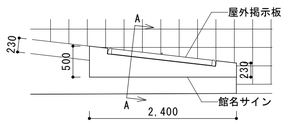


本館南側植栽配置図 1/100

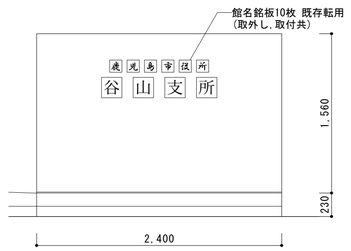


本館北側植栽配置図 1/100

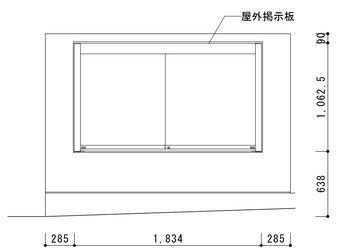
屋外掲示板（サイン工事）	
品種	アルミ掲示板（杉田エースPKA-H型同等品）
規格	（W×H）1,834×1,062.5
色	SLC(サンシルバー)
備考	プッシュ錠 キー付



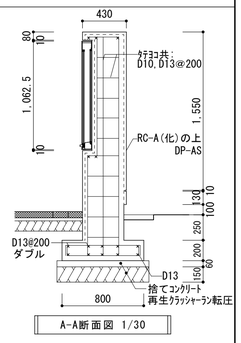
館名ｻｲﾝ平面図 1/50



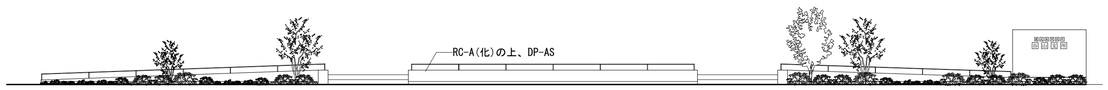
館名ｻｲﾝ立面図 1/30



掲示板立面図 1/30



A-A断面図 1/30



ｱﾌﾟﾛｰﾁ立面図 1/100

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

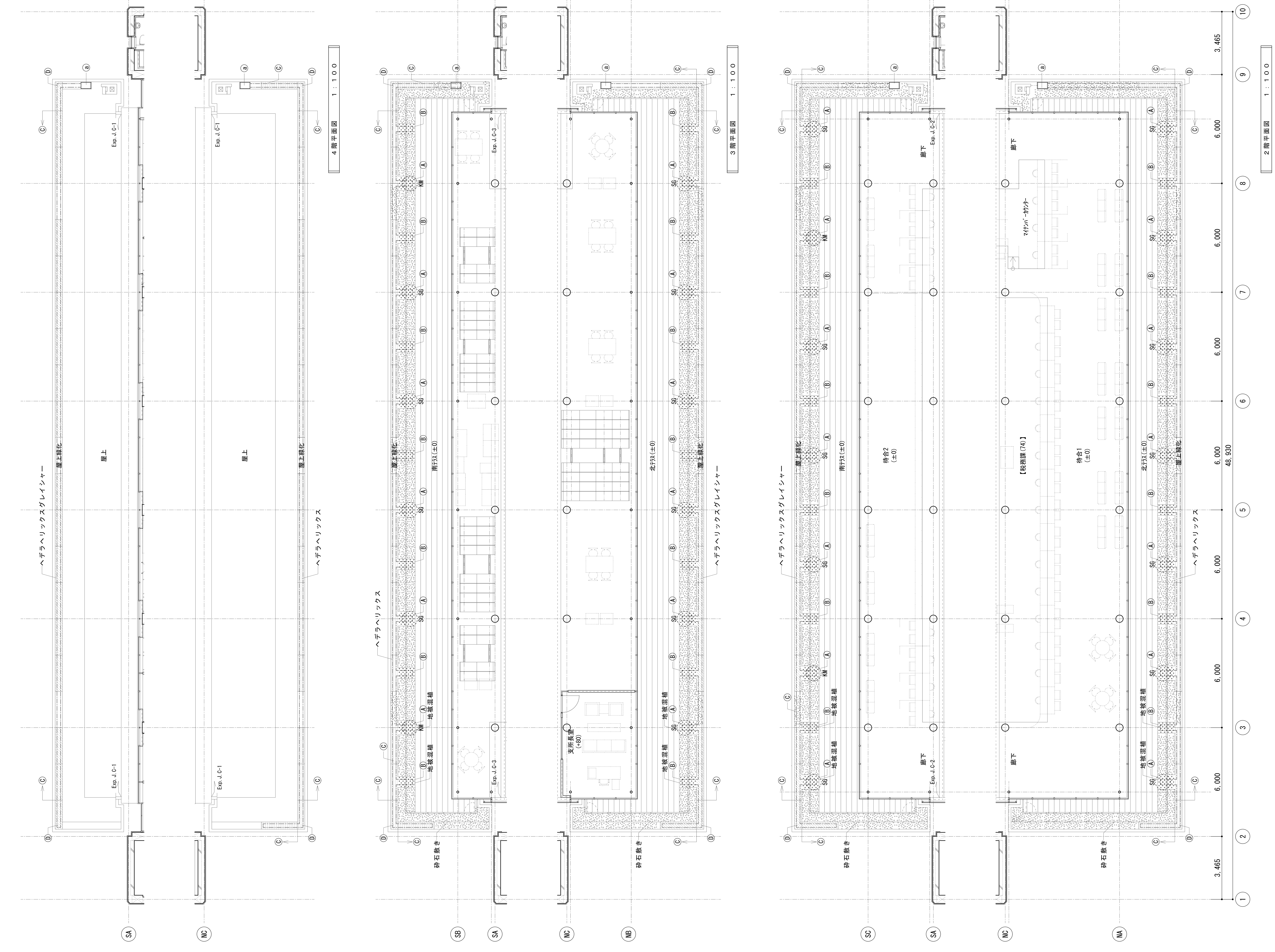
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

外構図(3)-駐輪場

A1 図示の通り
A3 図示の通り

鹿児島市建設局建築部建築課

No. A－86



植栽

区分	記号	樹種	形状寸法(M) 高さ	幹周	葉張	数量	単位	備考
常緑中木	SG	ソヨゴ	1.8	-	-	22	本	
	KM	キンモクセイ	1.5	-	0.4	4	本	
地被類		ﾍﾃﾞﾗﾍﾘｯｸｽ	-	-	-	47.04	㎡	3本立 8鉢/m
		ﾍﾃﾞﾗﾍﾘｯｸｽｸﾞﾚｲｼｬｰ	-	-	-	45.44	㎡	3本立 8鉢/m
		地被混植	-	-	-	32.76	㎡	
		(内訳) フイリヤブラン	-	-	-	70	%	3芽立 35鉢/㎡
		ツワブキ	-	-	-	30	%	3枚葉
その他		砕石敷き	-	-	-	172.35	㎡	粒径30mm程度

植栽プランター （共和ハーモテック ディアプランター同等品）

記号	名称	数量	単位	備考
Ⓐ	植栽プランターA	26	基	H=400, B=800, L=900 BOX型
Ⓑ	植栽プランターB	26	基	H=400, B=600, L=900 BOX型
Ⓒ	植栽プランターC	106	基	H=400, B=400, L=2000 BOX型
Ⓓ	植栽プランターD	12	基	H=400, B=400, L=1600 BOX型

灌水システム （イーエスウォーターネット:ウォーターマスターⅡ+アムノンドリップチューブ同等品）

記号	名称	数量	単位	備考
ⓐ	電磁弁ボックス	6	基	電気式
	点滴式灌水ホース(敷設)	691	m	φ16 ポリエチレン

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	外構図(4)-屋上緑化	A1 1/100 A3 1/200	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		A－ 87

(1)積算・工事区分表（大区分）

項目	建築	電気	衛生	空調	別途	備考
電気（受変電・発電機・太陽光・幹線動力・照明・コンセント放送・情報表示・誘導支援・音響		○				
テレビ・電話		○				端末本体・端末接続工事は別途
LAN配線		○		○		結線(及び準備)工事・課内調整による各種LANの整理検討は別途
警報		○				
避雷針		○				
外構照明、外構施設照明、外構給電（EV,PHEV用）		○				
オイルタンク		○				埋設のための掘削・底盤・ｽﾗﾌﾞは建築工事
給排水			○			
ガス			○			
消火			○			
雨水排水・汚水排水	○		○			雨水排水は建築工事 汚水排水は衛生設備工事
冷暖房				○		
換気				○		
昇降機	○					
オフィス什器・窓口カウンター・各室什器					○	
各課調整を伴う什器・OA機器の整理・レイアウト検討					○	決定されたﾚｲｱｳﾄによる総合図検討は本工事に含む
カーテン・ブラインド・ロールスクリーン					○	
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞ・ﾎｰﾙ展示・その他広告下地					○	

(2)積算・工事区分表（中小区分）

	項目	建築	電気	衛生	空調	別途	備考
共通	工事用電力・上下水道・ガス料金	○	○	○	○		試運転含む
	工事上の各種申請届出・その費用	○	○	○	○		関連工事別
	既存上下水道・ガス管の撤去・同手続き					○	別館解体工事もしくは外構土木工事
機械基礎	設備機器基礎、それに伴う床補強	○					
	同上ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ・箱入・埋込		○	○	○	○	関連工事別
躯体貫通	地中梁の連通管・通気管・人通孔・補強	○					
	S造貫通ｽﾘｰﾌﾞ	○					構造体補強共
	RC造貫通ｽﾘｰﾌﾞ・既存躯体ｺｱ抜き	○	○	○	○	○	関連工事別
	同上補強（100φを超えるもの）	○					
	床・壁貫通ｽﾘｰﾌﾞ・箱入れ	○	○	○	○	○	関連工事別
	各躯体貫通部・不要穴空け部の穴埋め・止水処理	○	○	○	○	○	仕上が必要な場合、仕上は建築工事
躯体以外の開口・貫通	（工場製作間仕切壁） 開口・取付枠・補強	○					
	（現場製作間仕切壁） 開口・取付枠・補強	○	○	○	○	○	関連工事別
	天井付各種器具の開口・取付枠・補強	○	○	○	○	○	LGS補強は建築工事
	壁・床の直付各種器具取付枠・補強	○	○	○	○	○	関連工事別
	ECP壁開口・補強	○					
	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ等の床・壁開口補強及び切断	○					墨出しは各種設備工事
	OAﾌﾛｱ他二重床の穴あけ	○					
点検口ガラリ	外壁取付ｶﾞﾗﾘ	○					
	同上接続用ｱﾝｸﾞﾙ・ﾈｯﾊﾟｰ・防鳥ﾈｯﾄ	○					
	同上接続用ﾁｬﾝﾊﾞｰﾎﾞｯｸｽ				○		接続部は図示による
	ﾄﾞｱｶﾞﾗﾘ・ﾄﾞｱｽﾘｯﾄ	○					
	点検口（天井・床）	○					
雨水・排水	屋内・敷地内雨水排水工事（会所および蓋含む）	○					
	屋内・敷地内汚水排水工事（会所および蓋含む）			○			
	敷地外本管への接続	○		○			雨水排水は建築工事 汚水排水は衛生設備工事
	ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ・排水管接続			○			
便所・浴室ﾊﾟﾝﾄﾘｰ等	ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ	○					換気機器含む
	同上ダクト工事				○		換気機器接続含む
	同上一次側電気配管配線		○				
	同上給排水接続			○			本体からの突出部以降
	ﾊﾟﾝﾄﾘｰｶｳﾝﾀｰ（造付け）の供給取付	○					
便所・浴室ﾊﾟﾝﾄﾘｰ等	同上給水給湯・水栓・排水の取付接続			○			
	同上一次側電気配管配線	○					
	洗面・手洗いｶｳﾝﾀｰ			○			
	同上給水給湯および排水の取付接続			○			
	WC内手摺・ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ・鏡			○			
	BWC内手摺・ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ・ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ・ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｼｰﾄ・鏡			○			
	オストメイト水栓			○			
ピットマンホール水槽等	雨水貯留槽・汚水槽のｺﾝｸﾘｰﾄ下地調整・防水工事	○					
	同上用ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管	○					
	同上用ﾏﾝﾎｰﾙｶﾊﾞｰおよびﾀﾗｯﾌﾟ	○					
	内部処理設備取付・その架台とも			○			
	電気室ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ		○				
設備工事等	発電機・ｷｭｰﾋﾞｸﾙ、同据付（ﾓﾉﾚｰﾙやﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯｸ含む）		○				
	発電機室の防油堤嵩上げｺﾝｸﾘｰﾄ	○					
	発電機用給油配管		○				外部からの給油・返油を含む
	同上外構配管用側溝・蓋	○					
	同上側溝用、ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ・排水管接続		○				
	動力制御盤		○				
	同上一次側配管配線		○				

	項目	建築	電気	衛生	空調	別途	備考
設備工事等	同上二次側配管配線および結線		○				
	外調機・ﾁﾗｰ・ﾊﾟｯｹｰｼﾞ、同据付（ﾓﾉﾚｰﾙやﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯｸ含む）				○		
	同上一次端子台までの電気配管配線		○				
	同上機器付属制御盤・二次側電気配管配線				○		
	空調用自動制御機器・自動制御盤・取付調整				○		
	同上間の電気配管配線				○		
	空調用自動制御盤への電源送り		○				
	同上より自動制御監視盤までの電気配管配線		○		○		関連工事別
	自動制御監視盤（空調・衛生）				○		
	ﾊﾟｯｹｰｼﾞなどの遠隔操作用・故障警報用ﾘﾚｰ端子の取付				○		
	避雷針およびｱﾝﾃﾅ用基礎	○					既存躯体に設置
	避雷針から1.5m以内の金属製取付物の接地		○				
	屋上緑化の潅水ｼｽﾃﾑ(電磁弁ﾎﾞｯｸｽ・潅水ﾎｰｽ)、給水接続・調整	○					
	同上一次側配管配線		○				
	同上一次給水			○			
	ガス湯沸器			○			
	同上電源工事		○				
防災消火設備等	消火栓・火災警報器、取付			○			関連工事別
	消火栓用表示ﾗﾝﾌﾟ・起動ﾗﾝﾌﾟ、取付・結線		○				
	消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ制御盤（起動ﾘﾚｰ共）			○			
	同上制御盤以降の二次配管配線			○			
	同上制御盤までの一次配管配線		○				
	消火器					○	
	同上ﾎﾞｯｸｽ・収納ｹｰｽ	○					
	緩降機	○					
防火戸建具等	防火戸・建具・付属金物・操作スイッチ	○					
	防火戸の自動閉鎖装置（ﾚﾘｰｽﾞ）		○				
	同上用煙感連動制御装置および二次側配管配線		○				
	自動ﾄﾞｱ用電源配管配線		○				1次側電源供給まで
	自動ﾄﾞｱ操作用配管	○					操作ﾎﾞｯｸｽおよびｷｰﾎﾞｯｸｽ連動用ｼﾘﾝﾀﾞｰの供給取付含む
仕上ﾕﾆｯﾄ等	サイン	○					
	移動棚	○					
	ブラインドボックス・カーテンボックス	○					外部に面する部分は外部建具に含む
解体・撤去	大区分の分類に基づいた既存本館の躯体・下地仕上・設備機器	○	○	○	○	○	関連工事別・図示による
	同上用外構埋設物（上記に準ずる）	○	○	○	○	○	関連工事別・図示による
	仕上等に付随する二次配管配線	○					
	アスベスト含有建材	○	○		○		図示による
	既存別館とそれに付随する埋設設備の解体・撤去					○	埋戻しせずに引渡し
	既存外構の解体・撤去工事					○	
外構関連	東西南北ｱﾌﾟﾛｰﾁ・車寄せ・西駐輪場の外構整備	○					
	上記以外の敷地内外構整備					○	
	同上外構範囲の各種申請届出					○	
	敷地全体の施工図作成	○	○	○	○	○	関連工事別図から重ね合せ図を作成
	水防衛生倉庫・東西南駐輪場・誘導員詰所の建屋	○					周辺外構ﾚﾍﾞﾙは既存ﾚﾍﾞﾙ渡し
	同上に設置される設備、そこまでの敷設		○	○	○		関連工事別
	計画敷地・借地の仮囲い	○					
	前面道路の歩道整備・復旧・補修					○	
	既存外構工作物の撤去・仮置き・移設	○				○	関連工事別・図示による
その他	引越や什器搬入の養生					○	
	決定された各課座席ﾚｲｱｳﾄ・OA機器位置による総合図検討	○	○	○	○	○	関連工事別
	各課のﾚｲｱｳﾄ調整に伴う、OAﾌﾛｱ敷設後のｺﾝｾﾝﾄ位置・LAN配線の経路変更					○	

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

積算・工事区分表　A1 －　A3 －

鹿児島市建設局建築部建築課

No. A － 88

撤去・下地調整共通事項

・本表は既存部における撤去とそれに伴う下地調整を一括して表す。符号等は本表以外の撤去図にも適用される。
・特記なき場合の躯体天端レベルは、旧1階FL-50、旧2～4階FL-30とする。
・スラブと仕上間のレベル調整モルタルは全て撤去する。
・壁、天井の軽量鉄骨下地は全て撤去する。
・内装仕上表内の「2GB-R t=9.0」は、9.0mmせっこうボード2枚貼りと読む
・アスベスト含有の仕上は、右表「塗料一覧」と「仕上材符号一覧」に示す。

塗装一覧

★はアスベスト含有材を示す

符号	名称	符号	名称
VP	ビニル系エナメルペイント塗り	★EP	合成樹脂エマルションペイント塗り

仕上材符号一覧表

★はアスベスト含有材を示す

	符号	名称		符号	名称
床・壁・天井・幅木	RC-B	コンクリート打放し仕上げ	床・壁・天井・幅木	DRS	ロックウール化粧吸音板システム天井 t=12.0
	LGS	軽量鉄骨下地		GB-R	せっこうボード t=9.0
	TL	タイル		GB-NC	不燃積層せっこうボード
	打TL	打込みタイル		GB-D	化粧せっこうボード
	★VT	ビニル床タイル		★F	フレキシブル板 t=5.0
	CP	カーペット		★NF	軟質フレキシブル板 t=6.0
	RW吹付	吹付ロックウール t=30		VC	ビニルクロス
	DR	ロックウール化粧吸音板 t=9.0		V	ビニル幅木
				★AR	アスベストラックス t=12.0

外装/外構仕上の撤去・下地調整表

〈　〉内は、撤去しない既存仕上を示す

区分	部位	仕上
屋根	屋根	〈A防水の上、押えコンクリート〉 機械基礎 撤去
	塔屋屋根	〈A防水の上、押えコンクリート〉
	ポーチ屋根	耐酸被覆鋼板 t=1.2 撤去
	屋上緑化	植栽・客土（緑石共） 撤去
外壁	外壁	〈打TL 一部、モルタル金ごて押えCP塗〉
	塔屋外壁	外壁面：〈打TL〉 屋上広場面：〈モルタル刷毛引アクリルリシン吹付〉
	笠木	〈PC版CP塗〉
床	ポーチ	TL（別途土木工事）
	犬走	TL（別途土木工事）

区分	部位	仕上
軒天	主玄関	アルミパネルA-BE 撤去
	副玄関	アルミモールディング 撤去
ピット（消防水槽、WC配管ピット、EVピット）		〈内部セメント防水〉
建具		AW・STD 撤去
		〈AG・SD〉
樋		150φVP 撤去
その他		〈丸環 スチールOP @3,000〉 煙突岩綿成型内径500φコンクリート打込み厚 t=50

内装仕上の撤去・下地調整表

〈　〉内は、撤去しない既存仕上を示す

位置	室名	床	基準FLからレベルmm（躯体天端）	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
共通	MWC、WWC、HWC(1・2階)	TL撤去の上、下地調整	(-50)	―	―	TL撤去	―	GB-R下地DR 撤去	―	2,400	トイレブース、洗面台撤去
	MWC、WWC(3・4階)	TL撤去の上、下地調整	(-50)	―	―	TL撤去	―	DR 撤去	―	2,400 2,700(4階)	トイレブース、洗面台撤去
	階段室(1階)	★VT一部TL-1撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉 2GB-R 撤去 一部、TL撤去	〈VP〉 VP ―	〈モルタル(段裏)〉	★EP	―	ノンスリップ、手摺、プラントボックス撤去
	階段室(2・3・4・5階)	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉 2GB-R 撤去	〈VP〉 VP	〈モルタル(段裏)〉 GB-R下地DR(5階) 撤去	★EP ―	―	ノンスリップ、手摺撤去
	SK	TL撤去の上、下地調整		―	―	〈モルタル〉 TL(H=1,000)撤去	―	★F 撤去	★EP	2,400	流し台、SUSモップ掛撤去
	空調機械室(2～4階)	機械基礎撤去の上、下地調整		〈モルタル〉	〈100〉	RW吹付 t=30(＞H1,000)撤去 〈モルタル H1,000〉	―	RW吹付 撤去	―	―	フェンス撤去
	湯沸室	TL撤去の上、下地調整		―	―	TL撤去	―	★F 撤去	★EP	2,400	流し台、ガス台、吊戸棚撤去
	EVホール	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	GB-R下地DR 撤去	―	2,700	
	談話コーナー	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	GB-R下地DR 撤去	―	2,700	
	廊下	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル、一部コンクリート〉	〈VP〉	GB-R下地DR 撤去	―	2,700	
1階	風除室-1	TL撤去の上、下地調整		―	60	アルミモールディング撤去 TL撤去	― ―	VC	―	2,438	
	風除室-2, 3	TL									アルミー体型風除室撤去
	総務課相談係 市民相談室	CP撤去の上、下地調整		―	―	TL(柱型)撤去の上、下地調整	―	アルミ製パネル 撤去	―	2,438	
	市民ホール	TL撤去の上、下地調整		―	60	TL撤去	―	GB-R下地VC 撤去 アルミ製目地枠撤去	―	2,438 3,200	ペリカバー撤去
	福祉課 市民課	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉 アルミモールディング撤去 TL(柱型)撤去の上、下地調整	〈VP〉 ― ―	DRS撤去	―	3,200	ペリカバー、ブラインドボックス、カウンター撤去
	面接室	★VT撤去の上、下地調整						GB-R下地DR 撤去	―	2,700	
	市民課倉庫	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	GB-R下地DR t=9.0撤去	―	2,700	
	授乳室	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60			GB-R下地DR t=9.0撤去	―	2,700	
	踏込、金庫室	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	★NF 撤去	★EP	2,700	カウンター撤去
	宿直室 （押入・床の間）	木床組下地タタミ、松縁甲板 撤去の上、下地調整	200	畳寄せ撤去	60	★プラスター撤去	VP	GB-D 撤去	―	3,000	

内装仕上表

位置	室名	床	基準FLからレベルmm（躯体天端）	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
1階	機械室	機械基礎撤去の上、下地調整		〈モルタル〉	〈100〉	RW吹付 t=30(H=1,000以上)撤去 〈モルタル H1,000〉	― ―	RW吹付 撤去	―	―	〈マンホール〉
	更衣室	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	★NF 撤去 〈モルタル(段裏)〉	★EP 〈EP〉	2,400	洗面台撤去
	サブエントランス 通路	TL撤去の上、下地調整		―	―	TL撤去の上、下地調整	―	アルミモールディング撤去	―	2,400	
	階段下倉庫	〈モルタル〉		〈モルタル〉	〈100〉	〈モルタル〉		〈RC-B〉		―	
2階	税務課、台帳倉庫 総務課 子育て支援課	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	ペリカバー、カウンター撤去
	休憩室	木床組下地タタミ、松縁甲板 撤去の上、下地調整	200	畳寄せ撤去	60	VC撤去	―	GB-D 撤去	―	2,490	ペリカバー撤去
	放送室	木床組下地タタミ、TC 撤去の上、下地調整	200	W撤去	60	〈モルタル〉 ★AR 撤去	〈VP〉 VP	DRS撤去	―	2,700	
	電話交換室	木床組下地タタミ、TC 撤去の上、下地調整	200	W撤去	60	〈モルタル〉 ★AR 撤去	〈VP〉 VP	GB-R下地DR 撤去	―	2,500	ペリカバー、配線ピット撤去
	踏込	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	★AR 撤去	VP	DRS撤去	―	2,700	
	物置	木床組下地★VT 撤去の上、下地調整	200	V撤去	60	★AR 撤去	VP	★F 撤去	★EP	2,500	
	支所長室	CP撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉 VC撤去	〈VP〉 ―	DRS撤去	―	2,700	ペリカバー撤去
	子育て支援課(応接室)	CP撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉 VC撤去	〈VP〉 ―	DRS撤去	―	2,700	
	更衣室	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	洗面台、ペリカバー撤去
3階	保護課 谷山農林課、農業委員会 谷山建設課	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	ペリカバー撤去
	総務課倉庫、保護課倉庫 農業委員会倉庫 谷山農林課倉庫	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	ペリカバー撤去
	会議室6	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	ペリカバー撤去
	更衣室	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	洗面台、ペリカバー撤去
4階	会議室2・3・5	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	ペリカバー、スライディングウォールt=60
	社会協議会 環境衛生課 教育委員会谷山分室	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	ペリカバー撤去
	大会議室	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	ペリカバー撤去
	職員休憩室 （押入）	木床組下地タタミ、松縁甲板 撤去の上、下地調整	200	畳寄せ撤去 W撤去	60	2GB-R下地VC 撤去	VP	DRS撤去	―	2,500	ペリカバー撤去
	踏込	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	2GB-R 撤去	VP	DRS撤去	―	2,700	
	マイナンバー特設会場、 市民課倉庫 ファイリング書庫	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	ペリカバー撤去
	更衣室、清掃員控室	★VT撤去の上、下地調整		V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	DRS撤去	―	2,700	洗面台、ペリカバー撤去
5階	電気室	〈軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ t=200下地モルタル〉	300	〈モルタル〉	〈100〉	〈モルタル〉		RW吹付 撤去		―	
	発電機室	〈モルタル〉	300	〈モルタル〉	〈100〉	〈モルタル〉		RW吹付 撤去		―	
	EV機械室	〈軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ t=200下地モルタル〉	850 (850)	〈モルタル〉	〈100〉	RW吹付 t=30(＞H1,000)撤去 〈モルタル ≦H1,000〉	―	RW吹付 撤去	―	―	
	空調機械室	〈軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ t=200下地モルタル〉	130 (-100)	〈モルタル〉	〈100〉	RW吹付 t=30(＞H1,000)撤去 〈モルタル ≦H1,000〉	―	RW吹付 撤去	―	―	煙突
	監視室	★VT撤去の上、下地調整	130	V撤去	60	〈モルタル〉	〈VP〉	★F 撤去	★EP	2,700	

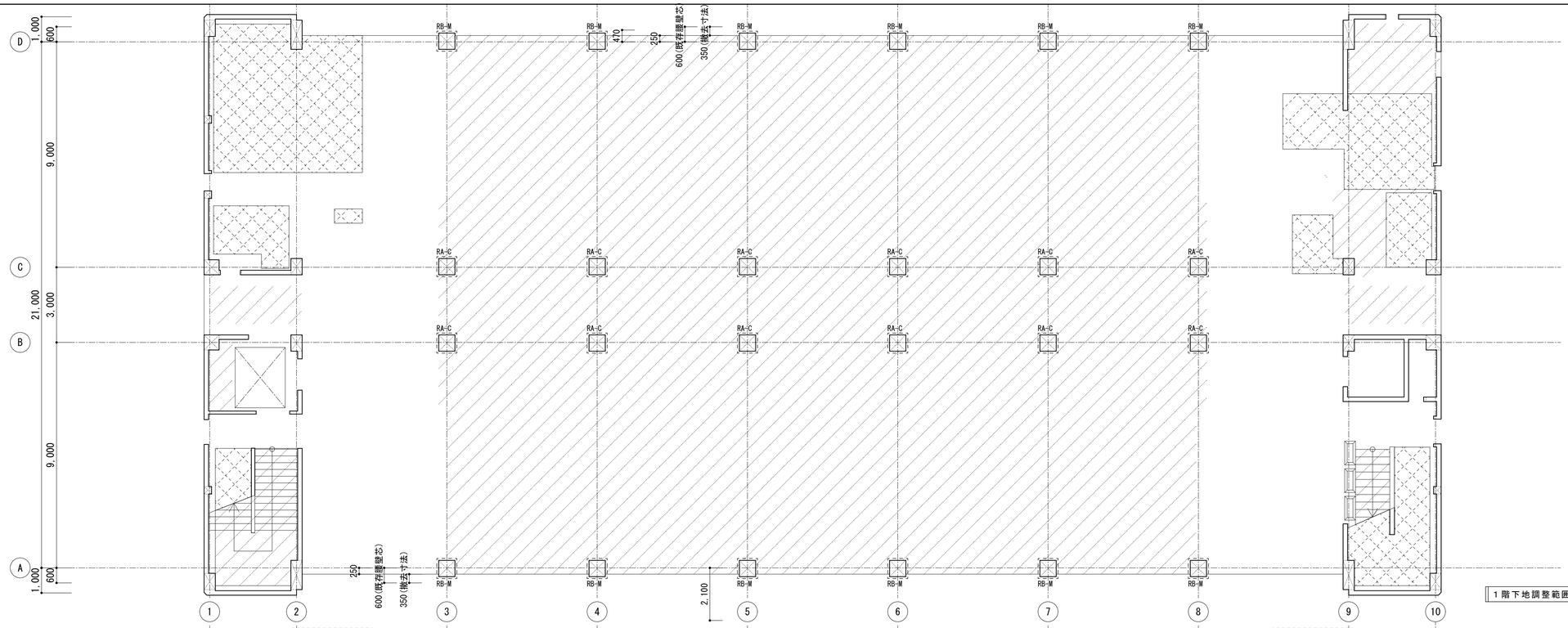
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

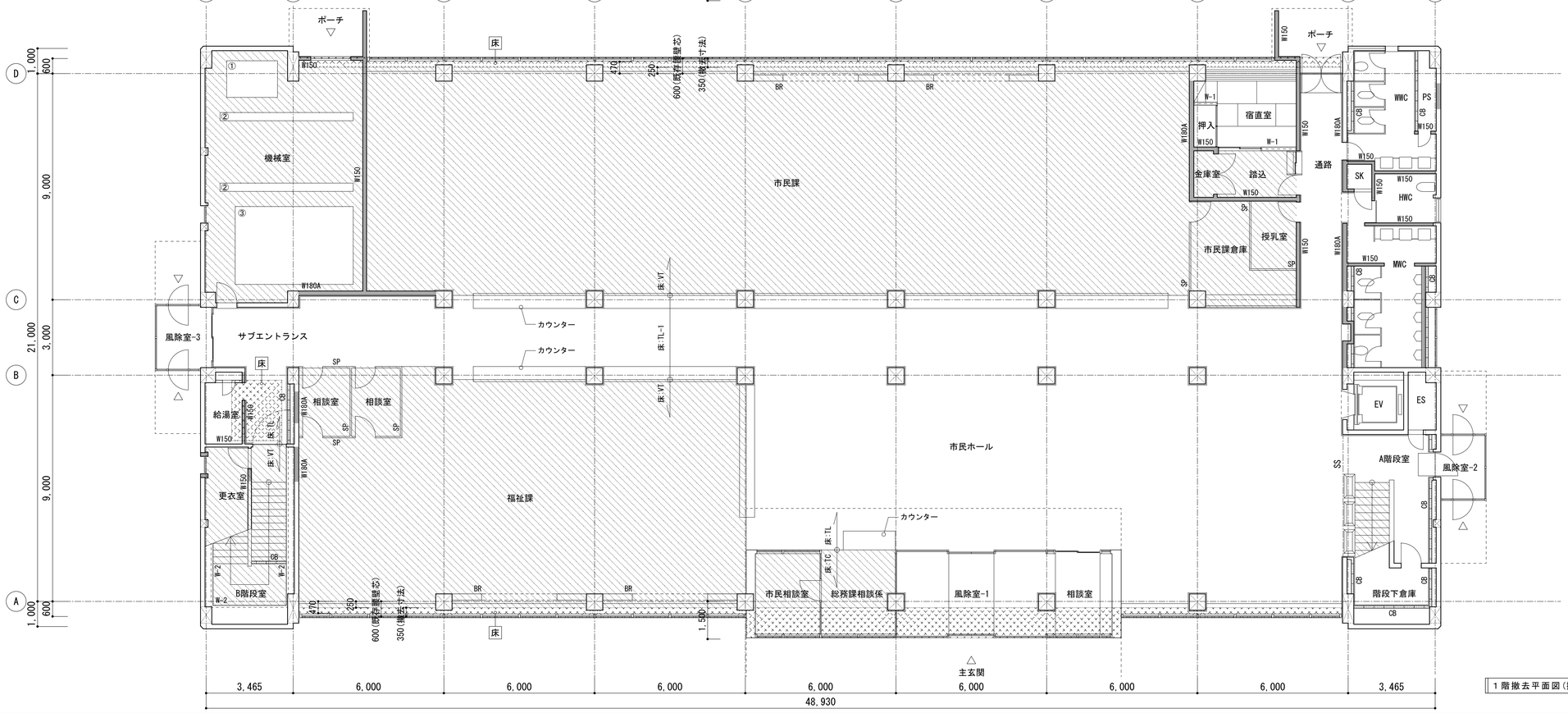
既存仕上撤去・下地調整表【撤去/調整/補修図】　A1 －　A3 －

鹿児島市建設局建築部建築課

No. B－01



1階下地調整範囲図(撤去後) 1：100



1階撤去平面図(撤去前) 1：100

凡例	300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	内装撤去一覧		躯体撤去一覧				その他撤去一覧		床下地調整一覧		壁下地調整一覧		
	(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	W-1, 2	軽量鉄骨間仕切壁(LGS65@450)撤去		RC壁撤去	① 機械基礎 (W×D×H)	①2,000×1,450×300	EV	エレベーター(扉・枠共)	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=3.0		RA-C	ｺﾝｸﾘｰﾄ面素地ごしらえ RA種(新規)	
	□	RC柱	SP	スチールパーティション(扉共)	床	RC床撤去		②330×5,300×300	乾	ﾎﾟｰﾁ屋根(仕上下地鉄骨共 矩計図参照)	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10		RB-C	ｺﾝｸﾘｰﾄ面素地ごしらえ RB種(塗替え)	
		RC壁(数字は壁厚、Aは耐震壁)	その他内装	既存仕上撤去表内に記載のある、床/幅木/壁/天井/備考の仕上一式	CB	コンクリートブロック壁t=100撤去		③4,700×3,100×150			ﾓﾙﾀﾙt=30		RB-M	ﾓﾙﾀﾙ面素地ごしらえ RB種(塗替え)	
	SS	鋼製シャッター			Br	耐震ブレース撤去									

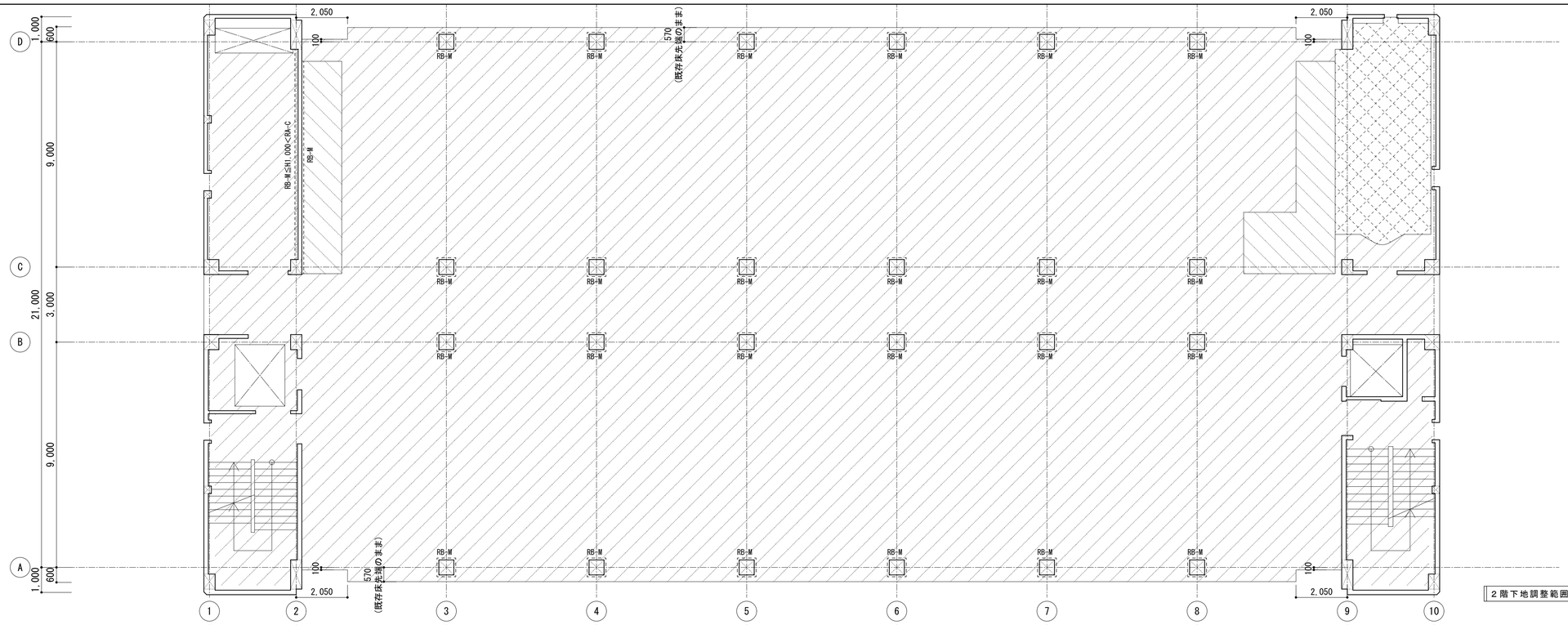
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

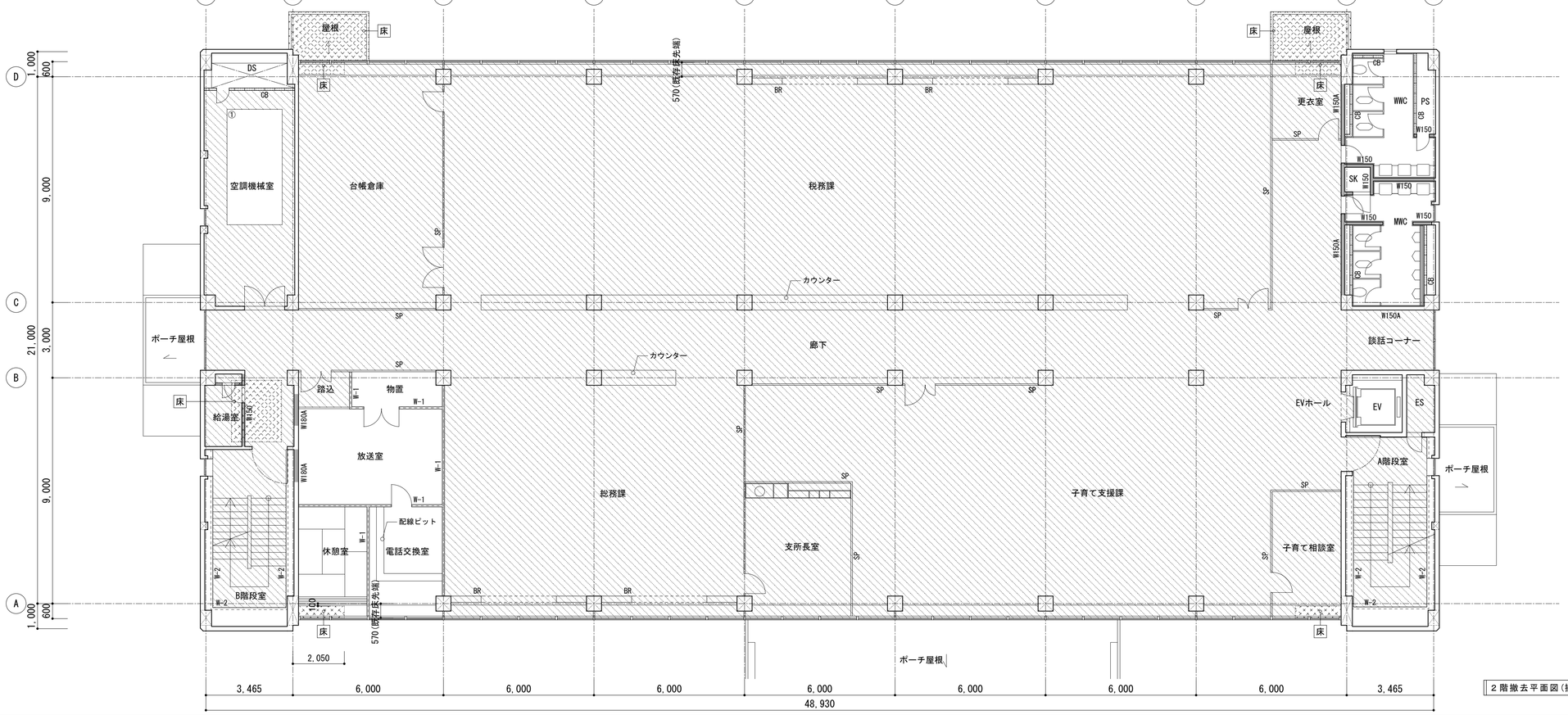
1階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】　A1 1/100　A3 1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

No. B－02



２階下地調整範囲図（撤去後）１：１００



２階撤去平面図（撤去前）１：１００

凡例															
	300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	内装撤去一覧		躯体撤去一覧			その他撤去一覧		床下地調整一覧		壁下地調整一覧			
	(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	W-1,2	軽量鉄骨間仕切壁(LGS65@450)撤去		RC壁撤去	① 機械基礎 (W×D×H)	①2,000×1,450×300	EV	エレベーター(扉・枠共)		ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=3.0	RA-C	コンクリート面素地ごしらえ RA種(新規)	
		RC柱	SP	スチールパーティション(扉共)	SK	RC床撤去		②330×5,300×300	乾	ﾎﾞｰﾄ屋根(仕上下地鉄骨共 矩計図参照)		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	RB-C	コンクリート面素地ごしらえ RB種(塗替え)	
		RC壁(数字は壁厚、Aは耐震壁)	その他内装	既存仕上撤去表内に記載のある、床/幅木/壁/天井/備考の仕上一式	CB	コンクリートブロック壁t=100撤去		③4,700×3,100×150				モルタルt=30	RB-M	モルタル面素地ごしらえ RB種(塗替え)	
	SS	鋼製シャッター				床モルタル撤去(TLを除く範囲を示す)									
					Br	耐震ブレース撤去									

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

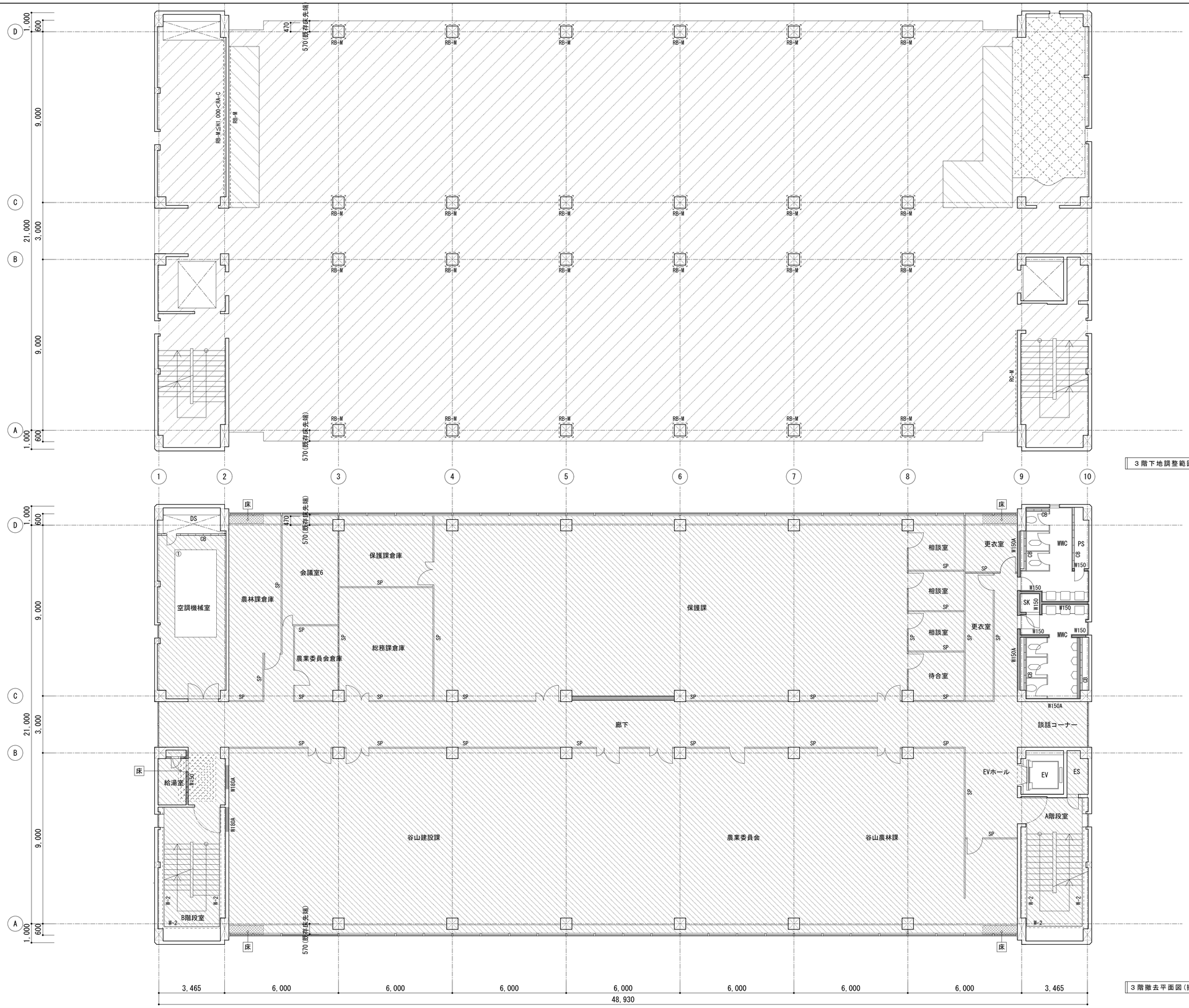
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

2階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】

A1　1/100
A3　1/200

No.
B－０３

鹿児島市建設局建築部建築課



凡例													
	300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	内装撤去一覧		躯体撤去一覧			その他撤去一覧		床下地調整一覧		壁下地調整一覧	
	(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	W-1.2	軽量鉄骨間仕切壁(LGS65@450)撤去		RC壁撤去	① 機械基礎 (W×D×H)	①2,000×1,450×300	EV	エレベーター(扉・枠共)		ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=3.0	RA-C	ｺﾝｸﾘｰﾄ面素地ごしらえ RA種(新規)
	□	RC柱	SP	スチールパーティション(扉共)	床	RC床撤去		②330×5,300×300	乾	ﾎﾟｰﾁ屋根(仕上下地鉄骨共 矩計図参照)		ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	RB-C	ｺﾝｸﾘｰﾄ面素地ごしらえ RB種(塗替え)
		RC壁(数字は壁厚、Aは耐震壁)	CB	既存仕上撤去表内に記載のある、	CB	コンクリートブロック壁t=100撤去		③4,700×3,100×150				ﾓﾙﾀﾙt=30	RB-M	ﾓﾙﾀﾙ面素地ごしらえ RB種(塗替え)
	SS	鋼製シャッター	その他内装	床/幅木/壁/天井/備考の仕上一式	Br	床モルタル撤去(TLを除く範囲を示す)							
						耐震ブレース撤去							

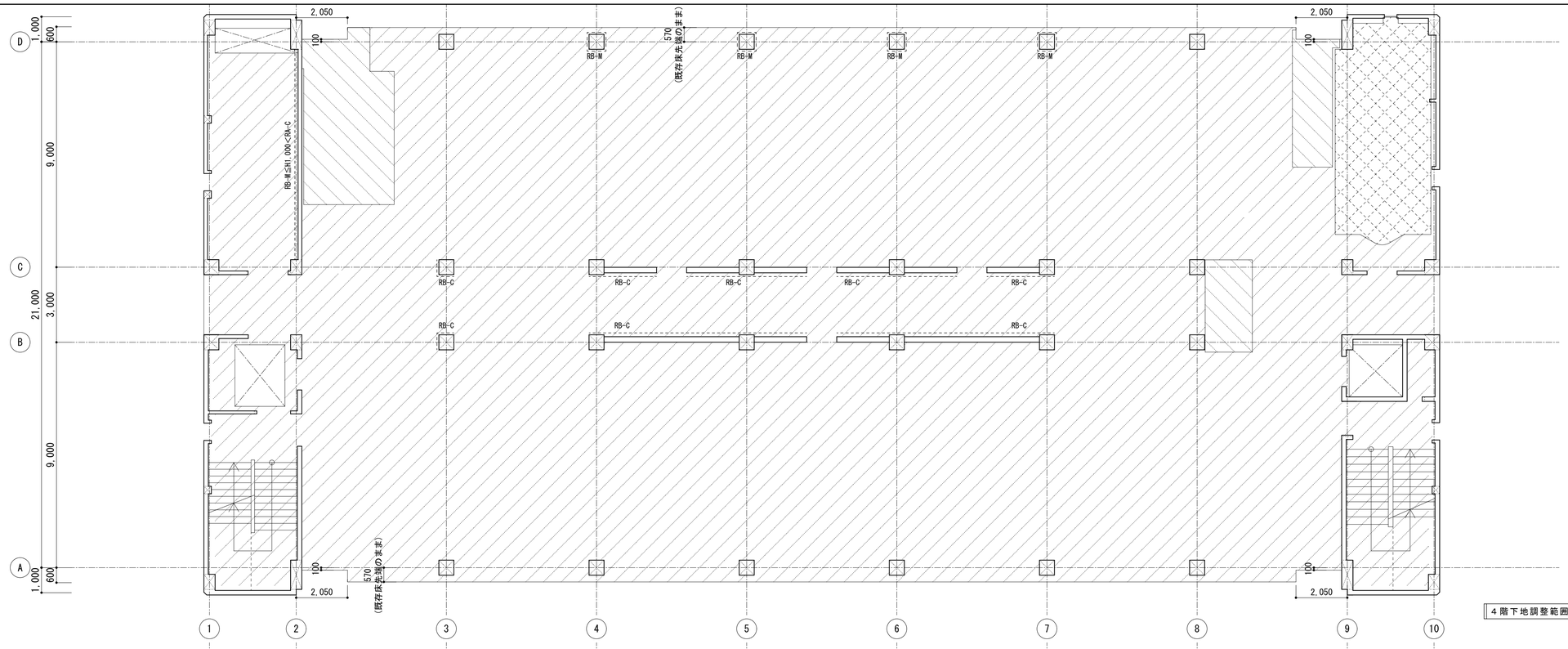
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

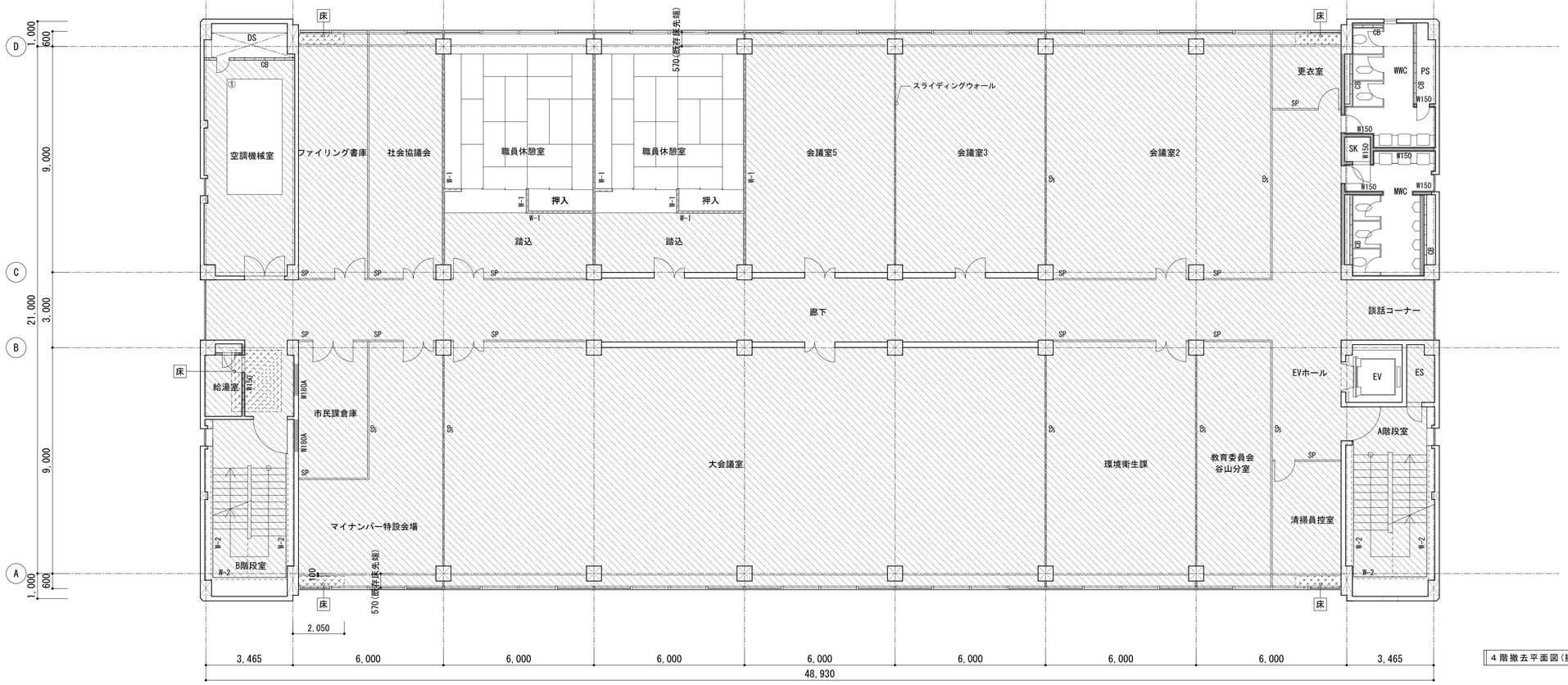
3階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】　A1 1/100　A3 1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

No. B－04



4階下地調整範囲図(撤去後) 1：100



4階撤去平面図(撤去前) 1：100

凡例

300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	W-1,2	軽量鉄骨間仕切壁(LGS65@450)撤去
(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	SP	スチールパーティション(扉共)
□	RC柱	CB	コンクリートブロック壁t=100撤去
	RC壁(数字は壁厚、Aは耐震壁)		既存仕上撤去表内に記載のある、床/幅木/壁/天井/備考の仕上一式
SS	鋼製シャッター		

内装撤去一覧

その他内装

躯体撤去一覧

	RC壁撤去
床	RC床撤去
CB	コンクリートブロック壁t=100撤去
	床モルタル撤去(TLを除く範囲を示す)
Br	耐震ブレース撤去

① 機械基礎(W×D×H)
①2,000×1,450×300
②330×5,300×300
③4,700×3,100×150

その他撤去一覧

EV	エレベーター(扉・枠共)
乾	ﾎﾞｰﾁ屋根(仕上下地鉄骨共 矩計図参照)

床下地調整一覧

	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=3.0
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10
	ﾓﾙﾀﾙt=30

壁下地調整一覧

RA-C	ｺﾝｸﾘｰﾄ面素地ごしらえ RA種(新規)
RB-C	ｺﾝｸﾘｰﾄ面素地ごしらえ RB種(塗替え)
RB-M	ﾓﾙﾀﾙ面素地ごしらえ RB種(塗替え)

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

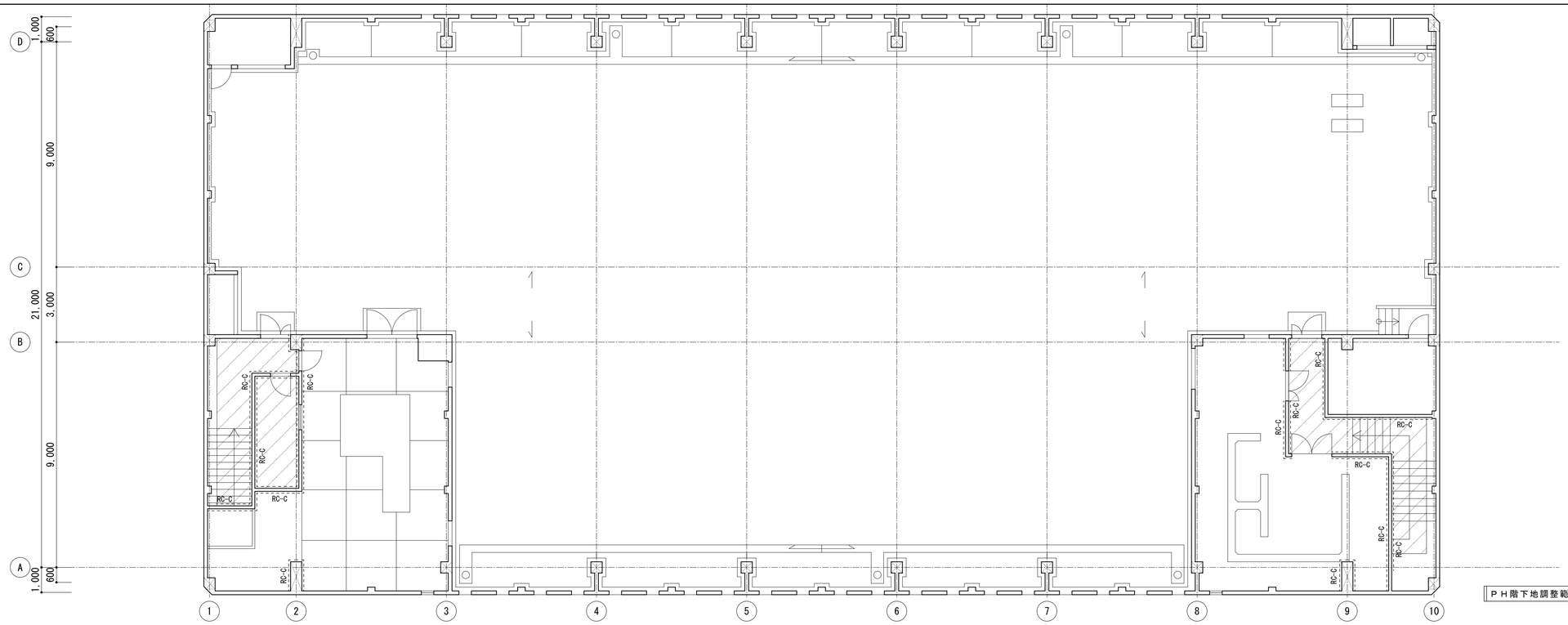
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

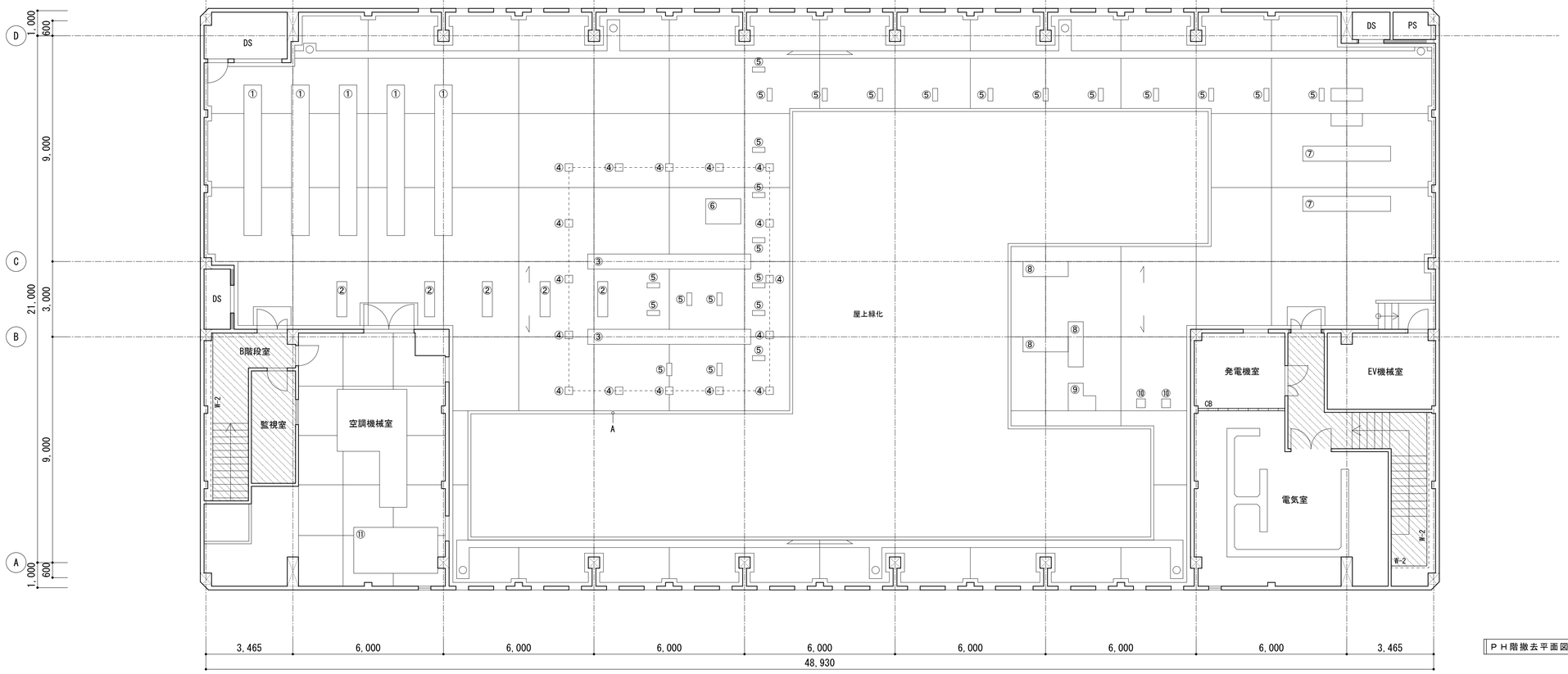
4階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】　A1 1/100　A3 1/200

No. B－05

鹿児島市建設局建築部建築課



ＰＨ階下地調整範囲図（撤去後）１：１００



ＰＨ階撤去平面図（撤去前）１：１００

凡例									
300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	内装撤去一覧		躯体撤去一覧				床下地調整一覧	壁下地調整一覧
(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	W-1,2	軽量鉄骨間仕切壁(LGS65@450)撤去		RC壁撤去	① 機械基礎(W×D×H)	①700×6,00×480 ⑥1,000×1,400×500 ⑪3,350×1,830×150	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=3.0	RA-C コンクリート面素地ごしらえ RA種(新規)
	RC柱	SP	スチールパーティション(扉共)	床	RC床撤去		②400×1,400×430 ⑦3,500×600×500 A 屋上緑化	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	RC-C コンクリート面素地ごしらえ RC種(塗替え)
	RC壁(数字は壁厚、Aは耐震壁)	その他内装	既存仕上撤去表内に記載のある、床/幅木/壁/天井/備考の仕上一式	CB	コンクリートブロック壁t=100撤去		③6,500×600×480 ⑧1,800×600×500 (縁石W120×D120、客土t=80共)	ﾓﾙﾀﾙt=30	RC-M モルタル面素地ごしらえ RC種(塗替え)
SS	鋼製シャッター				床モルタル撤去(TLを除く範囲を示す)		④300×300×300 ⑨1,100×1,100×500		
				Br	耐震ブレース撤去		⑤200×500×100 ⑩350×350×250		

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

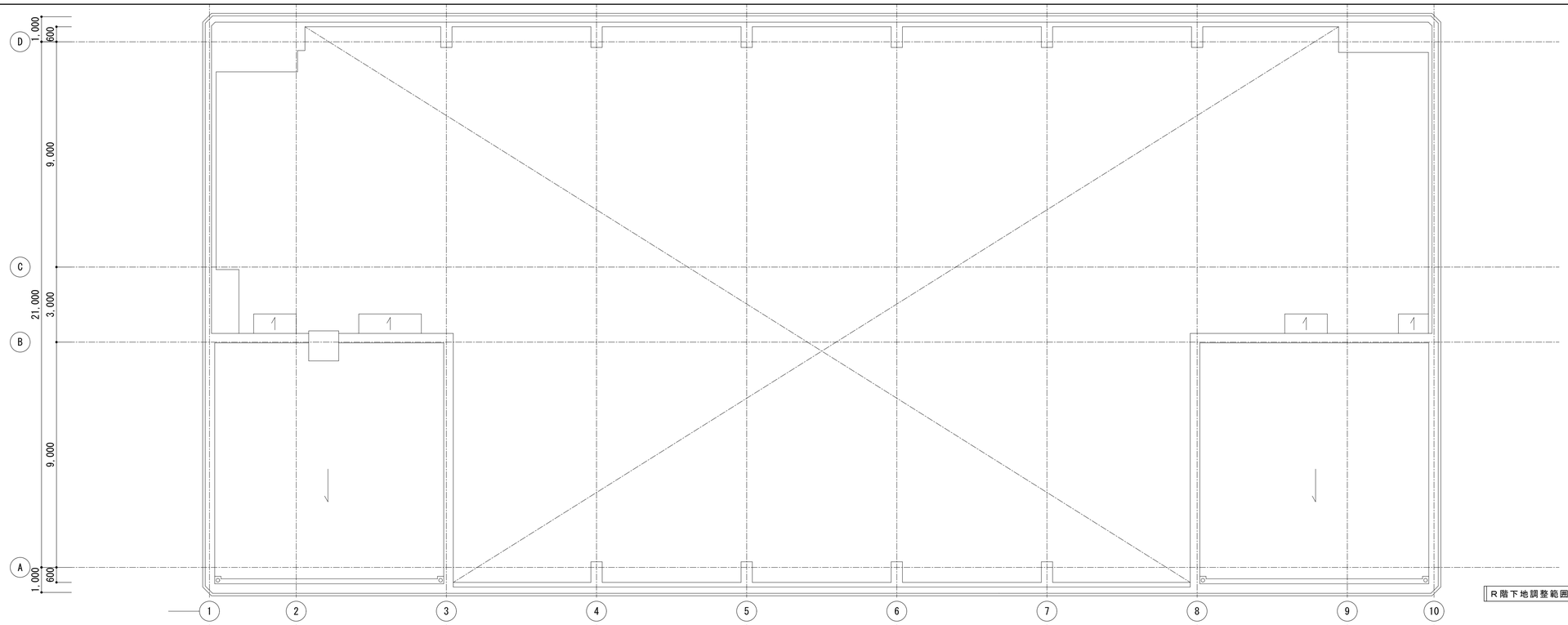
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

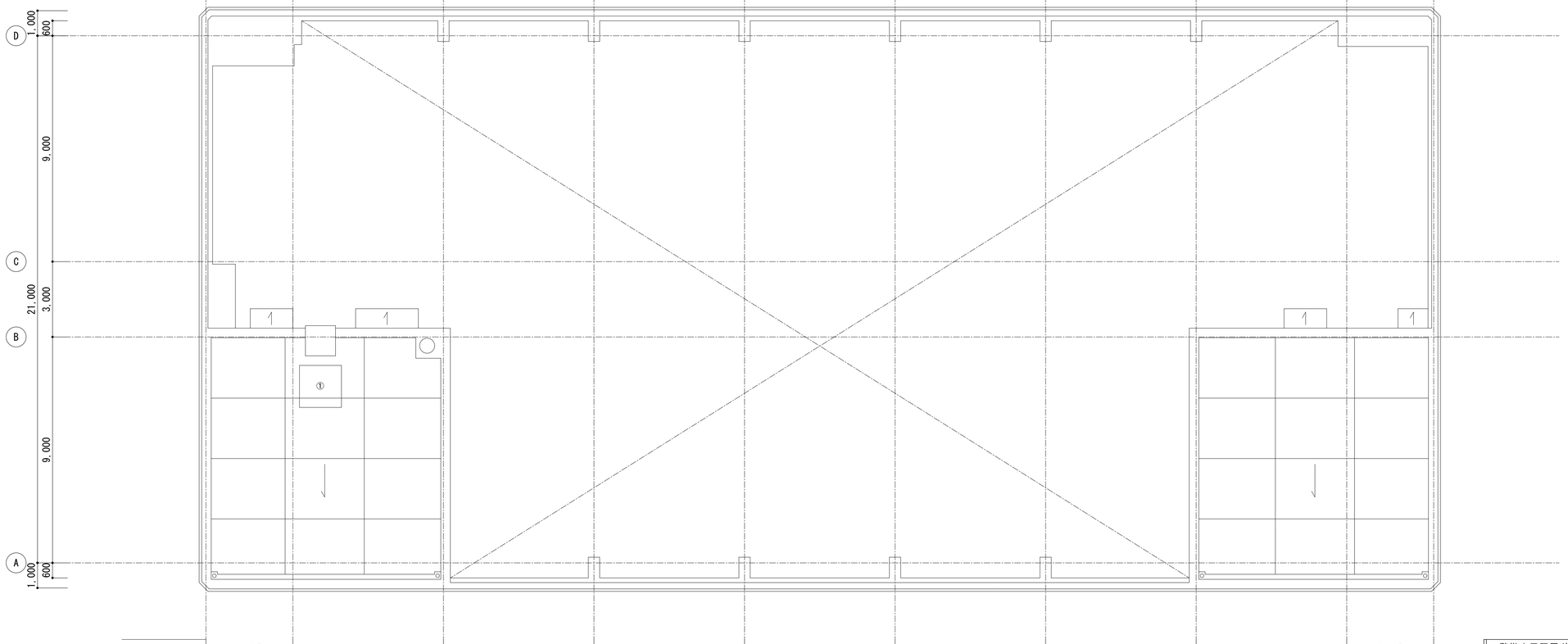
PH階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】　A1　1/100　A3　1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

No. B－06



R階下地調整範囲図(撤去後) 1：100



R階撤去平面図(撤去前) 1：100

凡例	300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	内装撤去一覧		躯体撤去一覧				その他撤去一覧		床下地調整一覧		壁下地調整一覧	
	(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	W-1,2	軽量鉄骨間仕切壁(LGS65@450)撤去		RC壁撤去	① 機械基礎 (W×D×H)	①1,650×1,650×300	EV	エレベーター(扉・枠共)	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=3.0	RA-C	ｺﾝｸﾘｰﾄ面素地ごしらえ RA種(新規)
		RC柱	SP	スチールパーティション(扉共)	床	RC床撤去			乾	乾式屋根(仕上下地鉄骨共 矩計図参照)	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	RC-C	ｺﾝｸﾘｰﾄ面素地ごしらえ RC種(塗替え)
		RC壁(数字は壁厚、Aは耐震壁)	その他内装	既存仕上撤去表内に記載のある、床/幅木/壁/天井/備考の仕上一式	CB	コンクリートブロック壁t=100撤去					ﾓﾙﾀﾙt=30	RC-M	ﾓﾙﾀﾙ面素地ごしらえ RC種(塗替え)
		S				床モルタル撤去(TLを除く範囲を示す)							
					Br	耐震ブレース撤去							

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

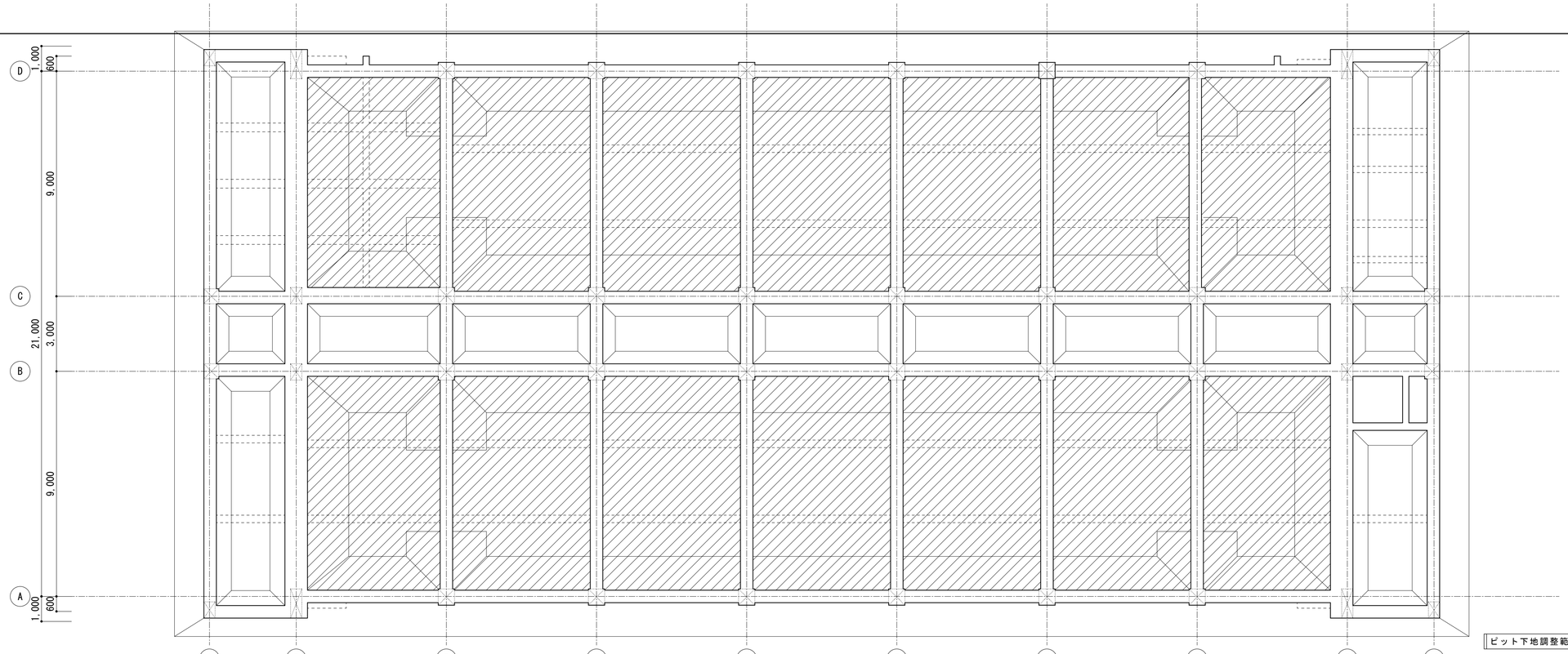
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

R階撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】

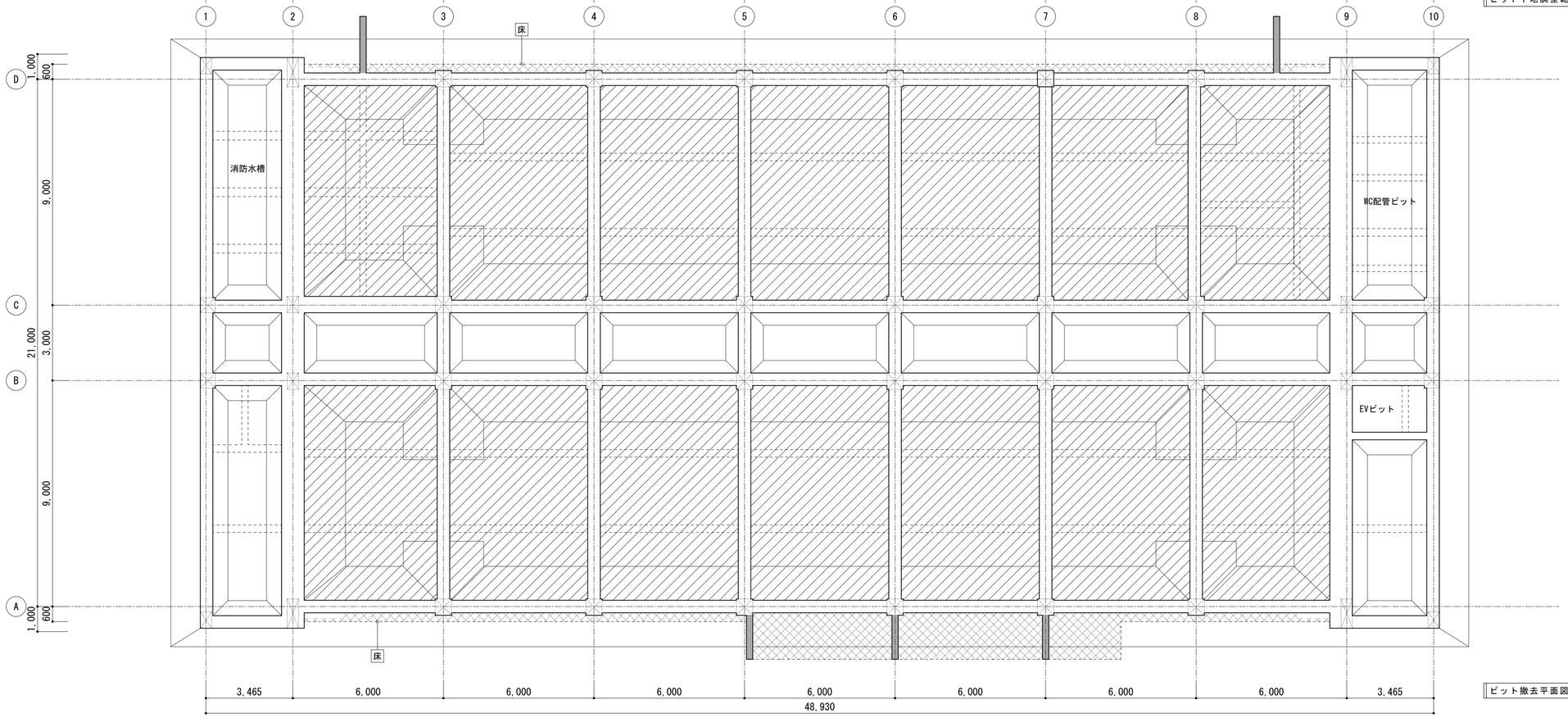
A1　1/100
A3　1/200

No.
B－07

鹿児島市建設局建築部建築課



ピット下地調整範囲図（撤去後） １：１００



ピット撤去平面図（撤去前） １：１００

凡例

300	計画レベル(SGLからの高さを示す)	内装撤去一覧	
(-70)	計画レベル(各階FLからの高さを示す)	W-1,2	軽量鉄骨間仕切壁(LGS65@450)撤去
	RC柱	SP	スチールパーティション(扉共)
	RC壁(数字は壁厚、Aは耐震壁)	その他内装	既存仕上撤去表内に記載のある、床/幅木/壁/天井/備考の仕上一式
	既存埋戻土		
	ピット(空白部分)		

躯体撤去一覧	
	RC壁撤去
床	RC床撤去(上階見上げの床を示す)
CB	コンクリートブロック壁t=100撤去
	床モルタル撤去(TLを除く範囲を示す)
Br	耐震ブレース撤去

① 機械基礎 (W×D×H)	①2,000×1,450×300 ②330×5,300×300 ③4,700×3,100×150

その他撤去一覧	
EV	エレベーター(扉・枠共)
乾	乾式屋根(仕上下地鉄骨共 矩計図参照)

床下地調整一覧	
	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=3.0
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10
	ﾓﾙﾀﾙt=30

壁下地調整一覧	
RA-C	コンクリート面素地ごしらえ RA種(新規)
RC-C	コンクリート面素地ごしらえ RC種(塗替え)
RC-M	モルタル面素地ごしらえ RC種(塗替え)

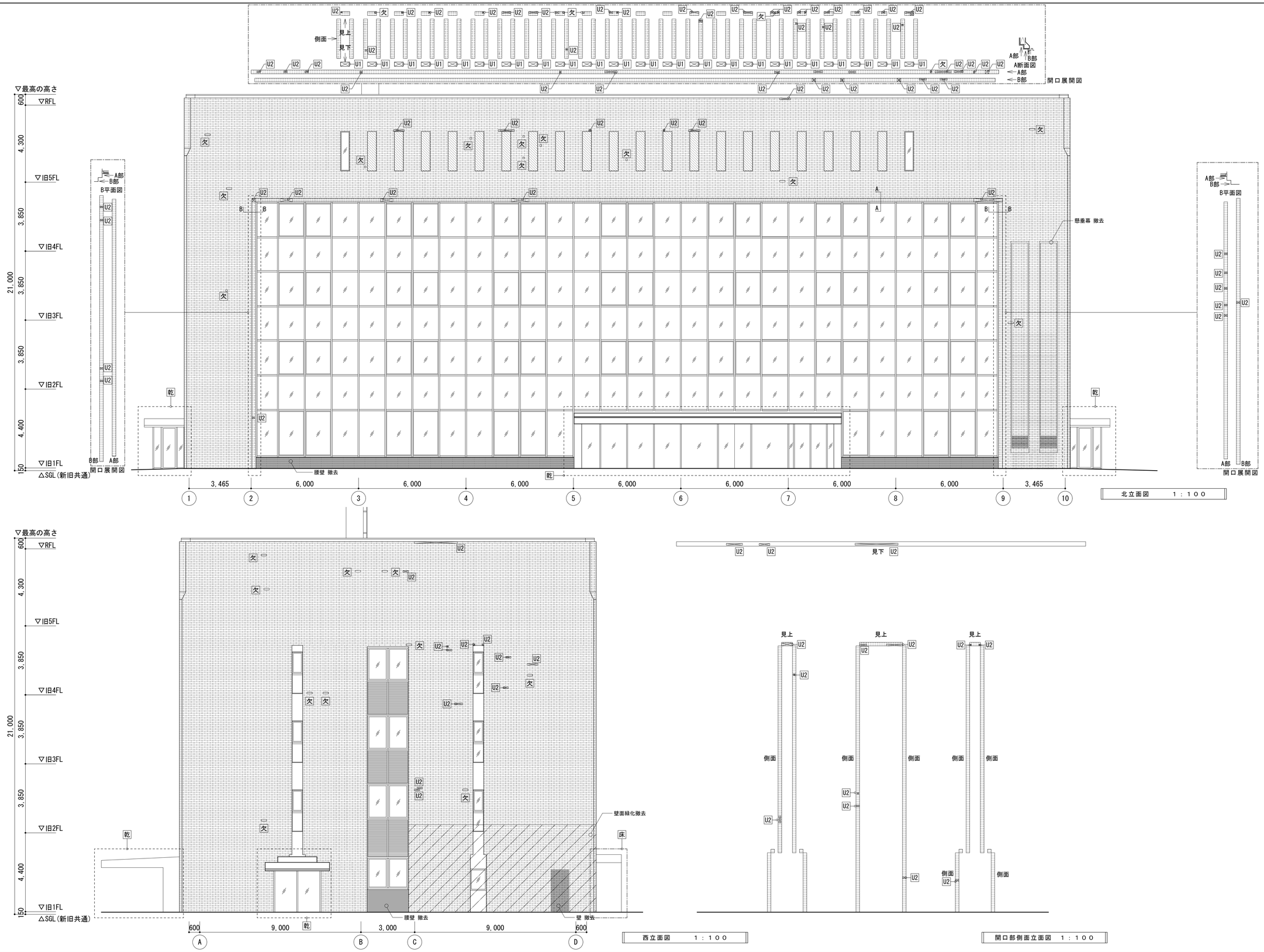
みのだ・ブランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

ピット撤去平面図・下地調整範囲図【撤去/調整/補修図】　A1　1/100　A3　1/200

No.　B－08

鹿児島市建設局建築部建築課



躯体撤去一覧		その他撤去一覧		タイル撤去・改修一覧			数量
	RC壁撤去（一部壁タイル生け捕り再利用）		建具・ガラス共撤去(建具表参照)	U1	注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定(浮き)		RF：13.2㎡|ピン：66本
床	RC床・壁撤去	乾	ﾎﾞｰﾁ屋根(仕上下地鉄骨共 矩計図参照)	U2	注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定(浮き)		1F：0.05㎡|ピン 8本 2F：0.17㎡|ピン 16本 3F：0.17㎡|ピン16本 4F：1.98㎡|ピン264本 RF：1.62㎡|ピン192本 合計：3.99㎡|ピン：496本
			エキスパンドメタル撤去				
				欠	タイル張替え		1.1㎡（ほか、既存取合い部等19.4㎡）

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号

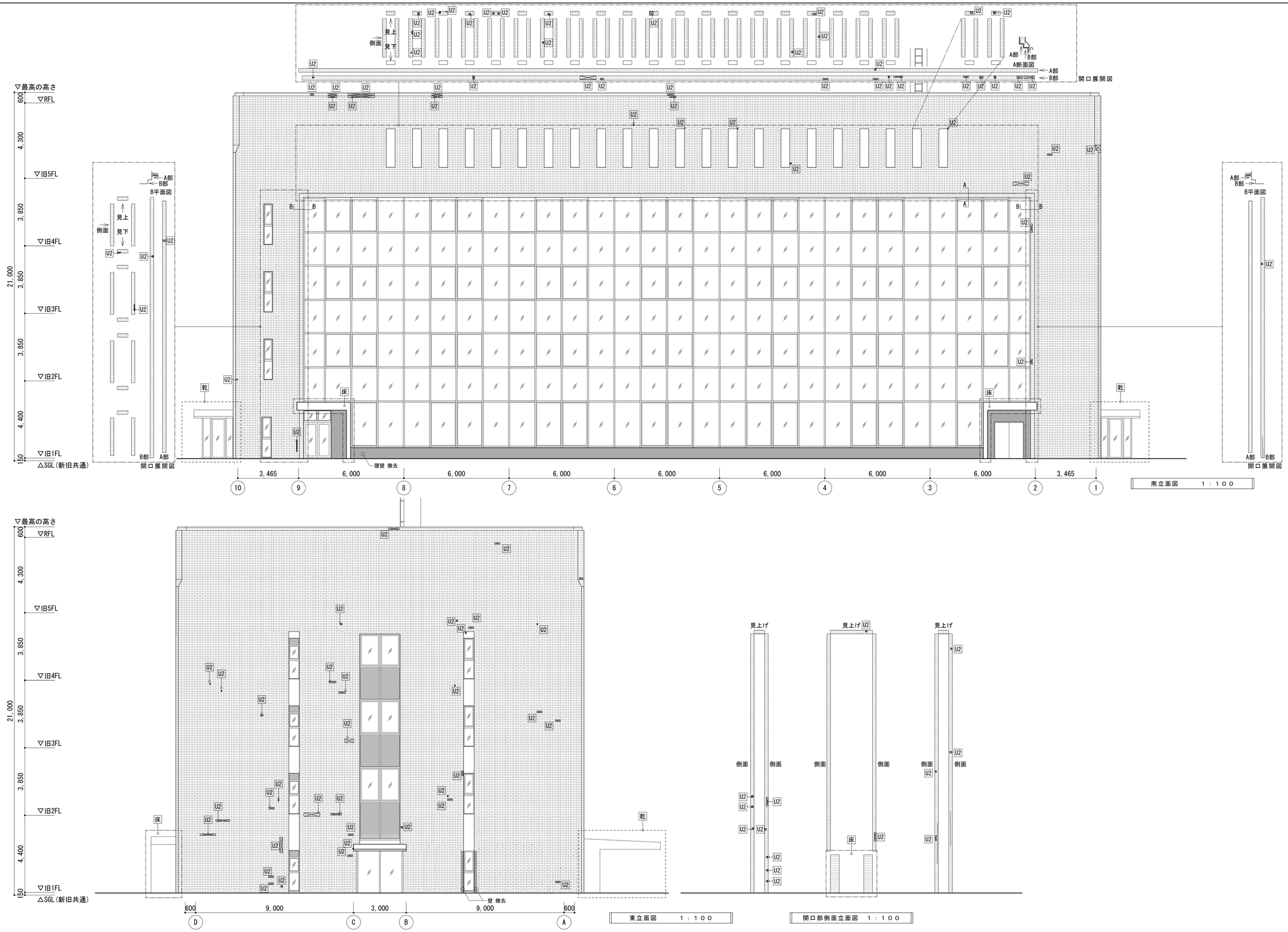
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

立面図(1)【撤去/調整/補修図】 A1 1/100 A3 1/200

No. B－09

鹿児島市建設局建築部建築課



躯体撤去一覧		その他撤去一覧		タイル撤去・改修一覧		数量
	RC壁撤去（一部壁タイル生け捕り再利用）		建具・ガラス共撤去(建具表参照)	U1	注入ロ付アンカービンニングエポキシ樹脂注入タイル固定(浮き)	―
床	RC床・壁撤去	乾	ポーチ屋根(仕上下地鉄骨共 矩計図参照)	U2	注入ロ付アンカービンニングエポキシ樹脂注入タイル固定(浮き)	1F:0.64㎡ピン62本 2F:0.48㎡ピン 44本 3F:0.28㎡ピン34本 4F:0.94㎡ピン 82本 RF:1.10㎡ピン108本 合計：3.44㎡ピン：330本
			エキスパンドメタル撤去			
				欠	タイル張替え	―

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

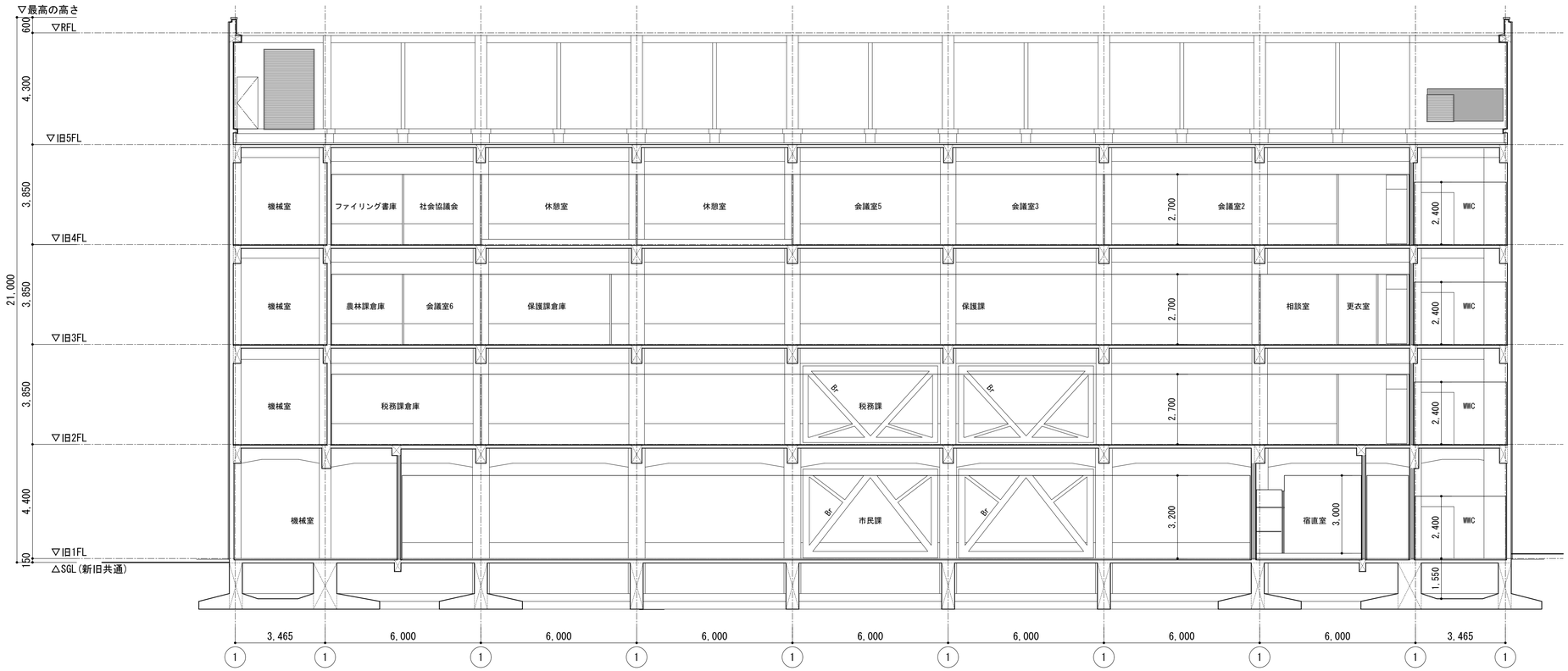
谷山支所庁舎大規模改修その他工事

立面図(2)【撤去/調整/補修図】

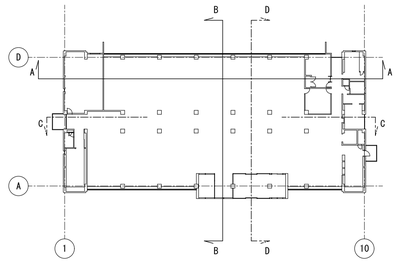
A1 1/100
A3 1/200

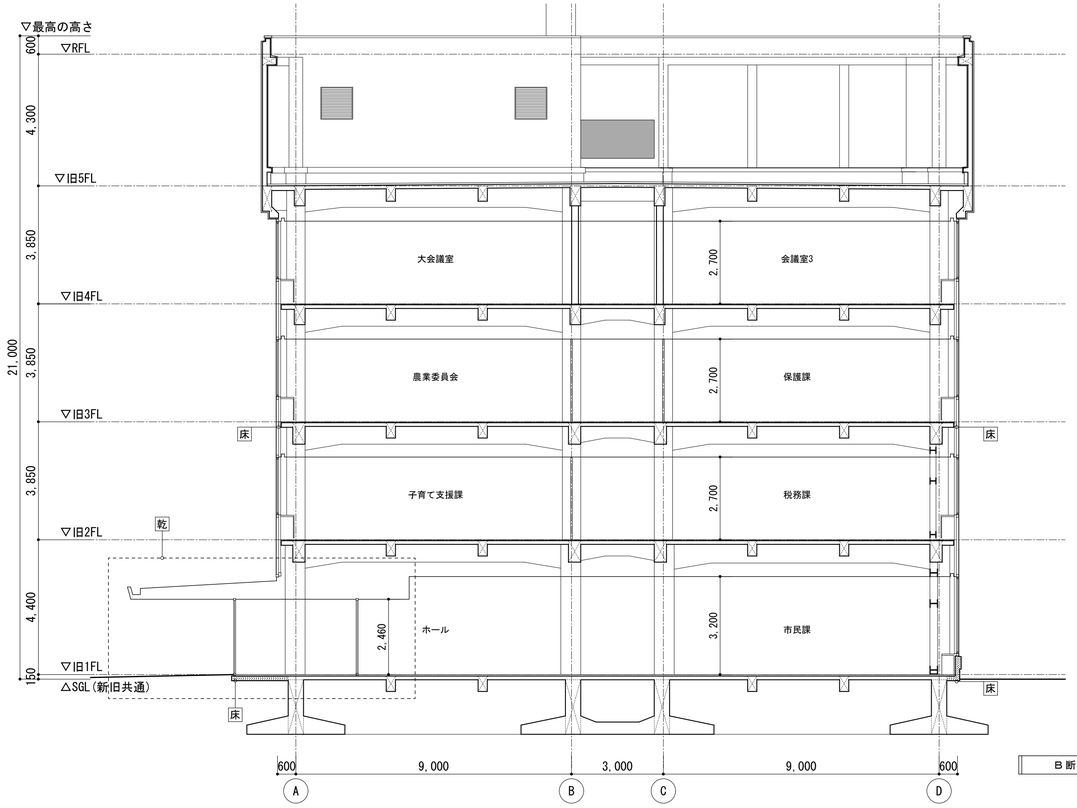
No. B－10

鹿児島市建設局建築部建築課

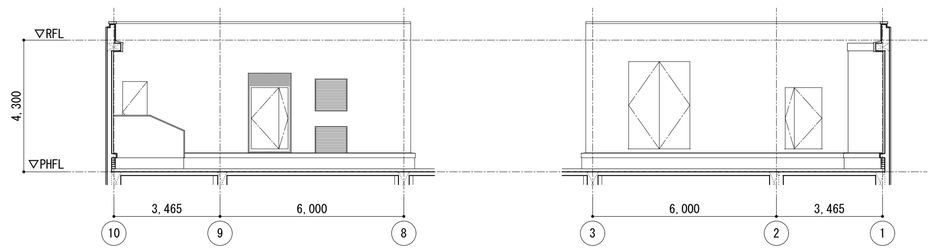


A断面図　1：100

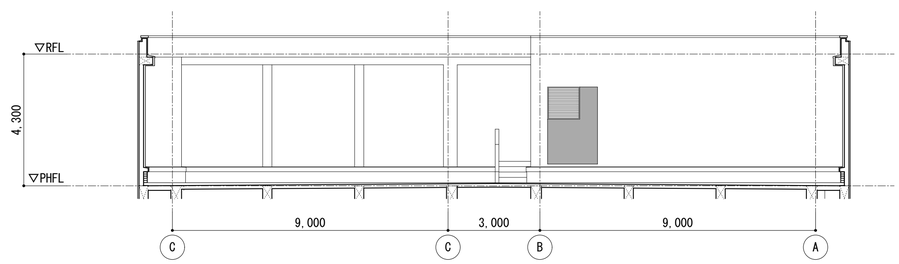




B断面図　1：100



C断面図　1：100



D断面図　1：100

内装撤去一覧		躯体撤去一覧		その他撤去一覧	
W-1,2	軽量鉄骨間仕切壁(LGS65@450)撤去		RC壁撤去	陸	ﾎﾞｰﾄ屋根(仕上下地鉄骨共 矩計図参照)
SP	スチールパーティション(扉共)	床	RC床撤去		
その他内装	既存仕上撤去表内に記載のある、床/幅木/壁/天井/備考の仕上一式	Br	耐震ブレース撤去		

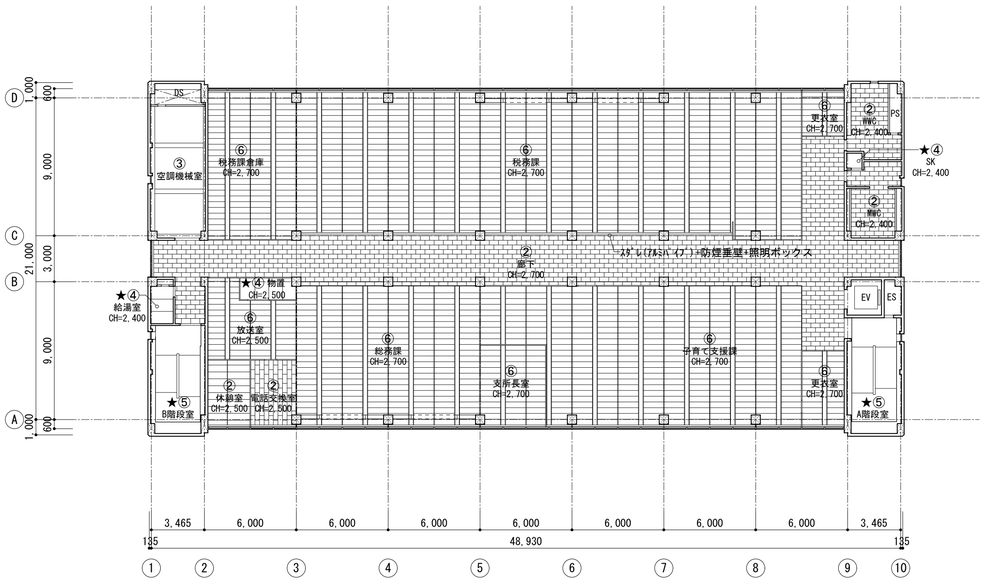
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

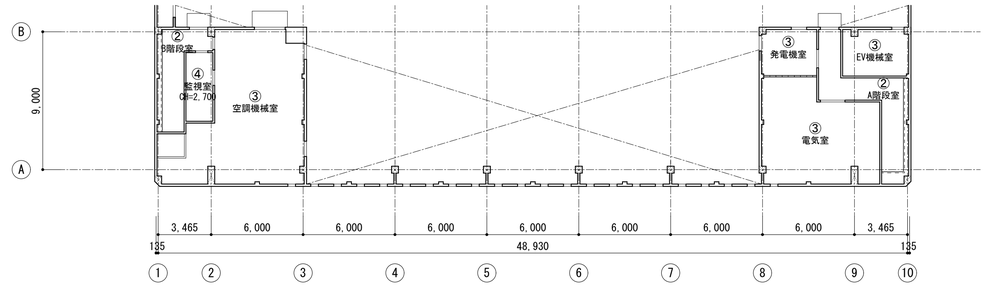
断面図【撤去/調整/補修図】　A1　1/100　A3　1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

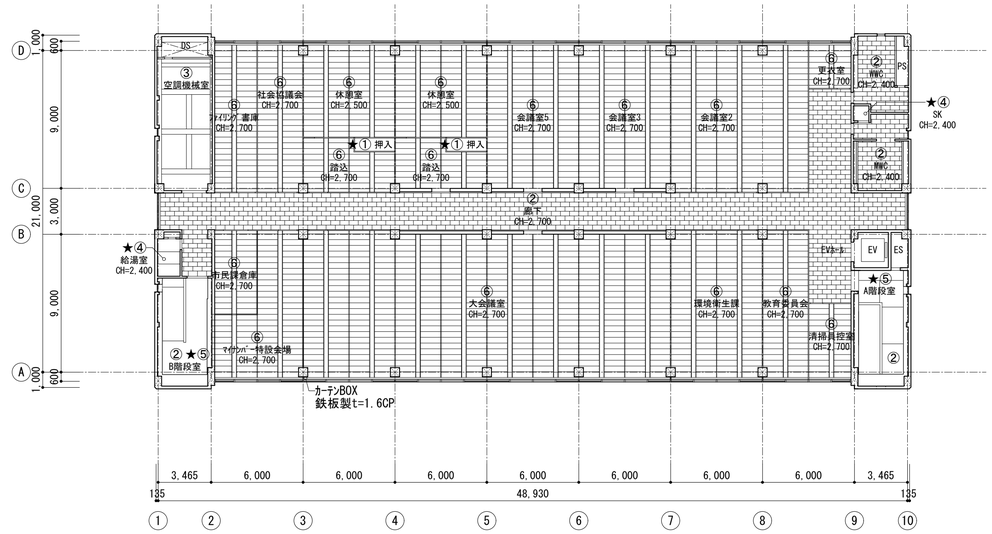
No.　B－11



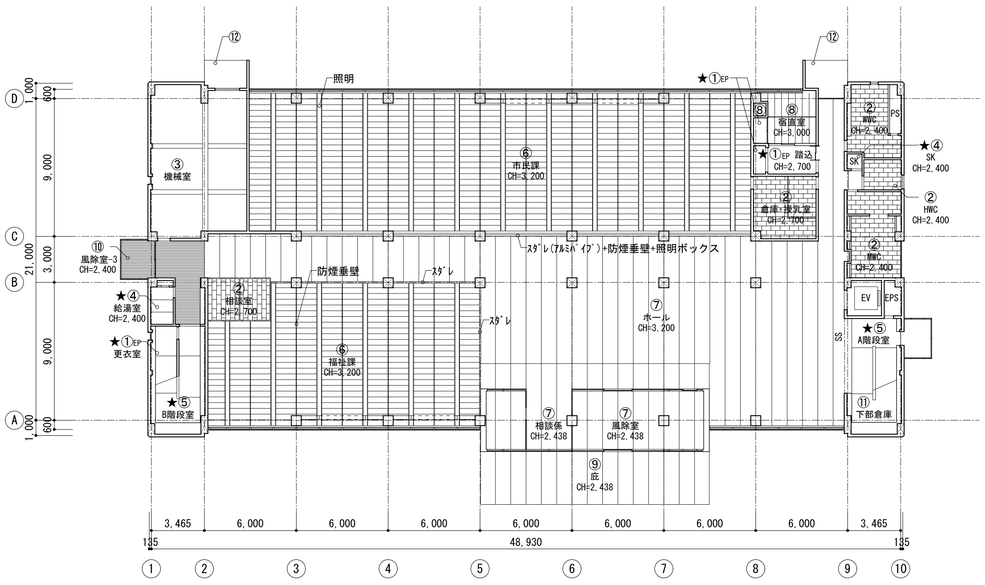
２階天井伏図　　１：２００



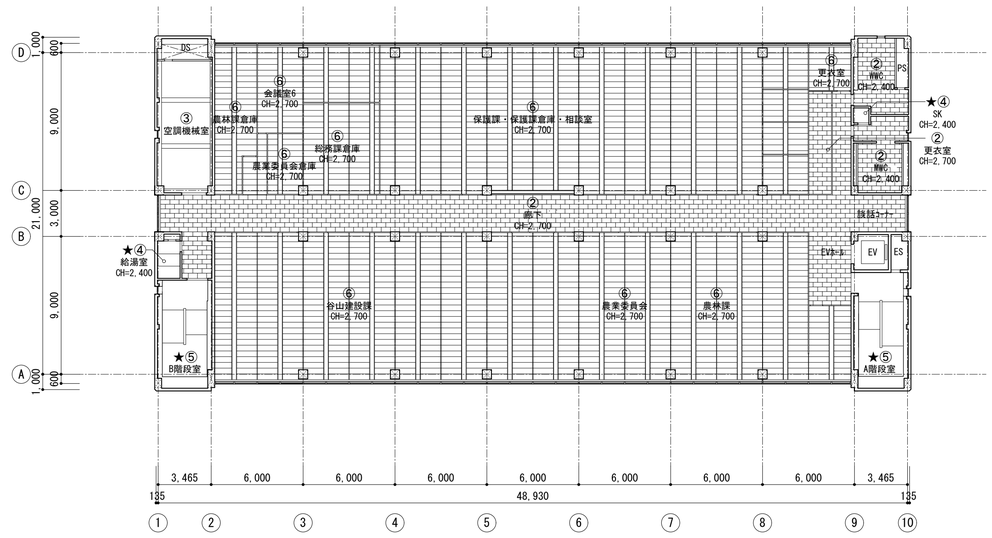
５階天井伏図　　１：２００



４階天井伏図　　１：２００



１階天井伏図　　１：２００



３階天井伏図　　１：２００

凡例						
	①	★NF	⑥	DR	⑪	RC-B
	②	DR	⑦	VC		
	③	RW吹付	⑧	GB-D	SS	ステールシャッター
	④	★F	⑨	アルミ製パネルアクリル焼付		
	⑤	★EP	⑩	アルミモールディング貼		

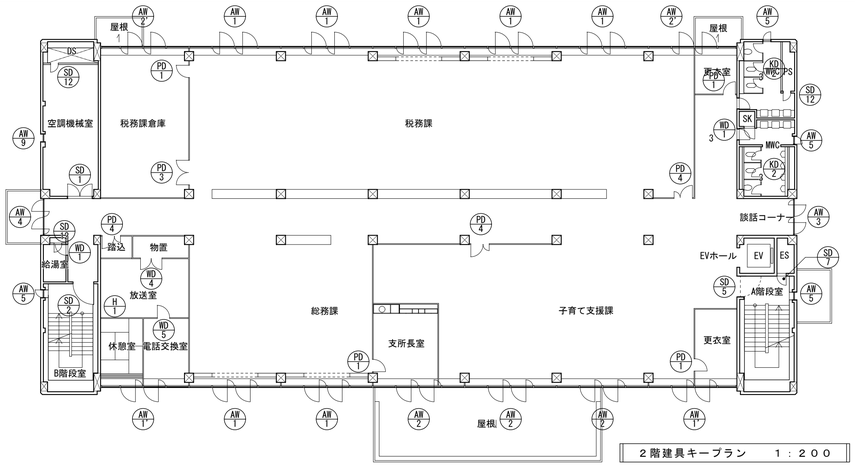
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

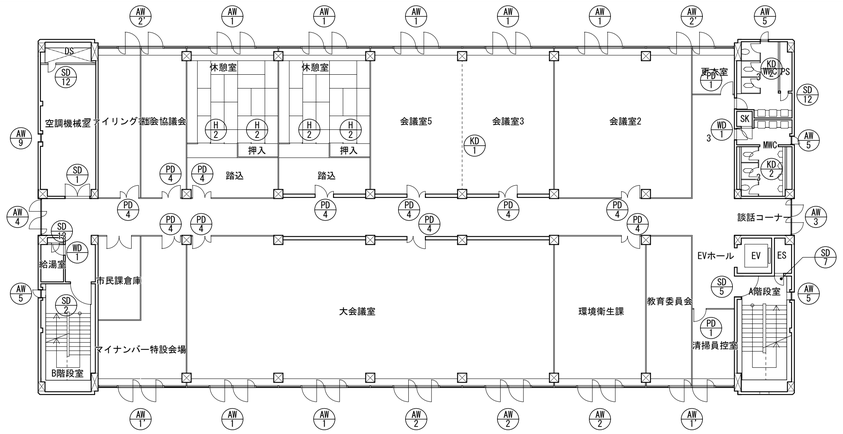
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

天井伏図【撤去/調整/補修図】　A1　1/100　A3　1/200　No.

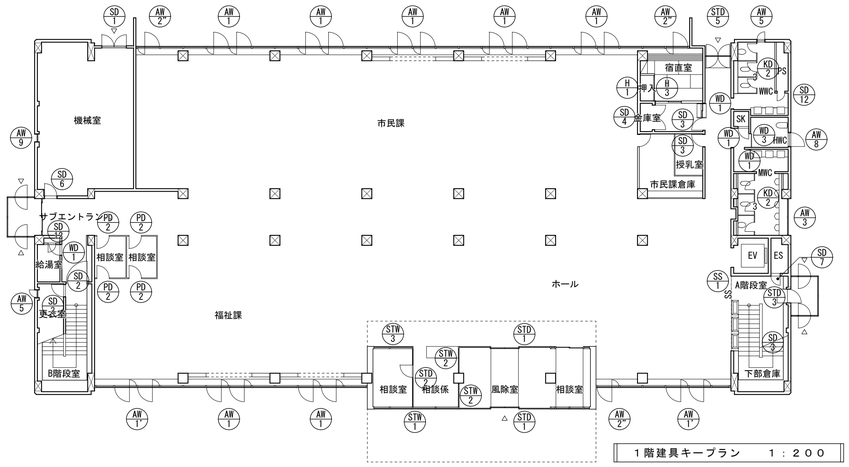
鹿児島市建設局建築部建築課　　B－１２



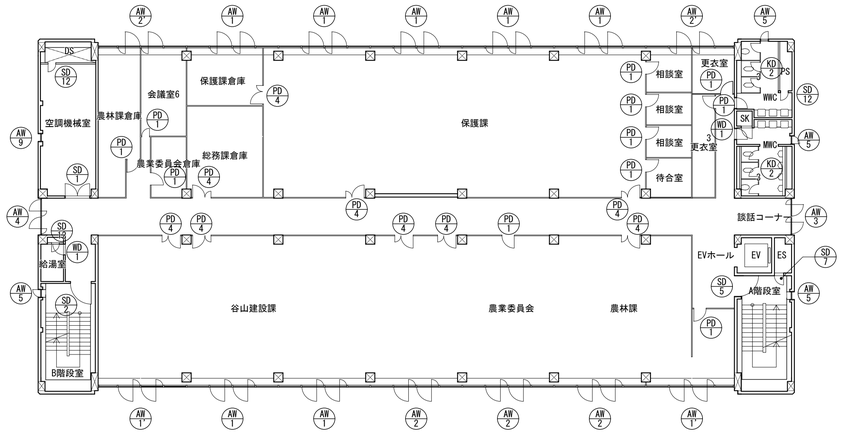
２階建具キープラン　１：２００



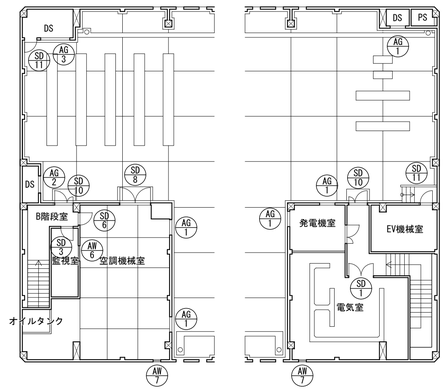
４階建具キープラン　１：２００



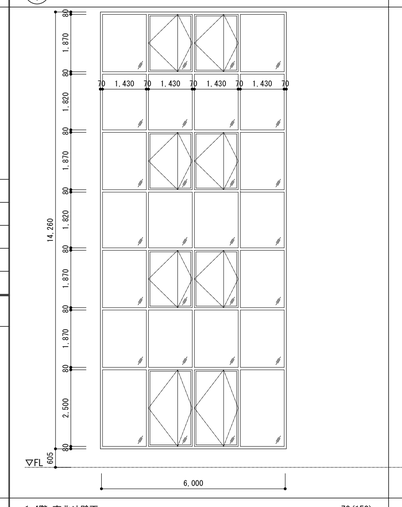
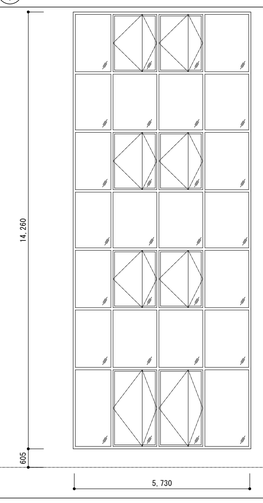
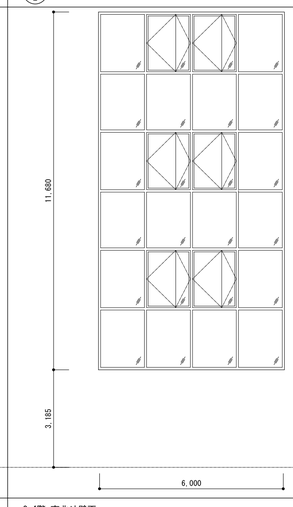
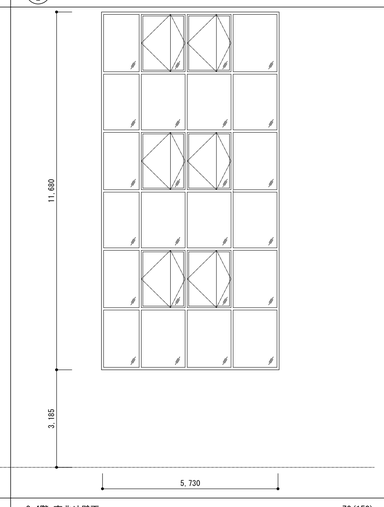
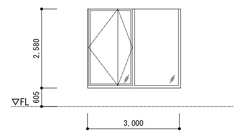
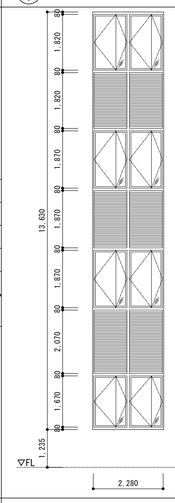
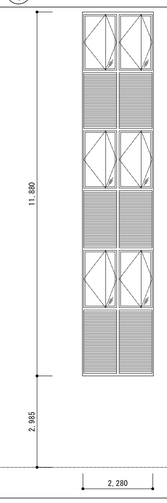
１階建具キープラン　１：２００

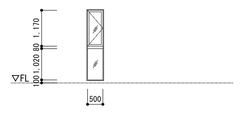


３階建具キープラン　１：２００



PH階建具キープラン　１：２００

記号・名称・個数	AW 1 カーテンウォール (7)	AW 1' カーテンウォール (2)	AW 2 カーテンウォール (3)	AW 2' カーテンウォール (2)	AW 2" カーテンウォール (3)	AW 3 ガラリ付 (1)	AW 4 ガラリ付 (1)
形状・寸法							
場所・見込	1-4階 南北外壁面 70(150)	1-4階 南北外壁面 70(150)	2-4階 南北外壁面 70(150)	2-4階 南北外壁面 70(150)	2-4階 南北外壁面 70(150)	西側外壁面 70	東側外壁面 70
仕上	アルミ電解発色処理	アルミ電解発色処理	アルミ電解発色処理	アルミ電解発色処理	アルミ電解発色処理	アルミ電解発色処理	アルミ電解発色処理
硝子	H-8、H-6	H-8、H-6	H-8、H-6	H-8、H-6	H-8、H-6	H-6	H-6
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考					ステンレス面格子付	ガラリ裏は、フレキシブルシート貼	ガラリ裏は、フレキシブルシート貼

記号・名称・個数	AW 5 片開き窓・FIX窓 (14)
形状・寸法	

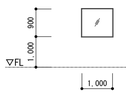
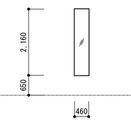
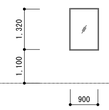
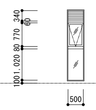
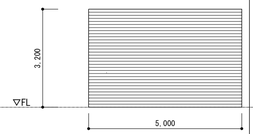
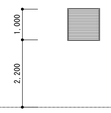
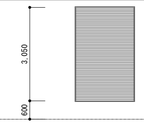
みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

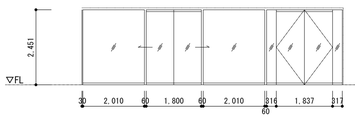
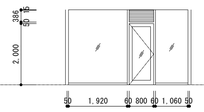
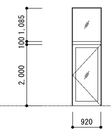
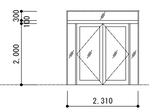
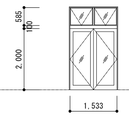
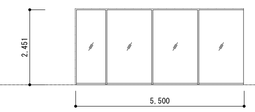
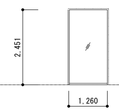
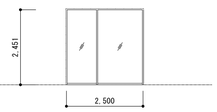
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

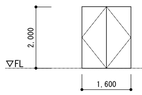
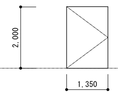
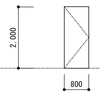
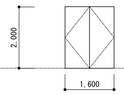
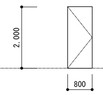
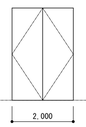
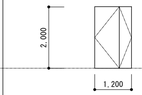
建具キープラン・建具表(1)【撤去/調整/補修図】　A1 1/100　A3 1/200

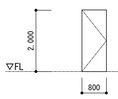
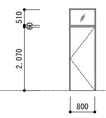
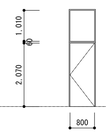
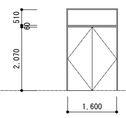
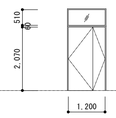
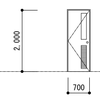
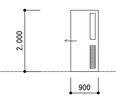
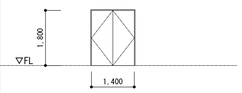
鹿児島市建設局建築部建築課

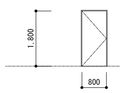
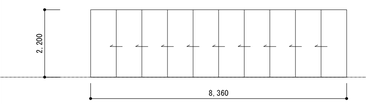
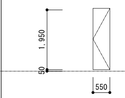
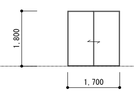
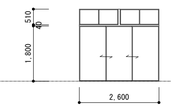
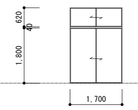
No. B－１３

記号・名称・個数	AW 6 FIX窓 (1)	AW 7 FIX窓 (2)	AW 8 片開き窓 (1)	AW 9 ガラリ付き窓・FIX窓 (4)	SS 1 電動重量シャッター (1)	AG 1 アルミガラリ (5)	AG 2 アルミガラリ (1)	AG 3 アルミガラリ (1)	
形状・寸法									
場所・見込	5階 機械室 70	5階 機械室・電気室 70	1階 BWC 70	1-4階 空調機械室 70	1階 A階段ホール部	5階 機械室・発電機室・DS 70	5階 DS 70	5階 DS 70	
仕上	アルミ酸化被膜処理	アルミ電解発色処理	アルミ電解発色処理	アルミ電解発色処理	合成樹脂調合ペイント	アルミ酸化被膜処理	アルミ酸化被膜処理	アルミ酸化被膜処理	
硝子	PWC-6.8	H-10	H-6	H-5					
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	
備考					三方枠、まぐさ共 SUS-27				

記号・名称・個数	STD 1 自動ドア・FIX袖窓付き両開きガラス戸 (2)	STD 2 FIX袖窓付き片開きガラス戸 (1)	STD 3 欄間付き片開き框ガラス戸 (1)	STD 4 FIX袖窓付き両開き框ガラス戸 (1)	STD 5 欄間付き両開き框ガラス戸 (1)	STW 1 FIX窓 (1)	STW 2 FIX窓 (2)	STW 3 FIX窓 (1)
形状・寸法								
場所・見込	1階 風除室 100	1階 相談室 100	1階 A階段室 100	1階 妻側出入口 100	1階 時間外通用口 100	1階 風除室 100	1階 風除室 100	1階 風除室 100
仕上	ヘアライン	ヘアライン	ヘアライン	ヘアライン	ヘアライン	ヘアライン	ヘアライン	ヘアライン
硝子	H-8、H10、T-12	H-8、H10	H-6	H-8	H-8	H-10	H-10	H-10
金物	フロアヒンジ	フロアヒンジ	フロアヒンジ	フロアヒンジ	フロアヒンジ	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考		ガラリ付						

記号・名称・個数	SD 1 両開きフラッシュ戸 (5)	SD 2 SD 5 壁埋込片開きフラッシュ戸 (7)	SD 3 片開きフラッシュ戸 (4)	SD 4 両開きフラッシュ戸 (1)	SD 6 片開きフラッシュ戸 (2)	SD 7 片開きフラッシュ戸 (4)	SD 8 両開きフラッシュ戸 (1)	SD 10 親子両開きフラッシュ戸 (2)	
形状・寸法									
場所・見込	1階 機械室 各階 空調機械室 40	各階 階段室 40	1階 宿直室・授乳室・更衣室 5階 監視室 40	1階 金庫室 40	1・5階 機械室 40	ES点検口 35	5階 空調機械室 40	5階 屋上出入口 40	
仕上	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント	
硝子									
金物	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック、戸当り、上落し	フロアヒンジ、引手	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック、	ピボットヒンジ、引手、戸当り、上落し	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック、	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック、	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック、上落し	ピボットヒンジ、モノロック、戸当り、上落し	
備考	甲防戸(ロックウール入)	煙感知連動、甲防戸	甲防戸	甲防戸	甲防戸(ロックウール入)		ロックウール入	ロックウール入	

記号・名称・個数	SD 11 片開きフラッシュ戸 (2)	SD 12 片開きフラッシュ戸 (11)	PD 1 欄間付き片開きスチールパネル戸 (16)	PD 2 欄間付き片開きスチールパネル戸 (4)	PD 3 欄間付き両開きスチールパネル戸 (1)	PD 4 欄間付き親子両開きスチールパネル戸 (23)	WD 1 片開き額入りフラッシュ戸 (16)	WD 3 片引き額入りフラッシュ戸 (1)	WD 4 両開きフラッシュ戸 (1)
形状・寸法									
場所・見込	5階 DS・EV機械室 40	点検口 36	各階 スチールパネル壁部出入口 36	1階 福祉課相談室 36	2階 税務課倉庫 36	各階 各室 36	各階 MWC・WWC・SK・給湯室 40	1階 BWC 40	2階 放送室 40
仕上	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂色ラッカー	合成樹脂色ラッカー	合成樹脂色ラッカー	合成樹脂色ラッカー	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント	合成樹脂調合ペイント
硝子			欄間 CW-6.8	欄間 パネル	欄間 パネル	欄間 CW-6.8			
金物	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック、戸当り、上落し		ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック 戸当り、上落し	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック 戸当り、上落し	ドアチェック、ピボットヒンジ、引手、押板	引手、ハンガーレール	ピボットヒンジ、モノロック、戸当り、上落し
備考		甲防戸					WCは男女別表示付	身障者用表示付	WCは男女別表示付

記号・名称・個数	WD 5 片開きフラッシュ戸 (1)	KD 1 スライディングパネル (1)	KD 2 片開きメラミン戸 (24)	H 1 引違い襖 (2)	H 2 3連引違い襖 (4)	H 3 引違い襖 (1)	
形状・寸法							
場所・見込	2階 電話交換室 40	4階 会議室 60	各階 MWC・WWC 40	1・2階 宿直室・休憩室 18	4階 男女休憩室 18	1階 宿直室 18	
仕上	合成樹脂調合ペイント	ビニルクロス	焼付	カシュー	カシュー	カシュー	
硝子							
金物	ドアチェック、ピボットヒンジ、モノロック	ハンガーレール	ラバトリーヒンジ、戸当り	引手	引手	引手	
備考	ロックウール						

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

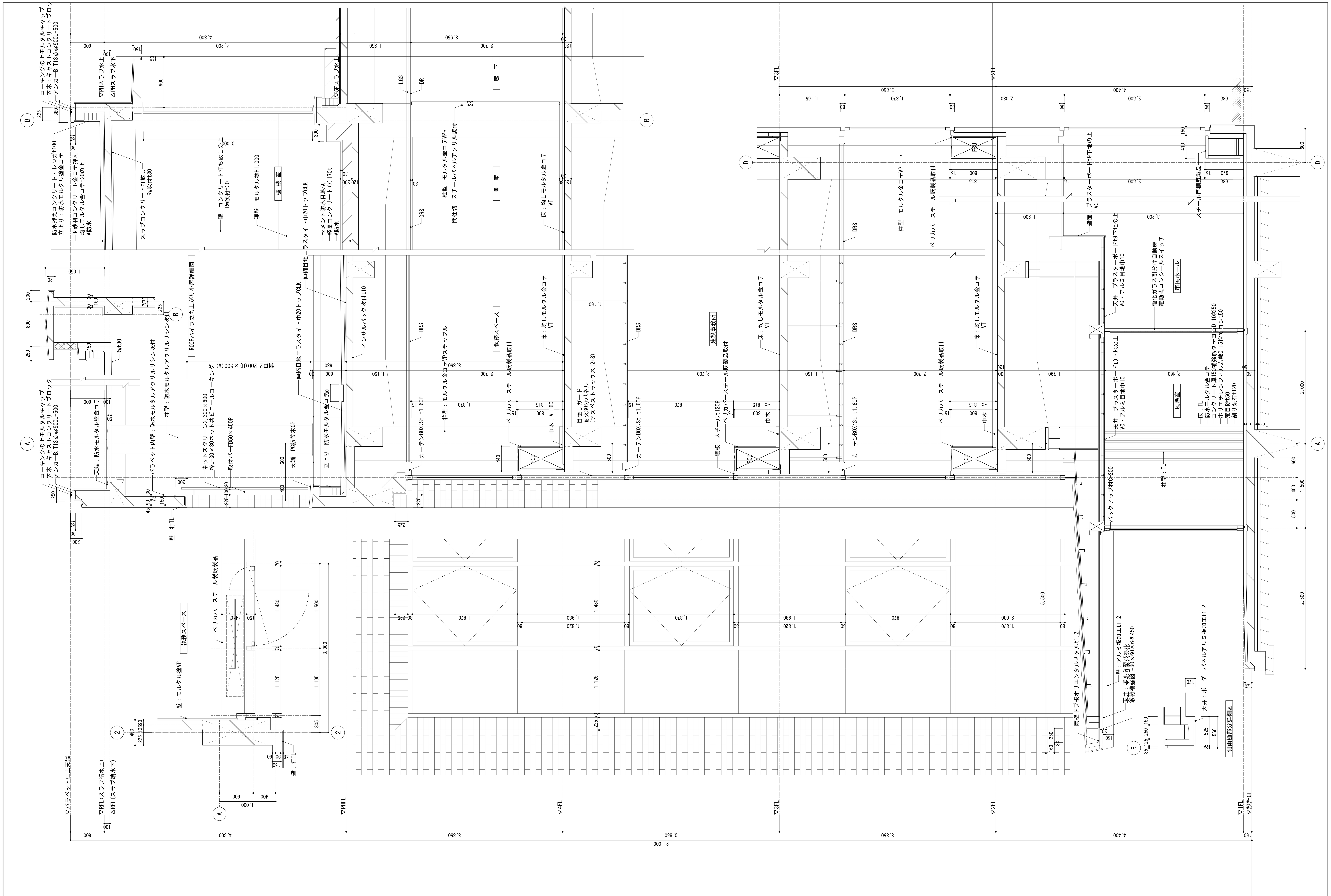
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

建具表(2)【撤去/調整/補修図】

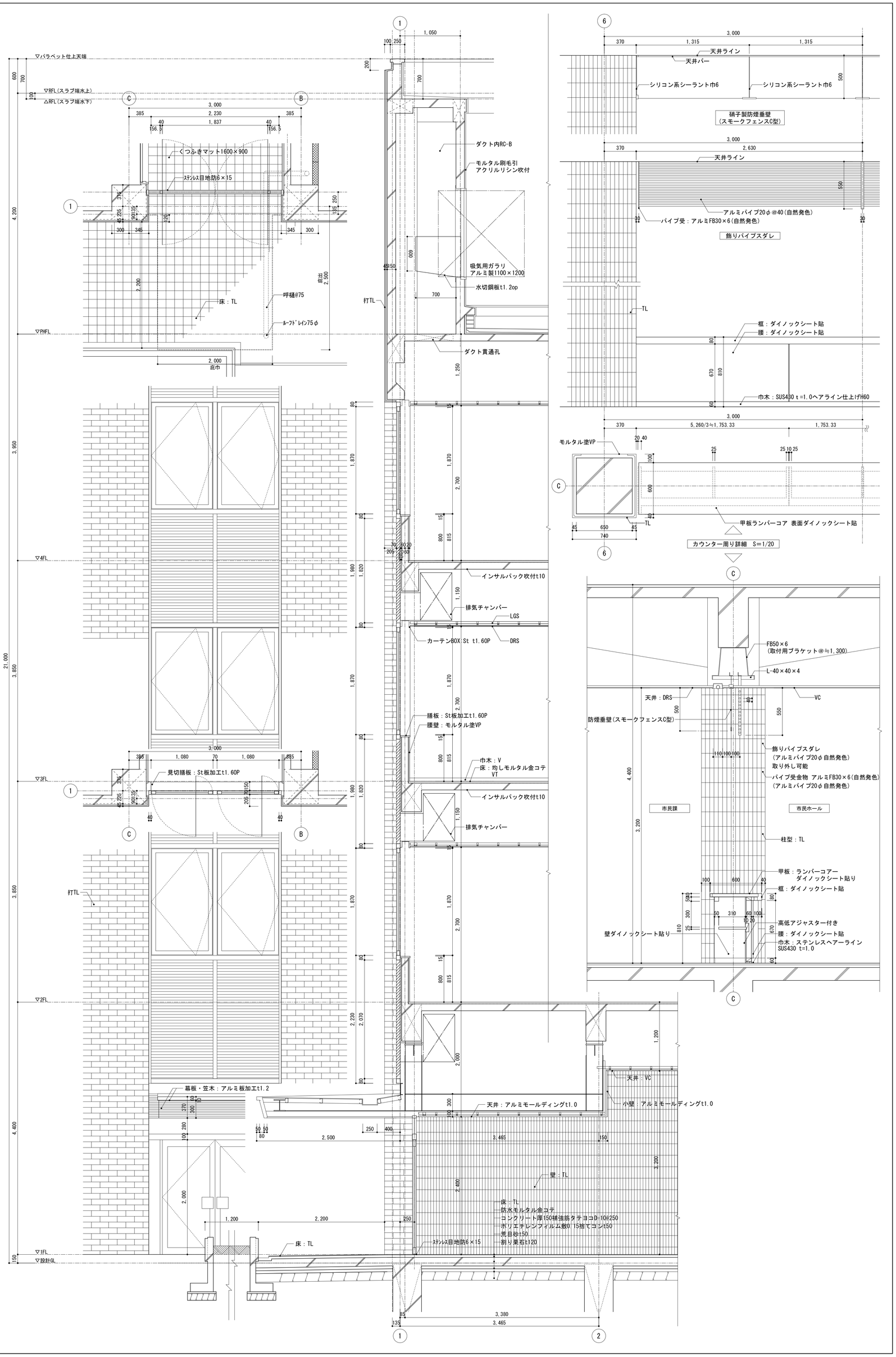
A1 1/100
A3 1/200

No. B－14

鹿児島市建設局建築部建築課



みのだ・ブランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事 矩計図(1)【撤去/調整/補修図】 A1 1/30 A3 1/60 No. 鹿児島市建設局建築部建築課 B-15



みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士 第 143365 号 蓑田 清康

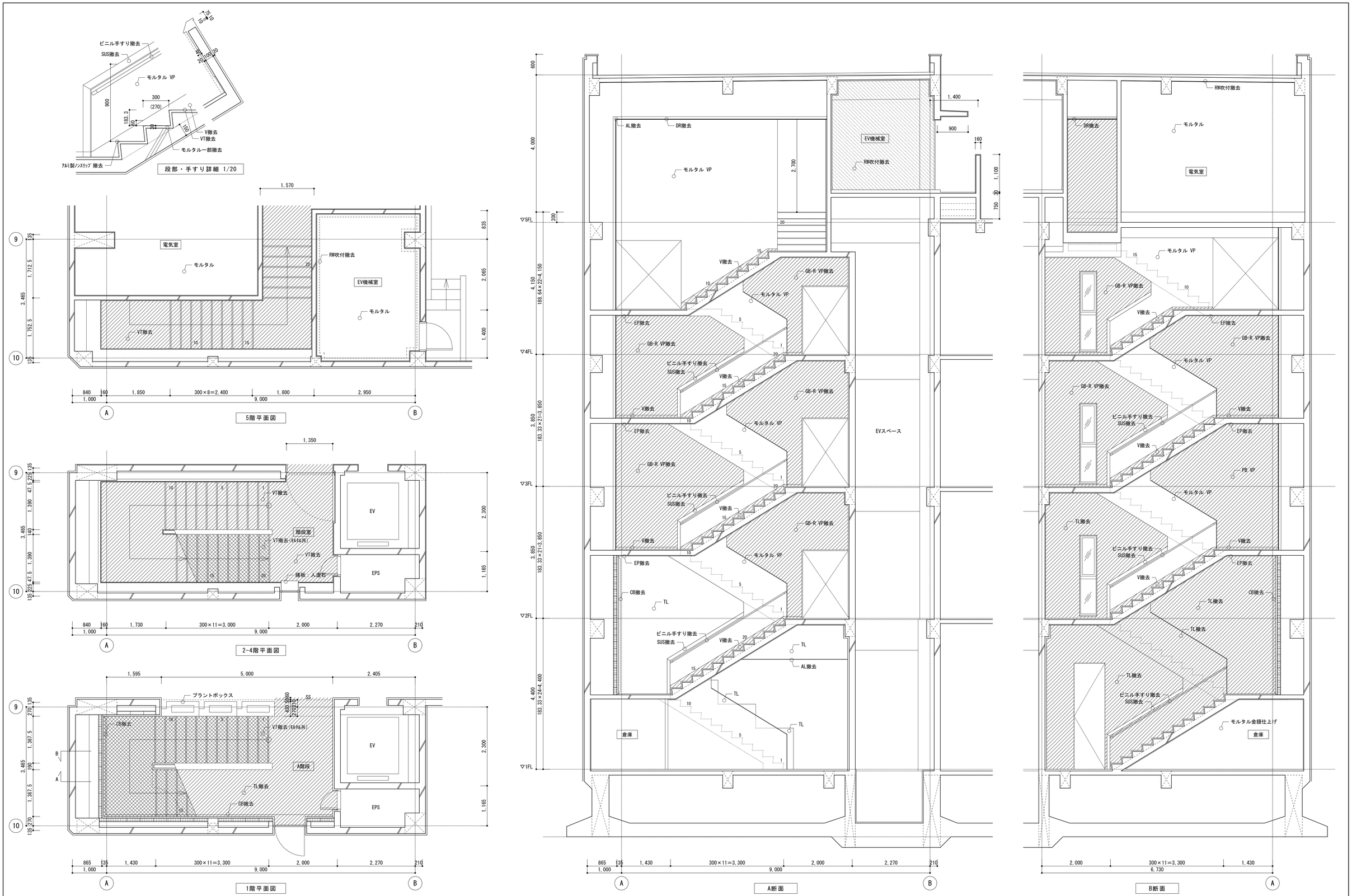
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

矩計図(2)【撤去/調整/補修図】

A1 1/30
A3 1/60

No. B－16

鹿児島市建設局営繕部建築課



凡例			
	仕上撤去範囲		RW吹付撤去範囲
	モルタル撤去範囲		
	RC、CB撤去範囲		

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

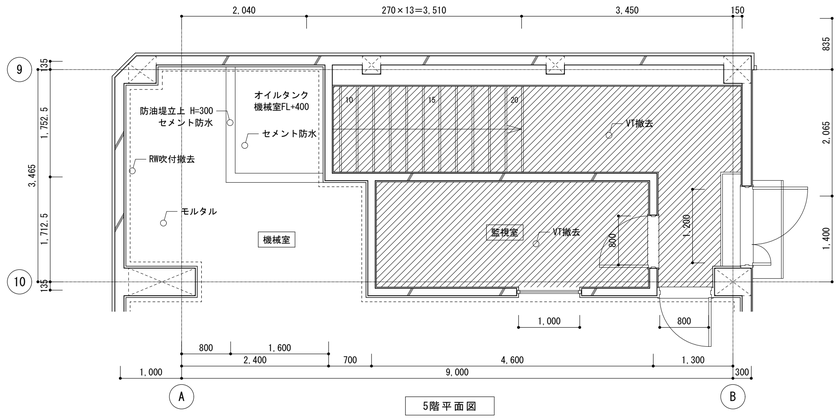
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

コア詳細図(1)【撤去/調整/補修図】

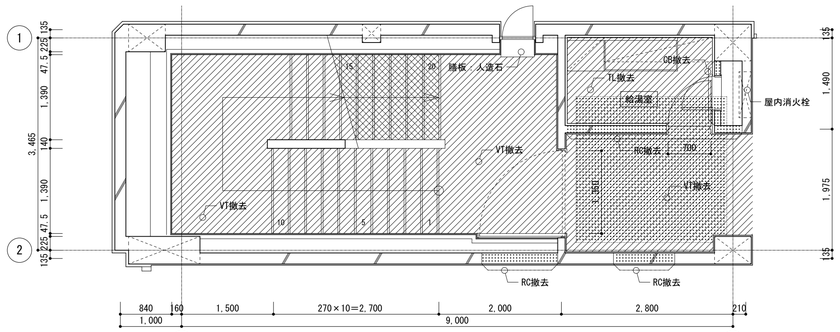
A1　1/50
A3　1/100

No.
B－17

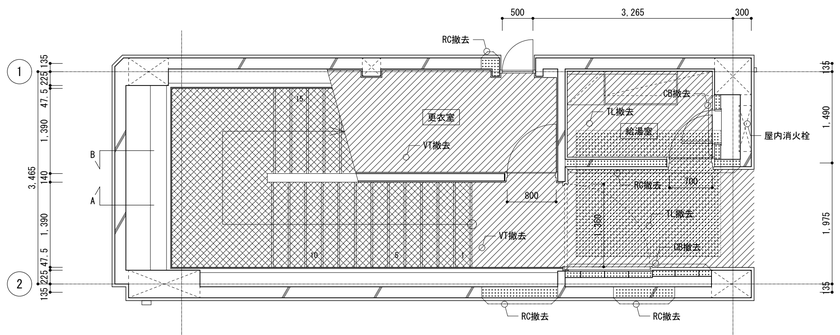
鹿児島市建設局建築部建築課



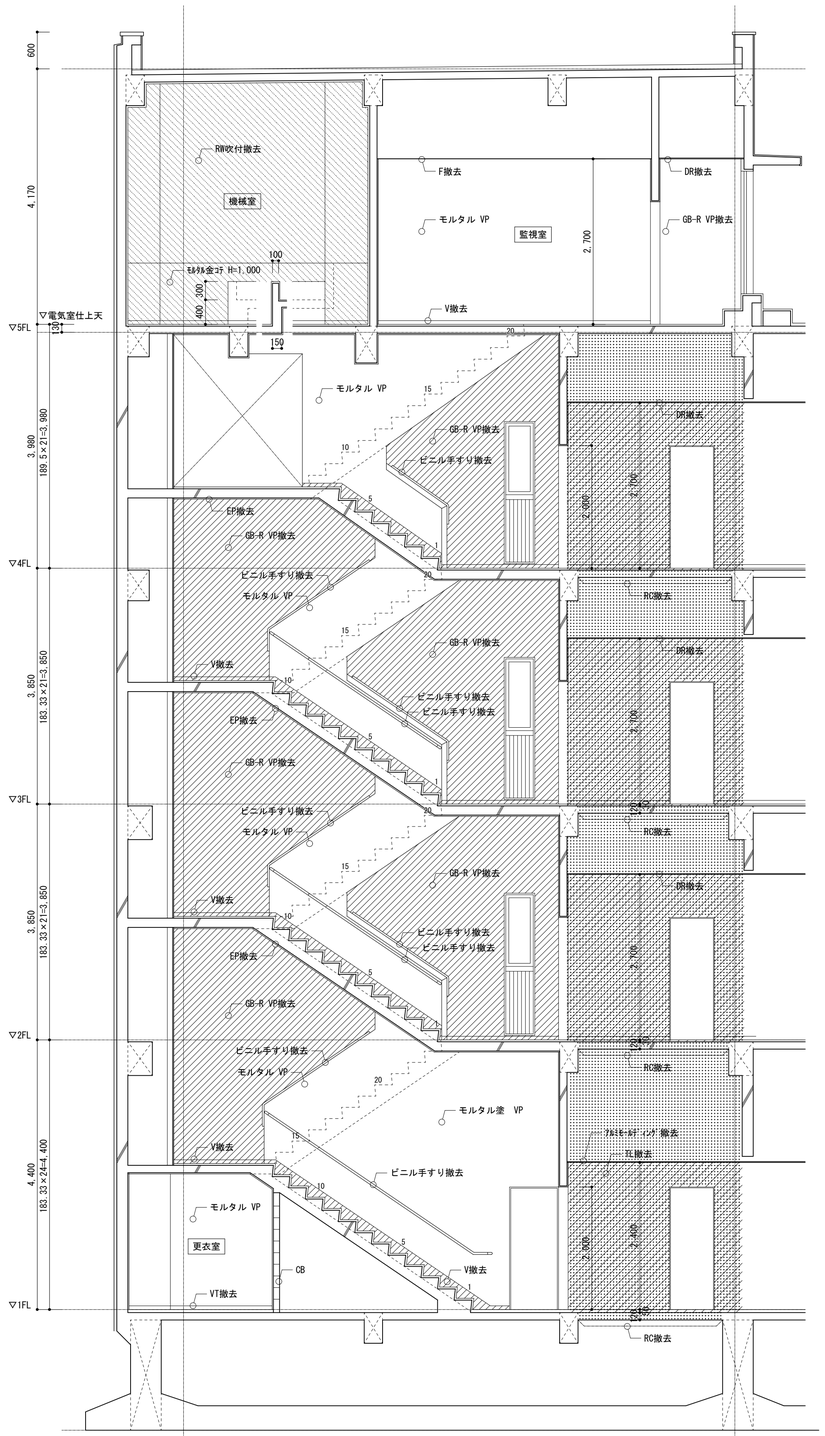
5階平面図



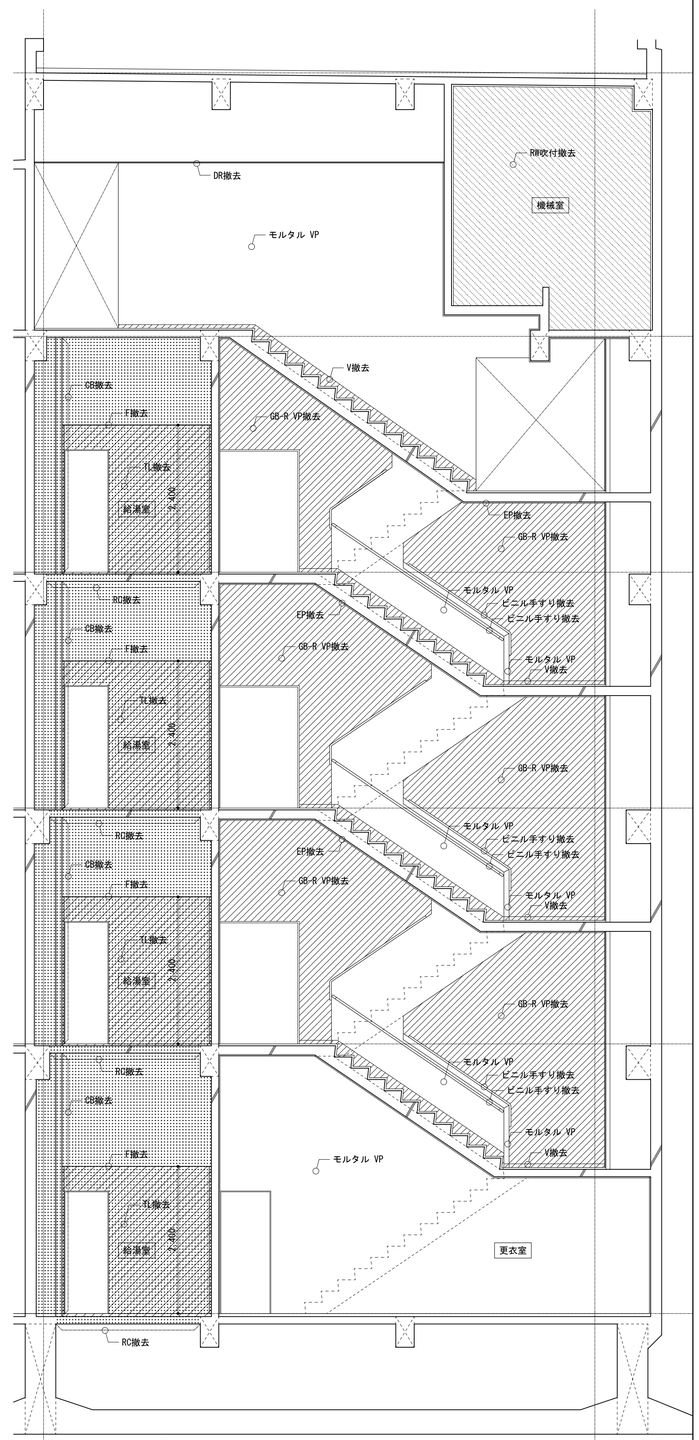
2-4階平面図



1階平面図



A断面



B断面

凡例			
	仕上撤去範囲		RM吹付撤去範囲
	モルタル撤去範囲		
	RC、CB撤去範囲		

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

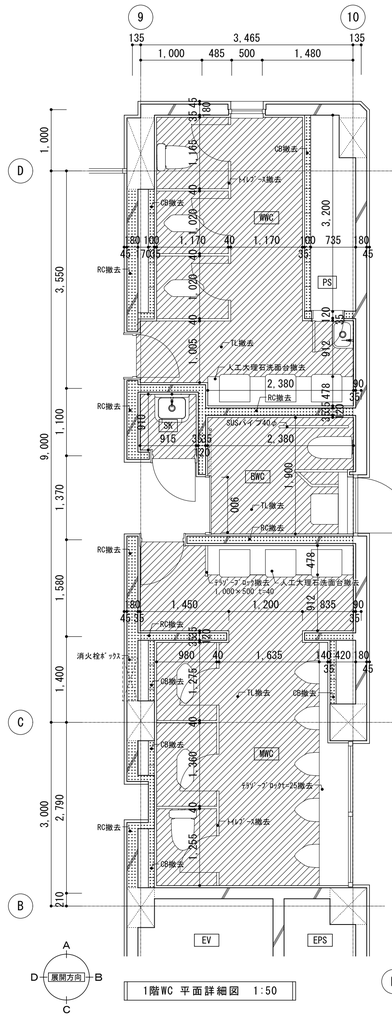
コア詳細図(2)【撤去/調整/補修図】

A1　1/50
A3　1/100

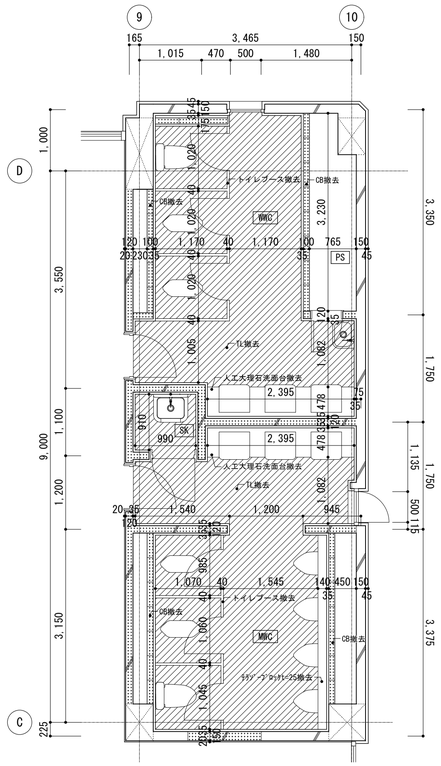
No.

鹿児島市建設局建築部建築課

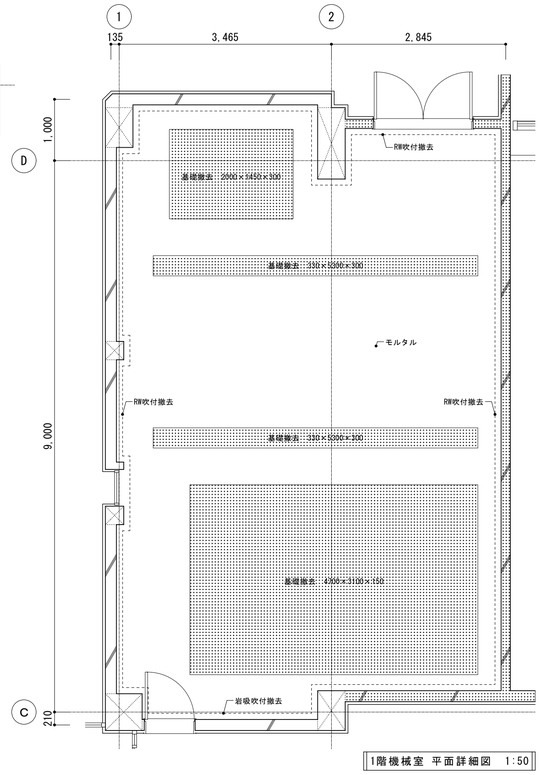
B－18



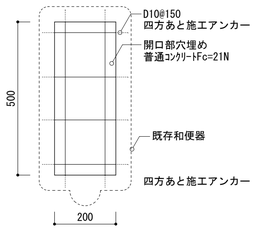
1階WC 平面詳細図 1:50



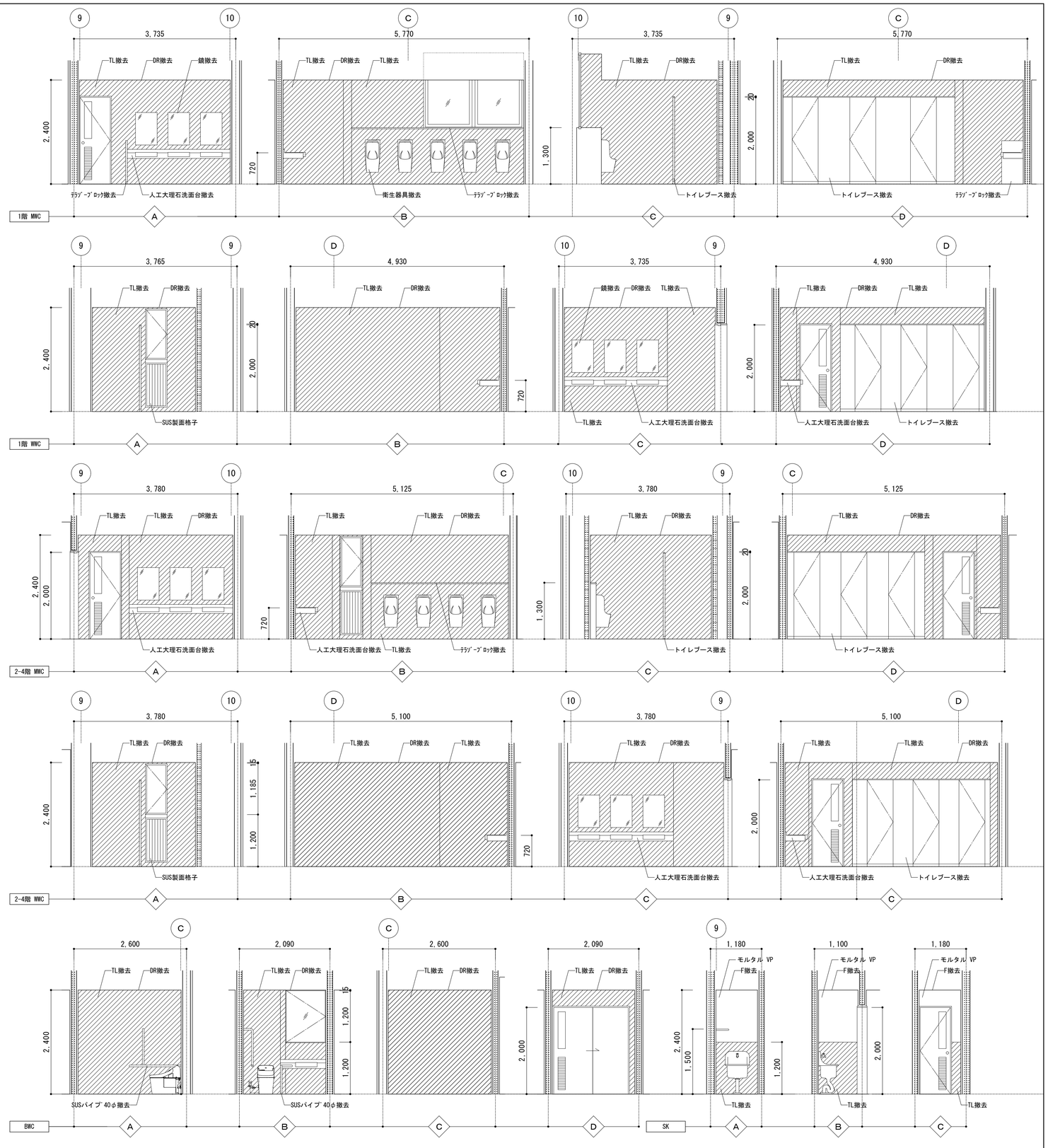
2-4階WC 平面詳細図 1:50



1階機械室 平面詳細図 1:50



小便器穴埋め要領図 1:10



凡例			
	仕上撤去範囲		RW吹付撤去範囲
	モルタル撤去範囲		
	RC、CB撤去範囲		

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

WC詳細図【撤去/調整/補修図】

A1 1/50
A3 1/100

鹿児島市建設局建築部建築課

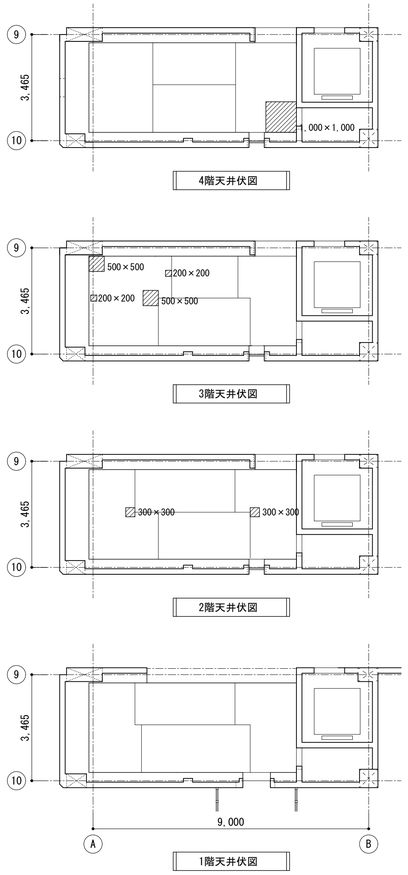
No. B－19

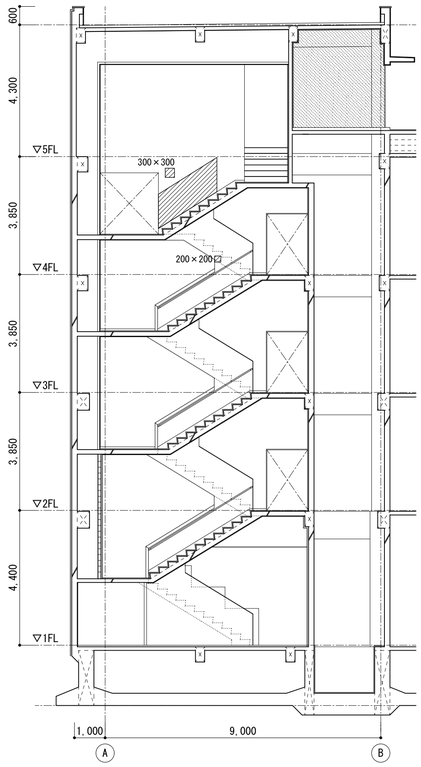
モルタル補修・下地調整範囲図

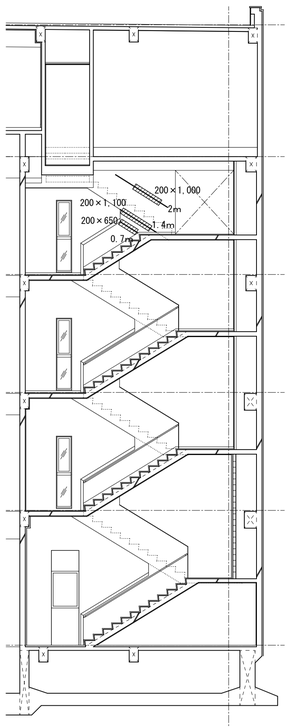
1/100

モルタル浮き範囲	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	天井：49本 壁：56本
ひび割れ長さ	Uカットシーリング充填工法	天井：4.4m 壁：10.5m

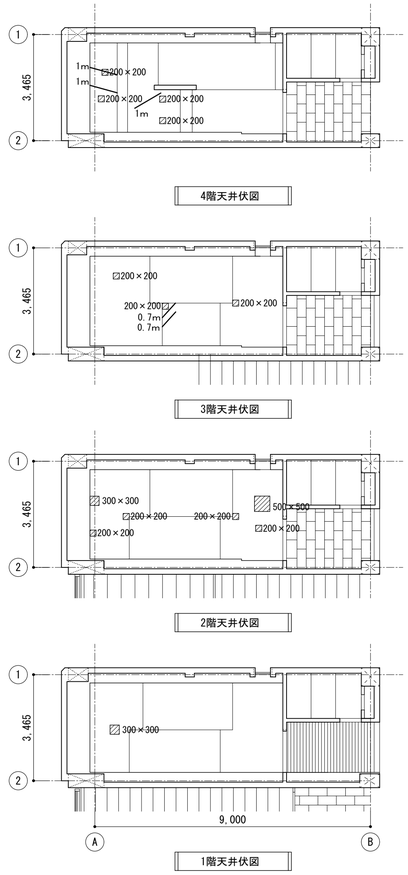
(A階段)

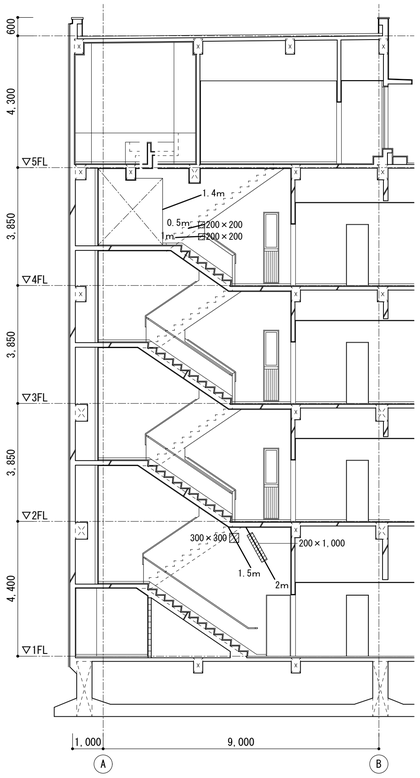


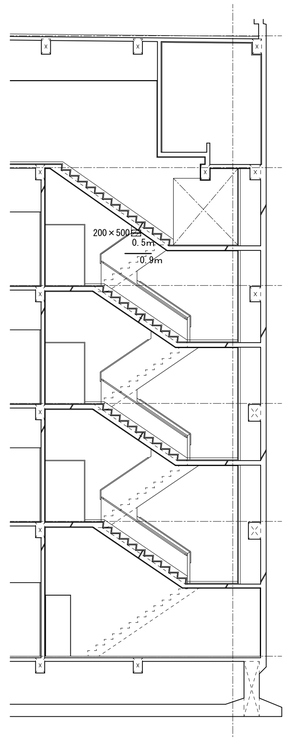




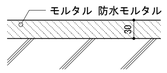
(B階段)



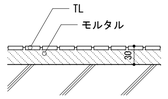




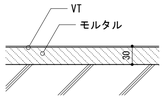
床 モルタル 1/5



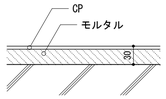
床 磁器タイル貼 1/5



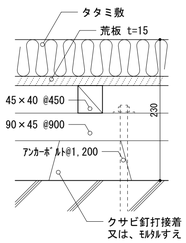
床 タイル貼 1/5



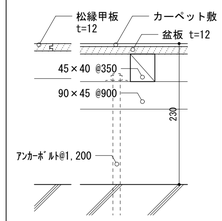
床 カーペット敷 1/5



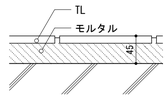
床 タタミ敷 1/5



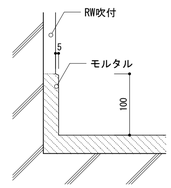
床 ｶｰﾍﾟｯﾄ敷(床 松縁甲板貼) 1/5



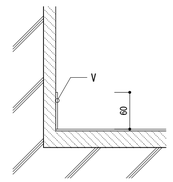
床 磁器タイル貼り 1/5



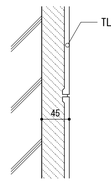
巾木 モルタル 1/5



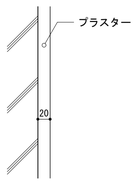
巾木 半硬質塩化ビニル巾木 1/5



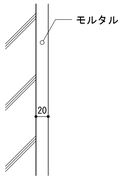
壁 磁器質ボーダータイル貼 1/5



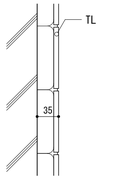
壁 プラスター 1/5



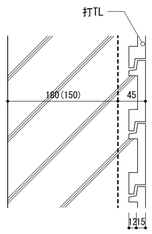
壁 モルタル 1/5



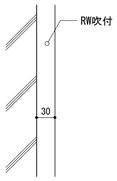
壁 半磁器タイル 1/5



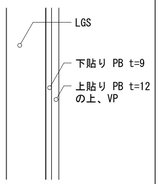
壁 打込みタイル 1/5



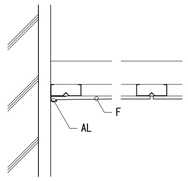
壁 岩綿吹付 1/5



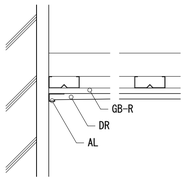
壁 プラスターボード 1/5



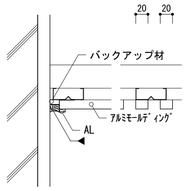
天井 フレキシブルシート 1/5



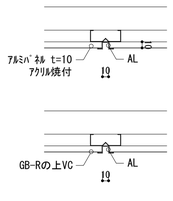
天井 岩綿吸音版 1/5



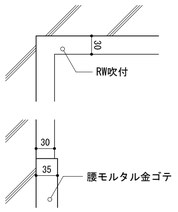
天井 アルミモールディング 1/5



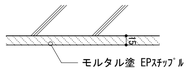
天井 アルミパネル目透し PB+ビニールクロス貼 1/5



天井 岩綿吹付 1/5



天井 モルタル 1/5



みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所 株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

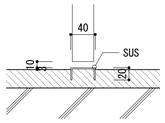
部分詳細図(1)【撤去/調整/補修図】

A1 図中に記載
A3 図中に記載

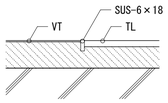
No. B－２０

鹿児島市建設局建築部建築課

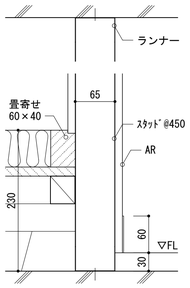
沓摺　ステンレス　1/5



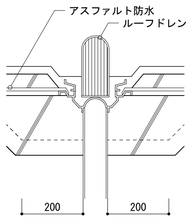
沓摺　ステンレス目地棒　1/5



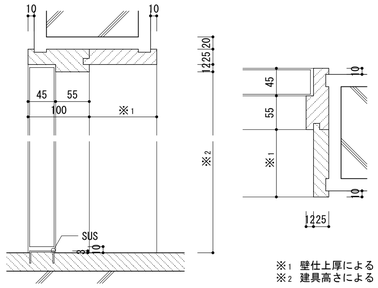
間仕切り壁　1/5



ルーフドレン　1/10

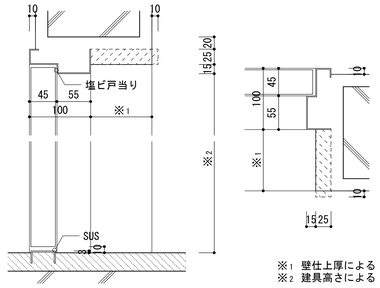


木製建具（一般建具三方枠）　1/5



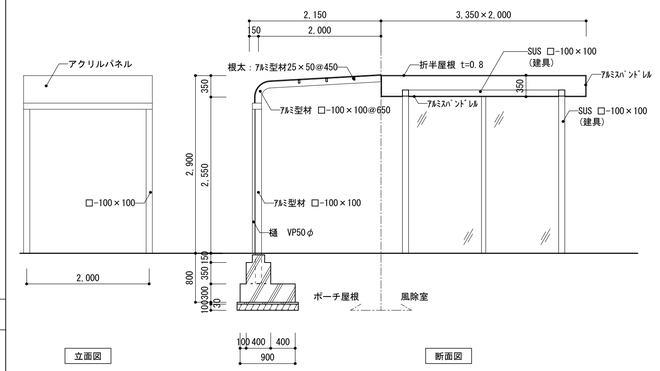
※1　壁仕上厚による
※2　建具高さによる

鋼製建具（一般建具）　1/5

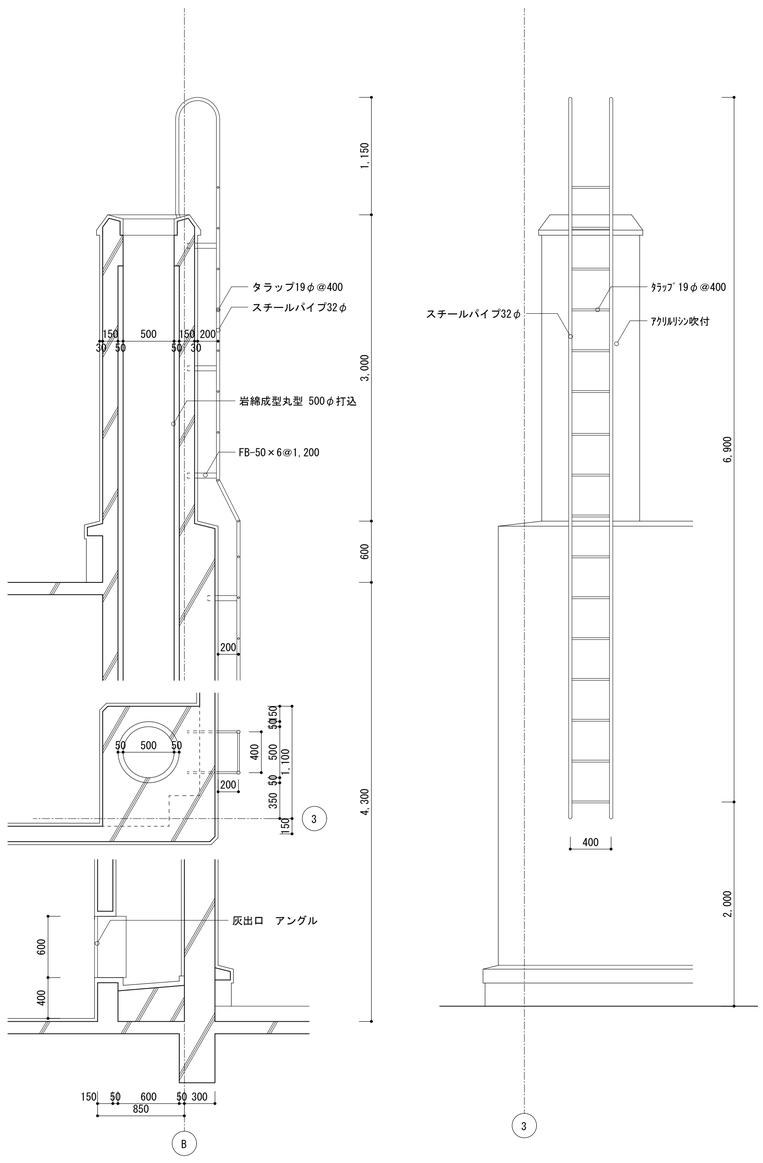


※1　壁仕上厚による
※2　建具高さによる

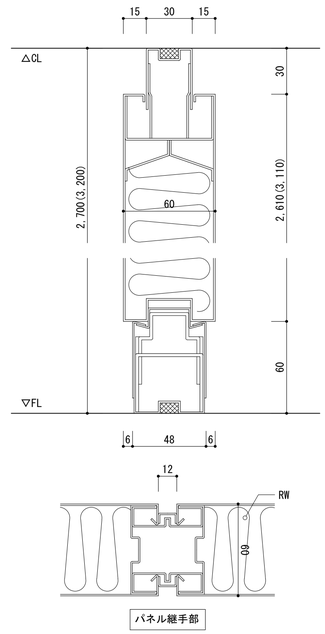
ポーチ屋根　1/50



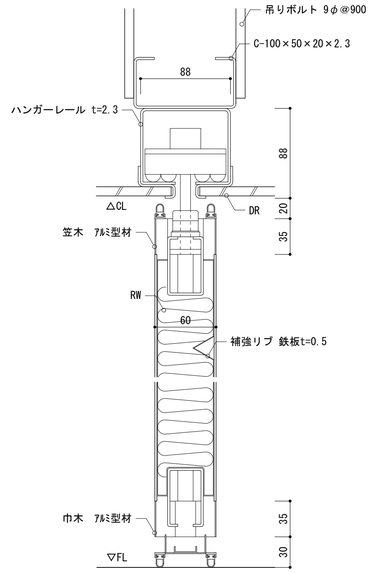
煙突詳細図　1/30



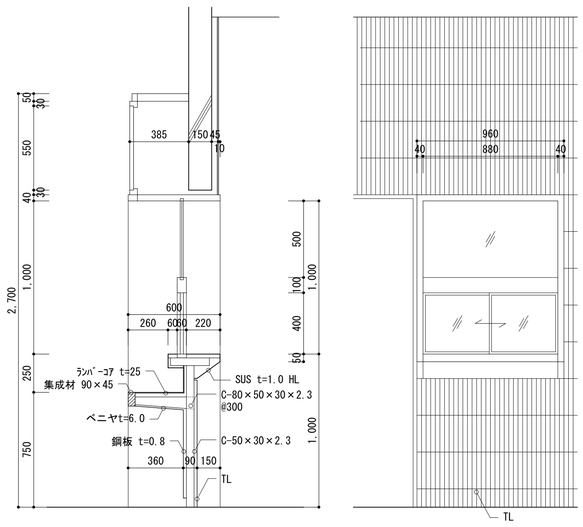
間仕切スチールパネル　1/2



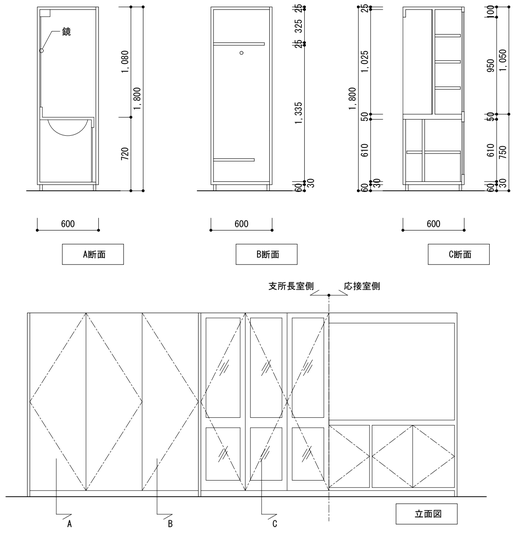
間仕切スチールパネル　1/3



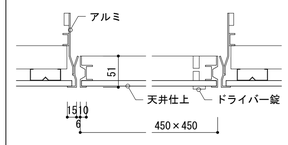
1階通路部受付カウンター　1/20



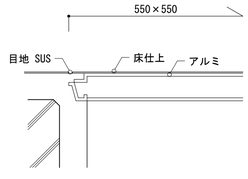
飾り棚　1/30



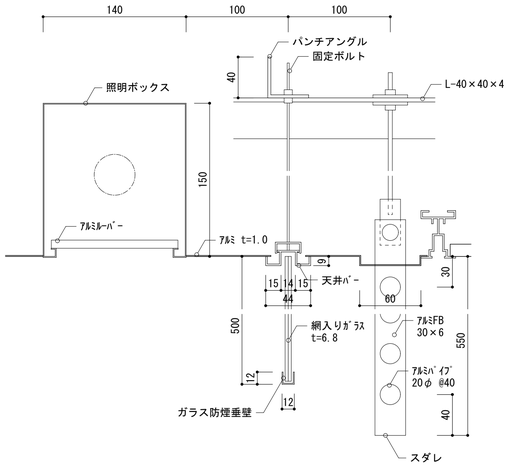
天井点検口　1/5



床下点検口　1/5

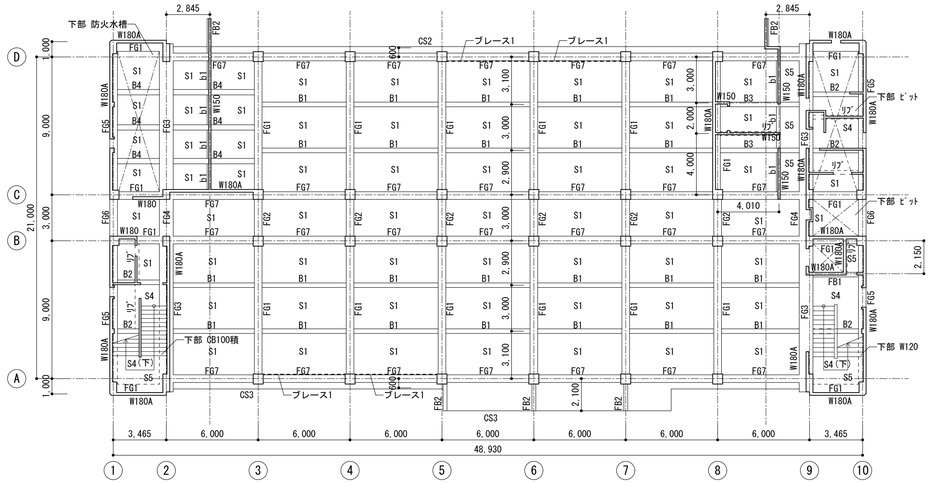


スダレ・ガラス防火垂壁・照明ボックス　1/3



みのだ・ブランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

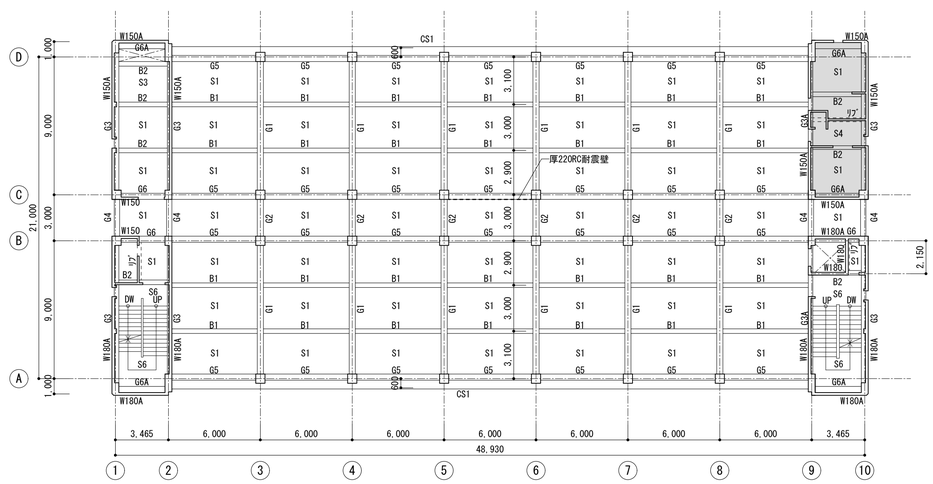
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
部分詳細図(2)【撤去/調整/補修図】	A1　図中に記載 A3　図中に記載	No.
鹿児島市建設局建築部建築課		B－21



1階梁伏図　1：200

※特記なき壁は外壁W150、内壁W120とする

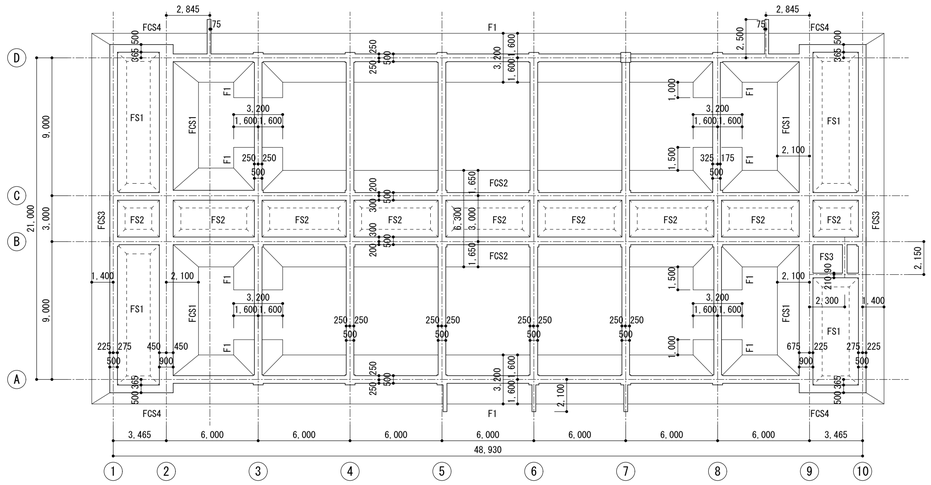
FL-50(その他はFL-30)



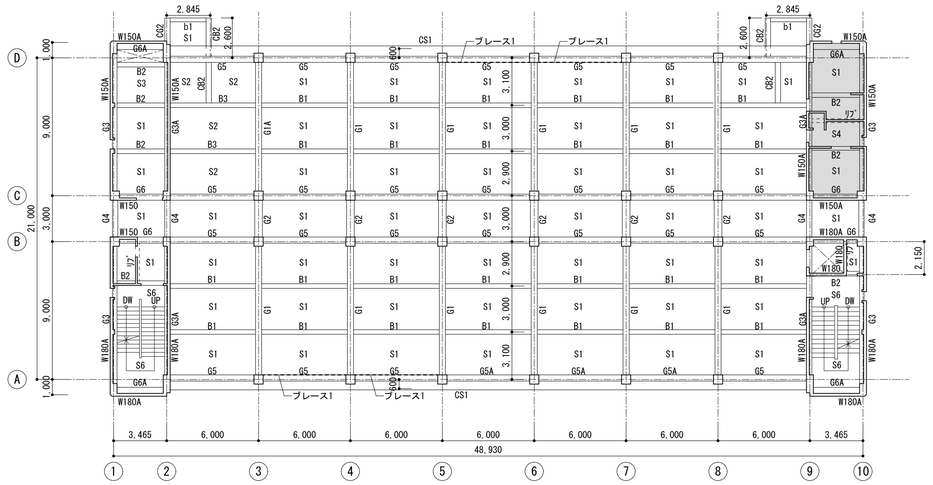
3階梁伏図　1：200

※特記なき壁は外壁W150、内壁W120とする

FL-50(その他はFL-30)



基礎伏図　1：200

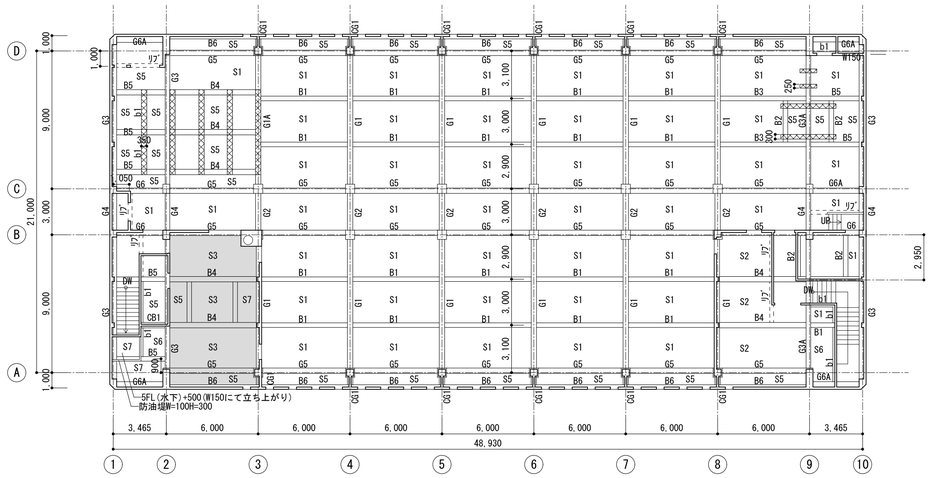


2階梁伏図　1：200

※特記なき壁は外壁W150、内壁W120とする

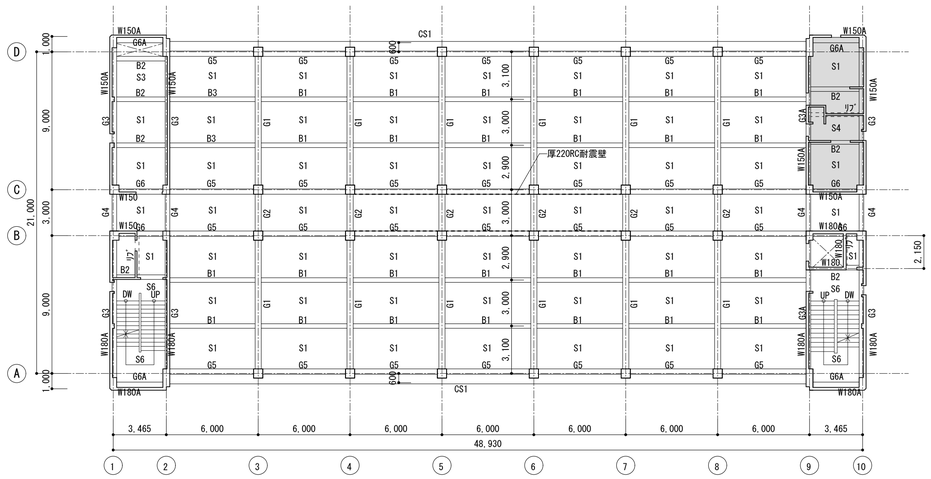
FL-50(その他はFL-30)

みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号　蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	(参考既存図)基礎伏図・1-3階梁伏図【撤去/調整/補修図】	A1 1/200 A3 1/400	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		B－22



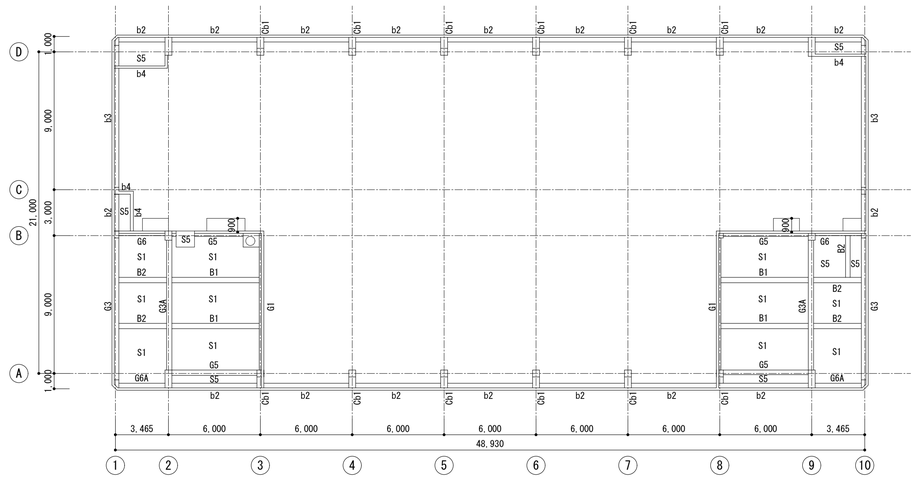
５階梁伏図　１：２００

※特記なき壁は外壁W150、内壁W120とする
5FL-100よりアスファルト防水のため-200下りとする
設備機器用基礎　H＝水下+600



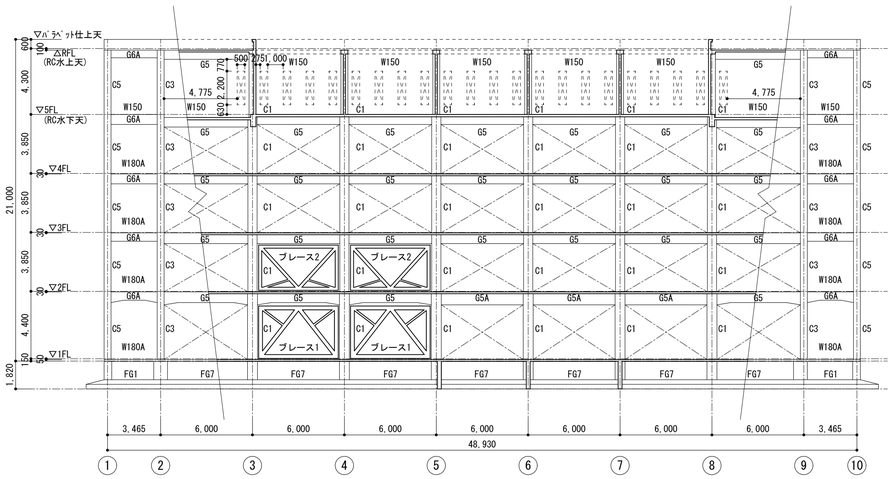
４階梁伏図　１：２００

※特記なき壁は外壁W150、内壁W120とする
FL-50(その他はFL-30)

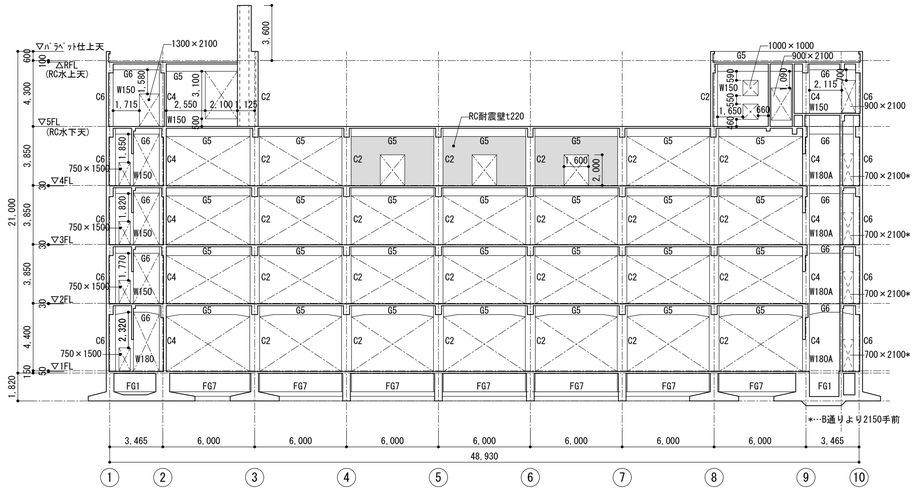


Ｒ階梁伏図　１：２００

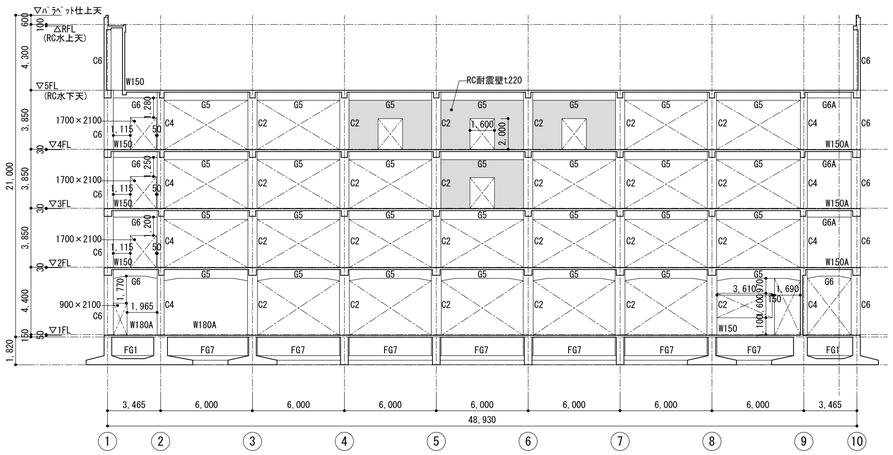
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	(参考既存図)4-R階梁伏図【撤去/調整/補修図】	A1　1/200 A3　1/400	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		B － 23



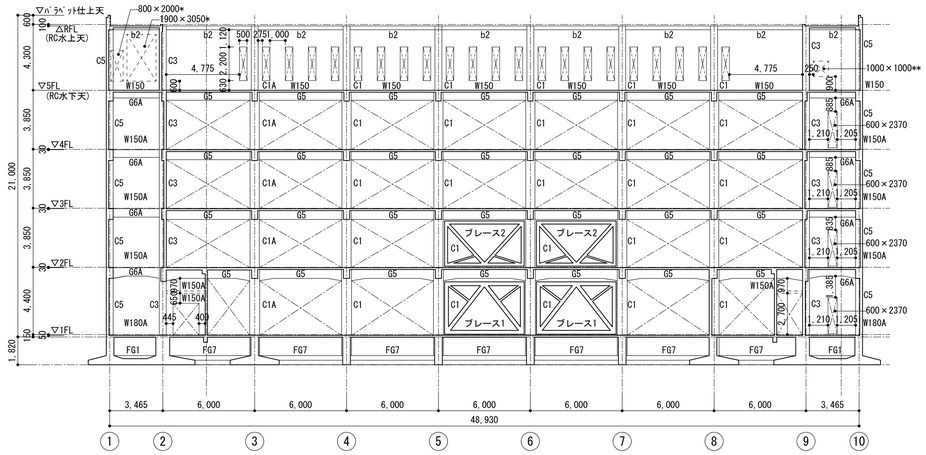
A通り軸組図　1：200



B通り軸組図　1：200



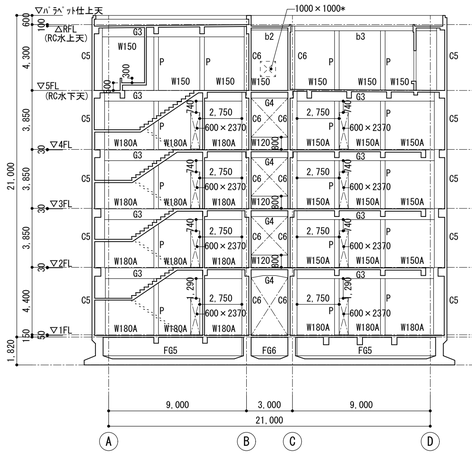
C通り軸組図　1：200



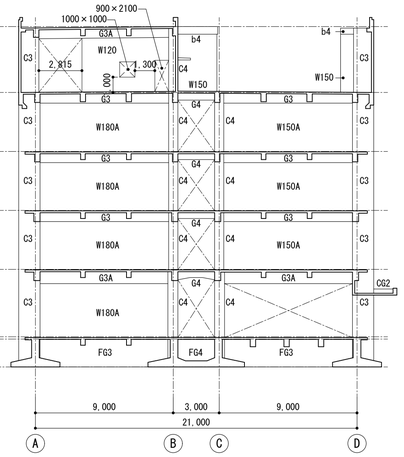
D通り軸組図　1：200

*…D通りより1000手前
**…D通りより225手前

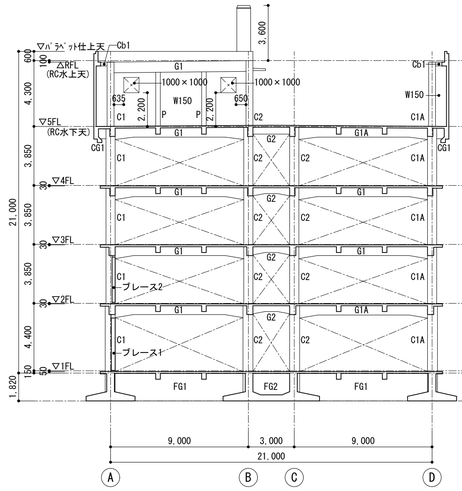
みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所　株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	(参考既存図)軸組図(1)【撤去/調整/補修図】	A1　1/200 A3　1/400	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		B － 24



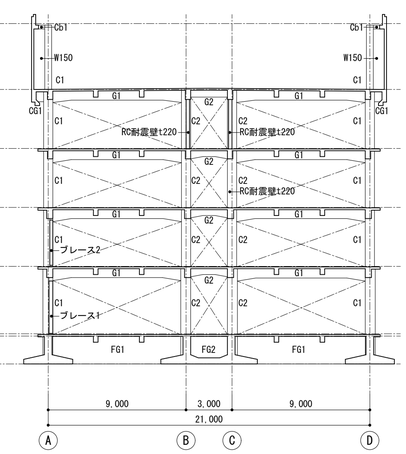
1通り軸組図　1：２００　　*…1通りより1050手前



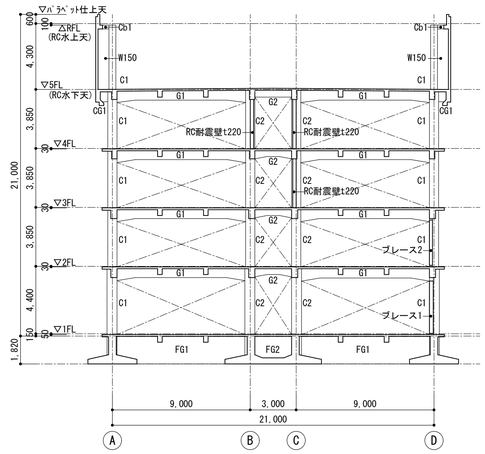
2通り軸組図　1：２００



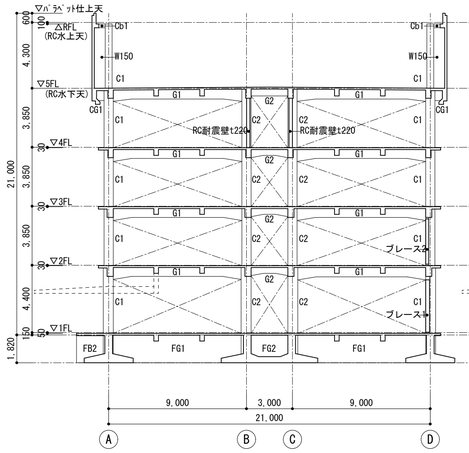
3通り軸組図　1：２００



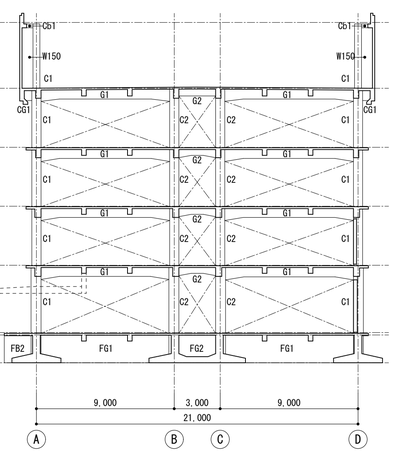
4通り軸組図　1：２００



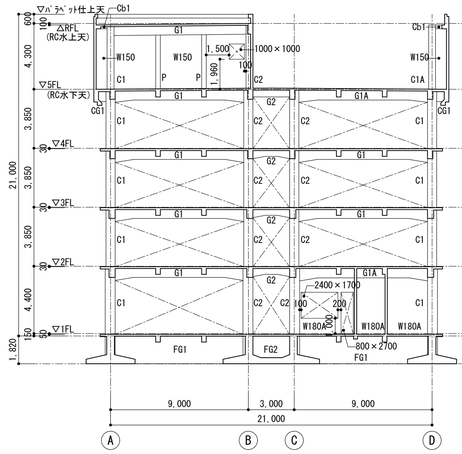
5通り軸組図　1：２００



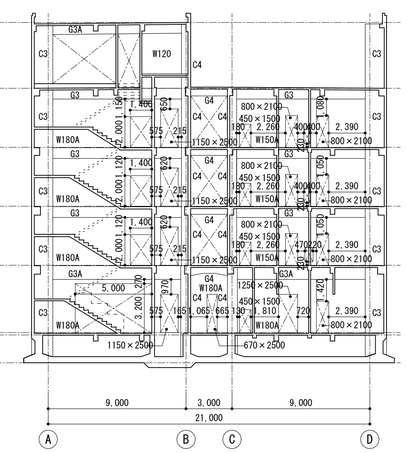
6通り軸組図　1：２００



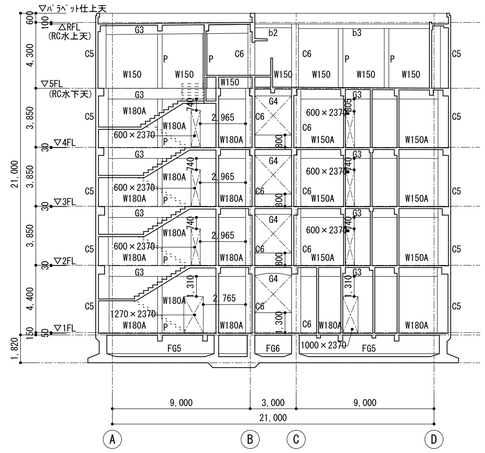
7通り軸組図　1：２００



8通り軸組図　1：２００



9通り軸組図　1：２００



10通り軸組図　1：２００

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号

一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

(参考既存図)軸組図(2)【撤去/調整/補修図】

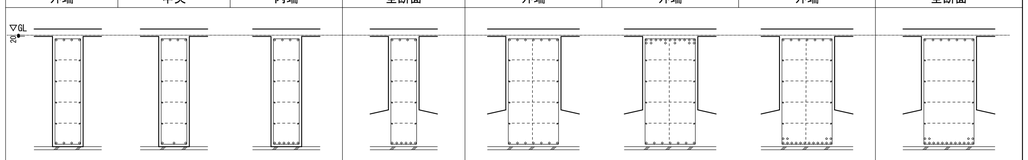
A1　1/200
A3　1/400

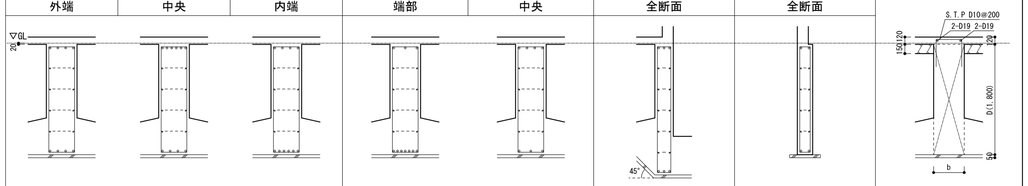
No.

鹿児島市建設局建築部建築課

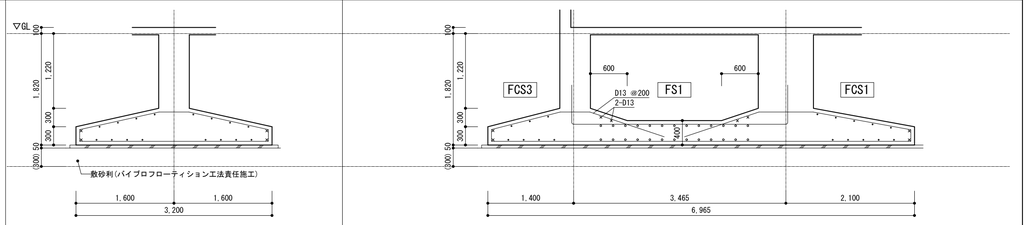
B－２５

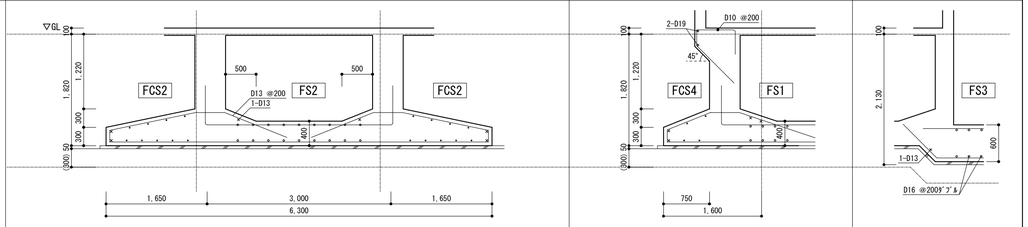
基礎梁リスト　1：50

記号	FG1			FG2, FG6	FG3			FG4
	外端	中央	内端	全断面	外端	外端	外端	全断面
断面								
b×D	500×1,800			500×1,800	900×1,800			900×1,800
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	7-D25	17-D25	7-D25	7-D25
下端筋	4-D25	3-D25	6-D25	6-D25	7-D25	7-D25	16-D25	16-D25
S.T.P	2-D13 @150			2-D13 @200	3-D16 @100			3-D16 @200
腹　筋	8-D13			8-D13	8-D13			8-D13

記号	FG5			FG7		FB1	FB2	共通事項
	外端	中央	内端	端部	中央	全断面	全断面	
断面								
b×D	500×1,800			500×1,800		300×2,130	250×1,800	
上端筋	4-D25	6-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D19	2-D19	
下端筋	4-D25	8-D25	6-D25	7-D25	3-D25	3-D19	2-D19	
S.T.P	2-D13 @150			2-D16 @150		2-D10 @200	2-D10 @200	
腹　筋	8-D13			8-D13		10-D13	8-D13	

基礎リスト　1：50

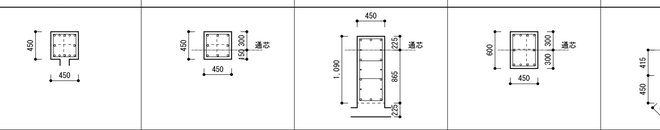
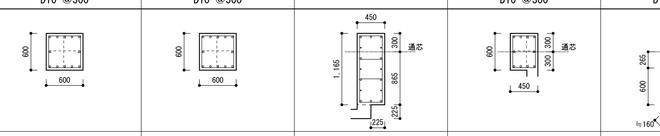
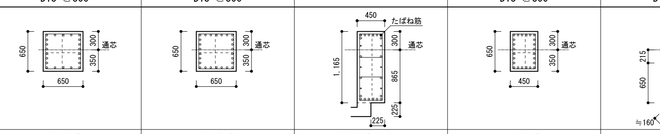
記号	F1		FCS3, FS1, FCS1					
断面								
			FCS3		FS1		FCS1	
	主筋	補助筋	主筋	補助筋	短辺方向	長辺方向	主筋	補助筋
上端筋	D10 @150	2-D13,D10 @300	D13 @200	1-D13,D10 @300	D16 @150	D16 @200	D13 @200	1-D13,D10 @300
下端筋	D16 @150	2-D13,D10 @250	D16 @200	1-D13,D10 @250	D16 @100	D16 @200	D16 @100	1-D13,D10 @250
備　考					ｽﾗﾌﾞ厚400-600,ﾊﾝﾁ長 L=600			

記号	FCS2, FS2				FCS4		FS3
断面							
	FCS2		FS2				
	主筋	補助筋	短辺方向	長辺方向	主筋	補助筋	
上端筋	D13 @200	1-D13,D10 @300	D16 @200	D16 @250	D13 @200	1-D13,D10 @300	タテ,ヨコ共 D16 @200
下端筋	D16 @150	1-D13,D10 @250	D16 @150	D16 @250	D16 @200	1-D13,D10 @250	タテ,ヨコ共 D16 @200
備　考			ｽﾗﾌﾞ厚400-600,ﾊﾝﾁ長 L=500				ｽﾗﾌﾞ厚600

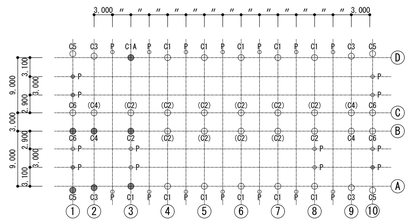
使用材料

種別	材料	備考
鉄筋	SD35（≧D19） SD30（≦D16）	D19以上の鉄筋は、ガス溶接とする。
コンクリート	FC28＝210kg/cm³（建物主体・基礎） FC28＝180kg/cm³（土間コンクリート）	海砂使用の時、防錆材使用（ポグリスNR1900）
地耐力	150KN/m²（長期）	地盤改良　バイブロフローティション工法
鉄骨	SS41,SSC41 H.T.B　F10T　μ＝0.45	

柱リスト　1：50

記号	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C1A
5階							
主筋	12-D22	8-D22	10-D25,6-D19	10-D25	7-D22	12-D22	12-D22
フープ	□ D10 @100	□ D10 @100	▤ D10 @100	□ D10 @100	□ D10 @100	□ D10 @100	□ D10 @100
ツナギ	D10 @300	D10 @300		D10 @300	D10 @300	D10 @300	D10 @300
4階							
主筋	12-D25	12-D25	10-D25,6-D19	10-D25	8-D25	8-D25	14-D25
フープ	□ D10 @100	□ D10 @100	▤ D10 @100	□ D10 @100	□ D10 @100	□ D10 @100	□ D10 @100
ツナギ	D10 @300	D10 @300		D10 @300	D10 @300	D10 @300	D10 @300
3階	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
主筋	12-D25	12-D25	10-D25,6-D19	10-D25	8-D25	8-D25	14-D25
フープ	□ D10 @100	□ D10 @100	▤ D10 @100	□ D10 @100	□ D10 @100	□ D10 @100	□ D10 @100
ツナギ	D10 @300	D10 @300		D10 @300	D10 @300	D10 @300	D10 @300
2階			同上		同上		
主筋	18-D25	22-D25	10-D25,6-D19	16-D25	8-D25	10-D25	20-D25
フープ	□ D13 @100	□ D13 @100	▤ D10 @100	□ D13 @100	□ D10 @100	□ D13 @100	□ D10 @100
ツナギ	D13 @300	D13 @300		D13 @300	D10 @300	D10 @300	D10 @300
1階							
主筋	22-D25	26-D25	20-D25,6-D19	16-D25	8-D25	14-D25	24-D25
フープ	□ D13 @100	□ D13 @100	▤ D10 @100	□ D13 @100	□ D13 @100	□ D13 @100	□ D13 @100
ツナギ	D13 @300	D13 @300		D13 @300	D13 @300	D13 @300	D13 @300

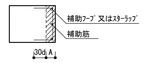
柱キープラン　(C)柱は1-4階までとする
○P：5階のみ
※柱リストには ● 柱を代表として示す。



リブ柱(P)断面　1：50

主　筋　4-D19
フープ　D10 @100

柱・梁増打ち補強要領



増打ちｺﾝｸﾘｰﾄ厚	補強筋	補助ﾌｰﾌﾟ又はｽﾀｰﾗｯﾌﾟ
<A≦50		
50<A≦150	3-D13	D10 @200
150<A≦200	3-D16	D10 @200
200<A	3-D19	柱又梁と同間隔

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社　みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

(参考既存図)部材リスト(1)【撤去/調整/補修図】　A1　1/200　A3　1/400

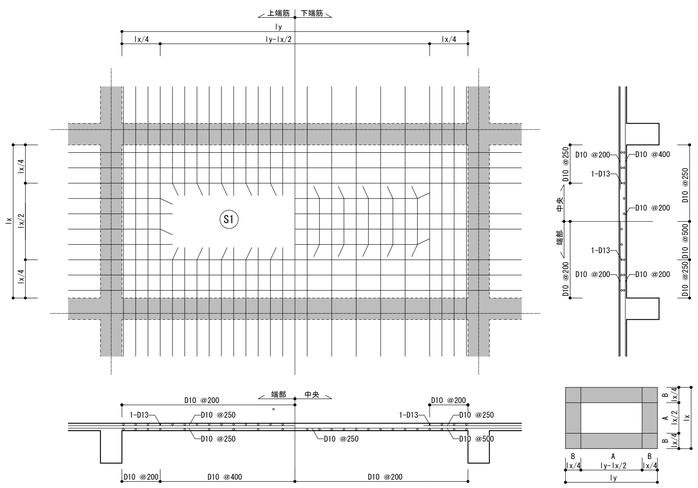
鹿児島市建設局建築部建築課

No.　B－26

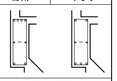
梁リスト 1：50

※ハンチ長さは、全て柱面からとし、各階共通

記号	G1, (G1A) ※( )はG1Aを示す ※ハンチ L=1,200		G2 ※ハンチ L=800		G3	G3A		G4 ※ハンチ L=800	G5 ※ハンチ L=900		G5A	G6 ※ハンチ L=800			G6A ※ハンチ L=800
位置	全断面				全断面	端部	中央		端部	中央		外端	中央	内端	全断面
R階															
b × D	300×700				300×700	350×700	350×700		350×600	350×600		300×500	300×500	300×500	300×500
上端筋	3-D25				3-D25	6-D25	3-D25		4-D25	2-D25		3-D25	2-D25	3-D25	3-D25
下端筋	3-D25				3-D25	4-D25	4-D25		3-D25	3-D25		3-D25	3-D25	2-D25	3-D25
S.T.P	2-D13 @250				2-D10 @150	2-D13 @150			2-D10 @150			2-D10 @100			2-D10 @200
腹　筋	2-D10				2-D10	2-D10			2-D10						
位置	端部	中央	全断面		全断面	全断面		全断面	端部	中央		外端	中央	内端	全断面
5階					同上										
b × D	350×850	350×700	350×500			300×700		300×500	350×650	350×650		350×500	350×500	350×500	350×500
上端筋	5-D25(6-D25)	3-D25	4-D25			4-D25		3-D25	4-D25	2-D25		4-D25	2-D25	3-D25	3-D25
下端筋	3-D25	5-D25(6-D25)	3-D25			4-D25		3-D25	3-D25	3-D25		4-D25	3-D25	3-D25	3-D25
S.T.P	2-D13 @200(2-D13 @100)		2-D13 @150			2-D10 @200		2-D10 @150	2-D10 @150			2-D13 @100			2-D10 @150
腹　筋	2-D10					2-D10			2-D10						
位置	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面		全断面	端部	中央		外端	中央	内端	全断面
4階					同上	同上									同上
b × D	400×900	400×700	400×650	400×500				300×500	350×650	350×650		350×500	350×500	350×500	
上端筋	5-D25	3-D25	5-D25	4-D25				4-D25	5-D25	3-D25		5-D25	3-D25	3-D25	
下端筋	3-D25	4-D25	4-D25	4-D25				4-D25	3-D25	3-D25		5-D25	3-D25	3-D25	
S.T.P	2-D13 @250		3-D13 @100					3-D13 @100	2-D10 @150			3-D13 @150			
腹　筋	2-D10								2-D10						
位置	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面		全断面	端部	中央		外端	中央	内端	全断面
3階					同上										
b × D	400×900	400×700	400×650	400×500		300×700		350×500	400×700	400×700		400×550	400×550	400×550	400×550
上端筋	6-D25	3-D25	6-D25	6-D25		5-D25		5-D25	5-D25	3-D25		8-D25	6-D25	6-D25	4-D25
下端筋	3-D25	4-D25	6-D25	6-D25		5-D25		5-D25	4-D25	3-D25		8-D25	6-D25	6-D25	4-D25
S.T.P	2-D13 @250		3-D16 @100			2-D13 @250		3-D16 @100	2-D13 @200			3-D13 @100			2-D13 @150
腹　筋	2-D10					2-D10			2-D10						
位置	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央
2階					同上											
b × D	400×900	400×700	500×650	500×500		350×900	350×650	350×500	400×850	400×700	400×850	400×850	400×700	400×550	400×700	400×700	400×550
上端筋	6-D25(7-D25)	3-D25	7-D25	7-D25		6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	3-D25	7-D25	3-D25	8-D25	6-D25	6-D25	4-D25	
下端筋	4-D25	4-D25(5-D25)	7-D25	7-D25		6-D25	6-D25	6-D25	5-D25	3-D25	6-D25	4-D25	8-D25	6-D25	6-D25	4-D25	
S.T.P	2-D13 @200(2-D13 @100)		4-D16 @100			2-D13 @200	4-D16 @100		2-D13 @100		2-D13 @100		3-D16 @100			2-D13 @100	
腹　筋	2-D10					2-D10			2-D10		2-D10						



小梁リスト 1：50

記号	B1		B2		B3		B4		B5		B6	
	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
断面												
b × D	300×500		300×500		300×500		350×600		300×500		300×825	
上端筋	4-D19	2-D19	3-D19	2-D19	5-D19	2-D19	6-D22	3-D22	3-D19	2-D19	4-D19	2-D19
下端筋	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	3-D19	5-D19	5-D22	6-D22	2-D19	4-D19	2-D19	3-D19
S.T.P	2-D10 @200		2-D10 @200		2-D13 @150		3-D13 @150		2-D10 @150		2-D10 @150	
腹　筋							2-D10				2-D10	
記号	b1		b2		b3		CG1		CG2, CB2		CB1	
	全断面		全断面		端部	中央	全断面		全断面		元端	先端
断面												
b × D	250×450		250×450		300×450		350×800		350×400		350×600	
上端筋	2-D19		2-D19		3-D19	2-D19	4-D25		4-D25		6-D22	4-D22
下端筋	2-D19		2-D19		2-D19	4-D19	2-D25		3-D25		5-D22	3-D22
S.T.P	2-D10 @200		2-D10 @200		2-D10 @200		2-D13 @200		2-D13 @150		2-D13 @150	
腹　筋							2-D10				2-D10	
記号			Cb1		リブ		b4					
			全断面		全断面		全断面					
断面												
b × D			450×250		250×300		200×400					
上端筋			2-D19		2-D19		2-D19					
下端筋			2-D19		2-D19		2-D19					
S.T.P			2-D10 @200		2-D10 @150		2-D10 @200					
腹　筋												

壁リスト 1：50

※W180A, W150Aは、耐震壁を示す。(伏図参照)

記号		W180	W180A	W150	W150A	W120	CB150, 100
断面							
		ﾁﾄﾞﾘ･ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾁﾄﾞﾘ･ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾁﾄﾞﾘ･ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾁﾄﾞﾘ･ﾀﾞﾌﾞﾙ	ｼﾝｸﾞﾙ	ｼﾝｸﾞﾙ
縦筋		D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @400
横筋		D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @600
開口補強筋	縦筋	2-D16	4-D16	2-D13	6-D13	1-D13	1-D13
	横筋	2-D16	4-D16	2-D13	6-D13	1-D13	1-D13
	斜筋	2-D16	4-D16	2-D13	6-D13	1-D13	

スラブリスト

記号	位置		配筋 短辺方向 端部	短辺方向 中央	長辺方向 端部	長辺方向 中央	版厚	備考
S1	A	上	D10 @200	(D10 @400)	D10 @250	(D10 @500)	120	()内は、最上階ｽﾗﾌﾞのみ
		下	D10 @400	D10 @200	D10 @500	D10 @250		
	B	上	D10 @200ダブル		D10 @250ダブル			
		下						
S2	A	上	D10,D13 @150	D13 @300	D10 @200	D10 @400	150	
		下	D10 @300	D10 @150	D10 @400	D10 @200		
	B	上	D10 @200ダブル		D10 @250ダブル			
		下						
S3	A	上	D10 @150	D10 @300	D10 @250	D10 @500	150	
		下	D10 @300	D10 @150	D10 @500	D10 @250		
	B	上	D10 @200ダブル		D10 @250ダブル			
		下						
S4	A	上	D10 @150	D10 @300	D10 @200	D10 @400	120	
		下	D10 @300	D10 @150	D10 @400	D10 @200		
	B	上	D10 @200ダブル		D10 @250ダブル			
		下						
S5	A	上	D10 @200ダブル		D10 @250ダブル		120	
		下						
	B	上	D10 @200ダブル		D10 @250ダブル			
		下						
S6	A	上	D10 @150ダブル		D10 @150ダブル		150	
		下						
	B	上	D10 @150ダブル		D10 @150ダブル			
		下						
S7	A	上	D10 @200ダブル		D10 @250ダブル		150	
		下						
	B	上	D10 @200ダブル		D10 @250ダブル			
		下						

みのだ・プランディー設計共同企業体
代表事務所　株式会社 みのだ設計
一級建築士事務所　知事登録 第 1-3-140 号
一級建築士　第　148365　号　　蓑田　満康

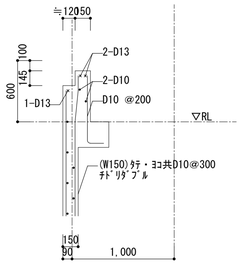
谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事

(参考既存図)部材リスト(2)【撤去/調整/補修図】　A1 1/200　A3 1/400

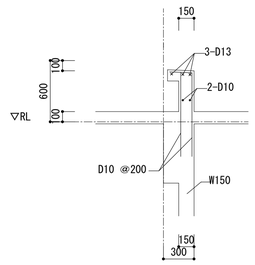
鹿児島市建設局建築部建築課

No. B－27

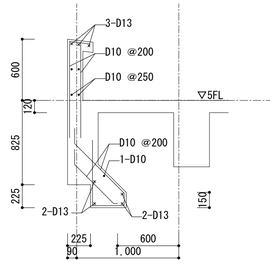
パラペット(RF) 1/30



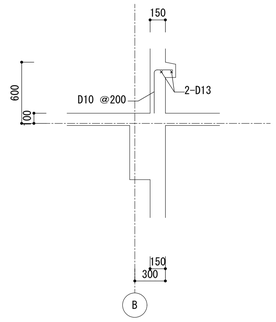
パラペット(RF) 1/30



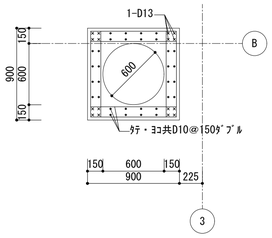
パラペット(5F) 1/30



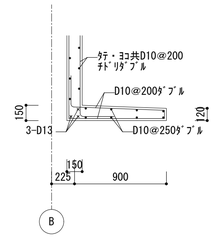
パラペット(5F) 1/30



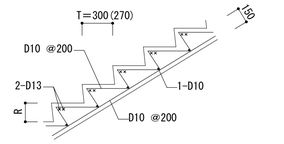
煙突 1/30

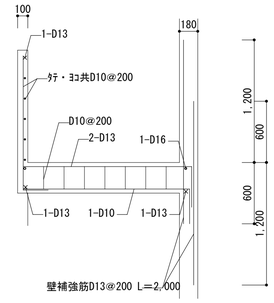


屋上出入口庇 1/30



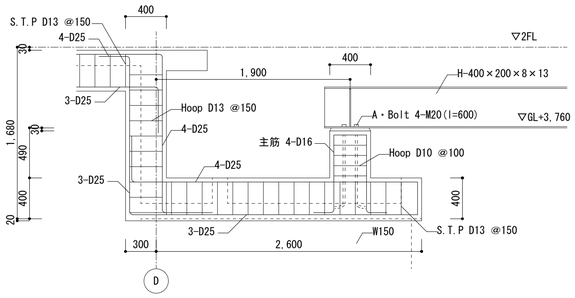
階段配筋詳細図 1/30



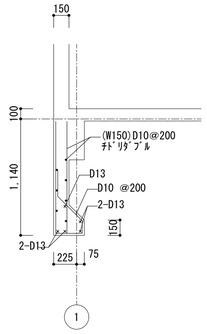


※A・B階段基本図による(EV機械室階段主筋 1-D13)

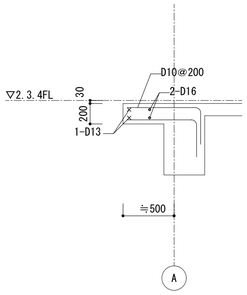
CB2配筋要領 1/30



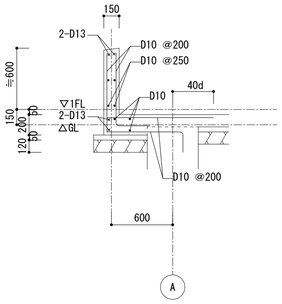
タレ壁(1・10通、B・C間) 1/30



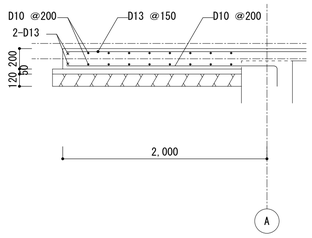
CS1 1/30



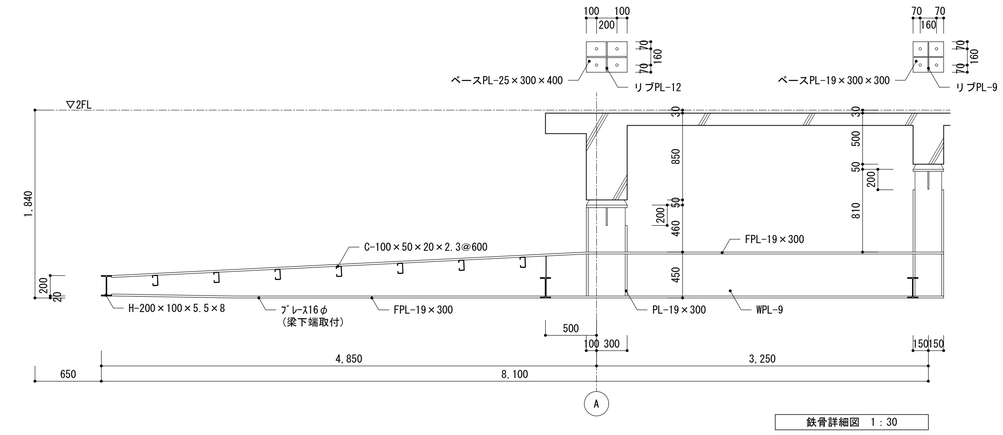
CS2 1/30



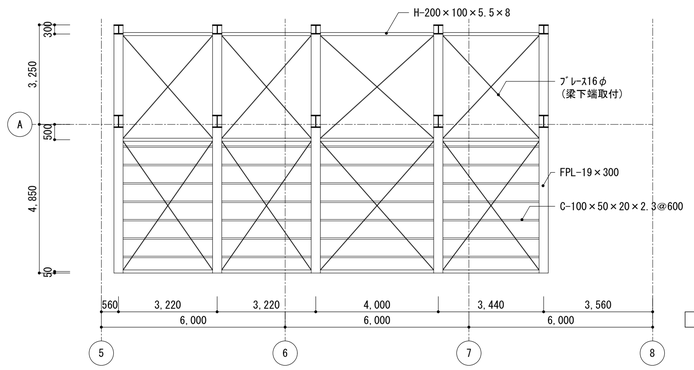
CS3 1/30



主玄関庇鉄骨詳細図 1/30,100

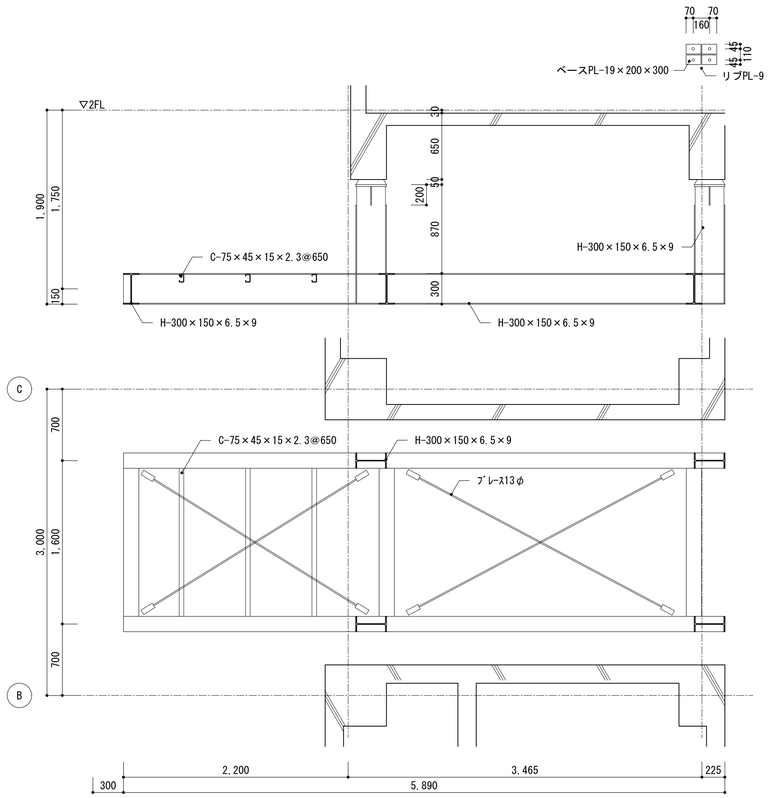


鉄骨詳細図 1:30



梁伏図 1:100

サブエントランス鉄骨詳細図 1/30



みのだ・プランディー設計共同企業体 代表事務所 株式会社 みのだ設計 一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	谷山支所庁舎大規模改修その他本体工事		
	(参考既存図)配筋・鉄骨詳細図【撤去/調整/補修図】	A1 1/30 A3 1/60	No.
	鹿児島市建設局建築部建築課		B－28